科目名	ＳＯＪＯセミナー◎（１工情生）	開講学年	1	講義コード	1110101	区分	必修
英文表記	Scholarship Seminar for SOJO Univ. Students	開講期	前期	開講形態	遠隔授業	単位数	1

担当教員	竹内明里※ 他
研究室	本館付属棟312 他
オフィスアワー	複数担当のため授業で周知
メールアドレス	複数担当のため授業で周知 @
キーワード	学生生活　市民生活　キャリアデザイン　ワークブック　　時間厳守　アカデミックスキル　論理力　キャリアデザイン能力　　自己管理力

授業概要	1.本学で学修するにあたって必要な学生生活や市民生活での留意事項、および本学の特色である海外留学・研修等についての説明や講話を聴講することで、学ぶ際の心構え、社会人として備えるべき常識や行動のあり方などを学び、今後の大学生活での行動目標を定めるとともに、「生徒」から「学生」への転換を図る。 2.聴講レポートの作成をとおして、基礎的・汎用的な能力である聴き取る力や文章でまとめる力、自分の意見を論理的に伝える力を養う。
関連科目	「SOJO基礎Ⅰ」「SOJO基礎Ⅱ」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A1	A1	
JABEE基準		ag	ag	

JABEE記号		学生の到達度目標
fh	①	講義講話を聴講し、その概要を定められた字数でまとめることができる。
efh	②	講義講話を聴講して自身で考えたことを、定められた字数で論じることができる。
fg	③	講義講話全体を踏まえて今後の大学生活での行動目標を定め、それを文章で示すことができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	90	0	0	10	0	100

教科書	SOJOセミナー2023　崇城大学総合教育センター　SOJOセミナーWG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.市民として社会ルールを守る意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート課題　1)授業ごとに以下の①②の課題を提出する。①「講話の概要」(4点×8回＝32点) 毎回、講話の概要を「～である調」で180字以上200字以下でまとめる。②「自分の考え」(5点×8回＝40点) 毎回、講話を聴いて「考えたこと」を「～である調」で200字以上で論じる。2)期末課題:「大学で身につけたい能力」レポート(18点)　講話を踏まえて、大学で身につけたいと考えた能力について、「～である調」で630字以上700字以下で論じる。2.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　三つの「学生の到達度目標」の到達度を自己評価した上で、そのように評価した理由を200字以上250字以下で論じる。

学修上の注意 (SBOs)	1. 本科目（2023年度）は全ての授業（全8回）をオンライン（オンデマンド型）で実施します。 2. 授業コンテンツと重要な連絡は、すべてWebClassで提示します。 授業計画などに急な変更がある場合にも、WebClassに記載します。 3.〔重要!〕授業受講の前に、WebClassの本科目ページに掲載されている「受講の手順」をかならず読んでください。「受講の手順」に、「出席」のとり方、課題の提出方法などの重要な情報が記載されています。そこに記載されている指示に従って受講してください。 4.中間・定期試験は実施しません。したがって再試験も実施しません。 5.提出物は期限内に提出すること。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示します。 6.レポート作成にあたって他人のものを写したり、剽窃（ひょうせつ）をしたりした場合、本科目の単位認定を行いません。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション（本科目の受講方法）（総合教育センター）、 学生生活をよりよく過ごすために（学生部）	講義　ＰＷ	「講話の概要」「自分の考え」	60
	内容	・本科目の受講方法の説明 ・喫煙問題、課外活動など、学生生活全般にわたっての学生部長講話 PW：個人ワーク ★レポートの作成			
2回	テーマ	こころの健康（外部講師、学生部）	講義　ＰＷ	「講話の概要」「自分の考え」	60
	内容	・自分らしい学生生活を送るための講話 ★レポートの作成			
3回	テーマ	市民生活（外部講師、学生部）	講義　ＰＷ	「講話の概要」「自分の考え」	60
	内容	・社会構成員である市民の一員としての責任と義務等についての講話 ★レポートの作成			
4回	テーマ	大学生の陥りやすいトラブル（外部講師、学生部）	講義　ＰＷ	「講話の概要」「自分の考え」	60
	内容	・交通・生活における事故やトラブルの回避と対応についての講話 ★レポートの作成			
5回	テーマ	海外留学・研修のすすめ（SILC、国際交流センター）	講義　ＰＷ	「講話の概要」「自分の考え」	60
	内容	・海外研修プログラム紹介と学生による体験談 ★レポートの作成			
6回	テーマ	未来のための学び方（外部講師）	講義　ＰＷ	「講話の概要」「自分の考え」	60
	内容	・未来をよりよく生きていくため、いま必要となる学び方についての講話 ★レポートの作成			
7回	テーマ	キャリアデザイン（外部講師）	講義　ＰＷ	「講話の概要」「自分の考え」	60
	内容	・キャリアデザインについての講話 SPI（適性検査）の実施方法 ★レポートの作成			
8回	テーマ	これからの学生生活について（総合教育センター）	講義　ＰＷ	「講話の概要」「自分の考え」 期末レポート「大学で身につけたい能力」 ポートフォリオ「学修到達度レポート」	60 12 0 60
	内容	・1年生前期前半終了時点での振り返りについての講話：ポートフォリオの効力、将来の職業、学生と社会人 ★レポートの作成			

科目名	ＳＯＪＯセミナー◎（再履修）	開講学年	1	講義コード	1110102	区分	必修
英文表記	Scholarship Seminar for SOJO Univ. Students	開講期	前期	開講形態	遠隔授業	単位数	1

担当教員	竹内明里※ 他
研究室	本館付属棟312 他
オフィスアワー	複数担当のため授業で周知
メールアドレス	複数担当のため授業で周知 @
キーワード	学生生活　市民生活　キャリアデザイン　ワークブック　　時間厳守　アカデミックスキル　論理力　キャリアデザイン能力　　自己管理力

授業概要	1.本学で学修するにあたって必要な学生生活や市民生活での留意事項、および本学の特色である海外留学・研修等についての説明や講話を聴講することで、学ぶ際の心構え、社会人として備えるべき常識や行動のあり方などを学び、今後の大学生活での行動目標を定めるとともに、「生徒」から「学生」への転換を図る。 2.聴講レポートの作成をとおして、基礎的・汎用的な能力である聴き取る力や文章でまとめる力、自分の意見を論理的に伝える力を養う。

関連科目
「SOJO基礎Ⅰ」「SOJO基礎Ⅱ」

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A1	A1
	JABEE基準			ag	ag

JABEE記号		学生の到達度目標
fh	①	講義講話を聴講し、その概要を定められた字数でまとめることができる。
efh	②	講義講話を聴講して自身で考えたことを、定められた字数で論じることができる。
fg	③	講義講話全体を踏まえて今後の大学生活での行動目標を定め、それを文章で示すことができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	90	0	0	10	0	100

教科書	SOJOセミナー2023　崇城大学総合教育センター　SOJOセミナーWG
参考書	適宜プリントを配布する

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.市民として社会ルールを守る意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート課題　1)授業ごとに以下の①②の課題を提出する。①「講話の概要」(4点×8回＝32点) 毎回、講話の概要を「～である調」で180字以上200字以下でまとめる。②「自分の考え」(5点×8回＝40点) 毎回、講話を聴いて「考えたこと」を「～である調」で200字以上で論じる。2)期末課題:「大学で身につけたい能力」レポート(18点)　講話を踏まえて、大学で身につけたいと考えた能力について、「～である調」で630字以上700字以下で論じる。2.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　三つの「学生の到達度目標」の到達度を自己評価した上で、そのように評価した理由を200字以上250字以下で論じる。

学修上の注意 (SBOs)	1. 本科目（2023年度）は全ての授業（全8回）をオンライン（オンデマンド型）で実施します。 2. 授業コンテンツと重要な連絡は、すべてWebClassで提示します。 授業計画などに急な変更がある場合にも、WebClassに記載します。 3.〔重要!〕授業受講の前に、WebClassの本科目ページに掲載されている「受講の手順」をかならず読んでください。「受講の手順」に、「出席」のとり方、課題の提出方法などの重要な情報が記載されています。そこに記載されている指示に従って受講してください。 4.中間・定期試験は実施しません。したがって再試験も実施しません。 5.提出物は期限内に提出すること。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示します。 6.レポート作成にあたって他人のものを写したり、剽窃（ひょうせつ）をしたりした場合、本科目の単位認定を行いません。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション（本科目の受講方法）（総合教育センター）、 学生生活をよりよく過ごすために（学生部）	講義　ＰＷ	「講話の概要」「自分の考え」	60
	内容	・本科目の受講方法の説明 ・喫煙問題、課外活動など、学生生活全般にわたっての学生部長講話 PW：個人ワーク ★レポートの作成			
2回	テーマ	こころの健康（外部講師、学生部）	講義　ＰＷ	「講話の概要」「自分の考え」	60
	内容	・自分らしい学生生活を送るための講話 ★レポートの作成			
3回	テーマ	市民生活（外部講師、学生部）	講義　ＰＷ	「講話の概要」「自分の考え」	60
	内容	・社会構成員である市民の一員としての責任と義務等についての講話 ★レポートの作成			
4回	テーマ	大学生の陥りやすいトラブル（外部講師、学生部）	講義　ＰＷ	「講話の概要」「自分の考え」	60
	内容	・交通・生活における事故やトラブルの回避と対応についての講話 ★レポートの作成			
5回	テーマ	海外留学・研修のすすめ（SILC、国際交流センター）	講義　ＰＷ	「講話の概要」「自分の考え」	60
	内容	・海外研修プログラム紹介と学生による体験談 ★レポートの作成			
6回	テーマ	未来のための学び方（外部講師）	講義　ＰＷ	「講話の概要」「自分の考え」	60
	内容	・未来をよりよく生きていくため、いま必要となる学び方についての講話 ★レポートの作成			
7回	テーマ	キャリアデザイン（外部講師）	講義　ＰＷ	「講話の概要」「自分の考え」	60
	内容	・キャリアデザインについての講話 SPI（適性検査）の実施方法 ★レポートの作成			
8回	テーマ	これからの学生生活について（総合教育センター）	講義　ＰＷ	「講話の概要」「自分の考え」 期末レポート「大学で身につけたい能力」 ポートフォリオ「学修到達度レポート」	60 12 0 60
	内容	・1年生前期前半終了時点での振り返りについての講話：ポートフォリオの効力、将来の職業、学生と社会人 ★レポートの作成			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ａ（１機）	開講学年	1	講義コード	1110201	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期) 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ⅰ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案 （受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか ②個人としてどのような反省点があると考えるか ③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか ④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか ⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか （★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成 ①他の受講生による評価シートの分析 ②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点 ③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること （★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｂ（１機）	開講学年	1	講義コード	1110202	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期) 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ⅰ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案 （受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか ②個人としてどのような反省点があると考えるか ③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか ④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか ⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか （★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成 ①他の受講生による評価シートの分析 ②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点 ③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること （★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｃ（１機）	開講学年 1	講義コード 1110203	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期 前期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数 2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期) 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ⅰ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案 （受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか ②個人としてどのような反省点があると考えるか ③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか ④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか ⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか （★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成 ①他の受講生による評価シートの分析 ②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点 ③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること （★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ａ（１ナ）	開講学年	1	講義コード	1110204	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期)　専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ⅰ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案 （受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか ②個人としてどのような反省点があると考えるか ③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか ④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか ⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか （★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成 ①他の受講生による評価シートの分析 ②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点 ③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること （★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｂ（１ナ）	開講学年	1	講義コード	1110205	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2
担当教員	藤本元啓 他						
研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる			オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる		
メールアドレス	@						
キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション						

授業概要	関連科目
1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。	「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期) 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準		e, f, g, h, i	e, f, g, h, i	

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ⅰ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案　（受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか　②個人としてどのような反省点があると考えるか　③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか　④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか　⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか　（★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成　①他の受講生による評価シートの分析　②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点　③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること　（★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ａ（１建）	開講学年	1	講義コード	1110206	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期) 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ⅰ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案 （受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか ②個人としてどのような反省点があると考えるか ③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか ④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか ⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか （★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成 ①他の受講生による評価シートの分析 ②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点 ③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること （★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｂ（１建）	開講学年	1	講義コード	1110207	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期)　専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ｉ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案 （受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか ②個人としてどのような反省点があると考えるか ③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか ④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか ⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか （★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成 ①他の受講生による評価シートの分析 ②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点 ③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること （★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｃ（１建）	開講学年	1	講義コード	1110208	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目
「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期) 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ⅰ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案　（受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか　②個人としてどのような反省点があると考えるか　③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか　④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか　⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか　（★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成　①他の受講生による評価シートの分析　②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点　③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること　（★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎（１シス）	開講学年	1	講義コード	1110209	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他
研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる
オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる
メールアドレス	@
キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要

1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期) 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ｉ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案 （受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか ②個人としてどのような反省点があると考えるか ③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか ④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか ⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか （★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成 ①他の受講生による評価シートの分析 ②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点 ③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること （★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅰ◎（１整）	開講学年	1	講義コード	1110210	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期)　専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ｉ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案　（受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか　②個人としてどのような反省点があると考えるか　③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか　④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか　⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか　（★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成　①他の受講生による評価シートの分析　②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点　③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること　（★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬ 「課題レポート」作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅰ◎（１操）	開講学年	1	講義コード	1110211	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2
担当教員	藤本元啓 他						
研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる			オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる		
メールアドレス	@						
キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション						

授業概要

1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期) 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書

SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ｉ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案　（受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか　②個人としてどのような反省点があると考えるか　③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか　④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか　⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか　（★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成　①他の受講生による評価シートの分析　②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点　③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること　（★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬ 「課題レポート」作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ａ（１情）	開講学年	1	講義コード	1110212	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期)　専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ⅰ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案　（受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか　②個人としてどのような反省点があると考えるか　③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか　④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか　⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか　（★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成　①他の受講生による評価シートの分析　②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点　③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること　（★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｂ（１情）	開講学年	1	講義コード	1110213	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目
「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期) 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ｉ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案　（受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか ②個人としてどのような反省点があると考えるか ③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか ④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか ⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか （★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成 ①他の受講生による評価シートの分析 ②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点 ③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること （★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｃ（１情）	開講学年	1	講義コード	1110214	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期) 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ⅰ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案　（受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか　②個人としてどのような反省点があると考えるか　③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか　④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか　⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか　（★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成　①他の受講生による評価シートの分析　②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点　③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること　（★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｄ（１情）	開講学年	1	講義コード	1110215	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期)　専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ｉ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案 （受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか ②個人としてどのような反省点があると考えるか ③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか ④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか ⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか （★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成 ①他の受講生による評価シートの分析 ②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点 ③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること （★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｅ（１情）	開講学年	1	講義コード	1110216	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期)　専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ⅰ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案　（受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか　②個人としてどのような反省点があると考えるか　③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか　④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか　⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか　（★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成　①他の受講生による評価シートの分析　②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点　③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること　（★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ａ①（１生物）	開講学年 1	講義コード 1110217	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期 前期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数 2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期) 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ⅰ」の概要とシラバスの説明　○大学で学ぶということ　○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明　○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明　○自身のキャリアの振り返りと将来設計　○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成　○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明　○本学HPの改善案・新作案の提案　（受験生向け、他大学HPとの比較をベースに）　○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正　○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出　★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成　○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか　②個人としてどのような反省点があると考えるか　③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか　④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか　⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか　（★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成　①他の受講生による評価シートの分析　②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点　③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること　（★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ａ②（１生物）	開講学年	1	講義コード	1110218	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期)　専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ⅰ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案 （受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか ②個人としてどのような反省点があると考えるか ③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか ④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか ⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか （★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成 ①他の受講生による評価シートの分析 ②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点 ③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること （★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ａ③（１生物）	開講学年 1	講義コード 1110219	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期 前期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数 2

担当教員	藤本元啓 他
研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる
オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる
メールアドレス	@
キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要

1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期) 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにＡ４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ：オリエンテーション① 内容：○「SOJO基礎Ｉ」の概要とシラバスの説明　○大学で学ぶということ　○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW 対面	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
2回	テーマ：オリエンテーション② 内容：○「SOJOポートフォリオシステム」の説明　○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明　○自身のキャリアの振り返りと将来設計　○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	PW 対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
3回	テーマ：チームビルディング、チーム討議の方法 内容：○チームビルディングの要点の説明、チーム編成　○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	GW 対面	今週の活動とトップニュース②	60
4回	テーマ：プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備① 内容：○プレゼンテーションの基礎技法の説明　○本学HPの改善案・新作案の提案　（受験生向け、他大学HPとの比較をベースに）　○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	GW 対面	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
5回	テーマ：プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備② 内容：○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW 対面／遠隔	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
6回	テーマ：プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③ 内容：○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW 対面	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
7回	テーマ：プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④ 内容：○中間報告への教員コメントをもとに修正　○発表予行演習	GW 対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
8回	テーマ：プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会① 内容：★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出　★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	GW 対面	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
9回	テーマ：プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備 内容：★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成　○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか　②個人としてどのような反省点があると考えるか　③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか　④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか　⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか　（★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	GW・PW 対面	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
10回	テーマ：プレゼンテーションA 振り返り 内容：○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成　①他の受講生による評価シートの分析　②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点　③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること　（★11回目の授業日に提出）	GW 対面	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅰ◎Ｂ①（１生物）	開講学年 1	講義コード 1110220	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期 前期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数 2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期)　専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ｉ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案 （受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか ②個人としてどのような反省点があると考えるか ③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか ④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか ⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか （★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成 ①他の受講生による評価シートの分析 ②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点 ③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること （★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｂ②（１生物）	開講学年	1	講義コード	1110221	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期)　専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ⅰ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案　（受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか ②個人としてどのような反省点があると考えるか ③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか ④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか ⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか （★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成 ①他の受講生による評価シートの分析 ②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点 ③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること （★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎Ｂ③（１生物）	開講学年 1	講義コード 1110222	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期 前期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数 2

担当教員	藤本元啓 他
研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる
オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる
メールアドレス	@
キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要

1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期) 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ｉ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案 （受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか ②個人としてどのような反省点があると考えるか ③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか ④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか ⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか （★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成 ①他の受講生による評価シートの分析 ②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点 ③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること （★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｉ◎（再履修）	開講学年 1	講義コード 1110223	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅰ	開講期 前期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数 2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅱ」(1年後期)「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)「インターンシップⅠ・Ⅱ」(3年前後期(学期内集中))「キャリアセミナー」(3年後期) 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」(2、3年)

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	12	3	55	0	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」12点　2.成果発表(プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」)　・チーム発表(8分) 9点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 18点　・「プレゼンテーションAに関する振り返り」(PowerPoint資料をチームで一部提出) 3点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」5点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　★プレゼンテーションAの準備作業、Teams会議不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	PW	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力	60
	内容	○「SOJO基礎Ⅰ」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い　PW：個人ワーク、GW：グループワーク	対面		
2回	テーマ	オリエンテーション②	PW	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース①	60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○「SOJOキャリア支援システム」の説明と登録	対面		
3回	テーマ	チームビルディング、チーム討議の方法	GW	今週の活動とトップニュース②	60
	内容	○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	対面		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備①	GW	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○本学HPの改善案・新作案の提案　（受験生向け、他大学HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	対面		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備②	GW	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	対面／遠隔		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備③	GW	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	対面		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」準備④	GW	今週の活動とトップニュース⑥ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	対面／遠隔		
8回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会①	GW	今週の活動とトップニュース⑦ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成	対面		
9回	テーマ	プレゼンテーションA「崇城大学HP探究」 発表会予備	GW・PW	今週の活動とトップニュース⑧ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（8分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか　②個人としてどのような反省点があると考えるか　③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか　④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか　⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか　（★各項目200文字以上、10回目の授業日に提出）	対面		
10回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	GW	今週の活動とトップニュース⑨ PowerPoint資料作成	60 120
	内容	○次の①から③についてチームで討議し、プレゼンテーション5分のPowerPoint資料を作成　①他の受講生による評価シートの分析　②①の分析を踏まえた、プレゼンテーションの内容や技法等に関する改善点　③今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーに求められること　（★11回目の授業日に提出）	対面		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成①	PW	今週の活動とトップニュース⑩「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 A○○学科関係業界の諸問題とその解決法の提案 B最近の時事問題に対する解決法の提案 Cアルバイト先の業務改善の提案 D崇城大学への提案:学修、プロジェクト、施設、その他 ★13回目の授業日に仮提出、15回目の授業日に本提出	対面		
12回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成②	PW	今週の活動とトップニュース⑪「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	遠隔		
13回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	PW	今週の活動とトップニュース⑫「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	遠隔		
14回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成④	PW	今週の活動とトップニュース⑬「課題レポート」作成「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 60 30
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	遠隔		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	PW	夏期課題:「新聞記事批評文」（4部） 記事ごとの批評文を400文字以上で作成、後期「SOJO基礎Ⅱ」1回目の授業日に提出	
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	対面		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ａ（１薬）	開講学年	1	講義コード	1110301	区分	選必
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students (Department of Pharmaceutical sciences)	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	クラスによって担当教員が異なるため授業で知らせる。	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学6年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目
「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	23	14	2	53	8	100

教科書	SOJO基礎(薬学)2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」10点　2.成果発表(プレゼンテーションA「薬学科HP探究」)　・チーム発表(10分) 7点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 13点　3.成果発表(プレゼンテーションB「これからの薬剤師(医療人)としての使命と役割の提案」)　・チーム発表(10分) 7点　4.作品:授業資料(テキスト、時事WS、配布資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 2点　5.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　8.その他:時事ワークシート 2点×4回＝8点　★プレゼンテーションA・Bの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。　　遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。　3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA4判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	対面	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力 時事WS①	60 60
	内容	○「SOJO基礎（薬学）」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い ○時事ワークシート（4部）配布 ★5回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	オリエンテーション②	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 時事WS②	60 60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」準備①	対面	今週の活動とトップニュース② 時事WS③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○薬学科HPの改善案・新作案の提案 （受験生向け、他大学薬学科HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	GW		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」準備②	対面	今週の活動とトップニュース③ 時事WS④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」準備③	対面	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）；発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」発表会	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」発表会予備	対面	今週の活動とトップニュース⑥ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか ②個人としてどのような反省点があると考えるか ③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか ④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか ⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか （★各項目200文字以上、8回目の授業日に提出）	GW・PW		
8回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	対面	今週の活動とトップニュース⑦	60
	内容	○「振り返り」レポートの③～⑤について各メンバーが書いた内容をチーム内で討議し、まとめを全体向けに発表	GW		
9回	テーマ	文章作成の基本：課題レポートの作成①	対面	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 AAI時代の薬剤師の使命と役割（あり方）の提案 Bパンデミックにおける薬剤師の使命と役割（あり方）の提案 CSDGsの推進における薬剤師の使命と役割（あり方）の提案 ★11回目の授業日に仮提出、12回目の授業日に本提出	PW		
10回	テーマ	文章作成の基本：課題レポートの作成②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑨ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本:課題レポートの作成③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
12回	テーマ	プレゼンテーションB「これからの薬剤師（医療人）としての使命と役割の提案」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○テーマ:課題レポートのテーマ ○テーマごとにチーム編成、意見交換 ○発表内容・構成、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションB「これからの薬剤師（医療人）としての使命と役割の提案」準備②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションB「これからの薬剤師（医療人）としての使命と役割の提案」発表会	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 30
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、テーマ別全体討論	GW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｂ（１薬）	開講学年	1	講義コード	1110302	区分	選必
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students (Department of Pharmaceutical sciences)	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	クラスによって担当教員が異なるため授業で知らせる。	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学6年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目
「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	23	14	2	53	8	100

教科書	SOJO基礎(薬学)2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」10点　2.成果発表(プレゼンテーションA「薬学科HP探究」)　・チーム発表(10分) 7点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 13点　3.成果発表(プレゼンテーションB「これからの薬剤師(医療人)としての使命と役割の提案」)　・チーム発表(10分) 7点　4.作品:授業資料(テキスト、時事WS、配布資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 2点　5.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　8.その他:時事ワークシート 2点×4回＝8点　★プレゼンテーションA・Bの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。　　遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。　3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA4判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	対面	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力 時事WS①	60 60
	内容	○「SOJO基礎（薬学）」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い ○時事ワークシート（4部）配布 ★5回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	オリエンテーション②	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 時事WS②	60 60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」準備①	対面	今週の活動とトップニュース② 時事WS③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○薬学科HPの改善案・新作案の提案 （受験生向け、他大学薬学科HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	GW		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」準備②	対面	今週の活動とトップニュース③ 時事WS④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」準備③	対面	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）；発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」発表会	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」発表会予備	対面	今週の活動とトップニュース⑥ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか ②個人としてどのような反省点があると考えるか ③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか ④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか ⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか （★各項目200文字以上、8回目の授業日に提出）	GW・PW		
8回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	対面	今週の活動とトップニュース⑦	60
	内容	○「振り返り」レポートの③～⑤について各メンバーが書いた内容をチーム内で討議し、まとめを全体向けに発表	GW		
9回	テーマ	文章作成の基本：課題レポートの作成①	対面	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 AAI時代の薬剤師の使命と役割（あり方）の提案 Bパンデミックにおける薬剤師の使命と役割（あり方）の提案 CSDGsの推進における薬剤師の使命と役割（あり方）の提案 ★11回目の授業日に仮提出、12回目の授業日に本提出	PW		
10回	テーマ	文章作成の基本：課題レポートの作成②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑨ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本：課題レポートの作成③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
12回	テーマ	プレゼンテーションB「これからの薬剤師（医療人）としての使命と役割の提案」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○テーマ：課題レポートのテーマ ○テーマごとにチーム編成、意見交換 ○発表内容・構成、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションB「これからの薬剤師（医療人）としての使命と役割の提案」準備②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションB「これからの薬剤師（医療人）としての使命と役割の提案」発表会	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 30
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、テーマ別全体討論	GW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｃ（１薬）	開講学年	1	講義コード	1110303	区分	選必
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students (Department of Pharmaceutical sciences)	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	クラスによって担当教員が異なるため授業で知らせる。	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学6年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目
「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	23	14	2	53	8	100

教科書	SOJO基礎(薬学)2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」10点　2.成果発表(プレゼンテーションA「薬学科HP探究」)　・チーム発表(10分) 7点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 13点　3.成果発表(プレゼンテーションB「これからの薬剤師(医療人)としての使命と役割の提案」)　・チーム発表(10分) 7点　4.作品:授業資料(テキスト、時事WS、配布資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 2点　5.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　8.その他:時事ワークシート 2点×4回＝8点　★プレゼンテーションA・Bの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。　　遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。　3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA4判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	対面	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力 時事WS①	60 60
	内容	○「SOJO基礎（薬学）」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い ○時事ワークシート（4部）配布 ★5回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	オリエンテーション②	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 時事WS②	60 60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」準備①	対面	今週の活動とトップニュース② 時事WS③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○薬学科HPの改善案・新作案の提案 （受験生向け、他大学薬学科HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	GW		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」準備②	対面	今週の活動とトップニュース③ 時事WS④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」準備③	対面	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）；発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」発表会	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」発表会予備	対面	今週の活動とトップニュース⑥ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか ②個人としてどのような反省点があると考えるか ③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか ④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか ⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか （★各項目200文字以上、8回目の授業日に提出）	GW・PW		
8回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	対面	今週の活動とトップニュース⑦	60
	内容	○「振り返り」レポートの③～⑤について各メンバーが書いた内容をチーム内で討議し、まとめを全体向けに発表	GW		
9回	テーマ	文章作成の基本：課題レポートの作成①	対面	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 AAI時代の薬剤師の使命と役割（あり方）の提案 Bパンデミックにおける薬剤師の使命と役割（あり方）の提案 CSDGsの推進における薬剤師の使命と役割（あり方）の提案 ★11回目の授業日に仮提出、12回目の授業日に本提出	PW		
10回	テーマ	文章作成の基本：課題レポートの作成②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑨ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本：課題レポートの作成③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
12回	テーマ	プレゼンテーションB「これからの薬剤師（医療人）としての使命と役割の提案」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○テーマ：課題レポートのテーマ ○テーマごとにチーム編成、意見交換 ○発表内容・構成、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションB「これからの薬剤師（医療人）としての使命と役割の提案」準備②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションB「これからの薬剤師（医療人）としての使命と役割の提案」発表会	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 30
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、テーマ別全体討論	GW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｄ（１薬）	開講学年	1	講義コード	1110304	区分	選必
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students (Department of Pharmaceutical sciences)	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	クラスによって担当教員が異なるため授業で知らせる。	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学6年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目
「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	23	14	2	53	8	100

教科書	SOJO基礎(薬学)2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」10点　2.成果発表(プレゼンテーションA「薬学科HP探究」)　・チーム発表(10分) 7点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 13点　3.成果発表(プレゼンテーションB「これからの薬剤師(医療人)としての使命と役割の提案」)　・チーム発表(10分) 7点　4.作品:授業資料(テキスト、時事WS、配布資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 2点　5.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　8.その他:時事ワークシート 2点×4回＝8点　★プレゼンテーションA・Bの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。　　遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。　3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA4判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	対面	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力 時事WS①	60 60
	内容	○「SOJO基礎（薬学）」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い ○時事ワークシート（4部）配布 ★5回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	オリエンテーション②	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 時事WS②	60 60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」準備①	対面	今週の活動とトップニュース② 時事WS③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○薬学科HPの改善案・新作案の提案 （受験生向け、他大学薬学科HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	GW		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」準備②	対面	今週の活動とトップニュース③ 時事WS④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」準備③	対面	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）；発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」発表会	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」発表会予備	対面	今週の活動とトップニュース⑥ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか ②個人としてどのような反省点があると考えるか ③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか ④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか ⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか （★各項目200文字以上、8回目の授業日に提出）	GW・PW		
8回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	対面	今週の活動とトップニュース⑦	60
	内容	○「振り返り」レポートの③～⑤について各メンバーが書いた内容をチーム内で討議し、まとめを全体向けに発表	GW		
9回	テーマ	文章作成の基本：課題レポートの作成①	対面	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 AAI時代の薬剤師の使命と役割（あり方）の提案 Bパンデミックにおける薬剤師の使命と役割（あり方）の提案 CSDGsの推進における薬剤師の使命と役割（あり方）の提案 ★11回目の授業日に仮提出、12回目の授業日に本提出	PW		
10回	テーマ	文章作成の基本：課題レポートの作成②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑨ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本：課題レポートの作成③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
12回	テーマ	プレゼンテーションB「これからの薬剤師（医療人）としての使命と役割の提案」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○テーマ：課題レポートのテーマ ○テーマごとにチーム編成、意見交換 ○発表内容・構成、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションB「これからの薬剤師（医療人）としての使命と役割の提案」準備②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションB「これからの薬剤師（医療人）としての使命と役割の提案」発表会	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 30
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、テーマ別全体討論	GW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ｅ（１薬）	開講学年	1	講義コード	1110305	区分	選必
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students (Department of Pharmaceutical sciences)	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	クラスによって担当教員が異なるため授業で知らせる。	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　大学学修　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「生徒」から「学生」になったことを自覚して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣を身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学6年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 5.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの(品質)に仕上げるとともに、提出日(納期)を厳守する習慣を身につける。

関連科目
「キャリアプレコーオプ」(2年前後期)

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「入学時自己診断シート」の作成をとおして自己の目標を定め、キャリアデザインの基礎を構築することができる。
	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	23	14	2	53	8	100

教科書	SOJO基礎(薬学)2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「課題レポート」10点　2.成果発表(プレゼンテーションA「薬学科HP探究」)　・チーム発表(10分) 7点　・「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート 13点　3.成果発表(プレゼンテーションB「これからの薬剤師(医療人)としての使命と役割の提案」)　・チーム発表(10分) 7点　4.作品:授業資料(テキスト、時事WS、配布資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 2点　5.ポートフォリオ:「入学時自己診断シート」3点　6.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　7.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　8.その他:時事ワークシート 2点×4回＝8点　★プレゼンテーションA・Bの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。　　遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。　3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA4判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション①	対面	★入学時自己診断シートは、5回目の授業前日までに入力 時事WS①	60 60
	内容	○「SOJO基礎（薬学）」の概要とシラバスの説明 ○大学で学ぶということ ○高校生と大学生、大学生と社会人の違い ○時事ワークシート（4部）配布 ★5回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	オリエンテーション②	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、2回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。5月連休中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 時事WS②	60 60
	内容	○「SOJOポートフォリオシステム」の説明 ○「今週の活動とトップニュース」の作成要領の説明 ○自身のキャリアの振り返りと将来設計 ○チームビルディングの要点の説明、チーム編成 ○チーム討議の進め方、BS、KJ法の説明と実践	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」準備①	対面	今週の活動とトップニュース② 時事WS③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60 60
	内容	○プレゼンテーションの基礎技法の説明 ○薬学科HPの改善案・新作案の提案 （受験生向け、他大学薬学科HPとの比較をベースに） ○発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定、Teams会議デモ	GW		
4回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」準備②	対面	今週の活動とトップニュース③ 時事WS④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		
5回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」準備③	対面	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）；発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
6回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」発表会	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
7回	テーマ	プレゼンテーションA「薬学科HP探究」発表会予備	対面	今週の活動とトップニュース⑥ 「振り返り」レポート作成	60 90
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関して、 ①個人としてどのような貢献をしたと考えるか ②個人としてどのような反省点があると考えるか ③チームとしてよかった点はどこにあると考えるか ④チームとして改善すべき点はどこにあると考えるか ⑤今後、チームとして一つのものを作り上げるにあたり、メンバーには何が求められると考えるか （★各項目200文字以上、8回目の授業日に提出）	GW・PW		
8回	テーマ	プレゼンテーションA 振り返り	対面	今週の活動とトップニュース⑦	60
	内容	○「振り返り」レポートの③～⑤について各メンバーが書いた内容をチーム内で討議し、まとめを全体向けに発表	GW		
9回	テーマ	文章作成の基本：課題レポートの作成①	対面	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○アカデミック・ライティングの基本の説明、レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○本文1,200文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報等）2件以上、タイトルは自分で設定 AAI時代の薬剤師の使命と役割（あり方）の提案 Bパンデミックにおける薬剤師の使命と役割（あり方）の提案 CSDGsの推進における薬剤師の使命と役割（あり方）の提案 ★11回目の授業日に仮提出、12回目の授業日に本提出	PW		
10回	テーマ	文章作成の基本：課題レポートの作成②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑨ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文章作成の基本：課題レポートの作成③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
12回	テーマ	プレゼンテーションB「これからの薬剤師（医療人）としての使命と役割の提案」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○テーマ：課題レポートのテーマ ○テーマごとにチーム編成、意見交換 ○発表内容・構成、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションB「これからの薬剤師（医療人）としての使命と役割の提案」準備②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションB「これからの薬剤師（医療人）としての使命と役割の提案」発表会	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 60 30
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、テーマ別全体討論	GW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	情報処理基礎◎Ａ（１機）	開講学年	1	講義コード	1110501	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川本 正道　稲生 誠治　田口 雄太

研究室	G510(川本 正道)　G507(稲生 誠治)　G509(田口 雄太)	オフィスアワー	メールアドレスは初回授業でお伝えします。オフィスアワーは下記、「学修上の注意」を参照ください。

メールアドレス	@

キーワード	リテラシー　情報リテラシー　コンピュータリテラシー　情報フルエンシー　　自己管理力

授業概要	情報通信技術(ICT)の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、ICT機器を道具として使いこなす能力、いわゆる情報リテラシー・コンピュータリテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。本授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシー・コンピュータリテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力(情報フルエンシー)を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。

関連科目

特殊講座(情報と社会)　特殊講座(ITパスポート)　特殊講座(情報コミュニケーション)

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修　【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目　【各科目に含めることが必要な事項】・・・情報機器の操作

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,e,f	a,e,f

JABEE記号		学生の到達度目標
e	①	PC、学内LMS、ネットワークを利用し、円滑に大学講義を受講することができる。
a, f	②	コミュニケーションする際、情報リテラシーを遵守することができる。
e	③	MS Officeソフト(Word, Excel, PowerPoint)の基本操作を把握し、各種資料を作成することができる。
e	④	MS Officeソフト(Excel)の基本操作を組み合わせ、応用的資料を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
			20	70			10		100

教科書	情報リテラシー　FOM出版　　9784938927530

参考書	

予備知識	PCを自分の能力を拡張する道具として使いこなすようになるための意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	(小テスト) 1.「情報セキュリティ」確認テスト: 10点 2.「著作権」確認テスト: 5点 3. タイピングテスト: 5点 (レポート) 4. メール演習課題: 5点 5. ファイル管理演習課題: 5点 6. Word, Excel, PowerPoint演習課題: 10点×3 7. Excel応用課題: 10点×2 8. 担当教員個別課題: 10点 (ポートフォリオ) 9. 科目の学修到達度レポート: 10点

学修上の注意 (SBOs)	・自身のPCを用いて演習を行なっていただくため、授業時は必ずPCを持参ください。 ・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなし、単位を認定しません。正しい引用を心がけてください。 ・資料配布や課題提出のため、WebClassという学習管理システム(LMS)やMS Teamsを利用します。これらには学外からのアクセスが可能であり、スマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用ください。 ・WebClass上で提出されたレポートへ適宜コメントを返します。このフィードバックもまたWebClass上で実施しますので、必ず参照ください。 ・質問や意見を歓迎します。疑問点をそのままにしないようにしてください。 ・クラスによって担当教員が異なります。各担当教員のオフィスアワーは以下となります。 川本: 水曜 3,4限　稲生: 水曜 3,4限　田口: 水曜 3,4,5限 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有することがあります。課題は自分の学修成果を発表する媒体でもあると考え、取り組んでください。 ・授業の進捗を考慮し、授業計画を一部変更する場合があります。その際は事前に周知します。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面 講義　演習	授業内容の復習、第2回授業の予習	60
	内容	・科目ガイダンス　・情報リテラシーとは何か　・情報活用力自己診断テスト(期初)			
2回	テーマ	情報リテラシー1	対面 講義　演習	メール演習課題、授業内容の復習、第3回授業の予習	90
	内容	・電子メールとは何か　・電子メールの利用(署名、テキスト形式、ファイル添付)			
3回	テーマ	情報リテラシー2	対面 講義　演習	授業内容の復習、第4回授業の予習	60
	内容	・学内LMSの利用　・演習室プリンタの利用			
4回	テーマ	コンピュータリテラシー	対面 講義　演習	ファイル管理演習課題、授業内容の復習、第5回授業の予習	90
	内容	・ファイル操作(データ管理、クラウド上のデータ操作、ファイル共有、バックアップ)			
5回	テーマ	プレゼンテーション	対面 講義　演習	PowerPoint演習課題、授業内容の復習、第6回授業の予習	90
	内容	・MS PowerPoint操作(基本操作、図形の作成・画像の挿入、表の作成、グラフの作成、SmartArt グラフィック等)			
6回	テーマ	文書作成	対面 講義　演習	Word演習課題、授業内容の復習、第7回授業の予習	90
	内容	・MS Wordの操作(基本操作、文書レイアウトの設定変更、画像の挿入、脚注の挿入等)			
7回	テーマ	インターネット・著作権	対面 講義　演習	「著作権」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第8回授業の予習	90
	内容	・インターネットの基礎知識(IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス)　・著作権の基礎知識			
8回	テーマ	表計算1	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第9回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(基本操作、表の作成・編集、グラフの作成等)			
9回	テーマ	表計算2	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第10回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(データの並び替え・抽出・集計、関数の利用等)			
10回	テーマ	表計算3	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第11回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 内容	表計算4 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第12回授業の予習	90
12回	テーマ 内容	表計算5 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第13回授業の予習	90
13回	テーマ 内容	情報セキュリティ ・情報セキュリティとは　・情報セキュリティの基礎知識	対面 講義　演習	「情報セキュリティ」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第14回授業の予習	90
14回	テーマ 内容	プログラミング ・プログラミングとは何か　・アルゴリズムとプログラム	対面 講義　演習	タイピングテストに向けた準備、授業内容の復習、第15回授業の予習	90
15回	テーマ 内容	まとめと振り返り ・情報活用力自己診断テスト(期末)　・総括	対面 講義　演習	授業内容の復習	60

科目名	情報処理基礎◎Ｂ（１機）	開講学年	1	講義コード	1110502	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川本 正道　稲生 誠治　田口 雄太

研究室	G510(川本 正道)　G507(稲生 誠治)　G509(田口 雄太)	オフィスアワー	メールアドレスは初回授業でお伝えします。オフィスアワーは下記、「学修上の注意」を参照ください。

メールアドレス	@

キーワード	リテラシー　情報リテラシー　コンピュータリテラシー　情報フルエンシー　　自己管理力

授業概要	情報通信技術(ICT)の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、ICT機器を道具として使いこなす能力、いわゆる情報リテラシー・コンピュータリテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。本授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシー・コンピュータリテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力(情報フルエンシー)を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。

関連科目

特殊講座(情報と社会)　特殊講座(ITパスポート)　特殊講座(情報コミュニケーション)

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修　【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目　【各科目に含めることが必要な事項】・・・情報機器の操作

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,e,f	a,e,f

JABEE記号		学生の到達度目標
e	①	PC、学内LMS、ネットワークを利用し、円滑に大学講義を受講することができる。
a, f	②	コミュニケーションする際、情報リテラシーを遵守することができる。
e	③	MS Officeソフト(Word, Excel, PowerPoint)の基本操作を把握し、各種資料を作成することができる。
e	④	MS Officeソフト(Excel)の基本操作を組み合わせ、応用的資料を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
			20	70			10		100

教科書	情報リテラシー　FOM出版　　9784938927530

参考書	

予備知識	PCを自分の能力を拡張する道具として使いこなすようになるための意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	(小テスト) 1.「情報セキュリティ」確認テスト: 10点 2.「著作権」確認テスト: 5点 3. タイピングテスト: 5点 (レポート) 4. メール演習課題: 5点 5. ファイル管理演習課題: 5点 6. Word, Excel, PowerPoint演習課題: 10点×3 7. Excel応用課題: 10点×2 8. 担当教員個別課題: 10点 (ポートフォリオ) 9. 科目の学修到達度レポート: 10点

学修上の注意 (SBOs)	・自身のPCを用いて演習を行なっていただくため、授業時は必ずPCを持参ください。 ・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなし、単位を認定しません。正しい引用を心がけてください。 ・資料配布や課題提出のため、WebClassという学習管理システム(LMS)やMS Teamsを利用します。これらには学外からのアクセスが可能であり、スマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用ください。 ・WebClass上で提出されたレポートへ適宜コメントを返します。このフィードバックもまたWebClass上で実施しますので、必ず参照ください。 ・質問や意見を歓迎します。疑問点をそのままにしないようにしてください。 ・クラスによって担当教員が異なります。各担当教員のオフィスアワーは以下となります。 川本: 水曜 3,4限　稲生: 水曜 3,4限　田口: 水曜 3,4,5限 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有することがあります。課題は自分の学修成果を発表する媒体でもあると考え、取り組んでください。 ・授業の進捗を考慮し、授業計画を一部変更する場合があります。その際は事前に周知します。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面 講義　演習	授業内容の復習、第2回授業の予習	60
	内容	・科目ガイダンス　・情報リテラシーとは何か　・情報活用力自己診断テスト(期初)			
2回	テーマ	情報リテラシー1	対面 講義　演習	メール演習課題、授業内容の復習、第3回授業の予習	90
	内容	・電子メールとは何か　・電子メールの利用(署名、テキスト形式、ファイル添付)			
3回	テーマ	情報リテラシー2	対面 講義　演習	授業内容の復習、第4回授業の予習	60
	内容	・学内LMSの利用　・演習室プリンタの利用			
4回	テーマ	コンピュータリテラシー	対面 講義　演習	ファイル管理演習課題、授業内容の復習、第5回授業の予習	90
	内容	・ファイル操作(データ管理、クラウド上のデータ操作、ファイル共有、バックアップ)			
5回	テーマ	プレゼンテーション	対面 講義　演習	PowerPoint演習課題、授業内容の復習、第6回授業の予習	90
	内容	・MS PowerPoint操作(基本操作、図形の作成・画像の挿入、表の作成、グラフの作成、SmartArt グラフィック等)			
6回	テーマ	文書作成	対面 講義　演習	Word演習課題、授業内容の復習、第7回授業の予習	90
	内容	・MS Wordの操作(基本操作、文書レイアウトの設定変更、画像の挿入、脚注の挿入等)			
7回	テーマ	インターネット・著作権	対面 講義　演習	「著作権」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第8回授業の予習	90
	内容	・インターネットの基礎知識(IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス)　・著作権の基礎知識			
8回	テーマ	表計算1	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第9回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(基本操作、表の作成・編集、グラフの作成等)			
9回	テーマ	表計算2	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第10回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(データの並び替え・抽出・集計、関数の利用等)			
10回	テーマ	表計算3	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第11回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	表計算4	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第12回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)			
12回	テーマ	表計算5	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第13回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)			
13回	テーマ	情報セキュリティ	対面 講義　演習	「情報セキュリティ」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第14回授業の予習	90
	内容	・情報セキュリティとは　・情報セキュリティの基礎知識			
14回	テーマ	プログラミング	対面 講義　演習	タイピングテストに向けた準備、授業内容の復習、第15回授業の予習	90
	内容	・プログラミングとは何か　・アルゴリズムとプログラム			
15回	テーマ	まとめと振り返り	対面 講義　演習	授業内容の復習	60
	内容	・情報活用方自己診断テスト(期末)　・総括			

科目名	情報処理基礎◎C（1機）	開講学年	1	講義コード	1110503	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川本 正道　稲生 誠治　田口 雄太

研究室	G510(川本 正道)　G507(稲生 誠治)　G509(田口 雄太)	オフィスアワー	メールアドレスは初回授業でお伝えします。オフィスアワーは下記、「学修上の注意」を参照ください。

メールアドレス	@

キーワード	リテラシー　情報リテラシー　コンピュータリテラシー　情報フルエンシー　自己管理力

授業概要	情報通信技術(ICT)の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、ICT機器を道具として使いこなす能力、いわゆる情報リテラシー・コンピュータリテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。本授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシー・コンピュータリテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力(情報フルエンシー)を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。

関連科目

特殊講座(情報と社会)　特殊講座(ITパスポート)　特殊講座(情報コミュニケーション)

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修　【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目　【各科目に含めることが必要な事項】・・・情報機器の操作

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,e,f	a,e,f

JABEE記号		学生の到達度目標
e	①	PC、学内LMS、ネットワークを利用し、円滑に大学講義を受講することができる。
a, f	②	コミュニケーションする際、情報リテラシーを遵守することができる。
e	③	MS Officeソフト(Word, Excel, PowerPoint)の基本操作を把握し、各種資料を作成することができる。
e	④	MS Officeソフト(Excel)の基本操作を組み合わせ、応用的資料を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
			20	70			10		100

教科書	情報リテラシー　FOM出版　　9784938927530

参考書	

予備知識	PCを自分の能力を拡張する道具として使いこなすようになるための意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	(小テスト) 1.「情報セキュリティ」確認テスト: 10点 2.「著作権」確認テスト: 5点 3. タイピングテスト: 5点 (レポート) 4. メール演習課題: 5点 5. ファイル管理演習課題: 5点 6. Word, Excel, PowerPoint演習課題: 10点×3 7. Excel応用課題: 10点×2 8. 担当教員個別課題: 10点 (ポートフォリオ) 9. 科目の学修到達度レポート: 10点

学修上の注意 (SBOs)	・自身のPCを用いて演習を行なっていただくため、授業時は必ずPCを持参ください。 ・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなし、単位を認定しません。正しい引用を心がけてください。 ・資料配布や課題提出のため、WebClassという学習管理システム(LMS)やMS Teamsを利用します。これらには学外からのアクセスが可能であり、スマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用ください。 ・WebClass上で提出されたレポートへ適宜コメントを返します。このフィードバックもまたWebClass上で実施しますので、必ず参照ください。 ・質問や意見を歓迎します。疑問点をそのままにしないようにしてください。 ・クラスによって担当教員が異なります。各担当教員のオフィスアワーは以下となります。 川本: 水曜 3,4限　稲生: 水曜 3,4限　田口: 水曜 3,4,5限 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有することがあります。課題は自分の学修成果を発表する媒体でもあると考え、取り組んでください。 ・授業の進捗を考慮し、授業計画を一部変更する場合があります。その際は事前に周知します。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面 講義　演習	授業内容の復習、第2回授業の予習	60
	内容	・科目ガイダンス　・情報リテラシーとは何か　・情報活用力自己診断テスト(期初)			
2回	テーマ	情報リテラシー1	対面 講義　演習	メール演習課題、授業内容の復習、第3回授業の予習	90
	内容	・電子メールとは何か　・電子メールの利用(署名、テキスト形式、ファイル添付)			
3回	テーマ	情報リテラシー2	対面 講義　演習	授業内容の復習、第4回授業の予習	60
	内容	・学内LMSの利用　・演習室プリンタの利用			
4回	テーマ	コンピュータリテラシー	対面 講義　演習	ファイル管理演習課題、授業内容の復習、第5回授業の予習	90
	内容	・ファイル操作(データ管理、クラウド上のデータ操作、ファイル共有、バックアップ)			
5回	テーマ	プレゼンテーション	対面 講義　演習	PowerPoint演習課題、授業内容の復習、第6回授業の予習	90
	内容	・MS PowerPoint操作(基本操作、図形の作成・画像の挿入、表の作成、グラフの作成、SmartArt グラフィック等)			
6回	テーマ	文書作成	対面 講義　演習	Word演習課題、授業内容の復習、第7回授業の予習	90
	内容	・MS Wordの操作(基本操作、文書レイアウトの設定変更、画像の挿入、脚注の挿入等)			
7回	テーマ	インターネット・著作権	対面 講義　演習	「著作権」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第8回授業の予習	90
	内容	・インターネットの基礎知識(IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス)　・著作権の基礎知識			
8回	テーマ	表計算1	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第9回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(基本操作、表の作成・編集、グラフの作成等)			
9回	テーマ	表計算2	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第10回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(データの並び替え・抽出・集計、関数の利用等)			
10回	テーマ	表計算3	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第11回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 内容	表計算4 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第12回授業の予習	90
12回	テーマ 内容	表計算5 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第13回授業の予習	90
13回	テーマ 内容	情報セキュリティ ・情報セキュリティとは　・情報セキュリティの基礎知識	対面 講義　演習	「情報セキュリティ」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第14回授業の予習	90
14回	テーマ 内容	プログラミング ・プログラミングとは何か　・アルゴリズムとプログラム	対面 講義　演習	タイピングテストに向けた準備、授業内容の復習、第15回授業の予習	90
15回	テーマ 内容	まとめと振り返り ・情報活用力自己診断テスト(期末)　・総括	対面 講義　演習	授業内容の復習	60

科目名	情報処理基礎◎Ａ（１ナ）	開講学年	1	講義コード	1110504	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川本 正道　稲生 誠治　田口 雄太

研究室	G510(川本 正道)　G507(稲生 誠治)　G509(田口 雄太)	オフィスアワー	メールアドレスは初回授業でお伝えします。オフィスアワーは下記、「学修上の注意」を参照ください。

メールアドレス	@

キーワード	リテラシー　情報リテラシー　コンピュータリテラシー　情報フルエンシー　　自己管理力

授業概要	情報通信技術(ICT)の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、ICT機器を道具として使いこなす能力、いわゆる情報リテラシー・コンピュータリテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。本授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシー・コンピュータリテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力(情報フルエンシー)を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。

関連科目

特殊講座(情報と社会)　特殊講座(ITパスポート)　特殊講座(情報コミュニケーション)

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修　【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目　【各科目に含めることが必要な事項】・・・情報機器の操作

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,e,f	a,e,f

JABEE記号		学生の到達度目標
e	①	PC、学内LMS、ネットワークを利用し、円滑に大学講義を受講することができる。
a, f	②	コミュニケーションする際、情報リテラシーを遵守することができる。
e	③	MS Officeソフト(Word, Excel, PowerPoint)の基本操作を把握し、各種資料を作成することができる。
e	④	MS Officeソフト(Excel)の基本操作を組み合わせ、応用的資料を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
			20	70			10		100

教科書	情報リテラシー　FOM出版　　9784938927530

参考書	

予備知識	PCを自分の能力を拡張する道具として使いこなすようになるための意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	(小テスト) 1.「情報セキュリティ」確認テスト: 10点 2.「著作権」確認テスト: 5点 3. タイピングテスト: 5点 (レポート) 4. メール演習課題: 5点 5. ファイル管理演習課題: 5点 6. Word, Excel, PowerPoint演習課題: 10点×3 7. Excel応用課題: 10点×2 8. 担当教員個別課題: 10点 (ポートフォリオ) 9. 科目の学修到達度レポート: 10点

学修上の注意 (SBOs)	・自身のPCを用いて演習を行なっていただくため、授業時は必ずPCを持参ください。 ・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなし、単位を認定しません。正しい引用を心がけてください。 ・資料配布や課題提出のため、WebClassという学習管理システム(LMS)やMS Teamsを利用します。これらには学外からのアクセスが可能であり、スマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用ください。 ・WebClass上で提出されたレポートへ適宜コメントを返します。このフィードバックもまたWebClass上で実施しますので、必ず参照ください。 ・質問や意見を歓迎します。疑問点をそのままにしないようにしてください。 ・クラスによって担当教員が異なります。各担当教員のオフィスアワーは以下となります。 川本: 水曜 3,4限　稲生: 水曜 3,4限　田口: 水曜 3,4,5限 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有することがあります。課題は自分の学修成果を発表する媒体でもあると考え、取り組んでください。 ・授業の進捗を考慮し、授業計画を一部変更する場合があります。その際は事前に周知します。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面 講義　演習	授業内容の復習、第2回授業の予習	60
	内容	・科目ガイダンス　・情報リテラシーとは何か　・情報活用力自己診断テスト(期初)			
2回	テーマ	情報リテラシー1	対面 講義　演習	メール演習課題、授業内容の復習、第3回授業の予習	90
	内容	・電子メールとは何か　・電子メールの利用(署名、テキスト形式、ファイル添付)			
3回	テーマ	情報リテラシー2	対面 講義　演習	授業内容の復習、第4回授業の予習	60
	内容	・学内LMSの利用　・演習室プリンタの利用			
4回	テーマ	コンピュータリテラシー	対面 講義　演習	ファイル管理演習課題、授業内容の復習、第5回授業の予習	90
	内容	・ファイル操作(データ管理、クラウド上のデータ操作、ファイル共有、バックアップ)			
5回	テーマ	プレゼンテーション	対面 講義　演習	PowerPoint演習課題、授業内容の復習、第6回授業の予習	90
	内容	・MS PowerPoint操作(基本操作、図形の作成・画像の挿入、表の作成、グラフの作成、SmartArt グラフィック等)			
6回	テーマ	文書作成	対面 講義　演習	Word演習課題、授業内容の復習、第7回授業の予習	90
	内容	・MS Wordの操作(基本操作、文書レイアウトの設定変更、画像の挿入、脚注の挿入等)			
7回	テーマ	インターネット・著作権	対面 講義　演習	「著作権」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第8回授業の予習	90
	内容	・インターネットの基礎知識(IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス)　・著作権の基礎知識			
8回	テーマ	表計算1	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第9回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(基本操作、表の作成・編集、グラフの作成等)			
9回	テーマ	表計算2	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第10回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(データの並び替え・抽出・集計、関数の利用等)			
10回	テーマ	表計算3	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第11回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	表計算4	対面	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第12回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)	講義　演習		
12回	テーマ	表計算5	対面	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第13回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)	講義　演習		
13回	テーマ	情報セキュリティ	対面	「情報セキュリティ」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第14回授業の予習	90
	内容	・情報セキュリティとは　・情報セキュリティの基礎知識	講義　演習		
14回	テーマ	プログラミング	対面	タイピングテストに向けた準備、授業内容の復習、第15回授業の予習	90
	内容	・プログラミングとは何か　・アルゴリズムとプログラム	講義　演習		
15回	テーマ	まとめと振り返り	対面	授業内容の復習	60
	内容	・情報活用力自己診断テスト(期末)　・総括	講義　演習		

科目名	情報処理基礎◎Ｂ（１ナ）	開講学年	1	講義コード	1110505	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	川本 正道　稲生 誠治　田口 雄太						
研究室	G510(川本 正道)　G507(稲生 誠治)　G509(田口 雄太)			オフィスアワー	メールアドレスは初回授業でお伝えします。オフィスアワーは下記、「学修上の注意」を参照ください。		
メールアドレス	@						
キーワード	リテラシー　情報リテラシー　コンピュータリテラシー　情報フルエンシー　自己管理力						

授業概要

情報通信技術(ICT)の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、ICT機器を道具として使いこなす能力、いわゆる情報リテラシー・コンピュータリテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。本授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシー・コンピュータリテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力(情報フルエンシー)を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。

関連科目

特殊講座(情報と社会)　特殊講座(ITパスポート)　特殊講座(情報コミュニケーション)

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修　【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目　【各科目に含めることが必要な事項】・・・情報機器の操作

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,e,f	a,e,f

JABEE記号		学生の到達度目標
e	①	PC、学内LMS、ネットワークを利用し、円滑に大学講義を受講することができる。
a, f	②	コミュニケーションする際、情報リテラシーを遵守することができる。
e	③	MS Officeソフト(Word, Excel, PowerPoint)の基本操作を把握し、各種資料を作成することができる。
e	④	MS Officeソフト(Excel)の基本操作を組み合わせ、応用的資料を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
			20	70			10		100

教科書

情報リテラシー　FOM出版　9784938927530

参考書

予備知識	PCを自分の能力を拡張する道具として使いこなすようになるための意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	(小テスト) 1.「情報セキュリティ」確認テスト: 10点 2.「著作権」確認テスト: 5点 3. タイピングテスト: 5点 (レポート) 4. メール演習課題: 5点 5. ファイル管理演習課題: 5点 6. Word, Excel, PowerPoint演習課題: 10点×3 7. Excel応用課題: 10点×2 8. 担当教員個別課題: 10点 (ポートフォリオ) 9. 科目の学修到達度レポート: 10点

学修上の注意 (SBOs)	・自身のPCを用いて演習を行なっていただくため、授業時は必ずPCを持参ください。 ・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなし、単位を認定しません。正しい引用を心がけてください。 ・資料配布や課題提出のため、WebClassという学習管理システム(LMS)やMS Teamsを利用します。これらには学外からのアクセスが可能であり、スマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用ください。 ・WebClass上で提出されたレポートへ適宜コメントを返します。このフィードバックもまたWebClass上で実施しますので、必ず参照ください。 ・質問や意見を歓迎します。疑問点をそのままにしないようにしてください。 ・クラスによって担当教員が異なります。各担当教員のオフィスアワーは以下となります。 川本: 水曜 3,4限　稲生: 水曜 3,4限　田口: 水曜 3,4,5限 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有することがあります。課題は自分の学修成果を発表する媒体でもあると考え、取り組んでください。 ・授業の進捗を考慮し、授業計画を一部変更する場合があります。その際は事前に周知します。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面 講義　演習	授業内容の復習、第2回授業の予習	60
	内容	・科目ガイダンス　・情報リテラシーとは何か　・情報活用力自己診断テスト(期初)			
2回	テーマ	情報リテラシー1	対面 講義　演習	メール演習課題、授業内容の復習、第3回授業の予習	90
	内容	・電子メールとは何か　・電子メールの利用(署名、テキスト形式、ファイル添付)			
3回	テーマ	情報リテラシー2	対面 講義　演習	授業内容の復習、第4回授業の予習	60
	内容	・学内LMSの利用　・演習室プリンタの利用			
4回	テーマ	コンピュータリテラシー	対面 講義　演習	ファイル管理演習課題、授業内容の復習、第5回授業の予習	90
	内容	・ファイル操作(データ管理、クラウド上のデータ操作、ファイル共有、バックアップ)			
5回	テーマ	プレゼンテーション	対面 講義　演習	PowerPoint演習課題、授業内容の復習、第6回授業の予習	90
	内容	・MS PowerPoint操作(基本操作、図形の作成・画像の挿入、表の作成、グラフの作成、SmartArt グラフィック等)			
6回	テーマ	文書作成	対面 講義　演習	Word演習課題、授業内容の復習、第7回授業の予習	90
	内容	・MS Wordの操作(基本操作、文書レイアウトの設定変更、画像の挿入、脚注の挿入等)			
7回	テーマ	インターネット・著作権	対面 講義　演習	「著作権」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第8回授業の予習	90
	内容	・インターネットの基礎知識(IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス)　・著作権の基礎知識			
8回	テーマ	表計算1	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第9回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(基本操作、表の作成・編集、グラフの作成等)			
9回	テーマ	表計算2	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第10回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(データの並び替え・抽出・集計、関数の利用等)			
10回	テーマ	表計算3	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第11回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	表計算4	対面	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第12回授業の予習	90
	内容	･MS Excelの操作(応用資料の作成)	講義　演習		
12回	テーマ	表計算5	対面	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第13回授業の予習	90
	内容	･MS Excelの操作(応用資料の作成)	講義　演習		
13回	テーマ	情報セキュリティ	対面	「情報セキュリティ」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第14回授業の予習	90
	内容	･情報セキュリティとは　･情報セキュリティの基礎知識	講義　演習		
14回	テーマ	プログラミング	対面	タイピングテストに向けた準備、授業内容の復習、第15回授業の予習	90
	内容	･プログラミングとは何か　･アルゴリズムとプログラム	講義　演習		
15回	テーマ	まとめと振り返り	対面	授業内容の復習	60
	内容	･情報活用力自己診断テスト(期末)　･総括	講義　演習		

科目名	情報処理基礎◎Ａ（１建）	開講学年	1	講義コード	1110506	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川本 正道　稲生 誠治　田口 雄太

研究室	G510(川本 正道)　G507(稲生 誠治)　G509(田口 雄太)	オフィスアワー	メールアドレスは初回授業でお伝えします。オフィスアワーは下記、「学修上の注意」を参照ください。

メールアドレス	@

キーワード	リテラシー　情報リテラシー　コンピュータリテラシー　情報フルエンシー　　自己管理力

授業概要	情報通信技術(ICT)の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、ICT機器を道具として使いこなす能力、いわゆる情報リテラシー・コンピュータリテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。本授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシー・コンピュータリテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力(情報フルエンシー)を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。

関連科目

特殊講座(情報と社会)　特殊講座(ITパスポート)　特殊講座(情報コミュニケーション)

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修　【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目　【各科目に含めることが必要な事項】・・・情報機器の操作

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,e,f	a,e,f

JABEE記号		学生の到達度目標
e	①	PC、学内LMS、ネットワークを利用し、円滑に大学講義を受講することができる。
a, f	②	コミュニケーションする際、情報リテラシーを遵守することができる。
e	③	MS Officeソフト(Word, Excel, PowerPoint)の基本操作を把握し、各種資料を作成することができる。
e	④	MS Officeソフト(Excel)の基本操作を組み合わせ、応用的資料を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
			20	70			10		100

教科書	情報リテラシー　FOM出版　　9784938927530

参考書	

予備知識	PCを自分の能力を拡張する道具として使いこなすようになるための意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	(小テスト) 1.「情報セキュリティ」確認テスト: 10点 2.「著作権」確認テスト: 5点 3. タイピングテスト: 5点 (レポート) 4. メール演習課題: 5点 5. ファイル管理演習課題: 5点 6. Word, Excel, PowerPoint演習課題: 10点×3 7. Excel応用課題: 10点×2 8. 担当教員個別課題: 10点 (ポートフォリオ) 9. 科目の学修到達度レポート: 10点

学修上の注意 (SBOs)	・自身のPCを用いて演習を行なっていただくため、授業時は必ずPCを持参ください。 ・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなし、単位を認定しません。正しい引用を心がけてください。 ・資料配布や課題提出のため、WebClassという学習管理システム(LMS)やMS Teamsを利用します。これらには学外からのアクセスが可能であり、スマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用ください。 ・WebClass上で提出されたレポートへ適宜コメントを返します。このフィードバックもまたWebClass上で実施しますので、必ず参照ください。 ・質問や意見を歓迎します。疑問点をそのままにしないようにしてください。 ・クラスによって担当教員が異なります。各担当教員のオフィスアワーは以下となります。 川本: 水曜 3,4限　稲生: 水曜 3,4限　田口: 水曜 3,4,5限 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有することがあります。課題は自分の学修成果を発表する媒体でもあると考え、取り組んでください。 ・授業の進捗を考慮し、授業計画を一部変更する場合があります。その際は事前に周知します。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面 講義　演習	授業内容の復習、第2回授業の予習	60
	内容	・科目ガイダンス　・情報リテラシーとは何か　・情報活用力自己診断テスト(期初)			
2回	テーマ	情報リテラシー1	対面 講義　演習	メール演習課題、授業内容の復習、第3回授業の予習	90
	内容	・電子メールとは何か　・電子メールの利用(署名、テキスト形式、ファイル添付)			
3回	テーマ	情報リテラシー2	対面 講義　演習	授業内容の復習、第4回授業の予習	60
	内容	・学内LMSの利用　・演習室プリンタの利用			
4回	テーマ	コンピュータリテラシー	対面 講義　演習	ファイル管理演習課題、授業内容の復習、第5回授業の予習	90
	内容	・ファイル操作(データ管理、クラウド上のデータ操作、ファイル共有、バックアップ)			
5回	テーマ	プレゼンテーション	対面 講義　演習	PowerPoint演習課題、授業内容の復習、第6回授業の予習	90
	内容	・MS PowerPoint操作(基本操作、図形の作成・画像の挿入、表の作成、グラフの作成、SmartArt グラフィック等)			
6回	テーマ	文書作成	対面 講義　演習	Word演習課題、授業内容の復習、第7回授業の予習	90
	内容	・MS Wordの操作(基本操作、文書レイアウトの設定変更、画像の挿入、脚注の挿入等)			
7回	テーマ	インターネット・著作権	対面 講義　演習	「著作権」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第8回授業の予習	90
	内容	・インターネットの基礎知識(IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス)　・著作権の基礎知識			
8回	テーマ	表計算1	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第9回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(基本操作、表の作成・編集、グラフの作成等)			
9回	テーマ	表計算2	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第10回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(データの並び替え・抽出・集計、関数の利用等)			
10回	テーマ	表計算3	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第11回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 内容	表計算4 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第12回授業の予習	90
12回	テーマ 内容	表計算5 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第13回授業の予習	90
13回	テーマ 内容	情報セキュリティ ・情報セキュリティとは　・情報セキュリティの基礎知識	対面 講義　演習	「情報セキュリティ」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第14回授業の予習	90
14回	テーマ 内容	プログラミング ・プログラミングとは何か　・アルゴリズムとプログラム	対面 講義　演習	タイピングテストに向けた準備、授業内容の復習、第15回授業の予習	90
15回	テーマ 内容	まとめと振り返り ・情報活用力自己診断テスト(期末)　・総括	対面 講義　演習	授業内容の復習	60

科目名	情報処理基礎◎Ｂ（１建）	開講学年	1	講義コード	1110507	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	川本 正道　稲生 誠治　田口 雄太						
研究室	G510(川本 正道)　G507(稲生 誠治)　G509(田口 雄太)			オフィスアワー	メールアドレスは初回授業でお伝えします。オフィスアワーは下記、「学修上の注意」を参照ください。		
メールアドレス	@						
キーワード	リテラシー　情報リテラシー　コンピュータリテラシー　情報フルエンシー　自己管理力						

授業概要	関連科目
情報通信技術(ICT)の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、ICT機器を道具として使いこなす能力、いわゆる情報リテラシー・コンピュータリテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。本授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシー・コンピュータリテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力(情報フルエンシー)を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。	特殊講座(情報と社会)　特殊講座(ITパスポート)　特殊講座(情報コミュニケーション)

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修　【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目　【各科目に含めることが必要な事項】・・・情報機器の操作

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,e,f	a,e,f

JABEE記号		学生の到達度目標
e	①	PC、学内LMS、ネットワークを利用し、円滑に大学講義を受講することができる。
a, f	②	コミュニケーションする際、情報リテラシーを遵守することができる。
e	③	MS Officeソフト(Word, Excel, PowerPoint)の基本操作を把握し、各種資料を作成することができる。
e	④	MS Officeソフト(Excel)の基本操作を組み合わせ、応用的資料を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
			20	70			10		100

教科書	情報リテラシー　FOM出版　　9784938927530
参考書	

予備知識	PCを自分の能力を拡張する道具として使いこなすようになるための意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	(小テスト) 1.「情報セキュリティ」確認テスト: 10点 2.「著作権」確認テスト: 5点 3. タイピングテスト: 5点 (レポート) 4. メール演習課題: 5点 5. ファイル管理演習課題: 5点 6. Word, Excel, PowerPoint演習課題: 10点×3 7. Excel応用課題: 10点×2 8. 担当教員個別課題: 10点 (ポートフォリオ) 9. 科目の学修到達度レポート: 10点

学修上の注意 (SBOs)	・自身のPCを用いて演習を行なっていただくため、授業時は必ずPCを持参ください。 ・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなし、単位を認定しません。正しい引用を心がけてください。 ・資料配布や課題提出のため、WebClassという学習管理システム(LMS)やMS Teamsを利用します。これらには学外からのアクセスが可能であり、スマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用ください。 ・WebClass上で提出されたレポートへ適宜コメントを返します。このフィードバックもまたWebClass上で実施しますので、必ず参照ください。 ・質問や意見を歓迎します。疑問点をそのままにしないようにしてください。 ・クラスによって担当教員が異なります。各担当教員のオフィスアワーは以下となります。 川本: 水曜 3,4限　稲生: 水曜 3,4限　田口: 水曜 3,4,5限 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有することがあります。課題は自分の学修成果を発表する媒体でもあると考え、取り組んでください。 ・授業の進捗を考慮し、授業計画を一部変更する場合があります。その際は事前に周知します。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	授業内容の復習、第2回授業の予習	60
	内容	・科目ガイダンス ・情報リテラシーとは何か ・情報活用力自己診断テスト(期初)	講義　演習		
2回	テーマ	情報リテラシー1	対面	メール演習課題、授業内容の復習、第3回授業の予習	90
	内容	・電子メールとは何か ・電子メールの利用(署名、テキスト形式、ファイル添付)	講義　演習		
3回	テーマ	情報リテラシー2	対面	授業内容の復習、第4回授業の予習	60
	内容	・学内LMSの利用 ・演習室プリンタの利用	講義　演習		
4回	テーマ	コンピュータリテラシー	対面	ファイル管理演習課題、授業内容の復習、第5回授業の予習	90
	内容	・ファイル操作(データ管理、クラウド上のデータ操作、ファイル共有、バックアップ)	講義　演習		
5回	テーマ	プレゼンテーション	対面	PowerPoint演習課題、授業内容の復習、第6回授業の予習	90
	内容	・MS PowerPoint操作(基本操作、図形の作成・画像の挿入、表の作成、グラフの作成、SmartArt グラフィック等)	講義　演習		
6回	テーマ	文書作成	対面	Word演習課題、授業内容の復習、第7回授業の予習	90
	内容	・MS Wordの操作(基本操作、文書レイアウトの設定変更、画像の挿入、脚注の挿入等)	講義　演習		
7回	テーマ	インターネット・著作権	対面	「著作権」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第8回授業の予習	90
	内容	・インターネットの基礎知識(IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス) ・著作権の基礎知識	講義　演習		
8回	テーマ	表計算1	対面	Excel演習課題、授業内容の復習、第9回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(基本操作、表の作成・編集、グラフの作成等)	講義　演習		
9回	テーマ	表計算2	対面	Excel演習課題、授業内容の復習、第10回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(データの並び替え・抽出・集計、関数の利用等)	講義　演習		
10回	テーマ	表計算3	対面	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第11回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 内容	表計算4 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第12回授業の予習	90
12回	テーマ 内容	表計算5 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第13回授業の予習	90
13回	テーマ 内容	情報セキュリティ ・情報セキュリティとは　・情報セキュリティの基礎知識	対面 講義　演習	「情報セキュリティ」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第14回授業の予習	90
14回	テーマ 内容	プログラミング ・プログラミングとは何か　・アルゴリズムとプログラム	対面 講義　演習	タイピングテストに向けた準備、授業内容の復習、第15回授業の予習	90
15回	テーマ 内容	まとめと振り返り ・情報活用力自己診断テスト(期末)　・総括	対面 講義　演習	授業内容の復習	60

科目名	情報処理基礎◎C（1建）	開講学年	1	講義コード	1110508	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川本 正道　稲生 誠治　田口 雄太

研究室	G510(川本 正道)　G507(稲生 誠治)　G509(田口 雄太)	オフィスアワー	メールアドレスは初回授業でお伝えします。オフィスアワーは下記、「学修上の注意」を参照ください。

メールアドレス	@

キーワード	リテラシー　情報リテラシー　コンピュータリテラシー　情報フルエンシー　自己管理力

授業概要	情報通信技術(ICT)の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、ICT機器を道具として使いこなす能力、いわゆる情報リテラシー・コンピュータリテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。本授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシー・コンピュータリテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力(情報フルエンシー)を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。

関連科目

特殊講座(情報と社会)　特殊講座(ITパスポート)　特殊講座(情報コミュニケーション)

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修　【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目　【各科目に含めることが必要な事項】・・・情報機器の操作

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,e,f	a,e,f

JABEE記号		学生の到達度目標
e	①	PC、学内LMS、ネットワークを利用し、円滑に大学講義を受講することができる。
a, f	②	コミュニケーションする際、情報リテラシーを遵守することができる。
e	③	MS Officeソフト(Word, Excel, PowerPoint)の基本操作を把握し、各種資料を作成することができる。
e	④	MS Officeソフト(Excel)の基本操作を組み合わせ、応用的資料を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
			20	70			10		100

教科書	情報リテラシー　FOM出版　　9784938927530

参考書	

予備知識	PCを自分の能力を拡張する道具として使いこなすようになるための意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	(小テスト) 1.「情報セキュリティ」確認テスト: 10点 2.「著作権」確認テスト: 5点 3. タイピングテスト: 5点 (レポート) 4. メール演習課題: 5点 5. ファイル管理演習課題: 5点 6. Word, Excel, PowerPoint演習課題: 10点×3 7. Excel応用課題: 10点×2 8. 担当教員個別課題: 10点 (ポートフォリオ) 9. 科目の学修到達度レポート: 10点

学修上の注意 (SBOs)	・自身のPCを用いて演習を行なっていただくため、授業時は必ずPCを持参ください。 ・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなし、単位を認定しません。正しい引用を心がけてください。 ・資料配布や課題提出のため、WebClassという学習管理システム(LMS)やMS Teamsを利用します。これらには学外からのアクセスが可能であり、スマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用ください。 ・WebClass上で提出されたレポートへ適宜コメントを返します。このフィードバックもまたWebClass上で実施しますので、必ず参照ください。 ・質問や意見を歓迎します。疑問点をそのままにしないようにしてください。 ・クラスによって担当教員が異なります。各担当教員のオフィスアワーは以下となります。 川本: 水曜 3,4限　稲生: 水曜 3,4限　田口: 水曜 3,4,5限 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有することがあります。課題は自分の学修成果を発表する媒体でもあると考え、取り組んでください。 ・授業の進捗を考慮し、授業計画を一部変更する場合があります。その際は事前に周知します。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	授業内容の復習、第2回授業の予習	60
	内容	・科目ガイダンス ・情報リテラシーとは何か ・情報活用力自己診断テスト(期初)	講義　演習		
2回	テーマ	情報リテラシー1	対面	メール演習課題、授業内容の復習、第3回授業の予習	90
	内容	・電子メールとは何か ・電子メールの利用(署名、テキスト形式、ファイル添付)	講義　演習		
3回	テーマ	情報リテラシー2	対面	授業内容の復習、第4回授業の予習	60
	内容	・学内LMSの利用 ・演習室プリンタの利用	講義　演習		
4回	テーマ	コンピュータリテラシー	対面	ファイル管理演習課題、授業内容の復習、第5回授業の予習	90
	内容	・ファイル操作(データ管理、クラウド上のデータ操作、ファイル共有、バックアップ)	講義　演習		
5回	テーマ	プレゼンテーション	対面	PowerPoint演習課題、授業内容の復習、第6回授業の予習	90
	内容	・MS PowerPoint操作(基本操作、図形の作成・画像の挿入、表の作成、グラフの作成、SmartArt グラフィック等)	講義　演習		
6回	テーマ	文書作成	対面	Word演習課題、授業内容の復習、第7回授業の予習	90
	内容	・MS Wordの操作(基本操作、文書レイアウトの設定変更、画像の挿入、脚注の挿入等)	講義　演習		
7回	テーマ	インターネット・著作権	対面	「著作権」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第8回授業の予習	90
	内容	・インターネットの基礎知識(IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス) ・著作権の基礎知識	講義　演習		
8回	テーマ	表計算1	対面	Excel演習課題、授業内容の復習、第9回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(基本操作、表の作成・編集、グラフの作成等)	講義　演習		
9回	テーマ	表計算2	対面	Excel演習課題、授業内容の復習、第10回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(データの並び替え・抽出・集計、関数の利用等)	講義　演習		
10回	テーマ	表計算3	対面	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第11回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	表計算4	対面	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第12回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)	講義　演習		
12回	テーマ	表計算5	対面	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第13回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)	講義　演習		
13回	テーマ	情報セキュリティ	対面	「情報セキュリティ」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第14回授業の予習	90
	内容	・情報セキュリティとは　・情報セキュリティの基礎知識	講義　演習		
14回	テーマ	プログラミング	対面	タイピングテストに向けた準備、授業内容の復習、第15回授業の予習	90
	内容	・プログラミングとは何か　・アルゴリズムとプログラム	講義　演習		
15回	テーマ	まとめと振り返り	対面	授業内容の復習	60
	内容	・情報活用方自己診断テスト(期末)　・総括	講義　演習		

科目名	情報処理基礎◎（１シス）	開講学年	1	講義コード	1110509	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川本 正道　稲生 誠治　田口 雄太

研究室	G510(川本 正道)　G507(稲生 誠治)　G509(田口 雄太)	オフィスアワー	メールアドレスは初回授業でお伝えします。オフィスアワーは下記、「学修上の注意」を参照ください。

メールアドレス	@

キーワード	リテラシー　情報リテラシー　コンピュータリテラシー　情報フルエンシー　　自己管理力

授業概要	情報通信技術(ICT)の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、ICT機器を道具として使いこなす能力、いわゆる情報リテラシー・コンピュータリテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。本授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシー・コンピュータリテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力(情報フルエンシー)を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。

関連科目

特殊講座(情報と社会)　特殊講座(ITパスポート)　特殊講座(情報コミュニケーション)

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修　【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目　【各科目に含めることが必要な事項】・・・情報機器の操作

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,e,f	a,e,f

JABEE記号		学生の到達度目標
e	①	PC、学内LMS、ネットワークを利用し、円滑に大学講義を受講することができる。
a, f	②	コミュニケーションする際、情報リテラシーを遵守することができる。
e	③	MS Officeソフト(Word, Excel, PowerPoint)の基本操作を把握し、各種資料を作成することができる。
e	④	MS Officeソフト(Excel)の基本操作を組み合わせ、応用的資料を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
			20	70			10		100

教科書	情報リテラシー　FOM出版　　9784938927530

参考書	

予備知識	PCを自分の能力を拡張する道具として使いこなすようになるための意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	(小テスト) 1.「情報セキュリティ」確認テスト: 10点 2.「著作権」確認テスト: 5点 3. タイピングテスト: 5点 (レポート) 4. メール演習課題: 5点 5. ファイル管理演習課題: 5点 6. Word, Excel, PowerPoint演習課題: 10点×3 7. Excel応用課題: 10点×2 8. 担当教員個別課題: 10点 (ポートフォリオ) 9. 科目の学修到達度レポート: 10点

学修上の注意 (SBOs)	・自身のPCを用いて演習を行なっていただくため、授業時は必ずPCを持参ください。 ・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなし、単位を認定しません。正しい引用を心がけてください。 ・資料配布や課題提出のため、WebClassという学習管理システム(LMS)やMS Teamsを利用します。これらには学外からのアクセスが可能であり、スマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用ください。 ・WebClass上で提出されたレポートへ適宜コメントを返します。このフィードバックもまたWebClass上で実施しますので、必ず参照ください。 ・質問や意見を歓迎します。疑問点をそのままにしないようにしてください。 ・クラスによって担当教員が異なります。各担当教員のオフィスアワーは以下となります。 川本: 水曜 3,4限　稲生: 水曜 3,4限　田口: 水曜 3,4,5限 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有することがあります。課題は自分の学修成果を発表する媒体でもあると考え、取り組んでください。 ・授業の進捗を考慮し、授業計画を一部変更する場合があります。その際は事前に周知します。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面 講義　演習	授業内容の復習、第2回授業の予習	60
	内容	・科目ガイダンス　・情報リテラシーとは何か　・情報活用力自己診断テスト(期初)			
2回	テーマ	情報リテラシー1	対面 講義　演習	メール演習課題、授業内容の復習、第3回授業の予習	90
	内容	・電子メールとは何か　・電子メールの利用(署名、テキスト形式、ファイル添付)			
3回	テーマ	情報リテラシー2	対面 講義　演習	授業内容の復習、第4回授業の予習	60
	内容	・学内LMSの利用　・演習室プリンタの利用			
4回	テーマ	コンピュータリテラシー	対面 講義　演習	ファイル管理演習課題、授業内容の復習、第5回授業の予習	90
	内容	・ファイル操作(データ管理、クラウド上のデータ操作、ファイル共有、バックアップ)			
5回	テーマ	プレゼンテーション	対面 講義　演習	PowerPoint演習課題、授業内容の復習、第6回授業の予習	90
	内容	・MS PowerPoint操作(基本操作、図形の作成・画像の挿入、表の作成、グラフの作成、SmartArt グラフィック等)			
6回	テーマ	文書作成	対面 講義　演習	Word演習課題、授業内容の復習、第7回授業の予習	90
	内容	・MS Wordの操作(基本操作、文書レイアウトの設定変更、画像の挿入、脚注の挿入等)			
7回	テーマ	インターネット・著作権	対面 講義　演習	「著作権」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第8回授業の予習	90
	内容	・インターネットの基礎知識(IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス)　・著作権の基礎知識			
8回	テーマ	表計算1	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第9回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(基本操作、表の作成・編集、グラフの作成等)			
9回	テーマ	表計算2	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第10回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(データの並び替え・抽出・集計、関数の利用等)			
10回	テーマ	表計算3	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第11回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 内容	表計算4 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第12回授業の予習	90
12回	テーマ 内容	表計算5 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第13回授業の予習	90
13回	テーマ 内容	情報セキュリティ ・情報セキュリティとは　・情報セキュリティの基礎知識	対面 講義　演習	「情報セキュリティ」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第14回授業の予習	90
14回	テーマ 内容	プログラミング ・プログラミングとは何か　・アルゴリズムとプログラム	対面 講義　演習	タイピングテストに向けた準備、授業内容の復習、第15回授業の予習	90
15回	テーマ 内容	まとめと振り返り ・情報活用力自己診断テスト(期末)　・総括	対面 講義　演習	授業内容の復習	60

科目名	情報処理基礎◎（１整備）	開講学年	1	講義コード	1110510	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川本 正道　稲生 誠治　田口 雄太

研究室	G510(川本 正道)　G507(稲生 誠治)　G509(田口 雄太)	オフィスアワー	メールアドレスは初回授業でお伝えします。オフィスアワーは下記、「学修上の注意」を参照ください。

メールアドレス	@

キーワード	リテラシー　情報リテラシー　コンピュータリテラシー　情報フルエンシー　　自己管理力

授業概要	情報通信技術(ICT)の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、ICT機器を道具として使いこなす能力、いわゆる情報リテラシー・コンピュータリテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。本授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシー・コンピュータリテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力(情報フルエンシー)を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。

関連科目

特殊講座(情報と社会)　特殊講座(ITパスポート)　特殊講座(情報コミュニケーション)

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修　【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目　【各科目に含めることが必要な事項】・・・情報機器の操作

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,e,f	a,e,f

JABEE記号		学生の到達度目標
e	①	PC、学内LMS、ネットワークを利用し、円滑に大学講義を受講することができる。
a, f	②	コミュニケーションする際、情報リテラシーを遵守することができる。
e	③	MS Officeソフト(Word, Excel, PowerPoint)の基本操作を把握し、各種資料を作成することができる。
e	④	MS Officeソフト(Excel)の基本操作を組み合わせ、応用的資料を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
			20	70			10		100

教科書	情報リテラシー　FOM出版　　9784938927530

参考書	

予備知識	PCを自分の能力を拡張する道具として使いこなすようになるための意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	(小テスト) 1.「情報セキュリティ」確認テスト: 10点 2.「著作権」確認テスト: 5点 3. タイピングテスト: 5点 (レポート) 4. メール演習課題: 5点 5. ファイル管理演習課題: 5点 6. Word, Excel, PowerPoint演習課題: 10点×3 7. Excel応用課題: 10点×2 8. 担当教員個別課題: 10点 (ポートフォリオ) 9. 科目の学修到達度レポート: 10点

学修上の注意 (SBOs)	・自身のPCを用いて演習を行なっていただくため、授業時は必ずPCを持参ください。 ・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなし、単位を認定しません。正しい引用を心がけてください。 ・資料配布や課題提出のため、WebClassという学習管理システム(LMS)やMS Teamsを利用します。これらには学外からのアクセスが可能であり、スマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用ください。 ・WebClass上で提出されたレポートへ適宜コメントを返します。このフィードバックもまたWebClass上で実施しますので、必ず参照ください。 ・質問や意見を歓迎します。疑問点をそのままにしないようにしてください。 ・クラスによって担当教員が異なります。各担当教員のオフィスアワーは以下となります。 川本: 水曜 3,4限　稲生: 水曜 3,4限　田口: 水曜 3,4,5限 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有することがあります。課題は自分の学修成果を発表する媒体でもあると考え、取り組んでください。 ・授業の進捗を考慮し、授業計画を一部変更する場合があります。その際は事前に周知します。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面 講義　演習	授業内容の復習、第2回授業の予習	60
	内容	・科目ガイダンス　・情報リテラシーとは何か　・情報活用力自己診断テスト(期初)			
2回	テーマ	情報リテラシー1	対面 講義　演習	メール演習課題、授業内容の復習、第3回授業の予習	90
	内容	・電子メールとは何か　・電子メールの利用(署名、テキスト形式、ファイル添付)			
3回	テーマ	情報リテラシー2	対面 講義　演習	授業内容の復習、第4回授業の予習	60
	内容	・学内LMSの利用　・演習室プリンタの利用			
4回	テーマ	コンピュータリテラシー	対面 講義　演習	ファイル管理演習課題、授業内容の復習、第5回授業の予習	90
	内容	・ファイル操作(データ管理、クラウド上のデータ操作、ファイル共有、バックアップ)			
5回	テーマ	プレゼンテーション	対面 講義　演習	PowerPoint演習課題、授業内容の復習、第6回授業の予習	90
	内容	・MS PowerPoint操作(基本操作、図形の作成・画像の挿入、表の作成、グラフの作成、SmartArt グラフィック等)			
6回	テーマ	文書作成	対面 講義　演習	Word演習課題、授業内容の復習、第7回授業の予習	90
	内容	・MS Wordの操作(基本操作、文書レイアウトの設定変更、画像の挿入、脚注の挿入等)			
7回	テーマ	インターネット・著作権	対面 講義　演習	「著作権」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第8回授業の予習	90
	内容	・インターネットの基礎知識(IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス)　・著作権の基礎知識			
8回	テーマ	表計算1	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第9回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(基本操作、表の作成・編集、グラフの作成等)			
9回	テーマ	表計算2	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第10回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(データの並び替え・抽出・集計、関数の利用等)			
10回	テーマ	表計算3	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第11回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 内容	表計算4 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第12回授業の予習	90
12回	テーマ 内容	表計算5 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第13回授業の予習	90
13回	テーマ 内容	情報セキュリティ ・情報セキュリティとは　・情報セキュリティの基礎知識	対面 講義　演習	「情報セキュリティ」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第14回授業の予習	90
14回	テーマ 内容	プログラミング ・プログラミングとは何か　・アルゴリズムとプログラム	対面 講義　演習	タイピングテストに向けた準備、授業内容の復習、第15回授業の予習	90
15回	テーマ 内容	まとめと振り返り ・情報活用力自己診断テスト(期末)　・総括	対面 講義　演習	授業内容の復習	60

科目名	情報処理基礎◎（１操縦）	開講学年	1	講義コード	1110511	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川本 正道　稲生 誠治　田口 雄太

研究室	G510(川本 正道)　G507(稲生 誠治)　G509(田口 雄太)	オフィスアワー	メールアドレスは初回授業でお伝えします。オフィスアワーは下記、「学修上の注意」を参照ください。

メールアドレス	@

キーワード	リテラシー　情報リテラシー　コンピュータリテラシー　情報フルエンシー　　自己管理力

授業概要	情報通信技術(ICT)の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、ICT機器を道具として使いこなす能力、いわゆる情報リテラシー・コンピュータリテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。本授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシー・コンピュータリテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力(情報フルエンシー)を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。

関連科目

特殊講座(情報と社会)　特殊講座(ITパスポート)　特殊講座(情報コミュニケーション)

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修　【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目　【各科目に含めることが必要な事項】・・・情報機器の操作

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,e,f	a,e,f

JABEE記号		学生の到達度目標
e	①	PC、学内LMS、ネットワークを利用し、円滑に大学講義を受講することができる。
a, f	②	コミュニケーションする際、情報リテラシーを遵守することができる。
e	③	MS Officeソフト(Word, Excel, PowerPoint)の基本操作を把握し、各種資料を作成することができる。
e	④	MS Officeソフト(Excel)の基本操作を組み合わせ、応用的資料を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
			20	70			10		100

教科書	情報リテラシー　FOM出版　　9784938927530

参考書	

予備知識	PCを自分の能力を拡張する道具として使いこなすようになるための意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	(小テスト) 1.「情報セキュリティ」確認テスト: 10点 2.「著作権」確認テスト: 5点 3. タイピングテスト: 5点 (レポート) 4. メール演習課題: 5点 5. ファイル管理演習課題: 5点 6. Word, Excel, PowerPoint演習課題: 10点×3 7. Excel応用課題: 10点×2 8. 担当教員個別課題: 10点 (ポートフォリオ) 9. 科目の学修到達度レポート: 10点

学修上の注意 (SBOs)	・自身のPCを用いて演習を行なっていただくため、授業時は必ずPCを持参ください。 ・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなし、単位を認定しません。正しい引用を心がけてください。 ・資料配布や課題提出のため、WebClassという学習管理システム(LMS)やMS Teamsを利用します。これらには学外からのアクセスが可能であり、スマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用ください。 ・WebClass上で提出されたレポートへ適宜コメントを返します。このフィードバックもまたWebClass上で実施しますので、必ず参照ください。 ・質問や意見を歓迎します。疑問点をそのままにしないようにしてください。 ・クラスによって担当教員が異なります。各担当教員のオフィスアワーは以下となります。 川本: 水曜 3,4限　稲生: 水曜 3,4限　田口: 水曜 3,4,5限 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有することがあります。課題は自分の学修成果を発表する媒体でもあると考え、取り組んでください。 ・授業の進捗を考慮し、授業計画を一部変更する場合があります。その際は事前に周知します。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面 講義　演習	授業内容の復習、第2回授業の予習	60
	内容	・科目ガイダンス　・情報リテラシーとは何か　・情報活用力自己診断テスト(期初)			
2回	テーマ	情報リテラシー1	対面 講義　演習	メール演習課題、授業内容の復習、第3回授業の予習	90
	内容	・電子メールとは何か　・電子メールの利用(署名、テキスト形式、ファイル添付)			
3回	テーマ	情報リテラシー2	対面 講義　演習	授業内容の復習、第4回授業の予習	60
	内容	・学内LMSの利用　・演習室プリンタの利用			
4回	テーマ	コンピュータリテラシー	対面 講義　演習	ファイル管理演習課題、授業内容の復習、第5回授業の予習	90
	内容	・ファイル操作(データ管理、クラウド上のデータ操作、ファイル共有、バックアップ)			
5回	テーマ	プレゼンテーション	対面 講義　演習	PowerPoint演習課題、授業内容の復習、第6回授業の予習	90
	内容	・MS PowerPoint操作(基本操作、図形の作成・画像の挿入、表の作成、グラフの作成、SmartArt グラフィック等)			
6回	テーマ	文書作成	対面 講義　演習	Word演習課題、授業内容の復習、第7回授業の予習	90
	内容	・MS Wordの操作(基本操作、文書レイアウトの設定変更、画像の挿入、脚注の挿入等)			
7回	テーマ	インターネット・著作権	対面 講義　演習	「著作権」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第8回授業の予習	90
	内容	・インターネットの基礎知識(IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス)　・著作権の基礎知識			
8回	テーマ	表計算1	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第9回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(基本操作、表の作成・編集、グラフの作成等)			
9回	テーマ	表計算2	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第10回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(データの並び替え・抽出・集計、関数の利用等)			
10回	テーマ	表計算3	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第11回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	表計算4	対面	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第12回授業の予習	90
	内容	･MS Excelの操作(応用資料の作成)	講義　演習		
12回	テーマ	表計算5	対面	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第13回授業の予習	90
	内容	･MS Excelの操作(応用資料の作成)	講義　演習		
13回	テーマ	情報セキュリティ	対面	「情報セキュリティ」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第14回授業の予習	90
	内容	･情報セキュリティとは　･情報セキュリティの基礎知識	講義　演習		
14回	テーマ	プログラミング	対面	タイピングテストに向けた準備、授業内容の復習、第15回授業の予習	90
	内容	･プログラミングとは何か　･アルゴリズムとプログラム	講義　演習		
15回	テーマ	まとめと振り返り	対面	授業内容の復習	60
	内容	･情報活用力自己診断テスト(期末)　･総括	講義　演習		

科目名	情報処理基礎◎Ａ（１情）	開講学年	1	講義コード	1110512	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	齋藤 暁

研究室	F514	オフィスアワー	金曜日５時限

メールアドレス	st@cis.sojo-u.ac.jp

キーワード	PCの基本操作　情報倫理

授業概要	あらゆるデータが電子化され、インターネットが普及した現在、PCの基本操作とネットワーク通信の初歩的利用技術の習得は、社会において有用な人材となる上で必要不可欠である。本講義では、PCの基本操作とインターネットの活用方法について学び、情報化社会において必要な情報倫理について学習する。本学での情報教育への導入的な講義であり、情報学科においても必修科目となっている。　高等学校普通免許状（情報）の取得における教科に関する科目区分 情報機器の操作 のうちの必修科目である。　なお、今年度の本授業は図書館5階のPC演習室で実施する。図書館入館のため学生証を毎回持参すること。また、演習室のPCは再起動時にユーザデータは消去されるため、授業で作成したファイルはUSBメモリを持参して保存するか、クラウドストレージ（授業中に指示する）に保存すること。あるいは、ノートPCを持参してそれを用いて授業に参加しても構わない。

関連科目
この講義は本学での情報教育への導入的な講義であるので、情報学科のほぼすべての科目に関わりがある。

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・情報機器の操作

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	PCの基本操作の習得および文書,表計算,プレゼンテーション資料の作成方法の習得
	②	電子メールやWebサイトの活用方法の習得およびネットワーク社会における情報倫理の習得
	③	簡単なコマンドラインからの操作技術の習得および初歩的なプログラミングの考え方の習得
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	40	20	20	10	10	0	0	100

教科書	授業の中で指示する

参考書	

予備知識	特段の予備知識は要求しないが、情報学科の学生として当然持っているべき情報技術への興味関心を受講の前提とする。
実務経験のある教員	
評価明細基準	テーマ毎に演習課題を課し、その結果によりテーマ毎の到達度を評価する。この合計点を60点満点で評価する。 期末試験または期末試験相当の課題を40点満点で評価する。 以上の合計100点満点で評価する。

学修上の注意 (SBOs)	この講義のスライドおよび小テストあるいは課題は、毎回eラーニングツール（WebClass）上にアップロードされるので、授業中に完了しなかった小テストと課題は、自宅でも取り組むことができる。　なお、提出物は受講者の実力を測るためのものであるので、各受講者が個別に作成すること。剽窃、盗作や他者提供といった不正があった場合、厳正に対処する。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Windows PCの基本的な操作方法	講義　演習	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	120
	内容	ノートPCのセットアップ、Office365のインストール、初歩的なメーラーの使い方　Microsoft Windows の基本的な操作方法　講義の概要、Windowsの操作、キーボード操作、日本語入力			
2回	テーマ	プレゼンテーションと文書作成の基礎	講義　演習	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	90
	内容	簡単なプレゼンテーションスライドとワープロ文書の作成			
3回	テーマ	文書作成	演習　e-L	演習課題が完了しない場合は宿題とする。	120
	内容	課題演習			
4回	テーマ	表計算とグラフ	講義　演習	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	表の作成とグラフ表示			
5回	テーマ	表計算とグラフ	講義　演習	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	表の操作、関数			
6回	テーマ	表計算とグラフ	演習　e-L	演習課題が完了しない場合は宿題とする。	120
	内容	課題演習			
7回	テーマ	電子メール	講義　演習	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	電子メールの操作、情報倫理			
8回	テーマ	インターネット概説	講義　演習	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	インターネットの概観、情報倫理			
9回	テーマ	WWW	講義　演習	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	WWWの基礎、Webサイトの仕組			
10回	テーマ	WWW	講義　演習	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	HTMLの書式と簡単なWebページ作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーション発表準備	講義 演習 e-L	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	120
	内容	プレゼンテーション資料作成 提示された題材について、各自、プレゼンテーションスライドを作成する。 これを次回の発表会で発表することになる。			
12回	テーマ	プレゼンテーション発表会	演習 SGD	相互評価が完了しない場合は宿題とする。	75
	内容	組を作って、プレゼンテーションの相互評価を行う			
13回	テーマ	コマンドライン	講義 演習 e-L	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。	180
	内容	Windowsコマンドプロンプトの使い方			
14回	テーマ	UNIX基礎	講義 演習 e-L	授業で習った事項を復習すること。	180
	内容	UNIX系OS、Bashの使い方			
15回	テーマ	簡単なプログラミング	講義 演習 e-L	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。	180
	内容	VBSプログラミングの初歩の初歩			
16回	テーマ	期末試験	試験	これまでに習った内容すべてをよく復習して臨むこと。	240
	内容	期末試験			

科目名	情報処理基礎◎Ｂ（１情）	開講学年	1	講義コード	1110513	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	齋藤 暁						
研究室	F514	オフィスアワー	金曜日５時限				
メールアドレス	st@cis.sojo-u.ac.jp						
キーワード	PCの基本操作　情報倫理						

授業概要

あらゆるデータが電子化され、インターネットが普及した現在、PCの基本操作とネットワーク通信の初歩的利用技術の習得は、社会において有用な人材となる上で必要不可欠である。本講義では、PCの基本操作とインターネットの活用方法について学び、情報化社会において必要な情報倫理について学習する。本学での情報教育への導入的な講義であり、情報学科においても必修科目となっている。　高等学校普通免許状(情報)の取得における教科に関する科目区分 情報機器の操作 のうちの必修科目である。　なお、今年度の本授業は図書館5階のPC演習室で実施する。図書館入館のため学生証を毎回持参すること。また、演習室のPCは再起動時にユーザデータは消去されるため、授業で作成したファイルはUSBメモリを持参して保存するか、クラウドストレージ(授業中に指示する)に保存すること。あるいは、ノートPCを持参してそれを用いて授業に参加しても構わない。

関連科目

この講義は本学での情報教育への導入的な講義であるので、情報学科のほぼすべての科目に関わりがある。

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･情報機器の操作

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	PCの基本操作の習得および文書,表計算,プレゼンテーション資料の作成方法の習得
	②	電子メールやWebサイトの活用方法の習得およびネットワーク社会における情報倫理の習得
	③	簡単なコマンドラインからの操作技術の習得および初歩的なプログラミングの考え方の習得
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	40	20	20	10	10	0	0	100

教科書

授業の中で指示する

参考書

予備知識	特段の予備知識は要求しないが、情報学科の学生として当然持っているべき情報技術への興味関心を受講の前提とする。
実務経験のある教員	
評価明細基準	テーマ毎に演習課題を課し、その結果によりテーマ毎の到達度を評価する。この合計点を60点満点で評価する。 期末試験または期末試験相当の課題を40点満点で評価する。 以上の合計100点満点で評価する。

学修上の注意 (SBOs)	この講義のスライドおよび小テストあるいは課題は、毎回eラーニングツール（WebClass）上にアップロードされるので、授業中に完了しなかった小テストと課題は、自宅でも取り組むことができる。　なお、提出物は受講者の実力を測るためのものであるので、各受講者が個別に作成すること。剽窃、盗作や他者提供といった不正があった場合、厳正に対処する。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Windows PCの基本的な操作方法	講義　演習	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	120
	内容	ノートPCのセットアップ、Office365のインストール、初歩的なメーラーの使い方　Microsoft Windows の基本的な操作方法　講義の概要、Windowsの操作、キーボード操作、日本語入力			
2回	テーマ	プレゼンテーションと文書作成の基礎	講義　演習	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	90
	内容	簡単なプレゼンテーションスライドとワープロ文書の作成			
3回	テーマ	文書作成	演習　e-L	演習課題が完了しない場合は宿題とする。	120
	内容	課題演習			
4回	テーマ	表計算とグラフ	講義　演習	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	表の作成とグラフ表示			
5回	テーマ	表計算とグラフ	講義　演習	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	表の操作、関数			
6回	テーマ	表計算とグラフ	演習　e-L	演習課題が完了しない場合は宿題とする。	120
	内容	課題演習			
7回	テーマ	電子メール	講義　演習	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	電子メールの操作、情報倫理			
8回	テーマ	インターネット概説	講義　演習	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	インターネットの概観、情報倫理			
9回	テーマ	WWW	講義　演習	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	WWWの基礎、Webサイトの仕組			
10回	テーマ	WWW	講義　演習	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	60
	内容	HTMLの書式と簡単なWebページ作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーション発表準備	講義 演習 e-L	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。また、各人の興味に応じていろいろなアプリケーションを試してみると良い。	120
	内容	プレゼンテーション資料作成 提示された題材について、各自、プレゼンテーションスライドを作成する。 これを次回の発表会で発表することになる。			
12回	テーマ	プレゼンテーション発表会	演習 SGD	相互評価が完了しない場合は宿題とする。	75
	内容	組を作って、プレゼンテーションの相互評価を行う			
13回	テーマ	コマンドライン	講義 演習 e-L	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。	180
	内容	Windowsコマンドプロンプトの使い方			
14回	テーマ	UNIX基礎	講義 演習 e-L	授業で習った事項を復習すること。	180
	内容	UNIX系OS、Bashの使い方			
15回	テーマ	簡単なプログラミング	講義 演習 e-L	各人のノートPCまたは演習室PCを使って、授業で習った事項を復習すること。	180
	内容	VBSプログラミングの初歩の初歩			
16回	テーマ	期末試験	試験	これまでに習った内容すべてをよく復習して臨むこと。	240
	内容	期末試験			

科目名	情報処理基礎◎A①（1生物）	開講学年	1	講義コード	1110514	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川本 正道　稲生 誠治　田口 雄太

研究室	G510(川本 正道)　G507(稲生 誠治)　G509(田口 雄太)	オフィスアワー	メールアドレスは初回授業でお伝えします。オフィスアワーは下記、「学修上の注意」を参照ください。

メールアドレス	@

キーワード	リテラシー　情報リテラシー　コンピュータリテラシー　情報フルエンシー　　自己管理力

授業概要	情報通信技術(ICT)の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、ICT機器を道具として使いこなす能力、いわゆる情報リテラシー・コンピュータリテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。本授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシー・コンピュータリテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力(情報フルエンシー)を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。

関連科目

特殊講座(情報と社会)　特殊講座(ITパスポート)　特殊講座(情報コミュニケーション)

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修　【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目　【各科目に含めることが必要な事項】・・・情報機器の操作

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,e,f	a,e,f

JABEE記号		学生の到達度目標
e	①	PC、学内LMS、ネットワークを利用し、円滑に大学講義を受講することができる。
a, f	②	コミュニケーションする際、情報リテラシーを遵守することができる。
e	③	MS Officeソフト(Word, Excel, PowerPoint)の基本操作を把握し、各種資料を作成することができる。
e	④	MS Officeソフト(Excel)の基本操作を組み合わせ、応用的資料を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
			20	70			10		100

教科書	情報リテラシー　FOM出版　　9784938927530

参考書	

予備知識	PCを自分の能力を拡張する道具として使いこなすようになるための意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	(小テスト) 1.「情報セキュリティ」確認テスト: 10点 2.「著作権」確認テスト: 5点 3. タイピングテスト: 5点 (レポート) 4. メール演習課題: 5点 5. ファイル管理演習課題: 5点 6. Word, Excel, PowerPoint演習課題: 10点×3 7. Excel応用課題: 10点×2 8. 担当教員個別課題: 10点 (ポートフォリオ) 9. 科目の学修到達度レポート: 10点

学修上の注意 (SBOs)	・自身のPCを用いて演習を行なっていただくため、授業時は必ずPCを持参ください。 ・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなし、単位を認定しません。正しい引用を心がけてください。 ・資料配布や課題提出のため、WebClassという学習管理システム(LMS)やMS Teamsを利用します。これらには学外からのアクセスが可能であり、スマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用ください。 ・WebClass上で提出されたレポートへ適宜コメントを返します。このフィードバックもまたWebClass上で実施しますので、必ず参照ください。 ・質問や意見を歓迎します。疑問点をそのままにしないようにしてください。 ・クラスによって担当教員が異なります。各担当教員のオフィスアワーは以下となります。 川本: 水曜 3,4限　稲生: 水曜 3,4限　田口: 水曜 3,4,5限 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有することがあります。課題は自分の学修成果を発表する媒体でもあると考え、取り組んでください。 ・授業の進捗を考慮し、授業計画を一部変更する場合があります。その際は事前に周知します。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	授業内容の復習、第2回授業の予習	60
	内容	・科目ガイダンス ・情報リテラシーとは何か ・情報活用力自己診断テスト(期初)	講義　演習		
2回	テーマ	情報リテラシー1	対面	メール演習課題、授業内容の復習、第3回授業の予習	90
	内容	・電子メールとは何か ・電子メールの利用(署名、テキスト形式、ファイル添付)	講義　演習		
3回	テーマ	情報リテラシー2	対面	授業内容の復習、第4回授業の予習	60
	内容	・学内LMSの利用 ・演習室プリンタの利用	講義　演習		
4回	テーマ	コンピュータリテラシー	対面	ファイル管理演習課題、授業内容の復習、第5回授業の予習	90
	内容	・ファイル操作(データ管理、クラウド上のデータ操作、ファイル共有、バックアップ)	講義　演習		
5回	テーマ	プレゼンテーション	対面	PowerPoint演習課題、授業内容の復習、第6回授業の予習	90
	内容	・MS PowerPoint操作(基本操作、図形の作成・画像の挿入、表の作成、グラフの作成、SmartArt グラフィック等)	講義　演習		
6回	テーマ	文書作成	対面	Word演習課題、授業内容の復習、第7回授業の予習	90
	内容	・MS Wordの操作(基本操作、文書レイアウトの設定変更、画像の挿入、脚注の挿入等)	講義　演習		
7回	テーマ	インターネット・著作権	対面	「著作権」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第8回授業の予習	90
	内容	・インターネットの基礎知識(IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス) ・著作権の基礎知識	講義　演習		
8回	テーマ	表計算1	対面	Excel演習課題、授業内容の復習、第9回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(基本操作、表の作成・編集、グラフの作成等)	講義　演習		
9回	テーマ	表計算2	対面	Excel演習課題、授業内容の復習、第10回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(データの並び替え・抽出・集計、関数の利用等)	講義　演習		
10回	テーマ	表計算3	対面	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第11回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 内容	表計算4 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第12回授業の予習	90
12回	テーマ 内容	表計算5 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第13回授業の予習	90
13回	テーマ 内容	情報セキュリティ ・情報セキュリティとは　・情報セキュリティの基礎知識	対面 講義　演習	「情報セキュリティ」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第14回授業の予習	90
14回	テーマ 内容	プログラミング ・プログラミングとは何か　・アルゴリズムとプログラム	対面 講義　演習	タイピングテストに向けた準備、授業内容の復習、第15回授業の予習	90
15回	テーマ 内容	まとめと振り返り ・情報活用力自己診断テスト(期末)　・総括	対面 講義　演習	授業内容の復習	60

科目名	情報処理基礎◎Ａ②（１生物）	開講学年	1	講義コード	1110515	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川本 正道　稲生 誠治　田口 雄太

研究室	G510(川本 正道)　G507(稲生 誠治)　G509(田口 雄太)	オフィスアワー	メールアドレスは初回授業でお伝えします。オフィスアワーは下記、「学修上の注意」を参照ください。

メールアドレス	@

キーワード	リテラシー　情報リテラシー　コンピュータリテラシー　情報フルエンシー　　自己管理力

授業概要	情報通信技術(ICT)の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、ICT機器を道具として使いこなす能力、いわゆる情報リテラシー・コンピュータリテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。本授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシー・コンピュータリテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力(情報フルエンシー)を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。

関連科目

特殊講座(情報と社会)　特殊講座(ITパスポート)　特殊講座(情報コミュニケーション)

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修　【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目　【各科目に含めることが必要な事項】・・・情報機器の操作

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,e,f	a,e,f

JABEE記号		学生の到達度目標
e	①	PC、学内LMS、ネットワークを利用し、円滑に大学講義を受講することができる。
a, f	②	コミュニケーションする際、情報リテラシーを遵守することができる。
e	③	MS Officeソフト(Word, Excel, PowerPoint)の基本操作を把握し、各種資料を作成することができる。
e	④	MS Officeソフト(Excel)の基本操作を組み合わせ、応用的資料を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
			20	70			10		100

教科書	情報リテラシー　FOM出版　　9784938927530

参考書	

予備知識	PCを自分の能力を拡張する道具として使いこなすようになるための意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	(小テスト) 1.「情報セキュリティ」確認テスト: 10点 2.「著作権」確認テスト: 5点 3. タイピングテスト: 5点 (レポート) 4. メール演習課題: 5点 5. ファイル管理演習課題: 5点 6. Word, Excel, PowerPoint演習課題: 10点×3 7. Excel応用課題: 10点×2 8. 担当教員個別課題: 10点 (ポートフォリオ) 9. 科目の学修到達度レポート: 10点

学修上の注意 (SBOs)	・自身のPCを用いて演習を行なっていただくため、授業時は必ずPCを持参ください。 ・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなし、単位を認定しません。正しい引用を心がけてください。 ・資料配布や課題提出のため、WebClassという学習管理システム(LMS)やMS Teamsを利用します。これらには学外からのアクセスが可能であり、スマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用ください。 ・WebClass上で提出されたレポートへ適宜コメントを返します。このフィードバックもまたWebClass上で実施しますので、必ず参照ください。 ・質問や意見を歓迎します。疑問点をそのままにしないようにしてください。 ・クラスによって担当教員が異なります。各担当教員のオフィスアワーは以下となります。 川本: 水曜 3,4限　稲生: 水曜 3,4限　田口: 水曜 3,4,5限 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有することがあります。課題は自分の学修成果を発表する媒体でもあると考え、取り組んでください。 ・授業の進捗を考慮し、授業計画を一部変更する場合があります。その際は事前に周知します。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面 講義　演習	授業内容の復習、第2回授業の予習	60
	内容	・科目ガイダンス　・情報リテラシーとは何か　・情報活用力自己診断テスト(期初)			
2回	テーマ	情報リテラシー1	対面 講義　演習	メール演習課題、授業内容の復習、第3回授業の予習	90
	内容	・電子メールとは何か　・電子メールの利用(署名、テキスト形式、ファイル添付)			
3回	テーマ	情報リテラシー2	対面 講義　演習	授業内容の復習、第4回授業の予習	60
	内容	・学内LMSの利用　・演習室プリンタの利用			
4回	テーマ	コンピュータリテラシー	対面 講義　演習	ファイル管理演習課題、授業内容の復習、第5回授業の予習	90
	内容	・ファイル操作(データ管理、クラウド上のデータ操作、ファイル共有、バックアップ)			
5回	テーマ	プレゼンテーション	対面 講義　演習	PowerPoint演習課題、授業内容の復習、第6回授業の予習	90
	内容	・MS PowerPoint操作(基本操作、図形の作成・画像の挿入、表の作成、グラフの作成、SmartArt グラフィック等)			
6回	テーマ	文書作成	対面 講義　演習	Word演習課題、授業内容の復習、第7回授業の予習	90
	内容	・MS Wordの操作(基本操作、文書レイアウトの設定変更、画像の挿入、脚注の挿入等)			
7回	テーマ	インターネット・著作権	対面 講義　演習	「著作権」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第8回授業の予習	90
	内容	・インターネットの基礎知識(IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス)　・著作権の基礎知識			
8回	テーマ	表計算1	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第9回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(基本操作、表の作成・編集、グラフの作成等)			
9回	テーマ	表計算2	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第10回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(データの並び替え・抽出・集計、関数の利用等)			
10回	テーマ	表計算3	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第11回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 内容	表計算4 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第12回授業の予習	90
12回	テーマ 内容	表計算5 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第13回授業の予習	90
13回	テーマ 内容	情報セキュリティ ・情報セキュリティとは　・情報セキュリティの基礎知識	対面 講義　演習	「情報セキュリティ」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第14回授業の予習	90
14回	テーマ 内容	プログラミング ・プログラミングとは何か　・アルゴリズムとプログラム	対面 講義　演習	タイピングテストに向けた準備、授業内容の復習、第15回授業の予習	90
15回	テーマ 内容	まとめと振り返り ・情報活用力自己診断テスト(期末)　・総括	対面 講義　演習	授業内容の復習	60

科目名	情報処理基礎◎A③（1生物）	開講学年	1	講義コード	1110516	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川本 正道　稲生 誠治　田口 雄太

研究室	G510(川本 正道)　G507(稲生 誠治)　G509(田口 雄太)	オフィスアワー	メールアドレスは初回授業でお伝えします。オフィスアワーは下記、「学修上の注意」を参照ください。

メールアドレス	@

キーワード	リテラシー　情報リテラシー　コンピュータリテラシー　情報フルエンシー　自己管理力

授業概要	情報通信技術(ICT)の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、ICT機器を道具として使いこなす能力、いわゆる情報リテラシー・コンピュータリテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。本授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシー・コンピュータリテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力(情報フルエンシー)を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。

関連科目

特殊講座(情報と社会)　特殊講座(ITパスポート)　特殊講座(情報コミュニケーション)

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修　【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目　【各科目に含めることが必要な事項】・・・情報機器の操作

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,e,f	a,e,f

JABEE記号		学生の到達度目標
e	①	PC、学内LMS、ネットワークを利用し、円滑に大学講義を受講することができる。
a, f	②	コミュニケーションする際、情報リテラシーを遵守することができる。
e	③	MS Officeソフト(Word, Excel, PowerPoint)の基本操作を把握し、各種資料を作成することができる。
e	④	MS Officeソフト(Excel)の基本操作を組み合わせ、応用的資料を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
			20	70			10		100

教科書	情報リテラシー　FOM出版　　9784938927530

参考書	

予備知識	PCを自分の能力を拡張する道具として使いこなすようになるための意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	(小テスト) 1.「情報セキュリティ」確認テスト: 10点 2.「著作権」確認テスト: 5点 3. タイピングテスト: 5点 (レポート) 4. メール演習課題: 5点 5. ファイル管理演習課題: 5点 6. Word, Excel, PowerPoint演習課題: 10点×3 7. Excel応用課題: 10点×2 8. 担当教員個別課題: 10点 (ポートフォリオ) 9. 科目の学修到達度レポート: 10点

学修上の注意 (SBOs)	・自身のPCを用いて演習を行なっていただくため、授業時は必ずPCを持参ください。 ・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなし、単位を認定しません。正しい引用を心がけてください。 ・資料配布や課題提出のため、WebClassという学習管理システム(LMS)やMS Teamsを利用します。これらには学外からのアクセスが可能であり、スマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用ください。 ・WebClass上で提出されたレポートへ適宜コメントを返します。このフィードバックもまたWebClass上で実施しますので、必ず参照ください。 ・質問や意見を歓迎します。疑問点をそのままにしないようにしてください。 ・クラスによって担当教員が異なります。各担当教員のオフィスアワーは以下となります。 川本: 水曜 3,4限　稲生: 水曜 3,4限　田口: 水曜 3,4,5限 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有することがあります。課題は自分の学修成果を発表する媒体でもあると考え、取り組んでください。 ・授業の進捗を考慮し、授業計画を一部変更する場合があります。その際は事前に周知します。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面 講義　演習	授業内容の復習、第2回授業の予習	60
	内容	・科目ガイダンス　・情報リテラシーとは何か　・情報活用力自己診断テスト(期初)			
2回	テーマ	情報リテラシー1	対面 講義　演習	メール演習課題、授業内容の復習、第3回授業の予習	90
	内容	・電子メールとは何か　・電子メールの利用(署名、テキスト形式、ファイル添付)			
3回	テーマ	情報リテラシー2	対面 講義　演習	授業内容の復習、第4回授業の予習	60
	内容	・学内LMSの利用　・演習室プリンタの利用			
4回	テーマ	コンピュータリテラシー	対面 講義　演習	ファイル管理演習課題、授業内容の復習、第5回授業の予習	90
	内容	・ファイル操作(データ管理、クラウド上のデータ操作、ファイル共有、バックアップ)			
5回	テーマ	プレゼンテーション	対面 講義　演習	PowerPoint演習課題、授業内容の復習、第6回授業の予習	90
	内容	・MS PowerPoint操作(基本操作、図形の作成・画像の挿入、表の作成、グラフの作成、SmartArt グラフィック等)			
6回	テーマ	文書作成	対面 講義　演習	Word演習課題、授業内容の復習、第7回授業の予習	90
	内容	・MS Wordの操作(基本操作、文書レイアウトの設定変更、画像の挿入、脚注の挿入等)			
7回	テーマ	インターネット・著作権	対面 講義　演習	「著作権」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第8回授業の予習	90
	内容	・インターネットの基礎知識(IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス)　・著作権の基礎知識			
8回	テーマ	表計算1	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第9回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(基本操作、表の作成・編集、グラフの作成等)			
9回	テーマ	表計算2	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第10回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(データの並び替え・抽出・集計、関数の利用等)			
10回	テーマ	表計算3	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第11回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 内容	表計算4 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第12回授業の予習	90
12回	テーマ 内容	表計算5 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第13回授業の予習	90
13回	テーマ 内容	情報セキュリティ ・情報セキュリティとは　・情報セキュリティの基礎知識	対面 講義　演習	「情報セキュリティ」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第14回授業の予習	90
14回	テーマ 内容	プログラミング ・プログラミングとは何か　・アルゴリズムとプログラム	対面 講義　演習	タイピングテストに向けた準備、授業内容の復習、第15回授業の予習	90
15回	テーマ 内容	まとめと振り返り ・情報活用力自己診断テスト(期末)　・総括	対面 講義　演習	授業内容の復習	60

科目名	情報処理基礎◎B①（1生物）	開講学年	1	講義コード	1110517	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川本 正道　稲生 誠治　田口 雄太

研究室	G510(川本 正道)　G507(稲生 誠治)　G509(田口 雄太)	オフィスアワー	メールアドレスは初回授業でお伝えします。オフィスアワーは下記、「学修上の注意」を参照ください。

メールアドレス	@

キーワード	リテラシー　情報リテラシー　コンピュータリテラシー　情報フルエンシー　　自己管理力

授業概要	情報通信技術(ICT)の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、ICT機器を道具として使いこなす能力、いわゆる情報リテラシー・コンピュータリテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。本授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシー・コンピュータリテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力(情報フルエンシー)を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。

関連科目

特殊講座(情報と社会)　特殊講座(ITパスポート)　特殊講座(情報コミュニケーション)

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】･･･必修　【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目　【各科目に含めることが必要な事項】･･･情報機器の操作

建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4
JABEE基準		a,e,f	a,e,f

JABEE記号		学生の到達度目標
e	①	PC、学内LMS、ネットワークを利用し、円滑に大学講義を受講することができる。
a, f	②	コミュニケーションする際、情報リテラシーを遵守することができる。
e	③	MS Officeソフト(Word, Excel, PowerPoint)の基本操作を把握し、各種資料を作成することができる。
e	④	MS Officeソフト(Excel)の基本操作を組み合わせ、応用的資料を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
			20	70			10		100

教科書	情報リテラシー　FOM出版　　9784938927530

参考書	

予備知識	PCを自分の能力を拡張する道具として使いこなすようになるための意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	(小テスト) 1.「情報セキュリティ」確認テスト: 10点 2.「著作権」確認テスト: 5点 3. タイピングテスト: 5点 (レポート) 4. メール演習課題: 5点 5. ファイル管理演習課題: 5点 6. Word, Excel, PowerPoint演習課題: 10点×3 7. Excel応用課題: 10点×2 8. 担当教員個別課題: 10点 (ポートフォリオ) 9. 科目の学修到達度レポート: 10点

学修上の注意 (SBOs)	・自身のPCを用いて演習を行なっていただくため、授業時は必ずPCを持参ください。 ・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなし、単位を認定しません。正しい引用を心がけてください。 ・資料配布や課題提出のため、WebClassという学習管理システム(LMS)やMS Teamsを利用します。これらには学外からのアクセスが可能であり、スマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用ください。 ・WebClass上で提出されたレポートへ適宜コメントを返します。このフィードバックもまたWebClass上で実施しますので、必ず参照ください。 ・質問や意見を歓迎します。疑問点をそのままにしないようにしてください。 ・クラスによって担当教員が異なります。各担当教員のオフィスアワーは以下となります。 川本: 水曜 3,4限　稲生: 水曜 3,4限　田口: 水曜 3,4,5限 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有することがあります。課題は自分の学修成果を発表する媒体でもあると考え、取り組んでください。 ・授業の進捗を考慮し、授業計画を一部変更する場合があります。その際は事前に周知します。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	授業内容の復習、第2回授業の予習	60
	内容	・科目ガイダンス ・情報リテラシーとは何か ・情報活用力自己診断テスト(期初)	講義　演習		
2回	テーマ	情報リテラシー1	対面	メール演習課題、授業内容の復習、第3回授業の予習	90
	内容	・電子メールとは何か ・電子メールの利用(署名、テキスト形式、ファイル添付)	講義　演習		
3回	テーマ	情報リテラシー2	対面	授業内容の復習、第4回授業の予習	60
	内容	・学内LMSの利用 ・演習室プリンタの利用	講義　演習		
4回	テーマ	コンピュータリテラシー	対面	ファイル管理演習課題、授業内容の復習、第5回授業の予習	90
	内容	・ファイル操作(データ管理、クラウド上のデータ操作、ファイル共有、バックアップ)	講義　演習		
5回	テーマ	プレゼンテーション	対面	PowerPoint演習課題、授業内容の復習、第6回授業の予習	90
	内容	・MS PowerPoint操作(基本操作、図形の作成・画像の挿入、表の作成、グラフの作成、SmartArt グラフィック等)	講義　演習		
6回	テーマ	文書作成	対面	Word演習課題、授業内容の復習、第7回授業の予習	90
	内容	・MS Wordの操作(基本操作、文書レイアウトの設定変更、画像の挿入、脚注の挿入等)	講義　演習		
7回	テーマ	インターネット・著作権	対面	「著作権」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第8回授業の予習	90
	内容	・インターネットの基礎知識(IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス) ・著作権の基礎知識	講義　演習		
8回	テーマ	表計算1	対面	Excel演習課題、授業内容の復習、第9回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(基本操作、表の作成・編集、グラフの作成等)	講義　演習		
9回	テーマ	表計算2	対面	Excel演習課題、授業内容の復習、第10回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(データの並び替え・抽出・集計、関数の利用等)	講義　演習		
10回	テーマ	表計算3	対面	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第11回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	表計算4	対面	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第12回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)	講義　演習		
12回	テーマ	表計算5	対面	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第13回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)	講義　演習		
13回	テーマ	情報セキュリティ	対面	「情報セキュリティ」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第14回授業の予習	90
	内容	・情報セキュリティとは　・情報セキュリティの基礎知識	講義　演習		
14回	テーマ	プログラミング	対面	タイピングテストに向けた準備、授業内容の復習、第15回授業の予習	90
	内容	・プログラミングとは何か　・アルゴリズムとプログラム	講義　演習		
15回	テーマ	まとめと振り返り	対面	授業内容の復習	60
	内容	・情報活用力自己診断テスト(期末)　・総括	講義　演習		

科目名	情報処理基礎◎Ｂ②（１生物）	開講学年	1	講義コード	1110518	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川本 正道　稲生 誠治　田口 雄太

研究室	G510(川本 正道)　G507(稲生 誠治)　G509(田口 雄太)	オフィスアワー	メールアドレスは初回授業でお伝えします。オフィスアワーは下記、「学修上の注意」を参照ください。

メールアドレス	@

キーワード	リテラシー　情報リテラシー　コンピュータリテラシー　情報フルエンシー　　自己管理力

授業概要	情報通信技術(ICT)の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、ICT機器を道具として使いこなす能力、いわゆる情報リテラシー・コンピュータリテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。本授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシー・コンピュータリテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力(情報フルエンシー)を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。

関連科目

特殊講座(情報と社会)　特殊講座(ITパスポート)　特殊講座(情報コミュニケーション)

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】･･･必修　【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目　【各科目に含めることが必要な事項】･･･情報機器の操作

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,e,f	a,e,f

JABEE記号		学生の到達度目標
e	①	PC、学内LMS、ネットワークを利用し、円滑に大学講義を受講することができる。
a, f	②	コミュニケーションする際、情報リテラシーを遵守することができる。
e	③	MS Officeソフト(Word, Excel, PowerPoint)の基本操作を把握し、各種資料を作成することができる。
e	④	MS Officeソフト(Excel)の基本操作を組み合わせ、応用的資料を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
			20	70			10		100

教科書	情報リテラシー　FOM出版　　9784938927530

参考書	

予備知識	PCを自分の能力を拡張する道具として使いこなすようになるための意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	(小テスト) 1.「情報セキュリティ」確認テスト: 10点 2.「著作権」確認テスト: 5点 3. タイピングテスト: 5点 (レポート) 4. メール演習課題: 5点 5. ファイル管理演習課題: 5点 6. Word, Excel, PowerPoint演習課題: 10点×3 7. Excel応用課題: 10点×2 8. 担当教員個別課題: 10点 (ポートフォリオ) 9. 科目の学修到達度レポート: 10点

学修上の注意 (SBOs)	・自身のPCを用いて演習を行なっていただくため、授業時は必ずPCを持参ください。 ・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなし、単位を認定しません。正しい引用を心がけてください。 ・資料配布や課題提出のため、WebClassという学習管理システム(LMS)やMS Teamsを利用します。これらには学外からのアクセスが可能であり、スマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用ください。 ・WebClass上で提出されたレポートへ適宜コメントを返します。このフィードバックもまたWebClass上で実施しますので、必ず参照ください。 ・質問や意見を歓迎します。疑問点をそのままにしないようにしてください。 ・クラスによって担当教員が異なります。各担当教員のオフィスアワーは以下となります。 川本: 水曜 3,4限　稲生: 水曜 3,4限　田口: 水曜 3,4,5限 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有することがあります。課題は自分の学修成果を発表する媒体でもあると考え、取り組んでください。 ・授業の進捗を考慮し、授業計画を一部変更する場合があります。その際は事前に周知します。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面 講義　演習	授業内容の復習、第2回授業の予習	60
	内容	・科目ガイダンス　・情報リテラシーとは何か　・情報活用力自己診断テスト(期初)			
2回	テーマ	情報リテラシー1	対面 講義　演習	メール演習課題、授業内容の復習、第3回授業の予習	90
	内容	・電子メールとは何か　・電子メールの利用(署名、テキスト形式、ファイル添付)			
3回	テーマ	情報リテラシー2	対面 講義　演習	授業内容の復習、第4回授業の予習	60
	内容	・学内LMSの利用　・演習室プリンタの利用			
4回	テーマ	コンピュータリテラシー	対面 講義　演習	ファイル管理演習課題、授業内容の復習、第5回授業の予習	90
	内容	・ファイル操作(データ管理、クラウド上のデータ操作、ファイル共有、バックアップ)			
5回	テーマ	プレゼンテーション	対面 講義　演習	PowerPoint演習課題、授業内容の復習、第6回授業の予習	90
	内容	・MS PowerPoint操作(基本操作、図形の作成・画像の挿入、表の作成、グラフの作成、SmartArt グラフィック等)			
6回	テーマ	文書作成	対面 講義　演習	Word演習課題、授業内容の復習、第7回授業の予習	90
	内容	・MS Wordの操作(基本操作、文書レイアウトの設定変更、画像の挿入、脚注の挿入等)			
7回	テーマ	インターネット・著作権	対面 講義　演習	「著作権」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第8回授業の予習	90
	内容	・インターネットの基礎知識(IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス)　・著作権の基礎知識			
8回	テーマ	表計算1	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第9回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(基本操作、表の作成・編集、グラフの作成等)			
9回	テーマ	表計算2	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第10回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(データの並び替え・抽出・集計、関数の利用等)			
10回	テーマ	表計算3	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第11回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	表計算4	対面	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第12回授業の予習	90
	内容	･MS Excelの操作(応用資料の作成)	講義　演習		
12回	テーマ	表計算5	対面	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第13回授業の予習	90
	内容	･MS Excelの操作(応用資料の作成)	講義　演習		
13回	テーマ	情報セキュリティ	対面	「情報セキュリティ」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第14回授業の予習	90
	内容	･情報セキュリティとは　･情報セキュリティの基礎知識	講義　演習		
14回	テーマ	プログラミング	対面	タイピングテストに向けた準備、授業内容の復習、第15回授業の予習	90
	内容	･プログラミングとは何か　･アルゴリズムとプログラム	講義　演習		
15回	テーマ	まとめと振り返り	対面	授業内容の復習	60
	内容	･情報活用力自己診断テスト(期末)　･総括	講義　演習		

科目名	情報処理基礎◎Ｂ③（１生物）	開講学年	1	講義コード	1110519	区分	必修
英文表記	Introductory Information Processing	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川本 正道　稲生 誠治　田口 雄太

研究室	G510(川本 正道)　G507(稲生 誠治)　G509(田口 雄太)	オフィスアワー	メールアドレスは初回授業でお伝えします。オフィスアワーは下記、「学修上の注意」を参照ください。

メールアドレス	@

キーワード	リテラシー　情報リテラシー　コンピュータリテラシー　情報フルエンシー　　自己管理力

授業概要	情報通信技術(ICT)の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、ICT機器を道具として使いこなす能力、いわゆる情報リテラシー・コンピュータリテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。本授業では大学生として様々な分野の学習・研究に必要な最低限の情報リテラシー・コンピュータリテラシーを習得することを第一の目標としている。その上で、生涯に渡って情報技術を使い続けていくために十分な能力(情報フルエンシー)を獲得していく事を第二の目標とする。「わからなくても調べて問題解決できる」という自信をつけてもらいたい。

関連科目

特殊講座(情報と社会)　特殊講座(ITパスポート)　特殊講座(情報コミュニケーション)

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】･･･必修　【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目　【各科目に含めることが必要な事項】･･･情報機器の操作

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,e,f	a,e,f

JABEE記号		学生の到達度目標
e	①	PC、学内LMS、ネットワークを利用し、円滑に大学講義を受講することができる。
a, f	②	コミュニケーションする際、情報リテラシーを遵守することができる。
e	③	MS Officeソフト(Word, Excel, PowerPoint)の基本操作を把握し、各種資料を作成することができる。
e	④	MS Officeソフト(Excel)の基本操作を組み合わせ、応用的資料を作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
			20	70			10		100

教科書	情報リテラシー　FOM出版　　9784938927530

参考書	

予備知識	PCを自分の能力を拡張する道具として使いこなすようになるための意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	(小テスト) 1.「情報セキュリティ」確認テスト: 10点 2.「著作権」確認テスト: 5点 3. タイピングテスト: 5点 (レポート) 4. メール演習課題: 5点 5. ファイル管理演習課題: 5点 6. Word, Excel, PowerPoint演習課題: 10点×3 7. Excel応用課題: 10点×2 8. 担当教員個別課題: 10点 (ポートフォリオ) 9. 科目の学修到達度レポート: 10点

学修上の注意 (SBOs)	・自身のPCを用いて演習を行なっていただくため、授業時は必ずPCを持参ください。 ・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなし、単位を認定しません。正しい引用を心がけてください。 ・資料配布や課題提出のため、WebClassという学習管理システム(LMS)やMS Teamsを利用します。これらには学外からのアクセスが可能であり、スマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用ください。 ・WebClass上で提出されたレポートへ適宜コメントを返します。このフィードバックもまたWebClass上で実施しますので、必ず参照ください。 ・質問や意見を歓迎します。疑問点をそのままにしないようにしてください。 ・クラスによって担当教員が異なります。各担当教員のオフィスアワーは以下となります。 川本: 水曜 3,4限　稲生: 水曜 3,4限　田口: 水曜 3,4,5限 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有することがあります。課題は自分の学修成果を発表する媒体でもあると考え、取り組んでください。 ・授業の進捗を考慮し、授業計画を一部変更する場合があります。その際は事前に周知します。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面 講義　演習	授業内容の復習、第2回授業の予習	60
	内容	・科目ガイダンス　・情報リテラシーとは何か　・情報活用力自己診断テスト(期初)			
2回	テーマ	情報リテラシー1	対面 講義　演習	メール演習課題、授業内容の復習、第3回授業の予習	90
	内容	・電子メールとは何か　・電子メールの利用(署名、テキスト形式、ファイル添付)			
3回	テーマ	情報リテラシー2	対面 講義　演習	授業内容の復習、第4回授業の予習	60
	内容	・学内LMSの利用　・演習室プリンタの利用			
4回	テーマ	コンピュータリテラシー	対面 講義　演習	ファイル管理演習課題、授業内容の復習、第5回授業の予習	90
	内容	・ファイル操作(データ管理、クラウド上のデータ操作、ファイル共有、バックアップ)			
5回	テーマ	プレゼンテーション	対面 講義　演習	PowerPoint演習課題、授業内容の復習、第6回授業の予習	90
	内容	・MS PowerPoint操作(基本操作、図形の作成・画像の挿入、表の作成、グラフの作成、SmartArt グラフィック等)			
6回	テーマ	文書作成	対面 講義　演習	Word演習課題、授業内容の復習、第7回授業の予習	90
	内容	・MS Wordの操作(基本操作、文書レイアウトの設定変更、画像の挿入、脚注の挿入等)			
7回	テーマ	インターネット・著作権	対面 講義　演習	「著作権」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第8回授業の予習	90
	内容	・インターネットの基礎知識(IPアドレス、TCP/IP、様々なネットワークサービス)　・著作権の基礎知識			
8回	テーマ	表計算1	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第9回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(基本操作、表の作成・編集、グラフの作成等)			
9回	テーマ	表計算2	対面 講義　演習	Excel演習課題、授業内容の復習、第10回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(データの並び替え・抽出・集計、関数の利用等)			
10回	テーマ	表計算3	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第11回授業の予習	90
	内容	・MS Excelの操作(応用資料の作成)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 内容	表計算4 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第12回授業の予習	90
12回	テーマ 内容	表計算5 ・MS Excelの操作(応用資料の作成)	対面 講義　演習	Excel応用演習課題、授業内容の復習、第13回授業の予習	90
13回	テーマ 内容	情報セキュリティ ・情報セキュリティとは　・情報セキュリティの基礎知識	対面 講義　演習	「情報セキュリティ」確認テストに向けた準備、授業内容の復習、第14回授業の予習	90
14回	テーマ 内容	プログラミング ・プログラミングとは何か　・アルゴリズムとプログラム	対面 講義　演習	タイピングテストに向けた準備、授業内容の復習、第15回授業の予習	90
15回	テーマ 内容	まとめと振り返り ・情報活用力自己診断テスト(期末)　・総括	対面 講義　演習	授業内容の復習	60

科目名	アントレプレナーシップ入門（１全学科）	開講学年	1	講義コード	1110601	区分	選択
英文表記	Introduction to Entrepreneurship	開講期	集中	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	川副 智行（実務経験）

研究室	G301	オフィスアワー	木曜日終日

メールアドレス	t-kawasoe@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	教養的知識　キャリアデザイン　論理力　自己管理力　　アントレプレナーシップ　契約･特許　経営･財務･マネジメント　自己啓発

授業概要	「社会での活躍するためのアントレプレナーシップを学ぶ」 崇城大学が提唱しているアントレプレナーシップは、起業の有無に限定しない新しいことへのチャレンジ精神であり、自身の目標に向かって、挑戦と振り返りを繰り返して自己成長につなげるという考え方である。本講義では、アントレプレナーシップの必要性を学びながら、新しい挑戦における課題とその本質を見定めるための視点を学ぶ。さらには、解決すべき課題に対して複数の解決方法を導き出せるような着想の視野を広げる。併せて、前職の民間企業で長年研究開発に携わってきた実務経験に基づき、将来社会で必要となる契約･特許･経営･財務･マネジメントなどのビジネスに関する初歩的な知識を学ぶ。 なお、提出されたレポートについては、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。

関連科目

基礎科目：「特殊講座（未来デザイン）」 発展科目：「ベンチャービジネス」「イノベーション入門」「ローカルイノベーション」　「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標			
		JABEE基準			

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	契約･特許･経営･財務･マネジメントなどのアントレプレナーシップの発揮に必要な初歩的な知識を身に付けることができる
	②	アントレプレナーシップの内容･有効性及び、アントレプレナーの信念･価値観･着想など理解することができる
	③	レポート課題において自分の考えをまとめて、他人に対して論理的にわかり易く説明することができる
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートファリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	14	40	0	0	10	36	100

教科書	講義のレジュメを教科書とする

参考書	オオカミ特許革命 事業と技術を守る真の戦略　技術評論社　田所照洋　978-4297123970 サクッとわかる ビジネス教養 マネジメント　新星出版社　遠藤功　978-4405120143 「孤独」は消せる。 サンマーク出版　吉藤健太朗　978-4763135667 日本一やさしい経営の教科書　あさ出版　小井土まさひこ　978-4866671789

予備知識	起業の有無に関わらず、本校が掲げるアントレプレナーシップは、自身の成長に有効であることを理解して欲しい。 社会人となってから学ぶことが多い「特許」「経営」「財務」「契約」「マネジメント」に関する初歩の知識を学べる。
実務経験のある教員	川副 智行
評価明細基準	1. 課題提出物：3点×12回（第4,回, 第9回, 第15回を除く講義）＝36点　講義動画を視聴後、指定の期日までに視聴確認課題を提出（提出遅延は減点対象）。　2. レポート：20点×2回＝40点 社会におけるアントレプレナー/ベンチャーの必要性（第4回）／将来への羅針盤について（第15回）を1200～1500字でまとめる。各回のテーマに対して、各動画で提示する評価基準に基づき評価する。なお、提出されたレポートについては、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。　3. 確認小テスト：14点 初歩の契約・特許・経営・財務・マネジメントに関する基礎的な事項の理解を確認する。テスト内容に関しては以降の講義内で解説を行う。　4. ポートフォリオ：10点 学修到達度レポートによって評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. Web Classに掲示する授業インストラクションを事前に閲覧した上で講義動画を視聴する。　2. 視聴確認課題及び確認小テストは開講週の終了後より原則1週間以内にWebClassで回答する。レポートは開講週の終了後より原則2週間以内にWebClassにアップロードとする（期限の詳細は講義動画で説明する）。なお遅延提出は減点対象となる。　3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。　4.オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合はG301にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。その他メール等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	動画視聴課題に回答して期日内に提出する。第2回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■講義概要、講師紹介,崇城アントレプレナーシップ教育の紹介 ■新書/自己啓発本/ビジネス本を用いたレポート課題の説明			
2回	テーマ	今の自分と崇城アントレの3要素	講義	動画視聴課題に回答して期日内に提出する。第3回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■大学生活を充実させるための自己分析と自己啓発について考える。■自身の目指す将来を明確にして、自分が身に付けるべき事を考える。■崇城アントレ教育のコアとなる思考力,チームメイキング,セルフマネジメントの有効性を理解する			
3回	テーマ	物語から学ぶ本質を見抜く力	講義	動画視聴課題に回答して期日内に提出する。第4回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■物語を用いたケーススタディから、物事の本質に迫る考え方を学ぶ。■日々の生活からの学びができるようになるための視点・視野を身に付ける。			
4回	テーマ	4.現在の社会情勢（日本企業の苦戦と地方の疲弊）	講義	社会におけるアントレプレナー/ベンチャーの必要性についての意見をレポートにまとめ、期日内に提出する。第5回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■現在の市場環境や社会情勢を理解して、今後の社会にとって必要なものを考える。■今後の地方創生のためには、自らアクションを起こす必要があることを理解する。■社会におけるアントレプレナー/ベンチャーの必要性に関して、自分の考えをレポートにまとめる。			
5回	テーマ	初歩の契約（他者と連携するために）	講義	動画視聴課題に回答して期日内に提出する。第6回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■契約に関する初歩的な知識を身に付ける。■社会における契約の重要性を理解し、他人との関わり方としての契約に関心が持てるようになる。			
6回	テーマ	初歩の特許（知的財産の考え方と特許のしくみ）	講義	動画視聴課題に回答して期日内に提出する。第7回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■特許及びその仕組みに関する初歩的な知識を身に付ける。■技術保護の重要性を理解して、特許を含めた知的財産に関心を高める。			
7回	テーマ	初歩の経営（経営とステークスホルダー）	講義	動画視聴課題に回答して期日内に提出する。第8回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■経営に関する初歩的な知識を身に付ける。■ステークスホルダーとの関係性を理解して、経営に興味を持てるようになる。			
8回	テーマ	初歩の財務（財務指標とその見方）	講義	動画視聴課題に回答して期日内に提出する。第9回の授業インストラクションを読んでおく。第5-9回の講義を復習し、小テストの準備をする。	150
	内容	■会社の決算と財務に関する初歩的な知識を身に付ける。■財務指標における着目点がわかるようになり、財務状況に興味が持てるようになる。			
9回	テーマ	初歩のマネジメント（周囲を巻き込むスキル）	講義	初歩の契約・特許・経営・財務・マネジメントについての確認小テストに回答して期日内に提出する。第10回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■ビジネスにおけるマネジメントに関する初歩的な知識を身に付ける。■適切な情報発信によって、周囲を巻き込むスキルを身に付ける。■契約・特許・経営・財務・マネジメントに関する小テストを実施する。			
10回	テーマ	アントレプレナー物語①（食品）	講義	動画視聴課題に回答して期日内に提出する。第11回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■食品領域で市場を開拓したアントレプレナーの事例について学ぶ。■事例における着想・判断・信念などを通してアントレプレナーシップの輪郭を掴む。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	アントレプレナー物語②（ゲーム）	講義	動画視聴課題に回答して期日内に提出する。第12回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■ゲーム領域で市場を開拓したアントレプレナーの事例について学ぶ。■事例における着想・判断・信念などを通してアントレプレナーシップの輪郭を掴む。			
12回	テーマ	アントレプレナー物語③（ロボット）	講義	動画視聴課題に回答して期日内に提出する。第13回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■ロボット領域で市場を開拓したアントレプレナーの事例について学ぶ。■事例における着想・判断・信念などを通してアントレプレナーシップの輪郭を掴む。			
13回	テーマ	アントレプレナー物語（番外編）	講義	動画視聴課題に回答して期日内に提出する。第14回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■身近なアントレプレナーの事例について学ぶ。■事例における着想・判断・信念などを通してアントレプレナーシップの輪郭を掴む。			
14回	テーマ	チャンスを活かす力と自己啓発	講義	動画視聴課題に回答して期日内に提出する。第15回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■セレンディピティを理解して、チャンスを逃さないという意識を持つ。■自分自身の目標に向かって、自己啓発を継続する意識を持つ。			
15回	テーマ	講義のまとめ（自分の羅針盤を作る）	講義	将来についての羅針盤についての意見をレポートにまとめ、期日内に提出する。ポートフォリオ（到達レポート）の作成する。	150
	内容	■講義のまとめと教員からのメッセージ ■新書/自己啓発本/ビジネス本を読んで学んだことをもとに、自分の将来に向けた羅針盤についてレポートをまとめる。			

科目名	イノベーション入門（２機宇）	開講学年	2	講義コード	1110801	区分	選必
英文表記	introduction to Innovation	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	川副 智行（実務経験）						
研究室	G301	オフィスアワー	木曜日終日				
メールアドレス	t-kawasoe@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	キャリアデザイン　論理力　教養的知識　自己管理能力　　アイディエーション　コンシューマーインサイト　バックキャスティング　ユーザーエクスペリエンス(UX)　　イノベーション						

授業概要

「イノベーションに繋がる魅力的なアイデアを出す力を身に付ける」 本講義では、社会・市場の変化や技術の進歩とイノベーションとの関連を学びながら、イノベーション創出に関する基本的な考えと社会で実践するための知識・スキル・マインドを身に付ける。併せて前職の民間企業で長年研究開発に携わってきた実務経験に基づき、近年重要視されるユーザー体験(UX)やインサイトなどの最新知識や効果的なアイディエーションの手法など、社会で活用できる実践的なノウハウを学ぶ。なお、講義では2回のレポート課題を実施する。提出されたレポートについては、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。

関連科目

基礎科目:「特殊講座（未来デザイン）」「アントレプレナーシップ入門」「ベンチャービジネス」 発展科目:「ローカルイノベーション」　「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			(b), (d), (e),	(b), (d), (e),

JABEE記号		学生の到達度目標
(d)	①	イノベーション創出に向けた考え方に基づく、関連ワード及びトピックスを理解することができる
(b), (e)	②	イノベーションの事例の特徴を理解することで、イノベーション創出に向けて発想することができる
(f)	③	イノベーションの事例に対する自分の考えをまとめて、レポート他で他人に対して論理的にわかり易く説明することができる
(g)	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートファリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	14	40	0	0	10	36	100

教科書

講義のレジュメを教科書とする

参考書

イノベーション全書　東洋経済社　紺野 登　978-4-492-52225-7
イノベーションのジレンマ増補改訂版　翔泳社　C.クリステンセン　978-4-881-35839-9
ビジネスを変える100のブルーオーシャン　日経BP社　日経BP総研社　978-4-2961-0392-8

予備知識	イノベーションは特別なものでなく誰でも起こすことができるという大前提を理解していて欲しい。 起業の有無に関わらず、本講義で学ぶ実践的なアイデア創造力はキャリア形成に有効であることを理解して欲しい。
実務経験のある教員	川副 智行
評価明細基準	1. 確認課題：3点×12回（第5回, 第8回, 第14回を除く講義）＝36点　講義の最後に確認課題を実施する。　2. レポート：20点×2回＝40点 イノベーションのジレンマについて（第5回）／イノベーションを考える（第14回）を1200～1500字でまとめる。各回のテーマに対して、講義で提示する評価基準に基づき評価する。提出されたレポートについては、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。　3. 確認小テスト（第8回）：14点 講義で取り上げた内容に関する基礎的な事項の理解を確認する。テスト内容に関しては以降の講義内で解説を行う。　4. ポートフォリオ：10点 学修到達度レポートによって評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. Web Classに掲示する授業インストラクションを事前に閲覧した上で講義を受講する。　2.各講義で実施する確認課題及び、確認小テストは講義時間内に回答する。レポートは講義終了2週間以内にWebClassにアップロードとする（期限の詳細は講義にて説明する）。なお遅延提出は減点対象となる。　3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。　4.オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合はG301にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。その他メール等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第2回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■講義概要、講師紹介,アントレプレナーシップと社会とのつながりを概説。■社会からの期待や自己実現について考え、体得すべきスキルを理解する。■アンケートで、現在の自分を把握すると共に、講義の位置づけを理解する。			
2回	テーマ	イノベーション領域の頻出ワードと現在のビジネス(企業と起業)	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第3回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■イノベーション領域で使用されるビジネスワードに慣れる。■社会における企業(大企業・中小企業)の特徴を理解する。■起業化よるメリット・デメリットを理解する。			
3回	テーマ	身近にあるイノベーションとアイデアを形にするマインドセット	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第4回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■イノベーションの事例を通して、登場背景やその必要性を理解する。■イノベーション創出では発想とマインドが重要であることを理解する。 ■身近のイノベーションやヒット品を選び、その特徴を理解する。			
4回	テーマ	イノベーションの種類(プロダクト・サービス・プロセス・意味)	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第5回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■様々なイノベーションの事例より、各種イノベーションの分類と特徴を理解する。■アイディエーションにおけるソリューションや想像力の幅を広げる。			
5回	テーマ	イノベーションのジレンマとその対策	講義	イノベーションのジレンマについての意見をレポートにまとめ、期日内に提出する。第6回の授業インストラクションを読んでおく	150
	内容	■商品・サービスの本質的価値と変動する価値を理解する。■大企業におけるイノベーションのジレンマを理解する。■イノベーションのジレンマに対する意見をレポートにまとめる。			
6回	テーマ	持続的イノベーションと破壊的イノベーション	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第7回の授業インストラクションを読んでおく。	60
	内容	■持続的イノベーションと破壊的イノベーションの違いを事例にて理解する。■破壊的イノベーションに繋がる発想及び着眼点を理解する。■次に起こるイノベーションを考えるマインドとスキルを持つ。			
7回	テーマ	変化する生活環境・市場環境・規制とイノベーション	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第8回の授業インストラクションを読んでおく。小テストに向けてこれまでの講義内容を復習する。	120
	内容	■イノベーションが必要となる生活環境や社会構造の変化を理解する。■規制の変化や社会情勢の変化に関する意識を醸成する ■ゲームチェンジの事例を通して、ビジネスセンスを身に付ける。			
8回	テーマ	起業に向けた環境の変化(ICT・SNS)	講義	講義最後に実施する確認小テストについて復習する。第9回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■ICTやSNSなどのプラットフォームによるデジタル経済の発展を理解する。■You Tuberの存在意義や起業に向けた環境の充実を理解する。■確認小テストの実施			
9回	テーマ	コンシューマーインサイトとUX・UI	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第10回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■インサイト及びUX・UIのイメージを理解する。■アイデア着想の源としてインサイトやUXを活用できる。■具体的なインサイトの事例から本質的価値が理解できる。			
10回	テーマ	ニーズを知る(需要度を確認する)	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第11回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■調査実施の必要性と調査の基本骨格を理解する ■市場ニーズを把握する手法の種類を把握する。■調査目的に応じた簡易調査ができるようになる。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	ヒトの意識と感性価値（AIDMAとAISAS）	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第12回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■AIDMAやAISASなどヒトの認知特性を理解してアイデア着想の源とする。 ■感性工学的なアプローチを理解して、感性価値の科学的解釈ができる。 ■商品・サービスの感性価値・インサイトの重要性を理解する。			
12回	テーマ	イノベーションを考えよう！Part.1	講義+PBL(Project Based Learning)	講義中に実施する課題に回答して期日内に提出する。第13回の授業インストラクションを読んでおく。	120
	内容	■グッドデザイン賞などの新規アイデアの存在を理解して、情報収集力を高める。 ■新規アイデアを閲覧して、アイデア評価の具体的な訓練をする。			
13回	テーマ	アイデア創出法（バックキャストとフォアキャスト）	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第14回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■フォアキャストによる発想の優位点と問題点を理解する。 ■バックキャストによる発想の優位点と問題点を理解する。 ■事例を通してアイディエーションでの発想のコツを取得する。			
14回	テーマ	イノベーションを考えよう！Part.2	講義	グッドデザイン賞を対象としたイノベーションを考えるに関するレポートにまとめ、期日内に提出する。第15回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■グッドデザイン賞などの新規アイデアを題材に、アイデアを絞り込むプロセスを体験する。 ■アイデアの良さを説明するプロセスによって、論理的な説明力を体得する。			
15回	テーマ	講義のまとめ	講義	講義内容及び講義最後に実施する講義アンケートについて復習する。ポートフォリオ（到達レポート）の作成する。	60
	内容	■講義のまとめと教員からのメッセージ ■レポートやアンケートの結果を共有化して、自分の意見の位置づけや他者の意見を理解する。 ■理解度や意識に関するアンケートを実施する。			

科目名	イノベーション入門（２ナ生物）	開講学年	2	講義コード	1110802	区分	選必
英文表記	introduction to Innovation	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川副 智行（実務経験）

研究室	G301	オフィスアワー	木曜日終日

メールアドレス	t-kawasoe@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	キャリアデザイン　論理力　教養的知識　自己管理能力　　アイディエーション　コンシューマーインサイト　バックキャスティング　ユーザーエクスペリエンス(UX)　　イノベーション

授業概要	「イノベーションに繋がる魅力的なアイデアを出す力を身に付ける」 本講義では、社会・市場の変化や技術の進歩とイノベーションとの関連を学びながら、イノベーション創出に関する基本的な考えと社会で実践するための知識・スキル・マインドを身に付ける。併せて前職の民間企業で長年研究開発に携わってきた実務経験に基づき、近年重要視されるユーザー体験(UX)やインサイトなどの最新知識や効果的なアイディエーションの手法など、社会で活用できる実践的なノウハウを学ぶ。なお、講義では2回のレポート課題を実施する。提出されたレポートについては、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。

関連科目
基礎科目:「特殊講座（未来デザイン）」「アントレプレナーシップ入門」「ベンチャービジネス」 発展科目:「ローカルイノベーション」　「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			(b), (d), (e),	(b), (d), (e),

JABEE記号		学生の到達度目標
(d)	①	イノベーション創出に向けた考え方に基づく、関連ワード及びトピックスを理解することができる
(b), (e)	②	イノベーションの事例の特徴を理解することで、イノベーション創出に向けて発想することができる
(f)	③	イノベーションの事例に対する自分の考えをまとめて、レポート他で他人に対して論理的にわかり易く説明することができる
(g)	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートファリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	14	40	0	0	10	36	100

教科書	講義のレジュメを教科書とする

参考書	イノベーション全書　東洋経済社　紺野 登　978-4-492-52225-7 イノベーションのジレンマ増補改訂版　翔泳社　C.クリステンセン　978-4-881-35839-9 ビジネスを変える100のブルーオーシャン　日経BP社　日経BP総研社　978-4-2961-0392-8

予備知識	イノベーションは特別なものでなく誰でも起こすことができるという大前提を理解していて欲しい。 起業の有無に関わらず、本講義で学ぶ実践的なアイデア創造力はキャリア形成に有効であることを理解して欲しい。
実務経験のある教員	川副 智行
評価明細基準	1. 確認課題：3点×12回（第5回, 第8回, 第14回を除く講義）＝36点 講義の最後に確認課題を実施する。 2. レポート：20点×2回＝40点 イノベーションのジレンマについて（第5回）／イノベーションを考える（第14回）を1200～1500字でまとめる。各回のテーマに対して、講義で提示する評価基準に基づき評価する。提出されたレポートについては、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。 3. 確認小テスト（第8回）：14点 講義で取り上げた内容に関する基礎的な事項の理解を確認する。テスト内容に関しては以降の講義内で解説を行う。 4. ポートフォリオ：10点 学修到達度レポートによって評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. Web Classに掲示する授業インストラクションを事前に閲覧した上で講義を受講する。　2.各講義で実施する確認課題及び、確認小テストは講義時間内に回答する。レポートは講義終了2週間以内にWebClassにアップロードとする（期限の詳細は講義にて説明する）。なお遅延提出は減点対象となる。　3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。　4.オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合はG301にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。その他メール等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第2回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■講義概要、講師紹介,アントレプレナーシップと社会とのつながりを概説。■社会からの期待や自己実現について考え、体得すべきスキルを理解する。■アンケートで、現在の自分を把握すると共に、講義の位置づけを理解する。			
2回	テーマ	イノベーション領域の頻出ワードと現在のビジネス（企業と起業）	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第3回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■イノベーション領域で使用されるビジネスワードに慣れる。■社会における企業（大企業・中小企業）の特徴を理解する。■起業化よるメリット・デメリットを理解する。			
3回	テーマ	身近にあるイノベーションとアイデアを形にするマインドセット	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第4回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■イノベーションの事例を通して、登場背景やその必要性を理解する。■イノベーション創出では発想とマインドが重要であることを理解する。 ■身近のイノベーションやヒット品を選び、その特徴を理解する。			
4回	テーマ	イノベーションの種類（プロダクト・サービス・プロセス・意味）	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第5回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■様々なイノベーションの事例より、各種イノベーションの分類と特徴を理解する。■アイディエーションにおけるソリューションや想像力の幅を広げる。			
5回	テーマ	イノベーションのジレンマとその対策	講義	イノベーションのジレンマについての意見をレポートにまとめ、期日内に提出する。第6回の授業インストラクションを読んでおく	150
	内容	■商品・サービスの本質的価値と変動する価値を理解する。■大企業におけるイノベーションのジレンマを理解する。■イノベーションのジレンマに対する意見をレポートにまとめる。			
6回	テーマ	持続的イノベーションと破壊的イノベーション	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第7回の授業インストラクションを読んでおく。	60
	内容	■持続的イノベーションと破壊的イノベーションの違いを事例にて理解する。■破壊的イノベーションに繋がる発想及び着眼点を理解する。■次に起こるイノベーションを考えるマインドとスキルを持つ。			
7回	テーマ	変化する生活環境・市場環境・規制とイノベーション	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第8回の授業インストラクションを読んでおく。小テストに向けてこれまでの講義内容を復習する。	120
	内容	■イノベーションが必要となる生活環境や社会構造の変化を理解する。■規制の変化や社会情勢の変化に関する意識を醸成する ■ゲームチェンジの事例を通して、ビジネスセンスを身に付ける。			
8回	テーマ	起業に向けた環境の変化（ICT・SNS）	講義	講義最後に実施する確認小テストについて復習する。第9回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■ICTやSNSなどのプラットフォームによるデジタル経済の発展を理解する。■You Tuberの存在意義や起業に向けた環境の充実を理解する。■確認小テストの実施			
9回	テーマ	コンシューマーインサイトとUX・UI	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第10回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■インサイト及びUX・UIのイメージを理解する。■アイデア着想の源としてインサイトやUXを活用できる。■具体的なインサイトの事例から本質的価値が理解できる。			
10回	テーマ	ニーズを知る（需要度を確認する）	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第11回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■調査実施の必要性と調査の基本骨格を理解する ■市場ニーズを把握する手法の種類を把握する。■調査目的に応じた簡易調査ができるようになる。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	ヒトの意識と感性価値（AIDMAとAISAS）	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第12回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■AIDMAやAISASなどヒトの認知特性を理解してアイデア着想の源とする。 ■感性工学的なアプローチを理解して、感性価値の科学的解釈ができる。 ■商品・サービスの感性価値・インサイトの重要性を理解する。			
12回	テーマ	イノベーションを考えよう！Part.1	講義+PBL(Project Based Learning)	講義中に実施する課題に回答して期日内に提出する。第13回の授業インストラクションを読んでおく。	120
	内容	■グッドデザイン賞などの新規アイデアの存在を理解して、情報収集力を高める。 ■新規アイデアを閲覧して、アイデア評価の具体的な訓練をする。			
13回	テーマ	アイデア創出法（バックキャストとフォアキャスト）	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第14回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■フォアキャストによる発想の優位点と問題点を理解する。 ■バックキャストによる発想の優位点と問題点を理解する。 ■事例を通してアイディエーションでの発想のコツを取得する。			
14回	テーマ	イノベーションを考えよう！Part.2	講義	グッドデザイン賞を対象としたイノベーションを考えるに関するレポートにまとめ、期日内に提出する。第15回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■グッドデザイン賞などの新規アイデアを題材に、アイデアを絞り込むプロセスを体験する。 ■アイデアの良さを説明するプロセスによって、論理的な説明力を体得する。			
15回	テーマ	講義のまとめ	講義	講義内容及び講義最後に実施する講義アンケートについて復習する。ポートフォリオ（到達レポート）の作成する。	60
	内容	■講義のまとめと教員からのメッセージ ■レポートやアンケートの結果を共有化して、自分の意見の位置づけや他者の意見を理解する。 ■理解度や意識に関するアンケートを実施する。			

科目名	イノベーション入門（２建情）	開講学年	2	講義コード	1110803	区分	選必
英文表記	introduction to Innovation	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	川副 智行（実務経験）						
研究室	G301	オフィスアワー	木曜日終日				
メールアドレス	t-kawasoe@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	キャリアデザイン　論理力　教養的知識　自己管理能力　　アイディエーション　コンシューマーインサイト　バックキャスティング　ユーザーエクスペリエンス(UX)　　イノベーション						

授業概要

「イノベーションに繋がる魅力的なアイデアを出す力を身に付ける」 本講義では、社会・市場の変化や技術の進歩とイノベーションとの関連を学びながら、イノベーション創出に関する基本的な考えと社会で実践するための知識・スキル・マインドを身に付ける。併せて前職の民間企業で長年研究開発に携わってきた実務経験に基づき、近年重要視されるユーザー体験(UX)やインサイトなどの最新知識や効果的なアイディエーションの手法など、社会で活用できる実践的なノウハウを学ぶ。なお、講義では2回のレポート課題を実施する。提出されたレポートについては、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。

関連科目

基礎科目：「特殊講座（未来デザイン）」「アントレプレナーシップ入門」「ベンチャービジネス」 発展科目：「ローカルイノベーション」 「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			(b), (d), (e),	(b), (d), (e),

JABEE記号		学生の到達度目標
(d)	①	イノベーション創出に向けた考え方に基づく、関連ワード及びトピックスを理解することができる
(b), (e)	②	イノベーションの事例の特徴を理解することで、イノベーション創出に向けて発想することができる
(f)	③	イノベーションの事例に対する自分の考えをまとめて、レポート他で他人に対して論理的にわかり易く説明することができる
(g)	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートファリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	14	40	0	0	10	36	100

教科書

講義のレジュメを教科書とする

参考書

イノベーション全書　東洋経済社　紺野 登　978-4-492-52225-7
イノベーションのジレンマ増補改訂版　翔泳社　C.クリステンセン　978-4-881-35839-9
ビジネスを変える100のブルーオーシャン　日経BP社　日経BP総研社　978-4-2961-0392-8

予備知識	イノベーションは特別なものでなく誰でも起こすことができるという大前提を理解していて欲しい。 起業の有無に関わらず、本講義で学ぶ実践的なアイデア創造力はキャリア形成に有効であることを理解して欲しい。
実務経験のある教員	川副 智行
評価明細基準	1. 確認課題：3点×12回（第5回, 第8回, 第14回を除く講義）＝36点　講義の最後に確認課題を実施する。　2. レポート：20点×2回＝40点 イノベーションのジレンマについて（第5回）／イノベーションを考える（第14回）を1200～1500字でまとめる。各回のテーマに対して、講義で提示する評価基準に基づき評価する。提出されたレポートについては、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。　3. 確認小テスト（第8回）：14点 講義で取り上げた内容に関する基礎的な事項の理解を確認する。テスト内容に関しては以降の講義内で解説を行う。　4. ポートフォリオ：10点 学修到達度レポートによって評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. Web Classに掲示する授業インストラクションを事前に閲覧した上で講義を受講する。　2.各講義で実施する確認課題及び、確認小テストは講義時間内に回答する。レポートは講義終了2週間以内にWebClassにアップロードとする（期限の詳細は講義にて説明する）。なお遅延提出は減点対象となる。　3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。　4.オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合はG301にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。その他メール等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第2回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■講義概要、講師紹介,アントレプレナーシップと社会とのつながりを概説。■社会からの期待や自己実現について考え、体得すべきスキルを理解する。■アンケートで、現在の自分を把握すると共に、講義の位置づけを理解する。			
2回	テーマ	イノベーション領域の頻出ワードと現在のビジネス(企業と起業)	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第3回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■イノベーション領域で使用されるビジネスワードに慣れる。■社会における企業(大企業・中小企業)の特徴を理解する。■起業化よるメリット・デメリットを理解する。			
3回	テーマ	身近にあるイノベーションとアイデアを形にするマインドセット	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第4回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■イノベーションの事例を通して、登場背景やその必要性を理解する。■イノベーション創出では発想とマインドが重要であることを理解する。 ■身近のイノベーションやヒット品を選び、その特徴を理解する。			
4回	テーマ	イノベーションの種類(プロダクト・サービス・プロセス・意味)	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第5回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■様々なイノベーションの事例より、各種イノベーションの分類と特徴を理解する。■アイディエーションにおけるソリューションや想像力の幅を広げる。			
5回	テーマ	イノベーションのジレンマとその対策	講義	イノベーションのジレンマについての意見をレポートにまとめ、期日内に提出する。第6回の授業インストラクションを読んでおく	150
	内容	■商品・サービスの本質的価値と変動する価値を理解する。■大企業におけるイノベーションのジレンマを理解する。■イノベーションのジレンマに対する意見をレポートにまとめる。			
6回	テーマ	持続的イノベーションと破壊的イノベーション	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第7回の授業インストラクションを読んでおく。	60
	内容	■持続的イノベーションと破壊的イノベーションの違いを事例にて理解する。■破壊的イノベーションに繋がる発想及び着眼点を理解する。■次に起こるイノベーションを考えるマインドとスキルを持つ。			
7回	テーマ	変化する生活環境・市場環境・規制とイノベーション	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第8回の授業インストラクションを読んでおく。小テストに向けてこれまでの講義内容を復習する。	120
	内容	■イノベーションが必要となる生活環境や社会構造の変化を理解する。■規制の変化や社会情勢の変化に関する意識を醸成する ■ゲームチェンジの事例を通して、ビジネスセンスを身に付ける。			
8回	テーマ	起業に向けた環境の変化(ICT・SNS)	講義	講義最後に実施する確認小テストについて復習する。第9回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■ICTやSNSなどのプラットフォームによるデジタル経済の発展を理解する。■You Tuberの存在意義や起業に向けた環境の充実を理解する。■確認小テストの実施			
9回	テーマ	コンシューマーインサイトとUX・UI	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第10回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■インサイト及びUX・UIのイメージを理解する。■アイデア着想の源としてインサイトやUXを活用できる。■具体的なインサイトの事例から本質的価値が理解できる。			
10回	テーマ	ニーズを知る(需要度を確認する)	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第11回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■調査実施の必要性と調査の基本骨格を理解する ■市場ニーズを把握する手法の種類を把握する。■調査目的に応じた簡易調査ができるようになる。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	ヒトの意識と感性価値（AIDMAとAISAS）	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第12回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■AIDMAやAISASなどヒトの認知特性を理解してアイデア着想の源とする。 ■感性工学的なアプローチを理解して、感性価値の科学的解釈ができる。 ■商品・サービスの感性価値・インサイトの重要性を理解する。			
12回	テーマ	イノベーションを考えよう！Part.1	講義+PBL(Project Based Learning)	講義中に実施する課題に回答して期日内に提出する。第13回の授業インストラクションを読んでおく。	120
	内容	■グッドデザイン賞などの新規アイデアの存在を理解して、情報収集力を高める。 ■新規アイデアを閲覧して、アイデア評価の具体的な訓練をする。			
13回	テーマ	アイデア創出法（バックキャストとフォアキャスト）	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第14回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■フォアキャストによる発想の優位点と問題点を理解する。 ■バックキャストによる発想の優位点と問題点を理解する。 ■事例を通してアイディエーションでの発想のコツを取得する。			
14回	テーマ	イノベーションを考えよう！Part.2	講義	グッドデザイン賞を対象としたイノベーションを考えるに関するレポートにまとめ、期日内に提出する。第15回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■グッドデザイン賞などの新規アイデアを題材に、アイデアを絞り込むプロセスを体験する。 ■アイデアの良さを説明するプロセスによって、論理的な説明力を体得する。			
15回	テーマ	講義のまとめ	講義	講義内容及び講義最後に実施する講義アンケートについて復習する。ポートフォリオ（到達レポート）の作成する。	60
	内容	■講義のまとめと教員からのメッセージ ■レポートやアンケートの結果を共有化して、自分の意見の位置づけや他者の意見を理解する。 ■理解度や意識に関するアンケートを実施する。			

科目名	イノベーション入門（２美デ薬）	開講学年	2	講義コード	1110804	区分	選必
英文表記	introduction to Innovation	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川副 智行（実務経験）

研究室	G301	オフィスアワー	木曜日終日

メールアドレス	t-kawasoe@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	キャリアデザイン　論理力　教養的知識　自己管理能力　　アイディエーション　コンシューマーインサイト　バックキャスティング　ユーザーエクスペリエンス(UX)　　イノベーション

授業概要

「イノベーションに繋がる魅力的なアイデアを出す力を身に付ける」 本講義では、社会・市場の変化や技術の進歩とイノベーションとの関連を学びながら、イノベーション創出に関する基本的な考えと社会で実践するための知識・スキル・マインドを身に付ける。併せて前職の民間企業で長年研究開発に携わってきた実務経験に基づき、近年重要視されるユーザー体験(UX)やインサイトなどの最新知識や効果的なアイディエーションの手法など、社会で活用できる実践的なノウハウを学ぶ。なお、講義では2回のレポート課題を実施する。提出されたレポートについては、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。

関連科目

基礎科目：「特殊講座（未来デザイン）」「アントレプレナーシップ入門」「ベンチャービジネス」 発展科目：「ローカルイノベーション」「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			(b), (d), (e),	(b), (d), (e),

JABEE記号		学生の到達度目標
(d)	①	イノベーション創出に向けた考え方に基づく、関連ワード及びトピックスを理解することができる
(b), (e)	②	イノベーションの事例の特徴を理解することで、イノベーション創出に向けて発想することができる
(f)	③	イノベーションの事例に対する自分の考えをまとめて、レポート他で他人に対して論理的にわかり易く説明することができる
(g)	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートファリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	14	40	0	0	10	36	100

教科書

講義のレジュメを教科書とする

参考書

イノベーション全書　東洋経済社　紺野 登　978-4-492-52225-7
イノベーションのジレンマ増補改訂版　翔泳社　C.クリステンセン　978-4-881-35839-9
ビジネスを変える100のブルーオーシャン　日経BP社　日経BP総研社　978-4-2961-0392-8

予備知識	イノベーションは特別なものでなく誰でも起こすことができるという大前提を理解していて欲しい。 起業の有無に関わらず、本講義で学ぶ実践的なアイデア創造力はキャリア形成に有効であることを理解して欲しい。
実務経験のある教員	川副 智行
評価明細基準	1. 確認課題：3点×12回（第5回, 第8回, 第14回を除く講義）＝36点　講義の最後に確認課題を実施する。　2. レポート：20点×2回＝40点 イノベーションのジレンマについて（第5回）／イノベーションを考える（第14回）を1200～1500字でまとめる。各回のテーマに対して、講義で提示する評価基準に基づき評価する。提出されたレポートについては、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。　3. 確認小テスト（第8回）：14点 講義で取り上げた内容に関する基礎的な事項の理解を確認する。テスト内容に関しては以降の講義内で解説を行う。　4. ポートフォリオ：10点 学修到達度レポートによって評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. Web Classに掲示する授業インストラクションを事前に閲覧した上で講義を受講する。　2.各講義で実施する確認課題及び、確認小テストは講義時間内に回答する。レポートは講義終了2週間以内にWebClassにアップロードとする（期限の詳細は講義にて説明する）。なお遅延提出は減点対象となる。　3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。　4.オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合はG301にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。その他メール等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第2回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■講義概要、講師紹介,アントレプレナーシップと社会とのつながりを概説。■社会からの期待や自己実現について考え、体得すべきスキルを理解する。■アンケートで、現在の自分を把握すると共に、講義の位置づけを理解する。			
2回	テーマ	イノベーション領域の頻出ワードと現在のビジネス（企業と起業）	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第3回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■イノベーション領域で使用されるビジネスワードに慣れる。■社会における企業（大企業・中小企業）の特徴を理解する。■起業化よるメリット・デメリットを理解する。			
3回	テーマ	身近にあるイノベーションとアイデアを形にするマインドセット	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第4回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■イノベーションの事例を通して、登場背景やその必要性を理解する。■イノベーション創出では発想とマインドが重要であることを理解する。 ■身近のイノベーションやヒット品を選び、その特徴を理解する。			
4回	テーマ	イノベーションの種類（プロダクト・サービス・プロセス・意味）	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第5回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■様々なイノベーションの事例より、各種イノベーションの分類と特徴を理解する。■アイディエーションにおけるソリューションや想像力の幅を広げる。			
5回	テーマ	イノベーションのジレンマとその対策	講義	イノベーションのジレンマについての意見をレポートにまとめ、期日内に提出する。第6回の授業インストラクションを読んでおく	150
	内容	■商品・サービスの本質的価値と変動する価値を理解する。■大企業におけるイノベーションのジレンマを理解する。■イノベーションのジレンマに対する意見をレポートにまとめる。			
6回	テーマ	持続的イノベーションと破壊的イノベーション	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第7回の授業インストラクションを読んでおく。	60
	内容	■持続的イノベーションと破壊的イノベーションの違いを事例にて理解する。■破壊的イノベーションに繋がる発想及び着眼点を理解する。■次に起こるイノベーションを考えるマインドとスキルを持つ。			
7回	テーマ	変化する生活環境・市場環境・規制とイノベーション	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第8回の授業インストラクションを読んでおく。小テストに向けてこれまでの講義内容を復習する。	120
	内容	■イノベーションが必要となる生活環境や社会構造の変化を理解する。■規制の変化や社会情勢の変化に関する意識を醸成する ■ゲームチェンジの事例を通して、ビジネスセンスを身に付ける。			
8回	テーマ	起業に向けた環境の変化（ICT・SNS）	講義	講義最後に実施する確認小テストについて復習する。第9回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■ICTやSNSなどのプラットフォームによるデジタル経済の発展を理解する。■You Tuberの存在意義や起業に向けた環境の充実を理解する。■確認小テストの実施			
9回	テーマ	コンシューマーインサイトとUX・UI	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第10回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■インサイト及びUX・UIのイメージを理解する。■アイデア着想の源としてインサイトやUXを活用できる。■具体的なインサイトの事例から本質的価値が理解できる。			
10回	テーマ	ニーズを知る（需要度を確認する）	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第11回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■調査実施の必要性と調査の基本骨格を理解する ■市場ニーズを把握する手法の種類を把握する。■調査目的に応じた簡易調査ができるようになる。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	ヒトの意識と感性価値（AIDMAとAISAS）	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第12回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■AIDMAやAISASなどヒトの認知特性を理解してアイデア着想の源とする。 ■感性工学的なアプローチを理解して、感性価値の科学的解釈ができる。 ■商品・サービスの感性価値・インサイトの重要性を理解する。			
12回	テーマ	イノベーションを考えよう！Part.1	講義+PBL(Project Based Learning)	講義中に実施する課題に回答して期日内に提出する。第13回の授業インストラクションを読んでおく。	120
	内容	■グッドデザイン賞などの新規アイデアの存在を理解して、情報収集力を高める。 ■新規アイデアを閲覧して、アイデア評価の具体的な訓練をする。			
13回	テーマ	アイデア創出法（バックキャストとフォアキャスト）	講義	講義内容及び講義最後に実施する確認課題について復習する。第14回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■フォアキャストによる発想の優位点と問題点を理解する。 ■バックキャストによる発想の優位点と問題点を理解する。 ■事例を通してアイディエーションでの発想のコツを取得する。			
14回	テーマ	イノベーションを考えよう！Part.2	講義	グッドデザイン賞を対象としたイノベーションを考えるに関するレポートにまとめ、期日内に提出する。第15回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■グッドデザイン賞などの新規アイデアを題材に、アイデアを絞り込むプロセスを体験する。 ■アイデアの良さを説明するプロセスによって、論理的な説明力を体得する。			
15回	テーマ	講義のまとめ	講義	講義内容及び講義最後に実施する講義アンケートについて復習する。ポートフォリオ（到達レポート）の作成する。	60
	内容	■講義のまとめと教員からのメッセージ ■レポートやアンケートの結果を共有化して、自分の意見の位置づけや他者の意見を理解する。 ■理解度や意識に関するアンケートを実施する。			

科目名	キャリアプレコーオプ（２機建宇情）	開講学年 2	講義コード 1111001	区分 選必
英文表記	Career Pre-Coop；Pre-Cooperative Education	開講期 前期・後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数 2
担当教員	藤田崇　田上寛美（非常勤）　山口美澄（非常勤）　藤本元啓			
研究室	藤田崇：本館附属棟１階　田上寛美：本館附属棟１階　山口美澄：本館附属棟１階 藤本：本館３０５		オフィスアワー メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる	
メールアドレス	@			
キーワード	ロジカルシンキング　企業提供課題　チーム協働　プレゼンテーション　キャリアデザイン能力 自己管理力　アカデミックスキル　課題解決力			

授業概要

履修申請の前に 1.身につけた専門基礎的な知識を現実社会の問題のアイデア的解決に生かしてみたい学生の受講を歓迎 2.「インターンシップⅠ・Ⅱ」受講予定学生の参加を歓迎　概要 本科目は、企業や団体などが抱えている現実的な問題を学生に提示し、学生がその問題の解決にあたるという、課題解決型コーオプ教育の前段階として位置づけたもので、社会人基礎力としての実践力、責任感、主体的行動力を身につけ、専門教育における学修意欲や就業意識の向上を図るものである。 1.企業等が提供する現実的な問題について、チームで精確な情報を収集し、工学・情報・デザイン系の基礎知識を生かして、アイデア的な解決案を発表する。 2.学期中に1つの問題をチームで解決・発表し、希望する個人・チームはさらなる解決案の発表を行う。 3.本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成する。 ★レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。

関連科目

以下の3年次後継科目 1.「キャリアセミナー」（学科別クラス） 2.「キャリアプロジェクト」（学生プロジェクト、2年次までに1年間の活動経験者対象）、 3.「インターンシップⅠ・Ⅱ」（前後期集中、5日間以上）

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
f	①	発表の基本技術とロジカルシンキングについて理解することができる。
d,e,f,i	②	企業等の提供課題について、現時点での最善解を口頭発表することができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	30	60	0	10	0	100

教科書

「SOJO基礎ⅠⅡ」テキスト　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書

予備知識	「SOJO基礎Ⅰ・Ⅱ」で学修したチーム活動
実務経験のある教員	藤田崇、田上寛美、山口美澄
評価明細基準	★成績評価はプロセス評価で行う。 1.レポート:「発表の基本技術とロジカルシンキングの整理」 30点　書式:1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポイント　1行目:タイトル 2行目:空白 3行目:学科、学生番号、氏名 4行目:空白　5行目以下:本文800文字以上　・指定文字数を守り、末尾に文字数を記載する。1行目～4行目、参考文献、図表等　は文字数に含めない。　・各節には必ず見出しをつける。 2.①発表:1チーム7分間(しゃべり方、内容・独自性、投影画面、参考資料、質疑応　答等) 30点　②活動報告書「発表の成果と今後の課題」1行40文字、1頁40行、MS明朝、余白　各25㎜(各自):パワーポイント資料、活動記録添付 30点 3.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」 10点 ★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：出席ボード。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。出席期限は授業日を含めた1週間後の（23時59分）までとする。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。 1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA4判の紙バインダーを購入すること。レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。 7.お茶・水以外の飲用は不可。 8.スマートフォンはカバンにしまうこと。許可のない授業中の使用を発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面		
	内容	シラバスの説明、チーム編成	講義　GW：グループワーク　or　PW：個人ワーク		
2回	テーマ	発表の基本技術とロジカルシンキング①	対面	ロジカルシンキングの整理レポート	60
	内容	問題発見、解決のための基礎的手法	講義　PW（個人ワーク）		
3回	テーマ	発表の基本技術とロジカルシンキング②	対面	ロジカルシンキングの整理レポート	60
	内容	問題発見、解決のための基礎的手法	講義　PW		
4回	テーマ	プレゼンテーション準備①	対面	Teams会議（活動記録）	60
	内容	プレゼンテーションの課題提示 Teams会議：活動記録 発表の構成、工程表、分担等の決定	GW　or　PW		
5回	テーマ	プレゼンテーション準備②	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録 発表の構成、情報収集・整理、PowerPoint作成	GW　or　PW		
6回	テーマ	プレゼンテーション準備③	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録 情報収集・整理、PowerPoint作成	GW　or　PW		
7回	テーマ	プレゼンテーション準備④（PowerPointと概要説明文	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録 中間報告書の作成	GW　or　PW		
8回	テーマ	中間報告会プレゼンテーション準備⑤	対面	Teams会議（活動記録）	60
	内容	PowerPointを使用して中間報告をおこなう	GW　or　PW		
9回	テーマ	プレゼンテーション準備⑥	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録 最終報告の準備	GW　or　PW		
10回	テーマ	プレゼンテーション準備⑦	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録 最終報告の準備	GW　or　PW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①	対面	活動報告書「発表の成果と今後の課題」 書式は2回目授業と同じ	60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） 発表7分間、質疑応答3分間 発表チーム以外は評価シート作成	GW or P W		
12回	テーマ	発表会②	対面	活動報告書「発表の成果と今後の課題」	60
	内容	発表7分間、質疑応答3分間 発表チーム以外は評価シート作成	GW or P W		
13回	テーマ	PBL活動のまとめ①	遠隔	活動報告書「発表の成果と今後の課題」	60
	内容	最終発表資料の修正、活動報告書の作成	GW or P W		
14回	テーマ	PBL活動のまとめ②	遠隔	到達度レポート 授業アンケート	60 60
	内容	到達度レポートの作成 授業アンケートの入力	GW or P W		
15回	テーマ	自己点検授業	対面		
	内容	プレゼンテーションのまとめ 活動報告書・到達度レポート提出、総評、出席確認	講義		

科目名	キャリアプレコーオプ（２ナ生物美デ薬）	開講学年 2	講義コード 1111002	区分 選必
英文表記	Career Pre-Coop；Pre-Cooperative Education	開講期 前期・後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数 2
担当教員	藤田崇　田上寛美（非常勤）　山口美澄（非常勤）　藤本元啓			
研究室	藤田崇：本館附属棟１階　田上寛美：本館附属棟１階　山口美澄：本館附属棟１階 藤本：本館３０５		オフィスアワー メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる	
メールアドレス	@			
キーワード	ロジカルシンキング　企業提供課題　チーム協働　プレゼンテーション　キャリアデザイン能力 自己管理力　アカデミックスキル　課題解決力			

授業概要

履修申請の前に 1.身につけた専門基礎的な知識を現実社会の問題のアイデア的解決に生かしてみたい学生の受講を歓迎 2.「インターンシップⅠ・Ⅱ」受講予定学生の参加を歓迎　概要 本科目は、企業や団体などが抱えている現実的な問題を学生に提示し、学生がその問題の解決にあたるという、課題解決型コーオプ教育の前段階として位置づけたもので、社会人基礎力としての実践力、責任感、主体的行動力を身につけ、専門教育における学修意欲や就業意識の向上を図るものである。 1.企業等が提供する現実的な問題について、チームで精確な情報を収集し、工学・情報・デザイン系の基礎知識を生かして、アイデア的な解決案を発表する。 2.学期中に1つの問題をチームで解決・発表し、希望する個人・チームはさらなる解決案の発表を行う。 3.本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成する。 ★レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。

関連科目

以下の3年次後継科目 1.「キャリアセミナー」（学科別クラス） 2.「キャリアプロジェクト」（学生プロジェクト、2年次までに1年間の活動経験者対象）、 3.「インターンシップⅠ・Ⅱ」（前後期集中、5日間以上）

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
f	①	発表の基本技術とロジカルシンキングについて理解することができる。
d,e,f,i	②	企業等の提供課題について、現時点での最善解を口頭発表することができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	30	60	0	10	0	100

教科書

「SOJO基礎ＩⅡ」テキスト　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書

予備知識	「SOJO基礎Ⅰ・Ⅱ」で学修したチーム活動
実務経験のある教員	藤田崇、田上寛美、山口美澄
評価明細基準	★成績評価はプロセス評価で行う。 1.レポート:「発表の基本技術とロジカルシンキングの整理」 30点　書式:1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポイント　1行目:タイトル 2行目:空白 3行目:学科、学生番号、氏名 4行目:空白　5行目以下:本文800文字以上　・指定文字数を守り、末尾に文字数を記載する。1行目～4行目、参考文献、図表等　は文字数に含めない。　・各節には必ず見出しをつける。 2.①発表:1チーム7分間(しゃべり方、内容・独自性、投影画面、参考資料、質疑応　答等) 30点　②活動報告書「発表の成果と今後の課題」1行40文字、1頁40行、MS明朝、余白　各25㎜(各自):パワーポイント資料、活動記録添付 30点 3.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」 10点 ★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：出席ボード。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。出席期限は授業日を含めた1週間後の（23時59分）までとする。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。 1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA4判の紙バインダーを購入すること。レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。 7.お茶・水以外の飲用は不可。 8.スマートフォンはカバンにしまうこと。許可のない授業中の使用を発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ：オリエンテーション 内容：シラバスの説明、チーム編成	対面 講義　GW：グループワーク　or　PW：個人ワーク		
2回	テーマ：発表の基本技術とロジカルシンキング① 内容：問題発見、解決のための基礎的手法	対面 講義　PW（個人ワーク）	ロジカルシンキングの整理レポート	60
3回	テーマ：発表の基本技術とロジカルシンキング② 内容：問題発見、解決のための基礎的手法	対面 講義　PW	ロジカルシンキングの整理レポート	60
4回	テーマ：プレゼンテーション準備① 内容：プレゼンテーションの課題提示 Teams会議：活動記録 発表の構成、工程表、分担等の決定	対面 GW or PW	Teams会議（活動記録）	60
5回	テーマ：プレゼンテーション準備② 内容：Teams会議：活動記録 発表の構成、情報収集・整理、PowerPoint作成	遠隔 GW or PW	Teams会議（活動記録）	60
6回	テーマ：プレゼンテーション準備③ 内容：Teams会議：活動記録 情報収集・整理、PowerPoint作成	遠隔 GW or PW	Teams会議（活動記録）	60
7回	テーマ：プレゼンテーション準備④（PowerPointと概要説明文 内容：Teams会議：活動記録 中間報告書の作成	遠隔 GW or PW	Teams会議（活動記録）	60
8回	テーマ：中間報告会プレゼンテーション準備⑤ 内容：PowerPointを使用して中間報告をおこなう	対面 GW or PW	Teams会議（活動記録）	60
9回	テーマ：プレゼンテーション準備⑥ 内容：Teams会議：活動記録 最終報告の準備	遠隔 GW or PW	Teams会議（活動記録）	60
10回	テーマ：プレゼンテーション準備⑦ 内容：Teams会議：活動記録 最終報告の準備	遠隔 GW or PW	Teams会議（活動記録）	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①	対面	活動報告書「発表の成果と今後の課題」 書式は2回目授業と同じ	60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） 発表7分間、質疑応答3分間 発表チーム以外は評価シート作成	GW or P W		
12回	テーマ	発表会②	対面	活動報告書「発表の成果と今後の課題」	60
	内容	発表7分間、質疑応答3分間 発表チーム以外は評価シート作成	GW or P W		
13回	テーマ	PBL活動のまとめ①	遠隔	活動報告書「発表の成果と今後の課題」	60
	内容	最終発表資料の修正、活動報告書の作成	GW or P W		
14回	テーマ	PBL活動のまとめ②	遠隔	到達度レポート 授業アンケート	60 60
	内容	到達度レポートの作成 授業アンケートの入力	GW or P W		
15回	テーマ	自己点検授業	対面		
	内容	プレゼンテーションのまとめ 活動報告書・到達度レポート提出、総評、出席確認	講義		

科目名	インターンシップⅠ（３機ナ建シス情微生美デ薬）	開講学年	3	講義コード	1111101	区分	選択
英文表記	Internship Ⅰ	開講期	前期集中	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	1

担当教員	藤田 崇　藤本 元啓　田上 寛美（非常勤）　山口 美澄（非常勤）

研究室	藤田：本館附属棟１階　藤本：本館３０５　田上：本館附属棟１階　山口：本館附属棟１階	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	キャリアデザイン能力　社会人基礎力　企業理解　就業体験　　自己管理力

授業概要	本科目は、実際の業務や働く環境の体験をとおして、業務内容や働くことの理解を深めること、その業務への適正があるかどうかを把握することを目的とする。同時に、社会人としてのルールやマナー、心構えを身につけることにつなげる。つまり社会に出る前に仕事の場を体験することによって「働く」ことを理解し、今後のキャリアデザイン形成に役立てることにある。　1.インターンシップとは何か、何を体験するのか、何を得られるのかなど、インターンシップの意義を理解する 2.「働く」「就職する」とはどのようなことなのか、実体験によって理解を深める 3.社会人基礎力のセルフチェックで自己評価をおこない、インターンシップ先での目標を設定し実践する 4.インターンシップ先の企業研究をおこない、企業への理解を深める 5.日々の就業内容をインターンシップ日報に記録し、企業担当者から評価を受ける 6.インターンシップ成果報告書（①社会人基礎力の自己評価に対する企業担当者のコメントとそれに対する自身の計画、②今後就職するにあたっての必要な知識やスキル等）を作成する　★レポート等は学期内に返却する。

関連科目

1.「SOJO基礎Ⅰ・Ⅱ」（1年次必修） 2.「キャリアプレコーオプ」（2年次選択必修） 3.「キャリアセミナー」（3年次後期選択） 4.「インターンシップⅡ」（3年次後期集中選択）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h	①	就業状況の日報を作成することで、日々の活動を内省することができる。
f,g,h	②	就業の自己評価を作成することで、後のキャリアデザインを設定することができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	40	0	0	60	0	100

教科書	ワークブック インターンシップ　崇城大学総合教育センター　藤本元啓

参考書	

予備知識	1.「学ぶ」と「働く」の理解 2.企業等の現実的な問題解決に取り組む意志 3.インターンシップに関する学内説明会への参加
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「インターンシップ就業レポート」の作成 40点　書式:両面印刷 1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポ　イント1行目:タイトル 2行目:空白 3行目:学科、学生番号、氏名 4行目:空白 5行目以下:本文　内容 ①社会人基礎力の自己評価に対する企業担当者のコメントとそれに対する自身の計画　②今後就職するにあたっての必要な知識やスキル等　各800文字以上、合計1600文字以上　・指定文字数を守り、末尾に文字数を記載する。1行目～4行目、参考文献、図表等は文字数に含めない。・各節には必ず見出しをつける。 2.ポートフォリオ:「インターンシップ」日報 50点 3.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点

学修上の注意 (SBOs)	★履修について ①事前授業1回目の受講後に、事前の履修登録をおこなう。履修登録期間は前期科目と同じ。 ②インターンシップ終了後の事後授業に参加した学生のみを正式な履修登録者とする。 ③インターンシップに参加できなかった場合は、担当教員が履修を取り消し、GPAの対象科目としない。 ・・・

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ 事前授業① 内容 ・就職活動について ・インターンシップ全般の説明 ・「インターンシップⅠ」について ・履修登録について	遠隔 講義		
2回	テーマ 事前授業② 内容 ・ワークブックの配布 ・職業意識と就業先のプログラム確認 ・インターンシップの目標設定 ・社会人基礎力の自己評価シート作成	対面 講義		
3回	テーマ 就業1日目 ①午前 ②午後 内容 ・インターンシップ受け入れ企業での就業体験 ・企業担当者からの評価	対面 実習	インターンシップ日報の作成	60
4回	テーマ 就業2日目 ③午前 ④午後 内容 ・インターンシップ受け入れ企業での就業体験 ・企業担当者からの評価	対面 実習	インターンシップ日報の作成	60
5回	テーマ 就業3日目 ⑤午前 ⑥午後 内容 ・インターンシップ受け入れ企業での就業体験 ・企業担当者からの評価	対面 実習	インターンシップ日報の作成	60
6回	テーマ 就業4日目 ⑦午前 ⑧午後 内容 ・インターンシップ受け入れ企業での就業体験 ・企業担当者からの評価	対面 実習	インターンシップ日報の作成	60
7回	テーマ 就業5日目 ⑨午前 ⑩午後 内容 ・インターンシップ受け入れ企業での就業体験 ・企業担当者からの評価	対面 実習	インターンシップ日報の作成	60
8回	テーマ 事後授業① 内容 ・「インターンシップ就業レポート」、PowerPoint資料の提出 ・社会人基礎力の再評価	対面 PW（個人ワーク）		
9回	テーマ 事後授業② 内容 ・「インターンシップ就業レポート」の発表	対面 PW（個人ワーク）		
10回	テーマ 事後授業③ 内容 「インターンシップ就業レ・ポート」の発表 ・到達度レポートの作成	対面 PW（個人ワーク）		

科目名	キャリアプロジェクト（３機ナ建シス情微生美デ薬）	開講学年	3	講義コード	1111301	区分	選択
英文表記	Sojo Univ. Student Project for Career Development	開講期	前期・後期	開講形態	対面授業	単位数	1

担当教員	藤本 元啓　藤田 崇

研究室	藤本：本館３０５　藤田：本館附属棟１階	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	学生プロジェクト　協働性　課題解決力　リーダーシップ　　自己管理力

授業概要	本科目は、学生プロジェクト活動を修得した専門的基礎知識と技能とを縦横に活用できる教育プログラムとするものである。学生プロジェクト活動自体は、2000年にマサチューセッツ工科大学とスウェーデンのチャルマース工科大学、リンショーピング大学、スウェーデン王立工科大学が協力して開発した工学教育の世界標準とでもいうべき「CDIOイニシアチブ」（Conceive〈考え出す〉、Design〈設計する〉、Implement〈実行する〉、Operate〈操作、運用する〉）に通じている。そのプロセスを「プロジェクト活動記録」（週報）に記述し、成果は試作品や模型の製作・制作、実態調査報告書などによって具現化する。　1.学科・学年の壁を越えたチーム編成で、ひとつのテーマに臨む総合実践学修活動をおこなう 2.学んだ知識や技術を実際に活用し、学生プロジェクト活動をとおして、試作品・模型や実態調査報告書等を作成する 3.立案、調査、設計、製作・分析・評価というプロセスを体験する 4.下級生に適切な技術指導や安全教育、あるいは実態調査報告書作成指導をおこなう 5.プロジェクト運営を自主的におこなう　★レポート等は学期内に返却する。

関連科目
1.「SOJO基礎Ⅰ・Ⅱ」 2.「キャリアプレコーオプ」 3.学科専門基礎科目群

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
fghi	①	正課科目で学んだ知識・技術・チーム活動を学生プロジェクト活動に生かし、ひとつのテーマをチームで解決し、具体的成果物（試作品、模型、実態調査活動報告書等）で報告することができる
fghi	②	毎週のプロジェクト活動報告書を作成し、活動の進捗情況を報告することができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	15	10	0	75	0	100

教科書	ワークブック キャリアプロジェクト　崇城大学総合教育センター　藤本元啓

参考書	

予備知識	1.所属する学生プロジェクトでの活動実績 2.プロジェクト活動で修得した知識や技能
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:活動成果報告書 15点　書式:★両面印刷 1行40文字、1頁40行、MS明朝、余白各25㎜、文字サイズ10.5ポイント 1行目:タイトル 2行目:空白 3行目:学科、学生番号、氏名 4行目:空白 5行目以下:本文 ・指定文字数を守り、末尾に文字数を記載する。1行目～4行目、参考文献、図表等は文字数に含めない。・各節には必ず見出しをつける。 内容:①所属プロジェクトの概要、②今回の活動内容、③活動をとおして身につけた能力と技術 ④今後の課題 各項目300文字以上、合計1200文字以上 2.成果発表:活動Projectの内容等のプレゼンテーション 10点 3.ポートフォリオ:ワークブックのプロジェクト活動記録(13週分)5点×13週＝65点 4.ポートフォリオ:学修到達度レポート 10点 5.履修期間中に開催されたコンテストや大会等の成績は、本科目の評価に反映しない

学修上の注意 (SBOs)	1.履修条件 ・大学が認定した特定の学生プロジェクト活動に、履修時の直前まで1年間以上活動中の3年生 ・認定する学生プロジェクトは、年間を通じて活動するプロジェクトに限定する ※履修対象学生プロジェクト:「Sojo Project F」「SOJO RoboCons」「エコ電カープロジェクト」「からくり」 ※プロジェクト指導教員:学生プロジェクト活動所属証明書への署名が必要 2.出席確認 ・毎週月曜日から1週間以内にWebClassに登録、最終的にはプロジェクト活動報告書で確認する。 3.新型コロナの感染状況によってプロジェクト活動ができない場合は、Teamsを活用して会議を開き、その内容をワークブックに記載すること。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業（1回、13回、14回、15回）の日時・教室は学生ポータルとWebClassで知らせる。 なお新型コロナの感染状況によっては、発表形式をPowerPoint資料提出に変更することがある。 6.成果物は学期内に返却する。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	活動報告書の作成①	30
	内容	科目の目的と概要 活動報告書の作成要項	講義		
2回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成②	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
3回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成③	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
4回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成④	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
5回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成⑤	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
6回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成⑥	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
7回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成⑦	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
8回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成⑧	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
9回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成⑨	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
10回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成⑩	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成⑪	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
12回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成⑫	３０
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
13回	テーマ	活動成果報告準備　プロジェクト活動	対面	以下は次回授業日に提出　活動報告書の作成⑬　活動成果報告書の作成　個人発表資料の作成	60　60　60
	内容	プロジェクト担当部分の個人報告準備作業　各プロジェクト活動の作業	対面PW（個人ワーク）		
14回	テーマ	活動成果報告会①　プロジェクト活動	対面	学修到達度レポートの作成、次回授業日に提出	60
	内容	プロジェクト活動をとおして得た成果・成長に関する個人発表 PowerPoint 5分	対面PW		
15回	テーマ	活動成果報告会②（予備）　自己点検授業	対面		
	内容	プロジェクト活動をとおして得た成果・成長に関する個人発表 PowerPoint 5分　まとめ 提出物の返却	対面PW　講義		

科目名	キャリアデザインⅠ◎（３美デ）	開講学年	3	講義コード	1111501	区分	必修
英文表記	Career Design Ⅰ	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2
担当教員	藤田 崇　藤本 元啓　田上 寛美（非常勤）						
研究室	藤田：本館附属棟１階　藤本：本館３０５　田上寛美（非常勤）：本館附属棟１階			オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる		
メールアドレス	@						
キーワード	キャリアデザイン能力　ロジカルシンキング　チーム協働　自己分析　自己管理力　課題解決力　アカデミックスキル　教養的知識						

授業概要	関連科目
就職活動を控えた芸術学部3年生のための講座で、グローバル経済の中、複雑化する企業の採用環境に対応できるプログラムを実施する。 1.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心を高め、キャリアデザインを考える。 2.発表の基本技術とロジカルシンキングを理解し、PBL（Project-Based Learning）型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 3.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 4.自分自身が過ごしてきた過去を整理し、自分の人柄と能力を言葉と文章で表現ができるようになることを目的とし、個人・グループワークを通して自身のキャリア形成における気づきを高める。 5.SPIのWeb模擬試験を受験し、就職試験対策を深める。	キャリアプレコーオプ、キャリアデザインⅡ、インターンシップⅠⅡ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標			
	JABEE基準			

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	「今週の活動とトップニュース」の新聞閲覧と批評の作成をとおして、社会への関心度を高めることができる。
g	②	SPI模擬受験によって一般教養知識の重要性を再確認することができる。
f	③	エビデンスをもって自己分析を行い、エントリーシートを作成することができる。
f	④	発表の基本技術とロジカルシンキングを理解することができる。
d,e,f,g,h,i	⑤	企業等の提供課題について、現時点での最善解を、PowerPointを使用して口頭発表することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	8	33	10	0	49		100

教科書	
参考書	

予備知識	問題解決の手順、自己分析
実務経験のある教員	
評価明細基準	小テスト①：SPIテスト結果提出 8点　レポート①：「発表の基本技術とロジカルシンキングの整理レポート」10点　書式：1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポイント　1行目：タイトル 2行目：空白 3行目：学科、学生番号、氏名 4行目：空白 5行目以下：本文800文字以上　・指定文字数を守り、末尾に文字数を記載する。1行目～4行目、参考文献、図表等は文字数に含めない。・各節には必ず見出しをつける。レポート②：「個人活動報告書（私のチームへの貢献度）」書式はレポート①と同じ 1)反省点、2)貢献内容に分けて作成　各項目400文字以上、項目ごとに文字数を記載、10点　レポート③：「チーム活動報告書」書式はレポート①と同じ 1)チームの役割分担表、2)チーム作業記録、3)PowerPoint資料、4)プレゼンテーションの分析（優れていた項目、改善すべき項目、評価シートの分析）5点　レポート④：自己表現シート 8点　成果発表①：プレゼンテーション「企業提供課題の解決」10点　ポートフォリオ①：「今週の活動とトップニュース」3点×13回＝39点　ポートフォリオ②：学修到達度レポート 10点

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：出席ボード。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。　　遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。出席期限は授業日を含めた1週間後の（23時59分）までとする。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。 1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。また「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週確認すること。 7.お茶・水以外の飲用は不可。 8.スマートフォンはカバンにしまうこと。許可のない授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12:00（正午）。5月連休中、曜日振替週も入力すること。	60
	内容	・シラバスの説明 ・チームディスカッションの基礎 ・インターンシップの重要性	講義		
2回	テーマ	ロジカルシンキング①	対面	今週の活動とトップニュース① ロジカルシンキングの整理レポート	60 60
	内容	問題発見、解決のための基礎的手法	講義		
3回	テーマ	ロジカルシンキング②	対面	今週の活動とトップニュース② ロジカルシンキングの整理レポート	60 60
	内容	問題発見、解決のための基礎的手法 プレゼンテーションの課題提示	講義		
4回	テーマ	企業提供課題の解決 プレゼンテーション準備①	遠隔	今週の活動とトップニュース③ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	Teams会議：活動記録の作成 発表の構成、工程表、分担等の決定	GW		
5回	テーマ	企業提供課題の解決 プレゼンテーション準備②	遠隔	今週の活動とトップニュース④ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	Teams会議：活動記録の作成 発表の構成、情報収集・整理、PowerPoint作成	GW		
6回	テーマ	企業提供課題の解決 中間報告会 プレゼンテーション準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑤ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	PowerPointを使用して中間報告をおこなう	GW		
7回	テーマ	企業提供課題の解決 プレゼンテーション準備④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	Teams会議：活動記録の作成 情報収集・整理、PowerPoint作成	GW		
8回	テーマ	企業提供課題の解決 発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑦ 個人活動報告書 チーム活動報告書	60 60 60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） 発表7分間、質疑応答3分間 発表チーム以外は評価シート作成	GW		
9回	テーマ	企業提供課題の解決 発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑧ 個人活動報告書 チーム活動報告書	60 60 60
	内容	・発表7分間、質疑応答3分間 発表チーム以外は評価シート作成	GW		
10回	テーマ	企業提供課題の解決 発表会③予備・総評　企業課題の解決発表活動の振り返り	対面	今週の活動とトップニュース⑨ 個人活動報告書 チーム活動報告書 SPIのWeb模擬試験	60 60 60
	内容	個人活動報告書の作成 チーム活動報告書の作成 ★ともに11回目の授業日に提出 SPIのWeb模擬試験の説明 ★12回目の授業前日までに受験すること	GW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自己分析①	対面	今週の活動とトップニュース⑩	60
	内容	・自己分析表の作成方法 ・過去の自分を振り返り、自己分析表を作成	PW		
12回	テーマ	自己分析②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑪	60
	内容	・現在の自分を見つめ直し、自己分析表を作成	PW		
13回	テーマ	自己分析③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ 自己表現シート	60 60
	内容	・将来の自分を考え、ライフデザインを行う ・自己分析①②③をとおして、自己表現シートを作成 ★14回目の授業日に提出	PW		
14回	テーマ	履歴書、エントリーシートの作成	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 学修到達度レポート 授業資料（テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示）をA4版紙バインダーに整理	60 60 60
	内容	・履歴書、エントリーシートの概要説明と作成 ★企業等の就職先を仮選定して作成	PW		
15回	テーマ	自己点検授業	対面	履歴書、エントリーシート 学期末活動報告書を入力し、次学期初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	90 90
	内容	・履歴書、エントリーシートの作成 ・後期「キャリアデザインⅡ」の第1回授業日に提出 ・学修到達度レポート提出 ・授業資料A4版紙バインダー点検、出席確認	講義		

科目名	キャリア基礎Ⅱ◎（旧カリ）（工情生学部）	開講学年	2	講義コード	1111801	区分	必修
英文表記	Basic Style for Career Ⅱ	開講期	前期・後期集中	開講形態	遠隔授業	単位数	1

担当教員	藤本元啓

研究室	本館305	オフィスアワー	詳細はＷｅｂＣｌａｓｓで確認のこと

メールアドレス	@

キーワード	大学での学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン能力　プレゼンテーション　課題解決力　自己管理力

授業概要	本科目は遠隔授業（オンデマンド）のため、チームで行う活動をすべて個人活動に置き換えて実施する。基本的には、個人活動の集合体がチーム活動であるから、受講者が身につけるべきことは変わりない。 本科目では、以下の学修をおこなう。 第1に本学HPで所属学科研究室の調査をおこない、他大学HPで同一内容の研究と の比較をとおして、個人発表資料・原稿を作成する。 第2に、課題レポートの作成をとおして、問題解決能力の向上を図る。 第3に、「今週の活動とトップニュース」（SOJOポートフォリオシステム）の作成を通して、自己管理能力と社会への関心を深める。 第4に、本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。

関連科目
キャリア基礎Ⅰ・Ⅲ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			fgh	fgh

JABEE記号		学生の到達度目標
f ,g	①	「今週の活動とトップニュース」の活動履歴の作成をとおして自己管理能力を高めることができる
f ,g	②	「今週の活動とトップニュース」の新聞記事の閲覧と批評をとおして社会への関心度を高めることができる
f, g , h	③	研究室調査をとおして、自身のキャリアデザインを進めることができる。
g , h	④	信用のある精確な情報を収集・分析して問題を解決し、提案レポートを作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	20	0	60	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	①レポート:課題レポート 20点　②成果発表:所属学科研究室調査発表資料・原稿 20点　③ポートフォリオ:今週の活動とトップニュース 13回×4＝52点　④ポートフォリオ:到達度レポート 8点

学修上の注意 (SBOs)	1.本科目は2018年度以前の入学者の再履修科目（必修）である。 2.同一学期に「キャリア基礎Ⅰ」「キャリア基礎Ⅲ」を同時に履修できない。 3.第1回目の授業は学期開始後の月曜日とする。 4.出席確認はWebClassの出席システムを使用する。入力期間は授業日を含めて1週間以内とする。 5.レポート等は学期内に返却する。 6.本科目は遠隔授業であるが、特定の日時に個別対面授業をおこなう。日時・場所はWebClassに掲載するので、留意すること。 7.課題の提出期限を厳守すること。締切以降は一切受け付けない。とくに「今週の活動とトップニュース」入力締切は毎週月曜日12:00（正午）とし、それ 以降の入力は得点化しない。また「1週間の活動と行動履歴」は教員コメントを参照し「既読」ボタンを押すこと。 8.課題作成を先送りせず、今学期履修科目の課題提出一覧表を作成し、計画的な学修を進めること。 9.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 10.卒業に必要な必修科目であることを再認識すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	所属学科研究室調査①	遠隔	★「今週の活動とトップニュース」の入力は、第1回授業日後の日曜日方開始する。締切は毎週月曜日12:00（正午）、それ以降の入力は得点化しない	
	内容	所属学科のHPや大学案内を参考にして、将来進みたい研究室2箇所を下記の項目に沿って調査しなさい。・所属学科の研究室全体の概略を知る	ＰＷ　（個人ワーク）		
2回	テーマ	所属学科研究室調査②	遠隔	「今週の活動とトップニュース」①	60
	内容	・現時点で興味を持っている研究室を選ぶ　・当該研究室を選んだ理由、調査したい事項を整理する	ＰＷ		
3回	テーマ	所属学科研究室調査③	遠隔	「今週の活動とトップニュース」②	60
	内容	・研究室に所属するためにはどのような基礎知識が必要なのか　・研究内容、活動概要等	ＰＷ		
4回	テーマ	所属学科研究室調査④	遠隔	「今週の活動とトップニュース」③	60
	内容	・他大学の同種学科の内容との比較	ＰＷ		
5回	テーマ	所属学科研究室調査発表資料作成①	遠隔	「今週の活動とトップニュース」④	60
	内容	個人発表用（5分間）原稿と資料をPowerPointのノート機能を用いて作成 ★「Powerpoint作成画面」→「表示」→「ノート」をクリック　参照：「パワーポイント ノート機能」で検索　★画面1枚につきA4用紙1枚で両面印刷　★1枚目のシートに学科・氏名・学生番号	ＰＷ		
6回	テーマ	所属学科研究室調査発表資料作成②	遠隔	「今週の活動とトップニュース」⑤	60
	内容	個人発表用（5分間）原稿と資料をPowerPointのノート機能を用いて作成	ＰＷ		
7回	テーマ	所属学科研究室調査発表資料作成③	遠隔	「今週の活動とトップニュース」⑥	60
	内容	個人発表用（5分間）原稿と資料をPowerPointのノート機能を用いて作成	ＰＷ		
8回	テーマ	所属学科研究室調査発表資料作成④	遠隔	「今週の活動とトップニュース」⑦	60
	内容	個人発表用（5分間）原稿と資料をPowerPointのノート機能を用いて作成　提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ		
9回	テーマ	課題レポート作成①	遠隔	「今週の活動とトップニュース」⑧	60
	内容	「所属学科に関係する業界をめぐる諸問題とその解決法の提案」・章立てと参考文献調査　書式 1頁40行、1行40文字、MS明朝　1行目：タイトル 2行目：空白　3行目：学科、学生番号、氏名　4行目：空白 5行目から本文・1,200文字以上（末尾に文字数を記載）、1～4行目と参考文献及び図表等は文字数に含めない。・各章、節には必ず見出しをつける、参考文献は2件以上	ＰＷ		
10回	テーマ	課題レポート作成②	遠隔	「今週の活動とトップニュース」⑨	60
	内容	・参考文献調査とその概要整理	ＰＷ		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	課題レポート作成③	遠隔	「今週の活動とトップニュース」⑩	60
	内容	・各章概要の言語化	ＰＷ		
12回	テーマ	課題レポート作成④	遠隔	「今週の活動とトップニュース」⑪	60
	内容	・各章概要の言語化	ＰＷ		
13回	テーマ	課題レポート作成⑤	遠隔	「今週の活動とトップニュース」⑫	60
	内容	・各章概要の推敲	ＰＷ		
14回	テーマ	課題レポート作成⑥	遠隔	「今週の活動とトップニュース」⑬	60
	内容	・最終稿の作成〜提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ		
15回	テーマ	自己点検	遠隔		
	内容	到達度レポートの作成〜提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ		

科目名	キャリア基礎Ⅲ◎（旧カリ）（工情生学部）	開講学年	3	講義コード	1111901	区分	必修
英文表記	Basic Style for CareerⅢ	開講期	前期・後期	開講形態	遠隔授業	単位数	1
担当教員	藤本 元啓						
研究室	本館３０５	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーはWebClassで知らせる				
メールアドレス	@						
キーワード	企業調査　キャリアデザイン能力　プレゼンテーション　SOJOポートフォリオ　　エントリーシート 自己管理力　課題解決力　論理力						

授業概要

本科目は遠隔授業（オンデマンド）のため、チームで行う活動をすべて個人活動に置き換えて実施する。基本的には、個人活動の集合体がチーム活動であるから、受講者が身につけるべきことは変わりない。 本科目では以下の学修活動をおこなう。 1.企業等の課題レポートの作成をとおして、問題解決能力の向上を図る。 2.第一志望企業を選定し、エントリーシートを作成する。 3.「今週の活動とトップニュース」（SOJOポートフォリオシステム）の作成を通して、自己管理能力と社会への関心を深める。 4.本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。

関連科目

キャリア基礎ＩⅡ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fgh	fgh

JABEE記号		学生の到達度目標
f ,g	①	「今週の活動とトップニュース」の活動履歴の作成をとおして自己管理能力を高めることができる
f ,g	②	「今週の活動とトップニュース」の新聞記事の閲覧と批評をとおして社会への関心度を高めることができる
g , h	③	関係業界の諸問題を決策し、提案レポートを作成することができる
g , h	④	エビデンスにもとづいたエントリーシートを作成することができる
f ,h,	⑤	時事問題について自己見解の発表原稿を作成することができる
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	28	10	0	62	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	①レポート:課題レポート 14点　②レポート:エントリーシート 14点　③発表:時事問題に関する考察 10点　④ポートフォリオ:今週の活動とトップニュース 13回×4点＝52点　⑤ポートフォリオ:到達度レポート 10点

学修上の注意 (SBOs)	1.本科目は2018年度以前の入学者の再履修科目（必修）である。 2.同一学期に「キャリア基礎Ⅱ」「キャリア基礎Ⅲ」を同時に履修できない。 3.第1回目の授業は学期開始後の最初の月曜日とする。 4.出席確認はWebClassの出席システムを使用する。入力期間は授業日を含めて1週間以内とする。 5.レポート等は学期内に返却する。 6.本科目は遠隔授業であるが、特定の日時に個別対面授業をおこなう。日時・場所はWebClassに掲載するので、留意すること。 7.課題の提出期限を厳守すること。締切以降は一切受け付けない。とくに「今週の活動とトップニュース」入力締切は毎週月曜日12:00（正午）とし、それ 以降の入力は得点化しない。また「1週間の活動と行動履歴」は教員コメントを参照し「既読」ボタンを押すこと。 8.課題作成を先送りせず、今学期履修科目の課題提出一覧表を作成し、計画的な学修を進めること。 9.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 10.卒業に必要な必修科目であることを再認識すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	遠隔	★「今週の活動とトップニュース」の入力 ①第1回授業日後の日曜日から開始する。締切は毎週月曜日12:00（正午）、それ以降の入力は得点化しない。 ②授業曜日振替、夏期冬期休暇中も入力すること。 ③課題作成の進捗状況を記述すること	
	内容	本授業のシラバスを熟読し、課題作成の学修スケジュールを立てる	ＰＷ　（個人ワーク）		
2回	テーマ	課題レポート作成①	遠隔	今週の活動とトップニュース」①　★課題レポートテーマ（以下からひとつ選択）・災害時に役立つロボットの製作企画の提案 ・ドローンを使用したこれまでにないビジネスの提案 ・自然災害仮設住宅地域の「集会所」の提案 ・中学生にナノテクノロジーを理解させるガイドブックの概要提案 ・農業へのAI活用の提案 ・環境問題解決のための微生物の利用方法の提案 ・新しい学生プロジェクト活動の提案 ・コメの品種を紹介するHPの作成 ・理科好きのこどもを増やすための施策の提案 ・微生物を利用した食料増産施策の提案	60
	内容	「企業等が提供する課題の解決」 ★テーマは右欄「学修課題」を参照 ・章立てと参考文献調査 書式 1頁40行、1行40文字、MS明朝 1行目：タイトル 2行目：空白　3行目：学科、学生番号、氏名　4行目：空白 5行目から本文 ・2,000文字以上（末尾に文字数を記載）、 1～4行目と参考文献及び図表等は文字数に含めない。 ・各章、節には必ず見出しをつける、参考文献は2件以上 ★提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ		
3回	テーマ	課題レポート作成②	遠隔	今週の活動とトップニュース」②	60
	内容	・参考文献調査とその概要整理	ＰＷ		
4回	テーマ	課題レポート作成③	遠隔	今週の活動とトップニュース」③	60
	内容	・各章概要の言語化	ＰＷ		
5回	テーマ	課題レポート作成④	遠隔	今週の活動とトップニュース」④	60
	内容	・各章概要の言語化	ＰＷ		
6回	テーマ	課題レポート作成⑤	遠隔	今週の活動とトップニュース」⑤	60
	内容	・各章概要の推敲	ＰＷ		
7回	テーマ	課題レポート作成⑥	遠隔	今週の活動とトップニュース」⑥	60
	内容	・最終稿の作成	ＰＷ		
8回	テーマ	エントリーシートの作成①	遠隔	今週の活動とトップニュース」⑦	60
	内容	第一志望企業へのエントリーシートを以下の1)～3)に分けて作成する。提出先、締切：WebClassで確認こと 書式は「課題レポート」と同様 1)志望動機：400文字以上	ＰＷ		
9回	テーマ	エントリーシートの作成②	遠隔	今週の活動とトップニュース」⑧	60
	内容	2)私は志望企業でどのような貢献をおこなうか：400文字以上	ＰＷ		
10回	テーマ	エントリーシートの作成③	遠隔	今週の活動とトップニュース」⑨	60
	内容	3)私が志望企業で貢献するために何が必要なのか：400文字以上	ＰＷ		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	時事問題の考察①	遠隔	今週の活動とトップニュース」⑩	60
	内容	関心のある時事問題について考察し、発表資料と原稿を作成する。発表資料：PowerPoint　発表原稿：5分程度の分量　★「PowerPoint作成画面」→「表示」→「ノート」をクリック　参照：「パワーポイント ノート機能」で検索　★画面1枚につきA4用紙1枚で両面印刷　★1枚目のシートに学科・氏名・学生番号　提出先、締切：WebClassで確認こと	PW		
12回	テーマ	時事問題の考察②	遠隔	今週の活動とトップニュース」⑪	60
	内容	関心のある時事問題について考察し、発表資料と原稿を作成する。	PW		
13回	テーマ	時事問題の考察③	遠隔	今週の活動とトップニュース」⑫	60
	内容	関心のある時事問題について考察し、発表資料と原稿を作成する。	PW		
14回	テーマ	時事問題の考察④	遠隔	今週の活動とトップニュース」⑬	60
	内容	関心のある時事問題について考察し、発表資料と原稿を作成する。★最終稿の完成	PW		
15回	テーマ	自己点検	遠隔		
	内容	到達度レポートの作成`提出先、締切：WebClassで確認のこと	PW		

科目名	キャリア実践Ⅰ◎（旧カリ）（３機）	開講学年	3	講義コード	1112001	区分	必修
英文表記	Practice Style for Career Ⅰ	開講期	前期・後期	開講形態	遠隔授業	単位数	1
担当教員	藤本 元啓						
研究室	藤本：本館３０５	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーはWebClassで知らせる				
メールアドレス	@						
キーワード	課題解決力　情報収集力　時事知識　文章作成能力　　教養的知識　自己管理力　キャリアデザイン能力						

授業概要	関連科目
実社会では、これまでの学生生活を通じて獲得した知識とスキルを十分に発揮することが求められる。なかでも、自分の考えや特定の事象について、第三者に正確に伝えることが重要となる。その手段は、「ことば」「文章」「図、表、作品」である。 本科目では、第一に企業提供の課題の解決をとおして、論理的な思考の向上を図る。 第二に、『2020時事問題トレーニングノート』を使用して、SPIへの対応能力の向上に努める。	キャリア基礎ⅠⅡⅢ キャリア実践Ⅱ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標			
	JABEE基準			

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	機械系企業提供の課題を解決し、提案レポートを作成することができる
	②	時事問題トレーニングノートの作成によって、社会への関心を高めることができる
	③	本科目における「学修到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	50	0	0	10	40	100

教科書	2020時事問題トレーニングノート　崇城大学
参考書	

予備知識	「学ぶ」と「働き」の接続意識
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「企業等が提供する課題の解決」　50点　2.ポートフォリオ:学修の到達度レポート　10点　3.その他:『2020時事問題トレーニングノート』 2点×20問＝40点

学修上の注意 (SBOs)	★『2020時事問題トレーニングノート』を藤本研究室（本館305）まで受け取りに来ること。 1.本科目は2018年度以前の工学部機械工学科入学者の再履修科目（必修）である。 2.同一学期に「キャリア基礎Ⅱ」「キャリア基礎Ⅲ」を同時に履修できない。 3.第1回目の授業は学期開始後の最初の月曜日とする。 4.出席確認はWebClassの出席システムを使用する。入力期間は授業日を含めて1週間以内とする。 5.レポート等は学期内に返却する。 6.本科目は遠隔授業であるが、特定の日時に個別対面授業をおこなう。日時・場所はWebClassに掲載するので、留意すること。 7.課題の提出期限を厳守すること。締切以降は一切受け付けない。 8.課題作成を先送りせず、今学期履修科目の課題提出一覧表を作成し、計画的な学修を進めること。 9.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 10.卒業に必要な必修科目であることを再認識すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	企業の課題レポート作成①	遠隔	課題レポートテーマ（以下からひとつ選択） ①倒れないオートバイの仕組みを提案してください。②事故を防ぐために、乗用車の改良すべき点を提案してください。 課題レポート作成	60
	内容	「企業等が提供する課題の解決」 ★テーマは右欄「学修課題」を参照 ・章立てと参考文献調査 書式 1頁40行、1行40文字、MS明朝 1行目：タイトル 2行目：空白 3行目：学科、学生番号、氏名 4行目：空白 5行目から本文 ・2,000文字以上（末尾に文字数を記載）、1～4行目と参考文献及び図表等は文字数に含めない。 ・各章、節には必ず見出しをつける、参考文献は2件以上 ★提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ （個人ワーク）		
2回	テーマ	企業の課題レポート作成②	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・参考文献調査とその概要整理	ＰＷ		
3回	テーマ	企業の課題レポート作成③	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・各章概要の言語化	ＰＷ		
4回	テーマ	企業の課題レポート作成④	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・各章概要の言語化	ＰＷ		
5回	テーマ	企業の課題レポート作成⑤	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・各章概要の推敲	ＰＷ		
6回	テーマ	企業の課題レポート作成⑥	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・最終稿の作成	ＰＷ		
7回	テーマ	企業の課題レポート作成⑦	遠隔	課題レポートの書式等の確認	60
	内容	・最終稿の完成 ★提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ		
8回	テーマ	『2020時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	ニュース要点チェック：1頁～3頁 ★提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ		
9回	テーマ	『2020時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	図表の読み解き：4頁～9頁	ＰＷ		
10回	テーマ	『2020時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	図表の読み解き：10頁～15頁	ＰＷ		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	『2020時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	ニュース:16頁～21頁	PW		
12回	テーマ	『2020時事問題トレーニングノート』頁	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	新聞の読み解き:22頁～27	PW		
13回	テーマ	『2020時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	新聞の読み解き:28頁～33頁	PW		
14回	テーマ	『2020時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	新聞の読み解き:34頁～37頁 ★提出先、締切:WebClassで確認のこと	PW		
15回	テーマ	自己点検	遠隔		
	内容	学修の到達度レポート作成と登録 ★提出先、締切:WebClassで確認のこと	PW		

科目名	キャリア実践Ⅱ◎（旧カリ）（３機）	開講学年	3	講義コード	1112101	区分	必修
英文表記	Practice Style for Career Ⅱ	開講期	前期・後期	開講形態	遠隔授業	単位数	1
担当教員	藤本 元啓						
研究室	藤本：本館３０５	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーはWebClassで知らせる				
メールアドレス	@						
キーワード	キャリアデザイン能力　情報収集力　時事知識　文章作成能力　課題解決力　教養的知識　自己管理力						

授業概要

実社会では、これまでの学生生活を通じて獲得した知識とスキルを十分に発揮することが求められる。なかでも、自分の考えや特定の事象について、第三者に正確に伝えることが重要となる。その手段は、「ことば」「文章」「図、表、作品」である。 本科目では、第一に企業提供の課題の解決をとおして、論理的な思考の向上を図る。 第二に、『2021時事問題トレーニングノート』を使用して、SPIへの対応能力の向上に努める。

関連科目

キャリア基礎ⅠⅡⅢ キャリア実践Ⅰ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	機械系企業提供の課題を解決し、提案レポートを作成することができる
	②	時事問題トレーニングノートの作成によって、社会への関心を高めることができる
	③	本科目における「学修到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	50	0	0	10	40	100

教科書	2021時事問題トレーニングノート　崇城大学
参考書	

予備知識	「学ぶ」と「働き」の接続意識
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「企業等が提供する課題の解決」 50点 2.ポートフォリオ:学修の到達度レポート 10点 3.その他:『2021時事問題トレーニングノート』 2点×20問＝40点

学修上の注意 (SBOs)	★『2021時事問題トレーニングノート』を藤本研究室（本館305）まで受け取りに来ること。 1.本科目は2018年度以前の工学部機械工学科入学者の再履修科目（必修）である。 2.同一学期に「キャリア基礎Ⅱ」「キャリア基礎Ⅲ」を同時に履修できない。 3.第1回目の授業は学期開始後の最初の月曜日とする。 4.出席確認はWebClassの出席システムを使用する。入力期間は授業日を含めて1週間以内とする。 5.レポート等は学期内に返却する。 6.本科目は遠隔授業であるが、特定の日時に個別対面授業をおこなう。日時・場所はWebClassに掲載するので、留意すること。 7.課題の提出期限を厳守すること。締切以降は一切受け付けない。 8.課題作成を先送りせず、今学期履修科目の課題提出一覧表を作成し、計画的な学修を進めること。 9.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 10.卒業に必要な必修科目であることを再認識すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	企業の課題レポート作成①	遠隔	課題レポートテーマ（以下からひとつ選択） ①AI時代のエンジニアのありかたを提案してください。 ②これからの自動車産業のあるべき姿勢を提案してください。 課題レポート作成	60
	内容	「企業等が提供する課題の解決」 ★テーマは右欄「学修課題」を参照 ・章立てと参考文献調査 書式 1頁40行、1行40文字、MS明朝 1行目：タイトル 2行目：空白 3行目：学科、学生番号、氏名 4行目：空白 5行目から本文 ・2,000文字以上（末尾に文字数を記載）、1～4行目と参考文献及び図表等は文字数に含めない。 ・各章、節には必ず見出しをつける、参考文献は2件以上 ★提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ （個人ワーク）		
2回	テーマ	企業の課題レポート作成②	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・参考文献調査とその概要整理	ＰＷ		
3回	テーマ	企業の課題レポート作成③	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・各章概要の言語化	ＰＷ		
4回	テーマ	企業の課題レポート作成④	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・各章概要の言語化	ＰＷ		
5回	テーマ	企業の課題レポート作成⑤	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・各章概要の推敲	ＰＷ		
6回	テーマ	企業の課題レポート作成⑥	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・最終稿の作成	ＰＷ		
7回	テーマ	企業の課題レポート作成⑦	遠隔	課題レポートの書式等の確認	60
	内容	・最終稿の完成 ★提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ		
8回	テーマ	『2021時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	ニュース要点チェック：1頁～3頁 ★提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ		
9回	テーマ	『2021時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	図表の読み解き：4頁～9頁	PW		
10回	テーマ	『2021時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	図表の読み解き：10頁～15頁	ＰＷ		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	『2021時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	ニュース:16頁～21頁	PW		
12回	テーマ	『2021時事問題トレーニングノート』頁	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	新聞の読み解き:22頁～27	PW		
13回	テーマ	『2021時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	新聞の読み解き:28頁～33頁	PW		
14回	テーマ	『2021時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	新聞の読み解き:34頁～37頁 ★提出先、締切:WebClassで確認のこと	PW		
15回	テーマ	自己点検	遠隔		
	内容	学修の到達度レポート作成と登録 ★提出先、締切:WebClassで確認のこと	PW		

科目名	科学技術者倫理◎（３ナ）	開講学年	3	講義コード	1120102	区分	工学部・情報学部・生物
英文表記	Engineering Ethics	開講期	前期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	鈴木俊洋

研究室	本館309	オフィスアワー	金 １１：３０～１２：３０

メールアドレス	t-suzuki@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	組織における科学技術者　社会における科学技術者　専門職としての科学技術者　倫理的判断形成　　科学技術者と環境

授業概要	1. 科学技術の専門家になるということがいかなることかを理解し、科学技術者として実社会で出会う可能性のある倫理的問題に対処する方法を学ぶ。　2. 方法論や諸概念の把握と並行して、具体的事例に即して、倫理的判断形成の実践的練習を行う。　3. 授業内での演習を通じて倫理的問題の討論の練習を行う。　★提出課題(レポート等)については、課題提出の次の週などに適宜解説を行い、WebClassでの連絡システムを通じて質疑に応答をする。

関連科目
科学・技術・社会に関係する諸科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A3	A3
	JABEE基準	b	b	b,g

JABEE記号		学生の到達度目標
b	①	倫理的判断形成がいかなるものかを説明することができる。
b	②	セブンステップガイドにそって倫理的判断を実践することができる。
b	③	組織の中の科学技術者として出会う可能性のある倫理的問題に適切に対処することができる。
b	④	科学技術者の倫理に関わる重要な諸概念について説明することができる。
b	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	51	0	0	10	39	100

教科書	指定しない

参考書	本質から考え行動する科学技術者倫理　白桃書房　金沢工業大学･科学技術応用倫理研究所編　9784561256991 理系のための科学技術者倫理　丸善出版　直江清隆･盛永審一郎編　9784621089460

予備知識	1. 科学技術の関わる社会的問題について興味を持っていること（日常生活の中で、新聞や報道番組などを通じて知識を深めておくこと） 2. ディスカッションにおいて自らの意見を述べる姿勢を持っていること 3. 他者の意見を聞き、それについて質問をする姿勢を持っていること 4. 倫理的問題を自らの問題として考えようとする姿勢を持っていること
実務経験のある教員	
評価明細基準	・レポート(期末レポート):期末に授業全体に関するレポートを提出する 15点 A4用紙1枚片面、表紙不要 フォーマット(1頁40行、1行40文字、MS明朝、文字サイズ10.5)、本文1.000文字以上 ・レポート(事例考察シート):事例考察シート(授業内で配布する様式に記入して提出)を計4回提出 9点×4回 36点 ・その他:リアクションペーパー:初回と最終回(オンラインの場合は自習課題回2回)以外の各回の授業終了時に授業内容についての質問・疑問・感想・コメント・考えたことなどを記述したリアクションペーパーを提出 3点×13回 39点 5.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」10点 ①【学生の到達度目標】の項目①～⑤の達成度とその理由を各200～250文字で入力しプリントアウトして提出 ②授業アンケートに回答する

学修上の注意 (SBOs)	1.本年度の本科目は、全ての回をオンライン（オンデマンド型）で実施する。 2.授業コンテンツはWebClassで提示するので、WebClassで本科目に登録すること。 3.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けない。但し公認欠席の場合は別途指示する。 4.出席の取り方、課題提出の方法については、WebClassの冒頭に提示する「受講の手順」の文書で通知するので受講前に必ず熟読すること。 5.本科目では、金沢工業大学・科学技術応用倫理研究所の提供するオープンアクセス資料を講義の資料として使用する。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなし厳しく対処する。 7. オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は、本館309室にて対応する。オフィスアワーにTeams のチャットやテレビ電話等での質問も受け付ける。（メール等での連絡によってその他の時間でも対応する。）

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イントロダクション	講義	シラバスを読む 授業で扱った内容について理解を深める	30 60
	内容	科学技術者倫理とは何か。なぜ必要なのか。どのように授業を進めるか。			
2回	テーマ	科学技術者と倫理	講義 演習	科学技術が関わる倫理的問題について考える 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	技術と倫理の関係 倫理的判断とは何か リアクションペーパーの作成			
3回	テーマ	自習課題(1) 倫理規定	演習	事例考察シート①	90
	内容	倫理規定についての自習課題			
4回	テーマ	倫理的判断について	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
5回	テーマ	倫理的判断の練習①	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
6回	テーマ	倫理的判断の練習②	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
7回	テーマ	倫理的判断の練習	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察 事例考察シート②	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成 事例考察シート②の作成			
8回	テーマ	安全	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「安全」とは何か 安全の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
9回	テーマ	ヒューマンエラー	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	ヒューマンエラーについて ニューマンエラーの関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
10回	テーマ	公益通報	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	公益通報について 公益通報に関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自習課題(2)	演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例についての考察 セブンステップガイドに沿った倫理的判断形成の練習 事例考察シート③			
12回	テーマ	環境	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「環境」とは何か 環境の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
13回	テーマ	製造物責任	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「製造物責任」について 製造物責任の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
14回	テーマ	総合的事例考察	講義 演習	授業内容の理解を深める 到達度評価レポートの作成 期末レポートの作成 事例考察シート④	30 30 60 30
	内容	総合的な事例についての動画を視聴 事例の分析とディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート④の作成			
15回	テーマ	まとめ	講義 演習	授業全体をまとめて復習する 期末レポートの作成	60 30
	内容	いかなる科学技術者になるか どのように科学技術と付き合っていくか リアクションペーパー作成 期末レポートの作成 事例考察シート④の解説			

科目名	科学技術者倫理◎（３建）	開講学年	3	講義コード	1120103	区分	工学部・情報学部・生物
英文表記	Engineering Ethics	開講期	前期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	鈴木俊洋

研究室	本館309	オフィスアワー	金 １１：３０～１２：３０

メールアドレス	t-suzuki@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	組織における科学技術者　社会における科学技術者　専門職としての科学技術者　倫理的判断形成　　科学技術者と環境

授業概要	1. 科学技術の専門家になるということがいかなることかを理解し、科学技術者として実社会で出会う可能性のある倫理的問題に対処する方法を学ぶ。　2. 方法論や諸概念の把握と並行して、具体的事例に即して、倫理的判断形成の実践的練習を行う。　3. 授業内での演習を通じて倫理的問題の討論の練習を行う。　★提出課題(レポート等)については、課題提出の次の週などに適宜解説を行い、WebClassでの連絡システムを通じて質疑に応答をする。

関連科目
科学・技術・社会に関係する諸科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A3	A3
	JABEE基準	b	b	b,g

JABEE記号		学生の到達度目標
b	①	倫理的判断形成がいかなるものかを説明することができる。
b	②	セブンステップガイドにそって倫理的判断を実践することができる。
b	③	組織の中の科学技術者として出会う可能性のある倫理的問題に適切に対処することができる。
b	④	科学技術者の倫理に関わる重要な諸概念について説明することができる。
b	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	51	0	0	10	39	100

教科書	指定しない

参考書	本質から考え行動する科学技術者倫理　白桃書房　金沢工業大学･科学技術応用倫理研究所編　9784561256991 理系のための科学技術者倫理　丸善出版　直江清隆･盛永審一郎編　9784621089460

予備知識	1. 科学技術の関わる社会的問題について興味を持っていること（日常生活の中で、新聞や報道番組などを通じて知識を深めておくこと） 2. ディスカッションにおいて自らの意見を述べる姿勢を持っていること 3. 他者の意見を聞き、それについて質問をする姿勢を持っていること 4. 倫理的問題を自らの問題として考えようとする姿勢を持っていること
実務経験のある教員	
評価明細基準	・レポート(期末レポート):期末に授業全体に関するレポートを提出する 15点 A4用紙1枚片面、表紙不要 フォーマット(1頁40行、1行40文字、MS明朝、文字サイズ10.5)、本文1.000文字以上 ・レポート(事例考察シート):事例考察シート(授業内で配布する様式に記入して提出)を計4回提出 9点×4回 36点 ・その他:リアクションペーパー:初回と最終回(オンラインの場合は自習課題回2回)以外の各回の授業終了時に授業内容についての質問・疑問・感想・コメント・考えたことなどを記述したリアクションペーパーを提出 3点×13回 39点 5.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」10点 ①【学生の到達度目標】の項目①～⑤の達成度とその理由を各200～250文字で入力しプリントアウトして提出 ②授業アンケートに回答する

学修上の注意 (SBOs)	1.本年度の本科目は、全ての回をオンライン（オンデマンド型）で実施する。 2.授業コンテンツはWebClassで提示するので、WebClassで本科目に登録すること。 3.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けない。但し公認欠席の場合は別途指示する。 4.出席の取り方、課題提出の方法については、WebClassの冒頭に提示する「受講の手順」の文書で通知するので受講前に必ず熟読すること。 5.本科目では、金沢工業大学・科学技術応用倫理研究所の提供するオープンアクセス資料を講義の資料として使用する。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなし厳しく対処する。 7. オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は、本館309室にて対応する。オフィスアワーにTeams のチャットやテレビ電話等での質問も受け付ける。（メール等での連絡によってその他の時間でも対応する。）

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イントロダクション	講義	シラバスを読む 授業で扱った内容について理解を深める	30 60
	内容	科学技術者倫理とは何か。なぜ必要なのか。どのように授業を進めるか。			
2回	テーマ	科学技術者と倫理	講義 演習	科学技術が関わる倫理的問題について考える 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	技術と倫理の関係 倫理的判断とは何か リアクションペーパーの作成			
3回	テーマ	自習課題(1) 倫理規定	演習	事例考察シート①	90
	内容	倫理規定についての自習課題			
4回	テーマ	倫理的判断について	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
5回	テーマ	倫理的判断の練習①	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
6回	テーマ	倫理的判断の練習②	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
7回	テーマ	倫理的判断の練習	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察 事例考察シート②	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成 事例考察シート②の作成			
8回	テーマ	安全	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「安全」とは何か 安全の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
9回	テーマ	ヒューマンエラー	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	ヒューマンエラーについて ニューマンエラーの関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
10回	テーマ	公益通報	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	公益通報について 公益通報に関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自習課題(2)	演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例についての考察 セブンステップガイドに沿った倫理的判断形成の練習 事例考察シート③			
12回	テーマ	環境	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「環境」とは何か 環境の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
13回	テーマ	製造物責任	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「製造物責任」について 製造物責任の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
14回	テーマ	総合的事例考察	講義 演習	授業内容の理解を深める 到達度評価レポートの作成 期末レポートの作成 事例考察シート④	30 30 60 30
	内容	総合的な事例についての動画を視聴 事例の分析とディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート④の作成			
15回	テーマ	まとめ	講義 演習	授業全体をまとめて復習する 期末レポートの作成	60 30
	内容	いかなる科学技術者になるか どのように科学技術と付き合っていくか リアクションペーパー作成 期末レポートの作成 事例考察シート④の解説			

科目名	科学技術者倫理◎（３シス）	開講学年	3	講義コード	1120104	区分	工学部・情報学部・生物
英文表記	Engineering Ethics	開講期	前期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	鈴木俊洋

研究室	本館309	オフィスアワー	金 １１：３０～１２：３０

メールアドレス	t-suzuki@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	組織における科学技術者　社会における科学技術者　専門職としての科学技術者　倫理的判断形成　　科学技術者と環境

授業概要	1. 科学技術の専門家になるということがいかなることかを理解し、科学技術者として実社会で出会う可能性のある倫理的問題に対処する方法を学ぶ。　2. 方法論や諸概念の把握と並行して、具体的事例に即して、倫理的判断形成の実践的練習を行う。　3. 授業内での演習を通じて倫理的問題の討論の練習を行う。　★提出課題(レポート等)については、課題提出の次の週などに適宜解説を行い、WebClassでの連絡システムを通じて質疑に応答をする。

関連科目
科学・技術・社会に関係する諸科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A3	A3
	JABEE基準	b	b	b,g

JABEE記号		学生の到達度目標
b	①	倫理的判断形成がいかなるものかを説明することができる。
b	②	セブンステップガイドにそって倫理的判断を実践することができる。
b	③	組織の中の科学技術者として出会う可能性のある倫理的問題に適切に対処することができる。
b	④	科学技術者の倫理に関わる重要な諸概念について説明することができる。
b	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	51	0	0	10	39	100

教科書	指定しない

参考書	本質から考え行動する科学技術者倫理　白桃書房　金沢工業大学･科学技術応用倫理研究所編　9784561256991 理系のための科学技術者倫理　丸善出版　直江清隆･盛永審一郎編　9784621089460

予備知識	1. 科学技術の関わる社会的問題について興味を持っていること（日常生活の中で、新聞や報道番組などを通じて知識を深めておくこと） 2. ディスカッションにおいて自らの意見を述べる姿勢を持っていること 3. 他者の意見を聞き、それについて質問をする姿勢を持っていること 4. 倫理的問題を自らの問題として考えようとする姿勢を持っていること
実務経験のある教員	
評価明細基準	・レポート(期末レポート):期末に授業全体に関するレポートを提出する 15点 A4用紙1枚片面、表紙不要 フォーマット(1頁40行、1行40文字、MS明朝、文字サイズ10.5)、本文1.000文字以上 ・レポート(事例考察シート):事例考察シート(授業内で配布する様式に記入して提出)を計4回提出 9点×4回 36点 ・その他:リアクションペーパー:初回と最終回(オンラインの場合は自習課題回2回)以外の各回の授業終了時に授業内容についての質問・疑問・感想・コメント・考えたことなどを記述したリアクションペーパーを提出 3点×13回 39点 5.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」10点 ①【学生の到達度目標】の項目①～⑤の達成度とその理由を各200～250文字で入力しプリントアウトして提出 ②授業アンケートに回答する

学修上の注意 (SBOs)	1.本年度の本科目は、全ての回をオンライン（オンデマンド型）で実施する。 2.授業コンテンツはWebClassで提示するので、WebClassで本科目に登録すること。 3.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けない。但し公認欠席の場合は別途指示する。 4.出席の取り方、課題提出の方法については、WebClassの冒頭に提示する「受講の手順」の文書で通知するので受講前に必ず熟読すること。 5.本科目では、金沢工業大学・科学技術応用倫理研究所の提供するオープンアクセス資料を講義の資料として使用する。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなし厳しく対処する。 7. オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は、本館309室にて対応する。オフィスアワーにTeams のチャットやテレビ電話等での質問も受け付ける。（メール等での連絡によってその他の時間でも対応する。）

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イントロダクション	講義	シラバスを読む 授業で扱った内容について理解を深める	30 60
	内容	科学技術者倫理とは何か。なぜ必要なのか。どのように授業を進めるか。			
2回	テーマ	科学技術者と倫理	講義 演習	科学技術が関わる倫理的問題について考える 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	技術と倫理の関係 倫理的判断とは何か リアクションペーパーの作成			
3回	テーマ	自習課題(1) 倫理規定	演習	事例考察シート①	90
	内容	倫理規定についての自習課題			
4回	テーマ	倫理的判断について	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
5回	テーマ	倫理的判断の練習①	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
6回	テーマ	倫理的判断の練習②	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
7回	テーマ	倫理的判断の練習	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察 事例考察シート②	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成 事例考察シート②の作成			
8回	テーマ	安全	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「安全」とは何か 安全の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
9回	テーマ	ヒューマンエラー	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	ヒューマンエラーについて ニューマンエラーの関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
10回	テーマ	公益通報	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	公益通報について 公益通報に関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自習課題(2)	演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例についての考察 セブンステップガイドに沿った倫理的判断形成の練習 事例考察シート③			
12回	テーマ	環境	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「環境」とは何か 環境の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
13回	テーマ	製造物責任	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「製造物責任」について 製造物責任の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
14回	テーマ	総合的事例考察	講義 演習	授業内容の理解を深める 到達度評価レポートの作成 期末レポートの作成 事例考察シート④	30 30 60 30
	内容	総合的な事例についての動画を視聴 事例の分析とディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート④の作成			
15回	テーマ	まとめ	講義 演習	授業全体をまとめて復習する 期末レポートの作成	60 30
	内容	いかなる科学技術者になるか どのように科学技術と付き合っていくか リアクションペーパー作成 期末レポートの作成 事例考察シート④の解説			

科目名	科学技術者倫理◎（３情）	開講学年	3	講義コード	1120105	区分	工学部・情報学部・生物
英文表記	Engineering Ethics	開講期	前期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	鈴木俊洋

研究室	本館309	オフィスアワー	金 １１：３０～１２：３０

メールアドレス	t-suzuki@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	組織における科学技術者　社会における科学技術者　専門職としての科学技術者　倫理的判断形成　　科学技術者と環境

授業概要	1. 科学技術の専門家になるということがいかなることかを理解し、科学技術者として実社会で出会う可能性のある倫理的問題に対処する方法を学ぶ。　2. 方法論や諸概念の把握と並行して、具体的事例に即して、倫理的判断形成の実践的練習を行う。　3. 授業内での演習を通じて倫理的問題の討論の練習を行う。　★提出課題(レポート等)については、課題提出の次の週などに適宜解説を行い、WebClassでの連絡システムを通じて質疑に応答をする。

関連科目

科学・技術・社会に関係する諸科目

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・選択 【科目区分】・・・教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項(高等学校 情報) 【各科目に含めることが必要な事項】・・・情報社会・情報倫理

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A3	A3
JABEE基準		b	b	b,g

JABEE記号		学生の到達度目標
b	①	倫理的判断形成がいかなるものかを説明することができる。
b	②	セブンステップガイドにそって倫理的判断を実践することができる。
b	③	組織の中の科学技術者として出会う可能性のある倫理的問題に適切に対処することができる。
b	④	科学技術者の倫理に関わる重要な諸概念について説明することができる。
b	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	51	0	0	10	39	100

教科書	指定しない

参考書	本質から考え行動する科学技術者倫理　白桃書房　金沢工業大学・科学技術応用倫理研究所編　9784561256991 理系のための科学技術者倫理　丸善出版　直江清隆・盛永審一郎編　9784621089460

予備知識	1. 科学技術の関わる社会的問題について興味を持っていること（日常生活の中で、新聞や報道番組などを通じて知識を深めておくこと） 2. ディスカッションにおいて自らの意見を述べる姿勢を持っていること 3. 他者の意見を聞き、それについて質問をする姿勢を持っていること 4. 倫理的問題を自らの問題として考えようとする姿勢を持っていること
実務経験のある教員	
評価明細基準	・レポート(期末レポート):期末に授業全体に関するレポートを提出する 15点 A4用紙1枚片面、表紙不要 フォーマット(1頁40行、1行40文字、MS明朝、文字サイズ10.5)、本文1.000文字以上 ・レポート(事例考察シート):事例考察シート(授業内で配布する様式に記入して提出)を計4回提出 9点×4回 36点 ・その他:リアクションペーパー:初回と最終回(オンラインの場合は自習課題回2回)以外の各回の授業終了時に授業内容についての質問・疑問・感想・コメント・考えたことなどを記述したリアクションペーパーを提出 3点×13回 39点 5.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」10点 ①【学生の到達度目標】の項目①～⑤の達成度とその理由を各200～250文字で入力しプリントアウトして提出 ②授業アンケートに回答する

学修上の注意 (SBOs)	1.本年度の本科目は、全ての回をオンライン（オンデマンド型）で実施する。 2.授業コンテンツはWebClassで提示するので、WebClassで本科目に登録すること。 3.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けない。但し公認欠席の場合は別途指示する。 4.出席の取り方、課題提出の方法については、WebClassの冒頭に提示する「受講の手順」の文書で通知するので受講前に必ず熟読すること。 5.本科目では、金沢工業大学・科学技術応用倫理研究所の提供するオープンアクセス資料を講義の資料として使用する。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなし厳しく対処する。 7. オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は、本館309室にて対応する。オフィスアワーにTeams のチャットやテレビ電話等での質問も受け付ける。（メール等での連絡によってその他の時間でも対応する。）

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イントロダクション	講義	シラバスを読む 授業で扱った内容について理解を深める	30 60
	内容	科学技術者倫理とは何か。なぜ必要なのか。どのように授業を進めるか。			
2回	テーマ	科学技術者と倫理	講義 演習	科学技術が関わる倫理的問題について考える 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	技術と倫理の関係 倫理的判断とは何か リアクションペーパーの作成			
3回	テーマ	自習課題(1) 倫理規定	演習	事例考察シート①	90
	内容	倫理規定についての自習課題			
4回	テーマ	倫理的判断について	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
5回	テーマ	倫理的判断の練習①	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
6回	テーマ	倫理的判断の練習②	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
7回	テーマ	倫理的判断の練習	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察 事例考察シート②	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成 事例考察シート②の作成			
8回	テーマ	安全	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「安全」とは何か 安全の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
9回	テーマ	ヒューマンエラー	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	ヒューマンエラーについて ニューマンエラーの関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
10回	テーマ	公益通報	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	公益通報について 公益通報に関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自習課題(2)	演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例についての考察 セブンステップガイドに沿った倫理的判断形成の練習 事例考察シート③			
12回	テーマ	環境	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「環境」とは何か 環境の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
13回	テーマ	製造物責任	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「製造物責任」について 製造物責任の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
14回	テーマ	総合的事例考察	講義 演習	授業内容の理解を深める 到達度評価レポートの作成 期末レポートの作成 事例考察シート④	30 30 60 30
	内容	総合的な事例についての動画を視聴 事例の分析とディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート④の作成			
15回	テーマ	まとめ	講義 演習	授業全体をまとめて復習する 期末レポートの作成	60 30
	内容	いかなる科学技術者になるか どのように科学技術と付き合っていくか リアクションペーパー作成 期末レポートの作成 事例考察シート④の解説			

科目名	科学技術者倫理◎（４工情生）	開講学年	3	講義コード	1120108	区分	工学部・情報学部・生物
英文表記	Engineering Ethics	開講期	前期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	鈴木俊洋

研究室	本館309	オフィスアワー	金 １１：３０～１２：３０

メールアドレス	t-suzuki@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	組織における科学技術者　社会における科学技術者　専門職としての科学技術者　倫理的判断形成　　科学技術者と環境

授業概要	1. 科学技術の専門家になるということがいかなることかを理解し、科学技術者として実社会で出会う可能性のある倫理的問題に対処する方法を学ぶ。　2. 方法論や諸概念の把握と並行して、具体的事例に即して、倫理的判断形成の実践的練習を行う。　3. 授業内での演習を通じて倫理的問題の討論の練習を行う。　★提出課題(レポート等)については、課題提出の次の週などに適宜解説を行い、WebClassでの連絡システムを通じて質疑に応答をする。

関連科目

科学・技術・社会に関係する諸科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A3	A3
	JABEE基準	b	b	b,g

JABEE記号		学生の到達度目標
b	①	倫理的判断形成がいかなるものかを説明することができる。
b	②	セブンステップガイドにそって倫理的判断を実践することができる。
b	③	組織の中の科学技術者として出会う可能性のある倫理的問題に適切に対処することができる。
b	④	科学技術者の倫理に関わる重要な諸概念について説明することができる。
b	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	51	0	0	10	39	100

教科書	指定しない

参考書	本質から考え行動する科学技術者倫理　白桃書房　金沢工業大学･科学技術応用倫理研究所編　9784561256991 理系のための科学技術者倫理　丸善出版　直江清隆･盛永審一郎編　9784621089460

予備知識	1. 科学技術の関わる社会的問題について興味を持っていること（日常生活の中で、新聞や報道番組などを通じて知識を深めておくこと） 2. ディスカッションにおいて自らの意見を述べる姿勢を持っていること 3. 他者の意見を聞き、それについて質問をする姿勢を持っていること 4. 倫理的問題を自らの問題として考えようとする姿勢を持っていること
実務経験のある教員	
評価明細基準	・レポート(期末レポート):期末に授業全体に関するレポートを提出する 15点 A4用紙1枚片面、表紙不要 フォーマット(1頁40行、1行40文字、MS明朝、文字サイズ10.5)、本文1.000文字以上 ・レポート(事例考察シート):事例考察シート(授業内で配布する様式に記入して提出)を計4回提出 9点×4回 36点 ・その他:リアクションペーパー:初回と最終回(オンラインの場合は自習課題回2回)以外の各回の授業終了時に授業内容についての質問・疑問・感想・コメント・考えたことなどを記述したリアクションペーパーを提出 3点×13回 39点 5.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」10点 ①【学生の到達度目標】の項目①～⑤の達成度とその理由を各200～250文字で入力しプリントアウトして提出 ②授業アンケートに回答する

学修上の注意 (SBOs)	1.本年度の本科目は、全ての回をオンライン（オンデマンド型）で実施する。 2.授業コンテンツはWebClassで提示するので、WebClassで本科目に登録すること。 3.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けない。但し公認欠席の場合は別途指示する。 4.出席の取り方、課題提出の方法については、WebClassの冒頭に提示する「受講の手順」の文書で通知するので受講前に必ず熟読すること。 5.本科目では、金沢工業大学・科学技術応用倫理研究所の提供するオープンアクセス資料を講義の資料として使用する。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなし厳しく対処する。 7. オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は、本館309室にて対応する。オフィスアワーにTeams のチャットやテレビ電話等での質問も受け付ける。（メール等での連絡によってその他の時間でも対応する。）

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イントロダクション	講義	シラバスを読む 授業で扱った内容について理解を深める	30 60
	内容	科学技術者倫理とは何か。なぜ必要なのか。どのように授業を進めるか。			
2回	テーマ	科学技術者と倫理	講義 演習	科学技術が関わる倫理的問題について考える 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	技術と倫理の関係 倫理的判断とは何か リアクションペーパーの作成			
3回	テーマ	自習課題(1) 倫理規定	演習	事例考察シート①	90
	内容	倫理規定についての自習課題			
4回	テーマ	倫理的判断について	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
5回	テーマ	倫理的判断の練習①	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
6回	テーマ	倫理的判断の練習②	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
7回	テーマ	倫理的判断の練習	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察 事例考察シート②	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成 事例考察シート②の作成			
8回	テーマ	安全	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「安全」とは何か 安全の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
9回	テーマ	ヒューマンエラー	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	ヒューマンエラーについて ニューマンエラーの関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
10回	テーマ	公益通報	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	公益通報について 公益通報に関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自習課題(2)	演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例についての考察 セブンステップガイドに沿った倫理的判断形成の練習 事例考察シート③			
12回	テーマ	環境	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「環境」とは何か 環境の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
13回	テーマ	製造物責任	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「製造物責任」について 製造物責任の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
14回	テーマ	総合的事例考察	講義 演習	授業内容の理解を深める 到達度評価レポートの作成 期末レポートの作成 事例考察シート④	30 30 60 30
	内容	総合的な事例についての動画を視聴 事例の分析とディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート④の作成			
15回	テーマ	まとめ	講義 演習	授業全体をまとめて復習する 期末レポートの作成	60 30
	内容	いかなる科学技術者になるか どのように科学技術と付き合っていくか リアクションペーパー作成 期末レポートの作成 事例考察シート④の解説			

科目名	日本語表現（旧基礎日本語）（２全学科）	開講学年 2	講義コード 1120202	区分 選必
英文表記	Introduction to Japanese	開講期 前・後期	開講形態 ブレンド授業	単位数 2

担当教員	西澤 賴孝

研究室	本館付属棟318	オフィスアワー	木曜日の昼休み

メールアドレス	nishizawa@ ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	日本語の基礎力、語彙力、表現力　小論文作成能力　図書館活用　教養的知識　　論理力　アカデミックスキル　自己管理力

授業概要	社会で活躍する上で求められるコミュニケーションスキルを身に付けるため、敬語の使用法や語彙力などの知識・技能を習得する。また、プレゼンテーションやレポート作成等に関しても、的確で分かりやすい表現が不可欠であり、日本語の基礎力、語彙力、表現力を幅広く身に付けることが重要である。そのような意味から、次のようなことを目標に授業を展開する。 ①日本語検定3級合格程度の日本語の基礎力、語彙力、表現力を身に付ける。 ②表現力育成の一環として、課題小論文や自選テーマ小論文、書評の作成に挑戦する。 ③図書館等を利用し、多くの書籍を読む。 小テスト・レポートの結果は、後日、対面授業時もしくはWebClass等でフィードバックする。

関連科目
日本の文学

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A１	A１
	JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
fg	①	社会生活上必要な日本語表現について、基礎的な理解ができている。
fg	②	自己の意見や提案等を、文章で論理的に他者に伝達することができる。
fg	③	学術レポートの書き方を習得し、社会問題等に関するレポートを作成することができる。
fg	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	60	30	0	0	10	0	100

教科書	日本語検定3級 3訂版　東京書籍

参考書	

予備知識	日頃から新聞のコラムや社説等を読み、社会情勢等に関心をもっておく。 書評コンテストへの対応として、図書館の蔵書等を活用し、読書量を増やしておく。
実務経験のある教員	
評価明細基準	①小テスト 各10点配点×6回（敬語・語彙・言葉の意味・文法・表記・漢字）（60点）配点　・学生の到達度目標1【1-1教養的知識】60点分で評価 ②レポート 各10点配点×3回（課題小論文・書評・テーマ設定小論文）（30点）配点　・学生の到達度目標2【2-3論理力】15点分で評価 ・学生の到達度目標3【2-4アカデミックスキル】15点分で評価 ③ポートフォリオ（学修到達度レポート）（10点）配点 ・学生の到達度目標4【3-2自己管理力】10点分で評価 ※提出したら必ず各10点ということではない。各提出物を採点した上で換算表で加点配点を案分する。

学修上の注意 (SBOs)	①レポート等の他者の文章のコピーアンドペースト（コピペ）は盗用・不正行為とみなし、単位修得を認めない。 ②小テスト・レポートの提出は、pdfに変換しないでWebClass上からのみ提出すること。メールへのファイル添付は受理しない。期限厳守。期限を過ぎるとWebClass提出窓口が閉鎖され提出できなくなるので注意すること。社会通念上特段の配慮が必要であるときは、締切前に、メール、電話、来室のどの手段によってか事前相談すれば配慮する。締切後の配慮はしない。 ③単位修得の要件は、第14回・15回も含め全15回授業の3分の2（10回）以上出席、かつ評価点60点以上とする（「学生便覧」参照） ④オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は、附属棟318（池田キャンパス ゆうちょATMの3階）にて対応します。その他、メール、電話等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	授業ガイダンス	対面	日本語検定問題集のP6～P11の予習	90
	内容	シラバスの確認・周知 日本語能力自己診断	演習　講義		
2回	テーマ	「敬語」①	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP12～P17の予習	90
	内容	問題集を使って、敬語の使い方を学習する。	演習　講義		
3回	テーマ	「敬語」②	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP44～P52の予習	90
	内容	問題集を使って、敬語の使い方を学習する。○小テスト1回目（「敬語」）提出	演習　講義		
4回	テーマ	「語彙」 小論文の書き方	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP64～P67の予習	90
	内容	問題集を使って、「語彙」を学習する。小論文の基本的な書き方を学習する。○小テスト2回目（「語彙」）提出	演習　講義		
5回	テーマ	「言葉の意味」① 課題小論文①（下書Ⅰ）	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP68～P72の予習	90
	内容	問題集を使って「言葉の意味」を学習する。課題小論文の下書を行う。	演習　講義		
6回	テーマ	「言葉の意味」② 課題小論文②（下書Ⅱ）	遠隔	課題小論文の推敲	90
	内容	問題集を使って「言葉の意味」を学習する。課題小論文の下書を行う。○小テスト3回目（「言葉の意味」）提出	演習　講義		
7回	テーマ	復習 課題小論文③（清書・提出）	遠隔	書評用図書の読込	90
	内容	これまで学習した「敬語」「語彙」「言葉の意味」の復習 ●レポート1回目（課題小論文）提出	演習　講義		
8回	テーマ	書評の書き方 書評コンテスト	遠隔	日本語検定問題集のP28～P31の予習	90
	内容	書評例をもとに、書評の書き方を学習する。書評コンテスト実施要項等の理解	演習　講義		
9回	テーマ	「文法」① 書評（下書Ⅰ）	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP32～P35の予習	90
	内容	問題集を使って「文法」を学習する。書評コンテスト用の下書を行う。	演習　講義		
10回	テーマ	「文法」② 書評（下書Ⅱ）	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP82～P85の予習 書評の推敲	60
	内容	問題集を使って「文法」を学習する。書評コンテスト用の下書を行う。○小テスト4回目（「文法」）提出	演習　講義		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	「表記」① 書評（清書・提出）	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP86～P89の予習	90
	内容	問題集を使って、「表記」を学習する。 ●レポート2回目（書評）提出	演習 講義		
12回	テーマ	「表記」② テーマ設定小論文（下書Ｉ）	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP98～P106の予習	90
	内容	問題集を使って「表記」を学習する。 自分で小論文の題材を選び、下書を行う。 ○小テスト5回目（「表記」）提出	演習 講義		
13回	テーマ	「漢字」 テーマ設定小論文	遠隔	これまで学習した6分野について総復習	90
	内容	問題集を使って「漢字」を学習する。 ○小テスト6回目（「漢字」）提出 ●レポート3回目（テーマ設定小論文）提出	演習 講義		
14回	テーマ	課題総合問題	遠隔	学修到達度レポートの作成	90
	内容	総合問題を解き提出する。	演習		
15回	テーマ	課題総合問題	遠隔	学修到達度レポートの提出	９０
	内容	総合問題を解き提出する。	演習		

科目名	日本の文学（２全学科）	開講学年	1	講義コード	1120302	区分	選必
英文表記	Japanese Literature	開講期	後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	岩本晃代

研究室	本館3階304	オフィスアワー	火曜日、2限目

メールアドレス	iwamoto @ ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	文学鑑賞　日本文学史　熊本ゆかりの文学　論理的記述力

授業概要	本科目では、日本の代表的な近現代の作家の作品を取り上げて、日本文学の教養的知識を修得させるとともに、文学作品を多角的視点から鑑賞し、その内容を文章で論理的に表現する能力を育成する。授業においては、近現代の名作について、文学の時代性、文化の変遷、歴史的背景ふまえつつ考察する。また、熊本にゆかりのある作家の作品を取り上げて、生活している地域への関心が持てるように授業を行う。文章作成の方法については、鑑賞の事例を具体的に示すとともに、日本語表現（書き言葉）の練習問題にも取り組ませる。集大成としての課題研究レポートについては、7回目の授業で調査方法を教授し、8回目から10回目までのワークシートに部分的に下書きをさせ、その内容等について、授業資料等で注意事項を示す等のフィードバックを行い、アカデミックスキルの定着を図る。 1.作家については、経歴や関連する作家等について自主的に辞書やインターネット等で調べること。 2.作品中の分からない言葉等は辞書等で調べ、ワークシートに記入すること。 3.自分の選んだ作品について、作家及びその時代の歴史や文化に関しての調査を行い、「課題研究レポート」としてまとめること。 4.「課題研究レポート」は、注意事項等に従って、下書きを推敲して完成させること。

関連科目

SOJO基礎Ⅰ・Ⅱ　日本語表現
人間と歴史

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A1	A1
	JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	日本の代表的な文学作品及び熊本ゆかりの文学について、教養的知識を身に付けることができる。
af	②	文学作品を鑑賞し、その内容について自身の考えを論理的に記述する力を身に付けることができる。
f	③	学術的レポートの作成方法を身に付けることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	25	0	65	10	0	100

教科書	くまもと文学紀行 授業で提示する文学資料

参考書	日本近代文学大事典　講談社 現代詩大事典　三省堂

予備知識	高等学校で学習する日本文学史の基礎的事項
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート(「課題研究レポート」):25点　作成要領等ついては、別途資料を配布する 2.作品(「ワークシート」):5点×13回＝65点　「ワークシート」は毎回の授業内容の定着を図る課題の一種 3.ポートフォリオ(「学修到達度評価レポート」)10点 【学生の到達度目標】①②③の項目の達成度とその理由を200字～250文字で入力しプリントアウトして提出　※④は入力しなくてもよい

学修上の注意 (SBOs)	1.分からない語句等を調べるために電子辞書等を使用すること。 2.毎回配布するワークシートを完成させて提出すること。 3.ワークシートから一作品を選び推敲して清書したものを、「まとめのレポート」（小論文形式）とし、第14回のワークシートにおいて取り組む。 4.「課題研究レポート」については、図書館の蔵書、辞書及びインターネット等で調べ、それらをもとにまとめること。 5.提出物については期限を厳守すること。 ※1)レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなされます。 ※2)オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は研究室にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。その他メール等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	遠隔	【復習】 文学史の復習	30
	内容	講義の全体について説明する。日本文学史(近現代)について学習する。第1回ワークシート	講義・演習		
2回	テーマ	熊本の文学1	遠隔	【予習】熊本出身の文学者について調べておく【復習】作品の読み直し	30 60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学1 第2回ワークシート	講義・演習		
3回	テーマ	熊本の文学2	遠隔	【予習】熊本ゆかりの文学者について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲･補筆修正	30 60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学2 第3回ワークシート	講義・演習		
4回	テーマ	熊本の文学3	遠隔	【予習】熊本ゆかりの文学者について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲･補筆修正	30 60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学3 第4回ワークシート	講義・演習		
5回	テーマ	熊本の文学4	遠隔	【予習】熊本ゆかりの文学者について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲･補筆修正	30 60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学4 第5回ワークシート	講義・演習		
6回	テーマ	明治の文学1	遠隔	【予習】辞書等で森鴎外について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲･補筆修正	30 60
	内容	日本近代文学史① 作品鑑賞:明治期の作品1:森鴎外等 第6回ワークシート	講義・演習		
7回	テーマ	課題研究について	遠隔	【予習】辞書等で自然主義･反自然主義について調べておく【復習】 課題研究で対象とする作家を探す	30 60
	内容	レポート(課題研究)作成の方法についての説明 第7回ワークシート	講義・演習		
8回	テーマ	明治の文学2	遠隔	【予習】課題研究で対象とする作家を探す 【復習】課題研究で対象とする作家の作品を探す	30　60
	内容	日本近代文学史② 作品鑑賞:明治期の作品2:夏目漱石等 課題研究の下書き:作家についての説明 第8回ワークシート	講義・演習		
9回	テーマ	大正の文学1	遠隔	【予習】辞書等で芥川龍之介について調べておく【復習】課題研究で対象とする作家の作品について調べる	30 60
	内容	日本近代文学史③ 作品鑑賞:芥川龍之介等 課題研究の下書き:作品の説明 第9回ワークシート	講義・演習		
10回	テーマ	大正の文学2	遠隔	【予習】辞書等でプロレタリア文学について調べておく【復習】課題研究で対象とする作家の作品について鑑賞文を書く	30 60
	内容	日本近代文学史④ 作品鑑賞:プロレタリア文学 課題研究の下書き:作品の鑑賞 第10回ワークシート	講義・演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	日本近代文学史のまとめ･日本語表現の学修	遠隔 講義・演習	【予習】日本近代文学史の流れを資料で確認しておく【復習】課題研究の推敲･清書	30 60
	内容	日本近代文学史のまとめ ･日本語表現の方法(書き言葉)についての学修 第11回ワークシート			
12回	テーマ	日本の文学（課題研究）	遠隔 演習	【予習】課題研究 【復習】課題研究	90
	内容	課題研究:「課題研究レポート」作成			
13回	テーマ	日本の文学（課題研究）	遠隔 演習	【予習】課題研究 【復習】課題研究	90
	内容	課題研究:「課題研究レポート」作成			
14回	テーマ	文学鑑賞のまとめ	遠隔 講義・演習	【予習】ワークシートで課題とした作品を読み返しておく【復習】授業のまとめとして鑑賞文を600字程度でまとめる	30 60
	内容	鑑賞の方法について学修の振り返り ･第14回ワークシート(授業のまとめ)			
15回	テーマ	全体のまとめ	遠隔 講義・演習	【予習】学修到達度レポートの作成	60
	内容	授業全体のまとめ ･第15回ワークシート ･学修到達度レポートの提出(10点)			

科目名	人間と心理（２全学科）	開講学年 2	講義コード 1120402	区分 選必
英文表記	Human and Psychology	開講期 前期後期	開講形態 ブレンド授業(対面＋遠隔)	単位数 2
担当教員	中尾 千智(実務経験)			
研究室	本館附属棟317	オフィスアワー 火曜、金曜の2限目		
メールアドレス	nakao12@ed.sojo-u.ac.jp			
キーワード	学習理論　自己･他者理解　行動の背景　人の発達　コミュニケーション			

授業概要

本講義では我々の身近で起こる出来事を心理学の理論をもとに解説し、心理学とは一体どのような学問なのかを学び、心理学への興味や理解を深める。さらに、我々の日常の行動の意味を知ったり、自己理解や他者理解を深め、人間関係のあり方を学び、今後の社会生活に活かせるよう知識を身につける。本講義で心理学を学ぶことを通して視野を広げ、あらゆる領域において社会に貢献できる人材となることを目指す。また、教育相談機関、児童相談所、学生相談室等での実務経験を活かし、人間の発達やメンタルヘルスについて授業の中で学生に教授する。 1.心理学を学ぶことによって、自分や他者、さらにその関係について、知見を深めるよう努める。 2.さらに、心理学の知識を自己管理能力を高める資源とする。 なお、レポートや試験等のフードバックについては、15回目のまとめで行う。

関連科目

文化社会関連科目:「人間と哲学」 教職関連科目:「教育心理学」「教育相談の理論及び方法」
その他の関連科目:「キャリア関連科目」「生物学関連科目」「脳関連科目」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a,e	a,e

JABEE記号		学生の到達度目標
a,i	①	本講義で自己理解を深め、対人関係における自分の課題を知りコミュニケーション能力を高めることができる。
a,d	②	本講義で人間の心や行動を理解し、他者への働きかけの方法を学び協働性を学ぶことができる。
g,h	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価し、自己管理力を高めることができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
35	35	0	20	0	0	10	0	100

教科書

やさしい心理学　北大路書房　水田恵三　978-7628-2048-9

参考書

新しい心理学ゼミナール　福村出版　藤田圭一編　978-4-571-20072-4
心理学入門　講談社　坂口･相馬編　978-4-06-154808-4
心理学　東京大学出版会　鹿取･杉本･鳥居編　978-4130121170

予備知識	1.日常での出来事、小説や漫画などから心理学的な現象を考えておくとよい。 2.人間の行動や心理はすべて心理学に関係あるので、小説や漫画の登場人物などの心理や行 動を観察しておくと心理学が楽しくなる。 3.自分がストレスを感じた時にどのような対処方法をとっているか、振り返ってみる。 4.性格、心理テスト、ストレスなどの心理学に関する本を読んでおく。
実務経験のある教員	中尾 千智
評価明細基準	1.中間試験（8回目）35点 2.定期試験（15回目）35点 3.レポート：与えられたテーマについて調査し、それを分析・報告する。 A41枚以上、PC使用。1頁40行、1行40文字、MS明朝、10.5p、1200文字以上 13回目にレ ポート内容の説明を行う。作成後は提出期限までに提出する。20点 4.学習到達度評価レポート：SOJOポートフォリオシステムにおいて指示した期日までに入力して おくこと。10点

学修上の注意 (SBOs)	1.試験は中間テスト、定期試験を行い、追試・再試は実施しない。 2.予習については、その日の講義内容を教科書を使って行ってもよい。 3.試験回答やレポート等は提出日まで必ず提出すること。 4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなされる。 5.試験の回答等を他学生より盗用(コピー)した場合は、評価対象にならない。 6.出席確認を必ず行うこと。 7.全体的な連絡事項はWEBCLASSで行うので、頻繁に見ておくこと。 8.オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は、研究室で受け付けます。またメールでも　対応します。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	「心のはじまり」	対面	予習：シラバスを読む。 復習：第1回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	ガイダンス、心の起源、心とは何かについて学ぶ。	講義		
2回	テーマ	「心理学とは何か」	遠隔	予習：心理学について調べておく。 復習：第2回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	心理学の歩み、研究方法、領域、人間関係とストレスについて学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	「人は物をどう見るのか」(1)	遠隔	予習：知覚ついて調べておく。 復習：第3回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	ゲシュタルトの法則、知覚の恒常性、錯視について学ぶ。	講義		
4回	テーマ	「人は物をどう見るのか」(2) 「人はどのように学ぶのか」(1)	遠隔	予習：学習に関する事を調べておく。 復習：第4回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	主観的知覚と社会的知覚　学習の考え方、古典的・オペラント条件づけについて学ぶ。	講義		
5回	テーマ	「人はどのように学ぶのか」(2)	遠隔	予習：記憶に関する事を調べておく。 復習：第5回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	その他の学習、日常における学習、人の記憶について学ぶ	講義		
6回	テーマ	「人はどのように学ぶのか」(3) 「人はなぜ行動するのか」(1)	遠隔	予習：人間の欲求にはどんなものがあるか調べておく。 復習：第6回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	記憶の種類、欲求の種類、達成欲求と親和欲求について学ぶ。	講義		
7回	テーマ	「人はなぜ行動するのか」(2)	遠隔	予習：人間の感情や欲求不満について調べておく。 復習：第7回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	フラストレーションと葛藤の心理、感情の心理について学ぶ。	講義		
8回	テーマ	「人はどのように成長するのか」(1)	対面	予習：子供がどのようにして大きくなっていくか調べておく。 復習：第8回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	発達とは、発達段階と発達曲線、乳幼児の発達心理について学ぶ。 これまでの学習を振り返る（中間試験）	講義　演習		
9回	テーマ	「人はどのように成長するのか」(2)	遠隔	予習：アイデンティティについて調べておく。 復習：第9回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	児童期・青年期の発達、青年期の特徴、アイデンティティとは、成人期について学ぶ。	講義		
10回	テーマ	「人は自分をどう見るのか」	遠隔	予習：性格とは何かを調べておく。 復習：第10回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	性格理論、類型論と特性論、性格測定法、自己とは、ジョハリの窓について学ぶ。	講義		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	「人は人をどう見るのか」	遠隔	予習：第1印象について調べておく。 復習：第11回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	血液型と性格、表情の認知、印象形成、初頭効果、ステレオタイプについて学ぶ。	講義		
12回	テーマ	「人は何故心惹かれるのか」	遠隔	予習：どんな人が好意を持たれるか調べておく。　復習：第12回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	二者、三者関係、恋愛のスタイルと法則、何故心惹かれるか、ヤマアラシのジレンマについて学ぶ。	講義		
13回	テーマ	「人はメッセージをどう読み取るのか」	遠隔	予習：言葉以外のコミュニケーション方法を調べておく。 復習：第13回目のPP資料を読み返す。	30 30 30
	内容	ノンバーバルコミュニケーションとは、ダブルバインド理論、表情と視線、動作と姿勢について学ぶ。 レポート作成	講義　演習		
14回	テーマ	「説得するためには、説得されないためには」	遠隔	予習：説得の方法ににについて調べておく。 復習：第14回目のPP資料を読み返す。 レポート作成	30 30 30
	内容	態度の働き、態度とは、態度形成、マインドコントロールについて学ぶ。レポート作成	講義　演習		
15回	テーマ	「人間関係の心理」　授業のまとめ	対面	予習：社会的促進と社会的手抜きについて調べておく。レポート作成　学習到達度評価レポート：ポートフォリオシステムに入力する。	30 30 60
	内容	社会的促進と社会手抜き、同調行動、リーダーシップについて学ぶ。授業全体のまとめ　総括のための試験及びレポート作成	講義　演習		

科目名	人間と哲学（２全学科）	開講学年	2	講義コード	1120502	区分	選必
英文表記	Human and Philosophy	開講期	前後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	清水俊（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	火曜日15時～16時

メールアドレス	shimizuep@bloom.ocn.ne.jp

キーワード	哲学　倫理学　クリティカル・シンキィング　論理力　　アカデミックスキル　リテラシー

授業概要	『哲学ってどんなこと?』を参照しながら、様々な対象について哲学的に考えていく訓練をします。存在そのものから人生の意味まで、多くの対象を哲学的にとらえることにより、「自ら考える」力を養ってくことになります。教科書を読んで予習し、授業内容について家庭でも考察してください。 12回目の授業中に、中間テストの結果を学生にフィードバックする。

関連科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A1	A1
	JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	あらゆる事柄を、多様な視点から考える能力を身に付けることができる。
f	②	自らの考えを的確に表明し、論述する能力を身に付けることができる。
g	③	常に哲学的な問題意識を持ち続け、自主的に対象を考察することができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	0	0	60	0	0	10	0	100

教科書	哲学ってどんなこと?　昭和堂　トマス・ネーゲル　　978-4812293058

参考書	

予備知識	教科書においてわからない単語などあれば、予習の段階で辞書などで調べてみること。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.リサーチペーパー（30点）1000字以上　指定したテーマについて、哲学的に考察したレポート。 テーマについて書かれているか、自らの力で考えられているか、きちんと読ませるための文章を書けているか、参考文献をきちんと読み解けているかを評価。 2.ポートフォリオ（10点） 到達度評価レポート。【学生の到達目標】と項目①～③の達成度とその理由を各200～250文字で入力し、プリントアウトして提出。 規定に従って書けているかで評価。 3.期末レポート（60点）1100字以上　指定したテーマについて、哲学的に考察したレポート。 テーマについて書かれているか、自らの力で考えられているか、きちんと読ませるための文章を書けているかを評価。

学修上の注意 (SBOs)	教科書の講義に関連する箇所を、必ず事前に読んでおくこと。 授業中のレポートに関する指示などは聞き逃さないようにし、必要な事柄は必ず書きとどめておくこと。 掲示板で教員を含めたディスカッション形式のやり取りを行う予定にしています。 レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けません。但し公認欠席の場合は別途指示します。 オフィスアワーにまずメールで連絡していただければ、Teams のチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。※その他メール等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	哲学にできること	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。	30
	内容	哲学を学ぶにあたって必要な事柄の解説 哲学的な問いを立ててみる ポートフォリオ・リサーチペーパーの作成要領			
2回	テーマ	はじめに 哲学の入り口	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	哲学が対象とすることについての考察 問いについてのディスカッション 文章を書く準備とレポートの作成要領			
3回	テーマ	何かを知ること	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	私たちはどうやって何かを知るのかの考察 問いについてのディスカッション リサーチペーパー作成に必要な参照文献の探し方概要			
4回	テーマ	他人の心	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	他人の心を知るとはどのようなことかについての考察 問いについてのディスカッション			
5回	テーマ	心-身問題	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	心と体の関係についての考察 問いについてのディスカッション			
6回	テーマ	ことばの意味	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	言葉と意味の関係はどのようになっているのかについての考察 問いについてのディスカッション			
7回	テーマ	自由意志	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	私たちの意志は自由なのか、自由とは何かについての考察 問いについてのディスカッション 期末レポートの概要			
8回	テーマ	正しいことと不正なこと	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	正や不正とは何なのか、倫理とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			
9回	テーマ	正義	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	正義のために何をなすべきなのか、正義とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			
10回	テーマ	死	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	死とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	人生の意味	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	様々なテーマについて哲学的に考察 問いについてディスカッション ポートフォリオについて			
12回	テーマ	時間	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 期末レポートの作成	30
	内容	時間について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
13回	テーマ	愛	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 ポートフォリオ（到達度レポート）の作成・授業アンケートの入力	60
	内容	様々な愛について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
14回	テーマ	大人と子供	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	大人と子供について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
15回	テーマ	その他の哲学的テーマ	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	様々なテーマについて哲学的に考察 問いについてディスカッション			

科目名	人間と歴史（２全学科）	開講学年	2	講義コード	1120602	区分	選必
英文表記	Humans and History	開講期	前後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	冨田健之

研究室	本館302	オフィスアワー	水曜昼休み

メールアドレス	tomi1955@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	歴史学　歴史教科書　記述の変化　研究の進展　　教養的知識　論理力　アカデミックスキル　自己管理力

授業概要	1.中学校歴史教科書はその時代時代の特徴をつかむための最良の手引き書であり、歴史を学び直そうとする際に第一に参照されるべき参考書だといえる。また、中学校歴史教科書は学習指導要領の改訂に基づき、原則として4年ごとに改訂され、そのたびに記述が修正されたり、場合によってはまったく新しくかきかえられたりもする。 2.本授業では、東京書籍から1972（昭和47）年と2006（平成18）年にそれぞれ刊行された中学校歴史教科書を比較し、約30年の間に教科書記述がどれだけ変わってきたのかをまず確認する。 3.ついで、そうした教科書記述の変化の背景にある、歴史研究の発展・深化についてみていく。 4.歴史は「暗記物」というレッテルが貼られることがあるが、知識を身につけることはどの研究分野にあってもその出発点であることは同じである。 5.本授業では、基礎的な知識を身につけたうえで、その知識を「応用」していくスベを修得していく。それによって、歴史的背景をふまえた現代社会を理解し、そこで生きていくための基礎知識（社会形成能力）と汎用的能力を身につけることをめざす。 6.小テストに関しては、解答提出の次の週などで適宜解説をおこない、自己評価できるようにする。

関連科目
総合・人間科学関係科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A1	A1
	JABEE基準			a.g	a.g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	日本の歴史について、教養的知識を身につけることができる。
g	②	日本史教科書の記述の変化について、その理由を理解し、論理的に説明できる力を身につけることができる。
g	③	レポート課題について、十分な準備調査を行い、その成果をwordを使ってレポートにまとめることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	60	30	0	0	10	0	100

教科書	教科書は使用しない

参考書	参考書は授業中に適宜紹介する

予備知識	1.自ら学ぼうとする意欲と意思 2.中学校程度の日本史に関する知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	1. 小テスト:6回×10点＝60点 2. レポート:30点　レポート課題ならびにレポート書式については、WebClass第11回授業で説明す　る 3. ポートフォリオ:「学修到達度評価レポート」10点　①【学生の到達度目標】の項目1～4の達成度とその理由を各200～250文字で入　力する。 ②授業アンケートに回答する

学修上の注意 (SBOs)	1. 本科目はすべての授業(全15回)をオンライン(オンデマンド型)で実施する。 2. 授業コンテンツと重要な連絡は、すべてWebClassで提示する。授業計画などに急　　な変更がある場合にも、WebClassに記載する。 3. 授業受講の前に、WebClass本科目ページに掲載されている「授業の流れ」を毎　　回必ず読むこと。 4. 中間・定期試験は実施しない。従って再試験も実施しない。 5. 提出物は期限内に提出すること。ただし、公認欠席および急病(診断書もしくは　　病院・薬局の領収書を提出)の場合は、教員宛連絡すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなされ、　　単位の認定は行われない。 7. オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は、担当教員研究室(本館3階302)にて　　対応します。また、メールでの質問は随時受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	授業全般に関するガイダンス	講義	ガイダンス内容を再度確認する	10
	内容	授業概要の説明および受講にあたっての諸注意などを行う			
2回	テーマ	三内丸山遺跡	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	発見･発掘で変わる時代像			
3回	テーマ	前回講義の理解度確認	演習	小テスト①の自己分析を行うとともに、次回授業の準備をする	20
	内容	小テスト①「三内丸山遺跡」			
4回	テーマ	稲作のはじまり	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	米づくりはいつ日本に伝わったのか			
5回	テーマ	前回講義の理解度確認	演習	小テスト②の自己分析を行うとともに、次回授業の準備をする	20
	内容	小テスト②「稲作のはじまり」			
6回	テーマ	「大和朝廷」	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	「大和政権」と表記されるようになった理由			
7回	テーマ	前回授業の理解度確認	演習	小テスト③の自己分析を行うとともに、次回授業の準備をする	20
	内容	小テスト③「『大和朝廷』」			
8回	テーマ	鎌倉幕府の成立	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	「イイクニつくろう」と覚えたが･･･			
9回	テーマ	前回授業の理解度確認	演習	小テスト④の自己分析を行うとともに、次回授業の準備をする	20
	内容	小テスト④「鎌倉幕府の成立」			
10回	テーマ	モンゴル襲来	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	2回とも暴風が吹いたのか			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	前回授業の理解度確認	演習	小テスト⑤の自己分析を行うとともに、次回授業の準備をする レポート作成の準備活動	60
	内容	小テスト⑤「モンゴル襲来」レポート課題およびレポート書式の提示・説明			
12回	テーマ	倭寇	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業で前回授業に関する確認テストを実施する レポート作成の準備活動	60
	内容	日本人ばかりではなかった			
13回	テーマ	前回授業の理解度確認	演習	小テスト⑥の自己分析を行う レポート作成の準備活動	60
	内容	小テスト⑥「倭寇」			
14回	テーマ	レポートの作成	演習	レポートを作成する ポートフォリオ（到達度レポート）の作成	60
	内容	レポートの作成作業			
15回	テーマ	レポートの作成	演習	レポートを完成させる ポートフォリオを作成する	60
	内容	レポートを完成させ提出する			

科目名	人間と環境（２全学科）	開講学年	2	講義コード	1120702	区分	選必
英文表記	Human and Environment	開講期	前後期	開講形態	ブレンド授業（遠隔）（注：期末試験のみ対面）	単位数	2

担当教員	上野賢仁		
研究室	F803	オフィスアワー	火曜日2時限
メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp		

キーワード	自然と人間の相互作用　地球システム　気候システム　環境指標　　生物多様性　環境経済　環境政策　資源･エネルギー利用　　環境負荷

授業概要	人間をとりまく環境はいま、地球温暖化、生物多様性、資源･エネルギーの枯渇、環境汚染などの問題が溢れており、これらは複数の要因と関係し、複雑である。人間が環境問題にどう対処すべきかを考えるとき、からみ合った複雑なことを広い視野で多面的に理解する必要がある。人間活動に起因する環境問題はあらゆる分野が関係するが、個々人としてはまず自然科学と社会科学の両面から考える姿勢をもつのが良いと思われる。 本講義では、環境に関する基礎的な事柄を学びつつ、様々な対策手法や環境技術を学びながら、人間と環境の相互関係をシステム的に捉えて考えていく。各人の専門分野において環境問題に取り組む際の基礎的な素養を身に付けることができるものと期待している。 講義では、前半で「人間と環境」に関しての基礎事項や捉え方について説明した後、関連するテキストの該当箇所について説明し、後半で理解を助けるために簡単な計算などの演習を行う。（資料や課題にWebClassを使う。関数電卓を用意しておくと良い。） ※本年度は原則として遠隔授業で行うが場合によって対面授業を行うことがある。 ※期末試験は対面で行う。 ※提出物については提出日以降の授業等で適宜解説する。

関連科目
総合教育の数理系基礎科目及び専門課程の環境関連科目

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a,b,g	a,b,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	環境問題を多角的な視点から捉え、問題の背景や構造、対策の現状を理解し、文章（あるいは口頭）で説明することができる。
b	②	技術が社会や自然に及ぼす影響、及び技術者の社会的責任を理解し、文章（あるいは口頭）で説明することができる。
g	③	自主的、継続的に学習することができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	0	30	0	0	10	0	100

教科書	Professional Engineering Library 環境工学　実教出版　PEL編集委員会監修、山崎慎一編　　978-4-407-34030-3

参考書	環境問題をシステム的に考える　化学同人　井村秀文　978-4-7598-1323-4 環境白書／循環型社会白書／生物多様性白書　日経印刷　環境省大臣官房環境計画課：環境省環境再生･資源循環局　978-4865791174 環境社会検定試験eco検定公式テキスト　日本能率境界マネジメントセンター　東京商工会議所　978-4820727026 新版 環境被害のガバナンス　成文堂　永松俊雄　978-4792333607 熊本県自然保護読本 自然保護とあなた-子供達の未来のために-　城野印刷所　熊本県自然保護読本編集委員会

予備知識	環境問題に関する関心を持ち、新聞記事やニュースに目を通しておくこと。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1. 中間試験、期末試験　各30点（再試験は実施しない。） 2. 課題レポート 30点（7回目授業時にテーマ等について説明、11回目授業時に提出を求める。） 図書館の環境関連図書を資料として、課題レポート（本文1,000文字以上）を次の規定に沿って作成し提出する。 A4用紙1枚（両面可）、表紙不要、余白各25mm、1頁40行、1行40文字、フォント：MS明朝体、10.5pt。 1行目：タイトル、2行目：空白、3行目：学部名、学科名、学籍番号、氏名、4行目：空白、5行目：本文。 参考文献・URLを末尾に記載。（著書の場合：著者名、『著書名』、引用頁、発行所、発行年。論文の場合：著者名、「論文名」『雑誌名』、引用頁、発行所、発行年。Webの場合：名称、URL、アクセス日） 3. ポートフォリオ：「到達度評価レポート」10点 【学生の到達度目標】の項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し15回目までに提出する。 授業アンケートに回答する。 4. 講義中に実施する演習問題の取り組み状況も評価に加味する。 5. 100点満点中60点以上を合格とする。

学修上の注意 (SBOs)	1. 授業回数の1／3以上の欠席者は成績評価を行わない（不合格となる）。ただし、公認欠席は出席扱いとする。 2. 遅刻は授業開始後20分までとし、以後は欠席とする。 3. 提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けない。ただし、公認欠席の場合は別途指示する。 4. 授業中のお茶・水以外の飲用は不可。 5. 授業中に他の授業の課題やスマートフォン等を使用した場合は退出を命じ欠席扱いとする。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす。　※遠隔授業では2、4、5は無視してよい。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	自然と人間の相互関係	遠隔	予習:教科書の全体に目を通しておく。復習:ガイダンスでの説明事項について確認する。	20 20
	内容	ガイダンス／自然と人間の相互関係の把握と理解	講義		
2回	テーマ	地球と人間／環境容量	遠隔	予習:教科書の1章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	地球と人間の関係／地球の許容限界／環境容量	講義　演習		
3回	テーマ	地球の気候システム／地球温暖化	遠隔	予習:教科書の1～2章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	地球の大気／水の循環／気候システム／地球温暖化	講義　演習		
4回	テーマ	環境指標／生物多様性	遠隔	予習:教科書の12章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	生物多様性／生態系／生態系の機能とサービス／生物多様性の保全	講義　演習		
5回	テーマ	環境感／地球と人間の歴史／文明の転換／持続可能性	遠隔	予習:教科書の1～3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	変化する世界の見方／成長の限界／熱力学的な視点／地球の歴史／人間の歴史／低炭素・共生・循環型社会／持続可能性	講義　演習		
6回	テーマ	環境管理／環境影響評価（その1）	遠隔	予習:教科書の2～3、13章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	コモンズの悲劇／ローカルコモンズ／環境管理／環境影響評価	講義　演習		
7回	テーマ	環境経済／環境政策／環境倫理	遠隔	予習:教科書の1～3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	地球環境と経済／市場の失敗／環境情報／環境政策／環境倫理	講義　演習		
8回	テーマ	前半まとめ／中間試験	遠隔	予習:1～8回の授業内容を総復習し、中間試験の準備をしておく。復習:中間試験の内容を振り返る。	60 30
	内容	前半の講義についてのまとめ／中間試験による達成度の確認	講義　試験		
9回	テーマ	資源・エネルギー利用／環境負荷	遠隔	予習:教科書の3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	資源生産性／エネルギー生産性／隠れた資源フロー（エコロジカルリュックサック）／内包エネルギー（ライフサイクルエネルギー）／環境負荷／エコロジカル・フットプリント／環境資源勘定／マテリアルフロー／ライフサイクルアセスメント(LCA)	講義　演習		
10回	テーマ	自然エネルギー利用／省エネルギー	遠隔	予習:教科書の1、3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	エネルギーの質／エクセルギー／ヒートポンプ／カルノー効率／バイオマスエネルギー／環境に好ましい選択／仮想評価法(CVM)	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	公害／環境関連法	遠隔	予習：教科書の4章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読する。	30 30
	内容	産業発展と公害／公害病／環境保全のための法制度	講義　演習		
12回	テーマ	水環境／廃棄物	遠隔	予習：教科書の5～8章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読する。	30 30
	内容	水質汚濁／富栄養化／上水道／下水道／廃棄物処理	講義　演習		
13回	テーマ	土壌環境／大気環境／熱環境	遠隔	予習：教科書の9～11章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読する。	30 30
	内容	土壌環境／大気環境／音・振動／熱環境	講義　演習		
14回	テーマ	生態系／環境影響評価（その2）	遠隔	予習：教科書の12～13章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読するとともに、9～15回の授業内容を総復習し、期末試験の準備をしておく。	30 30
	内容	生態系と生物多様性の保存／環境影響評価（環境アセスメント）／ミティゲーション	講義　演習		
15回	テーマ	後半まとめ／期末試験　／総括	対面	予習：9～15回の授業内容を総復習し、期末試験の準備をしておく。 復習：期末試験の内容を振り返り、ポートフォリオ（到達度レポート）を作成する。 ／復習：授業全体の内容を振り返る。	60 30 30
	内容	後半の講義についてのまとめ／期末試験による達成度の確認	講義　試験／講義		

科目名	現代の社会と法（２全学科）	開講学年	2	講義コード	1120802	区分	選必
英文表記	Modern Society and Law	開講期	前後期	開講形態	遠隔	単位数	2

担当教員	竹内 明里（実務経験）

研究室	本館付属棟312	オフィスアワー	木曜2限

メールアドレス	take1118@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	法　社会　人権　教養的知識　　論理力　アカデミックスキル　自己管理力

授業概要

1 授業概要（1）本講義は、教員の官庁等での勤務経験等を踏まえ、「ブラック校則」「LGBT」「介護問題」「ブラックバイト」「安楽死」など、学生が関わりうる様々な社会問題を題材として、憲法・民法・労働法などの身近な法の基本的な枠組を学び、社会問題解決のための多様なアプローチ等を考えるものである。（2）授業はレジュメに沿ったオンデマンド講義形式。 授業動画視聴後に課題（確認ワーク、社会問題に対する自分の意見の論述等）を行う。 また、社会問題について法の観点から検討し、レポートを作成する。　2 学修上の助言（1）心構えとして、取り上げる社会問題を他人事と思わず、自分の問題として考えること。（2）法や社会問題には、「1+1=2」のような明確な正解がない場合もある。「多数派が正しい」とは限らない。様々な意見を議論する中で新しい解決策が生まれることも多い。　授業では、こうした問題について、法的視点を含む様々な意見を考えたうえで、自分の意見を構築するように努めること。（3）毎回の課題は必ず行うこと。 また、課題作成時には、社会問題を自分で調べてまとめ、自分の考えを他人にわかるように述べる努力をすること。この努力を継続することで、社会問題への理解や表現力が高めることができる。 ＊提出物については、第12、13回(レポート作成)、第14回・15回（まとめと補足）にて、フィードバックします。

関連科目

本講義では広く法を扱うが、日本を形作る根本的な法として「日本国憲法」があり、公務員・教員の基本知識として、採用試験でも出題されている。 本講義履修後、より深く「日本」の在り方を考えたい場合には、発展科目として「日本国憲法」を勧める。

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A 1	A 1
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	憲法や民法、労働法などの身近な法について、基本的な仕組みを理解することができる
f	②	法や社会問題に関する自分の意見を論理的に説明することができる
f	③	法や社会問題に関する学術レポートを作成することができる
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	25	0	0	10	65	100

教科書

教科書は使用しない。

参考書

高校生からの法学入門　中央大学出版部　中央大学法学部　978-4805727096
科学者と戦争　岩波書店　池内 了　978-4004316114
ブラック校則 理不尽な苦しみの現実　東洋館出版社　荻上チキ、内田 良　978-4491035574
介護殺人:追いつめられた家族の告白（新潮文庫）　新潮社　毎日聞大阪社会部取材班　978-4101012919
はじめて学ぶLGBT 基礎からトレンドまで (スッキリわかる!)　ナツメ社　石田 仁　978-4816365829

予備知識	(1) 現代の社会問題への関心と、自ら学ぼうとする意欲を持つこと (2) ニュースで現代の社会の動きを把握すること (3) 中学や高校の「現代社会」「公民」などの知識をおさらいしておくこと
実務経験のある教員	竹内明里
評価明細基準	(1) 課題研究(レポート) 25点(第11回レポート作成中間報告5点+第12回レポート20点)　指定するテーマについて、参考文献を読み、条件を守ってレポート(1200字以上)を作成する。　*テーマや参考文献、条件は第1回授業で説明する。 (2)「到達度評価ポートフォリオ」10点　「学生の到達度目標」の各項目の達成度とその理由を200字～250文字で入力し、第15回授業日から1週間後までにに提出。 (3) その他：課題研究回(第11、12回)を除いた授業回の課題 65点(5点×13回)　毎回、授業後一週間の期限内に提出。　期限後の提出は評価対象外。 (4) 60点以上を合格とする。再試験等は一切行わない。

学修上の注意 (SBOs)	(1) ウェブクラスの出席手続きを必ず行うこと。(2) 提出物は期限内に提出する。　原則として、公欠相当事由がない場合、締切後の提出を受け付けない。　そのような事情がある学生は速やかに教員に連絡すること。(3) 提出物を作成する際は、授業動画を視聴し、理解したうえで、条件を守って作成すること。 理解不十分・条件違反の場合は減点されます(採点されない場合もあります)。(4) 課題作成につき、参考資料(ウェブサイト等)や他の学生の作品のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は不正行為とみなし、単位を認めない。(5) その他、授業内での教員の指示を守ること。(6)質問は気軽にしてください。 オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は研究室にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。その他メール等での質問も受け付けます。 ＊詳しくはウェブクラスで説明します。(7)大学メール・ウェブクラスメールは毎日確認すること。課題などにつき、個別に連絡している場合があります。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義、演習	（復習）ガイダンスでの説明事項についての確認。 復習課題（確認ワーク）を行う。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	30
	内容	授業概要、受講時の注意事項、 高校までの知識のおさらいなど			
2回	テーマ	イントロダクション：法とは何か	講義、演習	（予習）「法と道徳の違い」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	法と道徳の違い、日本における法の種類（憲法、法律、条令等）を知る。			
3回	テーマ	憲法①総論・統治	講義、演習	（予習）「憲法の基礎」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	憲法の歴史、3大原理（国民主権、平和主義、基本的人権の尊重）を学び、憲法の意義を考える。			
4回	テーマ	憲法②人権	講義、演習	（予習）「ブラック校則と人権」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	「ブラック校則」などを題材として、憲法が保障する人権について学ぶ。			
5回	テーマ	民法①財産法	講義、演習	（予習）「消費者トラブル」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	大学生が関わりうる契約トラブル 等を題材に、契約や不法行為等、財産に関する民法の規定を学ぶ。			
6回	テーマ	民法②家族法	講義、演習	（予習）「LGBTと法」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	婚姻、相続等、家族に関する法を学ぶ。また、「LGBT」「同性婚」などを題材に、家族法の意義を考える。			
7回	テーマ	刑法①総論	講義、演習	（予習）「安楽死」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	「安楽死」を題材に、刑法が社会で果たす役割や基本原則を学ぶ。			
8回	テーマ	刑法②刑事訴訟法、	講義、演習	（予習）「裁判員裁判」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	「裁判員裁判」を題材に、刑事裁判手続きの基礎を学ぶ。			
9回	テーマ	労働と法	講義、演習	（予習）「ブラックバイト」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	「ブラックバイト」などを題材に、労働者として知るべき法（労働基準法等）を学び、現代の労働問題を考える。			
10回	テーマ	法による日常紛争の解決	講義、演習	（予習）「SNSトラブル」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）　★レポート作成に向けて、授業前日までに参考資料を集めておくこと	60
	内容	「SNSトラブル」などを題材に、日常的な紛争（トラブル）において法が果たす役割を考える。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	課題研究(レポート作成)1 レポート作成の準備	講義、演習	(予習)レポートで使う資料を収集しておく。(復習)課題として、レポートで使用する参考文献情報とレポートの大まかな骨組みを中間報告する。*課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)	60
	内容	授業内で指定するテーマから1つ選び、条件を守ってレポートを作成する。 *レポートの作成について、参考文献情報の整理、書式の設定、論述のパターンを学ぶ。今回は最低限、参考文献情報を整理し、大まかな骨組み作成を行う。			
12回	テーマ	課題研究(レポート作成)2 レポート作成	講義、演習	(予習)参考文献情報の整理とレポートの骨組みを作成しておく(前回課題)。(復習)レポートを作成し、第13回前日までに指定の方法で提出する。	60
	内容	○授業内で指示するテーマから一つ選び、書式を守ってレポートを作成する。*今回は、前回作成した参考文献情報整理やレポートの骨組をもとに、レポートを完成させる。			
13回	テーマ	熊本と世界の人権問題	講義、演習	(予習)「ハンセン病」または「国際社会の人権問題」に関する記事を読む。(復習)復習課題(確認ワーク、ミニレポート)を行う。配布資料の再読。*課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)	60
	内容	上熊本に療養所のあった「ハンセン病」を題材に、人権を考える。また、世界の人権問題と、持続可能な開発目標(SDGs)など国際社会の取組を学ぶ。			
14回	テーマ	まとめと補足1(憲法・民法)	講義、演習	(予習)第6回までの授業内容を総復習しておく。(復習)復習課題(確認ワーク、ミニレポート)を行う。配布資料の再読。 *課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと) ※ポートフォリオ「科目到達度レポート」を入力する(第15回前日までに提出)	60
	内容	第6回までの授業のまとめと補足を行う。			
15回	テーマ	まとめと補足2(刑法・労働法・人権)	講義	(予習)これまでの授業内容を総復習しておく。(復習)復習課題(確認ワーク、ミニレポート)を行う。配布資料の再読。* 課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)	60
	内容	第7回以降のまとめと補足を行う。レポート等の課題を総括する。			

科目名	現代の社会と政治（２全学科）	開講学年	2	講義コード	1120902	区分	選必
英文表記	Introduction to Political Science	開講期	前後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	今井亮佑

研究室	本館310	オフィスアワー	（原則として）木曜5限

メールアドレス	@

キーワード	教養的知識　アカデミックスキル　論理力

授業概要

(1)政治の基本的な仕組みを理解してもらいます 18歳になれば選挙権を得て、一人の有権者として政治と関わることになります。しかし、政治の仕組みがわかっていなければ、折角得た選挙権を有効に行使することができません。そこで本講義を通じて、一般教養として、政治の仕組みに関する基本的理解を深めてもらいます。 (2)政治に関する論点について、自分なりに考えてもらいます 政治とは、正解のない営みです。 一つの問題に対する色々な立場・考え方が存在します。 本講義では、政治に関する諸論点に対する、複数の見方を提示します。 受講生の皆さんには、講義内容をもとに、関連する情報を自ら収集・処理することで、論点に対する自分なりの考えをまとめてもらいます。

関連科目

基礎科目:SOJO基礎I、SOJO基礎(薬学)、SOJO基礎II

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	政治の仕組みや動き、それらをめぐる論点について、正しく理解できる
f	②	自身の考えを論理的に記述する力を養うことができる。
f	③	学術的レポートの作法を身に付けることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	90	0	0	10	0	100

教科書

※指定なし

参考書

政治学　東京大学出版会　川出良枝・谷口将紀(編)　978-4-13-032219-5
日本政治の第一歩　有斐閣　上神貴佳・三浦まり(編)　978-4-641-15112-3
18歳からの政治入門　日本経済新聞出版社　日本経済新聞政治部(編)　978-4-532-16991-6

予備知識	■受講にあたり、予備知識は必要としませんが、政治を学びたいという積極的な意欲は持って下さい。　■政治は絶えず動いています。その動きをフォローするために、日々新聞に目を通すようにして下さい。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.小レポート（12点×3回＝36点）○講義の内容をもとに「考えたこと」を500字以上で論じる小レポートを3回提出してもらいます。○提出の2～4週間後をめどに、気づいた点、改善すべき点をフィードバックします。　2.レポート（27点×2回＝54点）○私が提示するテーマについて1200字以上で論じるレポートを2回提出してもらいます。○提出の2～4週間後をめどに、気づいた点、改善すべき点をフィードバックします。　3．ポートフォリオ：「学修到達度レポート」（10点）○【学生の到達度目標】の項目①～③の達成度とその理由を各200～250字で入力してもらいます。　☆いずれも、詳細は講義の中で説明します。

学修上の注意 (SBOs)	■小レポート・レポートは、提出期限（初回講義時に明示）を厳守してください。期限後にメールに添付して送りつけてくる者がいますが、一切受け取りません。 ■再試験等は一切行いません。 ■小レポート・レポートの執筆に際し、コピー&ペーストなどの剽窃（ひょうせつ）を行った場合は、不正行為とみなし、単位を認定しません。 ■講義内容が理解できなかった場合は、遠慮なくオフィスアワーを活用して質問して下さい。 ■オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は本館310室にて対応します。 オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。 ※その他メール等での質問も受け付けます。 ■新聞やテレビニュースを通じて、日々の政治の動きに興味を持つようにして下さい。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義	（復習）ガイダンスでの説明事項についてよく頭に入れる。	30
	内容	授業概要や受講時の注意事項等を説明する。			
2回	テーマ	選挙制度概論	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	・選挙制度を類型化し、それぞれの特徴について説明する。・米大統領選挙の制度について説明する。			
3回	テーマ	日本の選挙制度① 概要	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	衆議院・参議院の選挙制度の歴史的変遷と、制度改革の背景について説明する。			
4回	テーマ	日本の選挙制度① 論点	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	衆参両院の現行の選挙制度をめぐる論点を提示し、それに対する複数の見方を紹介する。			
5回	テーマ	大統領制と議院内閣制	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	大統領制の国（米国）の政治との比較の視点を交えながら、議院内閣制の国（日本）の政治の特徴について説明する。			
6回	テーマ	政策過程①	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	自民党政権下における立法（法律ができるまで）の過程について説明する。			
7回	テーマ	政策過程②	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	・政策過程をめぐる論点について考えてもらう。・二院制の長所と短所について説明し、日本で二院制を採用することの是非について考えてもらう。			
8回	テーマ	行政制度	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	日本の行政機構の改革の概要と、それがもたらした影響について説明する。			
9回	テーマ	経済政策	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	・ケインズ主義、大きな政府・小さな政府の概念について説明する ・戦後日本の経済政策について概説する			
10回	テーマ	政党①	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	選挙制度が政党に及ぼす影響について概説する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	政党②	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	首相のリーダーシップのあり方が1990年代の改革を経てどのように変わったかについて概説する。			
12回	テーマ	政治家	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	日本の国会議員の数は適正か、女性政治家が少ないのは問題か、といった論点について考える際に考慮に入れるべきポイントを紹介する。			
13回	テーマ	有権者①	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	なぜ人は選挙で投票／棄権するのか、人は何を判断基準に投票する政党や候補者を選ぶのかについて説明する。			
14回	テーマ	有権者②	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	若年層の投票率が低いのは問題か、投票率を上げるにはどうすればよいのか、といった論点について考える際に考慮に入れるべきポイントを紹介する。			
15回	テーマ	課題研究	演習	・レポートを執筆する。・学修到達度レポートを執筆し、授業アンケートに回答する。	180
	内容	二本目のレポートの執筆に向けて、テーマについて自分で調べる時間に充ててもらう。			

科目名	現代の社会と経済（２全学科）	開講学年	2	講義コード	1121002	区分	選必
英文表記	Modern society and economy	開講期	前後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	大野 正久 （非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師室（遠隔授業のため、基本的には在室していない。）	オフィスアワー	木曜日、５時限

メールアドレス	ohno@educ.kumamoto-u.ac.jp

キーワード	価格決定の理論　ゲーム理論　限界の概念　地域経済　　環境経済　教養的知識　論理力　自己管理力

授業概要	授業形態については、オンデマンドの遠隔授業で実施します。 授業では、価格決定の理論やゲーム理論等の経済学の基本的な考え方について学びます。ゲーム理論は、複数の主体による選択行動について考えていく学問です。 商品の価格はどのようにして決まるのだろうか、企業間の価格競争や国際貿易の問題は社会的にどのように評価できるのだろうか、人の消費行動においてどのような条件が成立しているのだろうか等の問題について、経済学の視点から考えていきます。また、地方分権の有効性や地域における環境政策が社会的にどのように評価できるか等の地域経済や環境経済に関する問題について、経済学の視点から考えていきます。 授業の前半では、価格決定の理論について説明します。後半では、ゲーム理論の基本的な考え方とゲーム理論の経済社会問題への応用について説明します。また、経済学において重要な概念である限界の概念について説明し、経済学の地域経済や環境経済への応用について説明します。（課題解答に関しては、課題を掲示した回以降に、可能な範囲においてフィードバックします。）

関連科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A1	A1
	JABEE基準			afdg	afdg

JABEE記号		学生の到達度目標
a,d	①	経済学の基本的な考え方と社会における様々な経済問題への応用について理解できる。
f	②	論理的な考え方ができる。
f,g	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	40	50	0	0	10	0	100

教科書	教科書は使用しません。

参考書	特に指定はありません。

予備知識	受講にあたり、特に予備知識は必要ありません。
実務経験のある教員	
評価明細基準	小テスト（課題解答による評価）40点、レポート（課題解答による評価）50点、「到達度評価ポートフォリオ」10点により、評価する。（「到達度評価ポートフォリオ」については、上記の学生の到達度目標の項目1、2、3の達成度とその理由について、各200～250字でレポートを作成し、提出してください。）

学修上の注意 (SBOs)	1) 提出物は期限以内に提出してください。期限以後は一切受け付けません。但し公認欠席の場合は別途指示します。 2) レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 3) オフィスアワーにはWebClassのメールにて、質問を受け付けます。 その他、オフィスアワー外にも、WebClassのメールにて、質問を受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	【復習】授業概要や授業の進め方等について、理解する。	15
	内容	授業の概要や授業の進め方、評価方法等について、説明する。			
2回	テーマ	経済のしくみについて	講義	【予習】経済のしくみについて調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	経済学とはどのような学問なのかということや経済のしくみ等について説明する。			
3回	テーマ	市場における需要について	講義	【予習】消費者の経済活動について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	市場における家計の経済活動等について説明する。			
4回	テーマ	市場における供給について	講義	【予習】企業の経済活動について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	市場における企業の経済活動等について説明する。			
5回	テーマ	市場における需要と供給について	講義	【予習】市場均衡について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	市場均衡や比較静学の概念について説明する。			
6回	テーマ	消費者余剰と生産者余剰について	講義	【予習】消費者余剰について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	消費者余剰、生産者余剰、そして、社会的余剰の概念について説明する。			
7回	テーマ	経済学の国際経済等への応用について	講義	【予習】国際貿易について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	国際貿易は、商品の輸入国にとって望ましいのか否かという問題等について、経済学の視点から説明する。			
8回	テーマ	ゲーム理論①	講義	【予習】ゲーム理論について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	ゲーム理論の考え方や囚人のジレンマについて説明する。			
9回	テーマ	ゲーム理論②	講義	【予習】ゲーム理論の応用について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	企業間の価格競争や国際貿易等の問題について、ゲーム理論を用いて、説明する。			
10回	テーマ	ゲーム理論③	講義	【予習】ゲーム理論の応用について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	逐次手番ゲームの考え方について説明する。企業の参入問題等について、ゲーム理論を用いて説明する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	限界の概念について	講義	【予習】限界の概念について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	経済学において重要な考え方である限界の概念について説明する。			
12回	テーマ	地方分権化と地域における環境政策について	講義	【予習】地方分権について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	地方分権化が望ましいのか否かについて、限界の概念を用いて説明する。また、外部性の概念について説明し、地域における環境政策に外部性が伴う場合、その政策決定が社会的に望ましいのか否かについて、限界の概念を用いて説明する。			
13回	テーマ	公共政策と投票について①	講義	【予習】投票について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	公共政策の決定における投票に関して説明する。			
14回	テーマ	公共政策と投票について②	講義	【予習】中位投票者について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	中位投票者定理等について説明する。			
15回	テーマ	これまでの授業のまとめ	講義	【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。課題について、取り組む。	90
	内容	これまでの授業のまとめを行う。（課題解答と到達度評価ポートフォリオの提出）			

科目名	アートとデザイン（２全学科）	開講学年 2	講義コード 1121102	区分 選必
英文表記	Art&Design	開講期 前期／後期	開講形態 対面授業	単位数 2

担当教員	永田 郁（アジア美術史他）　奥田直辰（グラフィック）　馬頭亮太（グラフィック）　森野 晶人（グラフィック）（実務経験）　甲野 善一郎（写真）　飯田 晴彦（プロダクト）（実務経験)　原田 和典（都市環境）（実務経験）　村井健太郎（マンガ表現）　木下 裕士（マンガ表現）

研究室	L 号館芸術学部棟	オフィスアワー 上記教員のオフィスアワーに準じる

メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp

キーワード	美術史　現代アート　アート思考　デザイン（グラフィック、写真、プロダクト、都市環境）　マンガ表現

授業概要	21世紀に入って、サイエンスとアート、デザインの関係はより一層接近し、それらのボーダーを越えて、隣接領域より新たなテクノロジー、アート、デザインが誕生しています。それらは「ものづくり・創造（Creativity）」と言う点では同じで、切り離せません。不安定で、不確定的な要素が多い現代社会において、その情況を乗り越えるために近年、ますます「アート的・デザイン的な」思考（感性）が必要な時代となってきています。 本講義は工学部・情報学部・生物生命学部・薬学部向け（芸術学部も受講可）に、毎回芸術学部の教員それぞれの領域についてのオムニバス講義により、アートとデザインがどんな世界なのかを体験、理解し、アート的、デザイン的な思考法の様々な事例を学びます。 この授業では毎回担当する各教員が前職における作家・研究者・デザイナーとしての実務の経験を活かし、広く芸術の分野において授業の中で学生たちに教授している。

関連科目
芸術学部全開講科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	アートとデザインの世界（可能性）を受講生それぞれの立場・視点により理解し、文章で表現することができる。
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	90	0	0		10		100

教科書	

参考書	マンガ版マルチスピーシーズ人類学　以文社　奥野克巳・シンジルト編 モア・ザン・ヒューマン マルチスピーシーズ人類学と環境人文学　以文社　奥野克巳・近藤祉秋・ナターシャ・ファイン編 図説人新世 環境破壊と気候変動の人類史　東京書籍　ギスリ・パルソン著・長谷川眞理子監修・梅田智世訳

予備知識	高等学校までの図工･美術等の知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.毎回各教員の授業に関する小テスト(Webclass)永田担当50点、デザイン教員40点(1テーマ5点)。(90点) 2. 学修到達度レポート(10点) の計100点。

学修上の注意 (SBOs)	レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	アートとデザイン	対面		
	内容	オリエンテーション	講義		
2回	テーマ	アート領域：芸術鑑賞（第1~2回）	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	鑑賞の哲学（永田）	講義・演習		
3回	テーマ	アート領域：現代アートⅠ（第3~4回）	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	芸術とは？（永田）	講義・演習		
4回	テーマ	アート領域：現代アートⅡ（第5~6回）	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	「みる」ということ：ソラィ・カルと河原温（永田）	講義・演習		
5回	テーマ	アート領域：音楽を聴く（第7回）	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	20世紀の音楽（電子音楽・アジア）（永田）	鑑賞		
6回	テーマ	アート領域：人新世・人類学とアート（第8回）	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	地球を考える（永田）	講義・演習		
7回	テーマ	デザイン領域：グラフィック第1回	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	人間と社会とデザイン（奥田）	講義		
8回	テーマ	デザイン領域：グラフィック第2回	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	現代の多様化したグラフィックデザインから20世紀のポスター文化を見る（馬頭）	講義		
9回	テーマ	デザイン領域：グラフィック第3回	内面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	コミュニケーションデザイン（森野）	講義		
10回	テーマ	デザイン領域：写真・映像	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	現代の写真や視覚表現から技術・理論を通した展開の事例（甲野）	講義		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	デザイン領域:プロダクト	対面 講義	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	プロダクトデザインとは何か?（飯田）			
12回	テーマ	デザイン領域:都市環境	対面 講義	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	熊本の景観をつくるもの（原田）			
13回	テーマ	デザイン領域:マンガ表現第1回	対面 講義	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	マンガって何? ー歴史･文化と世界への拡がりー（村井）			
14回	テーマ	デザイン領域:マンガ表現第2回	対面 講義	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	マンガ表現の多様性 ー機能マンガなどの事例を通してー（木下）			

科目名	日本国憲法（３ナ建美デ）	開講学年 3	講義コード 1121202	区分 選択
英文表記	The Constitution of Japan	開講期 前期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数 2
担当教員	竹内明里（実務教員）			
研究室	本館付属棟312	オフィスアワー 木曜２限		
メールアドレス	take1118@ed.sojo-u.ac.jp			
キーワード	法　社会　憲法　人権　　統治　教養的知識　論理力　アカデミックスキル　　自己管理力			

授業概要

1 授業概要（1）日本国憲法は基本的人権の尊重や平和主義、国民主権など日本国のあり方を定めている。 本講義では、裁判例や社会問題(「ブラック校則」等)を題材に、教員の官庁での経験も踏まえつつ、日本国憲法の理念、人権、日本の統治の仕組みへの理解を深める。（2）授業はレジュメに沿ったオンデマンド講義形式(初回のみ対面)。 授業動画視聴後に課題(確認ワーク、社会問題に対する自分の意見の論述等)を行う。また、社会問題について憲法の観点から検討し、レポートを作成する。（3)なお、ニーズに応じて教員採用試験や公務員試験対策を盛り込む。 2 学修上の助言 （1）心構えとして、日本国憲法や社会問題を他人事と思わず、自分の問題として考えること。（2）憲法が関わる社会問題には、「1+1=2」のような明確な正解がないこともあるし、「多数派が正しい」とは限らない。様々な意見を議論する中で新しい解決策が生まれることも多い。 授業では、こうした問題について、憲法からの視点を含む様々な意見を考えたうえで、自分の意見を構築するように努めること。（3）毎回の課題は必ず行うこと。 また、課題作成時には、社会問題を自分で調べてまとめ、自分の考えを他人にわかるように述べる努力をすること。この努力を継続することで、社会問題への理解や表現力が高めることができる。 ＊提出物については、第11・12第11回(レポート作業回)、第15回(まとめ)にて、フィードバックします。

関連科目

法学を扱う授業としては、本学では「現代の社会と法」と本講義「日本国憲法」が設定されています。 そのうち、本講義は「日本国憲法」に特化したものであり、幅広い法の基礎知識を学ぶ「現代の社会と法」に対して応用的な立ち位置にあります。 また、本科目は、公務員・教員採用試験受験者のニーズを重視します。 上記のことから、本科目の講義内容や課題は、試験対策が含まれるなど、「現代の社会と法」よりも質量ともに高度なものになります。 法について、より一般的な基礎知識を学びたい場合には、「現代の社会と法」を履修することをお勧めします。

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･日本国憲法

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A１	A１
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	日本国憲法の基本的な仕組みを理解することができる
f	②	日本国憲法や関連する社会問題について、自分の意見を論理的に説明することができる
f	③	日本国憲法や関連する社会問題について学術レポートを作成することができる
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	25	0	0	10	65	100

教科書

教職課程のための憲法入門 <第2版>　弘文堂　原博史、斎藤一久　　978-4-335-35763-3

参考書

いちばんやさしい憲法入門 第6版　有斐閣　初宿正典ほか　978-4-641-22150-5
憲法 第七版　岩波書店　芦部信喜ほか　978-4000613224
ポケット六法 令和5年版　有斐閣　佐伯 仁志、大村 敦志ほか　978-4641009233

予備知識	(1) 憲法に関する動きへの関心と、自ら学ぼうとする意欲を持つこと (2) ニュースで現代の社会の動きを把握すること (3) 中学や高校の「現代社会」「公民」で学ぶ程度の知識は必須です。　日本国憲法の成立や三大原理など、中高で習う基礎的知識がある前提で授業を行います。(4)本学の「現代の社会と法」(履修している場合)の知識をおさらいしておくこと。
実務経験のある教員	竹内明里
評価明細基準	(1) 課題研究(レポート) 25点(第11回レポート作成中間報告5点+第12回レポート20点)　指定するテーマについて、参考文献(書籍1冊+その他1つ以上)を読み、条件を守ってレポート(1200字以上)を作成する。　*テーマや参考文献、条件は第1回授業で説明する。(2)「到達度評価ポートフォリオ」10点　「学生の到達度目標」の各項目の達成度とその理由を200字～250文字で入力し、第15回授業日から一週間後までに提出。(3) その他:課題研究回(第11、12回)を除いた授業回の課題 65点(5点×13回)　毎回、一週間の期限内に提出すること。 期限後の提出は評価対象外。(4) 60点以上を合格とする。再試験等は一切行わない。

学修上の注意 (SBOs)	(1) ウェブクラスの出席手続きを必ず行うこと。(2) 提出物は期限内に提出する。　原則として、公欠相当事由がない場合、締切後の提出を受け付けない。　そのような事情がある学生は速やかに教員に連絡すること。(3) 提出物を作成する際は、授業動画を視聴し、理解したうえで、条件を守って作成すること。理解不十分・条件違反の場合は減点されます(採点されない場合もあります)。(4) 課題作成につき、参考資料(ウェブサイト等)や他の学生の作品のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は不正行為とみなし、単位を認めない。(5) その他、授業内での教員の指示を守ること。(6)質問は気軽にしてください。　オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は研究室にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。その他メール等での質問も受け付けます。　*詳しくはウェブクラスで説明します。(7)大学メール・ウェブクラスメールは毎日確認すること。課題などにつき、個別に連絡している場合があります。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	対面	（復習）ガイダンスでの説明事項についての確認。 復習課題（確認ワーク）を行う。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	30
	内容	授業概要、受講時の注意事項など	講義　演習		
2回	テーマ	イントロダクション	遠隔	（予習）「憲法の基礎」に関する記事を読み、高校までの知識を整理する課題を行う。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	憲法の意義、歴史、三大原理（国民主権・基本的人権の尊重・平和主義）を学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	人権総論1	遠隔	（予習）「人権の享有主体（受け手）」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	人権保障の歴史、人権の観念、享有主体等を学ぶ。	講義　演習		
4回	テーマ	人権総論2	遠隔	（予習）「基本的人権の限界」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	基本的人権の限界（公共の福祉、私人間効力等）を学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	人権各論1：包括的基本権	遠隔	（予習）「新しい人権」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	幸福追求権や新しい人権（プライバシー権、自己決定権等）の意義、内容、限界を学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	人権各論2：法の下の平等	遠隔	（予習）「法の下の平等」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	法の下の平等の意義、内容、限界を学ぶ。	講義　演習		
7回	テーマ	人権各論3：精神的自由権①	遠隔	（予習）「思想・良心の自由、信教の自由」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	思想・良心の自由、信教の自由について、意義、内容、限界を学ぶ。	講義　演習		
8回	テーマ	人権各論4：精神的自由権②、	遠隔	（予習）「表現の自由、学問の自由」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	表現の自由、学問の自由について、意義、内容、限界を学ぶ。	講義　演習		
9回	テーマ	人権各論5：経済的自由権	遠隔	予習）「職業選択の自由」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	職業選択の自由、居住・移転の自由、財産権について、意義、内容、限界を学ぶ。	講義　演習		
10回	テーマ	人権各論6：参政権・社会権	遠隔	（予習）「選挙権、教育を受ける権利」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと） ★レポート作成に向けて、授業前日までに参考資料を集めておくこと	60
	内容	選挙権等の参政権及び生存権・教育を受ける権利等の社会権について、意義、内容、限界を学ぶ。	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	課題研究(レポート)1　レポート作成の準備	遠隔	(予習)レポートで使う資料を収集しておく。（復習）課題として、レポートで使用する参考文献情報とレポートの大まかな骨組みを中間報告する。*課題締切：一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)	60
	内容	授業内で指定するテーマから1つ選び、条件を守ってレポートを作成する。*レポートの作成について、参考文献情報の整理、書式の設定、論述のパターンを学ぶ。今回は最低限、参考文献情報を整理し、大まかな骨組み作成を行う。	講義　演習		
12回	テーマ	課題研究(レポート))2　レポート作成	遠隔	(予習)参考文献情報の整理とレポートの骨組みを作成しておく(前回課題)。（復習)レポートを作成し、第13回前日までに指定の方法で提出する。	60
	内容	○授業内で指示するテーマから一つ選び、書式を守ってレポートを作成する。*今回は、前回作成した参考文献情報整理やレポートの骨組をもとに、レポートを完成させる。	講義　演習		
13回	テーマ	統治1：国会	遠隔	(予習)統治の仕組みに関する記事を読む。（復習)復習課題(確認ワーク、ミニレポート)を行う。配布資料の再読。*課題締切：一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)	60
	内容	権力分立制の歴史と意義、日本国憲法における三権の位置付けを把握する。また、国会の地位(国民の代表機関・国権の最高機関・唯一の立法機関)を学ぶ。	講義　演習		
14回	テーマ	統治2：内閣	遠隔	(予習)統治の仕組みに関する記事を読む。（復習)復習課題(確認ワーク、ミニレポート)を行う。配布資料の再読。*課題締切：一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)　※ポートフォリオ「科目到達度レポート」を入力する(第15回前日までに提出)	60
	内容	行政権の概念、内閣の組織と権能、議院内閣制等を学ぶ。	講義　演習		
15回	テーマ	統治3：裁判所　全体のまとめ	遠隔	(予習)統治の仕組みに関する記事を読む。（復習)復習課題(確認ワーク、ミニレポート)を行う。「三権分立ワークシート」を完成させて提出する。配布資料の再読。*課題締切：一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)	60
	内容	司法権の概念、裁判所の組織と権能、司法権の独立や違憲審査制等を学ぶ。また、これまでの課題やレポートの総括を行う。	講義　演習		

科目名	日本国憲法（３微生）	開講学年 3	講義コード 1121203	区分 選択
英文表記	The Constitution of Japan	開講期 前期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数 2

担当教員	竹内明里（実務教員）
研究室	本館付属棟312
オフィスアワー	木曜２限
メールアドレス	take1118@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	法　社会　憲法　人権　　統治　教養的知識　論理力　アカデミックスキル　　自己管理力

授業概要

1 授業概要（1）日本国憲法は基本的人権の尊重や平和主義、国民主権など日本国のあり方を定めている。 本講義では、裁判例や社会問題(「ブラック校則」等)を題材に、教員の官庁での経験も踏まえつつ、日本国憲法の理念、人権、日本の統治の仕組みへの理解を深める。（2）授業はレジュメに沿ったオンデマンド講義形式(初回のみ対面)。 授業動画視聴後に課題(確認ワーク、社会問題に対する自分の意見の論述等)を行う。また、社会問題について憲法の観点から検討し、レポートを作成する。（3)なお、ニーズに応じて教員採用試験や公務員試験対策を盛り込む。 2 学修上の助言 （1）心構えとして、日本国憲法や社会問題を他人事と思わず、自分の問題として考えること。（2）憲法が関わる社会問題には、「1+1=2」のような明確な正解がないこともあるし、「多数派が正しい」とは限らない。様々な意見を議論する中で新しい解決策が生まれることも多い。 授業では、こうした問題について、憲法からの視点を含む様々な意見を考えたうえで、自分の意見を構築するように努めること。（3）毎回の課題は必ず行うこと。 また、課題作成時には、社会問題を自分で調べてまとめ、自分の考えを他人にわかるように述べる努力をすること。この努力を継続することで、社会問題への理解や表現力が高めることができる。 *提出物については、第11・12第11回(レポート作業回)、第15回(まとめ)にて、フィードバックします。

関連科目

法学を扱う授業としては、本学では「現代の社会と法」と本講義「日本国憲法」が設定されています。 そのうち、本講義は「日本国憲法」に特化したものであり、幅広い法の基礎知識を学ぶ「現代の社会と法」に対して応用的な立ち位置にあります。 また、本科目は、公務員・教員採用試験受験者のニーズを重視します。 上記のことから、本科目の講義内容や課題は、試験対策が含まれるなど、「現代の社会と法」よりも質量ともに高度なものになります。 法について、より一般的な基礎知識を学びたい場合には、「現代の社会と法」を履修することをお勧めします。

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・日本国憲法

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A 1	A 1
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	日本国憲法の基本的な仕組みを理解することができる
f	②	日本国憲法や関連する社会問題について、自分の意見を論理的に説明することができる
f	③	日本国憲法や関連する社会問題について学術レポートを作成することができる
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	25	0	0	10	65	100

教科書

教職課程のための憲法入門 <第2版>　弘文堂　原博史、斎藤一久　　978-4-335-35763-3

参考書

いちばんやさしい憲法入門 第6版　有斐閣　初宿正典ほか　978-4-641-22150-5
憲法 第七版　岩波書店　芦部信喜ほか　978-4000613224
ポケット六法 令和5年版　有斐閣　佐伯 仁志、大村 敦志ほか　978-4641009233

予備知識	(1) 憲法に関する動きへの関心と、自ら学ぼうとする意欲を持つこと (2) ニュースで現代の社会の動きを把握すること (3) 中学や高校の「現代社会」「公民」で学ぶ程度の知識は必須です。 日本国憲法の成立や三大原理など、中高で習う基礎的知識がある前提で授業を行います。 (4)本学の「現代の社会と法」(履修している場合)の知識をおさらいしておくこと。
実務経験のある教員	竹内明里
評価明細基準	(1) 課題研究(レポート) 25点(第11回レポート作成中間報告5点+第12回レポート20点) 指定するテーマについて、参考文献(書籍1冊+その他1つ以上)を読み、条件を守ってレポート(1200字以上)を作成する。 *テーマや参考文献、条件は第1回授業で説明する。 (2)「到達度評価ポートフォリオ」10点 「学生の到達度目標」の各項目の達成度とその理由を200字～250文字で入力し、第15回授業日から一週間後までに提出。 (3) その他:課題研究回(第11、12回)を除いた授業回の課題 65点(5点×13回) 毎回、一週間の期限内に提出すること。 期限後の提出は評価対象外。 (4) 60点以上を合格とする。再試験等は一切行わない。

学修上の注意 (SBOs)	(1) ウェブクラスの出席手続きを必ず行うこと。(2) 提出物は期限内に提出する。　原則として、公欠相当事由がない場合、締切後の提出を受け付けない。　そのような事情がある学生は速やかに教員に連絡すること。(3) 提出物を作成する際は、授業動画を視聴し、理解したうえで、条件を守って作成すること。 理解不十分・条件違反の場合は減点されます(採点されない場合もあります)。(4) 課題作成につき、参考資料(ウェブサイト等)や他の学生の作品のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は不正行為とみなし、単位を認めない。(5) その他、授業内での教員の指示を守ること。(6)質問は気軽にしてください。 オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は研究室にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。その他メール等での質問も受け付けます。　*詳しくはウェブクラスで説明します。(7)大学メール・ウェブクラスメールは毎日確認すること。課題などにつき、個別に連絡している場合があります。

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ：ガイダンス 内容：授業概要、受講時の注意事項など	対面 講義　演習	（復習）ガイダンスでの説明事項についての確認。 復習課題（確認ワーク）を行う。*課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	30
2回	テーマ：イントロダクション 内容：憲法の意義、歴史、三大原理（国民主権・基本的人権の尊重・平和主義）を学ぶ。	遠隔 講義　演習	（予習）「憲法の基礎」に関する記事を読み、高校までの知識を整理する課題を行う。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。*課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
3回	テーマ：人権総論1 内容：人権保障の歴史、人権の観念、享有主体等を学ぶ。	遠隔 講義　演習	（予習）「人権の享有主体(受け手)」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。*課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
4回	テーマ：人権総論2 内容：基本的人権の限界（公共の福祉、私人間効力等）を学ぶ。	遠隔 講義　演習	（予習）「基本的人権の限界」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。*課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
5回	テーマ：人権各論1：包括的基本権 内容：幸福追求権や新しい人権（プライバシー権、自己決定権等）の意義、内容、限界を学ぶ。	遠隔 講義　演習	（予習）「新しい人権」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。*課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
6回	テーマ：人権各論2：法の下の平等 内容：法の下の平等の意義、内容、限界を学ぶ。	遠隔 講義　演習	（予習）「法の下の平等」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。*課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
7回	テーマ：人権各論3：精神的自由権① 内容：思想・良心の自由、信教の自由について、意義、内容、限界を学ぶ。	遠隔 講義　演習	（予習）「思想・良心の自由、信教の自由」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。*課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
8回	テーマ：人権各論4：精神的自由権②、 内容：表現の自由、学問の自由について、意義、内容、限界を学ぶ。	遠隔 講義　演習	（予習）「表現の自由、学問の自由」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。*課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
9回	テーマ：人権各論5：経済的自由権 内容：職業選択の自由、居住・移転の自由、財産権について、意義、内容、限界を学ぶ。	遠隔 講義　演習	予習）「職業選択の自由」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。*課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
10回	テーマ：人権各論6：参政権・社会権 内容：選挙権等の参政権及び生存権・教育を受ける権利等の社会権について、意義、内容、限界を学ぶ。	遠隔 講義　演習	（予習）「選挙権、教育を受ける権利」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。*課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと） ★レポート作成に向けて、授業前日までに参考資料を集めておくこと	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	課題研究(レポート)1 レポート作成の準備	遠隔	(予習)レポートで使う資料を収集しておく。(復習)課題として、レポートで使用する参考文献情報とレポートの大まかな骨組みを中間報告する。*課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)	60
	内容	授業内で指定するテーマから1つ選び、条件を守ってレポートを作成する。*レポートの作成について、参考文献情報の整理、書式の設定、論述のパターンを学ぶ。今回は最低限、参考文献情報を整理し、大まかな骨組み作成を行う。	講義　演習		
12回	テーマ	課題研究(レポート))2 レポート作成	遠隔	(予習)参考文献情報の整理とレポートの骨組みを作成しておく(前回課題)。(復習)レポートを作成し、第13回前日までに指定の方法で提出する。	60
	内容	○授業内で指示するテーマから一つ選び、書式を守ってレポートを作成する。*今回は、前回作成した参考文献情報整理やレポートの骨組をもとに、レポートを完成させる。	講義　演習		
13回	テーマ	統治1:国会	遠隔	(予習)統治の仕組みに関する記事を読む。(復習)復習課題(確認ワーク、ミニレポート)を行う。配布資料の再読。*課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)	60
	内容	権力分立制の歴史と意義、日本国憲法における三権の位置付けを把握する。また、国会の地位(国民の代表機関・国権の最高機関・唯一の立法機関)を学ぶ。	講義　演習		
14回	テーマ	統治2:内閣	遠隔	(予習)統治の仕組みに関する記事を読む。(復習)復習課題(確認ワーク、ミニレポート)を行う。配布資料の再読。*課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと) ※ポートフォリオ「科目到達度レポート」を入力する(第15回前日までに提出)	60
	内容	行政権の概念、内閣の組織と権能、議院内閣制等を学ぶ。	講義　演習		
15回	テーマ	統治3:裁判所　全体のまとめ	遠隔	(予習)統治の仕組みに関する記事を読む。(復習)復習課題(確認ワーク、ミニレポート)を行う。「三権分立ワークシート」を完成させて提出する。配布資料の再読。*課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)	60
	内容	司法権の概念、裁判所の組織と権能、司法権の独立や違憲審査制等を学ぶ。また、これまでの課題やレポートの総括を行う。	講義　演習		

科目名	英語圏の文化と社会（２全学科）	開講学年	1	講義コード	1121302	区分	選必
英文表記	Cultures of the English Speaking World	開講期	後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	ハーシェル・ロブ Hirschel, Rob　ハンフリーズ・ギャレス Humphreys, Gareth

研究室	SILC 401	オフィスアワー	Please refer to sojosilc.com s ojosilc.comで確認してください。

メールアドレス	hirschel@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	English-speaking communities 英語圏コミュニティー　Cultural learning 文化学習　Intercultural understanding 異文化理解　Diversity 多様性　Independent learning 自主学習　教養的知識　論理力　自己管理力

授業概要	Develop intercultural understanding in the context of English-speaking communities　英語圏コミュニティーでの異文化理解の向上を図る。Develop awareness of cultural diversity among English-speaking communities　英語圏コミュニティー内の文化多様性認知の向上を図る。Understand different characteristics of English language use in the world　世界での異なる英語言語の特徴を理解する。Promote independent learning and research skills about cultural topics　文化話題についての自立学習やリサーチ力の促進を図る。We teach this course based on our research and experience in study abroad and international education in previous teaching positions in Japanese and international universities.　このコースでは自己の留学経験や研究、及び前職の日本や海外の大学での留学に関する教育業務の経験をもとに指導を行います。　Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	fg	fg	fg

教職関連区分	

JABEE記号		学生の到達度目標
fg	①	I can explain the learning content in relation to my own experiences.　学習内容を自分の経験と関連付けて説明することができる。
fg	②	I can research and report information about (some) English-speaking communities. 英語圏コニュニティーについて情報を調査し報告できる。
fg	③	I can demonstrate independent learning skills on cultural topics through independent tasks and self-reflection. 自主学習課題、自己振り返りを通して文化的なテーマでの自立学習スキルを実演できる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	20	0	10	40	100

教科書	ありません

参考書	

予備知識	基礎英語力 Basic English skills
実務経験のある教員	
評価明細基準	The extent to which a student has achieved the goals of the course is assessed through the following: 学生がどのようにコース目標を達成したかは次のように評価する: Reflections (30): reflections on the learning content using English or Japanese. レポート (30) は 振返り:英語または日本語で学習内容を振り返る Final project (20): silconline.jp- based project. 成果発表 (20) は 最終プロジェクト: silconline.jp に基づくプロジェクト Sojo Portfolio (10): A description of your achievements ポートフォリオ (10): 到達達成ポートフォリオ Culture Portfolio (40): reading and independent tasks. その他 (40) は「Cultureのポートフォリオ」: リーディングと自主学習課題

学修上の注意 (SBOs)	1. Classes essentially consist of presentation of learning content by the teacher(s), followed by tasks requiring individual engagement with content, leading to self-reflection. 学習内容は教員により提示され、以下のような課題で、各々の課題への取り組みや学習への振り返り課題が望まれる。 2. More complex reading content is presented in Japanese. より複雑な読解内容では日本語で提示する。 3. You are expected to use English as much as possible to communicate with your teacher(s) and other students. However, the course is not a test of English and you should not worry about making mistakes. 教員及び他の学生とはな能な限り英語を活用することが期待される。しかし、コースは英語テストとは異なり、英語の間違いへお心配は必要ない。 4. Self-reflections and reports can be completed in Japanese and/or English. 自己の振り返りやレポートは日本語やまたは英語で行うことができる。 5. In the final project you will be required to submit a video entry on silconline.jp. 最終レポートはsilconline.jpでビデオの提出が要求される。 6. If you do not attend class regularly or on time, you will not be able to pass the course. クラスに定期的または時間通りに出席しない場合はコースに合格できないでしょう。 7. If you are absent for any reason you must contact your teacher(s) to catch up on work missed. いかなる理由でも欠席する場合は教員に連絡し、欠席した分の課題の遅れを取り戻さなければならない。 8. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Introduction: Cultures of English-speaking world	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	コース説明：英語圏の文化Introduction to course aims and outline. コースの目的と概要導入	e-L		
2回	テーマ	Topic 1: English language in the world	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Global Englishes Varieties of English in the world トピック1：グローバル英語における英語言語	e-L		
3回	テーマ	Topic 2: English in Japan	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Role of English in Japan トピック2：日本での英語 日本での英語の役割	e-L		
4回	テーマ	Topic 3: Multilingualism and multiculturalism	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Multicultural communities Using more than one language トピック3：多言語主義と多文化主義 多文化コミュニティー 1つの言語えはなく複数言語を使う	e-L		
5回	テーマ	Topic 4: Cultural stereotyping	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Avoiding stereotypes Generalisations トピック4：文化的ステレオタイプ ステレオタイプを避ける 一般化	e-L		
6回	テーマ	Topic 5: Families	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Family life in English-speaking communities トピック5：家族 英語圏コミュニティーでの家族生活	e-L		
7回	テーマ	Topic 6: Education	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Education differences in the world トピック6：教育 世界の教育の違い	e-L		
8回	テーマ	Topic 7: Student life	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Comparing student life in English-speaking communities with Japanese student life トピック7：英語圏コミュニティーと日本の学生生活の学生生活比較	e-L		
9回	テーマ	Topic 8: Work	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Working styles Working differences トピック8：働き方 仕事の違い	e-L		
10回	テーマ	Topic 9: Living abroad	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Experiences of Japanese people living overseas トピック9：海外生活 日本人の海外生活経験	e-L		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	Topic 10: Social life	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Comparing social life in English-speaking communities トピック10：社会生活 英語圏との社会生活比較	e-L		
12回	テーマ	Topic 11: Culture in the News, Reflection on previous work	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Students choose a cultural topic and examine related news media, Students reflect on their previous work トピック11：文化的なトピックを選び、関連するニュースメディアを調べます、これまでの課題の振り返り	e-L		
13回	テーマ	Topic 12: Open Topic	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Student-selected topic トピック12：オープン課題 学生がトピックを選択	e-L		
14回	テーマ	Final project: Summarising the course (1)	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Summarising and reflecting 最終プロジェクト：コースの概要(1)まとめと振り返り	e-L		
15回	テーマ	Final project: Summarising the course (2)	遠隔授業	復習と振り返り Review and reflection コース評価 Course evaluation 最終レポート Final report 崇城ポートフォリオSojo Portfolio	90分
	内容	Reflection and evaluation, 最終プロジェクト：コースの概要(2)振返り、評価とフィードバック	e-L		

科目名	中国語圏の文化と社会（２全学科）	開講学年	2	講義コード	1121402	区分	選択
英文表記	Culture and Society in the Chinese Speaking Area	開講期	前期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	単援朝（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	木曜４限

メールアドレス	shan@@ed.sojo-u.ac.jp以降を入力

キーワード	言語、文化、社会、理解、共生、知的好奇心　教養的知識　論理力　アカデミックスキル　　自己管理力

授業概要

中国語圏とは中国語を母語とする人々が生活する国と地域を指し、中国、台湾、香港、マカオなどはそうです。この地域の文化と社会を学ぶことにより異文化理解の意義と方法を知るのが目的です。学習内容は言語、文学、美術、音楽、建築、民族、社会などに及びます。対面授業の場合は、11回目まで教員の講義（映像資料を使う）を聞いて中国語圏の文化と社会について学んでいき、毎回学習内容に合わせて小テストやレポートを課します。12回目から三回にわたって、異文化理解実践として、受講生が指定された範囲内で関心のある課題を見つけチームで共同研究し成果発表を行います。最終回は担当教員が成果発表について講評を行います。遠隔授業の場合は基本的に動画を見て勉強してもらいます。具体的に授業13回+自学自習課題2回という構成となり、仕上げとして、チームでの共同研究と成果発表の代わりに、個人で研究課題レポートを作成し提出するという形になります。

関連科目

中国語

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,f,g,i	a,f,g,i

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	中国語圏の文化と社会についての理解を深め、グローバル的な考え方を身に着けることができる。
f.g	②	異文化理解の意義と方法を把握し、批判的思考をすることができる。
f.i	③	資料検索及び編集の能力を高め、文化、社会に関する学術レポートを作成し、研究成果をプレゼンすることができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	３６	２４	３０	0	10	0	100

教科書

なし。必要に応じてプリントを配布する。

参考書

中国文化事典　丸善出版　中国文化事典編集員会
漢字の世界：中国文化の原点1　平凡社　白川静
漢字の世界：中国文化の原点2　平凡社　白川静

予備知識	中国語という言語と中国という国についてある程度知っておきます。
実務経験のある教員	
評価明細基準	小テストは9回×4点＝36点　レポートは4回×6点＝24点　研究課題レポート（遠隔授業）または研究発表（対面授業）は1回×30点　ポートフォリオは1回×10点＝10点

学修上の注意 (SBOs)	1.必ずレポートを提出すること。 2.引用について必ず出所を明記すること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 3.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 4.遠隔授業の場合は課題を期限内に提出すること。 5.オフィスアワーの時間帯ににテレビ電話やメール等での質問も受け付けます（メールでの質問は随時に受け付けます）。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	中国語と中国語圏とは	講義	小テスト（授業内で指示）	９０
	内容	中国語の特徴について日本語との比較で説明する			
2回	テーマ	異文化理解のために	講義	レポート課題（授業内で指示）	９０
	内容	異文化理解の意義と方法について説明する			
3回	テーマ	文学と文化（1）	講義	小テスト（授業内で指示）	９０
	内容	中国文学の流れから中国文化の特徴を見る			
4回	テーマ	文学と文化（2）	講義	小テスト（授業内で指示）	９０
	内容	中日文学の相違点から中国文化の特徴を見る			
5回	テーマ	中国文化の基本知識	講義	小テスト（授業内で指示）	９０
	内容	思想、宗教、地理、文学、民俗、風習などからトータル的に学ぶ			
6回	テーマ	中国の書道と絵画	講義	小テスト（授業内で指示）	９０
	内容	中国の書道と絵画（水墨画）の基本を紹介する			
7回	テーマ	中国語圏の音楽	講義	小テスト（授業内で指示）	９０
	内容	古代から現代まで中国における音楽の歴史と現状を紹介する			
8回	テーマ	中国語圏の戯曲	講義	レポート課題（授業内で指示）	９０
	内容	京劇を中心に各地方の戯曲を紹介する			
9回	テーマ	中国語圏の建築	講義	小テスト（授業内で指示）	９０
	内容	中国における建築の歴史と特徴を学ぶ			
10回	テーマ	少数民族の生活	講義	小テスト（授業内で指示）	９０
	内容	中国大陸における少数民族の生活を北方の少数民族を中心に紹介する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	中国語圏の食文化	講義	小テスト（授業内で指示）	９０
	内容	中国各地の料理を麺類を中心に紹介する。			
12回	テーマ	日本人の目で捉えられた現代中国（1）	講義	レポート課題（授業内で指示）	９０
	内容	都市編・観光客として重慶、長沙、北京等を訪れた日本人の体験を通して都市部の生活を見る。			
13回	テーマ	日本人の目で捉えられた現代中国（2）	演習	レポート課題（授業内で指示）	９０
	内容	田舎編・中国の田舎に住む日本人の体験を通して田舎の生活を見る。			
14回	テーマ	研究（自学自習）課題（1）	演習	研究課題レポートまたは研究成果発表（発表はチームで行い）	９０
	内容	中国語圏の文化と社会をめぐって関心のある課題を大学で専攻する分野の知識を生かす見地から研究、発表する。AL　AL			
15回	テーマ	研究（自学自習）課題（2）	演習	レポート（授業内で指示）　ポートフォリオ提出	９０
	内容	中国の映画を見てレポートを書く　AL			

科目名	フランス語圏の文化と社会（２全学科）	開講学年	2	講義コード	1121602	区分	選必
英文表記	Culture and Society in France	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	フェレロ イヴ （非常勤）						
研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	木曜日、授業の後				
メールアドレス	yves@plum.plala.or.jp						
キーワード	文化　社会　生活　理解　　共生　教養的知識　論理力　アカデミックスキル　　自己管理力						

授業概要

フランス語圏の文化と社会について講義と演習という形で学んでいく。この学習を通して異文化理解の意義と方法を知るのが目的である。 授業のやり方としては、受講生に与えられた課題をめぐってチームで共同研究をし成果発表をしてもらうことを主とする。

関連科目

フランス語

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	フランスの文化と社会について理解を深め、客観視することができる
f .g	②	異文化理解の意義と方法を把握し、批判的思考をすることができる
f.i	③	資料検索及び編集の能力を高め、研究成果を発表することができる
f,g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	33	57	0	10	0	100

教科書

無し

参考書

無し

予備知識	フランス語とフランスという国についてある程度知っておく。
実務経験のある教員	
評価明細基準	レポートははA4用紙1枚、1行40文字、1頁40行、MS明朝、100文字以上 14回X2点＝28点　成果発表は1回X57点＝57点　ポートフォリオは1回X10点＝10点

学修上の注意 (SBOs)	1.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 2.引用について出所を明記すること。.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	演習		９０
	内容	授業の説明			
2回	テーマ	フランス語	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	フランス語の発音、原点			
3回	テーマ	EUでのフランス	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	地理:ヨーロッパとフランス			
4回	テーマ	スポーツ	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	国技、格闘技、教育			
5回	テーマ	料理	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	惣菜、調味料、パン対米			
6回	テーマ	休暇	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	過ごし方、有休			
7回	テーマ	ファッション	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	洋服、下着、身に着ける物			
8回	テーマ	藝術	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	歴史、美術、音楽			
9回	テーマ	身体	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	香水、生活習慣			
10回	テーマ	家族	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	家事、性、老者			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	教育	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	制服、旅費、性教育、国語			
12回	テーマ	健康	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	国民保険、病院			
13回	テーマ	労働	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	社員と上司、労働者と政府との関係			
14回	テーマ	税金	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	種類、使い方			
15回	テーマ	政治	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	政治のシステム			
16回	テーマ	まとめ	講義	ポートフォリオ提出	
	内容	講評・まとめ			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎①（テニス）（１機宇）	開講学年 1	講義コード 1130101	区分 選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期 前期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1
担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）			
研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー 火曜日の4限目		
メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp			
キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション			

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設･用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省･感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意･思いやり」 ③「リーダーシップ･責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告･連絡･相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ・Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119
アクティブスポーツ(総合版)　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア・トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける（3密回避、授業前後の手洗い・消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	実戦への応用・対抗戦活動1	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎②（ソフトボール）（１機宇）	開講学年	1	講義コード	1130102	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日の4限目

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設･用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省･感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意･思いやり」 ③「リーダーシップ･責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告･連絡･相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目
健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ・Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア・トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける（3密回避、授業前後の手洗い・消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	実戦への応用・対抗戦活動1	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50　10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎③（バレーボール）（１機宇）	開講学年	1	講義コード	1130103	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日の4限目

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設･用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省･感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意･思いやり」 ③「リーダーシップ･責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告･連絡･相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目
健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ・Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア・トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける（3密回避、授業前後の手洗い・消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	実戦への応用・対抗戦活動1	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3		【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④	実技		
12回	テーマ	対抗戦活動4		【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤	実技		
13回	テーマ	技能テスト		【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。	実技		
14回	テーマ	課題レポート1		【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。	遠隔		
15回	テーマ	課題レポート2		【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。	遠隔		

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎④（卓球）（1機宇）	開講学年 1	講義コード 1130104	区分 選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期 前期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館1F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー 火曜日の4限目

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設・用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意・思いやり」 ③「リーダーシップ・責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告・連絡・相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験・小テスト・レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目
健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・2科目より1科目 選択必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・体育

建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4
JABEE基準		f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康・体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康・体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ・Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア・トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける（3密回避、授業前後の手洗い・消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	実戦への応用・対抗戦活動1	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎①（テニス）（１ナ建）	開講学年	1	講義コード	1130105	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日の4限目

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設･用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省･感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意･思いやり」 ③「リーダーシップ･責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告･連絡･相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目
健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ・Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア･トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する(体育会館のロッカーを使用可) 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける(3密回避、授業前後の手洗い･消毒など) 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ：ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け 内容：履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
2回	テーマ：コース別活動 内容：グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
3回	テーマ：基本技能の習得 内容：基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
4回	テーマ：基本技能の応用 内容：前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
5回	テーマ：戦術の習得 内容：戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
6回	テーマ：実戦への応用・対抗戦活動1 内容：第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
7回	テーマ：ゲーム理論習得 内容：試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
8回	テーマ：スキルの向上 内容：VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
9回	テーマ：技能の習得活動 内容：技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
10回	テーマ：対抗戦活動2 内容：第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎②（ソフトボール）（１ナ建）	開講学年	1	講義コード	1130106	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日の4限目

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設･用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省･感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意･思いやり」 ③「リーダーシップ･責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告･連絡･相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目
健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ・Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア･トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する(体育会館のロッカーを使用可) 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける(3密回避、授業前後の手洗い･消毒など) 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	実戦への応用・対抗戦活動1	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 内容	対抗戦活動3 第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
12回	テーマ 内容	対抗戦活動4 第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
13回	テーマ 内容	技能テスト 種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
14回	テーマ 内容	課題レポート1 課題レポート1を作成する。	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
15回	テーマ 内容	課題レポート2 課題レポート2を作成する。	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50　10

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎③（バレーボール）（１ナ建）	開講学年	1	講義コード	1130107	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日の4限目

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設･用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省･感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意･思いやり」 ③「リーダーシップ･責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告･連絡･相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。	関連科目：健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ・Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア・トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける（3密回避、授業前後の手洗い・消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	実戦への応用・対抗戦活動1	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎④（卓球）（１ナ建）	開講学年 1	講義コード 1130108	区分 選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期 前期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー 火曜日の4限目

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設･用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省･感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意･思いやり」 ③「リーダーシップ･責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告･連絡･相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。	関連科目：健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ･Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア・トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける（3密回避、授業前後の手洗い・消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	実戦への応用・対抗戦活動1	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎①（テニス）（１情）	開講学年	1	講義コード	1130109	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日の4限目

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設･用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省･感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意･思いやり」 ③「リーダーシップ･責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告･連絡･相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。	関連科目：健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ・Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア・トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける（3密回避、授業前後の手洗い・消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	実戦への応用・対抗戦活動1	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎②（ソフトボール）（１情）	開講学年 1	講義コード 1130110	区分 選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期 前期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1
担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）			
研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日の4限目	
メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp			
キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション			

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設･用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省･感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意･思いやり」 ③「リーダーシップ･責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告･連絡･相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ・Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119
アクティブスポーツ(総合版)　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア･トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する(体育会館のロッカーを使用可) 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける(3密回避、授業前後の手洗い･消毒など) 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	実戦への応用・対抗戦活動1	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎③（バレーボール）（１情）	開講学年 1	講義コード 1130111	区分 選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期 前期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1
担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）			
研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー 火曜日の4限目		
メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp			
キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション			

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設･用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省･感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意･思いやり」 ③「リーダーシップ･責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告･連絡･相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ・Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119
アクティブスポーツ(総合版)　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア・トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける（3密回避、授業前後の手洗い・消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	実戦への応用・対抗戦活動1	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎④（卓球）（1情）	開講学年 1	講義コード 1130112	区分 選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期 前期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1
担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）			
研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館1F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー 火曜日の4限目		
メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp			
キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション			

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設・用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意・思いやり」 ③「リーダーシップ・責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告・連絡・相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験・小テスト・レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】・・・2科目より1科目 選択必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康・体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康・体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ・Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア・トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける（3密回避、授業前後の手洗い・消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	実戦への応用・対抗戦活動1	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ①（テニス）（１美デ◎・１薬）	開講学年	1	講義コード	1130113	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日の4限目

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設･用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省･感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意･思いやり」 ③「リーダーシップ･責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告･連絡･相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。	関連科目：健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ・Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア･トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する(体育会館のロッカーを使用可) 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける(3密回避、授業前後の手洗い･消毒など) 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	実戦への応用・対抗戦活動1	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ②（ソフトボール）（１美デ◎・１薬）	開講学年	1	講義コード	1130114	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日の4限目

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設･用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省･感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。 テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意･思いやり」 ③「リーダーシップ･責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告･連絡･相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。	関連科目：健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ・Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119 アクティブスポーツ(総合版)　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア･トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する(体育会館のロッカーを使用可) 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける(3密回避、授業前後の手洗い･消毒など) 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	実戦への応用・対抗戦活動1	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ③（バレーボール）（１美デ◎・１薬）	開講学年	1	講義コード	1130115	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日の4限目

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設･用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省･感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意･思いやり」 ③「リーダーシップ･責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告･連絡･相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目
健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ・Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア･トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける（3密回避、授業前後の手洗い･消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	実戦への応用・対抗戦活動1	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ④（卓球）（1美デ◎・1薬）	開講学年 1	講義コード 1130116	区分 選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期 前期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1
担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）			
研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館1F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー 火曜日の4限目		
メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp			
キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション			

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設･用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省･感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意･思いやり」 ③「リーダーシップ･責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告･連絡･相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ・Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア･トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する(体育会館のロッカーを使用可) 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける(3密回避、授業前後の手洗い･消毒など) 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	実戦への応用・対抗戦活動1	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎①（テニス）（１生物）	開講学年	1	講義コード	1130117	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日の4限目

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設･用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省･感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意･思いやり」 ③「リーダーシップ･責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告･連絡･相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。	関連科目：健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ・Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119 アクティブスポーツ(総合版)　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア・トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける（3密回避、授業前後の手洗い・消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	実戦への応用・対抗戦活動1	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎②（ソフトボール）（１生物）	開講学年	1	講義コード	1130118	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日の4限目

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設･用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省･感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意･思いやり」 ③「リーダーシップ･責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告･連絡･相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目
健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ･Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア・トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける（3密回避、授業前後の手洗い・消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	実戦への応用・対抗戦活動1	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3		【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④	実技		
12回	テーマ	対抗戦活動4		【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤	実技		
13回	テーマ	技能テスト		【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。	実技		
14回	テーマ	課題レポート1		【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。	遠隔		
15回	テーマ	課題レポート2		【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。	遠隔		

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎③（バレーボール）（１生物）	開講学年	1	講義コード	1130119	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日の4限目

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション

授業概要	本科目においては、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設･用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省･感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意･思いやり」 ③「リーダーシップ･責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告･連絡･相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目
健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ・Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835 ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630 コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア・トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける（3密回避、授業前後の手洗い・消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③			
6回	テーマ	実戦への応用・対抗戦活動1	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3		【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④	実技		
12回	テーマ	対抗戦活動4		【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤	実技		
13回	テーマ	技能テスト		【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。	実技		
14回	テーマ	課題レポート1		【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。	遠隔		
15回	テーマ	課題レポート2		【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。	遠隔		

科目名	健康スポーツ教育Ⅰ◎④（卓球）（1生物）	開講学年 1	講義コード 1130120	区分 選必／必修
英文表記	Health Sports Education I	開講期 前期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1
担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）			
研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館1F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー 火曜日の4限目		
メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp			
キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④チームワーク　⑤コミュニケーション			

授業概要

本科目においては、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を修得する。 本科目では,チームスポーツなど大集団でのスポーツを行うことにより、仲間と協力しながら問題を解決するチームワークやコミュニケーションを学ぶことが出来る。 すなわち、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発を促す。 これにより、スポーツを通して1)チームワーク2) コミュニケーション能力向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に大集団活動、団体スポーツ活動を設定し（施設・用具の関係上調整有）、種目を自由選択により実施する。 個別に毎回の反省・感想をレポートすることにより成長を図る。オリエンテーション時に健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の啓発活動を行う。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については、次の項目を基本とする。 ≪Ⅰチームワーク≫ ①「協調性」 ②「仲間への敬意・思いやり」 ③「リーダーシップ・責任感」 ④「フォロワーシップ」⑤「報告・連絡・相談」 ≪Ⅱコミュニケーション≫ ①「好感を持たれるスピーチ」 ②「ミーティングにおけるコミュニケーション」 ③「イベント企画におけるコミュニケーション」 ④「面接」の基本的な考え方 ⑤「夢の実現とコミュニケーション」 【試験・小テスト・レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】・・・2科目より1科目 選択必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康・体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康・体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,i	③	グループ活動を実施するために必要なスキル（チームワーク、コミュニケーション）の重要性を理解し、習得することができる。（人間性向上プログラムⅠ・Ⅱ）
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
ソフトボール上達BOOK　成美堂出版　田中大鉄　4415017630
コーチングバレーボール(基礎編)　大修館書店　日本バレーボール協会　9784469268119
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行　9784469364712

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目において技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートを実施する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）。

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア・トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける（3密回避、授業前後の手洗い・消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ：ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け 内容：履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2Fに集合】	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
2回	テーマ：コース別活動 内容：グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。学習目標の確認。	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
3回	テーマ：基本技能の習得 内容：基本技能の把握 人間性向上プログラムⅠ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
4回	テーマ：基本技能の応用 内容：前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅠ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
5回	テーマ：戦術の習得 内容：戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅠ③	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
6回	テーマ：実戦への応用・対抗戦活動1 内容：第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅠ④	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
7回	テーマ：ゲーム理論習得 内容：試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅠ⑤	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
8回	テーマ：スキルの向上 内容：VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅡ①	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
9回	テーマ：技能の習得活動 内容：技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅡ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
10回	テーマ：対抗戦活動2 内容：第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ③ 課題レポート1・2のテーマを提示する。	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅡ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。各コースでのまとめを行う。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」の作成。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康科学概論（２全学科）	開講学年	2	講義コード	1130302	区分	選必
英文表記	Health Science Theory	開講期	前後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	藤原大樹　木戸貴弘

研究室	G313（藤原大樹）　G314（木戸貴弘）	オフィスアワー	火曜日の4限

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	健康づくり　生活習慣　運動･身体活動　運動処方

授業概要

本学の教育理念は「体･徳･智」です。「体」を最初に掲げているのは、私達が自らの人生を豊かに幸せに過ごすための大きな要素として、「心と体の健康」があげられるからです。健康科学概論は、心と体の健康に関する知識および身体運動に関することを学び、科学的な思考態度を養い、生活設計を図る能力と自己管理能力を育成することを目的としています。具体的には、健康科学、身体運動学、運動生理学、生涯スポーツを領域とし、また複雑多様化した現代社会への精神的な適応能力育成も視野に入れています。

関連科目

健康スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
a,d,h,i	①	健康の諸問題について、レポートを作成することができる。
a,d	②	健康、体力、生活習慣についての基礎的な知識を習得することができる。
a,d,g	③	生活習慣を改善するために目標設定を行い、自己管理するためのスキルを身につけることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	0	50	0	0	10	0	100

教科書

授業の中で指示をする

参考書

健康増進科学概論　東京教学社　今村裕行他　978−4−8082−6024−8

予備知識	1.自己生活習慣の把握 2.健康の維持増進への意欲･関心 3.健康に関する諸課題
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】健康科学概論の理解度を把握するため中間試験を実施する（40点） 2.【レポート】 ①授業レポート：各授業で提示されるテーマについてのレポートを作成する（2点×13回＝26点） ②課題レポート：担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（12点） （A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25mm、1000文字以上） ③生活習慣レポート：運動、栄養、体重など生活習慣についてのレポートを作成する（12点） 3.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で到達度評価レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	1.授業レポート、課題レポート、生活習慣レポートのテーマは授業内で提示する。 2.課題レポートを作成する際には引用文献・参考文献を2件以上明記する。ネットの資料から出典を明らかにせず剽窃（コピー＆ペースト）した場合は不可とするため注意すること。 3.質問等がある場合は、担当教員にメールで質問する。メールで質問する場合は、件名に「健康科学概論、所属学科名、学生番号、氏名」を必ず記載すること。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	校訓「体・徳・智」,健康とは	講義	【予習】シラバスを読み、授業内容の確認をする。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	健康とは,Quality of Life,平均寿命,健康寿命、我が国の健康課題、健康日本21　課題レポートのテーマを提示する			
2回	テーマ	生活習慣病	講義	【予習】「生活習慣病」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	メタボリックシンドローム、特定健康診断,内臓脂肪,高血圧症,糖尿病,脂肪異常症			
3回	テーマ	健康と体力	講義	【予習】「健康と体力」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	体力,健康と体力の関係,ライフステージ			
4回	テーマ	肥満と減量	講義	【予習】「肥満と減量」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	BMI,体組成,肥満の予防,ダイエット,低体重			
5回	テーマ	身体的健康と運動	講義	【予習】「身体的健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	エネルギー消費,骨格筋,運動の恩恵、不活動、身体活動基準2013, METs			
6回	テーマ	精神的健康と運動	講義	【予習】「精神的健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	ストレス,ストレスと運動,運動が及ぼす脳への影響,運動の恩恵			
7回	テーマ	社会的健康と運動	講義	【予習】「社会的健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	社会的健康、コミュニケーション、ライフスキル			
8回	テーマ	運動処方・トレーニング法	講義	【予習】「運動処方・トレーニング」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	トレーニングの原理・原則,トレーニングの条件,ACSMの基本原則,有酸素運動,最大酸素摂取量,心拍予備能,レジスタンストレーニング,最大反復回数			
9回	テーマ	子どもの健康と運動	講義	【予習】「子どもの健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	発育発達、運動発達の基礎、子どもにとっての運動・遊びの意義、幼児期運動指針			
10回	テーマ	高齢者の健康と運動	講義	【予習】「高齢者の健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	加齢・老化、生活体力、ロコモティブシンドローム、認知症、高齢者における運動の意義			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	栄養		【予習】「栄養」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	食生活の現状,食事バランスガイド	講義		
12回	テーマ	睡眠・休養		【予習】「睡眠・休養」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	体内時計、生活リズム、不眠・睡眠不足	講義		
13回	テーマ	飲酒・喫煙・薬物		【予習】「飲酒・喫煙・薬物」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	飲酒・喫煙・薬物が及ぼす健康被害、受動喫煙、アルコールハラスメント、依存症	講義		
14回	テーマ	中間試験		【予習】中間試験の準備を行う。	60
	内容	中間試験を受ける	演習		
15回	テーマ	まとめ		【復習】「到達度評価レポート」を作成する。	50 10
	内容	中間試験のフィードバックとまとめ	演習		

科目名	健康スポーツ実習（２全学科）	開講学年 2	講義コード 1130401	区分 選択
英文表記	Health Sports Practicum	開講期 前後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1
担当教員	水月晃　阪本達也			
研究室	G312（水月晃）　G311（阪本達也）		オフィスアワー 火曜日の４限	
メールアドレス	suigetsu@m.sojo-u.ac.jp			
キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④運動・スポーツ習慣　⑤礼儀・作法			

授業概要

健康スポーツ実習では、個人スポーツ/小集団スポーツ活動を通して身体的な健康・体力の維持増進、またストレス解消など精神的健康の維持増進を行うために必要な知識と実践方法を体得することにより、生涯を通してスポーツや身体運動に親しむ習慣を獲得する。 併せて、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることによって「社会人基礎力」を修得する。 活動種目は、卓球・バドミントン・バスケットボール・ソフトボール・サッカー・テニスの6種目のうち3種目である。前期は卓球・バドミントン・バスケットボール、後期はソフトボール・サッカー・テニスを開講する予定である。（※履修者数に応じて種目は変更される場合がある）

関連科目

健康スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ　健康科学概論

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準		f, g, i	f, g, i	

JABEE記号		学生の到達度目標
a,d,h,i	①	運動・スポーツが健康・体力に与える効果について理解し、レポートを作成することができる。
a,d	②	習慣的に運動を実践するために必要なスポーツの基礎的スキルやトレーニング方法などを修得することができる。
a,d,g	③	自らの運動行動を維持・増進するために目標を設定し、自己管理するための振り返りと改善ができる。
a,d,g	④	スポーツ活動の中で、他者を尊重し自分を律しながら目標を達成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
34	0	36	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

アクティブスポーツ(総合版)　大修館書店　鈴木 一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】技能テストを実施する（34点） 2.【小テスト】毎回の振り返りレポートで学修到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性、協働性）を評価し、活動の評価を加味する（36点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア・トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける（3密回避、授業前後の手洗い・消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする ※前後期で担当教員が異なります（前期：水月、後期：阪本）

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス授業概要説明	講義	【予習】生涯スポーツの概念について学習する。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を確認し、今後の活動に対しての理解を深める。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	基本技能の習得（種目1）	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	種目の特性・歴史の理解。基本技能の把握。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の応用（種目1）	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。			
4回	テーマ	戦術の習得 と実践への応用 （種目1）	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。対抗戦実施。個別反省活動。			
5回	テーマ	ゲーム理論習得　技能テスト（種目1）	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。 技能テスト。			
6回	テーマ	基本技能の習得（種目2）	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。			
7回	テーマ	基本技能の応用（種目2）	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。			
8回	テーマ	戦術の習得と実践への応用 （種目2）	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。対抗戦実施。個別反省活動。			
9回	テーマ	ゲーム理論習得　技能テスト（種目2）	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。 技能テスト。			
10回	テーマ	基本技能の習得（種目３）	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	基本技能の応用(種目3)	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。課題レポートのテーマを提示する。			
12回	テーマ	戦術の習得と実践への応用 （種目3）	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。対抗戦実施。個別反省活動。			
13回	テーマ	ゲーム理論習得　技能テスト(種目3)	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。技能テスト。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」を作成する。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅰ①◎（１機宇）	開講学年	1	講義コード	1210101	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	藤城 謙一　徳永 憲治　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（徳永）、本館付属棟316（津曲)　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I
（連携科目）工学・情報系の数理I, II（旧カリ：線形代数学）（発展科目）工学・情報系の基礎数理II（旧カリ：微分積分学II）、確率・統計

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	1変数関数の微分と積分について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
f	②	1変数関数の微分と積分に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する（最大3点）。 6) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 7) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがあります。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	数理科目との接続1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ベクトルの基礎について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。さらに、無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験。			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	定積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
28回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
29回	テーマ	数理科目との接続2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	加速度、速度および距離について数学的視点で学び、その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、「科目の学修到達度レポート」の提出、定期試験。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	前期の授業内容の総括			30
	内容	前期の授業内容の総括。	講義　演習		

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅰ②◎（1機宇）	開講学年	1	講義コード	1210102	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	藤城 謙一　徳永 憲治　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（徳永）、本館付属棟316（津曲)　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I
（連携科目）工学・情報系の数理I, II（旧カリ：線形代数学）（発展科目）工学・情報系の基礎数理II（旧カリ：微分積分学II）、確率・統計

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	1変数関数の微分と積分について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
f	②	1変数関数の微分と積分に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する（最大3点）。 6) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 7) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがあります。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	数理科目との接続1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ベクトルの基礎について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。さらに、無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験。			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	定積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
28回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
29回	テーマ	数理科目との接続2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	加速度、速度および距離について数学的視点で学び、その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、「科目の学修到達度レポート」の提出、定期試験。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	前期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	前期の授業内容の総括。			

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅰ③◎（1機宇）	開講学年	1	講義コード	1210103	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	藤城 謙一　徳永 憲治　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（徳永）、本館付属棟316（津曲)　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I
（連携科目）工学・情報系の数理I, II（旧カリ:線形代数学）（発展科目）工学・情報系の基礎数理II（旧カリ:微分積分学II）、確率・統計

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	1変数関数の微分と積分について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
f	②	1変数関数の微分と積分に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する（最大3点）。 6) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 7) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがあります。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	数理科目との接続1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ベクトルの基礎について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。さらに、無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験。			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	定積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
28回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
29回	テーマ	数理科目との接続2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	加速度、速度および距離について数学的視点で学び、その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、「科目の学修到達度レポート」の提出、定期試験。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	前期の授業内容の総括			30
	内容	前期の授業内容の総括。	講義　演習		

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅰ④◎（1機宇）	開講学年	1	講義コード	1210104	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	藤城 謙一　徳永 憲治　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（徳永）、本館付属棟316（津曲)　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I
（連携科目）工学・情報系の数理I, II（旧カリ:線形代数学）（発展科目）工学・情報系の基礎数理II（旧カリ:微分積分学II）、確率・統計

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	1変数関数の微分と積分について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
f	②	1変数関数の微分と積分に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する（最大3点）。 6) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 7) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがあります。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	数理科目との接続1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ベクトルの基礎について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。さらに、無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験。			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	定積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
28回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
29回	テーマ	数理科目との接続2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	加速度、速度および距離について数学的視点で学び、その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、「科目の学修到達度レポート」の提出、定期試験。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	前期の授業内容の総括			30
	内容	前期の授業内容の総括。	講義　演習		

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅰ①◎（1建情）	開講学年	1	講義コード	1210105	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	藤城 謙一　徳永 憲治　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（徳永）、本館付属棟316（津曲)　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I
（連携科目）工学・情報系の数理I, II（旧カリ:線形代数学）（発展科目）工学・情報系の基礎数理II（旧カリ:微分積分学II）、確率・統計

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	1変数関数の微分と積分について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
f	②	1変数関数の微分と積分に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する（最大3点）。 6) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 7) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがあります。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	数理科目との接続1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ベクトルの基礎について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。さらに、無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験。			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	定積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
28回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
29回	テーマ	数理科目との接続2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	加速度、速度および距離について数学的視点で学び、その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、「科目の学修到達度レポート」の提出、定期試験。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	前期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	前期の授業内容の総括。			

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅰ②◎（1建情）	開講学年	1	講義コード	1210106	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	藤城 謙一　徳永 憲治　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（徳永）、本館付属棟316（津曲)　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I
（連携科目）工学・情報系の数理I, II（旧カリ:線形代数学）（発展科目）工学・情報系の基礎数理II（旧カリ:微分積分学II）、確率・統計

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	1変数関数の微分と積分について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
f	②	1変数関数の微分と積分に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する（最大3点）。 6) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 7) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがあります。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	数理科目との接続1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ベクトルの基礎について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。さらに、無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験。			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	定積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
28回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
29回	テーマ	数理科目との接続2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	加速度、速度および距離について数学的視点で学び、その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、「科目の学修到達度レポート」の提出、定期試験。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	前期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	前期の授業内容の総括。			

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅰ③◎（1建情）	開講学年	1	講義コード	1210107	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	藤城 謙一　徳永 憲治　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（徳永）、本館付属棟316（津曲)　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I
（連携科目）工学・情報系の数理I, II（旧カリ：線形代数学）（発展科目）工学・情報系の基礎数理II（旧カリ：微分積分学II）、確率・統計

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	1変数関数の微分と積分について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
f	②	1変数関数の微分と積分に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する（最大3点）。 6) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 7) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがあります。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	数理科目との接続1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ベクトルの基礎について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。さらに、無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験。			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	定積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
28回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
29回	テーマ	数理科目との接続2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	加速度、速度および距離について数学的視点で学び、その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、「科目の学修到達度レポート」の提出、定期試験。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	前期の授業内容の総括			30
	内容	前期の授業内容の総括。	講義　演習		

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅰ④◎（1建情）	開講学年	1	講義コード	1210108	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	藤城 謙一　徳永 憲治　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（徳永）、本館付属棟316（津曲)　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I
（連携科目）工学・情報系の数理I, II（旧カリ：線形代数学）（発展科目）工学・情報系の基礎数理II（旧カリ：微分積分学II）、確率・統計

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	1変数関数の微分と積分について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
f	②	1変数関数の微分と積分に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する（最大3点）。 6) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 7) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがあります。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	数理科目との接続1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ベクトルの基礎について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。さらに、無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験。			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	定積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
28回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
29回	テーマ	数理科目との接続2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	加速度、速度および距離について数学的視点で学び、その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、「科目の学修到達度レポート」の提出、定期試験。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	前期の授業内容の総括			30
	内容	前期の授業内容の総括。	講義　演習		

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅰ⑤◎（1建情）	開講学年	1	講義コード	1210109	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	藤城 謙一　徳永 憲治　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（徳永）、本館付属棟316（津曲)　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I
（連携科目）工学・情報系の数理I, II（旧カリ：線形代数学）（発展科目）工学・情報系の基礎数理II（旧カリ：微分積分学II）、確率・統計

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	1変数関数の微分と積分について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
f	②	1変数関数の微分と積分に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する（最大3点）。 6) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 7) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがあります。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	数理科目との接続1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ベクトルの基礎について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。さらに、無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験。			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	定積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
28回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
29回	テーマ	数理科目との接続2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	加速度、速度および距離について数学的視点で学び、その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、「科目の学修到達度レポート」の提出、定期試験。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	前期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	前期の授業内容の総括。			

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ◎①（1ナ生物）	開講学年	1	講義コード	1210301	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　徳永 憲治　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（徳永）　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。 初回のオリエンテーションもしくは試験・レポート等を提示する授業回においてフィードバック方法を説明する。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I
（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：行列と行列式）
（発展科目）「バイオ・化学系の基礎数理II」（旧カリ：微分積分学II）、「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c,f	①	1変数関数の微分と積分について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c,f	②	1変数関数の微分と積分に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。 6) 「その他」として、各学科の学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する(最大3点)。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	関数の極限1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	専門科目との接続その1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の面積との関連について学び、その演習を行う。			
28回	テーマ	専門科目との接続その2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の応用事例および微分方程式について取り上げ、その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続その3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	微分方程式について学び、一般解が指数関数となる変数分離形の問題の演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成。	120
	内容	定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	前期の授業内容の総括		【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を提出。	30
	内容	前期の授業内容の総括としての演習と「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。	演習		

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ◎②（1ナ生物）	開講学年	1	講義コード	1210302	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　徳永 憲治　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（徳永）　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。 初回のオリエンテーションもしくは試験・レポート等を提示する授業回においてフィードバック方法を説明する。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I
（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：行列と行列式）
（発展科目）「バイオ・化学系の基礎数理II」（旧カリ：微分積分学II）、「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c,f	①	1変数関数の微分と積分について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c,f	②	1変数関数の微分と積分に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。 6) 「その他」として、各学科の学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する(最大3点)。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	関数の極限1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ 微分法の応用5 内容 曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
22回	テーマ 微分法の応用6 内容 関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
23回	テーマ 不定積分1 内容 不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
24回	テーマ 不定積分2 内容 関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
25回	テーマ 置換積分法 内容 積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
26回	テーマ 部分積分法 内容 部分積分法について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
27回	テーマ 専門科目との接続その1 内容 定積分の面積との関連について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
28回	テーマ 専門科目との接続その2 内容 微分積分学の応用事例および微分方程式について取り上げ、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
29回	テーマ 専門科目との接続その3 内容 微分方程式について学び、一般解が指数関数となる変数分離形の問題の演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
30回	テーマ 定期試験と講評 内容 定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成。	120

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	前期の授業内容の総括	演習	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を提出。	30
	内容	前期の授業内容の総括としての演習と「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。			

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ◎③（１ナ生物）	開講学年	1	講義コード	1210303	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　徳永 憲治　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（徳永）　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。 初回のオリエンテーションもしくは試験・レポート等を提示する授業回においてフィードバック方法を説明する。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I
（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：行列と行列式）
（発展科目）「バイオ・化学系の基礎数理II」（旧カリ：微分積分学II）、「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c,f	①	1変数関数の微分と積分について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c,f	②	1変数関数の微分と積分に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。 6) 「その他」として、各学科の学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する(最大3点)。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	関数の極限1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	微分法の応用5	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	微分法の応用6	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	不定積分1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	不定積分2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	部分積分法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	専門科目との接続その1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の面積との関連について学び、その演習を行う。			
28回	テーマ	専門科目との接続その2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の応用事例および微分方程式について取り上げ、その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続その3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	微分方程式について学び、一般解が指数関数となる変数分離形の問題の演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成。	120
	内容	定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	前期の授業内容の総括		【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を提出。	30
	内容	前期の授業内容の総括としての演習と「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。	演習		

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ◎④（1ナ生物）	開講学年	1	講義コード	1210304	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　徳永 憲治　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（徳永）　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。 初回のオリエンテーションもしくは試験・レポート等を提示する授業回においてフィードバック方法を説明する。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I
（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：行列と行列式）
（発展科目）「バイオ・化学系の基礎数理II」（旧カリ：微分積分学II）、「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c,f	①	1変数関数の微分と積分について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c,f	②	1変数関数の微分と積分に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。 6) 「その他」として、各学科の学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する(最大3点)。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	関数の極限1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ 内容	微分法の応用5 曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
22回	テーマ 内容	微分法の応用6 関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
23回	テーマ 内容	不定積分1 不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
24回	テーマ 内容	不定積分2 関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
25回	テーマ 内容	置換積分法 積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
26回	テーマ 内容	部分積分法 部分積分法について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
27回	テーマ 内容	専門科目との接続その1 定積分の面積との関連について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
28回	テーマ 内容	専門科目との接続その2 微分積分学の応用事例および微分方程式について取り上げ、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
29回	テーマ 内容	専門科目との接続その3 微分方程式について学び、一般解が指数関数となる変数分離形の問題の演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
30回	テーマ 内容	定期試験と講評 定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成。	120

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	前期の授業内容の総括		【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を提出。	30
	内容	前期の授業内容の総括としての演習と「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。	演習		

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ◎⑤（１ナ生物）	開講学年	1	講義コード	1210305	区分	必修
英文表記	Differential and Integral Calculus I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　徳永 憲治　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（徳永）　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	指数関数　対数関数　逆三角関数　微分法　　不定積分　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結します。前期の内容を理解した上で、後期も継続して受講することを望みます。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。 初回のオリエンテーションもしくは試験・レポート等を提示する授業回においてフィードバック方法を説明する。

関連科目

（基礎科目）高校における数学I
（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：行列と行列式）
（発展科目）「バイオ・化学系の基礎数理II」（旧カリ：微分積分学II）、「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：確率・統計）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c,f	①	1変数関数の微分と積分について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c,f	②	1変数関数の微分と積分に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	7	5	0	10	3	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。 6) 「その他」として、各学科の学科SALC演習への取り組みにより理解度を評価する(最大3点)。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、高校までの基本事項の整理1 指数関数 対数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	受講上の注意、高校で学習した指数関数・対数関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	高校までの基本事項の整理2 三角関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高校で学習した三角関数の基本事項を整理し、理解を深める。			
3回	テーマ	関数の極限1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極限とその性質について学び、その演習を行う。			
4回	テーマ	関数の極限2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	無限大、発散について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	連続な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の連続性、連続関数の性質について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	微分可能な関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分可能とその図形的な意味、微分可能と連続の関係について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	導関数1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	導関数の定義、微分法の基本公式(関数の定数倍、和、差の微分法)について学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	導関数2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分法の基本公式(関数の積、商の微分法)について学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	合成関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の意味とその微分法について学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	三角関数の極限値、三角関数の微分法について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	指数関数の微分法、対数関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	自然対数の底の定義、指数関数の微分法・対数関数の微分法について学び、その演習を行う。			
12回	テーマ	対数微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	対数微分法について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	逆関数の微分法、逆三角関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆関数の微分法、逆三角関数の定義および微分法について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	媒介変数表示された関数の微分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	媒介変数表示された関数とその微分法について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	高階導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	120
	内容	高階導関数について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
17回	テーマ	微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロルの定理、平均値の定理、コーシーの平均値の定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	ロピタルの定理について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	微分法の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の増減、増減表、関数の最大と最小について学び、その演習を行う。			
20回	テーマ	微分法の応用4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	関数の極値について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ 内容	微分法の応用5 曲線の凹凸とそのグラフの概形について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
22回	テーマ 内容	微分法の応用6 関数の展開(テイラーの定理、マクローリン展開)について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
23回	テーマ 内容	不定積分1 不定積分の意味、基本的な関数の不定積分について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
24回	テーマ 内容	不定積分2 関数の定数倍、和、差の積分法について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
25回	テーマ 内容	置換積分法 積分変数の変換公式を用いた計算を学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
26回	テーマ 内容	部分積分法 部分積分法について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
27回	テーマ 内容	専門科目との接続その1 定積分の面積との関連について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
28回	テーマ 内容	専門科目との接続その2 微分積分学の応用事例および微分方程式について取り上げ、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
29回	テーマ 内容	専門科目との接続その3 微分方程式について学び、一般解が指数関数となる変数分離形の問題の演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
30回	テーマ 内容	定期試験と講評 定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成。	120

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	前期の授業内容の総括		【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を提出。	30
	内容	前期の授業内容の総括としての演習と「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。	演習		

科目名	薬学基礎数学◎Ａ（１薬）	開講学年	1	講義コード	1210501	区分	必修
英文表記	Calculus for Pharmaceutical Sciences	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	1

担当教員	大嶋 康裕　日比野 剛士

研究室	本館307（大嶋）　本館306（日比野）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	yohshima@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	マクローリン展開　偏微分　極値　2重積分　　微分方程式　教養的知識　自己管理力

授業概要	薬学について学習・研究するみなさんにとって、数学は必要な基礎学力の一つです。なかでも微分積分学は、物理化学、薬物動態や統計学など専門授業の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する解析力を養うことも目的とします。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。

関連科目

（連携科目）物理化学I、薬物動態学I、薬物動態学II

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	1変数関数の微分積分、多変数関数の偏微分、重積分、微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
	②	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	10	15	10	0	5	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷、河合、田中　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 現象を解き明かす微分方程式の定式化と解法　森北出版　小中英嗣　978-4-627-06211-5

予備知識	高等学校における数学I、数学II。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。中間試験は薬学基礎数学演習の授業時間を使って実施する。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。実施形態として全学SALC演習（WebClassもしくはMicrosoft365利用）を利用することがある。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート（提出方法指定あり）を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題もノートにまとめておくこと。WebClass に掲載する解説を参考にすること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. オフィスアワーは次の通り。月曜日4時限（大嶋）、水曜日4時限（日比野）。また、別途開設時間帯と場所を通知する数学SALCにおいて相談することもできる。 4. キャンパス間移動の問題から授業担当教員への相談の時間（オフィスアワー）を活用できない場合は、図書館1階全学SALCでの質問対応の時間などを授業2回目までに案内する。 5. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	微分の計算	講義　演習	【第1回授業の予習】事前に高階導関数の単元まで定義を読み、例題を解いておくこと。【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習40／復習20
	内容	高校における既習事項の復習。			
2回	テーマ	微分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	ロピタルの定理、関数の増減			
3回	テーマ	微分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	1変数関数のマクローリン展開			
4回	テーマ	積分の計算1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習40／復習20
	内容	高校における既習事項の復習			
5回	テーマ	積分の計算2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	広義積分			
6回	テーマ	積分の応用	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	面積、体積、曲線の長さ			
7回	テーマ	偏微分の計算	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。試験範囲について、各単元の例題を振り返る。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	偏導関数、高階偏導関数、合成関数の偏導関数			
8回	テーマ	偏微分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	極値の判定法			
9回	テーマ	偏微分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	2変数関数のマクローリン展開			
10回	テーマ	2重積分の計算1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	定義と2重積分の計算			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2重積分の計算2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	極座標変換			
12回	テーマ	2重積分の応用	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	体積、曲面の面積、3重積分			
13回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	変数分離形、同次形			
14回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	1階の線形微分方程式			
15回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	2階の定数係数線形微分方程式			
16回	テーマ	定期試験と授業内容の総括	講義　演習	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成及び提出。	予習40／復習80
	内容	定期試験、前期の授業内容の総括			

科目名	薬学基礎数学◎Ｂ（１薬）	開講学年	1	講義コード	1210502	区分	必修
英文表記	Calculus for Pharmaceutical Sciences	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	1

担当教員	大嶋 康裕　日比野 剛士

研究室	本館307（大嶋）　本館306（日比野）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	yohshima@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	マクローリン展開　偏微分　極値　2重積分　　微分方程式　教養的知識　自己管理力

授業概要	薬学について学習・研究するみなさんにとって、数学は必要な基礎学力の一つです。なかでも微分積分学は、物理化学、薬物動態や統計学など専門授業の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する解析力を養うことも目的とします。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。

関連科目
（連携科目）物理化学I、薬物動態学I、薬物動態学II

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	1変数関数の微分積分、多変数関数の偏微分、重積分、微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
	②	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	10	15	10	0	5	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷、河合、田中　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 現象を解き明かす微分方程式の定式化と解法　森北出版　小中英嗣　978-4-627-06211-5

予備知識	高等学校における数学I、数学II。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。中間試験は薬学基礎数学演習の授業時間を使って実施する。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。実施形態として全学SALC演習（WebClassもしくはMicrosoft365利用）を利用することがある。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート（提出方法指定あり）を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題もノートにまとめておくこと。WebClass に掲載する解説を参考にすること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. オフィスアワーは次の通り。月曜日4時限（大嶋）、水曜日4時限（日比野）。また、別途開設時間帯と場所を通知する数学SALCにおいて相談することもできる。 4. キャンパス間移動の問題から授業担当教員への相談の時間（オフィスアワー）を活用できない場合は、図書館1階全学SALCでの質問対応の時間などを授業2回目までに案内する。 5. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	微分の計算	講義　演習	【第1回授業の予習】事前に高階導関数の単元まで定義を読み、例題を解いておくこと。【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習40／復習20
	内容	高校における既習事項の復習。			
2回	テーマ	微分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	ロピタルの定理、関数の増減			
3回	テーマ	微分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	1変数関数のマクローリン展開			
4回	テーマ	積分の計算1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習40／復習20
	内容	高校における既習事項の復習			
5回	テーマ	積分の計算2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	広義積分			
6回	テーマ	積分の応用	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	面積、体積、曲線の長さ			
7回	テーマ	偏微分の計算	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。試験範囲について、各単元の例題を振り返る。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	偏導関数、高階偏導関数、合成関数の偏導関数			
8回	テーマ	偏微分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	極値の判定法			
9回	テーマ	偏微分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	2変数関数のマクローリン展開			
10回	テーマ	2重積分の計算1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	定義と2重積分の計算			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2重積分の計算2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	極座標変換			
12回	テーマ	2重積分の応用	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	体積、曲面の面積、3重積分			
13回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	変数分離形、同次形			
14回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	1階の線形微分方程式			
15回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	2階の定数係数線形微分方程式			
16回	テーマ	定期試験と授業内容の総括	講義　演習	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成及び提出。	予習40／復習80
	内容	定期試験、前期の授業内容の総括			

科目名	薬学基礎数学演習◎Ａ（１薬）	開講学年	1	講義コード	1210601	区分	必修
英文表記	Calculus Recitation for Pharmaceutical Sciences	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	1

担当教員	大嶋 康裕　日比野 剛士

研究室	本館307（大嶋）　本館306（日比野）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	yohshima@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	マクローリン展開　偏微分　極値　2重積分　　微分方程式　教養的知識　自己管理力

授業概要	薬学について学習・研究するみなさんにとって、数学は必要な基礎学力の一つです。なかでも微分積分学は、物理化学、薬物動態や統計学など専門授業の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する解析力を養うことも目的とします。この授業では薬学基礎数学で学んだ単元の演習を行います。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。

関連科目
（連携科目）物理化学I、薬物動態学I、薬物動態学II

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	1変数関数の微分積分、多変数関数の偏微分、重積分、微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
	②	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	10	15	10	0	5	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷、河合、田中　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 現象を解き明かす微分方程式の定式化と解法　森北出版　小中英嗣　978-4-627-06211-5

予備知識	高等学校における数学I、数学II。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。中間試験は薬学基礎数学演習の授業時間を使って実施する。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。実施形態として全学SALC演習（WebClassもしくはMicrosoft365利用）を利用することがある。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート（提出方法指定あり）を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題もノートにまとめておくこと。WebClass に掲載する解説を参考にすること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. オフィスアワーは次の通り。月曜日4時限（大嶋）、水曜日4時限（日比野）。また、別途開設時間帯と場所を通知する数学SALCにおいて相談することもできる。 4. キャンパス間移動の問題から授業担当教員への相談の時間（オフィスアワー）を活用できない場合は、図書館1階全学SALCでの質問対応の時間などを授業2回目までに案内する。 5. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	微分の計算	講義　演習	【第1回授業の予習】事前に高階導関数の単元まで定義を読み、例題を解いておくこと。【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習40／復習20
	内容	高校における既習事項の復習。			
2回	テーマ	微分の応用1	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	ロピタルの定理、関数の増減			
3回	テーマ	微分の応用2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	1変数関数のマクローリン展開			
4回	テーマ	積分の計算1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習40／復習20
	内容	高校における既習事項の復習			
5回	テーマ	積分の計算2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	広義積分			
6回	テーマ	積分の応用	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	面積、体積、曲線の長さ			
7回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲について、各単元の例題を振り返る。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	中間試験と課題についての講評			
8回	テーマ	偏微分の応用1	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	極値の判定法			
9回	テーマ	偏微分の応用2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	2変数関数のマクローリン展開			
10回	テーマ	2重積分の計算1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	定義と2重積分の計算			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2重積分の計算2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	極座標変換			
12回	テーマ	2重積分の応用	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	体積、曲面の面積、3重積分			
13回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	変数分離形、同次形			
14回	テーマ	微分方程式2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	1階の線形微分方程式、2階の定数係数線形微分方程式			
15回	テーマ	微分方程式3	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	2階の定数係数線形微分方程式			
16回	テーマ	授業内容の総括	演習	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成及び提出。	90
	内容	授業内容の総括としての演習および「科目の学修到達度レポート」の作成及び提出			

科目名	薬学基礎数学演習◎Ｂ（１薬）	開講学年	1	講義コード	1210602	区分	必修
英文表記	Calculus Recitation for Pharmaceutical Sciences	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	1

担当教員	大嶋 康裕　日比野 剛士

研究室	本館307（大嶋）　本館306（日比野）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	yohshima@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	マクローリン展開　偏微分　極値　2重積分　　微分方程式　教養的知識　自己管理力

授業概要	薬学について学習・研究するみなさんにとって、数学は必要な基礎学力の一つです。なかでも微分積分学は、物理化学、薬物動態や統計学など専門授業の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する解析力を養うことも目的とします。この授業では薬学基礎数学で学んだ単元の演習を行います。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。

関連科目

（連携科目）物理化学I、薬物動態学I、薬物動態学II

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	1変数関数の微分積分、多変数関数の偏微分、重積分、微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
	②	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	10	15	10	0	5	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷、河合、田中　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 現象を解き明かす微分方程式の定式化と解法　森北出版　小中英嗣　978-4-627-06211-5

予備知識	高等学校における数学I、数学II。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。中間試験は薬学基礎数学演習の授業時間を使って実施する。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。実施形態として全学SALC演習（WebClassもしくはMicrosoft365利用）を利用することがある。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート（提出方法指定あり）を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題もノートにまとめておくこと。WebClass に掲載する解説を参考にすること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. オフィスアワーは次の通り。月曜日4時限（大嶋）、水曜日4時限（日比野）。また、別途開設時間帯と場所を通知する数学SALCにおいて相談することもできる。 4. キャンパス間移動の問題から授業担当教員への相談の時間（オフィスアワー）を活用できない場合は、図書館1階全学SALCでの質問対応の時間などを授業2回目までに案内する。 5. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	微分の計算	講義　演習	【第1回授業の予習】事前に高階導関数の単元まで定義を読み、例題を解いておくこと。【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習40／復習20
	内容	高校における既習事項の復習。			
2回	テーマ	微分の応用1	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	ロピタルの定理、関数の増減			
3回	テーマ	微分の応用2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	1変数関数のマクローリン展開			
4回	テーマ	積分の計算1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習40／復習20
	内容	高校における既習事項の復習			
5回	テーマ	積分の計算2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	広義積分			
6回	テーマ	積分の応用	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	面積、体積、曲線の長さ			
7回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲について、各単元の例題を振り返る。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	中間試験と課題についての講評			
8回	テーマ	偏微分の応用1	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	極値の判定法			
9回	テーマ	偏微分の応用2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	2変数関数のマクローリン展開			
10回	テーマ	2重積分の計算1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	定義と2重積分の計算			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2重積分の計算2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	極座標変換			
12回	テーマ	2重積分の応用	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	体積、曲面の面積、3重積分			
13回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	変数分離形、同次形			
14回	テーマ	微分方程式2	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	1階の線形微分方程式、2階の定数係数線形微分方程式			
15回	テーマ	微分方程式3	演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】次回の授業内容について事前に定義を読み、例題と練習問題を各単元2問程度解いておくこと。	予習20／復習40
	内容	2階の定数係数線形微分方程式			
16回	テーマ	授業内容の総括	演習	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成及び提出。	90
	内容	授業内容の総括としての演習および「科目の学修到達度レポート」の作成及び提出			

科目名	確率・統計（２建）	開講学年	2	講義コード	1210702	区分	選択
英文表記	Probability and Statistics	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	河合浩明
研究室	本館３階308
オフィスアワー	学生支援センターの学習支援時間割を確認してください。
メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	資料の整理　確率分布　推定　検定　　教養的知識　データリテラシー　自己管理力

授業概要

確率･統計学は自然科学,工学,農学,医学はもちろん社会科学･人文科学などあらゆる分野で応用されるとともに,より高度かつ広範な学問的発展を遂げている.その意味で,確率･統計の基礎を学ぶことはどの学問分野においても必須の素養であり,より専門的な確率･統計手法への手掛かりとなる.しかし,確率と統計を数理的に行うと,多くの学生諸君は大きな抵抗を覚えるようである.　そこで本講義は,実験データの解析等に資するように,統計学の見地を重視した初歩的内容とする.すなわち現代統計学はいわば「部分から全体を知ることができるか」という問に答えようとするものであるが,もちろんこの問には肯定的に回答される.いわゆる推測統計学（推定･検定）であるが,これを中心に考えたい（計算自体は四則演算程度）.ただ,推測統計を論理的に説明しようとすると確率の知識が不可欠となり,アプローチが長くなるところが教える側の悩みの種となる.対象学科によって確率の知識の必要性の有無は異なるであろうから,各学科の先生方および受講生諸君と対話しつつ学科により講義内容と構成を工夫したい．尚、試験･レポート（課題）等を実施した場合は、次回の授業中にフィードバックします。

関連科目

（基礎科目）工学･情報系の基礎数理I,II（旧カリ:微分積分学）、（連携科目）工学･情報系の数理I,II（旧カリ:線形代数）（発展科目）データ解析を要する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c，g	c，g

JABEE記号		学生の到達度目標
c，f，g	①	確率分布や統計的推定,統計的検定について,基本的な手法を理解できる。
c，f，g	②	確率分布や統計的推定,統計的検定について十分に理解し,与えられたデータの分析に適した手法を判断できる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

統計学の基礎　裳華房　栗栖 他　　4-7853-1525-3

参考書

予備知識	高校における数学A「場合の数・確率」、工学・情報系の基礎数理I,II（旧カリ：微分積分学）
実務経験のある教員	
評価明細基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート（課題）の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価し、成果発表に加味する。 4)ポートフォリオを作成して、自己評価する。 5) 図書館の科目に関係する図書についてのレポートを定期試験までに提出すれば、評価に加味する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強なので、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。理解できない箇所があれば授業時間前後に質問するか、学生支援センターにおいて学習指導員の指導を受けてください。また、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなします。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	序	講義		
	内容	講義の目的,全般的流れ			
2回	テーマ	確率変数	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	離散確率変数 連続確率変数			
3回	テーマ	確率分布1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	二項分布			
4回	テーマ	確率分布2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	正規分布			
5回	テーマ	確率分布3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ディー分布			
6回	テーマ	母集団と標本	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	中心極限定理			
7回	テーマ	推定1	講義　演習	【復習】中間試験のための勉強	200
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	中間試験 振り返り、講評			
9回	テーマ	推定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
10回	テーマ	推定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	検定1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	検定の手順			
12回	テーマ	検定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
13回	テーマ	検定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
14回	テーマ	検定4	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合 （注:1群のt検定と呼ばれる検定方法）			
15回	テーマ	検定5	講義　演習	【復習】定期試験のための勉強	200
	内容	等平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合 （注:2群の母平均の検定）			
16回	テーマ	定期試験と講評	講義	【予習】「学習到達度レポート」の作成	60
	内容	定期試験 振り返り、講評、「科目の学修到達度レポート」の提出			

科目名	工学・情報系の数理Ⅰ◎A（２機◎・２シス整）	開講学年	2	講義コード	1210801	区分	選必
英文表記	Linear Algebra I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	坂西 文俊（非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間前後の教室・非常勤講師室

メールアドレス	h0004079 @m.sojo-u.ac.jp

キーワード	ベクトル　内積･外積　逆行列　連立方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要

本学の数理基礎科目では,各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能･論理的思考力を養います。 本科目で学ぶ線形代数学は,理工学系の学科を専攻する学生にとって,工学･物理学･生物学･化学を学ぶ上で必要不可欠な数学の基礎分野です。その幅広い応用性から最近では社会科学や人文科学でも必要な知識として学ばれています。 数(データ)の組が大量にあるとき,それらをそのまま取り扱うのは効率的ではありません。適切な体系において,数の組をベクトルあるいは行列として取り扱えばその構造を捉えるだけでなく,その体系において種々の計算も可能となります。このような性質もあって,統計学や微分積分学,微分方程式とも関連が深い科目です。 工学･情報系の数理Iにおいては,高校で学んだベクトルの知識を復習しつつ,行列を導入し,その基本理論を体系的に学び,さらに,その応用について学習します。また,学習を通じて,様々な事柄について理論的･多面的に考察し,問題を解決する力を養うことも目的とします。 尚、試験･レポート(課題)等を実施した場合は、次回の授業中にフィードバックします。

関連科目

(連携科目)確率･統計,工学･情報系の基礎数理I(旧カリ:微分積分学I),工学･情報系の基礎数理II(旧カリ:微分積分学II) (発展科目)工学･情報系の数理II(旧カリ:線形代数学II),微分方程式,制御工学に関する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	ベクトル,行列と連立1次方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c, f	②	ベクトル,行列と連立1方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法(配点)

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

新線形代数 改訂版　大日本図書　井川治、碓氷久、金子真隆、高遠節夫、濵口直樹、前田善文、共著　978-4477033419

参考書

予備知識	高等学校における,数学Ⅰ
実務経験のある教員	
評価明細基準	1)中間試験および定期試験。 2)図書館の科目に関係する蔵書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポート(ポートフォリオ)を作成し,自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、授業時間前後やオフィスアワーの時間帯に授業担当者へ質問するか,図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトルの基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
2回	テーマ	ベクトルの応用 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
3回	テーマ	ベクトルの応用 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
4回	テーマ	ベクトルの内積	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの内積とその応用ついて学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
5回	テーマ	ベクトルの成分表示	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの成分表示とその応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
6回	テーマ	空間ベクトル 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	空間ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
7回	テーマ	空間ベクトル 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。 復習のみ	200
	内容	空間ベクトルの内積･成分表示について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	中間試験,講評,内容の振り返り			
9回	テーマ	行列の基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	行列の定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
10回	テーマ	行列の演算 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	行列の演算 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
12回	テーマ	行列と連立方程式 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	連立方程式の行列表示･行基本操作について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
13回	テーマ	行列と連立方程式 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	行列を用いての連立方程式の解法を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
14回	テーマ	逆行列1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	掃き出し法による逆行列の求め方を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
15回	テーマ	逆行列2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。 復習のみ	200
	内容	掃き出し法による逆行列の求め方を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
16回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】科目の学修到達度レポートの作成･提出	60
	内容	定期試験,講評,全内容の振り返り			

科目名	工学・情報系の数理Ⅰ◎B（２機◎・２シス整）	開講学年	2	講義コード	1210802	区分	選必
英文表記	Linear Algebra I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	甲斐 隆志（非常勤）						
研究室	本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間前後の教室・非常勤講師室				
メールアドレス	kai @kumamoto-pct.ac.jp						
キーワード	ベクトル　内積･外積　逆行列　連立方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力						

授業概要

本学の数理基礎科目では,各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能･論理的思考力を養います。 本科目で学ぶ線形代数学は,理工学系の学科を専攻する学生にとって,工学･物理学･生物学･化学を学ぶ上で必要不可欠な数学の基礎分野です。その幅広い応用性から最近では社会科学や人文科学でも必要な知識として学ばれています。 数(データ)の組が大量にあるとき,それらをそのまま取り扱うのは効率的ではありません。適切な体系において,数の組をベクトルあるいは行列として取り扱えばその構造を捉えるだけでなく,その体系において種々の計算も可能となります。このような性質もあって,統計学や微分積分学,微分方程式とも関連が深い科目です。 工学･情報系の数理Iにおいては,高校で学んだベクトルの知識を復習しつつ,行列を導入し,その基本理論を体系的に学び,さらに,その応用について学習します。また,学習を通じて,様々な事柄について理論的･多面的に考察し,問題を解決する力を養うことも目的とします。 尚、試験･レポート(課題)等を実施した場合は、次回の授業中にフィードバックします。

関連科目

(連携科目)確率･統計,工学･情報系の基礎数理I(旧カリ:微分積分学I),工学･情報系の基礎数理II(旧カリ:微分積分学II) (発展科目)工学･情報系の数理II(旧カリ:線形代数学II),微分方程式,制御工学に関する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2	
JABEE基準		c,f,g	c,f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	ベクトル,行列と連立1次方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c, f	②	ベクトル,行列と連立1方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法(配点)

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

新線形代数 改訂版　大日本図書　井川治、碓氷久、金子真隆、高遠節夫、濵口直樹、前田善文、共著　978-4477033419

参考書

予備知識	高等学校における,数学Ⅰ
実務経験のある教員	
評価明細基準	1)中間試験および定期試験。 2)図書館の科目に関係する蔵書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポート(ポートフォリオ)を作成し,自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、授業時間前後やオフィスアワーの時間帯に授業担当者へ質問するか,図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトルの基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
2回	テーマ	ベクトルの応用 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
3回	テーマ	ベクトルの応用 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
4回	テーマ	ベクトルの内積	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの内積とその応用ついて学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
5回	テーマ	ベクトルの成分表示	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの成分表示とその応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
6回	テーマ	空間ベクトル 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	空間ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
7回	テーマ	空間ベクトル 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。 復習のみ	200
	内容	空間ベクトルの内積･成分表示について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。復習と予習の割合2:1	60
	内容	中間試験,講評,内容の振り返り			
9回	テーマ	行列の基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	行列の定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
10回	テーマ	行列の演算 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	行列の演算 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
12回	テーマ	行列と連立方程式 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	連立方程式の行列表示･行基本操作について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
13回	テーマ	行列と連立方程式 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	行列を用いての連立方程式の解法を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
14回	テーマ	逆行列1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	掃き出し法による逆行列の求め方を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
15回	テーマ	逆行列2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。 復習のみ	200
	内容	掃き出し法による逆行列の求め方を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
16回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】科目の学修到達度レポートの作成･提出	60
	内容	定期試験,講評,全内容の振り返り			

科目名	工学・情報系の数理Ｉ◎Ａ（２建）	開講学年	2	講義コード	1210803	区分	選必
英文表記	Linear Algebra I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	藤城 謙一

研究室	本館付属棟315	オフィスアワー	学生支援センターの学習支援時間割を確認してください。

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	ベクトル　内積･外積　逆行列　連立方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	本学の数理基礎科目では,各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能･論理的思考力を養います。 本科目で学ぶ線形代数学は,理工学系の学科を専攻する学生にとって,工学･物理学･生物学･化学を学ぶ上で必要不可欠な数学の基礎分野です。その幅広い応用性から最近では社会科学や人文科学でも必要な知識として学ばれています。 数(データ)の組が大量にあるとき,それらをそのまま取り扱うのは効率的ではありません。適切な体系において,数の組をベクトルあるいは行列として取り扱えばその構造を捉えるだけでなく,その体系において種々の計算も可能となります。このような性質もあって,統計学や微分積分学,微分方程式とも関連が深い科目です。 工学･情報系の数理Iにおいては,高校で学んだベクトルの知識を復習しつつ,行列を導入し,その基本理論を体系的に学び,さらに,その応用について学習します。また,学習を通じて,様々な事柄について理論的･多面的に考察し,問題を解決する力を養うことも目的とします。 試験･レポート(課題)等を実施した場合は,次回の授業中にフィードバックします。

関連科目
(連携科目)確率･統計,工学･情報系の基礎数理I(旧カリ:微分積分学I),工学･情報系の基礎数理II(旧カリ:微分積分学II) (発展科目)工学･情報系の数理III(旧カリ:線形代数学II),微分方程式,制御工学に関する科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	ベクトル,行列と連立1次方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c, f	②	ベクトル,行列と連立1次方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書	新版数学シリーズ 新版線形代数 改訂版　実教出版　岡本和夫･他　　978-4-407-34948-1

参考書	新版数学シリーズ 新版線形代数演習 改訂版　実教出版　岡本和夫･他　978-4-407-34949-8

予備知識	高等学校における,数学Ⅰ
実務経験のある教員	
評価明細基準	1)中間試験および定期試験。 2)図書館の科目に関係する蔵書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポート(ポートフォリオ)を作成し、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、授業時間前後やオフィスアワーの時間帯に授業担当者へ質問するか,図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトルの基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
	内容	ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
2回	テーマ	ベクトルの応用 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
3回	テーマ	ベクトルの応用 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
4回	テーマ	ベクトルの内積	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
	内容	ベクトルの内積とその応用ついて学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
5回	テーマ	ベクトルの成分表示	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
	内容	ベクトルの成分表示とその応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
6回	テーマ	空間ベクトル 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
	内容	空間ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
7回	テーマ	空間ベクトル 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
	内容	空間ベクトルの内積･成分表示について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
	内容	中間試験,講評,内容の振り返り			
9回	テーマ	行列の基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
	内容	行列の定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
10回	テーマ	行列の演算 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	行列の演算 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
12回	テーマ	行列と連立方程式 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
	内容	連立方程式の行列表示・行基本操作について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
13回	テーマ	行列と連立方程式 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
	内容	行列を用いての連立方程式の解法を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
14回	テーマ	逆行列 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
	内容	掃き出し法による逆行列の求め方を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
15回	テーマ	逆行列 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
	内容	掃き出し法による逆行列の求め方を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
16回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】科目の学修到達度レポートの作成・提出	60
	内容	定期試験,講評,全内容の振り返り			

科目名	工学・情報系の数理Ⅰ◎B（２建）	開講学年	2	講義コード	1210804	区分	必修
英文表記	Linear Algebra I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	岡 智典（非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間前後の教室・非常勤講師室

メールアドレス	tomonori-oka @kumadai.jp

キーワード	ベクトル　内積･外積　逆行列　連立方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	本学の数理基礎科目では,各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能･論理的思考力を養います。 本科目で学ぶ線形代数学は,理工学系の学科を専攻する学生にとって,工学･物理学･生物学･化学を学ぶ上で必要不可欠な数学の基礎分野です。その幅広い応用性から最近では社会科学や人文科学でも必要な知識として学ばれています。 数(データ)の組が大量にあるとき,それらをそのまま取り扱うのは効率的ではありません。適切な体系において,数の組をベクトルあるいは行列として取り扱えばその構造を捉えるだけでなく,その体系において種々の計算も可能となります。このような性質もあって,統計学や微分積分学,微分方程式とも関連が深い科目です。 工学･情報系の数理Iにおいては,高校で学んだベクトルの知識を復習しつつ,行列を導入し,その基本理論を体系的に学び,さらに,その応用について学習します。また,学習を通じて,様々な事柄について理論的･多面的に考察し,問題を解決する力を養うことも目的とします。 尚、試験･レポート(課題)等を実施した場合は、次回の授業中にフィードバックします。

関連科目
(連携科目)確率･統計,工学･情報系の基礎数理I(旧カリ:微分積分学I),工学･情報系の基礎数理II(旧カリ:微分積分学II) (発展科目)工学･情報系の数理II(旧カリ:線形代数学II),微分方程式,制御工学に関する科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	ベクトル,行列と連立1次方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c, f	②	ベクトル,行列と連立1方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書	新線形代数 改訂版　大日本図書　井川治、碓氷久、金子真隆、高遠節夫、濵口直樹、前田善文、共著　　978-4477033419

参考書	

予備知識	高等学校における,数学Ⅰ
実務経験のある教員	
評価明細基準	1)中間試験および定期試験。 2)図書館の科目に関係する蔵書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポート(ポートフォリオ)を作成し,自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、授業時間前後やオフィスアワーの時間帯に授業担当者へ質問するか,図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトルの基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
2回	テーマ	ベクトルの応用 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
3回	テーマ	ベクトルの応用 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
4回	テーマ	ベクトルの内積	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの内積とその応用ついて学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
5回	テーマ	ベクトルの成分表示	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの成分表示とその応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
6回	テーマ	空間ベクトル 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	空間ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
7回	テーマ	空間ベクトル 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。 復習のみ	200
	内容	空間ベクトルの内積･成分表示について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく.。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	中間試験,講評,内容の振り返り			
9回	テーマ	行列の基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	行列の定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
10回	テーマ	行列の演算 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	行列の演算 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
12回	テーマ	行列と連立方程式 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	連立方程式の行列表示・行基本操作について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
13回	テーマ	行列と連立方程式 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	行列を用いての連立方程式の解法を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
14回	テーマ	逆行列1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	掃き出し法による逆行列の求め方を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
15回	テーマ	逆行列2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。 復習のみ	200
	内容	掃き出し法による逆行列の求め方を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
16回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】科目の学修到達度レポートの作成・提出	60
	内容	定期試験,講評,全内容の振り返り			

科目名	工学・情報系の数理ＩＡ（２情）	開講学年	2	講義コード	1210805	区分	選必
英文表記	Linear Algebra I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	坂西 文俊（非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間前後の教室・非常勤講師室

メールアドレス	h0004079 @m.sojo-u.ac.jp

キーワード	ベクトル　内積･外積　逆行列　連立方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要

本学の数理基礎科目では,各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能･論理的思考力を養います。 本科目で学ぶ線形代数学は,理工学系の学科を専攻する学生にとって,工学･物理学･生物学･化学を学ぶ上で必要不可欠な数学の基礎分野です。その幅広い応用性から最近では社会科学や人文科学でも必要な知識として学ばれています。 数(データ)の組が大量にあるとき,それらをそのまま取り扱うのは効率的ではありません。適切な体系において,数の組をベクトルあるいは行列として取り扱えばその構造を捉えるだけでなく,その体系において種々の計算も可能となります。このような性質もあって,統計学や微分積分学,微分方程式とも関連が深い科目です。 工学･情報系の数理Iにおいては,高校で学んだベクトルの知識を復習しつつ,行列を導入し,その基本理論を体系的に学び,さらに,その応用について学習します。また,学習を通じて,様々な事柄について理論的･多面的に考察し,問題を解決する力を養うことも目的とします。 尚、試験･レポート(課題)等を実施した場合は、次回の授業中にフィードバックします。

関連科目

(連携科目)確率･統計,工学･情報系の基礎数理I(旧カリ:微分積分学I),工学･情報系の基礎数理II(旧カリ:微分積分学II) (発展科目)工学･情報系の数理II(旧カリ:線形代数学II),微分方程式,制御工学に関する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	ベクトル,行列と連立1次方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c, f	②	ベクトル,行列と連立1方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

新線形代数 改訂版　大日本図書　井川治、碓氷久、金子真隆、高遠節夫、濵口直樹、前田善文、共著　978-4477033419

参考書

予備知識	高等学校における,数学Ⅰ
実務経験のある教員	
評価明細基準	1)中間試験および定期試験。 2)図書館の科目に関係する蔵書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポート(ポートフォリオ)を作成し,自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、授業時間前後やオフィスアワーの時間帯に授業担当者へ質問するか,図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトルの基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
2回	テーマ	ベクトルの応用 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
3回	テーマ	ベクトルの応用 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
4回	テーマ	ベクトルの内積	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの内積とその応用ついて学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
5回	テーマ	ベクトルの成分表示	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの成分表示とその応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
6回	テーマ	空間ベクトル 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	空間ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
7回	テーマ	空間ベクトル 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。 復習のみ	200
	内容	空間ベクトルの内積･成分表示について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	中間試験,講評,内容の振り返り			
9回	テーマ	行列の基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	行列の定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
10回	テーマ	行列の演算 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	行列の演算 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
12回	テーマ	行列と連立方程式 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	連立方程式の行列表示・行基本操作について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
13回	テーマ	行列と連立方程式 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	行列を用いての連立方程式の解法を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
14回	テーマ	逆行列1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習:予習の割合2:1	60
	内容	掃き出し法による逆行列の求め方を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
15回	テーマ	逆行列2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。 復習のみ	200
	内容	掃き出し法による逆行列の求め方を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
16回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】科目の学修到達度レポートの作成・提出	60
	内容	定期試験,講評,全内容の振り返り			

科目名	工学・情報系の数理ＩＢ（２情）	開講学年	2	講義コード	1210806	区分	選必
英文表記	Linear Algebra I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	甲斐 隆志（非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間前後の教室・非常勤講師室

メールアドレス	kai @kumamoto-pct.ac.jp

キーワード	ベクトル　内積･外積　逆行列　連立方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要

本学の数理基礎科目では,各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能･論理的思考力を養います。 本科目で学ぶ線形代数学は,理工学系の学科を専攻する学生にとって,工学･物理学･生物学･化学を学ぶ上で必要不可欠な数学の基礎分野です。その幅広い応用性から最近では社会科学や人文科学でも必要な知識として学ばれています。 数(データ)の組が大量にあるとき,それらをそのまま取り扱うのは効率的ではありません。適切な体系において,数の組をベクトルあるいは行列として取り扱えばその構造を捉えるだけでなく,その体系において種々の計算も可能となります。このような性質もあって,統計学や微分積分学,微分方程式とも関連が深い科目です。 工学･情報系の数理Iにおいては,高校で学んだベクトルの知識を復習しつつ,行列を導入し,その基本理論を体系的に学び,さらに,その応用について学習します。また,学習を通じて,様々な事柄について理論的･多面的に考察し,問題を解決する力を養うことも目的とします。 尚、試験･レポート(課題)等を実施した場合は、次回の授業中にフィードバックします。

関連科目

(連携科目)確率･統計,工学･情報系の基礎数理I(旧カリ:微分積分学I),工学･情報系の基礎数理II(旧カリ:微分積分学II) (発展科目)工学･情報系の数理II(旧カリ:線形代数学II),微分方程式,制御工学に関する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	ベクトル,行列と連立1次方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c, f	②	ベクトル,行列と連立1方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

新線形代数 改訂版　大日本図書　井川治、碓氷久、金子真隆、高遠節夫、濵口直樹、前田善文、共著　978-4477033419

参考書

予備知識	高等学校における,数学Ⅰ
実務経験のある教員	
評価明細基準	1)中間試験および定期試験。 2)図書館の科目に関係する蔵書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポート(ポートフォリオ)を作成し,自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、授業時間前後やオフィスアワーの時間帯に授業担当者へ質問するか,図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトルの基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
2回	テーマ	ベクトルの応用 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
3回	テーマ	ベクトルの応用 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの平面幾何への応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
4回	テーマ	ベクトルの内積	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの内積とその応用ついて学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
5回	テーマ	ベクトルの成分表示	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ベクトルの成分表示とその応用について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
6回	テーマ	空間ベクトル 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	空間ベクトルの定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
7回	テーマ	空間ベクトル 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。 復習のみ	200
	内容	空間ベクトルの内積･成分表示について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。復習と予習の割合2:1	60
	内容	中間試験,講評,内容の振り返り			
9回	テーマ	行列の基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	行列の定義とその演算について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
10回	テーマ	行列の演算 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	行列の演算 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	演算の法則,数の演算との相違点について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
12回	テーマ	行列と連立方程式 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	連立方程式の行列表示･行基本操作について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
13回	テーマ	行列と連立方程式 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	行列を用いての連立方程式の解法を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
14回	テーマ	逆行列1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	掃き出し法による逆行列の求め方を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
15回	テーマ	逆行列2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。 復習のみ	200
	内容	掃き出し法による逆行列の求め方を学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
16回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】科目の学修到達度レポートの作成･提出	60
	内容	定期試験,講評,全内容の振り返り			

科目名	バイオ・化学系の数理ＩＡ（２ナ生物）	開講学年	2	講義コード	1211101	区分	選択
英文表記	Probability and Statistics	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	藤城 謙一

研究室	本館付属棟315	オフィスアワー	学生支援センターの学習支援時間割を確認してください。

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	資料の整理　確率分布　推定　検定　　教養的知識　データリテラシー　自己管理力

授業概要	バイオ･化学系の数理Ｉで学ぶ確率･統計学は,自然科学,工学,農学,医学はもちろん社会科学･人文科学などあらゆる分野で応用されるとともに,より高度かつ広範な学問的発展を遂げている。その意味で,確率･統計の基礎を学ぶことはどの学問分野においても必須の素養であり,より専門的な確率･統計手法への手掛かりとなる。しかし,確率と統計を数理的に行うと,多くの学生諸君は大きな抵抗を覚えるようである。 そこで本講義は,実験データの解析等に資するように,統計学の見地を重視した初歩的内容とする。すなわち現代統計学はいわば「部分から全体を知ることができるか」という問に答えようとするものであるが,もちろんこの問には肯定的に回答される。いわゆる推測統計学（推定･検定）であるが,これを中心に考えたい（計算自体は四則演算程度）。ただ,推測統計を論理的に説明しようとすると確率の知識が不可欠となり,アプローチが長くなるところが教える側の悩みの種となる。対象学科によって確率の知識の必要性の有無は異なるであろうから,各学科の先生方および受講生諸君と対話しつつ学科により講義内容と構成を工夫したい。 試験･レポート（課題）等を実施した場合は,次回の授業中にフィードバックする。

関連科目

（基礎科目）バイオ･化学系の基礎数理I,II（旧カリ:微分積分学）（連携科目）バイオ･化学系の数理II（旧カリ:行列と行列式）（発展科目）データ解析を要する科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c，g	c，g

JABEE記号		学生の到達度目標
c，f，g	①	確率分布や統計的推定,統計的検定について,基本的な概念と手法を理解できる。
c，f，g	②	確率分布や統計的推定,統計的検定について十分に理解し,与えられたデータの分析に適した手法を判断できる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書	新確率統計　大日本図書　新井 他　　978-4-477-02686-2

参考書	新確率統計問題集　大日本図書　新井 他　978-4-477-02688-6

予備知識	高校における数学A「場合の数･確率」,バイオ･化学系の基礎数理I,II(旧カリ:微分積分学)
実務経験のある教員	
評価明細基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート(課題)の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況および学科SALCの解答状況により理解度を評価する。 4)ポートフォリオを作成して,自己評価する。 5) 図書館の科目に関係する図書についてのレポートを提出すれば,評価に加味する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強なので,常に復習し,確実に理解を深めておくこと。理解できない箇所があれば授業時間前後に質問するか,学生支援センターにおいて学習指導員の指導を受けてください。また,レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は,不正行為とみなします。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	序	講義		
	内容	講義の目的,全般的流れ			
2回	テーマ	確率変数	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	離散確率変数 連続確率変数			
3回	テーマ	確率分布1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	二項分布			
4回	テーマ	確率分布2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	正規分布			
5回	テーマ	確率分布3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	ディー分布			
6回	テーマ	母集団と標本	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	中心極限定理			
7回	テーマ	推定1	講義　演習	【復習】中間試験のための勉強	120
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	中間試験 振り返り、講評			
9回	テーマ	推定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
10回	テーマ	推定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	検定1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	検定の手順			
12回	テーマ	検定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
13回	テーマ	検定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
14回	テーマ	検定4	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合 （注:1群のt検定と呼ばれる検定方法）			
15回	テーマ	検定5	講義　演習	【復習】定期試験のための勉強 【予習】「学習到達度レポート」の作成 復習と予習の時間は2:1を目安とする	120
	内容	等平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合 （注:2群の母平均の検定）			
16回	テーマ	定期試験と講評まとめ	講義	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	60
	内容	定期試験 振り返り、講評、授業内容の総括 講義			

科目名	バイオ・化学系の数理ＩＢ（２ナ生物）	開講学年	2	講義コード	1211102	区分	選択
英文表記	Probability and Statistics	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	甲斐 隆志（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間前後の教室・非常勤講師室

メールアドレス	kai@kumamoto-pct.ac.jp

キーワード	資料の整理　確率分布　推定　検定　　教養的知識　データリテラシー　自己管理力

授業概要

バイオ･化学系の数理Ｉで学ぶ確率･統計学は,自然科学,工学,農学,医学はもちろん社会科学･人文科学などあらゆる分野で応用されるとともに,より高度かつ広範な学問的発展を遂げている.その意味で,確率･統計の基礎を学ぶことはどの学問分野においても必須の素養であり,より専門的な確率･統計手法への手掛かりとなる.しかし,確率と統計を数理的に行うと,多くの学生諸君は大きな抵抗を覚えるようである.　そこで本講義は,実験データの解析等に資するように,統計学の見地を重視した初歩的内容とする.すなわち現代統計学はいわば「部分から全体を知ることができるか」という問に答えようとするものであるが,もちろんこの問には肯定的に回答される.いわゆる推測統計学（推定･検定）であるが,これを中心に考えたい（計算自体は四則演算程度）.ただ,推測統計を論理的に説明しようとすると確率の知識が不可欠となり,アプローチが長くなるところが教える側の悩みの種となる.対象学科によって確率の知識の必要性の有無は異なるであろうから,各学科の先生方および受講生諸君と対話しつつ学科により講義内容と構成を工夫したい．尚、試験･レポート（課題）等を実施した場合は、次回の授業中にフィードバックします.

関連科目

（基礎科目）工学･情報系の基礎数理I,II（旧カリ:微分積分学）（連携科目）工学･情報系の数理I,II（旧カリ:線形代数）（発展科目）データ解析を要する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c，g	c，g

JABEE記号		学生の到達度目標
c，f，g	①	確率分布や統計的推定,統計的検定について,基本的な手法を理解できる。
c，f，g	②	確率分布や統計的推定,統計的検定について十分に理解し,与えられたデータの分析に適した手法を判断できる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

新確率統計 改訂版　大日本図書　新井 他　　978-4477034256

参考書

新確率統計 改訂版 問題集　大日本図書　新井 他　978-4-477-03426-3

予備知識	高校における数学A「場合の数・確率」、基礎数理I,II（旧カリ：微分積分学）
実務経験のある教員	
評価明細基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート（課題）の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況および学科SALCの解答状況により理解度を評価する。 4)ポートフォリオを作成して、自己評価する。 5) 図書館の科目に関係する図書についてのレポートを定期試験までに提出すれば、評価に加味する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強なので、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。理解できない箇所があれば授業時間前後に質問するか、学生支援センターにおいて学習指導員の指導を受けてください。また、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなします。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	序	講義		
	内容	講義の目的,全般的流れ			
2回	テーマ	確率変数	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	離散確率変数 連続確率変数			
3回	テーマ	確率分布1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	二項分布			
4回	テーマ	確率分布2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	正規分布			
5回	テーマ	確率分布3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ディー分布			
6回	テーマ	母集団と標本	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	中心極限定理			
7回	テーマ	推定1	講義　演習	【復習】中間試験のための勉強	200
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	中間試験 振り返り、講評			
9回	テーマ	推定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
10回	テーマ	推定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	検定1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	検定の手順			
12回	テーマ	検定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
13回	テーマ	検定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
14回	テーマ	検定4	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合 （注:1群のt検定と呼ばれる検定方法）			
15回	テーマ	検定5	講義　演習	【復習】定期試験のための勉強	200
	内容	等平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合 （注:2群の母平均の検定）			
16回	テーマ	定期試験と講評まとめ	講義	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	60
	内容	定期試験 振り返り、講評、授業内容の総括 講義			

科目名	バイオ・化学系の数理ＩC（２ナ生物）	開講学年	2	講義コード	1211103	区分	選択
英文表記	Probability and Statistics	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	河合浩明

研究室	本館３階308	オフィスアワー	学生支援センターの学習支援時間割を確認してください。

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	資料の整理　確率分布　推定　検定　　教養的知識　データリテラシー　自己管理力

授業概要	バイオ･化学系の数理Ｉで学ぶ確率･統計学は,自然科学,工学,農学,医学はもちろん社会科学･人文科学などあらゆる分野で応用されるとともに,より高度かつ広範な学問的発展を遂げている.その意味で,確率･統計の基礎を学ぶことはどの学問分野においても必須の素養であり,より専門的な確率･統計手法への手掛かりとなる.しかし,確率と統計を数理的に行うと,多くの学生諸君は大きな抵抗を覚えるようである.　そこで本講義は,実験データの解析等に資するように,統計学の見地を重視した初歩的内容とする.すなわち現代統計学はいわば「部分から全体を知ることができるか」という問に答えようとするものであるが,もちろんこの問には肯定的に回答される.いわゆる推測統計学（推定･検定）であるが,これを中心に考えたい（計算自体は四則演算程度）.ただ,推測統計を論理的に説明しようとすると確率の知識が不可欠となり,アプローチが長くなるところが教える側の悩みの種となる.対象学科によって確率の知識の必要性の有無は異なるであろうから,各学科の先生方および受講生諸君と対話しつつ学科により講義内容と構成を工夫したい．尚、試験･レポート（課題）等を実施した場合は、次回の授業中にフィードバックします.

関連科目

（基礎科目）バイオ･化学系の基礎数理I,II（旧カリ:微分積分学）（連携科目）バイオ･化学系の数理II（旧カリ:行列と行列式）（発展科目）データ解析を要する科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c，g	c，g

JABEE記号		学生の到達度目標
c，f，g	①	確率分布や統計的推定,統計的検定について,基本的な手法を理解できる。
c，f，g	②	確率分布や統計的推定,統計的検定について十分に理解し,与えられたデータの分析に適した手法を判断できる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書	統計学の基礎　裳華房　栗栖 他　　4-7853-1525-3

参考書	

予備知識	高校における数学A「場合の数・確率」、バイオ・化学系の基礎数理I,II（旧カリ：微分積分学）
実務経験のある教員	
評価明細基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート（課題）の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況および学科SALCの解答状況により理解度を評価する。 4)ポートフォリオを作成して、自己評価する。 5) 図書館の科目に関係する図書についてのレポートを定期試験までに提出すれば、評価に加味する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強なので、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。理解できない箇所があれば授業時間前後に質問するか、学生支援センターにおいて学習指導員の指導を受けてください。また、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなします。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	序	講義		
	内容	講義の目的,全般的流れ			
2回	テーマ	確率変数	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	離散確率変数 連続確率変数			
3回	テーマ	確率分布1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	二項分布			
4回	テーマ	確率分布2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	正規分布			
5回	テーマ	確率分布3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ディー分布			
6回	テーマ	母集団と標本	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	中心極限定理			
7回	テーマ	推定1	講義　演習	【復習】中間試験のための勉強	200
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	中間試験 振り返り、講評			
9回	テーマ	推定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
10回	テーマ	推定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合			

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 検定1 内容 検定の手順	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
12回	テーマ 検定2 内容 母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
13回	テーマ 検定3 内容 母平均の検定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
14回	テーマ 検定4 内容 母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合（注:1群のt検定と呼ばれる検定方法）	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
15回	テーマ 検定5 内容 等平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合（注:2群の母平均の検定）	講義　演習	【復習】定期試験のための勉強	200
16回	テーマ 定期試験と講評 内容 定期試験 振り返り、講評、「科目の学修到達度レポート」の提出	講義	【予習】「学習到達度レポート」の作成	60

科目名	基礎物理学◎①（１機）	開講学年	1	講義コード	1220101	区分	必修
英文表記	fundamental physics	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	町田光男（非常勤）　板橋克美						
研究室	本館1階 非常勤講師室(町田光男)　F801(板橋克美)			オフィスアワー	町田：授業終了後、板橋：木曜4時限		
メールアドレス	machida@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	力　速度と加速度　運動の法則　運動方程式　　具体的な運動　教養的知識　数理スキル						

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に機械工学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 前半では、物理量の単位、数値の表し方と計算法、必要な数学を学んだ後、力とベクトルの概念、物理量のベクトル表現、力の合成と分解、力のつり合いについて学び、続いて位置と速度、速さと速度の関係、速度の合成、速度と加速度の関係を学び、力の概念や運動の法則を理解し、簡単な運動を数式で表示できるようにする。 後半では、身の回りの簡単な運動を与えられた条件のもとで解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。まず、等速度運動と等加速度運動における位置、速度、加速度を運動方程式から求め、それらの関係について学ぶ。また、運動量保存則と力積について学ぶ。さらに、具体的な運動として、自由落下、鉛直投げ上げ、鉛直投げ下げなどの1次元の運動の解法と、水平投射、斜方投射などの2次元の運動の解法について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目

1.物理学 2.物理学実験 3.工学・情報系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.工業力学Ⅰ・Ⅱ 5.自動車力学など多くの科目に関係する。

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	力のつり合いを理解し、位置（変位）、速度、加速度について微分積分を用いて理解することができる。
c	②	具体的な運動（衝突を含む）について、運動の法則や保存則を用いて解くことができる。
c, g	③	様々な物理的現象について、物理量の関係をグラフや数式、図等で表すことができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 ※テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題（演習問題等）を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	物理学を学ぶにあたって	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (1章 物理量の単位と次元)。	60
	内容	物理量の単位、数値の表し方と計算法について学ぶ。	講義　演習		
2回	テーマ	ベクトル	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1 ,2.2,2.3)。	60
	内容	力学に必要な力とベクトルの概念、物理量(位置、力)のベクトル表現について学ぶ	講義　演習		
3回	テーマ	力の合成と分解	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.2)。	60
	内容	力の合成、力の分解について学ぶ	講義　演習		
4回	テーマ	力のつりあい	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.3)。	60
	内容	さまざまな場合に対する力のつり合いについて学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	速度と加速度Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4 位置、速度、加速度)。	60
	内容	位置(変位)と速度、速さと速度の関係について学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	速度と加速度Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.5 位置、速度、加速度の関係)。	60
	内容	速度の合成、速度と加速度の関係について学ぶ。	講義　演習		
7回	テーマ	運動の法則Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第1法則(慣性の法則)について学ぶ。	講義　演習		
8回	テーマ	運動の法則Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第2法則(運動の法則)について学ぶ。	講義　演習		
9回	テーマ	運動の法則Ⅲ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第3法則(作用反作用の法則)について学ぶ。	講義　演習		
10回	テーマ	中間試験	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.~9.までの学習到達度の評価。	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	等速度運動と等加速度運動	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)	60
	内容	等速度運動と等加速度運動における位置、速度、加速度を運動方程式から求め、それらの関係について学ぶ。			
12回	テーマ	運動量と力積	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.3,3.4 運動量と力積)。	60
	内容	運動量保存則と力積について学ぶ。			
13回	テーマ	具体的な運動Ⅰ	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	自由落下、鉛直投げ上げ、鉛直投げ下げなどの1次元の運動の解法（運動方程式と初期条件）について学ぶ。			
14回	テーマ	具体的な運動Ⅱ	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	水平投射、斜方投射などの2次元の運動の解法（運動方程式と初期条件）について学ぶ。			
15回	テーマ	中間試験	対面 試験　講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	後半の到達度を確認する。			
16回	テーマ	総括	対面 講義　演習	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること 「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	総評、試験の返却と解説			

科目名	基礎物理学◎②（１機）	開講学年	1	講義コード	1220102	区分	必修
英文表記	fundamental physics	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	町田光男（非常勤）　板橋克美						
研究室	本館1階 非常勤講師室(町田光男)　F801(板橋克美)			オフィスアワー	町田：授業終了後、板橋：木曜4時限		
メールアドレス	machida@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	力　速度と加速度　運動の法則　運動方程式　　具体的な運動　教養的知識　数理スキル						

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に機械工学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 前半では、物理量の単位、数値の表し方と計算法、必要な数学を学んだ後、力とベクトルの概念、物理量のベクトル表現、力の合成と分解、力のつり合いについて学び、続いて位置と速度、速さと速度の関係、速度の合成、速度と加速度の関係を学び、力の概念や運動の法則を理解し、簡単な運動を数式で表示できるようにする。 後半では、身の回りの簡単な運動を与えられた条件のもとで解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。まず、等速度運動と等加速度運動における位置、速度、加速度を運動方程式から求め、それらの関係について学ぶ。また、運動量保存則と力積について学ぶ。さらに、具体的な運動として、自由落下、鉛直投げ上げ、鉛直投げ下げなどの1次元の運動の解法と、水平投射、斜方投射などの2次元の運動の解法について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目

1.物理学 2.物理学実験 3.工学・情報系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.工業力学Ⅰ・Ⅱ 5.自動車力学など多くの科目に関係する。

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	力のつり合いを理解し、位置（変位）、速度、加速度について微分積分を用いて理解することができる。
c	②	具体的な運動（衝突を含む）について、運動の法則や保存則を用いて解くことができる。
c, g	③	様々な物理的現象について、物理量の関係をグラフや数式、図等で表すことができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 ※テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題（演習問題等）を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	物理学を学ぶにあたって	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (1章 物理量の単位と次元)。	60
	内容	物理量の単位、数値の表し方と計算法について学ぶ。	講義　演習		
2回	テーマ	ベクトル	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1 ,2.2,2.3)。	60
	内容	力学に必要な力とベクトルの概念、物理量(位置、力)のベクトル表現について学ぶ	講義　演習		
3回	テーマ	力の合成と分解	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.2)。	60
	内容	力の合成、力の分解について学ぶ	講義　演習		
4回	テーマ	力のつりあい	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.3)。	60
	内容	さまざまな場合に対する力のつり合いについて学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	速度と加速度Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4 位置、速度、加速度)。	60
	内容	位置(変位)と速度、速さと速度の関係について学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	速度と加速度Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.5 位置、速度、加速度の関係)。	60
	内容	速度の合成、速度と加速度の関係について学ぶ。	講義　演習		
7回	テーマ	運動の法則Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第1法則(慣性の法則)について学ぶ。	講義　演習		
8回	テーマ	運動の法則Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第2法則(運動の法則)について学ぶ。	講義　演習		
9回	テーマ	運動の法則Ⅲ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第3法則(作用反作用の法則)について学ぶ。	講義　演習		
10回	テーマ	中間試験	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.~9.までの学習到達度の評価。	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	等速度運動と等加速度運動	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)	60
	内容	等速度運動と等加速度運動における位置、速度、加速度を運動方程式から求め、それらの関係について学ぶ。			
12回	テーマ	運動量と力積	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.3,3.4 運動量と力積)。	60
	内容	運動量保存則と力積について学ぶ。			
13回	テーマ	具体的な運動Ⅰ	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	自由落下、鉛直投げ上げ、鉛直投げ下げなどの1次元の運動の解法（運動方程式と初期条件）について学ぶ。			
14回	テーマ	具体的な運動Ⅱ	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	水平投射、斜方投射などの2次元の運動の解法（運動方程式と初期条件）について学ぶ。			
15回	テーマ	中間試験	対面 試験　講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	後半の到達度を確認する。			
16回	テーマ	総括	対面 講義　演習	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること 「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	総評、試験の返却と解説			

科目名	基礎物理学①（１ナ生物）	開講学年	1	講義コード	1220103	区分	選択
英文表記	fundamental physics	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	田代寛之　板橋克美　福島和洋（非常勤）						
研究室	F702（田代寛之)　F801(板橋克美)　本館1階 非常勤講師室(福島和洋)			オフィスアワー	田代：木曜5時限、板橋：月曜4時限、福島：授業終了後		
メールアドレス	hiroyuki@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	音波と光波　熱、熱力学の第1法則　クーロンの法則　電場と電位、直流回路　　磁場、電磁誘導 教養的知識　数理スキル						

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特にナノサイエンス学科、生物生命科学を学ぶ上で重要な熱力学、電磁気学、波を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 具体的には、熱について、熱と温度との関係、熱容量と比熱、理想気体の状態方程式、気体がする仕事、気体がする仕事、熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。電気については、電荷の間にはたらくクーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位の定義、電場と電位の関係、直列回路、並列回路の合成抵抗、磁石がつくる磁場、電流のまわりに発生する磁場と電磁誘導について学ぶ。波については、波を表す量、縦波と横波、波が示す性質、光波、音波が示す現象について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。
※試験については対面で行う予定である。

関連科目

1.物理学 2.物理学実験 3.バイオ･化学系の基礎数理Ⅰ･Ⅱ 4.化学Ⅰ･Ⅱ 5.基礎物理化学･物理化学 など多くの科目に関係する。

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項（中学校及び高等学校 理科）【各科目に含めることが必要な事項】･･･物理学				
	学修・教育目標			
	JABEE基準			

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	身のまわりで起こる熱、電気と磁気、波が関係する現象を理解することができる。
	②	波、熱、電気と磁気の基礎的な内容（熱力学第一法則、電場と電位、電流と磁場、波の性質など）を理解することができる。
	③	熱、電気と磁気、波の概念や法則を理解し、数式やグラフ、図等で表現することができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	熱と温度	対面	【予習】教科書(7章 7.1 温度、7.2 熱)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	熱と温度との関係について学ぶ。	講義 演習		
2回	テーマ	熱容量と比熱	対面	【予習】教科書(7章 7.3 熱容量と比熱)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	熱容量と比熱について学ぶ。	講義 演習		
3回	テーマ	状態方程式と仕事	対面	【予習】教科書(7章 7.4 理想気体の状態方程式)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	理想気体の状態方程式、気体がする仕事について学ぶ。	講義 演習		
4回	テーマ	仕事	対面	【予習】教科書(8章 8.3 気体の体積変化による仕事)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	気体がする仕事	講義 演習		
5回	テーマ	熱力学の第一法則	対面	【予習】教科書(8章 8.2 熱力学の第1法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。	講義 演習		
6回	テーマ	クーロンの法則	対面	【予習】教科書(10章 10.2 クーロンの法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。	講義 演習		
7回	テーマ	電場	対面	【予習】教科書(11章 11.1 電場)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。	講義 演習		
8回	テーマ	電位	対面	【予習】教科書(11章 11.3 電位)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電位の定義、電場と電位の関係について学ぶ。	講義 試験		
9回	テーマ	学習到達度判定	対面	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	1.～8.の中間試験とまとめ	講義 演習		
10回	テーマ	直列回路と並列回路	対面	【予習】教科書(12章 電流と直流回路)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	直列回路、並列回路の合成抵抗等について学ぶ。	講義 演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	磁石と磁場	対面	【予習】教科書(13章 13.1 磁気力と磁荷、13.2 磁場と磁束密度)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。	講義　演習		
12回	テーマ	電流の作る磁場と電磁誘導	対面	【予習】教科書(13章 13.3 電流がつくる磁場、14章 14.1 ファラデーの電磁誘導の法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場と電磁誘導について学ぶ。	講義　演習		
13回	テーマ	波とその性質Ⅰ	対面	【予習】教科書(17章 波とその性質)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	波を表す量、縦波と横波、波が示す性質について学ぶ。	講義　演習		
14回	テーマ	波とその性質Ⅱ	対面	【予習】教科書(18章 音波と光波)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	光波、音波が示す現象について学ぶ。	講義　演習		
15回	テーマ	学習到達度判定	対面	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。「到達度ポートフォリオ」の作成	60
	内容	1.～14.の中間試験とまとめ。	講義　試験		
16回	テーマ	1.～15.までのまとめと先端物理学	対面	「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	講義のまとめを行い、科学技術と日常生活の関連について学ぶ。また、ナノ、バイオ、医療、それぞれの観点における先端物理学を学ぶ。	講義　演習		

科目名	基礎物理学②（１ナ生物）	開講学年	1	講義コード	1220104	区分	選択
英文表記	fundamental physics	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	田代寛之　板橋克美　福島和洋（非常勤）

研究室	F702（田代寛之)　F801(板橋克美)　本館1階 非常勤講師室(福島和洋)	オフィスアワー	田代：木曜5時限、板橋：月曜4時限、福島：授業終了後

メールアドレス	hiroyuki@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	音波と光波　熱、熱力学の第1法則　クーロンの法則　電場と電位、直流回路　　磁場、電磁誘導 教養的知識　数理スキル

授業概要	物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特にナノサイエンス学科、生物生命科学を学ぶ上で重要な熱力学、電磁気学、波を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 具体的には、熱について、熱と温度との関係、熱容量と比熱、理想気体の状態方程式、気体がする仕事、気体がする仕事、熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。電気については、電荷の間にはたらくクーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位の定義、電場と電位の関係、直列回路、並列回路の合成抵抗、磁石がつくる磁場、電流のまわりに発生する磁場と電磁誘導について学ぶ。波については、波を表す量、縦波と横波、波が示す性質、光波、音波が示す現象について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目
1.物理学 2.物理学実験 3.バイオ･化学系の基礎数理Ⅰ･Ⅱ 4.化学Ⅰ･Ⅱ 5.基礎物理化学･物理化学 など多くの科目に関係する。

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項（中学校及び高等学校 理科）【各科目に含めることが必要な事項】･･･物理学

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	身のまわりで起こる熱、電気と磁気、波が関係する現象を理解することができる。
	②	波、熱、電気と磁気の基礎的な内容（熱力学第一法則、電場と電位、電流と磁場、波の性質など）を理解することができる。
	③	熱、電気と磁気、波の概念や法則を理解し、数式やグラフ、図等で表現することができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題（演習問題等）を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	熱と温度	対面	【予習】教科書(7章 7.1 温度、7.2 熱)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	熱と温度との関係について学ぶ。	講義　演習		
2回	テーマ	熱容量と比熱	対面	【予習】教科書(7章 7.3 熱容量と比熱)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	熱容量と比熱について学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	状態方程式と仕事	対面	【予習】教科書(7章 7.4 理想気体の状態方程式)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	理想気体の状態方程式、気体がする仕事について学ぶ。	講義　演習		
4回	テーマ	仕事	対面	【予習】教科書(8章 8.3 気体の体積変化による仕事)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	気体がする仕事	講義　演習		
5回	テーマ	熱力学の第一法則	対面	【予習】教科書(8章 8.2 熱力学の第1法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	クーロンの法則	対面	【予習】教科書(10章 10.2 クーロンの法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。	講義　演習		
7回	テーマ	電場	対面	【予習】教科書(11章 11.1 電場)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。	講義　演習		
8回	テーマ	電位	対面	【予習】教科書(11章 11.3 電位)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電位の定義、電場と電位の関係について学ぶ。	講義　試験		
9回	テーマ	学習到達度判定	対面	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	1.～8.の中間試験とまとめ	講義　演習		
10回	テーマ	直列回路と並列回路	対面	【予習】教科書(12章 電流と直流回路)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	直列回路、並列回路の合成抵抗等について学ぶ。	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	磁石と磁場	対面	【予習】教科書(13章 13.1 磁気力と磁荷、13.2 磁場と磁束密度)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。	講義　演習		
12回	テーマ	電流の作る磁場と電磁誘導	対面	【予習】教科書(13章 13.3 電流がつくる磁場、14章 14.1 ファラデーの電磁誘導の法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場と電磁誘導について学ぶ。	講義　演習		
13回	テーマ	波とその性質Ⅰ	対面	【予習】教科書(17章 波とその性質)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	波を表す量、縦波と横波、波が示す性質について学ぶ。	講義　演習		
14回	テーマ	波とその性質Ⅱ	対面	【予習】教科書(18章 音波と光波)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	光波、音波が示す現象について学ぶ。	講義　演習		
15回	テーマ	学習到達度判定	対面	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。「到達度ポートフォリオ」の作成	60
	内容	1.～14.の中間試験とまとめ。	講義　試験		
16回	テーマ	1.～15.までのまとめと先端物理学	対面	「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	講義のまとめを行い、科学技術と日常生活の関連について学ぶ。また、ナノ、バイオ、医療、それぞれの観点における先端物理学を学ぶ。	講義　演習		

科目名	基礎物理学③（１ナ生物）	開講学年	1	講義コード	1220105	区分	選択
英文表記	fundamental physics	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	田代寛之　板橋克美　福島和洋（非常勤）

研究室	F702（田代寛之)　F801(板橋克美)　本館1階 非常勤講師室(福島和洋)	オフィスアワー	田代：木曜5時限、板橋：月曜4時限、福島：授業終了後

メールアドレス	hiroyuki@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	音波と光波　熱、熱力学の第1法則　クーロンの法則　電場と電位、直流回路　　磁場、電磁誘導 教養的知識　数理スキル

授業概要	物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特にナノサイエンス学科、生物生命科学を学ぶ上で重要な熱力学、電磁気学、波を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 具体的には、熱について、熱と温度との関係、熱容量と比熱、理想気体の状態方程式、気体がする仕事、気体がする仕事、熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。電気については、電荷の間にはたらくクーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位の定義、電場と電位の関係、直列回路、並列回路の合成抵抗、磁石がつくる磁場、電流のまわりに発生する磁場と電磁誘導について学ぶ。波については、波を表す量、縦波と横波、波が示す性質、光波、音波が示す現象について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目
1.物理学 2.物理学実験 3.バイオ･化学系の基礎数理Ⅰ･Ⅱ 4.化学Ⅰ･Ⅱ 5.基礎物理化学･物理化学 など多くの科目に関係する。

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項（中学校及び高等学校 理科）【各科目に含めることが必要な事項】･･･物理学

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	身のまわりで起こる熱、電気と磁気、波が関係する現象を理解することができる。
	②	波、熱、電気と磁気の基礎的な内容（熱力学第一法則、電場と電位、電流と磁場、波の性質など）を理解することができる。
	③	熱、電気と磁気、波の概念や法則を理解し、数式やグラフ、図等で表現することができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題（演習問題等）を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	熱と温度	対面	【予習】教科書(7章 7.1 温度、7.2 熱)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	熱と温度との関係について学ぶ。	講義 演習		
2回	テーマ	熱容量と比熱	対面	【予習】教科書(7章 7.3 熱容量と比熱)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	熱容量と比熱について学ぶ。	講義 演習		
3回	テーマ	状態方程式と仕事	対面	【予習】教科書(7章 7.4 理想気体の状態方程式)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	理想気体の状態方程式、気体がする仕事について学ぶ。	講義 演習		
4回	テーマ	仕事	対面	【予習】教科書(8章 8.3 気体の体積変化による仕事)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	気体がする仕事	講義 演習		
5回	テーマ	熱力学の第一法則	対面	【予習】教科書(8章 8.2 熱力学の第1法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。	講義 演習		
6回	テーマ	クーロンの法則	対面	【予習】教科書(10章 10.2 クーロンの法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。	講義 演習		
7回	テーマ	電場	対面	【予習】教科書(11章 11.1 電場)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。	講義 演習		
8回	テーマ	電位	対面	【予習】教科書(11章 11.3 電位)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電位の定義、電場と電位の関係について学ぶ。	講義 試験		
9回	テーマ	学習到達度判定	対面	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	1.～8.の中間試験とまとめ	講義 演習		
10回	テーマ	直列回路と並列回路	対面	【予習】教科書(12章 電流と直流回路)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	直列回路、並列回路の合成抵抗等について学ぶ。	講義 演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	磁石と磁場	対面	【予習】教科書(13章 13.1 磁気力と磁荷、13.2 磁場と磁束密度)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。	講義　演習		
12回	テーマ	電流の作る磁場と電磁誘導	対面	【予習】教科書(13章 13.3 電流がつくる磁場、14章 14.1 ファラデーの電磁誘導の法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場と電磁誘導について学ぶ。	講義　演習		
13回	テーマ	波とその性質Ⅰ	対面	【予習】教科書(17章 波とその性質)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	波を表す量、縦波と横波、波が示す性質について学ぶ。	講義　演習		
14回	テーマ	波とその性質Ⅱ	対面	【予習】教科書(18章 音波と光波)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	光波、音波が示す現象について学ぶ。	講義　演習		
15回	テーマ	学習到達度判定	対面	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。「到達度ポートフォリオ」の作成	60
	内容	1.～14.の中間試験とまとめ。	講義　試験		
16回	テーマ	1.～15.までのまとめと先端物理学	対面	「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	講義のまとめを行い、科学技術と日常生活の関連について学ぶ。また、ナノ、バイオ、医療、それぞれの観点における先端物理学を学ぶ。	講義　演習		

科目名	基礎物理学◎①（１建）	開講学年	1	講義コード	1220106	区分	必修
英文表記	fundamental physics	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	天本徳浩　上野賢仁

研究室	F802(天本徳浩)　F803(上野賢仁)	オフィスアワー	天本：木曜5時限、 上野：木曜4時限

メールアドレス	amamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	力　運動、運動方程式　仕事　力学的エネルギー　　運動量　教養的知識　数理スキル

授業概要	物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に建築学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。前半では、速度と加速度、力の概念や運動の法則を理解し、簡単な運動を数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な運動を、与えられた条件のもとで解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。 具体的には、まず、物理量の単位と物理学に必要な表現法、ベクトルの概念および表現法、力の合成、力の分解および力のつり合いについて学ぶ。次に、位置と速度と加速度の関係、運動の第1～3法則を理解した上で、自由落下、鉛直投げ上げ、鉛直投げ下げなどの1次元の運動の解法（運動方程式と初期条件）と、水平投射、斜方投射などの2次元の運動の解法（運動方程式と初期条件）について学ぶ。さらに、仕事、力学的エネルギーとその保存則、運動量とその保存則について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目

1.物理学 2.物理学実験 3.工学・情報系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.静定構造力学 5.材料力学 など多くの科目に関係する。

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c, g	c, g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルや微分積分を用いて表す方法を理解した上で、典型的な物体の運動を理解することができる。
c	②	運動の3法則やエネルギー保存則、および運動量保存則を理解することができる。
c	③	様々な物理的現象について、物理量の関係をグラフや数式、図等で表すことができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	物理学を学ぶにあたって	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (1章 物理量の単位と次元)。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要な、物理量の表し方、ベクトルの概念および表現法について学ぶ。	講義　演習		
2回	テーマ	力	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1 ,2.2,2.3)。	60
	内容	力の概念、力の合成と分解、力のつり合いについて学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	運動の表し方Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4 位置、速度、加速度)。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。	講義　演習		
4回	テーマ	運動の表し方Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.5 位置、速度、加速度の関係)。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。	講義　演習		
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。	講義　演習		
8回	テーマ	中間試験	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	60
	内容	1.～7.の内容に関する中間試験とまとめ	試験　講義		
9回	テーマ	運動量	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.3, 3.4)。	180
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。	講義　演習		
10回	テーマ	等速円運動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	振動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	振動する物体の運動について学ぶ。	講義　演習		
12回	テーマ	摩擦や抵抗力を受けている物体の運動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	摩擦や,空気・水の抵抗力について学び、その力を受けている物体の運動について学ぶ。	講義　演習		
13回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。	講義　演習		
14回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。	講義　演習		
15回	テーマ	中間試験	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	学習到達度判定　1.～14.の内容に関する中間試験とまとめ	試験　講義		
16回	テーマ	総括	対面	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	1.～15.の内容のまとめ	講義　演習		

科目名	基礎物理学◎②（１建）	開講学年	1	講義コード	1220107	区分	必修
英文表記	fundamental physics	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	天本徳浩　上野賢仁						
研究室	F802(天本徳浩)　F803(上野賢仁)			オフィスアワー	天本：木曜5時限、上野：木曜4時限		
メールアドレス	amamoto@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	力　運動、運動方程式　仕事　力学的エネルギー　　運動量　教養的知識　数理スキル						

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に建築学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。前半では、速度と加速度、力の概念や運動の法則を理解し、簡単な運動を数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な運動を、与えられた条件のもとで解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。 具体的には、まず、物理量の単位と物理学に必要な表現法、ベクトルの概念および表現法、力の合成、力の分解および力のつり合いについて学ぶ。次に、位置と速度と加速度の関係、運動の第1～3法則を理解した上で、自由落下、鉛直投げ上げ、鉛直投げ下げなどの1次元の運動の解法（運動方程式と初期条件）と、水平投射、斜方投射などの2次元の運動の解法（運動方程式と初期条件）について学ぶ。さらに、仕事、力学的エネルギーとその保存則、運動量とその保存則について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目

1.物理学 2.物理学実験 3.工学・情報系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.静定構造力学 5.材料力学 など多くの科目に関係する。

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c, g	c, g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルや微分積分を用いて表す方法を理解した上で、典型的な物体の運動を理解することができる。
c	②	運動の3法則やエネルギー保存則、および運動量保存則を理解することができる。
c	③	様々な物理的現象について、物理量の関係をグラフや数式、図等で表すことができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題（演習問題等）を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	物理学を学ぶにあたって	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (1章 物理量の単位と次元)。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要な、物理量の表し方、ベクトルの概念および表現法について学ぶ。	講義　演習		
2回	テーマ	力	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1 ,2.2,2.3)。	60
	内容	力の概念、力の合成と分解、力のつり合いについて学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	運動の表し方Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4 位置、速度、加速度)。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。	講義　演習		
4回	テーマ	運動の表し方Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.5 位置、速度、加速度の関係)。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。	講義　演習		
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。	講義　演習		
8回	テーマ	中間試験	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	60
	内容	1.～7.の内容に関する中間試験とまとめ	試験　講義		
9回	テーマ	運動量	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.3, 3.4)。	180
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。	講義　演習		
10回	テーマ	等速円運動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	振動	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	振動する物体の運動について学ぶ。			
12回	テーマ	摩擦や抵抗力を受けている物体の運動	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	摩擦や,空気・水の抵抗力について学び、その力を受けている物体の運動について学ぶ。			
13回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。			
14回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。			
15回	テーマ	中間試験	対面 試験　講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	学習到達度判定　1.～14.の内容に関する中間試験とまとめ			
16回	テーマ	総括	対面 講義　演習	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること 「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	1.～15.の内容のまとめ			

科目名	基礎物理学◎①（１宇）	開講学年	1	講義コード	1220108	区分	必修
英文表記	fundamental physics	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	田代寛之　小出美香（非常勤）						
研究室	F702（田代寛之）　本館1階 非常勤講師室(小出美香)			オフィスアワー	田代：木曜5時限、 小出：授業終了後		
メールアドレス	hiroyuki@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	力　運動、運動方程式　仕事　力学的エネルギー　　運動量　教養的知識　数理スキル						

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に宇宙航空システム工学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 前半では、速度と加速度、力の概念や運動の法則を理解し、簡単な運動を数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な運動を、与えられた条件のもとで解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。
具体的には、まず、物理量の単位と物理学に必要な表現法、ベクトルの概念および表現法、力の合成、力の分解および力のつり合いについて学ぶ。次に、位置と速度と加速度の関係、運動の法則を理解した上で、直線上の運動、平面上の運動、等速円運動、フックの法則、単振動、抵抗力を受けている物体の運動について学ぶ。さらに、仕事、力学的エネルギーとその保存則、運動量とその保存則について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目

1.物理学 2.物理学実験 3.工学・情報系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.工業力学 5.航空力学、航空機力学 など多くの科目に関係する。

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルや微分積分を用いて表す方法を理解した上で、典型的な物体の運動を理解することができる。
c	②	運動の3法則やエネルギー保存則、および運動量保存則を理解することができる。
c	③	様々な物理的現象について、物理量の関係をグラフや数式、図等で表すことができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	物理学を学ぶにあたって	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (1章 物理量の単位と次元)。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要な、物理量の表し方、ベクトルの概念および表現法について学ぶ。	講義　演習		
2回	テーマ	力	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1 ,2.2,2.3)。	60
	内容	力の概念、力の合成と分解、力のつり合いについて学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	運動の表し方Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4 位置、速度、加速度)。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。	講義　演習		
4回	テーマ	運動の表し方Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.5 位置、速度、加速度の関係)。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。	講義　演習		
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。	講義　演習		
8回	テーマ	中間試験	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～7.の内容に関する中間試験とまとめ	試験　講義		
9回	テーマ	運動量	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.3, 3.4)。	60
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。	講義　演習		
10回	テーマ	等速円運動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	振動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	振動する物体の運動について学ぶ。	講義　演習		
12回	テーマ	摩擦や抵抗力を受けている物体の運動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	摩擦や,空気・水の抵抗力について学び、その力を受けている物体の運動について学ぶ。	講義　演習		
13回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。	講義　演習		
14回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。	講義　演習		
15回	テーマ	中間試験	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	学習到達度判定　1.～14.の内容に関する中間試験とまとめ	試験　講義		
16回	テーマ	総括	対面	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	1.～15.の内容のまとめ	講義　演習		

科目名	基礎物理学◎②（１宇）	開講学年	1	講義コード	1220109	区分	必修
英文表記	fundamental physics	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	田代寛之　小出美香（非常勤）						
研究室	F702（田代寛之）　本館1階 非常勤講師室(小出美香)			オフィスアワー	田代：木曜5時限、 小出：授業終了後		
メールアドレス	hiroyuki@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	力　運動、運動方程式　仕事　力学的エネルギー　　運動量　教養的知識　数理スキル						

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に宇宙航空システム工学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 前半では、速度と加速度、力の概念や運動の法則を理解し、簡単な運動を数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な運動を、与えられた条件のもとで解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。
具体的には、まず、物理量の単位と物理学に必要な表現法、ベクトルの概念および表現法、力の合成、力の分解および力のつり合いについて学ぶ。次に、位置と速度と加速度の関係、運動の法則を理解した上で、直線上の運動、平面上の運動、等速円運動、フックの法則、単振動、抵抗力を受けている物体の運動について学ぶ。さらに、仕事、力学的エネルギーとその保存則、運動量とその保存則について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目

1.物理学 2.物理学実験 3.工学・情報系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.工業力学 5.航空力学、航空機力学 など多くの科目に関係する。

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルや微分積分を用いて表す方法を理解した上で、典型的な物体の運動を理解することができる。
c	②	運動の3法則やエネルギー保存則、および運動量保存則を理解することができる。
c	③	様々な物理的現象について、物理量の関係をグラフや数式、図等で表すことができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題（演習問題等）を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	物理学を学ぶにあたって	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (1章 物理量の単位と次元)。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要な、物理量の表し方、ベクトルの概念および表現法について学ぶ。	講義　演習		
2回	テーマ	力	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1 ,2.2,2.3)。	60
	内容	力の概念、力の合成と分解、力のつり合いについて学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	運動の表し方Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4 位置、速度、加速度)。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。	講義　演習		
4回	テーマ	運動の表し方Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.5 位置、速度、加速度の関係)。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。	講義　演習		
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。	講義　演習		
8回	テーマ	中間試験	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～7.の内容に関する中間試験とまとめ	試験　講義		
9回	テーマ	運動量	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.3, 3.4)。	60
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。	講義　演習		
10回	テーマ	等速円運動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	振動	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	振動する物体の運動について学ぶ。			
12回	テーマ	摩擦や抵抗力を受けている物体の運動	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	摩擦や,空気・水の抵抗力について学び、その力を受けている物体の運動について学ぶ。			
13回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。			
14回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。			
15回	テーマ	中間試験	対面 試験　講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	学習到達度判定　1.～14.の内容に関する中間試験とまとめ			
16回	テーマ	総括	対面 講義　演習	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること 「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	1.～15.の内容のまとめ			

科目名	基礎物理学①（１情）	開講学年	1	講義コード	1220110	区分	選択
英文表記	fundamental physics	開講期	前	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	上野賢仁　天本徳浩　福島和洋（非常勤）

研究室	F803(上野賢仁)　F802(天本徳浩)　本館1階 非常勤講師室(福島和洋)	オフィスアワー	上野：木曜4時限、天本：木曜5時限、福島：授業終了後

メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	力　運動､運動方程式　仕事　力学的エネルギー　　運動量　教養的知識　数理スキル

授業概要	物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり､工学の基盤をなす科目の1つである｡本講義は､物理学の中で特に情報学を学ぶ上で重要な力学を対象とし､その基礎的な内容について学習する。前半では､力学について学ぶ｡まず､速度と加速度､力の概念や運動の法則を理解し､簡単な運動を数式で表示できるようにする｡その上で､身の回りの簡単な運動を､与えられた条件のもとで解き､得られた解を解析する手法を身に付けるようにする｡後半では､電気について学ぶ。 具体的には､まず､物理量の単位と物理学に必要な表現法､ベクトルの概念および表現法､力の合成､力の分解および力のつり合いについて学ぶ｡次に､位置と速度と加速度の関係､運動の法則を理解した上で､直線上の運動､平面上の運動､等速円運動､フックの法則､単振動､抵抗力を受けている物体の運動について学ぶ｡さらに､仕事､力学的エネルギーとその保存則､運動量とその保存則について学ぶ。 試験､小テストを実施した場合は､次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である｡ただし､状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。	関連科目：1.物理学 2.物理学実験 3.工学･情報系の基礎数理Ⅰ･Ⅱ 4.電気回路入門･Ⅰ 5.電磁気学入門･Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ など多くの科目に関係する。

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルや微分積分を用いて表す方法を理解した上で､典型的な物体の運動を理解することができる。
c	②	運動の3法則やエネルギー保存則､および運動量保存則を理解することができる。
c	③	様々な物理的現象について､物理量の関係をグラフや数式､図等で表すことができる。
g	④	本科目における｢学生の到達度目標｣を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男､三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	物理学を学ぶにあたって	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (1章 物理量の単位と次元)。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要な、物理量の表し方、ベクトルの概念および表現法について学ぶ。	講義　演習		
2回	テーマ	力	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1 ,2.2,2.3)。	60
	内容	力の概念、力の合成と分解、力のつり合いについて学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	運動の表し方Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4 位置、速度、加速度)。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。	講義　演習		
4回	テーマ	運動の表し方Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.5 位置、速度、加速度の関係)。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。	講義　演習		
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。	講義　演習		
8回	テーマ	中間試験	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～7.の内容に関する中間試験とまとめ	試験　講義		
9回	テーマ	運動量	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.3, 3.4)。	60
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。	講義　演習		
10回	テーマ	等速円運動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	振動	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	振動する物体の運動について学ぶ。			
12回	テーマ	摩擦や抵抗力を受けている物体の運動	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	摩擦や,空気・水の抵抗力について学び、その力を受けている物体の運動について学ぶ。			
13回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。			
14回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。			
15回	テーマ	中間試験	対面 試験　講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	学習到達度判定　1.～14.の内容に関する中間試験とまとめ			
16回	テーマ	総括	対面 講義　演習	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	1.～15.の内容のまとめ			

科目名	基礎物理学②（１情）	開講学年	1	講義コード	1220111	区分	選択
英文表記	fundamental physics	開講期	前	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	上野賢仁　天本徳浩　福島和洋（非常勤）

研究室	F803(上野賢仁)　F802(天本徳浩)　本館1階 非常勤講師室(福島和洋)	オフィスアワー	上野：木曜4時限、天本：木曜5時限、福島：授業終了後

メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	力　運動、運動方程式　仕事　力学的エネルギー　　運動量　教養的知識　数理スキル

授業概要	物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に情報学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。前半では、力学について学ぶ。まず、速度と加速度、力の概念や運動の法則を理解し、簡単な運動を数式で表示できるようにする。その上で、身の回りの簡単な運動を、与えられた条件のもとで解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。後半では、電気について学ぶ。　具体的には、まず、物理量の単位と物理学に必要な表現法、ベクトルの概念および表現法、力の合成、力の分解および力のつり合いについて学ぶ。次に、位置と速度と加速度の関係、運動の法則を理解した上で、直線上の運動、平面上の運動、等速円運動、フックの法則、単振動、抵抗力を受けている物体の運動について学ぶ。さらに、仕事、力学的エネルギーとその保存則、運動量とその保存則について学ぶ。　試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。　※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目

1.物理学 2.物理学実験 3.工学・情報系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.電気回路入門・Ⅰ 5.電磁気学入門・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ など多くの科目に関係する。

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルや微分積分を用いて表す方法を理解した上で、典型的な物体の運動を理解することができる。
c	②	運動の3法則やエネルギー保存則、および運動量保存則を理解することができる。
c	③	様々な物理的現象について、物理量の関係をグラフや数式、図等で表すことができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	物理学を学ぶにあたって	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (1章 物理量の単位と次元)。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要な、物理量の表し方、ベクトルの概念および表現法について学ぶ。	講義　演習		
2回	テーマ	力	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1 ,2.2,2.3)。	60
	内容	力の概念、力の合成と分解、力のつり合いについて学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	運動の表し方Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4 位置、速度、加速度)。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。	講義　演習		
4回	テーマ	運動の表し方Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.5 位置、速度、加速度の関係)。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。	講義　演習		
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。	講義　演習		
8回	テーマ	中間試験	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～7.の内容に関する中間試験とまとめ	試験　講義		
9回	テーマ	運動量	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.3, 3.4)。	60
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。	講義　演習		
10回	テーマ	等速円運動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	振動	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	振動する物体の運動について学ぶ。			
12回	テーマ	摩擦や抵抗力を受けている物体の運動	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	摩擦や,空気・水の抵抗力について学び、その力を受けている物体の運動について学ぶ。			
13回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。			
14回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。			
15回	テーマ	中間試験	対面 試験　講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	学習到達度判定　1.～14.の内容に関する中間試験とまとめ			
16回	テーマ	総括	対面 講義　演習	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	1.～15.の内容のまとめ			

科目名	基礎物理学③（１情）	開講学年	1	講義コード	1220112	区分	選択
英文表記	fundamental physics	開講期	前	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	上野賢仁　天本徳浩　福島和洋（非常勤）

研究室	F803(上野賢仁)　F802(天本徳浩)　本館1階 非常勤講師室(福島和洋)	オフィスアワー	上野：木曜4時限、天本：木曜5時限、福島：授業終了後

メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	力　運動、運動方程式　仕事　力学的エネルギー　　運動量　教養的知識　数理スキル

授業概要	物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に情報学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。前半では、力学について学ぶ。まず、速度と加速度、力の概念や運動の法則を理解し、簡単な運動を数式で表示できるようにする。その上で、身の回りの簡単な運動を、与えられた条件のもとで解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。後半では、電気について学ぶ。　具体的には、まず、物理量の単位と物理学に必要な表現法、ベクトルの概念および表現法、力の合成、力の分解および力のつり合いについて学ぶ。次に、位置と速度と加速度の関係、運動の法則を理解した上で、直線上の運動、平面上の運動、等速円運動、フックの法則、単振動、抵抗力を受けている物体の運動について学ぶ。さらに、仕事、力学的エネルギーとその保存則、運動量とその保存則について学ぶ。　試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。　※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目
1.物理学 2.物理学実験 3.工学・情報系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.電気回路入門・Ⅰ 5.電磁気学入門・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ など多くの科目に関係する。

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルや微分積分を用いて表す方法を理解した上で、典型的な物体の運動を理解することができる。
c	②	運動の3法則やエネルギー保存則、および運動量保存則を理解することができる。
c	③	様々な物理的現象について、物理量の関係をグラフや数式、図等で表すことができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.高校の数学 2.高校の物理学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	物理学を学ぶにあたって	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (1章 物理量の単位と次元)。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要な、物理量の表し方、ベクトルの概念および表現法について学ぶ。	講義 演習		
2回	テーマ	力	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1 ,2.2,2.3)。	60
	内容	力の概念、力の合成と分解、力のつり合いについて学ぶ。	講義 演習		
3回	テーマ	運動の表し方Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4 位置、速度、加速度)。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。	講義 演習		
4回	テーマ	運動の表し方Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.5 位置、速度、加速度の関係)。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。	講義 演習		
5回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1 運動の3法則)。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。	講義 演習		
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。	講義 演習		
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2 運動方程式の解法)(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)を運動方程式を解いて理解できることを学ぶ。	講義 演習		
8回	テーマ	中間試験	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～7.の内容に関する中間試験とまとめ	試験 講義		
9回	テーマ	運動量	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.3, 3.4)。	60
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。	講義 演習		
10回	テーマ	等速円運動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。	講義 演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	振動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	振動する物体の運動について学ぶ。	講義　演習		
12回	テーマ	摩擦や抵抗力を受けている物体の運動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	摩擦や,空気・水の抵抗力について学び、その力を受けている物体の運動について学ぶ。	講義　演習		
13回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。	講義　演習		
14回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。	講義　演習		
15回	テーマ	中間試験	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	学習到達度判定　1.～14.の内容に関する中間試験とまとめ	試験　講義		
16回	テーマ	総括	対面	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	1.～15.の内容のまとめ	講義　演習		

科目名	物理学実験①（２ナ生物）	開講学年	2	講義コード	1220302	区分	選択
英文表記	physics laboratory	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	上野賢仁　田代寛之　板橋克美

研究室	F803（上野）　F702（田代）　F801（板橋）	オフィスアワー	実験終了後

メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	重力加速度　比熱　剛性率、ヤング率　光の波長　　オームの法則　教養的知識　数理スキル　アカデミックスキル

授業概要	物理学実験は、今後、経験するであろう卒業研究や様々な応用実験の前に必ずやっておかねばならない学習実験である。即ち、研究実験と異なり結果が分かっている実験なので逆に、基礎的実験器具類の取り扱い方を習熟することができる。また、測定で得られたデータの処理法、特に得られた物理量の精度及び有効数字の取り扱い方を学び、技術者として必要な真摯な心構えを身に付ける。そして、論文（レポート）も分かりやすく簡潔で丁寧な書き方を目指す。 最初に、実験の目的、実施方法、レポートの書き方、注意事項について講義し、実験で必要となるノギス、マイクロメーターの取り扱い、計測方法、測定誤差・精度について習熟する。実験では、単振り子による重力加速度の大きさの測定、水熱量計を用いた金属の比熱測定、サールの装置を用いた針金のヤング率測定、回折格子を用いた光の波長測定、オームの法則と半導体の電気抵抗の温度依存を調べる実験、光電効果によるプランク定数の測定を行う。また、隔週で実施する演習では、有効数字と四則演算、物理量の単位、誤差と正規分布、最小二乗法について学び、発表を行う。 演習、レポートについては、提出後の授業回でフィードバックする。 ※実験は対面で行う。 ※演習については、本年度は対面授業で行う予定であるが、状況によっては遠隔授業になることがある。

関連科目
1.基礎物理学　2.物理学

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・中学校 必修 高等学校 選択 【科目区分】・・・教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項（中学校及び高等学校 理科）【各科目に含めることが必要な事項】・・・物理学実験（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ活用を含む。）

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	各実験および演習の内容を理解し、精確な測定のための実験の知識を身につけることができる。
f	②	有効数字やデータ処理の方法などデータの取り扱い方を正しく理解し、適切な方法で表現することができる。
g	③	学術的レポートの書き方を理解した上で、得られた結果を論理的に考察し、レポートで報告することができる。
i	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	30	60	0	0	10	0	100

教科書	物理学実験　　崇城大学物理学教室

参考書	基礎物理学　学術図書出版　原 康夫　9784-7806-0300-2 理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　978-4-7806-0637-9

予備知識	1.基礎物理学 2.物理学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.実験のレポートで評価する。(60点)　レポートの提出遅れ、再提出は減点となる。 2.演習では、小テストに準じた課題で評価する。(30点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.予定された実験を全て行い、レポートを提出すること。(やむを得ない事情で欠席した場合は追実験を実施する。) レポート等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.班編成を行うので、班によって実験項目の順番が入れ替わることがある。 2.受講者数によっては、実験室の収容人数の都合上、実験項目を一部変更することがある。 3.各自、実験ノートを用意すること。 4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	【予習】基礎物理学・物理学で学んだことを整理し、テキストの該当箇所(I-1、I-8、I-9、I-10)をよく読む。【復習】説明された内容をよく理解する 。	60
	内容	実験の目的、実施方法、レポートの書き方、注意事項、安全に実験を行うための注意	講義		
2回	テーマ	ノギス・マイクロメーター	対面	【予習】テキストの該当箇所(I-10、II-1)をよく読む。【復習】使い方をよく理解する。	60
	内容	ノギス、マイクロメーターの取り扱い、計測方法、測定誤差・精度、レポートの作成	実験		
3回	テーマ	演習①	対面	【予習】テキストの該当箇所(I-5、I-7)をよく読む。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	データの処理と有効数字の演習、レポートの添削	演習		
4回	テーマ	単振り子による重力加速度の大きさの測定	対面	【予習】テキストの該当箇所(II-2)を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	単振り子を用いて重力加速度の大きさを測定する。	実験		
5回	テーマ	演習②	対面	【予習】テキストの該当箇所(I-5)をよく読む。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	物理量の単位と次元	演習		
6回	テーマ	比熱の測定	対面	【予習】テキストの該当箇所(II-5)を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	水熱量計を用いて鉄、銅及び真鍮の比熱を求める。	実験		
7回	テーマ	演習③	対面	【予習】テキストの該当箇所(I-4)をよく読む。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	誤差と正規分布	演習		
8回	テーマ	伸びによるヤング率の測定	対面	【予習】テキストの該当箇所(II-6)を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	サールの装置を用いて針金のヤング率を測定する。	実験		
9回	テーマ	演習④	対面	【予習】テキストの該当箇所(I-6)をよく読む。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	最小二乗法	演習		
10回	テーマ	オームの法則・電池の内部抵抗の測定	対面	【予習】テキストの該当箇所(II-15.)を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	オームの法則を調べ、電池の内部抵抗を求める。	実験		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	演習⑤	対面	【予習】これまでの実験と演習①～④についてよく整理しておく。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	第2～10回目までの内容を復習する	演習		
12回	テーマ	光の波長測定	対面	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく（Ⅱ.10.）。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	回折格子を用いて半導体レーザー光の波長を求める。	実験		
13回	テーマ	演習⑥	対面	【予習】光の波動性について調べる。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	光の波動性	演習		
14回	テーマ	光電効果によるプランク定数の測定	対面	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	光電効果の測定によりプランク定数を求める。	実験		
15回	テーマ	演習⑦	対面	【予習】光の粒子性について調べる。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	光の粒子性	演習		

科目名	物理学実験①（２情）	開講学年	2	講義コード	1220304	区分	選択
英文表記	physics laboratory	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	上野賢仁　天本徳浩　田代寛之

研究室	F803（上野）　F802（天本）　F702（田代）	オフィスアワー	実験終了後

メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	重力加速度　比熱　剛性率、ヤング率　光の波長　　オームの法則　教養的知識　数理スキル　アカデミックスキル

授業概要	物理学実験は、今後、経験するであろう卒業研究や様々な応用実験の前に必ずやっておかねばならない学習実験である。即ち、研究実験と異なり結果が分かっている実験なので逆に、基礎的実験器具類の取り扱い方を習熟することができる。また、測定で得られたデータの処理法、特に得られた物理量の精度及び有効数字の取り扱い方を学び、技術者として必要な真摯な心構えを身に付ける。そして、論文（レポート）も分かりやすく簡潔で丁寧な書き方を目指す。 最初に、実験の目的、実施方法、レポートの書き方、注意事項について講義し、実験で必要となるノギス、マイクロメーターの取り扱い、計測方法、測定誤差・精度について習熟する。実験では、単振り子による重力加速度の大きさの測定、水熱量計を用いた金属の比熱測定、サールの装置を用いた針金のヤング率測定、回折格子を用いた光の波長測定、オームの法則と半導体の電気抵抗の温度依存を調べる実験、光電効果によるプランク定数の測定を行う。また、隔週で実施する演習では、有効数字と四則演算、物理量の単位、誤差と正規分布、最小二乗法について学び、発表を行う。 演習、レポートについては、提出後の授業回でフィードバックする。 ※実験は対面で行う。 ※演習については、本年度は対面授業で行う予定であるが、状況によっては遠隔授業になることがある。

関連科目

1.基礎物理学 2.物理学

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	
	JABEE基準		c,f,g,i	c,f,g,i	

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	各実験および演習の内容を理解し、精確な測定のための実験の知識を身につけることができる。
f	②	有効数字やデータ処理の方法などデータの取り扱い方を正しく理解し、適切な方法で表現することができる。
g	③	学術的レポートの書き方を理解した上で、得られた結果を論理的に考察し、レポートで報告することができる。
i	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	30	60	0	0	10	0	100

教科書	物理学実験　　崇城大学物理学教室

参考書	基礎物理学　学術図書出版　原 康夫　9784-7806-0300-2 理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　978-4-7806-0637-9

予備知識	1.基礎物理学 2.物理学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.実験のレポートで評価する。(60点)　レポートの提出遅れ、再提出は減点となる。 2.演習では、小テストに準じた課題で評価する。(30点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.予定された実験を全て行い、レポートを提出すること。(やむを得ない事情で欠席した場合は追実験を実施する。) レポート等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.班編成を行うので、班によって実験項目の順番が入れ替わることがある。 2.受講者数によっては、実験室の収容人数の都合上、実験項目を一部変更することがある。 3.各自、実験ノートを用意すること。 4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	【予習】基礎物理学・物理学で学んだことを整理し、テキストの該当箇所(I-1、I-8、I-9、I-10)をよく読む。【復習】説明された内容をよく理解する 。	60
	内容	実験の目的、実施方法、レポートの書き方、注意事項、安全に実験を行うための注意	講義		
2回	テーマ	ノギス・マイクロメーター	対面	【予習】テキストの該当箇所(I-10、II-1)をよく読む。【復習】使い方をよく理解する。	60
	内容	ノギス、マイクロメーターの取り扱い、計測方法、測定誤差・精度、レポートの作成	実験		
3回	テーマ	演習①	対面	【予習】テキストの該当箇所(I-5、I-7)をよく読む。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	データの処理と有効数字の演習、レポートの添削	演習		
4回	テーマ	単振り子による重力加速度の大きさの測定	対面	【予習】テキストの該当箇所(II-2)を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	単振り子を用いて重力加速度の大きさを測定する。	実験		
5回	テーマ	演習②	対面	【予習】テキストの該当箇所(I-5)をよく読む。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	物理量の単位と次元	演習		
6回	テーマ	比熱の測定	対面	【予習】テキストの該当箇所(II-5)を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	氷熱量計を用いて鉄、銅及び真鍮の比熱を求める。	実験		
7回	テーマ	演習③	対面	【予習】テキストの該当箇所(I-4)をよく読む。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	誤差と正規分布	演習		
8回	テーマ	伸びによるヤング率の測定	対面	【予習】テキストの該当箇所(II-6)を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	サールの装置を用いて針金のヤング率を測定する。	実験		
9回	テーマ	演習④	対面	【予習】テキストの該当箇所(I-6)をよく読む。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	最小二乗法	演習		
10回	テーマ	オームの法則・電池の内部抵抗の測定	対面	【予習】テキストの該当箇所(II-15.)を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	オームの法則を調べ、電池の内部抵抗を求める。	実験		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	演習⑤	対面	【予習】これまでの実験と演習①～④についてよく整理しておく。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	第2～10回目までの内容を復習する	演習		
12回	テーマ	光の波長測定	対面	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく（Ⅱ.10.）。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	回折格子を用いて半導体レーザー光の波長を求める。	実験		
13回	テーマ	演習⑥	対面	【予習】光の波動性について調べる。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	光の波動性	演習		
14回	テーマ	光電効果によるプランク定数の測定	対面	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	光電効果の測定によりプランク定数を求める。	実験		
15回	テーマ	演習⑦	対面	【予習】光の粒子性について調べる。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	光の粒子性	演習		

科目名	基礎化学Ⅰ①（１機シス操）	開講学年	1	講義コード	1220401	区分	選択
英文表記	basic chemistry I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	坂田 眞砂代（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業終了後

メールアドレス	msakata@kumamoto-u.ac.jp

キーワード	原子の構造　周期律　化学結合　酸と塩基　　高分子　教養的知識　数理スキル

授業概要	私たちの身の回りには、実にさまざまな物質が存在する。海や山や動植物など自然に存在する物質、あるいは、私たちの生活を豊かにする人工の物質など、いろいろある。化学はこれらの物質の性質、構造および物質間の反応を対象とした学問であり、身の回りのすべての物質が化学の教材となる。 この講義では化学を専攻しない学生にも化学の基礎を理解してもらい、その上で日常生活と化学のさまざまな接点を概説する。題材として生活に関係した物質や現象をできるだけ多くとりあげ、これらは化学的な見地からはどのようになっているのかを解説する。この講義を通して、化学の視点から日常生活から先端工学や環境問題を理解し、興味を持つようになってもらいたい。なお、この科目は学士過程共通の学習効果との対応に該当した科目である。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目
基礎物理学、物理学、物理学実験など（連携科目）、基礎化学II（発展科目）

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c, g	c, g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	各学科で必要となる、原子配置や化学結合、化学反応などの化学の基礎的内容を理解することができる。
c	②	身のまわりの物質・現象に関して、化学的な見方・考え方を基にして図や数式、グラフ等で表現することができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	60	30	0	0	0	10	0	100

教科書	物質科学の基礎としての化学入門　学術図書出版社　千葉工業大学教育センター化学教室　　978-4-7806-0323-1

参考書	化学基礎　学術出版社　杉田雅美、吉田結城、田村嘉廣　978-4-7806-0547-1

予備知識	高校で学んだ化学をさらに深めた「化学の基礎」を学ぶことで、原子、分子の構造や結合について理解できるようになるとともに、無機材料、有機材料の合成、反応、分析、評価法に関する基礎的な考察ができるようになる。また、工学や環境問題について、化学の基礎用語を用いて説明ができるようになる知識を習得する。日々、新聞やサイエンス雑誌などに興味を持って接しておくことが大事。
実務経験のある教員	
評価明細基準	(1) 定期試験を行う。 (2) 授業中に演習あるいはレポート作成を実施し、理解度を確認する。 (3) 演習問題等は、演習終了後の講義時間内に、解答例を用いてフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	本講義では、指定の教科書「物質科学の基礎としての化学入門」(学術図書)を基本に、必要に応じて資料を配布する。講義内容をしっかり習得するように努め、必ずノートを取ること。板書やスライドのカメラ撮影は禁止する。授業中の私語は、他の受講者に迷惑となるので厳禁。毎回復習(演習問題)を講義時間外に行い、次回の講義中の復習 (前回の演習問題の解答) で理解度を確認する。なお教員の事情により、学習内容順が前後することがある。講義内容の順番については、初回に説明する。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	原子の構造	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（周期表）の予習をする。	60
	内容	オリエンテーション、原子を構成する粒子、原子の表し方、同位体	講義		
2回	テーマ	周期表	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（電子殻と電子構造）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、電子の配置と周期律、物質の表し方（化学式）	講義		
3回	テーマ	電子殻と原子構造	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（原子軌道への電子の収容）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、電子殻、電子軌道	講義		
4回	テーマ	原子軌道への電子の収容	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（電子配置と周期表の関係）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、原子軌道への電子の配置、多電子原子の電子配置	講義		
5回	テーマ	電子配置と周期表の関係	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（イオン結合と金属結合）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、電子配置と原子の性質、イオン化エネルギーと電子親和力、電気陰性度	講義		
6回	テーマ	化学結合Ⅰ	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（共有結合）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、イオン結合、金属結合、イオン結晶と金属結晶の構造	講義		
7回	テーマ	化学結合Ⅱ	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（分子間力と水素結合）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、共有結合の考え方、電子式と構造式	講義		
8回	テーマ	分子間力と水素結合	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（物質の変化と化学反応式）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、分子の極性、分子間力、水素結合	講義		
9回	テーマ	物質の変化と化学反応式	対面	与えられた課題に取り組み次の授業（酸・塩基と中和反応）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、化学反応式とその書き方、化学反応式が表す意味、化学量論	講義		
10回	テーマ	酸・塩基と中和反応	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（水溶液の性質）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、酸と塩基、電離度と酸塩基の強弱、水の電離と水のイオン積	講義		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	水溶液の性質	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（高分子）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、水素イオン指数pH、酸塩基の中和	講義		
12回	テーマ	無機化学と無機材料	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（水溶液の性質）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、典型元素と遷移元素、金属元素と非金属元素	講義		
13回	テーマ	有機化学と身の回りの物質	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（高分子）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、有機化合物の定義, 分類, 構造	講義		
14回	テーマ	高分子	対面	1回から14回までの授業の復習をする。	60
	内容	前回の復習、合成高分子と天然高分子	講義		
15回	テーマ	定期試験　／講義の総括	対面	定期試験の問題を解き直して授業にのぞむこと。	60
	内容	試験　／授業の総括と問題の演習問題の復習	試験		

科目名	基礎化学Ⅰ②（1建情）	開講学年	1	講義コード	1220402	区分	選択
英文表記	basic chemistry I	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	坂田 眞砂代（非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業終了後

メールアドレス	msakata@kumamoto-u.ac.jp

キーワード	原子の構造　周期律　化学結合　酸と塩基　　高分子　教養的知識　数理スキル

授業概要	私たちの身の回りには、実にさまざまな物質が存在する。海や山や動植物など自然に存在する物質、あるいは、私たちの生活を豊かにする人工の物質など、いろいろある。化学はこれらの物質の性質、構造および物質間の反応を対象とした学問であり、身の回りのすべての物質が化学の教材となる。 この講義では化学を専攻しない学生にも化学の基礎を理解してもらい、その上で日常生活と化学のさまざまな接点を概説する。題材として生活に関係した物質や現象をできるだけ多くとりあげ、これらは化学的な見地からはどのようになっているのかを解説する。この講義を通して、化学の視点から日常生活から先端工学や環境問題を理解し、興味を持つようになってもらいたい。なお、この科目は学士過程共通の学習効果との対応に該当した科目である。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。	関連科目：基礎物理学、物理学、物理学実験など（連携科目）、基礎化学II（発展科目）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c, g	c, g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	各学科で必要となる、原子配置や化学結合、化学反応などの化学の基礎的内容を理解することができる。
c	②	身のまわりの物質・現象に関して、化学的な見方・考え方を基にして図や数式、グラフ等で表現することができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	60	30	0	0	0	10	0	100

教科書	物質科学の基礎としての化学入門　学術図書出版社　千葉工業大学教育センター化学教室　　978-4-7806-0323-1

参考書	化学基礎　学術出版社　杉田雅美、吉田結城、田村嘉廣　978-4-7806-0547-1

予備知識	高校で学んだ化学をさらに深めた「化学の基礎」を学ぶことで、原子、分子の構造や結合について理解できるようになるとともに、無機材料、有機材料の合成、反応、分析、評価法に関する基礎的な考察ができるようになる。また、工学や環境問題について、化学の基礎用語を用いて説明ができるようになる知識を習得する。日々、新聞やサイエンス雑誌などに興味を持って接しておくことが大事。
実務経験のある教員	
評価明細基準	(1) 定期試験を行う。 (2) 授業中に演習あるいはレポート作成を実施し、理解度を確認する。 (3) 演習問題等は、演習終了後の講義時間内に、解答例を用いてフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	本講義では、指定の教科書「物質科学の基礎としての化学入門」(学術図書)を基本に、必要に応じて資料を配布する。講義内容をしっかり習得するように努め、必ずノートを取ること。板書やスライドのカメラ撮影は禁止する。授業中の私語は、他の受講者に迷惑となるので厳禁。毎回復習(演習問題)を講義時間外に行い、次回の講義中の復習 (前回の演習問題の解答) で理解度を確認する。なお教員の事情により、学習内容順が前後することがある。講義内容の順番については、初回に説明する。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	原子の構造	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（周期表）の予習をする。	60
	内容	オリエンテーション、原子を構成する粒子、原子の表し方、同位体	講義		
2回	テーマ	周期表	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（電子殻と電子構造）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、電子の配置と周期律、物質の表し方（化学式）	講義		
3回	テーマ	電子殻と原子構造	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（原子軌道への電子の収容）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、電子殻、電子軌道	講義		
4回	テーマ	原子軌道への電子の収容	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（電子配置と周期表の関係）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、原子軌道への電子の配置、多電子原子の電子配置	講義		
5回	テーマ	電子配置と周期表の関係	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（イオン結合と金属結合）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、電子配置と原子の性質、イオン化エネルギーと電子親和力、電気陰性度	講義		
6回	テーマ	化学結合Ⅰ	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（共有結合）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、イオン結合、金属結合、イオン結晶と金属結晶の構造	講義		
7回	テーマ	化学結合Ⅱ	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（分子間力と水素結合）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、共有結合の考え方、電子式と構造式	講義		
8回	テーマ	分子間力と水素結合	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（物質の変化と化学反応式）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、分子の極性、分子間力、水素結合	講義		
9回	テーマ	物質の変化と化学反応式	対面	与えられた課題に取り組み次の授業（酸・塩基と中和反応）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、化学反応式とその書き方、化学反応式が表す意味、化学量論	講義		
10回	テーマ	酸・塩基と中和反応	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（水溶液の性質）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、酸と塩基、電離度と酸塩基の強弱、水の電離と水のイオン積	講義		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	水溶液の性質	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（高分子）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、水素イオン指数pH、酸塩基の中和	講義		
12回	テーマ	無機化学と無機材料	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（水溶液の性質）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、典型元素と遷移元素、金属元素と非金属元素	講義		
13回	テーマ	有機化学と身の回りの物質	対面	与えられた課題に取り組み、次の授業（高分子）の予習をする。	60
	内容	前回の復習、有機化合物の定義, 分類, 構造	講義		
14回	テーマ	高分子	対面	1回から14回までの授業の復習をする。	60
	内容	前回の復習、合成高分子と天然高分子	講義		
15回	テーマ	定期試験　／講義の総括	対面	定期試験の問題を解き直して授業にのぞむこと。	60
	内容	試験　／授業の総括と問題の演習問題の復習	試験		

科目名	薬学基礎化学◎（１薬）	開講学年	1	講義コード	1230101	区分	必須
英文表記	Chemistry for Pharmacy Students	開講期	前期	開講形態	対面	単位数	1

担当教員	下野 和実　寒水 壽朗　杉浦 正晴

研究室	PH326（下野和実）　PH422（寒水壽朗）　PH425（杉浦正晴）	オフィスアワー	時間が許す限り午後はいつでも対応

メールアドレス	kshimono@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	化学　リメディアル

授業概要	高校化学に対する理解度が十分でない学生を念頭に、薬学を学ぶ上で必須となる化学の基礎的事項を解説する。本科目と並行して行われる「薬学基礎化学演習」の授業と連携しながら、基本的な知識を確実に習得することを目標とする。試験・小テスト等に対する学生へのフィードバックは、授業中に適宜行う。	関連科目：薬学基礎化学演習

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標			
		JABEE基準			

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	本科目を通して理解できたり、思ったりしたことを簡潔にまとめることができる。
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	45	45	0	5	0	0	5	0	100

教科書	有機化学 改訂2版　丸善出版　奥山格 有機化学 改訂2版 問題の解き方　丸善出版　奥山格 HGS分子模型　丸善出版

参考書	高等学校で使用した「化学基礎」および「化学」の教科書

予備知識	高校における「化学基礎」および「化学」の内容を理解していること
実務経験のある教員	
評価明細基準	2回の平常試験の結果と宿題課題評価を基本とし、授業態度等を加味して総合的に評価する。

学修上の注意 (SBOs)	本科目は、対面授業もしくはハイフレックス型（対面授業とリアルタイムオンライン授業のハイブリッド）で行う。ハイフレックス型の場合は、各自の都合に合わせ、対面かオンラインを選択して受講すること。授業時間後にWebClassで確認テストを実施するので、必ず受験すること。 本科目は薬学基礎化学演習と連動している。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 到達度目標 コアカリ記号 1. 単位と有効数字について説明できる。 大学独自1 2. 指数対数の計算ができる（技能）。 大学独自2 3. 量子力学の基本原理に触れる。 大学独自3 4. 質量保存の法則について説明できる。 大学独自4 5. 酸と塩基の基本的な性質および強弱の指標を説明できる。 大学独自5 6. 弱酸・弱塩基の水溶液のpHが計算できる。 大学独自6 7. 化学結合の様式について説明できる。 C1(1)-①-1 8. 電磁波の性質および物質との相互作用を説明できる。 C1(1)-③-1 9. 酸・塩基平衡の概念について説明できる。 C2(2)-①-1 10. pHおよび解離定数について説明できる。 C2(2)-①-2 11. 紫外可視吸光度測定法の原理および応用例を説明できる。 C2(4)-①-1 12. 代表的な化合物をIUPAC規則に基づいて命名することができる。 C3(1)-①-1 13. 薬学領域で用いられる代表的な化合物を慣用名で記述できる。 C3(1)-①-2 14. 基本的な化合物を、ルイス構造式で書くことができる。 C3(1)-①-3 15. ルイス酸・塩基、ブレンステッド酸・塩基を定義することができる。 C3(1)-①-5 16. 基本的な有機反応機構を、電子の動きを示す矢印を用いて表すことができる。 C3(1)-①-9 17. 代表的な官能基を列挙し、性質を説明できる。 C3(3)-①-1 【ポートフォリオにおける科目の学修到達度レポートの記載について】 コアカリの内容ごとに記載する必要はなく、本科目を通して理解出来たり、思ったりしたことを簡潔にまとめればよい。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	ハイフレックス（対面またはオンラインライブ授業） 講義・演習	（予習・復習）WebClassでのアナウンスも確認しておくこと。	90
	内容	受講方法、授業スケジュール、授業概要・成績評価の説明　担当：下野			
2回	テーマ	有機化学：その歴史と領域	対面授業 講義・演習	（予習）教科書「有機化学」の序論を事前に読んでおくこと。（復習）WebClassで確認テストを受験すること。また、解答を確認し、講義内容を復習しておくこと。	90
	内容	有機化学の歴史と領域、薬学との関わり　担当：杉浦　SBOs：C1(1)-①-1;C3(1)-①-3;C3(3)-①-1			
3回	テーマ	化学結合と分子の成り立ち2	対面授業 講義・演習	（予習）教科書「有機化学」の第1章を事前に読んでおくこと。（復習）WebClassで確認テストを受験すること。また、解答を確認し、講義内容を復習しておくこと。	90
	内容	化学結合と分子の成り立ち2、分子模型　担当：杉浦　SBOs：C1(1)-①-1;C3(1)-①-3;C3(3)-①-1			
4回	テーマ	酸と塩基	対面授業 講義・演習	（予習）講義資料を事前に読んでおくこと。（復習）WebClassで確認テストを受験すること。また、解答を確認し、講義内容を復習しておくこと。	90
	内容	有機化学における酸と塩基　担当：寒水　SBOs：大学独自5;C2(2)-①-1,2;C3(1)-①-5			
5回	テーマ	まとめ1	対面授業 講義・試験	必ず授業内容の復習を行っておくこと。	90
	内容	まとめと平常試験（寒水・杉浦担当分）　担当：寒水・杉浦			
6回	テーマ	分析・物理化学基礎	ハイフレックス（対面またはオンラインライブ授業） 講義・演習	（予習）講義資料を事前に読んでおくこと（復習）WebClassで確認テストを受験すること。また、解答を確認し、講義内容を復習しておくこと。	90
	内容	物理量、単位、有効数字、指数対数計算　担当：下野　SBOs：大学独自1,2			
7回	テーマ	分光学測定法	ハイフレックス（対面またはオンラインライブ授業） 講義・演習	（予習）講義資料を事前に読んでおくこと（復習）WebClassで確認テストを受験すること。また、解答を確認し、講義内容を復習しておくこと。	90
	内容	光のエネルギー、電磁波と物質の相互作用、ランベルト・ベールの法則　担当：下野　SBOs：大学独自3、C1(1)-③-1			
8回	テーマ	酸塩基平衡	ハイフレックス（対面またはオンラインライブ授業） 講義・演習	（予習）講義資料を事前に読んでおくこと（復習）WebClassで確認テストを受験すること。また、解答を確認し、講義内容を復習しておくこと。	90
	内容	溶液のpHの計算　担当：下野　SBOs：大学独自5,6;C2(2)-①-2			
9回	テーマ	まとめ2	対面授業 講義・試験	必ず授業内容の復習を行っておくこと。	90
	内容	まとめと平常試験（下野担当分）　担当：下野			

科目名	薬学基礎化学演習◎（１薬）	開講学年	1	講義コード	1230201	区分	必須
英文表記	Chemistry for Pharmacy Students	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	1

担当教員	杉浦 正晴　下野 和実　武知 進士　寒水 壽朗　　月川 健士　太田 悠平

研究室	PH425（杉浦正晴）　PH326（下野和実）　PH430（武知進士）　PH422（寒水壽朗）　PH254（月川健士）	オフィスアワー	時間が許す限り午後はいつでも対応

メールアドレス	msugiura@ph.sojo-u.ac.jp

キーワード	化学　リメディアル

授業概要	演習を通して、薬学を学ぶ上で必須となる化学の基本的な知識を確実に身につけることを目標とする。また、化学実験を行う上で必要とされるレポートのまとめ方などについても学ぶ。本科目は、並行して行われる「薬学基礎化学」の授業内容と連携しながら進める。レポート・小テスト等に対する学生へのフィードバックは、授業中に適宜行う。

関連科目
薬学基礎化学

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	本科目を通して理解できたり、思ったりしたことを簡潔にまとめることができる。
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	20	75	0	0	5	0	100

教科書	有機化学 改訂2版　丸善出版　奥山格 有機化学 改訂2版 問題の解き方　丸善出版　奥山格 HGS分子模型　丸善出版 実験実習の基本とデータのまとめ方　三恵社　崇城大学薬学部 編 薬学基礎化学演習 基礎化学実験　　薬学基礎化学演習担当教員作成

参考書	高等学校で使用した「化学基礎」および「化学」の教科書

予備知識	高校における「化学基礎」および「化学」の内容を理解していること
実務経験のある教員	
評価明細基準	レポートおよび授業内の小テストの結果を基本とし、授業態度等を加味して総合的に評価する。 実習レポートについては、原則として以下の評価指標に基づいて評価する。基準1を満たせば概ね合格とする。 [評価指標:レポート] 基準2.教科書、参考書等の記述を引用しながら、論理的に考察が述べられている。 基準1.自分の行った実験結果が適切に整理され、考察が示されている。 基準0.実験事実に基づいて実験結果が示されている。

学修上の注意 (SBOs)	本科目における講義は、ハイフレックス型（対面授業とリアルタイムオンライン授業のハイブリッド）で行う。各自の都合に合わせ、対面かオンラインを選択して受講すること。授業時間後にWebClassで確認テストを実施するので、必ず受験すること。実験実習は実習室で行う。 本科目は薬学基礎化学と連動している。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 到達度目標　コアカリ記号 1. 単位と有効数字について説明できる。 大学独自1　2. 指数対数の計算ができる（技能）。 大学独自2　3. 量子力学の基本原理に触れる。 大学独自3　4. 質量保存の法則について説明できる。 大学独自4　5. 酸と塩基の基本的な性質および強弱の指標を説明できる。 大学独自5　6. 弱酸・弱塩基の水溶液のpHが計算できる。 大学独自6　7. 化学結合の様式について説明できる。 C1(1)-①-1　8. 電磁波の性質および物質との相互作用を説明できる。 C1(1)-③-1　9. 酸・塩基平衡の概念について説明できる。 C2(2)-①-1　10. pHおよび解離定数について説明できる。 C2(2)-①-2　11. 紫外可視吸光度測定法の原理および応用例を説明できる。 C2(4)-①-1　12. 代表的な化合物をIUPAC規則に基づいて命名することができる。 C3(1)-①-1　13. 薬学領域で用いられる代表的な化合物を慣用名で記述できる。 C3(1)-①-2　14. 基本的な化合物を、ルイス構造式で書くことができる。 C3(1)-①-3　15. ルイス酸・塩基、ブレンステッド酸・塩基を定義することができる。 C3(1)-①-5　16. 基本的な有機反応機構を、電子の動きを示す矢印を用いて表すことができる。 C3(1)-①-9　17. 代表的な官能基を列挙し、性質を説明できる。 C3(3)-①-1　18. 適切な科学文と構成でレポートを作成できる。 大学独自7　19. 実験データを科学的に解析できる。 大学独自8　20. 実験操作を適切に行うことができる。 大学独自9　21. 薬学が総合科学であることを認識し、薬剤師の役割と学習内容を関連づける。 A(5)-②-2　【ポートフォリオにおける科目の学修到達度レポートの記載について】 コアカリの内容ごとに記載する必要はなく、本科目を通して理解出来たり、思ったりしたことを簡潔にまとめればよい。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	化学結合と分子の成り立ち1	対面授業	（予習）教科書「有機化学」の第1章を事前に読んでおくこと。（復習）WebClassで確認テストを受験すること。また、解答を確認し、講義内容を復習しておくこと。	90
	内容	化学結合と分子の成り立ち1 担当:杉浦 SBOs:C1(1)-①-1;C3(1)-①-3;C3(3)-①-1	講義・演習		
2回	テーマ	アルカンの命名	対面授業	（予習）講義資料を事前に読んでおくこと。（復習）WebClassで確認テストを受験すること。また、解答を確認し、講義内容を復習しておくこと。	90
	内容	炭化水素の構造とIUPAC命名法 担当:杉浦 SBOs:C3(1)-①-1,2	講義・演習		
3回	テーマ	有機反応と矢印	対面授業	（予習）講義資料を事前に読んでおくこと。（復習）WebClassで確認テストを受験すること。また、解答を確認し、講義内容を復習しておくこと。	90
	内容	有機反応の矢印による表現 担当:寒水 SBOs:大学独自5;C3(1)-①-9;C3(3)-①-1	講義・演習		
4回	テーマ	レポートの書き方1	対面授業	（予習）教科書「実験実習の基本とデータのまとめ方」の第3章を事前に読んでおくこと。（復習）次回までに文章表現演習問題の宿題およびエアー実験レポートの作成をしておくこと。	90
	内容	レポートの書き方の基本、科学文の基本 担当:杉浦 SBOs:大学独自7,8;A(5)-②-2	講義・演習		
5回	テーマ	レポートの書き方2	対面授業	（予習）教科書「実験実習の基本とデータのまとめ方」の第6・8章を事前に読んでおくこと。（復習）文章表現演習問題の採点済みの解答、改訂したエアー実験レポート、レポートチェック表を提出すること。	90
	内容	レポート作成の基本、表作成の基本、データ解析の基本 担当:杉浦 SBOs:大学独自7,8;A(5)-②-2	講義・演習		
6回	テーマ	基礎実験実習1	対面授業	（予習）教科書「薬学基礎化学演習 基礎化学実験」を事前に読んでおくこと。（復習）実験実習を踏まえて、レポートを作成し、提出すること。	90
	内容	基礎実験とレポート作成1 担当:下野・武知・月川・寒水・太田・杉浦 SBOs:大学独自7,8,9;A(5)-②-2	実習		
7回	テーマ	基礎実験実習2	対面授業	（予習）教科書「薬学基礎化学演習 基礎化学実験」を事前に読んでおくこと。（復習）実験実習を踏まえて、レポートを作成し、提出すること。	90
	内容	基礎実験とレポート作成2 担当:下野・武知・月川・寒水・太田・杉浦 SBOs:大学独自7,8,9;A(5)-②-3	実習		
8回	テーマ	量子化学	ハイフレックス（対面またはオンラインライブ授業）	（予習）講義資料を事前に読んでおくこと （復習）WebClassで確認テストを受験すること。また、解答を確認し、講義内容を復習しておくこと。	90
	内容	波と粒子の二重性、不確定性原理、波動関数 担当:下野 SBOs:大学独自3、C1(1)-③-1	講義・演習		
9回	テーマ	化学平衡、中和反応	ハイフレックス（対面またはオンラインライブ授業）	（予習）講義資料を事前に読んでおくこと （復習）WebClassで確認テストを受験すること。また、解答を確認し、講義内容を復習しておくこと。	90
	内容	化学平衡と平衡定数、酸と塩基の電離 担当:下野 SBOs:大学独自4,5,6;C2(2)-①-2	講義・演習		
10回	テーマ	緩衝液	ハイフレックス（対面またはオンラインライブ授業）	（予習）講義資料を事前に読んでおくこと （復習）WebClassで確認テストを受験すること。また、解答を確認し、講義内容を復習しておくこと。	90
	内容	pH変化による酸・塩基の電離平衡の移動、緩衝液 担当:下野 SBOs:大学独自5,6;C2(2)-①-2	講義・演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	実験レポート講評	対面授業	（復習）実験実習のレポートについて講評を行うので、レポート作成上の注意点を再確認し、不備がある場合は再提出すること。	90
	内容	実験レポートの講評 担当：下野・寒水・杉浦 SBOs：大学独自7,8;A(5)-②-2	講義・演習		

科目名	薬学基礎生物学◎（１薬）	開講学年	1	講義コード	1230301	区分	必修
英文表記	Biology	開講期	前期前半	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	大栗 誉敏

研究室	P338	オフィスアワー	時間が許す限りいつでも対応可

メールアドレス	ohkuri@ph.sojo-u.ac.jp

キーワード	生物

授業概要

本学科の人材育成の目標の一つは、医療分野で活躍できる薬剤師である。高度な知識を身につけた薬剤師を目指す学生には、生命活動の理解の基礎となる本科目は必要不可欠である。生物学は薬学を学ぶうえで重要な基礎学問である。この講義では、特に高校で生物を学んでいない学生に向け高校レベルの生物学を分かりやすく解説していく。また高校で生物を学んできた学生は復習としてしっかり理解し直し、さらなる発展的内容へ進むためにつなげていく。また、講義を通して様々な医薬分野における課題に対応できる基礎能力と現象を定性的に捉えられる汎用的解析能力を養う。 試験・小テスト・レポート等に対するフィードバックは講義を通じておこない、状況に応じて補講を設ける。

関連科目

薬学の生物系専門科目

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

教職関連区分

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	本科目を通して理解できたり、思ったりしたことを簡潔にまとめることができる。
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
27	68	0	0	0	0	5	0	100

教科書

コア講義 生物学　裳華房　田村隆明　　978-4-7853-5218-9

参考書

授業時に配布するプリントを使用する

予備知識	高校生物
実務経験のある教員	
評価明細基準	中間試験と定期試験の2回で評価する

学修上の注意 (SBOs)	遅刻は認めない　到達度目標　JABEE記号orコアカリ記号　1.「種」とは何か、説明できる。　大学独自1　2.　ヒトの生物分類上の階級について説明できる。　大学独自2　3.　原核生物と真核生物の違いについて説明できる。　大学独自3　4.　生物の分類における3つのドメインについてそれぞれ説明できる。　大学独自4　5.　対立遺伝子の概念について、説明できる。　大学独自5　6.　メンデルの3つの法則についてそれぞれ説明できる。　大学独自6　7.　特殊な遺伝を示す遺伝子について例を挙げ説明できる。　大学独自7　8.　遺伝子の実体は何か説明できる。　大学独自8　9.　細胞膜の構造について、説明できる。　大学独自9　10.　アミノ酸とタンパク質の関係を説明できる。　大学独自10　11.　DNAとRNAを構成するヌクレオチドの違いについて説明できる。　大学独自11　12.　DNAの構造について説明できる。　大学独自12　13.　ゲノムと遺伝子の違いについて説明できる。　大学独自13　14.　染色体の構造を説明できる。　大学独自14　15.　DNAの半保存的複製とは何か説明できる。　大学独自15　16.　リーディング鎖とラギング鎖におけるDNAの複製機構をそれぞれ説明できる。　大学独自16　17.　転写機構を説明できる。　大学独自17　18.　転写調節の必要性を説明できる。　大学独自18　19.　翻訳機構を説明できる。　大学独自19　20.　mRNA, tRNA, rRNAの役割についてそれぞれ説明できる。　大学独自20　21.　無性生殖と有性生殖についてそれぞれ説明できる。　大学独自21　22.　減数分裂のしくみについて説明できる。　大学独自22　23.　ヒトが個体になるまでの過程を説明できる。　大学独自23　24.　幹細胞と幹細胞の医療への応用について説明できる。　大学独自24　25.　酵素について説明できる。　大学独自25　26.　ATPとその必要性について説明できる。　大学独自26　27.　エネルギー代謝の大きな流れを説明できる。　大学独自27　28.　どのようにヒトはエネルギー源を貯蔵するか説明できる。　大学独自28　29.　内呼吸と外呼吸について説明できる。　大学独自29　30.　糖、蛋白質、脂質がどこでどのように消化吸収されるか説明できる。　大学独自30　31.　肝臓のはたらきを説明できる。　大学独自31　32.　腎臓のはたらきを説明できる。　大学独自32　33.　ホメオスタシスとは何か説明できる。　大学独自33　34.　浸透圧について説明できる。　大学独自34　35.　自律神経について説明できる。　大学独自35　36.　ホルモンについて説明できる。　大学独自36　37.　ウイルスと細菌の違いについて説明できる。　大学独自37　38.　抗生物質とは何か説明できる。　大学独自38　39.　獲得免疫について説明できる。　大学独自39　40.　アレルギーについて説明できる。　大学独自40　41.　植物における光合成の目的について説明できる。　大学独自41　42.　光合成の明反応と暗反応について説明できる。　大学独自42　43.　植物における窒素同化の目的としくみについて説明できる。　大学独自43　44.　個体群密度について説明できる。　大学独自44　45.　生物群集について説明できる。　大学独自45　46.　生態系とは何か説明できる。　大学独自46　47.　RNAワールド仮説について説明できる。　大学独自47　48.　ダーウィンの進化論について例を挙げ説明できる。　大学独自48　49.　系統樹とその見方について説明できる。　大学独自49

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	生物の種類	対面	教科書1章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。	30
	内容	生物種、生物の分類、生物のドメイン　SBOs:大学独自1ー4	講義		
2回	テーマ	遺伝と遺伝子	対面	教科書2章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	対立遺伝子、メンデルの法則　SBOs:大学独自5ー8	講義		
3回	テーマ	細胞とそこに含まれる物質	対面	教科書3章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	細胞膜の構造、蛋白質、核酸　SBOs:大学独自9ー12	講義		
4回	テーマ	DNA複製と細胞の増殖	対面	教科書4章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	ゲノム、遺伝子、染色体、DNA複製　SBOs:大学独自13ー16	講義		
5回	テーマ	遺伝子発現	対面	教科書5章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	転写、翻訳、RNAの役割　SBOs:大学独自17ー20	講義		
6回	テーマ	生殖と発生・分化	対面	教科書6章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	生殖、減数分裂、細胞分化　SBOs:大学独自21ー24	講義		
7回	テーマ	生命を支える化学反応	対面	教科書7章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出す。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決する。	120
	内容	酵素、ATP、エネルギー代謝　SBOs:大学独自25ー28	講義		
8回	テーマ	中間まとめ	対面	これまでの分からなかった所を見返し、本当に理解したか確認すること。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	1ー6回の解説	講義		
9回	テーマ	中間まとめ	対面	これまでの分からなかった所を見返し、本当に理解したか確認すること。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	中間試験	講義		
10回	テーマ	動物の器官	対面	教科書8章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	呼吸、消化吸収、肝臓、腎臓　SBOs:大学独自29ー32	講義		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	多細胞生物個体の統御	対面	教科書9章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	ホメオスタシス、浸透圧、自律神経、ホルモン　SBOs:大学独自33ー36	講義		
12回	テーマ	外的の侵入とその制御	対面	教科書10章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	ウイルスと細菌、免疫、アレルギー　SBOs:大学独自37ー40	講義		
13回	テーマ	植物の生き方	対面	教科書11章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	光合成、窒素同化　SBOs:大学独自41ー43	講義		
14回	テーマ	生物の進化	対面	教科書13章をしっかり読み、分からない所に線を引き、ノートに書き出すこと。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	生物進化、RNAワールド、系統樹　SBOs:大学独自47ー49	講義		
15回	テーマ	まとめ	対面	これまでの分からなかった所を見返し、本当に理解したか確認すること。 到達度目標を自分の言葉でまとめ、前回の疑問点を解決すること。	120
	内容	9ー14回の解説	講義		

科目名	薬学基礎物理学◎Ａ（１薬）	開講学年	1	講義コード	1230601	区分	必修
英文表記	pharmaceutical physics	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	1

担当教員	福島和洋（非常勤）　天本徳浩　町田光男（非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師室(福島和洋)　F802(天本徳浩)　本館1階 非常勤講師室(町田光男)	オフィスアワー	福島：授業終了後、天本：木曜5時限、町田：授業終了後

メールアドレス	fksm@kumamoto-u.ac.jp

キーワード	音波と光波　電気と磁気　運動　仕事とエネルギー　　教養的知識　数理スキル

授業概要	薬学は色々な学問から成り立っており、物理学もその1つとして重要である。高校で物理を履修していない学生、あるいは高校の物理学に関する知識や理解度が十分でない学生などを念頭において、薬学を学ぶために必須となる高校の物理学の基礎的事項を解説するとともに、本科目と並行して行われる薬学基礎物理学演習を通してそれらの知識が確実に身に付くようにする。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目
薬学基礎物理学演習

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c,g	①	薬学を学ぶための、力学、波動、電磁気学の基礎的知識を理解することができる。
c	②	力学、波動、電磁気学の基本的概念や法則を理解して、物理量の関係をグラフや数式、図等で表すことができる。
c,g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	25	0	0	0	5	0	100

教科書	薬学の基礎としての物理　学術図書出版社　大林康二 他 著

参考書	授業中に指示する

予備知識	1.高校の数学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を行う。（70点） 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（25点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（5点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本概念	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(1章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	物理量、スカラー量とベクトル量、有効数字	講義		
2回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1-3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力、力のつり合い、摩擦力	講義		
3回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4-9)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	速さと速度、加速度、加速度運動、力と運動、ニュートンの運動の法則、落体の運動	講義		
4回	テーマ	エネルギー	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1-2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	仕事、位置エネルギー、運動エネルギー、力学的エネルギーの保存則	講義		
5回	テーマ	波動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	波の表し方、波の重ね合わせ、回折、波の伝わり方、音波、光波	講義		
6回	テーマ	電荷と電流	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電荷・電場・電位、電流と抵抗、直流回路	講義		
7回	テーマ	電場と磁場	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と磁場	講義		
8回	テーマ	学習到達度判定	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成・提出	180
	内容	1.～7.のまとめと試験	講義、試験		

科目名	薬学基礎物理学◎Ｂ（１薬）	開講学年	1	講義コード	1230602	区分	必修
英文表記	pharmaceutical physics	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	1

担当教員	福島和洋（非常勤）　天本徳浩　町田光男（非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師室(福島和洋)　F802(天本徳浩)　本館1階 非常勤講師室(町田光男)	オフィスアワー	福島：授業終了後、天本：木曜5時限、町田：授業終了後

メールアドレス	fksm@kumamoto-u.ac.jp

キーワード	音波と光波　電気と磁気　運動　仕事とエネルギー　　教養的知識　数理スキル

授業概要	薬学は色々な学問から成り立っており、物理学もその1つとして重要である。高校で物理を履修していない学生、あるいは高校の物理学に関する知識や理解度が十分でない学生などを念頭において、薬学を学ぶために必須となる高校の物理学の基礎的事項を解説するとともに、本科目と並行して行われる薬学基礎物理学演習を通してそれらの知識が確実に身に付くようにする。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目
薬学基礎物理学演習

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c,g	①	薬学を学ぶための、力学、波動、電磁気学の基礎的知識を理解することができる。
c	②	力学、波動、電磁気学の基本的概念や法則を理解して、物理量の関係をグラフや数式、図等で表すことができる。
c,g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	25	0	0	0	5	0	100

教科書	薬学の基礎としての物理　学術図書出版社　大林康二 他 著

参考書	授業中に指示する

予備知識	1.高校の数学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を行う。(70点)　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(25点)　3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(5点)　4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本概念	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(1章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	物理量、スカラー量とベクトル量、有効数字	講義		
2回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1-3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力、力のつり合い、摩擦力	講義		
3回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4-9)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	速さと速度、加速度、加速度運動、力と運動、ニュートンの運動の法則、落体の運動	講義		
4回	テーマ	エネルギー	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1-2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	仕事、位置エネルギー、運動エネルギー、力学的エネルギーの保存則	講義		
5回	テーマ	波動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	波の表し方、波の重ね合わせ、回折、波の伝わり方、音波、光波	講義		
6回	テーマ	電荷と電流	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電荷・電場・電位、電流と抵抗、直流回路	講義		
7回	テーマ	電場と磁場	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と磁場	講義		
8回	テーマ	学習到達度判定	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成・提出	180
	内容	1.～7.のまとめと試験	講義、試験		

科目名	薬学基礎物理学◎C（1薬）	開講学年	1	講義コード	1230603	区分	必修
英文表記	pharmaceutical physics	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	1

担当教員	福島和洋（非常勤）　天本徳浩　町田光男（非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師室(福島和洋)　F802(天本徳浩)　本館1階 非常勤講師室(町田光男)	オフィスアワー	福島：授業終了後、天本：木曜5時限、町田：授業終了後

メールアドレス	fksm@kumamoto-u.ac.jp

キーワード	音波と光波　電気と磁気　運動　仕事とエネルギー　　教養的知識　数理スキル

授業概要	薬学は色々な学問から成り立っており、物理学もその1つとして重要である。高校で物理を履修していない学生、あるいは高校の物理学に関する知識や理解度が十分でない学生などを念頭において、薬学を学ぶために必須となる高校の物理学の基礎的事項を解説するとともに、本科目と並行して行われる薬学基礎物理学演習を通してそれらの知識が確実に身に付くようにする。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目
薬学基礎物理学演習

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c,g	①	薬学を学ぶための、力学、波動、電磁気学の基礎的知識を理解することができる。
c	②	力学、波動、電磁気学の基本的概念や法則を理解して、物理量の関係をグラフや数式、図等で表すことができる。
c,g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	25	0	0	0	5	0	100

教科書	薬学の基礎としての物理　学術図書出版社　大林康二 他 著

参考書	授業中に指示する

予備知識	1.高校の数学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を行う。（70点） 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。（25点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（5点） 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本概念	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(1章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	物理量、スカラー量とベクトル量、有効数字	講義		
2回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1-3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力、力のつり合い、摩擦力	講義		
3回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4-9)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	速さと速度、加速度、加速度運動、力と運動、ニュートンの運動の法則、落体の運動	講義		
4回	テーマ	エネルギー	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1-2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	仕事、位置エネルギー、運動エネルギー、力学的エネルギーの保存則	講義		
5回	テーマ	波動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	波の表し方、波の重ね合わせ、回折、波の伝わり方、音波、光波	講義		
6回	テーマ	電荷と電流	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電荷・電場・電位、電流と抵抗、直流回路	講義		
7回	テーマ	電場と磁場	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と磁場	講義		
8回	テーマ	学習到達度判定	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成・提出	180
	内容	1.～7.のまとめと試験	講義、試験		

科目名	薬学基礎物理学演習◎Ａ（１薬）	開講学年	1	講義コード	1230701	区分	必修
英文表記	pharmaceutical physics exercises	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	1

担当教員	福島和洋（非常勤）　天本徳浩　町田光男（非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師室(福島和洋)　F802(天本徳浩)　本館1階 非常勤講師室(町田光男)	オフィスアワー	福島：授業終了後、天本：木曜5時限、町田：授業終了後

メールアドレス	fksm@kumamoto-u.ac.jp

キーワード	音波と光波　電気と磁気　運動　仕事とエネルギー　　教養的知識　数理スキル

授業概要	薬学は色々な学問から成り立っており、物理学もその1つとして重要である。高校で物理学を履修していない学生、あるいは高校の物理学に関する知識や理解度が十分でない学生などを念頭において、薬学を学ぶために必須となる高校の物理学の基礎的事項について、本科目と並行して行われる薬学基礎物理学で学ぶ知識が確実に身に付くように演習を行なう。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目
薬学基礎物理学

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c,g	①	薬学を学ぶための、力学、波動、電磁気学の基礎的知識を理解することができる。
c	②	力学、波動、電磁気学の基本的概念や法則を理解して、物理量の関係をグラフや数式、図等で表すことができる。
c,g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	35	35	25	0	0	0	5	0	100

教科書	薬学の基礎としての物理　学術図書出版社　大林康二 他 著

参考書	授業中に指示する

予備知識	1.高校の数学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(25点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(5点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本概念	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(1章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	物理量、スカラー量とベクトル量、有効数字	演習		
2回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1-3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力、力のつり合い、摩擦力	演習		
3回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4-6)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	速さと速度、加速度、加速度運動	演習		
4回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.7-9)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力と運動、ニュートンの運動の法則、落体の運動	演習		
5回	テーマ	エネルギー	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	仕事	演習		
6回	テーマ	エネルギー	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	位置エネルギー、運動エネルギ	演習		
7回	テーマ	エネルギー	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則	演習		
8回	テーマ	学習到達度判定	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～7.の内容に関する中間試験とまとめを行う。	試験		
9回	テーマ	波動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 4.1-3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	波の表し方、波の重ね合わせ、回折、波の伝わり方	演習		
10回	テーマ	波動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 4.4-5)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	音波、光波	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	電荷と電流	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 6.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電荷･電場･電位	演習		
12回	テーマ	電荷と電流	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 6.2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と抵抗	演習		
13回	テーマ	電荷と電流	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 6.3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	直流回路	演習		
14回	テーマ	電場と磁場	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と磁場Ⅰ	演習		
15回	テーマ	電場と磁場	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と磁場Ⅱ	演習		
16回	テーマ	学習到達度判定	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成･提出	180
	内容	試験と総括	試験、講義		

科目名	薬学基礎物理学演習◎Ｂ（１薬）	開講学年	1	講義コード	1230702	区分	必修
英文表記	pharmaceutical physics exercises	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	1

担当教員	福島和洋（非常勤）　天本徳浩　町田光男（非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師室(福島和洋)　F802(天本徳浩)　本館1階 非常勤講師室(町田光男)	オフィスアワー	福島：授業終了後、天本：木曜5時限、町田：授業終了後

メールアドレス	fksm@kumamoto-u.ac.jp

キーワード	音波と光波　電気と磁気　運動　仕事とエネルギー　　教養的知識　数理スキル

授業概要	薬学は色々な学問から成り立っており、物理学もその1つとして重要である。高校で物理学を履修していない学生、あるいは高校の物理学に関する知識や理解度が十分でない学生などを念頭において、薬学を学ぶために必須となる高校の物理学の基礎的事項について、本科目と並行して行われる薬学基礎物理学で学ぶ知識が確実に身に付くように演習を行なう。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目
薬学基礎物理学

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c,g	①	薬学を学ぶための、力学、波動、電磁気学の基礎的知識を理解することができる。
c	②	力学、波動、電磁気学の基本的概念や法則を理解して、物理量の関係をグラフや数式、図等で表すことができる。
c,g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	35	35	25	0	0	0	5	0	100

教科書	薬学の基礎としての物理　学術図書出版社　大林康二 他 著

参考書	授業中に指示する

予備知識	1.高校の数学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点)　2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(25点)　3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(5点)　4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本概念	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(1章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	物理量、スカラー量とベクトル量、有効数字	演習		
2回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1-3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力、力のつり合い、摩擦力	演習		
3回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4-6)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	速さと速度、加速度、加速度運動	演習		
4回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.7-9)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力と運動、ニュートンの運動の法則、落体の運動	演習		
5回	テーマ	エネルギー	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	仕事	演習		
6回	テーマ	エネルギー	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	位置エネルギー、運動エネルギ	演習		
7回	テーマ	エネルギー	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則	演習		
8回	テーマ	学習到達度判定	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～7.の内容に関する中間試験とまとめを行う。	試験		
9回	テーマ	波動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 4.1-3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	波の表し方、波の重ね合わせ、回折、波の伝わり方	演習		
10回	テーマ	波動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 4.4-5)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	音波、光波	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	電荷と電流	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 6.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電荷･電場･電位	演習		
12回	テーマ	電荷と電流	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 6.2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と抵抗	演習		
13回	テーマ	電荷と電流	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 6.3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	直流回路	演習		
14回	テーマ	電場と磁場	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と磁場Ⅰ	演習		
15回	テーマ	電場と磁場	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と磁場Ⅱ	演習		
16回	テーマ	学習到達度判定	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成･提出	180
	内容	試験と総括	試験、講義		

科目名	薬学基礎物理学演習◎C（1薬）	開講学年	1	講義コード	1230703	区分	必修
英文表記	pharmaceutical physics exercises	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	1

担当教員	福島和洋（非常勤）　天本徳浩　町田光男（非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師室(福島和洋)　F802(天本徳浩)　本館1階 非常勤講師室(町田光男)	オフィスアワー	福島：授業終了後、天本：木曜5時限、町田：授業終了後

メールアドレス	fksm@kumamoto-u.ac.jp

キーワード	音波と光波　電気と磁気　運動　仕事とエネルギー　　教養的知識　数理スキル

授業概要	薬学は色々な学問から成り立っており、物理学もその1つとして重要である。高校で物理学を履修していない学生、あるいは高校の物理学に関する知識や理解度が十分でない学生などを念頭において、薬学を学ぶために必須となる高校の物理学の基礎的事項について、本科目と並行して行われる薬学基礎物理学で学ぶ知識が確実に身に付くように演習を行なう。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目
薬学基礎物理学

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c,g	①	薬学を学ぶための、力学、波動、電磁気学の基礎的知識を理解することができる。
c	②	力学、波動、電磁気学の基本的概念や法則を理解して、物理量の関係をグラフや数式、図等で表すことができる。
c,g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	35	35	25	0	0	0	5	0	100

教科書	薬学の基礎としての物理　学術図書出版社　大林康二 他 著

参考書	授業中に指示する

予備知識	1.高校の数学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(25点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(5点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本概念	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(1章)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	物理量、スカラー量とベクトル量、有効数字	演習		
2回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.1-3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力、力のつり合い、摩擦力	演習		
3回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.4-6)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	速さと速度、加速度、加速度運動	演習		
4回	テーマ	運動の法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(2章 2.7-9)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力と運動、ニュートンの運動の法則、落体の運動	演習		
5回	テーマ	エネルギー	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	仕事	演習		
6回	テーマ	エネルギー	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	位置エネルギー、運動エネルギ	演習		
7回	テーマ	エネルギー	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(3章 3.2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則	演習		
8回	テーマ	学習到達度判定	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～7.の内容に関する中間試験とまとめを行う。	試験		
9回	テーマ	波動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 4.1-3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	波の表し方、波の重ね合わせ、回折、波の伝わり方	演習		
10回	テーマ	波動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 4.4-5)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	音波、光波	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	電荷と電流	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 6.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電荷･電場･電位	演習		
12回	テーマ	電荷と電流	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 6.2)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と抵抗	演習		
13回	テーマ	電荷と電流	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 6.3)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	直流回路	演習		
14回	テーマ	電場と磁場	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と磁場Ⅰ	演習		
15回	テーマ	電場と磁場	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章 7.1)。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	電流と磁場Ⅱ	演習		
16回	テーマ	学習到達度判定	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成･提出	180
	内容	試験と総括	試験、講義		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎M（1機宇）	開講学年	1	講義コード	1250101	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎A（1機宇）	開講学年	1	講義コード	1250102	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎C（1機宇）	開講学年	1	講義コード	1250103	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2	
JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎H（1機宇）	開講学年	1	講義コード	1250104	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎Ⅰ（1機字）	開講学年	1	講義コード	1250105	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	
	JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎N（1機宇）	開講学年	1	講義コード	1250106	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	
	JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎C（1ナ建）	開講学年	1	講義コード	1250107	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎O（１ナ建）	開講学年	1	講義コード	1250108	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎N（1ナ建）	開講学年	1	講義コード	1250109	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎S（1ナ建）	開講学年	1	講義コード	1250110	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎T（1ナ建）	開講学年	1	講義コード	1250111	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2
担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)						
研究室	MSTeamsを確認すること			オフィスアワー	MSTeamsを確認すること		
メールアドレス	MSTeamsを確認すること@						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills						

授業概要

英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書

参考書

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎N（1生物）	開講学年	1	講義コード	1250112	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	
	JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎A（1生物）	開講学年	1	講義コード	1250113	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎T（1生物）	開講学年	1	講義コード	1250114	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	
	JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎U（1生物）	開講学年	1	講義コード	1250115	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎R（1生物）	開講学年	1	講義コード	1250116	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	
	JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance (PCHAT)	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎E（1生物）	開講学年	1	講義コード	1250117	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎C（1情）	開講学年	1	講義コード	1250118	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎O（1情）	開講学年	1	講義コード	1250119	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎M（1情）	開講学年	1	講義コード	1250120	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎P（1情）	開講学年	1	講義コード	1250121	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎U（1情）	開講学年	1	講義コード	1250122	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A2	A2
		JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎T（1情）	開講学年	1	講義コード	1250123	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎D（1美デ）	開講学年	1	講義コード	1250124	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎R（1美デ）	開講学年	1	講義コード	1250125	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎A（1美デ）	開講学年	1	講義コード	1250126	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎D（1薬）	開講学年	1	講義コード	1250127	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎R（1薬）	開講学年	1	講義コード	1250128	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 音楽 Music 内容 (練習Practice)　計画と練習Planning and practice	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
12回	テーマ 音楽 Music 内容 (実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
13回	テーマ 復習 内容 復習Review & Consolidation	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
14回	テーマ テスト 内容 Mid-term Exam 中間試験	遠隔授業 試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
15回	テーマ テスト 内容 トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
16回	テーマ スポーツとエクササイズ Sports & Exercise 内容 (準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
17回	テーマ スポーツとエクササイズ Sports & Exercise 内容 (練習Practice)　計画と練習Planning and practice	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
18回	テーマ スポーツとエクササイズ Sports & Exercise 内容 (実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
19回	テーマ 映画 Movies 内容 (準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
20回	テーマ 映画 Movies 内容 (練習Practice)　計画と練習Planning and practice	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎U（1薬）	開講学年	1	講義コード	1250129	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎G（1薬）	開講学年	1	講義コード	1250130	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 音楽 Music 内容 (練習Practice)　計画と練習Planning and practice	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
12回	テーマ 音楽 Music 内容 (実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
13回	テーマ 復習 内容 復習Review & Consolidation	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
14回	テーマ テスト 内容 Mid-term Exam 中間試験	遠隔授業 試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
15回	テーマ テスト 内容 トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
16回	テーマ スポーツとエクササイズ Sports & Exercise 内容 (準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
17回	テーマ スポーツとエクササイズ Sports & Exercise 内容 (練習Practice)　計画と練習Planning and practice	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
18回	テーマ スポーツとエクササイズ Sports & Exercise 内容 (実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
19回	テーマ 映画 Movies 内容 (準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
20回	テーマ 映画 Movies 内容 (練習Practice)　計画と練習Planning and practice	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ◎S（1薬）	開講学年	1	講義コード	1250131	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	
	JABEE基準		f,g	f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 音楽 Music 内容 (練習Practice)　計画と練習Planning and practice	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
12回	テーマ 音楽 Music 内容 (実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
13回	テーマ 復習 内容 復習Review & Consolidation	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
14回	テーマ テスト 内容 Mid-term Exam 中間試験	遠隔授業 試験	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
15回	テーマ テスト 内容 トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
16回	テーマ スポーツとエクササイズ Sports & Exercise 内容 (準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
17回	テーマ スポーツとエクササイズ Sports & Exercise 内容 (練習Practice)　計画と練習Planning and practice	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
18回	テーマ スポーツとエクササイズ Sports & Exercise 内容 (実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
19回	テーマ 映画 Movies 内容 (準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
20回	テーマ 映画 Movies 内容 (練習Practice)　計画と練習Planning and practice	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅠ（英語Ⅰ）◎（再履修）	開講学年	1	講義コード	1250132	区分	必修
英文表記	English Communication 1	開講期	前期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア・エルトン 他 LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　自己管理型学習 self-directed learning　コミュニケーション能力 communication skills

授業概要	英語コミュニケーションⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 1 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅡ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（家族、趣味、学校、教育）に関するトピックについて簡単な英会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (family, free time, school and education).
f,g	②	自身の身の周りに関する表現や使用頻度の高い単語を理解し活用する事ができる。I can both understand and use words and phrases that pertain to areas of immediate personal relevance.
f,g	③	対面式の会話においてパートナーと会話を開始し、会話内容を広げて継続し、会話を終えることができる。I can initiate, maintain and close simple face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	高校までに学んだ英語知識 High school English
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意

(SBOs)

授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.
学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	崇城大学での英語の学習方法 How to study English Communication at Sojo	演習		
2回	テーマ	自己紹介 Self-introductions	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	個人情報 Exchanging personal information	演習		
3回	テーマ	スキルと能力 Skills and Abilities	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	練習と実践Practice and performance（PCHAT）	演習		
4回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	家族 Talking about your family	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	家族 Talking about your family	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
7回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	趣味 Hobbies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	趣味 Hobbies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	音楽 Music	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	音楽 Music	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation　小テスト	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	Mid-term Exam 中間試験	試験		
15回	テーマ	テスト	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	トランスクリプト準備と試験結果のフィードバック Transcript preparation and feedback on exam results	演習		
16回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
17回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
18回	テーマ	スポーツとエクササイズ Sports & Exercise	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
19回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
20回	テーマ	映画 Movies	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	映画 Movies	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
22回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
23回	テーマ	学校と教育 School and Education	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and Practice	演習		
24回	テーマ	学校と教育 School and Education	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
25回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
26回	テーマ	食べ物 Food	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
27回	テーマ	食べ物 Food	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation 小テスト	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	振り返りと自己評価	対面授業	未完了の課題を完成させるcompletion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎M（２機）	開講学年	2	講義コード	1250301	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎A（２機）	開講学年	2	講義コード	1250302	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎C（２機）	開講学年	2	講義コード	1250303	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎C（２建）	開講学年	2	講義コード	1250304	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎O（２建）	開講学年	2	講義コード	1250305	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します: Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎N（２建）	開講学年	2	講義コード	1250306	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)						
研究室	MSTeamsを確認すること			オフィスアワー	MSTeamsを確認すること		
メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.						
キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力						

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎S（２ナ）	開講学年	2	講義コード	1250307	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎T（２ナ）	開講学年	2	講義コード	1250308	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅢ◎N（２生物）	開講学年	2	講義コード	1250309	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅢ◎Ａ（２生物）	開講学年	2	講義コード	1250310	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)		
研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること
メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.		
キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力		

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A2	A2
		JABEE基準		f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅢ◎T（２生物）	開講学年	2	講義コード	1250311	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)						
研究室	MSTeamsを確認すること			オフィスアワー	MSTeamsを確認すること		
メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.						
キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力						

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅢ◎U（２生物）	開講学年	2	講義コード	1250312	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)						
研究室	MSTeamsを確認すること			オフィスアワー	MSTeamsを確認すること		
メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.						
キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力						

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A2	A2
		JABEE基準		f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅢ◎R（２生物）	開講学年	2	講義コード	1250313	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅢ◎E（２生物）	開講学年	2	講義コード	1250314	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎H（２宇）	開講学年	2	講義コード	1250315	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎I（２宇）	開講学年	2	講義コード	1250316	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎（２字）（操縦専用）	開講学年	2	講義コード	1250317	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン Rowberry, Jon

研究室	SILC 301	オフィスアワー	水昼・木3限

メールアドレス	jrowberry@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	自己管理型学習 self-directed learning　自己評価 self-evaluation　学習者の動機 learner motivation　語学学習の目標 language learning goals　時間管理 time management　国際共通語としての英語 English as a lingua franca　コラボレーション collaboration　リーダーシップ leadership

授業概要	このコースの目的は、効果的な自立した生涯語学学習者になるためのサポートをすることです。このコースでは、自分の将来のニーズに合った、達成可能な語学学習の目標を設定し、それに向かって努力します。目標設定、適切なリソースの特定、学習時間の管理、モチベーションの維持、進捗状況の評価、学習プロセスの振り返りなど、様々なストラテジーが紹介されます。学期中には、個々のニーズ、興味、関心に応じた英語の学習計画を立て、実行する。 学期中に少なくとも3回、教師との個人面談があり、自己学習について話し合い、フィードバックを受けることができます。 The objective of this course is to support you to become an effective independent and lifelong language learner. You wil l identify and work towards language learning goals that are attainable and relevant to your future need s. You will be introduced to various strategies to help you set goals, identify resources, manage your stu dy time, maintain your motivation, evaluate progress, and reflect on the learning process. Over the sem ester you will develop and implement an extended English study plan according to your needs, interest s, and preferences. You will have at least three individual meetings with your teacher during the semes ter in which your will discuss and get feedback on your self-directed learning.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	I can plan my language learning. 自分で語学学習の計画を立てることが出来る。
f,g	②	I can use my time well. 自分の時間を上手に使うことが出来る。
f,g	③	I can find suitable resources. 自分に合った学習リソースを探すことが出来る。
f,g	④	I can reflect on my language learning. 自分の学習を振り返ることが出来る。
f,g	⑤	I can enjoy language learning. 自分で学習の計画を立てることが出来る。
f,g	⑥	I can explain to others how I study and why I study that way. 自分がどのように勉強しているか、なぜそのように勉強しているかを他人に説明できる

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	10	30	0	60	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： Mid-term video presentation (成果発表 15). Make a short video in English to introduce a language learning resource or activity. 言語学習教材やアクティビティを紹介するための短いビデオを英語で作成する。 Final poster presentation and report (成果発表 15 + レポート10). Submit a report in English and deliver a poster presentation on the topic “Me as a Language Learner” 英語でレポートを提出し、"Me as a Language Learner "というテーマでポスター発表を行う。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 50). SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。There are 10 self-directed learning portfolio submissions, each worth 5 points. 自己学習型ポートフォリオの提出は10回です。(10x5点) SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10)

学修上の注意 (SBOs)	Lessons are conducted mainly in English, and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. 授業は主に英語で行われ、先生やクラスメートと最大限に英語でコミュニケーションをとることが求められます。 Sometimes you will do learning activities in class in groups under the direct supervision of the teacher; at other times you will work independently on your learning plans using online resources or materials and services from the SILC's self-access learning center (SALC). You will also need to continue working on your learning plans outside of scheduled class periods. 授業では、教師の直接指導のもと、グループで学習活動を行うこともあります。また、オンラインリソースやSILCのセルフアクセス・ラーニングセンター（SALC）の教材やサービスを利用して、自主的に学習計画に取り組むこともあります。また、授業時間外にも学習計画に取り組む必要があります。 You must bring a computer and earphones with a microphone to each class. 各授業には、パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。 If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. 定期的に、時間通りに授業に出席しなければ、合格することはできません。 If you are absent, you must contact your teacher to catch up any work missed. 欠席した場合は、必ず担任の先生に連絡を取り、休んだ分の課題を取り戻さなければなりません。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	My Language Learning History	対面	Read and check understanding of EC3 syllabus	45
	内容	1a Course orientation; reflect on previous experiences of languag e learning; language learner motivation (motivation graph)	講義 演習		
2回	テーマ	SALC orientation	対面	Conversation Lounge / Skills Center.	45
	内容	1b How to use self-access center resources and services.	実習		
3回	テーマ	Planning learning	対面	Self-introduction video	45
	内容	2a Setting learning goals; identifying materials and methods; time management;	演習・SGD		
4回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	Self-directed learning	45
	内容	3b Self-directed learning plan 1 and reflect on your learning.	演習		
5回	テーマ	Reflecting on learning	対面	Self-directed learning	45
	内容	3a How to keep study notes, how to write a learning reflection; as sessing my self-directed learning	講義・ 演習		
6回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	Self-directed learning	45
	内容	3b Do self-directed learning plan 2 and reflect on your learning.	演習		
7回	テーマ	Evaluating Learning Resources	対面	Self-directed learning	45
	内容	4a How to choose and evaluate resources for language learning.	講義・ 演習		
8回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	Self-directed learning	45
	内容	4b Do self-directed learning plan 3 and reflect on your learning.	演習		
9回	テーマ	Vocabulary	対面	Self-directed learning	45
	内容	5a. How to study English vocabulary effectively	講義・ 演習・ SGD		
10回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	Self-directed learning	45
	内容	5b Do self-directed learning plan 4 and reflect on your learning.	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	Listening	対面	Self-directed learning	45
	内容	6a. How to develop English listenig skills	講義・ 演習・ SGD		
12回	テーマ	Self-Directed Learning 5	対面	Self-directed learning	45
	内容	6b Do self-directed learning plan 5 and reflect on your learning.	演習		
13回	テーマ	Global English	対面	Self-directed learning	45
	内容	7a Understanding English speakers from different parts of the world	講義・ 演習・ SGD		
14回	テーマ	How I like to Study English	対面	Finish and submit mid-term video presentation	45
	内容	7b Prepare mid-term video presentation about recommended activities and resources for studying English	演習		
15回	テーマ	Mid-Semester Video Presentation	対面	Peer feedback on mid-term presentations	45
	内容	8a Video Presentation: My recommended study method View and discuss classmates' video presentations	演習・SGD		
16回	テーマ	Self-Directed Learning 6	対面	Self-directed learning	45
	内容	8b Do self-directed learning plan 6 and reflect on your learning.	演習		
17回	テーマ	Reading 1: Extensive Reading (多読)	対面	Self-directed learning	45
	内容	9a Developing Reading Skills 1: Extensive Reading	講義・ 演習・ SGD		
18回	テーマ	Self-Directed Learning 7	対面	Self-directed learning	45
	内容	9b Do self-directed learning plan 7 and reflect on your learning.	演習		
19回	テーマ	Reading 2: Intensive Reading (精読)	対面	Self-directed learning	45
	内容	10a Developing Reading Skills 1: Intensive Reading	講義・ 演習・ SGD		
20回	テーマ	Self-Directed Learning 8	対面	Self-directed learning	45
	内容	10b Do self-directed learning plan 8 and reflect on your learning.	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Speaking	対面	Self-directed learning	45
	内容	11a Developing English speaking skills	講義・ 演習・ SGD		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 9	対面	Self-directed learning	45
	内容	11b Do self-directed learning plan 9 and reflect on your learning.	演習		
23回	テーマ	Working with Others	対面	Self-directed learning	45
	内容	12a Effective group work, demonstrating leadership, working in an international team	講義・ 演習・ SGD		
24回	テーマ	Self-Directed Learning 10	対面	Self-directed learning	45
	内容	12b Do self-directed learning plan 10 and reflect on your learning.	演習		
25回	テーマ	Evaluating Learning	対面	Self-directed learning	45
	内容	13a How to evaluate your progress and direct your future learning	講義・ 演習		
26回	テーマ	Writing	対面	Individual progress review	45
	内容	13b Developing writing skills Prepare final written report: Me as a Language Learner	演習		
27回	テーマ	Poster Presentation Preparation	対面	Prepare poster presentation	45
	内容	14a Advice for a successful poster presentation (for both presenter and audience)	演習		
28回	テーマ	Poster Presentation Practice	対面	Presentation practice	45
	内容	14b Feedback on written report Practice poster presentation	演習・AL		
29回	テーマ	Final Presentation	対面	Prepare first draft of final report	45
	内容	15a Me as a Language Learner poster presentations; ask and answer questions on your presentation; self- and peer-evaluation.	演習・AL		
30回	テーマ	Reflection and Evaluation	対面	Completion of unfinished work	45
	内容	15b Reflect and provide feedback on the EC3 course; plan self-directed learning for the summer vacation. Teacher feedback on report and presentation.	AL・ 演習・SGD		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎C（２情）	開講学年	2	講義コード	1250318	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎O（２情）	開講学年	2	講義コード	1250319	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎M（２情）	開講学年	2	講義コード	1250320	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎P（２情）	開講学年	2	講義コード	1250321	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎U（２情）	開講学年	2	講義コード	1250322	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎T（２情）	開講学年	2	講義コード	1250323	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎D（２美デ）	開講学年	2	講義コード	1250324	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅢ◎R（２美デ）	開講学年	2	講義コード	1250325	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)						
研究室	MSTeamsを確認すること			オフィスアワー	MSTeamsを確認すること		
メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.						
キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力						

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎A（２美デ）	開講学年	2	講義コード	1250326	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎D（２薬）	開講学年	2	講義コード	1250327	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎R（２薬）	開講学年	2	講義コード	1250328	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎U（２薬）	開講学年	2	講義コード	1250329	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎G（２薬）	開講学年	2	講義コード	1250330	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎S（２薬）	開講学年	2	講義コード	1250331	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目

英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションIII◎（再履修）	開講学年	2	講義コード	1250332	区分	必修
英文表記	English Communication 3	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry, Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	学問分野 Academic Field　アカデミックスキル Academic Skills　調査報告書 Survey Report　データ分析 Data Analysis　持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals (SDG)　自己管理型学習 Self-Directed Learning　学習者の動機 Learner Motivation　言語学習リソース Language Learning Resources　自己評価 Self-Evaluation　Communication ability コミュニケーション能力

授業概要	自身の専門分野に関する話題に関する言語を中心に行います。簡単な調査を実施し、その結果を口頭と文書で報告していただきます。 You will focus on topics and language connected to your field of study. You will conduct a simple survey and report your findings both orally and in writing.　多様な英文を読む実践に向けて多読、速読など様々な読解スキル練習を行います。 You will practice a variety of reading techniques to help prepare you to read diverse texts in English.　自律学習ユニットでは、ライティング、スピーキング、TOEICなど、各自が自身の学習ニーズや興味のある分野を中心に学習します。 You will undertake a unit in self-directed language learning in which you can focus on an area such as writing, speaking or TOEIC according to your own individual needs and interests.

関連科目
英語 I　英語 II　英語 IV

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			f ,g	f ,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	私の専門分野に関する簡単で多様な英語文章を理解し、話し合うことができまる。I can understand and discuss a variety of simple English texts related to my field of study
f,g	②	簡単な調査を実施し、その結果を報告書にまとめたり発表を行うことができる。I can conduct a simple survey and report my findings as both a written report and an oral presentation.
f,g	③	自分の学習ニーズ、スキルや興味に適切な学習を自分自身で実施することができる。I can direct my own language learning according to my needs, abilities and interests.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	0	10	10	10	0	45	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：Vocabulary tests (小テスト 10) ボキャブラリーテストは学期を通して、自分の専門分野に関連した単語や他の重要単語について練習するために行います。 In-class reading activities (その他10) 授業内読書課題 Mid-term reading assessment (中間試験 15) 中間試験リーディング評価 Survey report and presentation (レポート10 + 口頭発表10) SDGに関連するテーマで研究報告・発表を行います。 Self-directed learning portfolio (ポートフォリオ 25) SDLポートフォリオには自律学習計画とその振り返りを含みます。 SOJO Portfolio (ポートフォリオ 10) SOJOポートフォリオ PraxisEd (その他10) オンライン単語課題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。英語IIIの宿題として単語を練習する必要があり、自律学修センター（SALC)の教材やカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 3, you need to practice vocabulary for homework and we encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and the Skills Center.　12ヵ月分のPraxisEd の使用登録が必要です。大学内書店で12か月分の使用登録カードは購入できます。 You need a 12-month subscription to PraxisEd (praxised.com). You can buy subscription cards from the university bookshop.　授業には毎回パソコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You must bring a computer and earphones with a microphone to every class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション 自己紹介 Self-introductions 夏休みの話 Talking about the summer vacation	講義 演習		
2回	テーマ	My Major 1: Reading Strategies	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 1 What do you study? 自分の学問分野について語る Intensive Reading Strategies精読導入:リーディング方略	演習		
3回	テーマ	My Major 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 2 文書読解1・語彙リスト1 Reading & Vocabulary 1（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
4回	テーマ	My Major 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 3 大学生活 My University Life 崇城大学での生活について語る	演習		
5回	テーマ	My Major 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 4 文書読解2・語彙リスト2 Reading & Vocabulary 2（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
6回	テーマ	My Major 5	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 5 文書読解3・語彙リスト3 Reading & Vocabulary 3（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
7回	テーマ	My Major 6	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 6 簡単な調査実施 Conducting a simple survey	実習		
8回	テーマ	My Major 7	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 7 調査レポートライティング Writing a survey report	演習		
9回	テーマ	My Major 8	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 8 文書読解4・語彙リスト4 Reading & Vocabulary 4（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		
10回	テーマ	My Major 9	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 9 文書読解5・語彙リスト5 Reading & Vocabulary 5（学科によりテーマや語彙は異なる）	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Major 10	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の専攻 10 1-9を見直す。中間テストに向けた総合的な読解力を養う。 Review and preparation for mid-term test	演習		
12回	テーマ	読解テスト Mid-term test	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	読解評価 Reading assessment and evaluation (フィードバックはセッション14で行う)	演習		
13回	テーマ	Survey Project 1: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 1 SDGに関連する読解と語彙Reading and vocabulary related to SDGs 先生からの中間フィードバック Mid-term teacher feedback	演習		
14回	テーマ	Survey Project 2: SDGs	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 2 SDGに関連する読解と語彙 Reading and vocabulary related to SDGs	演習		
15回	テーマ	Survey Project 3: Topic	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 3 調査テーマを決め､調査票を作成する。 Choose research topic and prepare survey.	実習 ・AL・ PBL		
16回	テーマ	Survey Project 4: Survey	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 4 調査を行う Conduct survey	実習 ・ PBL・ AL		
17回	テーマ	Survey Project 5: Results	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 5 調査結果の分析 Analyze survey results	実習 ・ PBL・ AL		
18回	テーマ	Survey Project 6: Report	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 6 調査報告書の作成 Write survey report	PBL・AL		
19回	テーマ	Survey Project 7: Preparation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	調査プロジェクト 7 プレゼンの準備と練習 Prepare and practice presentation	PBL・AL		
20回	テーマ	Survey Project 8: Presentation	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	プロジェクト 8 プレゼンを行う Presentation and Feedback (クラスメートや先生からのフィードバック)	実習・AL		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	SDL 1: Planning Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習1 自己学習サイクル (目標 / 計画 / 行動 / 反映) Self-directed learning cycle (Goal / Plan / Do / Reflect) 今までの語学学習の経験 Previous experiences of language learning	AL・演習		
22回	テーマ	SDL 2: Materials and Methods	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習2 自己学習教材・方法の選択 Selecting self-directed learning materials and methods	演習・e-L・AL		
23回	テーマ	SDL 3: Learning Cycle 1	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習3 各自学習計画と振り返り 1 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
24回	テーマ	SDL 4: Evaluating Learning	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習4 自己学習の振り返りと成果の評価 Reflecting on self-directed learning and evaluating outcomes	AL・演習		
25回	テーマ	SDL 5: Learning Cycle 2	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習5 各自学習計画と振り返り 2 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
26回	テーマ	SDL 6: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習6 各自学習計画と振り返り 3 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
27回	テーマ	SDL 7: Collaboration and Feedback	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習7 自律学習のための教材や方法の共有 Sharing materials and methods for self-directed learning	AL ・SGD ・演習		
28回	テーマ	SDL 8: Learning Cycle 4	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習8 各自学習計画と振り返り 4 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
29回	テーマ	SDL 9: Learning Cycle 3	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study ポートフォリオ(到達度レポート)の作成	45
	内容	自己管理型学習9 各自学習計画と振り返り 5 Individual learning plans and reflections	AL・演習		
30回	テーマ	Course Evaluation and Feedback	対面	未完了の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	EC3ス内容の見直し、最終評価とフィードバック Review of course content; final evaluation and feedback	SGD・AL		

科目名	英語留学研修＊1（1全学科）	開講学年	1	講義コード	1250501	区分	選択
英文表記	English through Study Abroad	開講期	前期集中	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	Gareth Humphreys

研究室	SILC 4F 403	オフィスアワー	木曜2限

メールアドレス	ghumphreys@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	Study abroad preparation 留学準備　Independent learning 自立学習　Intercultural awareness 異文化認識　教養的知識　　自己管理力　コミュニケーション能力

授業概要	留学予定の学生の準備をサポートする。Help prepare students for study abroad　海外での学習の機会を最大限に活用できるように自律学習力育成の促進する。Promote independent learning skills to enhance study abroad learning opportunities　異文化認識の育成をサポートする。Support development of intercultural awareness　議論や発表等の活動により会話力育成をサポートする。Develop communication skills through discussions and presentation　Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目
イングリッシュコミュニケーション1- 4

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A2	A2
		JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自分自身の留学渡航先の国に関する留学情報を調べることができる。I can research information about my study abroad destination country.
f,g	②	オンライン学習、SALC活用や振り返りを通し自立学習能力を示す事ができるI can demonstrate independent learning skills through online learning, SALC use, and self-reflection.
f,g	③	自分自身の留学経験について経験や出来事を英語や日本語で話す事ができる。I can talk about experiences and events relating to my study abroad experience.
f,g	④	自分自身の文化について経験や出来事を話す事ができる。I can talk about experiences and events relating to my own culture.
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	40	0	40	0	100

教科書	ありません

参考書	ありません

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	Gareth Humphreys
評価明細基準	1.10つの自立学習ユニット(ILU)で留学、異文化間コミュニケーションに関するテーマを学習します。ILUではオンライン学習に取り組みます。それぞれのILUは学習コンテンツ、振り返り及びミニテストで構成されてます。ILUはオンデマンド形式です。ILCでの学習コンテンツをディスカッションするために受講者はSALCに12回訪問することが義務づけられています。 There are 10 independent online learning units (ILU) to complete covering topics relating to study abroad and intercultural communication. The ILU are completed using an online learning system. Each ILU contains learning content, reflections, and mini- tests. The ILU are completed as On Demand classes. Students must visit the SALC ten times to discuss content from the ILU. Student must also complete 12 hours of self- directed language learning 2. ポートフォリオ(40)には自己の振り返り、学習記録、SALC活用の記録、及び出席(参加)記録が含まれます。 各自が参加予定の留学プログラムや留学先に関する調査、振り返り学習記録、課題、SALC使用の記録と出席記録が含まれます。 The portfolio (40) contains self- reflections, a learning record, a record of SALC use, and an attendance record. 3. 留学体験の後、レポート作成及びプレゼンテーションを行う(20) Students will make a presentation report after their sojourn (20). 4. 留学渡航及び現地での留学プログラムへの参加の成功(40) Remaining points awarded from successfully completing overseas study programmes (40).

学修上の注意 (SBOs)	1. 履修者は10セッション（ILU：オンデマンド課題）を完了し、3つの個別チュートリアル への参加があります。また3つのグループ学習セッション（90分の授業時間）への参加は後日、日程を決定します。個別面談の日程は、履修者の都合に合わせて対応可能です。履修者はSALCまたは自宅等にて留学事前学習として12時間の英語自立学習に取り組む。学習内容の記録の提出が義務付けられています（ノート、スクリーンショット等） Students complete 10 ILU (On Demand) and 3 one-to-one tutorial sessions. 3 group sessions (each is a full class period) are arranged later at fixed times; one-to-one tutorials can be arranged at times convenient for individual students. Students complete 12 hours of self-directed English language study in the SALC or at home, prior to their study abroad programmes. Students provide evidence of self-directed learning (notes, screenshots, etc.) 2. 本コースは、学生が個人のペースで課題に取り組むことが可能です。出席記録のシステムに関してはコースオリエンテーションで概要を示します。履修者は対面でのオリエンテーション参加、全てのグループセッション、個別チュートリアル面談への参加が義務付けられています。 The course enables students to work at their own pace. Attendance recording system will be outlined in the course orientation. Students must attend (in person) the orientation, all group sessions, and all tutorials. 3. 自立学習ユニットILU課題及び12時間の英語の自立学習が海外研修参加前に完了して下さい。 Students have to complete the 10 ILUs and 12 hours of self-directed language study before study abroad. 4 留学前に2回の個別チュートリアルと2回のグループセッションに参加します。最後の個別チュートリアルとグループセッションは、留学後に行われます。 学生は、教員や他の学生とコミュニケーションにおいて、できるだけ英語の活用が期待されています。しかし、このコースは英語のテストではないので、間違いを心配する必要はありません。 留学後の学期末に2単位を取得することができます。(例えば、夏に留学した場合、1学期から履修し、2学期に終了し、2学期末に2単位を取得することになる。） Students will have two face-to-face tutorials and attend two group sessions before studying abroad. The final tutorial and group session will take place after study abroad. Students are expected to use English as much as possible to communicate with teachers and other students. However, the course is not a test of English and students should not worry about making mistakes. Students will receive 2 study credits at the end of the semester which follows your study abroad trip. (For example, if students study abroad during the summer, you will start this course in semester one, finish it in semester two, and receive 2 credits at the end of semester two) 5. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Group session 1グループセッション1	遠隔授業		90
	内容	Course Orientation　オリエンテーション	講義演習　SGD		
2回	テーマ	Group session 2グループセッション2	遠隔授業		90
	内容	Study Planning　学習計画	講義演習　SGD		
3回	テーマ	Independent Learning Unit 1	遠隔授業	SALC活用　振り返り Self-reflection	120
	内容	留学先についての調査Researching study abroad destinations	e-L　演習		
4回	テーマ	Independent Learning Unit 2	遠隔授業	SALC活用　振り返り Self-reflection	120
	内容	文化の定義　Defining culture	e-L　演習		
5回	テーマ	Independent Learning Unit 3	遠隔授業	SALC活用　振り返り Self-reflection	120
	内容	異文化間コミュニケーション　Intercultural communication	e-L　演習		
6回	テーマ	Independent Learning Unit 4	遠隔授業	SALC活用　振り返り Self-reflection	120
	内容	文化的ステレオタイプ　Cultural stereotypes	e-L　演習		
7回	テーマ	Independent Learning Unit 5	遠隔授業	SALC活用　振り返り Self-reflection	120
	内容	個人と文化　The individual and culture	e-L　演習		
8回	テーマ	Independent Learning Unit 6	遠隔授業	SALC活用　振り返り Self-reflection	120
	内容	自分自身の文化について知る　Exploring my own culture	e-L　演習		
9回	テーマ	Independent Learning Unit 7	遠隔授業	SALC活用　振り返り Self-reflection	120
	内容	世界言語としての英語English as a global language	e-L　演習		
10回	テーマ	Independent Learning Unit 8	遠隔授業	SALC活用　振り返り Self-reflection	120
	内容	異文化認識　Intercultural awareness	e-L　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	Independent Learning Unit 9	遠隔授業	SALC活用　振り返り Self-reflection	120
	内容	グローバル市民1 Global citizenship 1	e-L　演習		
12回	テーマ	Independent Learning Unit 10	遠隔授業	SALC活用　振り返り Self-reflection	120
	内容	グローバル市民2 Global citizenship 2	e-L　演習		
13回	テーマ	Self-directed language learning 英語自立学習	遠隔授業	SALC活用　振り返り Self-reflection	720
	内容	12 hours of self-directed language learning 英語自立学習12時間	e-L　演習		
14回	テーマ	Tutorial 1	遠隔授業		45
	内容	留学への期待 Study abroad expectations	演習　SGD		
15回	テーマ	Tutorial 2	遠隔授業		45
	内容	Checking progress 進捗確認 留学前の不安等への対処 Addressing concerns pre-study abroad	演習　SGD		
16回	テーマ	留学（海外研修）Study Abroad Trip	遠隔授業	授業型学習と教育的参加Classroom based study and educational visits	45 時間
	内容	留学プログラムにより内容は異なるContent will vary according to overseas program	実習　AL		
17回	テーマ	Tutorial 3	遠隔授業		60
	内容	留学の報告 Study abroad debrief	演習　SGD		
18回	テーマ	Group session 3グループセッション3	遠隔授業	振り返り Self-reflection　Poster making and checking	240
	内容	経験について話し合う Discussing experiences レポート及びプレゼンテーション　Introducing report and presentations	e-L演習		
19回	テーマ	最終プレゼンテーションFinal presentation	遠隔授業	復習と振り返り Review and reflection　コース評価 崇城ポートフォリオCourse evaluation　Sojo Portfolio	210
	内容	最終プレゼンテーションFinal presentation	e-L演習		

科目名	ＴＯＥＩＣ演習（２全学科）	開講学年	2-	講義コード	1250602	区分	選択
英文表記	TOEIC	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	宝来華代子（実務経験）

研究室	SILC201	オフィスアワー	月曜3限目

メールアドレス	khorai@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	TOEIC リーディング　基礎英文法　主体的な取り組み　教養的知識　　自己管理力

授業概要	本授業では英語能力測定テストの1つであるTOEIC（Test of English for International Communication）のListening &Reading Testのリーディングセクションの学習対策を進めながら、基礎英文法理解と日常英会話やビジネスで活用される英単語の習得を目指します。担当教員の前職における企業や社会人向けTOEIC研修の実務経験及び、アドバイザーとしての経験を活かし、学習計画や効果的な学習に関してコースを通して指導します。　授業では文法の学習を中心に行い、教員からの説明もありますが、学習内容について自分で調べて理解し、練習問題が解けるようになってもらいたいと思います。また、クラスではペアやグループで互いに説明をしてもらいます。従って学生の主体的な取り組みが期待されます。　初回と期末テストで同様の形式の模擬テストを行い学習成果を測ります。また学習単元ごとに復習テストを行います。学習内容を理解しTOEIC形式の問題を制限時間に解けるようになることを目指します。また、長文読解をクラス及び課題として解いてもらいます。 単語習得を目指し、毎週単語テストは行われます。単語テストや長文読解の課題などを通して学習の習慣化も目指しましょう。　毎回のクラスでは学習への取り組みの振り返りを行い、それを基に自主的な学習への取組みを考えてもらいます。毎回のクラスの振り返りポートフォリオに対し教員のフィードバックがあります。必要であれば学習アドバイジングも活用し学習の自己調整をするよう努めましょう。

関連科目
イングリッシュコミュニケーションクラスI～IV（イングリッシュコミュニケーションII、III,IVは受講経験がなくても問題はありません）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A4	A4	A4
	JABEE基準		g	g	g

JABEE記号		学生の到達度目標
g	①	TOEICに出る基本的な文法を学び理解することができる。
g	②	英単語学習、長文課題のクラス外での取り組みを通して、学習を習慣的に行うことができる。
g	③	自分に合った学習方法を考えて取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	20	20	25	10	0	0	25		100

教科書	公式TOEIC Listening & Reading Part 7 速読演習　一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会　ETS　978-4906033690

参考書	新TOEICテスト文法問題でる1000問　アスク出版　TEX加藤　978472179521 公式TOEICListenig & Reading プラクティスリーディング編　一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会　ETS　978-4-906033-60-7

予備知識	基本的な英文法、単語知識。TOEIC受験経験者は350点以上程度、英検準2級程度の知識。
実務経験のある教員	宝来華代子
評価明細基準	定期試験ではクラスの最初にTOEICリーディングセクションのテスト(簡易版)を行いますが、学期末テストの結果と初回と比較による伸び率及び、最終テストの成果を評価します(20%)。　中間テストには各単元ごとの復習テストも含みます(20%)。　小テストは毎回のクラスで課題として出された範囲内の単語テスト(10回)が行われ評価します(25%)。　ポートフォリオ(25%)に含まれる評価は、毎回のクラス終了後の振り返り記録(20%)と学期末の崇城ポートフォリオ(5%)になります。　レポート(10%)は宿題や長文練習の課題等、クラス外での取り組みの評価になります。課題等以外で自主的にSALCの活用(アドバイジングセッション利用、スキルセンター利用等)や自主的なTOEICテスト受験を行った際は是非、報告してください。評価します。

学修上の注意 (SBOs)	このコース受講は定員があります。定員を超えた場合は抽選になります。当選された方は必ず受講して頂くようお願いします。　毎回の授業には必ず自分のパソコン、筆記用具を持参して下さい。欠席した場合は必ず、担当教員に連絡をし、遅れた学習に取り組むようにしてください。 正規出席…授業開始 15 分まで／遅刻出席…授業開始 30 分まで／30 分を超えた場合は欠席扱いとなります。　欠席の場合は必ず連絡をして下さい。次回のクラスまでに課題を行っていただきます。　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション 事前テスト	対面授業	TOEIC Listening&Readingテストについて概要を調べ理解する。	90
	内容	コースのオリエンテーション。課題や学習の進め方について。小テスト	講義/演習		
2回	テーマ	学習計画・長文読解	対面授業	単語学習　長文練習問題	90
	内容	初回のテスト結果を基に自分の学習目標の設定と学習計画作成。長文の解き方について学ぶ	講義/演習		
3回	テーマ	文の要素と品詞	対面授業	単語学習　長文練習問題	90
	内容	単語テスト1、品詞の見分け方、文の要素と構造を理解する。練習問題を解く	講義/演習		
4回	テーマ	形容詞・副詞	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	単語テスト2、形容詞・副詞の見分け方、文の要素、品詞の働きについて学習	講義/演習		
5回	テーマ	復習 動詞	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	単語テスト3、動詞の働き・品詞TOEIC形式練習問題を解く、	講義/演習		
6回	テーマ	復習テスト　品詞	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	単語テスト4、復習・自律学習、フィードバック	講義/演習		
7回	テーマ	動詞	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	単語テスト5、動詞の働き・主語と動詞の関係を理解する、練習問題を解く	講義/演習		
8回	テーマ	動詞 時制	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	単語テスト6、動詞の時制ルールを理解する、練習問題を解く	講義/演習		
9回	テーマ	動名詞・不定詞・分詞	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	単語テスト7、現在分詞・過去分詞・動名詞を理解する、練習問題を解く	講義/演習		
10回	テーマ	動名詞・不定詞・分詞	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	単語テスト8、不定詞・分詞構文を理解する、練習問題を解く	講義/演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	動詞練習問題	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	単語テスト9、動詞練習問題、長文読解練習	講義/演習		
12回	テーマ	復習テスト 動詞　学習振り返り	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	単語テスト10、テスト、復習、振り返り	講義/演習		
13回	テーマ	名詞･代名詞	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	名詞、代名詞　練習音大	講義/演習		
14回	テーマ	前置詞 ･接続詞	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	前置詞、接続詞を理解する、練習問題を解く	講義/演習		
15回	テーマ	期末テスト	対面授業	総復習	９０
	内容	期末テスト、振り返りと今後の学習計画	講義/演習		

科目名	アカデミック英語＊３（３全学科（建築（計画・構造除く））	開講学年	3	講義コード	1250701	区分	選択
英文表記	Academic English	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	松下・レイチェル (他) Matsushita, Rachel (or other)

研究室	SILC 402	オフィスアワー	silconline.jpを参照してください ・ Please refer to silconline.jp

メールアドレス	rachelb@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	学問分野の会話・academic conversation　英語講義に参加するためのスキル・skills for participating in English lectures　研究分野の発表・presentation on a topic in your field　コミュニケーション能力　リテラシー　アカデミックスキル

授業概要	この授業は3部構成です。There are three parts to the course.　1. 学問に関するディスカッションに参加したり会話をリードするスキルを向上する。You will develop your ability to lead and participate in Academic Discussions.　2.英語講義でのリスニング力やメモの取り方（記述力）の効果的なスキルを向上する。You will work on improving your listening and note-taking skills to effectively participate in English lectures.　3.研究分野のトピックに関してのプレゼンを準備する。プレゼンテーションの練習に励み、学内で発表を行う。You will give a presentation on a topic in your field of study. You will practice presentation skills and give a presentation to the university community.

関連科目
1.英語Ⅰ　2.英語Ⅱ　3.英語Ⅲ　4.英語Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A2	A2
		JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	学問に関するディスカッションに参加し、会話をリードすることができる。I can participate in and lead academic discussions.
f,g	②	英語講義に参加し、自分の意見を発表することができる。I can participate in English lectures.
f,g	③	自分の専門分野に関するトピックについて調べ、デザインし、発表ができる。I can research, design and give a presentation on a topic in my field of study.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15		15	0	30	0	40	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	基礎的な英語力・Basic English ability
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.学習ポートフォリオは成績の30%であり、授業参加と全ての宿題を含む。The Learning Portfolio, which is 30% of your grade, includes class participation and all homework.　2.専門分野の発表（要約、デザイン、発表、自己評価）は成績の30%となる。The presentation (including abstract, design, presentation and self-evaluation) is 30% of your grade.　3.学問に関するディスカッションを含む小テスト（15%）と中間テスト（15%）。Short tests include an Academic Discussion (15%) and a Mid-term Test (15%).　4. SOJOポートフォリオは成績の10%となる。The SOJO Portfolio is 10% of your grade.

学修上の注意 (SBOs)	1.授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you have to be absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　2.宿題は非常に重要な要素です。宿題は授業で学んだこと、テスト準備、授業活動や将来学習する語学スキル(を練習できるように作成されています。週に1.5時間は宿題に費やすことを目指さなければなりません。Homework is a very important part of the course. The homework activities are designed to practice what you study in class, prepare for tests and class activities and further develop your language skills. You should spend about 1.5 hours per week doing English homework.　3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。Plagiarism, including copy and pasting submissions such as reports is NOT acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	スキルズセンター(SC)、英会話ラウンジ(CL)等、Skills Center (SC), Conversation Lounge (CL), etc. (15分), 英語の日記 English Diary（30分）	45
	内容	自己紹介、コースの説明、宿題の説明 Self-introductions, Course Explanation, Homework Explanation	演習		
2回	テーマ	学問に関するディスカッションAcademic Discussion Introduction	対面授業	SC, CL等（15分）、英語の日記 English Diary（30分）、ディスカッションスキル練習Discussion Skills Practice（45分）	90
	内容	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills and Practice (Introductory Topics - Food, Sports, Music, Movies, School)	演習		
3回	テーマ	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills & Practice	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、ディスカッションスキル練習 Academic Discussion Preparation（45分）	90
	内容	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills and Practice (Academic Topics 1 - Problems, Risk, Motivation, Online Learning, Language Learning)	演習		
4回	テーマ	学生リーダーディスカッション Student-led Discussions	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、ディスカッションスキル練習 Academic Discussion Preparation（45分）	90
	内容	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills and Practice (Academic Topics 1 - Climate Change, Pollution, Mental Health, Green Energy, COVID)	演習		
5回	テーマ	学生リーダーディスカッション Student-led Discussions	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りSelf-Reflection (45分)	90
	内容	学生リーダーディスカッション（評価） Students lead Academic Discussions (skill-based assessment), 授業中のフィードバック Feedback provided in class	演習		
6回	テーマ	講義スキル 1 Lecture Skills 1	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、講義リスニング課題Listening to a Lecture Homework (45分)	90
	内容	スキルを練習して、討論 Skills practice, Discussion (Topics: Lecture about an Experiment, Digital Detox)	演習		
7回	テーマ	講義スキル2 Lecture Skills 2	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、講義リスニング課題Listening to a Lecture Homework (45分)	90
	内容	スキルを練習して、討論 Skills practice, Discussion (Topic: Introverts)	演習		
8回	テーマ	講義スキル 3 Lecture Skills 3	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、講義リスニング課題Listening to a Lecture Homework (45分)	90
	内容	スキルを練習して、討論 Skills practice, Discussion (Topic: Hand Gestures)	演習		
9回	テーマ	中間テスト Midterm Test	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りSelf-Reflection (45分)	90
	内容	これまで学習した内容に関するテスト Test on content up to this point, 次の授業でのフィードバック Feedback provided in next class	演習		
10回	テーマ	プレゼンのユーニットの紹介 Intro to Presentation Unit	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 100要約(45分	90
	内容	ユーニットの紹介、例を見て、要約を書く Intro to Presentation Unit, view samples, write abstract	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンのデザイン Presentation Design	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), プレゼンの作成 Presentation Preparation (45分)	90
	内容	教員による要約のチェック、プランを書いて、プレゼンの作成を開始するAbstract checked by teacher, students draw plan, students begin crafting presentation	演習		
12回	テーマ	プレゼンの作成1 Presentation Creation 1	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), プレゼンの作成 Presentation Preparation (45分)	90
	内容	プレゼンの作成、教員に見てもらう Work on presentation, get feedback from Teacher	演習		
13回	テーマ	プレゼンの作成1 Presentation Creation 2	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), プレゼンの練習(45分)	90
	内容	プレゼンの作成、ポスター制作 Work on presentation, work on poster	演習		
14回	テーマ	プレゼンの作成1 Presentation Creation 3	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りとプレゼン本番練習Self-Reflection+Practice (45分), ポートフォリオ（到達度レポート）の作成	90
	内容	プレゼンの作成、最終確認、ポスターの締め切り Work on presentation, final feedback, PPT deadline	演習		
15回	テーマ	プレゼン発表の練習 Presentation practice	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りとプレゼン本番練習Self-Reflection+Practice (45分), ポートフォリオ（到達度レポート）の作成	90
	内容	クラス内発表。教員からのフィードバック Give presentation in class, get feedback from Teacher	演習		
16回	テーマ	発表 Final presentation	対面授業		
	内容	学内プレゼン実施 Give presentation in front of the university community	演習		

科目名	アカデミック英語（３整備）	開講学年	3	講義コード	1250702	区分	選択
英文表記	Academic English	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	加藤 良和(実務経験)

研究室	空港キャンパス 北ウィング 講義棟3階	オフィスアワー	オフィスアワーについては学修上の注意欄を参照

メールアドレス	august27@arsp.sojo-u.ac.jp

キーワード	Aviation Maintenance　English　コミュニケーション能力　情報リテラシー　　アカデミックスキル

授業概要	航空系の企業に就職するためには、マニュアルが英語で書かれていることが多いこと等から英語能力が必要です。そしてより高い英語能力を持てば、自ら就職したい企業の選択度が広がります。　しかし過去の一部の先輩方は、英語の勉強は難しい、つまらない、勉強しても今は英語を使うところがない、英語を勉強する時間がないこと等を言い訳に、英語学習をおろそかにしてしまいがちでした。結果英語能力が上がらないまま、就活を始めざるを得ない状況におかれていました。　この悪い循環が繰り返されないようにするため、音楽の話題等から英語に親しみ、皆さんが自ら継続的に英語学習に取り組めるきっかけとなることをこの授業の目的とします。　TOEICの例題を中心に取り組みますが、皆さんの希望があれば、航空無線通信士試験の過去に出題された英文も題材にします。

関連科目

基礎科目:English Communication Ⅰ～Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	楽しく英語を使うこと(聴くこと、読むこと)ができる
	②	TOEIC L&Rで点数が1年間で100点以上向上することができる
	③	英語を日本語に訳することなく、英語の語順のまま理解できる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	60	30	0	0	0	0	10	0	100

教科書	公式TOEIC Listening&Reading問題集 9　IIBC　IIBC　　9784906033614

参考書	

予備知識	中学で習う英文法、英単語は少なくても完璧にマスターしていること。 マスターしていない場合は、マスターする様に心がける事
実務経験のある教員	加藤良和
評価明細基準	・定期試験は、授業の中で実施した内容で出題し、得点化します。 ・3回の講義に1度中間テスト(計4回)をします。提出することによって加点をし、最大60点を与えます。 ・ポートフォリオは、提出をすることで10点加点します。

学修上の注意 (SBOs)	・英語能力を向上するための具体的な目標を掲げ、それに向かってください。・日々の学修については、毎日できることを明確化し、繰り返し勉強をしてください。・英語はCommunication Toolです。海外の文章を読む、英語のYoutubeを見る、人と話をする、メール、チャット等を通して、英語に接することが楽しくなります。自ら英語が楽しめる状況になるように何をしたらよいか考えてください。・従来の学修方法にこだわらず、電子辞書やIT機器を多用し、積極的に翻訳ソフトなどを利用して理解を速めてください。・考えても答えが浮かばないのに、考え続けるのは時間の無駄です。答えが見つかりそうもない場合は、最初から答えを見て勉強することも有効です。・一度覚えたことをどうしたら忘れないようにできるかを自ら考えてください。・レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。・オフィスアワー：平日随時

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーションとTOEIC構成	対面 講義、演習	復習課題を設定　自分で設定した課題	毎日 最低10
	内容	オリエンテーション　・自己評価と目標の設定　・授業の目的、概要説明　TOEIC　・TOEIC公式問題構成等　英文読解　・英語SpeechのListeningとReading			
2回	テーマ	取り組み紹介とTOEIC攻略	対面 講義、演習	自分で設定した課題	毎日 最低10
	内容	・Listening課題の提出及び紹介（フィードバック）　・TOEIC攻略法　・英語のListeningとReading			
3回	テーマ	取り組み紹介とTOEIC攻略	対面 講義、演習	中間試験を実施　自分で設定した課題	毎日 最低10
	内容	・Listening課題の提出及び紹介（フィードバック）　・TOEIC攻略法　・英語のListeningとReading			
4回	テーマ	取り組み紹介とTOEIC攻略	対面 講義、演習	自分で設定した課題	毎日 最低10
	内容	・課題提出及び紹介（フィードバック）　・TOEIC攻略法　・英語のListeningとReading			
5回	テーマ	取り組み紹介とTOEIC攻略	対面 講義、演習	自分で設定した課題	毎日 最低10
	内容	・Listening課題の提出及び紹介（フィードバック）　・TOEIC攻略法　・英語のListeningとReading			
6回	テーマ	取り組み紹介とTOEIC攻略	対面 講義、演習	中間試験を実施　自分で設定した課題	毎日 最低10
	内容	・Listening課題の提出及び紹介（フィードバック）　・TOEIC攻略法　・英語のListeningとReading			
7回	テーマ	取り組み紹介とTOEIC攻略	対面 講義、演習	自分で設定した課題	毎日 最低10
	内容	・課題提出及び紹介（フィードバック）　・TOEIC攻略法　・英語のListeningとReading			
8回	テーマ	取り組み紹介とTOEIC攻略	対面 講義、演習	自分で設定した課題	毎日 最低10
	内容	・Listening課題の提出及び紹介（フィードバック）　・TOEIC攻略法　・英語のListeningとReading			
9回	テーマ	取り組み紹介とTOEIC攻略	対面 講義、演習	中間試験を実施　自分で設定した課題	毎日 最低10
	内容	・Listening課題の提出及び紹介（フィードバック）　・TOEIC攻略法　・英語のListeningとReading			
10回	テーマ	取り組み紹介とTOEIC攻略	対面 講義、演習	自分で設定した課題	毎日 最低10
	内容	・課題提出及び紹介（フィードバック）　・TOEIC攻略法　・英語のListeningとReading			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	取り組み紹介とTOEIC攻略	対面	自分で設定した課題	毎日 最低10
	内容	・Listening課題の提出及び紹介（フィードバック）・TOEIC攻略法・英語のListeningとReading	講義、演習		
12回	テーマ	取り組み紹介とTOEIC攻略	対面	中間試験を実施　自分で設定した課題	毎日 最低10
	内容	・Listening課題の提出及び紹介（フィードバック）・TOEIC攻略法・英語のListeningとReading	講義、演習		
13回	テーマ	取り組み紹介とTOEIC攻略	対面	自分で設定した課題	毎日 最低10
	内容	・課題提出及び紹介（フィードバック）・TOEIC攻略法・英語のListeningとReading	講義、演習		
14回	テーマ	取り組み紹介とTOEIC攻略	対面	自分で設定した課題	毎日 最低10
	内容	・Listening課題の提出及び紹介（フィードバック）・TOEIC攻略法・英語のListeningとReading	講義、演習		
15回	テーマ	試験	対面	定期試験を実施	
	内容	評価試験・試験のフィードバック	試験、講義		

科目名	基礎日本語Ⅰ（1全学科◎）	開講学年	1	講義コード	1260101	区分	必修
英文表記	Basic Japanese Ⅰ	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	與縄友子（非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師控室	オフィスアワー	授業時間後の非常勤講師控室

メールアドレス	yottomokor09@yahoo.co.jp

キーワード	日本語会話　日本語読解　日本語能力試験　教養的知識　　論理力　アカデミックスキル　自己管理力

授業概要	この授業は留学生を対象とし、日本語での基本的なコミュニケーションや大学で勉強するために必要な総合的能力を身につけることを目標とする。大学入学後すぐの授業であることから周りとの人間関係を作りやすいように会話を中心としたテキストと読解を中心としたテキストを使用する。課題のフィードバックは授業内に行う。日本語を用いた仕事に就くことを目標とする学生には、日本語能力試験の取得は不可欠であることから、授業の中でも必要応じて適宜文法事項の導入と解説に触れる。

関連科目

基礎日本語Ⅰ 基礎日本語Ⅲ 基礎日本語Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A4	A4
		JABEE基準		f	f

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	日本社会や社会問題についての基礎的知識を理解することができる
	②	日本語を用いた日常的コミュニケーションや学術的コミュニケーションができる
	③	テーマに関する自分の意見を論理的に説明することができる
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	グループで協働して課題に取り組むことができる
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	20	0	10	0	10	0	100

教科書	関係づくりの日本語会話雑談を学ぼう　くろしお出版　今田恵美 高井美穂 吉兼奈津子他　　978-4-87424-864-5 C0081 日本語学習者のための読解厳選テーマ10上級　凡人社　清水正幸　978-4-89358-984-2

参考書	授業で指示する。

予備知識	日本語能力試験N2受験レベルの日本語能力をもつことが望ましい。
実務経験のある教員	
評価明細基準	期末試験（30点）：中間試験（30点）：それぞれの曜日の授業で行う。筆記試験、聴き取り、口頭試験等による。 小テスト（20点）：各授業の毎回の定着を測るために短時間で行い、授業でフィードバックする。課題を含む。 成果発表（10点）：授業での口頭発表や作文や文章による発表を含む。 ポートフォリオ（10点）：到達課題レポートをポートフォリオシステムに入力し、プリントアウトして最後の授業時間に提出すること。

学修上の注意 (SBOs)	・出席を重視する。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。　　・提出物は期限以内に提出すること。 ・課題提出物のコピーアンドペースト等の剽窃（ひょうせつ）は固く禁じる。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	【会話】ガイダンスとレベルチェック	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題を行う	60
	内容	授業内容の説明とレベルチェック・テスト			
2回	テーマ	【読解】ガイダンスとレベルチェック	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題を行う	60
	内容	授業内容の説明とレベルチェック・テスト			
3回	テーマ	【会話】第1課　親しくなるきっかけを作ろう(1)①	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	［表現・練習］好みや興味の話題作り			
4回	テーマ	【読解】第1課「漫画・アニメ」①	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	［読み物1］聖地巡礼			
5回	テーマ	【会話】第1課　親しくなるきっかけを作ろう(1)②	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	［やりとり］好みや興味の話題作り			
6回	テーマ	【読解】第1課「漫画・アニメ」②	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	小テスト ［読み物2］アニメの神様			
7回	テーマ	【会話】第2課　親しくなるきっかけを作ろう(2)①	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	［表現・練習］小さな不満・不安の共有			
8回	テーマ	【読解】第1課「漫画・アニメ」③	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物2］アニメの神様　発展活動			
9回	テーマ	【会話】第2課　親しくなるきっかけを作ろう(2)②	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	［やりとり］小さな不満・不安の共有			
10回	テーマ	【読解】第2課「恋×AI＝？」①	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物1］AI婚活			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	【会話】第3課　親しくなるきっかけをつくろう(3)①	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	［表現･練習］その場の話題探し			
12回	テーマ	【読解】第2課「恋×AI＝？」②	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物1］AI婚活 ［読み物2］即答ツール			
13回	テーマ	【会話】第3課 親しくなるきっかけをつくろう(3)②	対面授業 講義・演習	授業で指示する復習課題を行う	60
	内容	［やりとり］その場の話題探し			
14回	テーマ	【読解】第2課「恋×AI＝？」③	対面授業 講義・演習	授業で指示する復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物2］即答ツール　発展活動			
15回	テーマ	【会話】中間試験	対面授業 講義・演習	授業で指示する復習課題を行う	60
	内容	中間試験（第1課～第3課）			
16回	テーマ	【読解】中間試験	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題を行う	60
	内容	中間試験（第1課･第2課）			
17回	テーマ	これまでの振り返り	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題を行う	60
	内容	中間試験返却･解説			
18回	テーマ	【会話】第4課　もっと親しくなろう(1)①	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	［表現･練習］前にした話の続き			
19回	テーマ	【読解】第3課「見る脳、聞く脳」①	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物1］ラジオは脳に効く			
20回	テーマ	【会話】第4課　もっと親しくなろう(1)②	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	［やりとり］前にした話の続き			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	【読解】第3課「見る脳、聞く脳」②	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物1］ラジオは脳に効く［読み物2］錯視の不思議	講義・演習		
22回	テーマ	【会話】第5課　もっと親しくなろう(2)①	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	［表現・練習］身近な人とのエピソード	講義・演習		
23回	テーマ	【読解】第3課「見る脳、聞く脳」③	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物2］錯視の不思議　発展活動	講義・演習		
24回	テーマ	【会話】第5課　もっと親しくなろう(2)②	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	［やりとり］身近な人とのエピソード	講義・演習		
25回	テーマ	【読解】第4課「外来生物の今」①	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物1］動物たちの怒りと涙	講義・演習		
26回	テーマ	【会話】第6課　仲を深めよう①	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	［表現・練習］よくある経験	講義・演習		
27回	テーマ	【読解】第4課「外来生物の今」②	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物1］動物たちの怒りと涙［読み物2］「日本初」の外来種	講義・演習		
28回	テーマ	【会話】第6課　仲を深めよう②	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	［やりとり］よくある経験	講義・演習		
29回	テーマ	【読解】第4課「外来生物の今」③	対面授業	授業で指示する復習課題を行う	60
	内容	小テスト［読み物2］「日本初」の外来種　発展活動	講義・演習		
30回	テーマ	【会話】期末試験	対面授業	授業で指示する復習課題を行う	60
	内容	期末試験（第4課～第6課）	講義・演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	【読解】期末試験	対面授業	授業で指示する復習課題を行う	60
	内容	期末試験（第3課・第4課）	講義・演習		
32回	テーマ	振り返りとまとめ	対面授業		
	内容	期末試験返却 これまでの振り返りとまとめ	講義・演習		

科目名	基礎日本語Ⅲ（２全学科◎）	開講学年	2	講義コード	1260301	区分	必修
英文表記	Basic Japanese Ⅲ	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	道本ゆう子（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業後の非常勤講師室

メールアドレス	kadai.nihongo@gmail.com

キーワード	日本語読解　日本語文章表現　スタディ・スキルズ　日本語能力試験　　教養的知識　コミュニケーション能力　論理力　アカデミックスキル　　自己管理力

授業概要	この授業は留学生を対象とし、大学やアカデミックな場面における読解および、日本語を使った文章表現、レポート執筆など将来の進路に繋がるスタディ・スキルズを修得することを目標とする。授業では基礎的な日本語文法表現の確認、文章上の読解ストラテジーの習得、日本語による文章作成法などを実践的に練習する。理解・算出の能力双方を共に向上させることを目指す。 課題のフィードバックは授業内で行う。

関連科目
基礎日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	日本語の文章（新聞、論文、説明文など）が正確に読解でき、多様な論点の基礎的知識を理解することができる。
	②	日本語で表現したいことが正しく適切に表現できる。
	③	日本語で自分の主張、意見を説得力を持って述べることができる。
	④	日本語を用いてレポート、論文の執筆、プレゼンテーションなど、大学の専門的な活動ができる。
	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	20	10	0	0	10	0	100

教科書	留学生のためのここが大切 文章表現のルール　スリーエーネットワーク　石黒 圭 , 筒井 千絵　　4883195023 改訂版大学・大学院留学生の日本語1 読解編　アルク　アカデミック・ジャパニーズ研究会　4757426313

参考書	授業で指示する。

予備知識	日本語能力試験N2レベルの日本語能力をもつことが望ましい。
実務経験のある教員	
評価明細基準	中間試験・期末試験60%、課題提出および小テスト40%

学修上の注意 (SBOs)	・出席を重視する。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。　　・提出物は期限以内に提出すること。 ・レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされる。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	【日本語文章表現】ガイダンスとレベルチェック	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	授業内容の説明と文章表現（作文）レベルチェック・テスト			
2回	テーマ	【文章読解】ガイダンスとレベルチェック	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	読解レベルチェック・テスト（N2程度）			
3回	テーマ	【日本語文章表現】助詞①	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	［文法・文型］助詞の使い方①			
4回	テーマ	【文章読解】第1課 言葉の役割①	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	構造：文章の構造 段落内の構造			
5回	テーマ	【日本語文章表現】助詞②	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	［文法・文型］助詞の使い方②			
6回	テーマ	【文章読解】第1課 言葉の役割②	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	読むための文法：書き言葉の文体			
7回	テーマ	【日本語文章表現】言葉のスタイル	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	［文法・文型］言葉の形の使い分け			
8回	テーマ	【文章読解】第2課 イルカと超音波①	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	構造：中心文、指示文			
9回	テーマ	【日本語文章表現】間違えやすい文法・文型	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	［文法・文型］自動詞・他動詞・受身			
10回	テーマ	【文章読解】第2課 イルカと超音波②	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	読むための文法：連用中止形			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 内容	【日本語文章表現】呼応 [文法・文型]呼応表現の整理	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
12回	テーマ 内容	【文章読解】第3課 地図の分類① 構造:アウトライン、論理の構造、分類	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
13回	テーマ 内容	【日本語文章表現】文末表現 [文法・文型]文末表現の調整	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
14回	テーマ 内容	【文章読解】第3課 地図の分類② 読むための文法:文の構造 1.主語・述語 2.名詞句 読解の手がかり①	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
15回	テーマ 内容	【日本語文章表現】中間試験 文章表現中間試験	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
16回	テーマ 内容	【文章読解】中間試験 読解中間試験	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
17回	テーマ 内容	【日本語文章表現】文字のバランス/漢字 [文字・表記]ひらがなと漢字のバランス/漢字の選択と誤変換	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
18回	テーマ 内容	【文章読解】第4課 睡眠時間ー短眠と長眠① 構造:定義	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
19回	テーマ 内容	【日本語文章表現】カタカナ [文字・表記]カタカナの使い方	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
20回	テーマ 内容	【文章読解】第4課 睡眠時間ー短眠と長眠① 読むための文法:「こと」	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ 内容	【日本語文章表現】読点 [文字・表記]読点の打ち方	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
22回	テーマ 内容	【文章読解】第5課 日時計① 構造:経過	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
23回	テーマ 内容	【日本語文章表現】書き言葉 [語彙・意味]書き言葉らしさ	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
24回	テーマ 内容	【文章読解】第5課 日時計② 読むための文法:助詞相当語　読解の手がかり②	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
25回	テーマ 内容	【日本語文章表現】辞書の有効利用 [語彙・意味]辞書の危険性	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
26回	テーマ 内容	【文章読解】第6課 研究者の二つのタイプ① 構造:比較・対照	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
27回	テーマ 内容	【日本語文章表現】専門用語 [語彙・意味]専門用語の選び方	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
28回	テーマ 内容	【文章読解】第6課 研究者の二つのタイプ② 読むための文法:指示語	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
29回	テーマ 内容	【日本語文章表現】期末まとめ・振り返り 今までの振り返りとまとめ	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
30回	テーマ 内容	【文章読解】期末まとめ・振り返り 今までの振り返りとまとめ	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	【日本語文章表現】期末試験	対面授業	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	期末試験	講義・演習		
32回	テーマ	【文章読解】期末試験	対面授業	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	期末試験	講義・演習		

科目名	特殊講座（未来デザイン）（１機ナ建宇情生物）	開講学年	1	講義コード	1270102	区分	選択
英文表記	Designing the future	開講期	前期	開講形態	遠隔授業	単位数	1

担当教員	中山 泰宗
研究室	本館501 中山 泰宗
オフィスアワー	毎週月曜日9:30~11:00
メールアドレス	ynaka@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	アントレプレナーシップ　イノベーション　ベンチャー　デザイン　　サイエンス　キャリアデザイン能力　自己管理力

授業概要

本授業では、新入生を中心とした受講者が未来を考えデザインするための考え方（マインド）を身につけることを目標とする。 そのために、未来を切り開く若者にとって必要な『アントレプレナーシップ』について学ぶ。アントレプレナーシップは『起業家精神』と訳されるが、起業に限らず未来を切り開くすべての人に必要な精神である。会社内での新規事業の開発、社会課題の解決、新しい科学領域の開拓など、どんな挑戦にもアントレプレナーシップは必要である。 そのために、総論として若者を取り巻く現代社会の情勢について学び、アントレプレナーシップによる社会の変化について学ぶ。続いて、その現代社会の中にして自分が抱く夢を実現させるためにはどのようなマインドを持つべきか理解する。そして最後に、夢の実現性を高めるためのアントレプレナーシップ、そのコアとなる3つの要素「想像力によりイノベーションを起こす力」、「リーダーシップによりチーム形成する力」、「熱意を持ちビジョンを達成する力」について理解を深める。 また、講義をとおして基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」）を養う。

関連科目

発展科目 「アントレプレナーシップ入門」、「ベンチャービジネス」、「イノベーション入門」、「ローカルイノベーション」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標			
	JABEE基準			

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	アントレプレナーシップとはなにか、および社会での重要性について説明することができる。
	②	夢と熱意を持ち挑戦と失敗を繰り返すことの重要性を説明することができる
	③	アントレプレナーシップの3つのコアスキルとその伸ばし方について説明することができる
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	50	0	0	10	40	100

教科書

講義レジュメを教科書とする

参考書

全米ナンバーワンビジネススクールで教える起業家の思考と実践術　東洋経済　山川恭弘　978-4-492-53422-9
現代語訳 論語と算盤　ちくま新書　渋沢栄一　978-4-480-06535-3
クリエイティブ・マインドセット　日経BP　トム・ケリー&デイヴィッド・ケリー　978-4-479-79363-2
スタンフォードの自分を変える教室　大和書房　ケリー・マクゴニガル　978-4-479-79363-2
ジェームズ・クリアー式複利で伸びる1つの習慣　PanRolling　ジェームズ・クリアー　978-4-7759-4215-4

予備知識	遠隔授業なのでweb classを利用できるようなっておくことが必要です。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1. レポート1: 自分発見レポート(詳細は第4回授業にて提示)、最大25点。 2. レポート2: アントレプレナーシップへ繋がる力についてのレポート(詳細は第8回授業にて提示)、最大25点。 3. ポートフォリオ: 学修到達度レポートによって評価する、最大10点 4. その他: 第1- 8回授業各回に実施する小演習をWebClass上で回答する、最大5点/回×8回 ★WebClass上で提出されたレポートはWebClass上で直接フィードバックします、必ず参照してください。フィードバックはレポート提出から2週間以内に行います。

学修上の注意 (SBOs)	1. 全ての授業回は遠隔授業(オンデマンド形式)となります。毎授業回、WebClass の本科目のサイトにアクセスすること。 2. レポートの提出は、原則WebClassへのアップロードとする。 3. 第1-8回授業各回の小演習をWeb上で回答されているかどうかから、本科目の出席の有無を判断することになります。必ず提出期限を遵守すること。 4. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。 5.オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は教員の居室にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。※その他メール等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	授業出席確認となる演習の実施【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめる【予習】次回講義レジュメを読んでおくこと	60
	内容	本科目全体の導入、授業の進め方についてを説明をうける。現代の社会・情勢について学び考える　アントレプレナーシップとは何か学び、なぜ必要とされるかを考察する			
2回	テーマ	夢と熱意	講義	授業出席確認となる演習の実施【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめる【予習】次回講義レジュメを読んでおくこと	60
	内容	アントレプレナーシップのマインドセットとして、好きなことを考え、仕事に対する熱意について考える。また、好きなことと専門の接続について学び、考察する			
3回	テーマ	挑戦と失敗	講義	授業出席確認となる演習の実施【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめる【予習】次回講義レジュメを読んでおくこと	60
	内容	アントレプレナーシップのマインドセットとして、挑戦と失敗の大切さについて考える。挑戦の重要さ、成功と失敗の定義について学び、考える。			
4回	テーマ	自分を知る	講義　演習	授業出席確認となる演習の実施　授業時間内に終了しなかったレポートをまとめる【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめる【予習】次回講義レジュメを読んでおくこと	120
	内容	自分を再発見する。レポート1「自分再発見」について説明を受け、レポートを執筆する。			
5回	テーマ	想像力	講義	授業出席確認となる演習の実施、レポート1の執筆【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめる【予習】次回講義レジュメを読んでおくこと	60
	内容	想像力について学び、考える。クリエイティビティとはなにか、クリエイティブに生きるにはどうすればいいのかについて学び、考える。			
6回	テーマ	チームを育てる力	講義	授業出席確認となる演習の実施【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめる【予習】次回講義レジュメを読んでおくこと	60
	内容	チームを育てる方について学び、考える。チームとはなにか、どうすればチームが活躍するのかについて学び、考える。			
7回	テーマ	達成する力	講義	授業出席確認となる演習の実施【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめる【予習】次回講義レジュメを読んでおくこと	60
	内容	達成する方ついて学び、考える。自分の夢や思いのどうやって具現化するのか、どうすれば自分をコントロールできるのかついて学び、考える。			
8回	テーマ	未来に向けて	講義　演習	授業出席確認となる演習の実施、授業時間内に終了しなかったレポートを執筆する【復習】これまでの講義を振り返る	180
	内容	未来について考える。レポート2「未来に向けて」について説明を受け、レポートを執筆する。			

科目名	特殊講座（未来デザイン）（１美デ薬）	開講学年	1	講義コード	1270103	区分	選択
英文表記	Designing the future	開講期	前期	開講形態	遠隔授業	単位数	1

担当教員	中山 泰宗

研究室	本館501 中山 泰宗	オフィスアワー	毎週月曜日9:30~11:00

メールアドレス	ynaka@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	アントレプレナーシップ　イノベーション　ベンチャー　デザイン　　サイエンス　キャリアデザイン能力　自己管理力

授業概要	本授業では、新入生を中心とした受講者が未来を考えデザインするための考え方（マインド）を身につけることを目標とする。 そのために、未来を切り開く若者にとって必要な『アントレプレナーシップ』について学ぶ。アントレプレナーシップは『起業家精神』と訳されるが、起業に限らず未来を切り開くすべての人に必要な精神である。会社内での新規事業の開発、社会課題の解決、新しい科学領域の開拓など、どんな挑戦にもアントレプレナーシップは必要である。 そのために、総論として若者を取り巻く現代社会の情勢について学び、アントレプレナーシップによる社会の変化について学ぶ。続いて、その現代社会の中にして自分が抱く夢を実現させるためにはどのようなマインドを持つべきか理解する。そして最後に、夢の実現性を高めるためのアントレプレナーシップ、そのコアとなる3つの要素「想像力によりイノベーションを起こす力」、「リーダーシップによりチーム形成する力」、「熱意を持ちビジョンを達成する力」について理解を深める。 また、講義をとおして基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリプランニング能力」）を養う。

関連科目

発展科目 「アントレプレナーシップ入門」、「ベンチャービジネス」、「イノベーション入門」、「ローカルイノベーション」

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標			
		JABEE基準			

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	アントレプレナーシップとはなにか、および社会での重要性について説明することができる。
	②	夢と熱意を持ち挑戦と失敗を繰り返すことの重要性を説明することができる
	③	アントレプレナーシップの3つのコアスキルとその伸ばし方について説明することができる
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	50	0	0	10	40	100

教科書	講義レジュメを教科書とする

参考書	全米ナンバーワンビジネススクールで教える起業家の思考と実践術　東洋経済　山川恭弘　978-4-492-53422-9 現代語訳 論語と算盤　ちくま新書　渋沢栄一　978-4-480-06535-3 クリエイティブ・マインドセット　日経BP　トム・ケリー&デイヴィッド・ケリー　978-4-479-79363-2 スタンフォードの自分を変える教室　大和書房　ケリー・マクゴニガル　978-4-479-79363-2 ジェームズ・クリアー式複利で伸びる1つの習慣　PanRolling　ジェームズ・クリアー　978-4-7759-4215-4

予備知識	遠隔授業なのでweb classを利用できるようなっておくことが必要です。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1. レポート1: 自分発見レポート(詳細は第4回授業にて提示)、最大25点。 2. レポート2: アントレプレナーシップへ繋がる力についてのレポート(詳細は第8回授業にて提示)、最大25点。 3. ポートフォリオ: 学修到達度レポートによって評価する、最大10点 4. その他: 第1- 8回授業各回に実施する小演習をWebClass上で回答する、最大5点/回×8回 ★WebClass上で提出されたレポートはWebClass上で直接フィードバックします、必ず参照してください。フィードバックはレポート提出から2週間以内に行います。

学修上の注意 (SBOs)	1. 全ての授業回は遠隔授業(オンデマンド形式)となります。毎授業回、WebClass の本科目のサイトにアクセスすること。 2. レポートの提出は、原則WebClassへのアップロードとする。 3. 第1-8回授業各回の小演習をWeb上で回答されているかどうかから、本科目の出席の有無を判断することになります。必ず提出期限を遵守すること。 4. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。 5.オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は教員の居室にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。※その他メール等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	授業出席確認となる演習の実施【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめる【予習】次回講義レジュメを読んでおくこと	60
	内容	本科目全体の導入、授業の進め方についてを説明をうける。現代の社会・情勢について学び考える アントレプレナーシップとは何か学び、なぜ必要とされるかを考察する			
2回	テーマ	夢と熱意	講義	授業出席確認となる演習の実施【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめる【予習】次回講義レジュメを読んでおくこと	60
	内容	アントレプレナーシップのマインドセットとして、好きなことを考え、仕事に対する熱意について考える。また、好きなことと専門の接続について学び、考察する			
3回	テーマ	挑戦と失敗	講義	授業出席確認となる演習の実施【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめる【予習】次回講義レジュメを読んでおくこと	60
	内容	アントレプレナーシップのマインドセットとして、挑戦と失敗の大切さについて考える。挑戦の重要さ、成功と失敗の定義について学び、考える。			
4回	テーマ	自分を知る	講義　演習	授業出席確認となる演習の実施　授業時間内に終了しなかったレポートをまとめる【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめる【予習】次回講義レジュメを読んでおくこと	120
	内容	自分を再発見する。レポート1「自分再発見」について説明を受け、レポートを執筆する。			
5回	テーマ	想像力	講義	授業出席確認となる演習の実施、レポート1の執筆【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめる【予習】次回講義レジュメを読んでおくこと	60
	内容	想像力について学び、考える。クリエイティビティとはなにか、クリエイティブに生きるにはどうすればいいのかについて学び、考える。			
6回	テーマ	チームを育てる力	講義	授業出席確認となる演習の実施【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめる【予習】次回講義レジュメを読んでおくこと	60
	内容	チームを育てる方について学び、考える。チームとはなにか、どうすればチームが活躍するのかについて学び、考える。			
7回	テーマ	達成する力	講義	授業出席確認となる演習の実施【復習】講義中に紹介した事例を見ながら、講義のポイントやキーワードをまとめる【予習】次回講義レジュメを読んでおくこと	60
	内容	達成する方ついて学び、考える。自分の夢や思いのどうやって具現化するのか、どうすれば自分をコントロールできるのかついて学び、考える。			
8回	テーマ	未来に向けて	講義　演習	授業出席確認となる演習の実施、授業時間内に終了しなかったレポートを執筆する【復習】これまでの講義を振り返る	180
	内容	未来について考える。レポート2「未来に向けて」について説明を受け、レポートを執筆する。			

科目名	特殊講座（データサイエンス入門）（１全学科）	開講学年	1	講義コード	1270107	区分	選択
英文表記	Introduction to Data Science	開講期	集中	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	中山 泰宗　堀部 典子　尾崎 昭剛

研究室	本館5階	オフィスアワー	月曜1時限

メールアドレス	ynaka@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	データサイエンス　データ分析　人工知能　機械学習　　リテラシー　自己管理力

授業概要	近年，人工知能（AI）・ロボット・Internet of Things(IOT)・ビッグデータ等の技術の急激な進化により、あらゆるものの情報が電子化され，結びつき、相互に影響を及ぼし合う未来社会の到来が見込まれています．この未来社会（デジタル社会）では従来の「読み・書き・そろばん」に代わって「数理・データサイエンス・AI」の三拍子が必要とされており，データサイエンスは，情報分野だけでなく，工学，化学，薬学，芸術などの全ての分野に共通して必要となっています．本講義では，データサイエンスとは何かということを学び，データサイエンスがさまざまな分野でどのような可能性をもち，今後，どのような技術開発につながっていく可能性があるのかということを，データサイエンス教育や企業での研究開発の現場での話を聞くことによって学びます．また，講義の後半では，実際にデータ解析のためのソフトウェアを活用し，基本的な知識と技術を学びます．講義では，データサイエンスと社会との関わりを学びながら，ノートパソコンを使って実社会に存在する課題やデータを利用した演習を行います． レポートのフィードバックはオンライン上で適宜実施する。

関連科目
（連携科目）情報処理基礎 （発展科目）確率・統計，卒業研究

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	データ利用が社会変化に深く寄与し生活と密接に結びついており、広範囲の課題を解決する有用なツールになり得ることを説明することができる
	②	データは様々な知見と組み合わせることで価値を創出することを説明することができる
	③	データを活用するに当たっての留意事項について説明することができる
	④	数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関することを説明することができる
	⑤	データサイエンスでは実装を意識した一連の流れをデザインすることが必要であることを説明することができる
	⑥	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	90	0	0	10	0	100

教科書	講義の中で指示する

参考書	データサイエンスの基礎　講談社　濵田悦生　978-4-06-517000-7 データ分析とデータサイエンス　近代科学社　柴田里程　978-4-7649-0498-9 データサイエンティスト育成講座　マイナビ　中山浩太郎 他　978-4-8399-6525-9 統計学が最強の学問である　ダイヤモンド社　西内 啓　978-4-4780-2221-4 アフターデジタル　日経BP　藤井 保文 他　978-4296101627

予備知識	基礎的な概念から学ぶので，予備知識は必要ではないが，専門的な用語等がでてきたときに適宜調べることが姿勢である．WebClassとoffice365を利用するので、これらのアクセスの方法等は知っておく必要がある.また，ノートパソコンを使った演習を行うので，基本的なパソコンの操作ができることが望ましい．
実務経験のある教員	
評価明細基準	各授業終了後のレポート課題（6点/回×15回＝90点） 学期末のポートフォリオ（10点）

学修上の注意 (SBOs)	(1) eラーニングシステムを利用した講義資料閲覧と課題提出のため,無線LANを利用できるノートパソコンが必要です. (2) オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は本館5階の中山の居室にて対応します。オフィスアワーにTeamsTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。のチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。※その他メール等での質問も受け付けます。 (3) レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス,データサイエンスとは	講義，e-L	復習では、講義及び配布資料を見直す。宿題は該当する課題を実施する。	60
	内容	講義のシラバスと概要について説明する。加えてデータサイエンスと社会との関係について講義を行い,課題を課す.			
2回	テーマ	データ分析の実践基礎1	講義，e-L	復習では、講義及び配布資料を見直す。宿題は該当する課題を実施する。	60
	内容	実データを用いてデータを読む、説明する、扱うと言った基本的な活用について講義を行い、課題を課す			
3回	テーマ	データ分析の実践基礎2	講義，e-L	復習では、講義及び配布資料を見直す。宿題は該当する課題を実施する。	60
	内容	実際のデータ分析の流れを理解し、データ分析における一連のプロセスをデザインする意義について講義を行い、課題を課す			
4回	テーマ	データ分析の実践基礎3	講義，e-L	復習では、講義及び配布資料を見直す。宿題は該当する課題を実施する。	60
	内容	データ分析を行う際に初心者が気をつけるべき事項について講義を行い、課題を課す			
5回	テーマ	データに関する様々な留意事項の理解	講義，e-L	復習では、講義及び配布資料を見直す。宿題は該当する課題を実施する。	60
	内容	AIやデータの利用についての正しい倫理観をもつことの重要性や注意事項について講義を行い,課題を課す			
6回	テーマ	データサイエンスの有用性や活用事例1	講義，e-L	復習では、講義及び配布資料を見直す。宿題は該当する課題を実施する。	60
	内容	数理・データサイエンス・AIの社会における有用性や活用事例等についての講義を行い、課題を課す			
7回	テーマ	データサイエンスの有用性や活用事例2	講義，e-L	復習では、講義及び配布資料を見直す。宿題は該当する課題を実施する。	60
	内容	数理・データサイエンス・AIの社会における有用性や活用事例等についての講義を行い、課題を課す			
8回	テーマ	データサイエンスの有用性や活用事例3	講義，e-L	復習では、講義及び配布資料を見直す。宿題は該当する課題を実施する。	60
	内容	数理・データサイエンス・AIの社会における有用性や活用事例等についての講義を行い、課題を課す			
9回	テーマ	データサイエンスの有用性や活用事例4	講義，e-L	復習では、講義及び配布資料を見直す。宿題は該当する課題を実施する。	60
	内容	数理・データサイエンス・AIの社会における有用性や活用事例等についての講義を行い、課題を課す			
10回	テーマ	データサイエンスの有用性や活用事例5	講義，e-L	復習では、講義及び配布資料を見直す。宿題は該当する課題を実施する。	60
	内容	数理・データサイエンス・AIの社会における有用性や活用事例等についての講義を行い、課題を課す			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	データサイエンスの有用性や活用事例6	講義，e-L	復習では、講義及び配布資料を見直す。宿題は該当する課題を実施する。	60
	内容	数理・データサイエンス・AIの社会における有用性や活用事例等についての講義を行い、課題を課す			
12回	テーマ	データサイエンスの有用性や活用事例7	講義，e-L	復習では、講義及び配布資料を見直す。宿題は該当する課題を実施する。	60
	内容	数理・データサイエンス・AIの社会における有用性や活用事例等についての講義を行い、課題を課す			
13回	テーマ	データサイエンスの有用性や活用事例8	講義，e-L	復習では、講義及び配布資料を見直す。宿題は該当する課題を実施する。	60
	内容	数理・データサイエンス・AIの社会における有用性や活用事例等についての講義を行い、課題を課す			
14回	テーマ	データサイエンスの有用性や活用事例9	講義，e-L	復習では、講義及び配布資料を見直す。宿題は該当する課題を実施する。	60
	内容	数理・データサイエンス・AIの社会における有用性や活用事例等についての講義を行い、課題を課す			
15回	テーマ	データサイエンスの有用性や活用事例10	講義，e-L	復習では、講義及び配布資料を見直す。宿題は該当する課題を実施する。	60
	内容	数理・データサイエンス・AIの社会における有用性や活用事例等についての講義を行い、課題を課す			

科目名	特殊講座（アドベンチャー教育：企画プロジェクト）（３全学科）	開講学年	3	講義コード	1270108	区分	選択
英文表記	Adventure Education: An Event Management Project	開講期	前期前半等	開講形態	対面授業	単位数	1

担当教員	カーシマイヤー ブランデン カール

研究室	SILC Event Hall (1F)	オフィスアワー	複数担当のため授業で周知

メールアドレス	brandenk@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	イベント企画 (event planning)　プロジェクト管理 (project management)　問題解決型学習 (project-based learning)　アドベンチャー教育 (adventure education)　チームビルディング (teambuilding)　コミュニケーション (communication)　リーダーシップ (leadership)　創造的問題解 (creative problem solving)　異文化交流 (cross-cultural communication)

授業概要	このコースでは、実際の「アドベンチャー教育」イベントの企画・実行を通じて、プロジェクトマネジメントを体験します。プロジェクトの目的は、小中学生を対象とした半日のイベントで、チームビルディング、コミュニケーション、創造的な問題解決、そして楽しさを促進する教育とレクリエーション活動を組み合わせた、いわゆる「アドベンチャー教育」と呼ばれるイベントです。　学生たちは、米国を中心とした同様のイベントで実施されたアクティビティに関する知識と経験を得た上で、自分たち独自のプロジェクトのニーズと課題を概説し、目的を達成するための計画（成果、スケジュール、ベンチマーク、リソース、評価）を作成します。製品志向とプロセス志向を融合させ、学生はチームで協力しながらイベントに取り組み、日常的に個人の内省と形成的自己評価を行います。コース全体を通して、学生は人間的な視点を取り入れながら、目標達成のための基本的なイベント管理活動（スケジュール、予算、コーディネートなど）を行っていきます。学生は、社会科学（特に人格形成とアドベンチャー教育）とイベント企画の分野からキュレートされた国際的な文献やコンテンツに基づいて意思決定を行います。　このコースを修了した学生は、イベントマネジメントとアドベンチャー教育に関する知識と経験を身につけ、有用で転用性の高い一連のスキルを開発することができます。

関連科目
イングリッシュコミュニケーションI（基礎科目）　イングリッシュコミュニケーションII（基礎科目）　イングリッシュコミュニケーションIII（基礎科目）　イングリッシュコミュニケーションIV（基礎科目）　21世紀のメディア（連携科目）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A4	A4	A4
	JABEE基準		aghi	aghi	aghi

JABEE記号		学生の到達度目標
aghi	①	イベント企画とアドベンチャー教育について得た知識を、実際の製品に共同で合成することができる。
aghi	②	共同イベント企画、プロジェクトマネジメントの実体験を積めることができる。
aghi	③	特にアドベンチャー教育を通じて、人間形成を促進する活動についての異文化的な視点を得ることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	12	24	14	0	10	40	100

教科書	

参考書	

予備知識	コミュニケーションや協働による問題発見・解決に意欲的で、地域の青少年育成の取り組みに貢献することに関心があること。
実務経験のある教員	カーシマイヤー ブランデン カール
評価明細基準	【小テスト】講義で取り上げられた重要なポイント、必読文献やオンラインコンテンツで取り上げられた概念の理解度を確認する。Microsoft Formsで管理され、即時のフィードバックにより、知識のギャップを補い、理解を深め、さらなる探究心を高める。　【レポート】主要な活動の直後に行われる報告会は、学生が活動デザインの有益な資質を内面化する機会、直接経験した逸話と経験的データの関連付け、知識と経験をコースの最終プロジェクトに適用する機会となる。通常、少人数のグループディスカッションとして行われ、授業中に手書きのメモを提出し、口頭ですぐにフィードバックが行われます。また、研究活動後に個人的に作成するリフレクティブレポート（対面授業の合間に実施）も同様の機会を提供し、Microsoft Teams（課題）を通じて提出する。個人レポートはルーブリックで評価され、フィードバックとともに返却されます。　【成果発表】学生が作成した目標達成のための計画は、PBLセッションの最後にクラスと教師に簡単に発表される。簡単なルーブリック採点により、徹底性、明確性、実現可能性を評価する。　【ポートフォリオ】崇城大学の方針に基づき、学生は学期末にレポートによって授業目標への到達度を振り返ります。【その他 】プロジェクトの評価は、イベント参加者（保護者、生徒）からのフィードバック、教師の観察、生徒の自己評価などに基づいて行われる予定です。

学修上の注意 (SBOs)	1.このコースはバイリンガルのコースであり、講義、コミュニケーション、コース内容は英語と日本語の両方が使用される。英語力は必須ではなく、コースの評価にも反映されない。しかし、学生は可能な限り英語を使用するよう奨励される。原著の多くは英語で出版されているが、翻訳技術により学生の理解を助ける。　2.出席とは、授業に物理的に出席し、セッションの最初から議論や共同作業に積極的に参加することと定義される。　3.コースには、土曜日または日曜日に予定されている週末の1日イベントが含まれています（第7週）。このイベントには全学生が参加することが期待されていますが、緊急事態の場合は例外となります。　4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。　5.このコースは、クラス人数に制限があります。　6.Microsoft Teams は、重要なコース情報（オフィスアワー、シラバスなど）や授業資料（小テスト、必読文献など）へのアクセス、レポートの提出、クラスメートとのコミュニケーションや共同作業のために活用されます。オフィスアワーは学期開始後に決定し、Microsoft Teams で公開します。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	【フェーズ1】 コースとプロジェクトの背景を知るためのオリエンテーション	対面授業 実習＋講義＋SGD	1.【20分間の研究】もっと詳しく調べる：イベント企画 2.【20分間の研究】もっと詳しく調べる：アドベンチャー教育 3.【10分間の評価】クイズ2：コースファウンデーションズ 4.【20分間の評価】レポート1：コンセプトレディネス	70
	内容	1.アイスブレーカーとチーム形成の活動に参加する 2.コース構成の成果とプロセスを確認する 3.世界の青少年育成プログラムの簡単な歴史とイベント企画プロセスの概要と課題を調べる 4.自己評価と改善点の目標設定			
2回	テーマ	【フェーズ1】 主要な活動の試行、顧客の説明、ミッションと目標の策定	対面授業 実習＋講義＋SGD	1.【20分間の研究】もっと詳しく調べる：サマーキャンプでのアドベンチャー教育 2.【20分間の研究】もっと詳しく調べる：クリティカルパスアナリシス 3.【10分間の評価】クイズ3：クリティカルパス 4.【20分間の評価】レポート2：チームメンバーの役割	70
	内容	1. チーム形成の活動に参加、報告会する 2. クライアントプロファイルの作成する 3. 目的を明確にする			
3回	テーマ	【フェーズ1】 イベント企画のタスクとドキュメントの概要、役割の選定	対面授業 実習＋講義＋SGD	1.【20分間の研究】もっと詳しく調べる：ファンクションシート 2.【20分間の研究】もっと詳しく調べる：大学でのアドベンチャー教育 3.【10分間の評価】クイズ4：ファンクションシート 4.【20分間の評価】レポート3：フェーズ1の復習	70
	内容	1. チーム形成の活動に参加、報告会する 2. 企画のための適切な文書化手順を選択する 3. 役割と責任を決める			
4回	テーマ	【フェーズ2】 必要に応じて、具体的なイベントの詳細を計画する	対面授業 実習＋PBL	1.【20分間の研究】もっと詳しく調べる：参加者のフェードバック 2.【20分間の研究】もっと詳しく調べる：フェードフォーワード 3.【10分間の評価】クイズ5：参加者のフェードバック 4.【10分間の評価】レポート4：フェーズ2のアクティブリフレクション 5.【？分間のPBL】チームが決定した企画タスクをこなす	60
	内容	1. チーム形成の活動に参加、報告会する 2. イベント企画：スケジュールとプログラム			
5回	テーマ	【フェーズ2】 必要に応じて、具体的なイベントの詳細を計画する	対面授業 実習＋PBL	1.【20分間の研究】もっと詳しく調べる：フェーズ3 2.【20分間の研究】もっと詳しく調べる：ビジネスでのアドベンチャー教育 3.【10分間の評価】クイズ6：イベント理解 4.【10分間の評価】レポート5：フェーズ2のアクティブリフレクション 5.【？分間のPBL】チームが決定した企画タスクをこなす	60
	内容	1. チーム形成の活動に参加、報告会する 2. イベント企画：リソースと予算			
6回	テーマ	【フェーズ2】 必要に応じて、具体的なイベントの詳細を計画する	対面授業 実習＋PBL	1.【20分間の研究】もっと詳しく調べる：健康安全 2.【20分間の研究】もっと詳しく調べる：どんな問題が発生するのでしょうか？ 3.【10分間の評価】クイズ7：イベント理解 4.【10分間の評価】レポート6：フェーズ2のアクティブリフレクション 5.【？分間のPBL】チームが決定した企画タスクをこなす	60
	内容	1. チーム形成の活動に参加、報告会する 2. イベント企画：人員配置と移動手段			
7回	テーマ	【フェーズ3】 必要に応じて、具体的なイベントの詳細を計画する、イベント管理	対面授業 実習＋PBL	1.【60分間】イベント準備 2.【180分間】イベント理解 3.【30分間】イベント掃除 4.【30分間】イベント報告会	300
	内容	1. チーム形成の活動に参加、報告会する 2. イベント企画：ロジスティクスとパブリシティ			
8回	テーマ	【フェーズ4】 イベント報告会	対面授業 実習＋SGD＋講義	1.【30分間】崇城ポートフォリオを完了する	30
	内容	1. チーム形成の活動に参加、報告会する 2. イベント配信コールド報告会 3. コース報告会 4. 新たな始まり			

科目名	特殊講座（21 世紀のメディア）（３全学科）	開講学年	3	講義コード	1270109	区分	選択
英文表記	21st Century Media	開講期	前期後半	開講形態	対面授業	単位数	1

担当教員	レマスワール ロバート　グジョン ルック　ダイクス ロバート

研究室	レマスワール ロバート SILC402　グジョン ルック SILC302　ダイクス ロバート SILC303	オフィスアワー	金曜日３限目

メールアドレス	robertr@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	映像制作　イベントプロモーション　ウェブサイトデザイン　ソーシャルメディアデザイン　教養的知識　協働性　コミュニケーション能力

授業概要	このコースでは、学生はオンライン ツールを使用して数種類のバイリンガル メディアを作成します。オンラインエチケットとオンラインメディアの倫理的な使用について学びます。学生は、自分のクラブ、サークル、イベント、または最も関心のある SDG を宣伝する機会を得ることができます。学生は、ウェブサイトの作成と管理、アニメーション ビデオの作成、視聴者に合わせたポスターやソーシャル メディアへの投稿の作成方法を学びます。学生はグループで作業し、メディアをクラスで発表します。生徒は、ウェブサイト、ビデオ、メディアを提出してから1週間以内に、Teamsを通じて、スコアを含むフィードバックを受けます。生徒は、発表したクラス内の先生や仲間から、プレゼンテーションのスコアを受け取ります。 In this course, students will create several types of bilingual media using online tools. They will learn about online etiquette and the ethical use of online media. Students will learn how to create and manage a web site, create animated videos, and make posters and social media posts tailored to their audience. Students will receive feedback, including a score, on their website, video, and media in Teams within a week of its submission. Students will receive their presentation scores from the teachers and their peers within the class it was presented.

関連科目
なし

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A4	A4	A4
	JABEE基準		a,b,f,h,i	a,b,f,h,i	a,b,f,h,i

JABEE記号		学生の到達度目標
h,i	①	複数のメディアを利用したイベントの多言語プロモーションを作成できる
a,b	②	効果的なコミュニケーションで興味を引くようなチームプレゼンテーションを共同で行うことができる。
f	③	オンラインメディアを使って、日本語と英語でコミュニケーションができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	0	40	30	30		100

教科書	

参考書	

予備知識	イベントやSDGsを推進するために、コンピュータを使った作業でコミュニケーションをとり、協力する意欲があること。 A willingness to communicate and collaborate on computer-based tasks in order to promote an event or SDG.
実務経験のある教員	
評価明細基準	成果発表：プレゼンテーション：プレゼンテーションの内容、情報、興味の度合いで教師が採点（20点）同じ基準でピア評価（20点）。 ポートフォリオ：振り返り 学生は、毎週学んだことを振り返り、作成したものを自己採点する（20点） 崇城ポートフォリオ(10点) 作品：個人の貢献：各生徒が作成したものの品質とレベルは、ユーザーの体験する情報、またはテキストやメディアのわかりやすさに基づいて点数化されます。(30点)

学修上の注意 (SBOs)	このコースはバイリンガルのコースであり、講義、コミュニケーション、コース内容は英語と日本語の両方が使用される。英語力は必須ではなく、コースの評価にも反映されない。しかし、学生は可能な限り英語を使用するよう奨励される。 This course is bilingual, meaning that lectures, communication, and course content will make use of both English and Japanese. English proficiency is not required and is not reflected in course evaluation. However, students will be encouraged to use English whenever possible.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	講義 対面	グループのテーマを選択する	90
	内容	制作する3種類のメディアの概要、期待値、グループの作成について			
2回	テーマ	ウェブサイト制作	講義 対面	グループサイトのプラットフォームを選択する	90
	内容	複数のウェブサイトデザインプラットフォームの紹介。Wix、Weebly、Google Sitesなどです。			
3回	テーマ	ビデオ作成	講義 対面	動画プラットフォームの選択	90
	内容	複数の動画作成プラットフォームの紹介。PowToon、Animaker、Canvaなどです。			
4回	テーマ	ソーシャルメディア、紙媒体の作成	講義 対面	メディア制作のプラットフォームを選ぶ	90
	内容	複数のメディア制作プラットフォームの紹介。Microsoft DesignerやCanvaなどです。			
5回	テーマ	ホームページ制作	実習 対面	ウェブサイトを完成させる	90
	内容	イベントやSDGsを宣伝するためのウェブサイトをデザインします。			
6回	テーマ	ビデオデザイン	実習 対面	動画を完成させる.。ウェブサイトに関する教師のフィードバックを確認する。	90
	内容	イベントやSDGsを宣伝するためのビデオをデザインします。			
7回	テーマ	ソーシャルメディアと紙媒体のデザイン	実習 対面	メディアを完成させる.。ビデオに関する教師のフィードバックを確認する。	90
	内容	イベントやSDGsを宣伝するためのソーシャル・メディアや紙媒体のデザイン			
8回	テーマ	グループ発表	実技 対面	イベントやSDGsを紹介する.。教師のフィードバックを確認する。	90
	内容	5分間のプレゼンテーションで、グループがどのようにイベントやSDGsの認知度を向上させるかを紹介します。			

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ａ（１機）	開講学年	1	講義コード	2110401	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期）専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｂ（１機）	開講学年	1	講義コード	2110402	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期）専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｃ（１機）	開講学年	1	講義コード	2110403	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期）専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ａ（１ナ）	開講学年	1	講義コード	2110404	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期）専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題(「新聞記事批評文」)提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料(PowerPoint)と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW:個人ワーク、GW:グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科:「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料(PowerPoint)と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科:「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料(PowerPoint)と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科:「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表(希望者、抽選)	PW		
5回	テーマ	職業人への意識:企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献(書籍、インターネット情報、業界紙等)2件以上、タイトルは自身で設定(★給与等金銭面以外で考察すること) ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識:企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識:企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識:企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議(チーム活動記録)	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 (学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」) ○チーム編成、課題の選択(抽選の場合あり)、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議(チーム活動記録)	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成(Teams会議)	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｂ（１ナ）	開講学年	1	講義コード	2110405	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期） 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ａ（１建）	開講学年	1	講義コード	2110406	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期）専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｂ（１建）	開講学年	1	講義コード	2110407	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期）専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｃ（１建）	開講学年	1	講義コード	2110408	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期） 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎（１シス）	開講学年	1	講義コード	2110409	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他
研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる
オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。
メールアドレス	@
キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション
授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。
関連科目	「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期）専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎（１整）	開講学年	1	講義コード	2110410	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期） 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎（１操）	開講学年	1	講義コード	2110411	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目
「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期） 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ａ（１情）	開講学年	1	講義コード	2110412	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期）専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｂ（１情）	開講学年	1	講義コード	2110413	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期）専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｃ（１情）	開講学年	1	講義コード	2110414	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期）専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｄ（１情）	開講学年	1	講義コード	2110415	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期） 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｅ（１情）	開講学年	1	講義コード	2110416	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期） 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ａ①（１生物）	開講学年 1	講義コード 2110417	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期 後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数 2
担当教員	藤本元啓 他			
研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる		オフィスアワー メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。	
メールアドレス	@			
キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション			

授業概要

1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期） 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書

SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ａ②（１生物）	開講学年	1	講義コード	2110418	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期）専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて　①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか　②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか　（★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ａ③（１生物）	開講学年	1	講義コード	2110419	区分	必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期）専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｂ①（１生物）	開講学年 1	講義コード 2110420	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期 後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数 2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目
「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期） 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｂ②（１生物）	開講学年 1	講義コード 2110421	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期 後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数 2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期） 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成　前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて　①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか　②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか　（★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎Ｂ③（１生物）	開講学年 1	講義コード 2110422	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期 後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数 2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期） 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A4	A4
		JABEE基準		e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ＳＯＪＯ基礎Ⅱ◎（再履修）	開講学年 1	講義コード 2110423	区分 必修
英文表記	Basic Study Style for SOJO Univ. Students Ⅱ	開講期 後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数 2

担当教員	藤本元啓 他

研究室	20クラス以上の編成のため担当教員が授業で知らせる	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる。

メールアドレス	@

キーワード	アカデミックスキル　論理力　自己管理力　協働性　　キャリアデザイン能力　企業提供課題の解決　SOJOポートフォリオ　文章表現　　プレゼンテーション

授業概要	1.「学生」になったことを再認識して、大学生活における実践目標を明確化し、自学自習の習慣をさらに身につける。 2.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、自己管理力と社会への関心を高め、大学4年間とこれに続くキャリアデザインを考える。 3.PBL型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 4.企業提供課題の解決をとおして、将来の職業との関連性を考える。 5.精確な情報を収集して論理的な自己見解を作成し、文章（レポート）と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 6.学修・課題・宿題を「仕事」に置き換え、制約条件の下で質的に高いもの（品質）に仕上げるとともに、提出日（納期）を厳守する習慣を身につける。

関連科目

「SOJO基礎Ⅰ」（1年前期）「キャリアプレコーオプ」（2年前後期）「インターンシップⅠ・Ⅱ」（3年前後期（学期内集中））「キャリアセミナー」（3年後期） 専門科目の「SOJOプロジェクト科目群」（2、3年）

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			e, f, g, h, i	e, f, g, h, i

JABEE記号		学生の到達度目標
g, h	①	「今週の活動とトップニュース」の記入と授業資料のバインダー整理をとおして、自己管理力を高めることができる。
e, f	②	「今週の活動とトップニュース」や「朝日新聞時事ワークシート」での新聞記事の批評をとおして、論理力を高めることができる。
	③	「学科研究室調査（ナノサイエンス学科：ナノサイエンスを知る）」のプレゼンテーションと「就職したと仮定した企業での私の役割」レポートの執筆をとおして、キャリアデザインを進めることができる。
f, i	④	チーム活動について内省した結果を「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートとしてまとめることをとおして、協働性を身につけることができる。
f	⑤	大学におけるレポートの書き方やPowerPointを使ったプレゼンテーションの技法など、アカデミックスキルの基礎を身につけることができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	19	3	50	8	100

教科書	SOJO基礎ⅠⅡ2023　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲　5.「SOJO基礎Ⅰ」で修得した知識とスキル
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「就職したと仮定した企業での私の役割」10点　2.成果発表(プレゼンテーションB「学科研究室調査」／「ナノサイエンスを知る」)　・発表資料(PowerPoint)5点、発表原稿(1200文字以上)5点　2.成果発表(プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」)　・チーム発表(10分) 9点　・「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート10点　3.作品:授業資料(テキスト、配付資料、調査資料等、詳細は別途指示)をA4版紙バインダーに整理 3点　4.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(新聞記事の批評)」2点×10週分＝20点　5.ポートフォリオ:「今週の活動とトップニュース(批評以外)」　2点×10週分＝20点　6.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点　7.その他:夏期課題「新聞記事批評文」2点×4部＝8点　★プレゼンテーションCの準備作業、Teams会議の不参加者は1回につき2点減点(公認欠席等を除く)　★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：タブレット。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チーム活動に関する振り返り」レポート・「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。　1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出の機会を設けることもない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。 7.レポート等の提出物は学期内に返却する。 8.「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週必ず確認し、「コメントを読みました」ボタンを押すこと。 9.お茶・水以外の飲用は不可。 10.スマートフォンはカバンにしまうこと。授業中、許可なく使用しているのを発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション、プレゼンテーションB準備①	対面	★今週の活動とトップニュースの作成は、1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日正午。冬休み期間中も入力すること。 今週の活動とトップニュース① 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○夏期課題（「新聞記事批評文」）提出 ○「SOJO基礎Ⅱ」の概要とシラバスの説明 ○キャリアデザイン ○研究室調査準備シートの作成　研究室の調査、他大学研究室との比較、構成検討 ○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成 ★4回目の授業日に提出 PW：個人ワーク、GW：グループワーク	PW		
2回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備② ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース② 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
3回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」準備③ ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	遠隔	今週の活動とトップニュース③ 発表原稿・発表資料作成	60 90
	内容	○個人発表資料（PowerPoint）と発表原稿の作成	PW		
4回	テーマ	プレゼンテーションB「学科研究室調査」発表会 ※ナノサイエンス学科：「ナノサイエンスを知る」	対面	今週の活動とトップニュース④	60
	内容	○5名程度の発表（希望者、抽選）	PW		
5回	テーマ	職業人への意識：企業調査①	対面	今週の活動とトップニュース⑤ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○課題レポート：「就職したと仮定した企業での私の役割」 ○レポート作成の概要の説明、書式設定、準備シートの作成 ○下記各項目本文400文字以上、参考文献（書籍、インターネット情報、業界紙等）2件以上、タイトルは自身で設定（★給与等金銭面以外で考察すること） ①企業の概要 ②その企業で何をしたいのか ③そのためには何が必要なのか ④その企業で働くことの意味とは何か ★7回目の授業日に仮提出、9回目の授業日に本提出	PW		
6回	テーマ	職業人への意識：企業調査②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑥ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成	PW		
7回	テーマ	職業人への意識：企業調査③	遠隔	今週の活動とトップニュース⑦ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成、第一稿提出	PW		
8回	テーマ	職業人への意識：企業調査④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑧ 「課題レポート」作成	60 60
	内容	○レポート作成 第一稿への教員コメントをもとに加筆修正	PW		
9回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備①	対面	今週の活動とトップニュース⑨ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」の説明 （学科に沿った内容の、企業等からの提供課題に対する「アイデア的解決」） ○チーム編成、課題の選択（抽選の場合あり）、発表内容・構成、工程、役割分担、Teams会議日程の決定	GW		
10回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備②	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑩ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○情報収集、内容討議、PowerPoint作成（Teams会議）	GW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備③	対面	今週の活動とトップニュース⑪ Teams会議（チーム活動記録）	60 60
	内容	○中間報告 チーム単位での経過報告と修正作業	GW		
12回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」準備④	対面／遠隔	今週の活動とトップニュース⑫ Teams会議（チーム活動記録）：発表予行演習	60 60
	内容	○中間報告への教員コメントをもとに修正 ○発表予行演習	GW		
13回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑬ 「振り返り」レポート作成	60 60
	内容	★全チーム発表資料（PowerPoint）の提出 ★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成	GW		
14回	テーマ	プレゼンテーションC「企業提供課題の解決」発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑭ 「振り返り」レポート作成 「学修到達度レポート」「授業アンケート」（15回目の授業前日までに入力）	60 120 60 30
	内容	★チーム発表（10分）、質疑応答、評価シートの作成 ○「プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関する振り返り」レポート作成 前期に執筆した「プレゼンテーションAにおけるチーム活動に関する振り返り」レポートを踏まえて ①プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を、どのように生かすことができたと考えるか ②プレゼンテーションCにおけるチーム活動に関して、プレゼンテーションAの反省点の何を生かすことができなかったと考えるか。その原因はどこにあると考えるか （★各項目400文字以上、15回目の授業日に提出）	GW・PW		
15回	テーマ	自己点検、まとめ	対面		
	内容	○授業資料バインダー点検、出席確認、総評 ○学期末活動報告書の作成（後期の担任面談時に持参）	PW		

科目名	ベンチャービジネス（１機宇）	開講学年	1	講義コード	2110701	区分	選必
英文表記	Venture Business	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	川副 智行（実務経験）						
研究室	G301	オフィスアワー	木曜日終日				
メールアドレス	t-kawasoe@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	アカデミックスキル　キャリアデザイン能力　協働性　自己管理力　　ビジネスプランコンテスト　チャレンジ精神						

授業概要

「ベンチャー・起業というこれからの新しい選択肢を理解して、ビジネスプランコンテストへの「挑戦」を行う。」 本講義では、まずビジネスプラン作成のためのフレームワークを習得する。次に協働する力を養いながら、チームでビジネスプランを作成する。そのビジネスプランを第9回崇城大学ビジネスプランコンテストに提出する。そして最後に、自身が提案するビジネスプランと他者のプランを対比し、効果的なプレゼンテーションスキルを身に付けると共に、着想やアプローチの差異について考察する。 この一連のプロセスにおいて、前職の民間企業で長年研究開発に携わってきた実務経験に基づき、ベンチャー・起業というこれからの新しい選択肢を理解しながら、新しいことに自らチャレンジするマインドの醸成に繋げる。なお、レポートなどの提出物については、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。

関連科目

基礎科目：「特殊講座(未来デザイン)」、「アントレプレナーシップ入門」 発展科目：「イノベーション入門」、「ローカルイノベーション」　「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			(b), (e), (f),	(b), (e), (f),

JABEE記号		学生の到達度目標
(b), (e), (h)	①	独自のアイデアから魅力的なビジネスプランを策定することができる
(e), (f)	②	グループワークにて策定したビジネスプランの効果的なプレゼンテーションをすることができる
(h)	③	ビジネスプラン策定のグループワークにおいて、積極的に貢献することができる
(g)	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートファリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	20	8	29	10	33	100

教科書

講義のレジュメを教科書とする

参考書

ビジネスモデル・ジェネレーション　翔泳社　アレック・オスターワルダー　978-47981-22977
インセンティブプレゼンテーション　KADOKAWA　杉本真樹　978-40488-62189

予備知識	新しいことに挑戦することの重要性を理解して欲しい。 チャレンジ精神をもって物事に取り組むことと、グループワークによりメンバーの多様性を創造性に変える力を身に付けること。講義で考えたビジネスプランは、崇城大学ビジネスプランコンテストに必ずエントリーする。
実務経験のある教員	川副 智行
評価明細基準	1. 確認課題：3点×11回（第3回, 第8回, 第11回, 第14回を除く講義）＝33点 各講義においては確認課題があり、提出期限までの提出をもって評価する。 2. 崇城ビジコン一次エントリー（第3回）：10点 第1-4回のグループワークの成果として、崇城ビジコンへのエントリーとともに、エントリー項目を評価する。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。 3. ビジコン二次資料（第8回）：12点 ビジコンの一次審査の結果に関わらず、第5-8回のグループワークの成果としてビジコン二次審査資料と同様の資料を作成して提出する。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。 4. プレゼンテーション資料&発表原稿（第11回）：7点 ビジコン二次審査の結果に関わらず、第9-11回のグループワークの成果としてプレゼンテーション資料と発表資料を作成して提出する。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。 5. プレゼンテーション（第12・13回）：8点 成果発表として各グループでプレゼンテーションを行う。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。 6.レポート（第14回）：20点 ビジネスプランのブラッシュアップについてを1200～1500字でまとめる。。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。 7. ポートフォリオ：10点 学修到達度レポートによって評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. Web Classに掲示する授業インストラクションを事前に閲覧した上で講義を受講する。　2.各講義で実施する確認課題は、原則1週間以内にWebClassで回答する。レポートは講義終了2週間以内にWebClassにアップロードとする（期限の詳細は講義にて説明する）。なお遅延提出は減点対象となる。　3. 実践型ワークショップでは、グループディスカッションが中心となるが、自由時間ではないことを肝に銘じ学修に取り組む。なお、講義とは関係ない活動を実施した場合は、退室を命じることがある。　4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。　5.オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合はG301もしくはG303にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。その他メール等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第2回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■講義概要、講師紹介,ビジネスプランについてを概説。 ■本講義における実践型ワークショップの推進方法を把握する。 ■グループワークのためのチームを編成する。			
2回	テーマ	ビジネスプランコンテスト	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第3回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■崇城大学ビジネスプランコンテストについて理解する。 ■ビジネスプランコンテストとスタートアップの関連を理解する。 ■エントリーに必要な項目を理解して、グループワークで議論する。			
3回	テーマ	挑戦の必要性について	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第4回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■社会における挑戦の必要性を理解する。 ■社会人基礎力に関する理解を深め、行動に反映できるようになる。 ■エントリーに必要な項目についてグループワークで議論する。			
4回	テーマ	グループワークについて	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出すると共に、崇城ビジコンへのエントリーを行う。第5回の授業インストラクションを読んでおく。	90
	内容	■メンバーの多様性を創造性に変えるグループワークの考えを理解する。 ■グループワークで議論したプランをもって、第9回崇城ビジコンにエントリーする。			
5回	テーマ	ビジネスプラン提示資料について	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第6回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■崇城ビジコンを想定したビジネスプランの提示資料を理解する。 ■過去のビジネスプラン提示資料を確認して、ビジネスプランの策定方針を決める。 ■ビジネスプラン提示資料の作成に向けてグループワークを行う。			
6回	テーマ	テクノロジーと探索と導入	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第7回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■強いビジネスプランには、強いシーズが有効であることを理解する。 ■ビジネスプランの強化のために、ネットなどでシーズ探索を行う。 ■ビジネスプラン提示資料の作成に向けてグループワークを行う。			
7回	テーマ	ブラッシュアップPrat.1	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第8回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■グループごとに担当教員に現状説明を行い、アドバイスをもらう。 ■完成途上においても他者の意見を聞くことの重要性を理解する。 ■ビジネスプラン提示資料の作成に向けてグループワークを行う。			
8回	テーマ	マネタイズとビジネスモデル	講義+PBL(Project Based Learning)	ビジネスプラン提案資料を期日内に提出する。第9回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■継続したビジネスを展開するためには、お金の流れを考えたビジネスモデルが必要であることを理解する。 ■ビジネスプラン提示資料の作成に向けてグループワークを行う。 ■ビジネスプラン提示資料を完成させる。			
9回	テーマ	プレゼンテーション動画視聴Prat.1	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第10回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■プレゼンテーションの重要性とその考え方を理解する。 ■昨年度の崇城ビジコン最終審査会動画を視聴し、プレゼン手法を議論する。 ■ビジネスプランの発表資料と発表原稿の作成に関するグループワークを行う。			
10回	テーマ	ブラッシュアップPrat.2	講義+PBL(Project Based Learning)	ビジネスプランプレゼン資料と原稿について期日内に提出する。第11回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■グループごとに担当教員に現状のプレゼンテーションを行い、アドバイスをもらう。 ■他者の意見を聞き、自身のプランに活かすことの重要性を理解する。 ■グループワークを行い、ビジネスプラン発表資料と発表原稿を完成する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションスキル	講義+PBL(Project Based Learning)	想定質問に関する確認課題について期日内に提出する。第12回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■プレゼンテーションのスキルに関する知識を身に付ける。 ■発表会でのプレゼン方法を理解して、グループワークにて発表準備を行う。 ■想定質問を考え、質問応対の準備を行う。			
12回	テーマ	発表会1	演習	ビジネスプラン評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第13回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■提案するビジネスプランの発表を行う。 ■他者の発表を聞いて、ポジティブな質問を考えるスキルを身に付ける。 ■他者の発表に関する評価を行う。			
13回	テーマ	発表会2	演習	ビジネスプラン評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第14回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■提案するビジネスプランの発表を行う。 ■他者の発表を聞いて、ポジティブな質問を考えるスキルを身に付ける。 ■他者の発表に関する評価を行う。			
14回	テーマ	プレゼンテーション動画視聴Prat.2	講義+PBL(Project Based Learning)	ビジネスプランのブラッシュアップについてのレポートを作成して期日内に提出する。第15回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■本年度の崇城ビジコン最終審査会動画を視聴し、プレゼン手法及び提案内容について議論する。 ■評価シートの集計結果を共有化して、グループのビジネスプランのブラッシュアップの方向性を探る。 ■ビジネスアイデアの良い点・悪い点及び改善の方向性をレポートまとめる。			
15回	テーマ	講義のまとめ	講義）	確認課題について期日内に提出する。ポートフォリオ（到達レポート）の作成する。	30
	内容	■講義のまとめと教員からのメッセージ ■質問への対応方法に関するスキルを身に付ける			

科目名	ベンチャービジネス（１ナ生物）	開講学年	1	講義コード	2110702	区分	選必
英文表記	Venture Business	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川副 智行（実務経験）

研究室	G301	オフィスアワー	木曜日終日

メールアドレス	t-kawasoe@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	アカデミックスキル　キャリアデザイン能力　協働性　自己管理力　　ビジネスプランコンテスト　チャレンジ精神

授業概要

「ベンチャー・起業というこれからの新しい選択肢を理解して、ビジネスプランコンテストへの「挑戦」を行う。」 本講義では、まずビジネスプラン作成のためのフレームワークを習得する。次に協働する力を養いながら、チームでビジネスプランを作成する。そのビジネスプランを第9回崇城大学ビジネスプランコンテストに提出する。そして最後に、自身が提案するビジネスプランと他者のプランを対比し、効果的なプレゼンテーションスキルを身に付けると共に、着想やアプローチの差異について考察する。 この一連のプロセスにおいて、前職の民間企業で長年研究開発に携わってきた実務経験に基づき、ベンチャー・起業というこれからの新しい選択肢を理解しながら、新しいことに自らチャレンジするマインドの醸成に繋げる。なお、レポートなどの提出物については、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。

関連科目

基礎科目：「特殊講座(未来デザイン)」、「アントレプレナーシップ入門」 発展科目：「イノベーション入門」、「ローカルイノベーション」　「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			(b), (e), (f),	(b), (e), (f),

JABEE記号		学生の到達度目標
(b), (e), (h)	①	独自のアイデアから魅力的なビジネスプランを策定することができる
(e), (f)	②	グループワークにて策定したビジネスプランの効果的なプレゼンテーションをすることができる
(h)	③	ビジネスプラン策定のグループワークにおいて、積極的に貢献することができる
(g)	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートファリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	20	8	29	10	33	100

教科書

講義のレジュメを教科書とする

参考書

ビジネスモデル・ジェネレーション　翔泳社　アレック・オスターワルダー　978-47981-22977
インセンティブプレゼンテーション　KADOKAWA　杉本真樹　978-40488-62189

予備知識	新しいことに挑戦することの重要性を理解して欲しい。 チャレンジ精神をもって物事に取り組むことと、グループワークによりメンバーの多様性を創造性に変える力を身に付けること。講義で考えたビジネスプランは、崇城大学ビジネスプランコンテストに必ずエントリーする。
実務経験のある教員	川副 智行
評価明細基準	1. 確認課題：3点×11回（第3回, 第8回, 第11回, 第14回を除く講義）＝33点　各講義においては確認課題があり、提出期限までの提出をもって評価する。　2. 崇城ビジコン一次エントリー（第3回）：10点 第1-4回のグループワークの成果として、崇城ビジコンへのエントリーとともに、エントリー項目を評価する。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。　3. ビジコン二次資料（第8回）：12点 ビジコンの一次審査の結果に関わらず、第5-8回のグループワークの成果としてビジコン二次審査資料と同様の資料を作成して提出する。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。　4. プレゼンテーション資料&発表原稿（第11回）：7点 ビジコン二次審査の結果に関わらず、第9-11回のグループワークの成果としてプレゼンテーション資料と発表資料を作成して提出する。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。　5. プレゼンテーション（第12・13回）：8点 成果発表として各グループでプレゼンテーションを行う。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。　6.レポート（第14回）：20点 ビジネスプランのブラッシュアップについてを1200～1500字でまとめる。。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。　7. ポートフォリオ：10点 学修到達度レポートによって評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. Web Classに掲示する授業インストラクションを事前に閲覧した上で講義を受講する。　2.各講義で実施する確認課題は、原則1週間以内にWebClassで回答する。レポートは講義終了2週間以内にWebClassにアップロードとする（期限の詳細は講義にて説明する）。なお遅延提出は減点対象となる。　3. 実践型ワークショップでは、グループディスカッションが中心となるが、自由時間ではないことを肝に銘じ学修に取り組む。なお、講義とは関係ない活動を実施した場合は、退室を命じることがある。　4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。　5.オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合はG301もしくはG303にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。その他メール等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第2回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■講義概要、講師紹介,ビジネスプランについてを概説。 ■本講義における実践型ワークショップの推進方法を把握する。 ■グループワークのためのチームを編成する。			
2回	テーマ	ビジネスプランコンテスト	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第3回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■崇城大学ビジネスプランコンテストについて理解する。 ■ビジネスプランコンテストとスタートアップの関連を理解する。 ■エントリーに必要な項目を理解して、グループワークで議論する。			
3回	テーマ	挑戦の必要性について	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第4回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■社会における挑戦の必要性を理解する。 ■社会人基礎力に関する理解を深め、行動に反映できるようになる。 ■エントリーに必要な項目についてグループワークで議論する。			
4回	テーマ	グループワークについて	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出すると共に、崇城ビジコンへのエントリーを行う。第5回の授業インストラクションを読んでおく。	90
	内容	■メンバーの多様性を創造性に変えるグループワークの考えを理解する。 ■グループワークで議論したプランをもって、第9回崇城ビジコンにエントリーする。			
5回	テーマ	ビジネスプラン提示資料について	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第6回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■崇城ビジコンを想定したビジネスプランの提示資料を理解する。 ■過去のビジネスプラン提示資料を確認して、ビジネスプランの策定方針を決める。 ■ビジネスプラン提示資料の作成に向けてグループワークを行う。			
6回	テーマ	テクノロジーと探索と導入	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第7回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■強いビジネスプランには、強いシーズが有効であることを理解する。 ■ビジネスプランの強化のために、ネットなどでシーズ探索を行う。 ■ビジネスプラン提示資料の作成に向けてグループワークを行う。			
7回	テーマ	ブラッシュアップPrat.1	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第8回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■グループごとに担当教員に現状説明を行い、アドバイスをもらう。 ■完成途上においても他者の意見を聞くことの重要性を理解する。 ■ビジネスプラン提示資料の作成に向けてグループワークを行う。			
8回	テーマ	マネタイズとビジネスモデル	講義+PBL(Project Based Learning)	ビジネスプラン提案資料を期日内に提出する。第9回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■継続したビジネスを展開するためには、お金の流れを考えたビジネスモデルが必要であることを理解する。 ■ビジネスプラン提示資料の作成に向けてグループワークを行う。 ■ビジネスプラン提示資料を完成させる。			
9回	テーマ	プレゼンテーション動画視聴Prat.1	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第10回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■プレゼンテーションの重要性とその考え方を理解する。 ■昨年度の崇城ビジコン最終審査会動画を視聴し、プレゼン手法を議論する。 ■ビジネスプランの発表資料と発表原稿の作成に関するグループワークを行う。			
10回	テーマ	ブラッシュアップPrat.2	講義+PBL(Project Based Learning)	ビジネスプランプレゼン資料と原稿について期日内に提出する。第11回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■グループごとに担当教員に現状のプレゼンテーションを行い、アドバイスをもらう。 ■他者の意見を聞き、自身のプランに活かすことの重要性を理解する。 ■グループワークを行い、ビジネスプラン発表資料と発表原稿を完成する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションスキル	講義+PBL(Project Based Learning)	想定質問に関する確認課題について期日内に提出する。第12回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■プレゼンテーションのスキルに関する知識を身に付ける。 ■発表会でのプレゼン方法を理解して、グループワークにて発表準備を行う。 ■想定質問を考え、質問応対の準備を行う。			
12回	テーマ	発表会1	演習	ビジネスプラン評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第13回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■提案するビジネスプランの発表を行う。 ■他者の発表を聞いて、ポジティブな質問を考えるスキルを身に付ける。 ■他者の発表に関する評価を行う。			
13回	テーマ	発表会2	演習	ビジネスプラン評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第14回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■提案するビジネスプランの発表を行う。 ■他者の発表を聞いて、ポジティブな質問を考えるスキルを身に付ける。 ■他者の発表に関する評価を行う。			
14回	テーマ	プレゼンテーション動画視聴Prat.2	講義+PBL(Project Based Learning)	ビジネスプランのブラッシュアップについてのレポートを作成して期日内に提出する。第15回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■本年度の崇城ビジコン最終審査会動画を視聴し、プレゼン手法及び提案内容について議論する。 ■評価シートの集計結果を共有化して、グループのビジネスプランのブラッシュアップの方向性を探る。 ■ビジネスアイデアの良い点・悪い点及び改善の方向性をレポートまとめる。			
15回	テーマ	講義のまとめ	講義）	確認課題について期日内に提出する。ポートフォリオ（到達レポート）の作成する。	30
	内容	■講義のまとめと教員からのメッセージ ■質問への対応方法に関するスキルを身に付ける			

科目名	ベンチャービジネス（１建情）	開講学年	1	講義コード	2110703	区分	選必
英文表記	Venture Business	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川副 智行（実務経験）

研究室	G301	オフィスアワー	木曜日終日

メールアドレス	t-kawasoe@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	アカデミックスキル　キャリアデザイン能力　協働性　自己管理力　　ビジネスプランコンテスト　チャレンジ精神

授業概要	「ベンチャー・起業というこれからの新しい選択肢を理解して、ビジネスプランコンテストへの「挑戦」を行う。」 本講義では、まずビジネスプラン作成のためのフレームワークを習得する。次に協働する力を養いながら、チームでビジネスプランを作成する。そのビジネスプランを第9回崇城大学ビジネスプランコンテストに提出する。そして最後に、自身が提案するビジネスプランと他者のプランを対比し、効果的なプレゼンテーションスキルを身に付けると共に、着想やアプローチの差異について考察する。 この一連のプロセスにおいて、前職の民間企業で長年研究開発に携わってきた実務経験に基づき、ベンチャー・起業というこれからの新しい選択肢を理解しながら、新しいことに自らチャレンジするマインドの醸成に繋げる。なお、レポートなどの提出物については、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。

関連科目

基礎科目：「特殊講座(未来デザイン)」、「アントレプレナーシップ入門」 発展科目：「イノベーション入門」、「ローカルイノベーション」　「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A1	A1
	JABEE基準			(b), (e), (f),	(b), (e), (f),

JABEE記号		学生の到達度目標
(b), (e), (h)	①	独自のアイデアから魅力的なビジネスプランを策定することができる
(e), (f)	②	グループワークにて策定したビジネスプランの効果的なプレゼンテーションをすることができる
(h)	③	ビジネスプラン策定のグループワークにおいて、積極的に貢献することができる
(g)	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートファリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	8	29	10	33	100

教科書	講義のレジュメを教科書とする

参考書	ビジネスモデル・ジェネレーション　翔泳社　アレック・オスターワルダー　978-47981-22977 インセンティブプレゼンテーション　KADOKAWA　杉本真樹　978-40488-62189

予備知識	新しいことに挑戦することの重要性を理解して欲しい。 チャレンジ精神をもって物事に取り組むことと、グループワークによりメンバーの多様性を創造性に変える力を身に付けること。講義で考えたビジネスプランは、崇城大学ビジネスプランコンテストに必ずエントリーする。
実務経験のある教員	川副 智行
評価明細基準	1. 確認課題：3点×11回（第3回, 第8回, 第11回, 第14回を除く講義）＝33点 各講義においては確認課題があり、提出期限までの提出をもって評価する。 2. 崇城ビジコン一次エントリー（第3回）：10点 第1-4回のグループワークの成果として、崇城ビジコンへのエントリーとともに、エントリー項目を評価する。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。 3. ビジコン二次資料（第8回）：12点 ビジコンの一次審査の結果に関わらず、第5-8回のグループワークの成果としてビジコン二次審査資料と同様の資料を作成して提出する。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。 4. プレゼンテーション資料&発表原稿（第11回）：7点 ビジコン二次審査の結果に関わらず、第9-11回のグループワークの成果としてプレゼンテーション資料と発表資料を作成して提出する。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。 5. プレゼンテーション（第12・13回）：8点 成果発表として各グループでプレゼンテーションを行う。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。 6.レポート（第14回）：20点 ビジネスプランのブラッシュアップについてを1200～1500字でまとめる。。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。 7. ポートフォリオ：10点 学修到達度レポートによって評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. Web Classに掲示する授業インストラクションを事前に閲覧した上で講義を受講する。　2.各講義で実施する確認課題は、原則1週間以内にWebClassで回答する。レポートは講義終了2週間以内にWebClassにアップロードとする（期限の詳細は講義にて説明する）。なお遅延提出は減点対象となる。　3. 実践型ワークショップでは、グループディスカッションが中心となるが、自由時間ではないことを肝に銘じ学修に取り組む。なお、講義とは関係ない活動を実施した場合は、退室を命じることがある。　4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。　5.オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合はG301もしくはG303にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。その他メール等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第2回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■講義概要、講師紹介,ビジネスプランについてを概説。 ■本講義における実践型ワークショップの推進方法を把握する。 ■グループワークのためのチームを編成する。			
2回	テーマ	ビジネスプランコンテスト	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第3回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■崇城大学ビジネスプランコンテストについて理解する。 ■ビジネスプランコンテストとスタートアップの関連を理解する。 ■エントリーに必要な項目を理解して、グループワークで議論する。			
3回	テーマ	挑戦の必要性について	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第4回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■社会における挑戦の必要性を理解する。 ■社会人基礎力に関する理解を深め、行動に反映できるようになる。 ■エントリーに必要な項目についてグループワークで議論する。			
4回	テーマ	グループワークについて	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出すると共に、崇城ビジコンへのエントリーを行う。第5回の授業インストラクションを読んでおく。	90
	内容	■メンバーの多様性を創造性に変えるグループワークの考えを理解する。 ■グループワークで議論したプランをもって、第9回崇城ビジコンにエントリーする。			
5回	テーマ	ビジネスプラン提示資料について	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第6回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■崇城ビジコンを想定したビジネスプランの提示資料を理解する。 ■過去のビジネスプラン提示資料を確認して、ビジネスプランの策定方針を決める。 ■ビジネスプラン提示資料の作成に向けてグループワークを行う。			
6回	テーマ	テクノロジーと探索と導入	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第7回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■強いビジネスプランには、強いシーズが有効であることを理解する。 ■ビジネスプランの強化のために、ネットなどでシーズ探索を行う。 ■ビジネスプラン提示資料の作成に向けてグループワークを行う。			
7回	テーマ	ブラッシュアップPrat.1	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第8回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■グループごとに担当教員に現状説明を行い、アドバイスをもらう。 ■完成途上においても他者の意見を聞くことの重要性を理解する。 ■ビジネスプラン提示資料の作成に向けてグループワークを行う。			
8回	テーマ	マネタイズとビジネスモデル	講義+PBL(Project Based Learning)	ビジネスプラン提案資料を期日内に提出する。第9回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■継続したビジネスを展開するためには、お金の流れを考えたビジネスモデルが必要であることを理解する。 ■ビジネスプラン提示資料の作成に向けてグループワークを行う。 ■ビジネスプラン提示資料を完成させる。			
9回	テーマ	プレゼンテーション動画視聴Prat.1	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第10回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■プレゼンテーションの重要性とその考え方を理解する。 ■昨年度の崇城ビジコン最終審査会動画を視聴し、プレゼン手法を議論する。 ■ビジネスプランの発表資料と発表原稿の作成に関するグループワークを行う。			
10回	テーマ	ブラッシュアップPrat.2	講義+PBL(Project Based Learning)	ビジネスプランプレゼン資料と原稿について期日内に提出する。第11回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■グループごとに担当教員に現状のプレゼンテーションを行い、アドバイスをもらう。 ■他者の意見を聞き、自身のプランに活かすことの重要性を理解する。 ■グループワークを行い、ビジネスプラン発表資料と発表原稿を完成する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションスキル	講義+PBL(Project Based Learning)	想定質問に関する確認課題について期日内に提出する。第12回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■プレゼンテーションのスキルに関する知識を身に付ける。 ■発表会でのプレゼン方法を理解して、グループワークにて発表準備を行う。 ■想定質問を考え、質問応対の準備を行う。			
12回	テーマ	発表会1	演習	ビジネスプラン評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第13回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■提案するビジネスプランの発表を行う。 ■他者の発表を聞いて、ポジティブな質問を考えるスキルを身に付ける。 ■他者の発表に関する評価を行う。			
13回	テーマ	発表会2	演習	ビジネスプラン評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第14回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■提案するビジネスプランの発表を行う。 ■他者の発表を聞いて、ポジティブな質問を考えるスキルを身に付ける。 ■他者の発表に関する評価を行う。			
14回	テーマ	プレゼンテーション動画視聴Prat.2	講義+PBL(Project Based Learning)	ビジネスプランのブラッシュアップについてのレポートを作成して期日内に提出する。第15回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■本年度の崇城ビジコン最終審査会動画を視聴し、プレゼン手法及び提案内容について議論する。 ■評価シートの集計結果を共有化して、グループのビジネスプランのブラッシュアップの方向性を探る。 ■ビジネスアイデアの良い点・悪い点及び改善の方向性をレポートまとめる。			
15回	テーマ	講義のまとめ	講義）	確認課題について期日内に提出する。ポートフォリオ（到達レポート）の作成する。	30
	内容	■講義のまとめと教員からのメッセージ ■質問への対応方法に関するスキルを身に付ける			

科目名	ベンチャービジネス（１美デ薬）	開講学年	1	講義コード	2110704	区分	選必
英文表記	Venture Business	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	川副 智行（実務経験）

研究室	G301	オフィスアワー	木曜日終日

メールアドレス	t-kawasoe@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	アカデミックスキル　キャリアデザイン能力　協働性　自己管理力　　ビジネスプランコンテスト　チャレンジ精神

授業概要	「ベンチャー・起業というこれからの新しい選択肢を理解して、ビジネスプランコンテストへの「挑戦」を行う。」 本講義では、まずビジネスプラン作成のためのフレームワークを習得する。次に協働する力を養いながら、チームでビジネスプランを作成する。そのビジネスプランを第9回崇城大学ビジネスプランコンテストに提出する。そして最後に、自身が提案するビジネスプランと他者のプランを対比し、効果的なプレゼンテーションスキルを身に付けると共に、着想やアプローチの差異について考察する。 この一連のプロセスにおいて、前職の民間企業で長年研究開発に携わってきた実務経験に基づき、ベンチャー・起業というこれからの新しい選択肢を理解しながら、新しいことに自らチャレンジするマインドの醸成に繋げる。なお、レポートなどの提出物については、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。

関連科目

基礎科目：「特殊講座(未来デザイン)」、「アントレプレナーシップ入門」 発展科目：「イノベーション入門」、「ローカルイノベーション」　「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A1	A1
	JABEE基準			(b), (e), (f),	(b), (e), (f),

JABEE記号		学生の到達度目標
(b), (e), (h)	①	独自のアイデアから魅力的なビジネスプランを策定することができる
(e), (f)	②	グループワークにて策定したビジネスプランの効果的なプレゼンテーションをすることができる
(h)	③	ビジネスプラン策定のグループワークにおいて、積極的に貢献することができる
(g)	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートファリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	8	29	10	33	100

教科書	講義のレジュメを教科書とする

参考書	ビジネスモデル・ジェネレーション　翔泳社　アレック・オスターワルダー　978-47981-22977 インセンティブプレゼンテーション　KADOKAWA　杉本真樹　978-40488-62189

予備知識	新しいことに挑戦することの重要性を理解して欲しい。 チャレンジ精神をもって物事に取り組むことと、グループワークによりメンバーの多様性を創造性に変える力を身に付けること。講義で考えたビジネスプランは、崇城大学ビジネスプランコンテストに必ずエントリーする。
実務経験のある教員	川副 智行
評価明細基準	1. 確認課題：3点×11回（第3回, 第8回, 第11回, 第14回を除く講義）＝33点 各講義においては確認課題があり、提出期限までの提出をもって評価する。 2. 崇城ビジコン一次エントリー（第3回）：10点 第1-4回のグループワークの成果として、崇城ビジコンへのエントリーとともに、エントリー項目を評価する。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。 3. ビジコン二次資料（第8回）：12点 ビジコンの一次審査の結果に関わらず、第5-8回のグループワークの成果としてビジコン二次審査資料と同様の資料を作成して提出する。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。 4. プレゼンテーション資料&発表原稿（第11回）：7点 ビジコン二次審査の結果に関わらず、第9-11回のグループワークの成果としてプレゼンテーション資料と発表資料を作成して提出する。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。 5. プレゼンテーション（第12・13回）：8点 成果発表として各グループでプレゼンテーションを行う。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。 6.レポート（第14回）：20点 ビジネスプランのブラッシュアップについてを1200～1500字でまとめる。。なお、評価は講義で説明する評価基準に基づき実施する。期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。 7. ポートフォリオ：10点 学修到達度レポートによって評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. Web Classに掲示する授業インストラクションを事前に閲覧した上で講義を受講する。　2.各講義で実施する確認課題は、原則1週間以内にWebClassで回答する。レポートは講義終了2週間以内にWebClassにアップロードとする（期限の詳細は講義にて説明する）。なお遅延提出は減点対象となる。　3. 実践型ワークショップでは、グループディスカッションが中心となるが、自由時間ではないことを肝に銘じ学修に取り組む。なお、講義とは関係ない活動を実施した場合は、退室を命じることがある。　4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。　5.オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合はG301もしくはG303にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。その他メール等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第2回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■講義概要、講師紹介,ビジネスプランについてを概説。 ■本講義における実践型ワークショップの推進方法を把握する。 ■グループワークのためのチームを編成する。			
2回	テーマ	ビジネスプランコンテスト	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第3回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■崇城大学ビジネスプランコンテストについて理解する。 ■ビジネスプランコンテストとスタートアップの関連を理解する。 ■エントリーに必要な項目を理解して、グループワークで議論する。			
3回	テーマ	挑戦の必要性について	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第4回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■社会における挑戦の必要性を理解する。 ■社会人基礎力に関する理解を深め、行動に反映できるようになる。 ■エントリーに必要な項目についてグループワークで議論する。			
4回	テーマ	グループワークについて	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出すると共に、崇城ビジコンへのエントリーを行う。第5回の授業インストラクションを読んでおく。	90
	内容	■メンバーの多様性を創造性に変えるグループワークの考えを理解する。 ■グループワークで議論したプランをもって、第9回崇城ビジコンにエントリーする。			
5回	テーマ	ビジネスプラン提示資料について	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第6回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■崇城ビジコンを想定したビジネスプランの提示資料を理解する。 ■過去のビジネスプラン提示資料を確認して、ビジネスプランの策定方針を決める。 ■ビジネスプラン提示資料の作成に向けてグループワークを行う。			
6回	テーマ	テクノロジーと探索と導入	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第7回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■強いビジネスプランには、強いシーズが有効であることを理解する。 ■ビジネスプランの強化のために、ネットなどでシーズ探索を行う。 ■ビジネスプラン提示資料の作成に向けてグループワークを行う。			
7回	テーマ	ブラッシュアップPrat.1	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第8回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■グループごとに担当教員に現状説明を行い、アドバイスをもらう。 ■完成途上においても他者の意見を聞くことの重要性を理解する。 ■ビジネスプラン提示資料の作成に向けてグループワークを行う。			
8回	テーマ	マネタイズとビジネスモデル	講義+PBL(Project Based Learning)	ビジネスプラン提案資料を期日内に提出する。第9回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■継続したビジネスを展開するためには、お金の流れを考えたビジネスモデルが必要であることを理解する。 ■ビジネスプラン提示資料の作成に向けてグループワークを行う。 ■ビジネスプラン提示資料を完成させる。			
9回	テーマ	プレゼンテーション動画視聴Prat.1	講義+PBL(Project Based Learning)	確認課題について期日内に提出する。第10回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■プレゼンテーションの重要性とその考え方を理解する。 ■昨年度の崇城ビジコン最終審査会動画を視聴し、プレゼン手法を議論する。 ■ビジネスプランの発表資料と発表原稿の作成に関するグループワークを行う。			
10回	テーマ	ブラッシュアップPrat.2	講義+PBL(Project Based Learning)	ビジネスプランプレゼン資料と原稿について期日内に提出する。第11回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■グループごとに担当教員に現状のプレゼンテーションを行い、アドバイスをもらう。 ■他者の意見を聞き、自身のプランに活かすことの重要性を理解する。 ■グループワークを行い、ビジネスプラン発表資料と発表原稿を完成する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンテーションスキル	講義+PBL(Project Based Learning)	想定質問に関する確認課題について期日内に提出する。第12回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■プレゼンテーションのスキルに関する知識を身に付ける。 ■発表会でのプレゼン方法を理解して、グループワークにて発表準備を行う。 ■想定質問を考え、質問応対の準備を行う。			
12回	テーマ	発表会1	演習	ビジネスプラン評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第13回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■提案するビジネスプランの発表を行う。 ■他者の発表を聞いて、ポジティブな質問を考えるスキルを身に付ける。 ■他者の発表に関する評価を行う。			
13回	テーマ	発表会2	演習	ビジネスプラン評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第14回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■提案するビジネスプランの発表を行う。 ■他者の発表を聞いて、ポジティブな質問を考えるスキルを身に付ける。 ■他者の発表に関する評価を行う。			
14回	テーマ	プレゼンテーション動画視聴Prat.2	講義+PBL(Project Based Learning)	ビジネスプランのブラッシュアップについてのレポートを作成して期日内に提出する。第15回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■本年度の崇城ビジコン最終審査会動画を視聴し、プレゼン手法及び提案内容について議論する。 ■評価シートの集計結果を共有化して、グループのビジネスプランのブラッシュアップの方向性を探る。 ■ビジネスアイデアの良い点・悪い点及び改善の方向性をレポートまとめる。			
15回	テーマ	講義のまとめ	講義）	確認課題について期日内に提出する。ポートフォリオ（到達レポート）の作成する。	30
	内容	■講義のまとめと教員からのメッセージ ■質問への対応方法に関するスキルを身に付ける			

科目名	ローカルイノベーション（２機宇）	開講学年	2	講義コード	2110901	区分	選必
英文表記	Local Innovation	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	川副 智行（実務経験）

研究室	G301	オフィスアワー	木曜日終日

メールアドレス	t-kawasoe@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	キャリアデザイン力　リテラシー　協働性　自己管理力　　プランニング　デザイン思考　ブルーオーシャン　ビジネスモデル　　カスタマージャーニー

授業概要

「アイデアを形にする計画立案力（プランニング）を身に付ける」 本講義では、アイデアを提案に繋げるプランニングスキルを身に付ける。前職の民間企業で長年研究開発に携わってきた実務経験に基づき、実践型ワークショップ（スモールグループディスカッション）を通して、デザイン思考による企画立案力やプレゼンテーション能力を磨き、魅力あるビジネスアイデアの提案力を習得する。なお、自分の意見を表現できるスキルを向上するために2回のレポート課題を、提案力・プレゼン力の向上のため実践型ワークショップの成果としてビジネスアイデア提案書類とプレゼン動画の作成を実施する。提出されたレポートについては、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。

関連科目

基礎科目：「特殊講座（未来デザイン）」「アントレプレナー入門」「ベンチャービジネス」「イノベーション入門」 発展科目：「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			(b), (d), (e),	(b), (d), (e),

JABEE記号		学生の到達度目標
(b), (d), (e), (f)	①	デザイン思考の考え方に基づき、独自性のあるビジネスプランを提案及び評価することができる
(e)	②	ビジネスプランの策定にあたり、背景となるデータ及び情報を理解することができる
(f), (h), (i)	③	グループワークで肯定的に他者の意見を取り込み、協働により各自のアイデアをブラッシュアップすることができる
(g)	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートファリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	40	9	8	10	33	100

教科書

講義のレジュメを教科書とする

参考書

イノベーション全書　東洋経済社　紺野 登　978-4-492-52225-7
イノベーションのジレンマ増補改訂版　翔泳社　C.クリステンセン　978-4-881-35839-9
[新版]ブルー・オーシャン戦略　ダイヤモンド社　W. C. キム, R. モボルニュ　978-4-4780-6513-6
ビジネスモデル・ナビゲーター　翔泳社　O. ガスマン, K. フランケンバーガー, M. チック　978-4-7981-4688-1

予備知識	課題の発見と解決に向けて主体的･協働的に学ぶこと。 起業の有無に関わらず、本講義で学ぶ実践的な企画立案及びプレゼン力はキャリア形成に有効であることを理解して欲しい。
実務経験のある教員	川副 智行
評価明細基準	1. 確認課題：3点×11回（第4,回 第8回, 第10回, 第11回を除く講義）＝33点 対面講義及びオンデマンド動画のいずれでも確認課題を実施する。課題の詳細は、対面講義及び講義動画で説明する。　2. レポート：20点×2回＝40点 地方創生の課題について（第4回）／私のテーマにおけるカスタマージャーニー（第8回）を1200～1500字でまとめる。各回のテーマに対して、対面講義及び講義動画で提示する評価基準に基づき評価する。提出されたレポートについては、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。　3. ビジネスアイデアの最終提案資料（第10回）：8点 グループワークの成果であるビジネスアイデア最終提案書は、講義で提示する評価基準に基づき評価する。なお、共同作業に付きグループメンバーは全員同じ評点となる。期中の適切な時期にプレゼン動画と共にコメントをフィードバックする。　4. ビジネスアイデアのプレゼン動画（第11回）：9点 ビジネスアイデア最終提案書をベースに作成したプレゼン動画は、動画で提示する評価基準に基づき評価する。なお、共同作業に付きグループメンバーは全員同じ評点となる。期中の適切な時期に最終提案書と共にコメントをフィードバックする。　5. ポートフォリオ：10点 学修到達度レポートによって評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. Web Classに掲示する授業インストラクションを事前に閲覧した上で、対面講義に出席もしくは、オンデマンド動画を視聴する。本講義は30分相当の講義パートと60分相当の実践型ワークショップで構成され、第1-2回の実践型ワークショップは個人ワーク、第3-11回の実践型ワークショップはグループワークとなる。グループワークは、対面講義内もしくは動画視聴後に実施する。オンデマンド動画では、提出期限を鑑みた適切なタイミングで、オンラインもしくは対面でのグループワークを実施する。　2. 対面講義での実践型ワークショップ（グループワーク）の時間はグループワークが中心になるが、自由時間ではないことから、取り組みに問題がある場合は退室を命じることもある。　3. 確認課題の提出期限は講義で提示するが、実践型ワークショップの課題は対面講義では講義終了後原則1週間、オンデマンド動画では、視聴期限（視聴開始より1週間）とする。なお、対面講義時に出されるレポート課題は、講義終了後から原則2週間とするなる。なお遅延提出は減点対象となる。　4. レポート等のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす。　5. オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合はG301にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付ける。その他メール等での質問も受け付ける。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面 講義+PBL(Project Based Learning)	実践型ワークショップ(個人ワーク)の結果を期日内に提出する。第2回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■講義概要、講師紹介、プランニングの重要性を概説。 ■本講義における実践型ワークショップの推進方法を把握する。 ■ビジネスアイデアの創出に向けた個人ワークを実施する。			
2回	テーマ	アイデアをビジネスへ1(障壁とスモールスタート)	オンデマンド 講義+PBL(Project Based Learning)	実践型ワークショップ(個人ワーク)の結果を期日内に提出する。第3回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■死の谷・魔の川・ダーウィンの海を理解して、ビジネスへの移行の難点を理解する。 ■スモールスタートの考え方を学び、妥当性のあるプランを策定する。 ■ビジネスアイデアの創出に向けた個人ワークを実施する。			
3回	テーマ	アイデアをビジネスへ2(プランニング)	対面 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果を期日内に提出する。第4回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■ビジネス考案におけるプランニングの重要性を理解する。 ■ビジネスモデルキャンバスなどの手法を理解して、プランニングに役立てる。 ■個人ワークのアイデアをグループワークで議論する。			
4回	テーマ	地方創生に向けた課題の発見	対面 講義+SGD (Small Group Discussion)	地方創生の課題についての考えをレポートにまとめ、期日内に提出する。第5回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■ビジネス視点で地方特有の課題を考え、解決可能なレベルにブレイクダウンする。 ■グループワークにてビジネスアイデアを議論する。 ■地方創生に向けた課題とその選定理由・対応策など自分の考えをレポートにまとめる。			
5回	テーマ	ビジネスモデル	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果及び、確認課題を期日内に提出する。第6回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■様々なビジネスモデルを理解することで、ビジネス着想の幅を広げる。 ■ビジネスモデルの考えを用いて、ビジネスアイデアを議論する。			
6回	テーマ	ブルーオーシャンとレッドオーシャン	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果及び、確認課題を期日内に提出する。第7回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■ブルーオーシャン戦略の考え方を理解して、市場選定のセンスを養う。 ■ブルーオーシャンの考えを用いて、ビジネスアイデアを議論する。			
7回	テーマ	デザイン思考part.1(理論)	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果及び、確認課題を期日内に提出する。第8回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■デザイン思考の概略を理解し、その活用に関する知識を得る。 ■常法ではなく、対象特性に合わせたカスタマイズの必要性を理解する。 ■グループワークにてビジネスアイデアを改善する。			
8回	テーマ	カスタマージャーニーとペルソナ （UXストーリー）	対面 講義+SGD (Small Group Discussion)	私のテーマにおけるカスタマージャーニーについてレポートにまとめ、期日内に提出する。第9回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■ペルソナ及びカスタマージャーニーを理解して、自身のアイデアに応用する。 ■ビジネスアイデアのUXストーリーを作成して、確度の高いプランニングを実現する。 ■作成中のビジネスアイデアのペルソナを設定して、背景と共にレポートにまとめる。			
9回	テーマ	デザイン思考part.2(実践)	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果及び、確認課題を期日内に提出する。第10回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■デザイン思考を活用しながら、ビジネスアイデアをブラッシュアップする。 ■他者からのアドバイスを受け、プランを改善できるようになる。 ■グループワークにてビジネスアイデアを改善する。			
10回	テーマ	ビジネスアイデアプランニング Part.1	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	ビジネスアイデアの最終提案書を期日内に提出する。第11回の授業インストラクションを読んでおく。	120
	内容	■一定時間内で効率的なグループワークを実施して、合意形成による結論を導く。 ■グループワークにてビジネスアイデアを改善する。 ■協働によって、ビジネスアイデアの最終案を作成・提出する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	ビジネスアイデアプランニング Part.2	オンデマンド	ビジネスアイデアのプレゼン動画を期日内に提出する。第12回の授業インストラクションを読んでおく。	120
	内容	■グループワークで作成した資料に基づいてビジネスアイデアのプレゼン動画を作成する。 ■プレゼン動画の作成を通して、効果的なプレゼンスキルを習得する。	講義+SGD（Small Group Discussion）		
12回	テーマ	ビジネスアイデアコンテスト Part.1	オンデマンド	ビジネスアイデア評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第13回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■評価ポイントを踏まえた評価を実施して、他者のアイデアを評価できるようになる。 ■他者のプレゼンを聞いて、ポジティブな意見を考えるスキルを身に付ける。	講義		
13回	テーマ	ビジネスアイデアコンテスト Part.2	オンデマンド	ビジネスアイデア評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第14回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■評価ポイントを踏まえた評価を実施して、他者のアイデアを評価できるようになる。 ■他者のプレゼンを聞いて、ポジティブな意見を考えるスキルを身に付ける。	講義		
14回	テーマ	ビジネスアイデアコンテスト Part.3	オンデマンド	ビジネスアイデア評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第15回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■評価ポイントを踏まえた評価を実施して、他者のアイデアを評価できるようになる。 ■他者のプレゼンを聞いて、ポジティブな意見を考えるスキルを身に付ける。	講義		
15回	テーマ	講義のまとめ	オンデマンド	ビジネスアイデア評価シートに評価を記載して期日内に提出する。ポートフォリオ（到達レポート）の作成する。	60
	内容	■講義のまとめと教員からのメッセージ ■評価シートの集計結果から、自身のプランとプレゼンテーションの評価を理解する。	講義		

科目名	ローカルイノベーション（２ナ生物）	開講学年	2	講義コード	2110902	区分	選必
英文表記	Local Innovation	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	川副 智行（実務経験）

研究室	G301	オフィスアワー	木曜日終日

メールアドレス	t-kawasoe@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	キャリアデザイン力　リテラシー　協働性　自己管理力　　プランニング　デザイン思考　ブルーオーシャン　ビジネスモデル　　カスタマージャーニー

授業概要

「アイデアを形にする計画立案力（プランニング）を身に付ける」 本講義では、アイデアを提案に繋げるプランニングスキルを身に付ける。前職の民間企業で長年研究開発に携わってきた実務経験に基づき、実践型ワークショップ（スモールグループディスカッション）を通して、デザイン思考による企画立案力やプレゼンテーション能力を磨き、魅力あるビジネスアイデアの提案力を習得する。なお、自分の意見を表現できるスキルを向上するために2回のレポート課題を、提案力・プレゼン力の向上のため実践型ワークショップの成果としてビジネスアイデア提案書類とプレゼン動画の作成を実施する。提出されたレポートについては、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。

関連科目

基礎科目：「特殊講座（未来デザイン）」「アントレプレナー入門」「ベンチャービジネス」「イノベーション入門」 発展科目：「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			(b), (d), (e),	(b), (d), (e),

JABEE記号		学生の到達度目標
(b), (d), (e), (f)	①	デザイン思考の考え方に基づき、独自性のあるビジネスプランを提案及び評価することができる
(e)	②	ビジネスプランの策定にあたり、背景となるデータ及び情報を理解することができる
(f), (h), (i)	③	グループワークで肯定的に他者の意見を取り込み、協働により各自のアイデアをブラッシュアップすることができる
(g)	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートファリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	40	9	8	10	33	100

教科書

講義のレジュメを教科書とする

参考書

イノベーション全書　東洋経済社　紺野 登　978-4-492-52225-7
イノベーションのジレンマ増補改訂版　翔泳社　C.クリステンセン　978-4-881-35839-9
[新版]ブルー・オーシャン戦略　ダイヤモンド社　W. C. キム, R. モボルニュ　978-4-4780-6513-6
ビジネスモデル・ナビゲーター　翔泳社　O. ガスマン, K. フランケンバーガー, M. チック　978-4-7981-4688-1

予備知識	課題の発見と解決に向けて主体的･協働的に学ぶこと。 起業の有無に関わらず、本講義で学ぶ実践的な企画立案及びプレゼン力はキャリア形成に有効であることを理解して欲しい。
実務経験のある教員	川副 智行
評価明細基準	1. 確認課題：3点×11回（第4,回 第8回, 第10回, 第11回を除く講義）＝33点 対面講義及びオンデマンド動画のいずれでも確認課題を実施する。課題の詳細は、対面講義及び講義動画で説明する。　2. レポート：20点×2回＝40点 地方創生の課題について（第4回）／私のテーマにおけるカスタマージャーニー（第8回）を1200～1500字でまとめる。各回のテーマに対して、対面講義及び講義動画で提示する評価基準に基づき評価する。提出されたレポートについては、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。　3. ビジネスアイデアの最終提案資料（第10回）：8点 グループワークの成果であるビジネスアイデア最終提案書は、講義で提示する評価基準に基づき評価する。なお、共同作業に付きグループメンバーは全員同じ評点となる。期中の適切な時期にプレゼン動画と共にコメントをフィードバックする。　4. ビジネスアイデアのプレゼン動画（第11回）：9点 ビジネスアイデア最終提案書をベースに作成したプレゼン動画は、動画で提示する評価基準に基づき評価する。なお、共同作業に付きグループメンバーは全員同じ評点となる。期中の適切な時期に最終提案書と共にコメントをフィードバックする。　5. ポートフォリオ：10点 学修到達度レポートによって評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. Web Classに掲示する授業インストラクションを事前に閲覧した上で、対面講義に出席もしくは、オンデマンド動画を視聴する。本講義は30分相当の講義パートと60分相当の実践型ワークショップで構成され、第1-2回の実践型ワークショップは個人ワーク、第3-11回の実践型ワークショップはグループワークとなる。グループワークは、対面講義内もしくは動画視聴後に実施する。オンデマンド動画では、提出期限を鑑みた適切なタイミングで、オンラインもしくは対面でのグループワークを実施する。　2. 対面講義での実践型ワークショップ（グループワーク）の時間はグループワークが中心になるが、自由時間ではないことから、取り組みに問題がある場合は退室を命じることもある。　3. 確認課題の提出期限は講義で提示するが、実践型ワークショップの課題は対面講義では講義終了後原則1週間、オンデマンド動画では、視聴期限（視聴開始より1週間）とする。なお、対面講義時に出されるレポート課題は、講義終了後から原則2週間とするなる。なお遅延提出は減点対象となる。　4. レポート等のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす。　5. オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合はG301にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付ける。その他メール等での質問も受け付ける。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面 講義+PBL(Project Based Learning)	実践型ワークショップ(個人ワーク)の結果を期日内に提出する。第2回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■講義概要、講師紹介、プランニングの重要性を概説。 ■本講義における実践型ワークショップの推進方法を把握する。 ■ビジネスアイデアの創出に向けた個人ワークを実施する。			
2回	テーマ	アイデアをビジネスへ1(障壁とスモールスタート)	オンデマンド 講義+PBL(Project Based Learning)	実践型ワークショップ(個人ワーク)の結果を期日内に提出する。第3回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■死の谷・魔の川・ダーウィンの海を理解して、ビジネスへの移行の難点を理解する。 ■スモールスタートの考え方を学び、妥当性のあるプランを策定する。 ■ビジネスアイデアの創出に向けた個人ワークを実施する。			
3回	テーマ	アイデアをビジネスへ2(プランニング)	対面 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果を期日内に提出する。第4回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■ビジネス考案におけるプランニングの重要性を理解する。 ■ビジネスモデルキャンバスなどの手法を理解して、プランニングに役立てる。 ■個人ワークのアイデアをグループワークで議論する。			
4回	テーマ	地方創生に向けた課題の発見	対面 講義+SGD (Small Group Discussion)	地方創生の課題についての考えをレポートにまとめ、期日内に提出する。第5回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■ビジネス視点で地方特有の課題を考え、解決可能なレベルにブレイクダウンする。 ■グループワークにてビジネスアイデアを議論する。 ■地方創生に向けた課題とその選定理由・対応策など自分の考えをレポートにまとめる。			
5回	テーマ	ビジネスモデル	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果及び、確認課題を期日内に提出する。第6回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■様々なビジネスモデルを理解することで、ビジネス着想の幅を広げる。 ■ビジネスモデルの考えを用いて、ビジネスアイデアを議論する。			
6回	テーマ	ブルーオーシャンとレッドオーシャン	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果及び、確認課題を期日内に提出する。第7回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■ブルーオージャン戦略の考え方を理解して、市場選定のセンスを養う。 ■ブルーオーシャンの考えを用いて、ビジネスアイデアを議論する。			
7回	テーマ	デザイン思考part.1(理論)	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果及び、確認課題を期日内に提出する。第8回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■デザイン思考の概略を理解し、その活用に関する知識を得る。 ■常法ではなく、対象特性に合わせたカスタマイズの必要性を理解する。 ■グループワークにてビジネスアイデアを改善する。			
8回	テーマ	カスタマージャーニーとペルソナ （UXストーリー）	対面 講義+SGD (Small Group Discussion)	私のテーマにおけるカスタマージャーニーについてレポートにまとめ、期日内に提出する。第9回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■ペルソナ及びカスタマージャーニーを理解して、自身のアイデアに応用する。 ■ビジネスアイデアのUXストーリーを作成して、確度の高いプランニングを実現する。 ■作成中のビジネスアイデアのペルソナを設定して、背景と共にレポートにまとめる。			
9回	テーマ	デザイン思考part.2(実践)	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果及び、確認課題を期日内に提出する。第10回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■デザイン思考を活用しながら、ビジネスアイデアをブラッシュアップする。 ■他者からのアドバイスを受け、プランを改善できるようになる。 ■グループワークにてビジネスアイデアを改善する。			
10回	テーマ	ビジネスアイデアプランニング Part.1	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	ビジネスアイデアの最終提案書を期日内に提出する。第11回の授業インストラクションを読んでおく。	120
	内容	■一定時間内で効率的なグループワークを実施して、合意形成による結論を導く。 ■グループワークにてビジネスアイデアを改善する。 ■協働によって、ビジネスアイデアの最終案を作成・提出する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	ビジネスアイデアプランニング Part.2	オンデマンド	ビジネスアイデアのプレゼン動画を期日内に提出する。第12回の授業インストラクションを読んでおく。	120
	内容	■グループワークで作成した資料に基づいてビジネスアイデアのプレゼン動画を作成する。 ■プレゼン動画の作成を通して、効果的なプレゼンスキルを習得する。	講義+SGD（Small Group Discussion）		
12回	テーマ	ビジネスアイデアコンテスト Part.1	オンデマンド	ビジネスアイデア評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第13回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■評価ポイントを踏まえた評価を実施して、他者のアイデアを評価できるようになる。 ■他者のプレゼンを聞いて、ポジティブな意見を考えるスキルを身に付ける。	講義		
13回	テーマ	ビジネスアイデアコンテスト Part.2	オンデマンド	ビジネスアイデア評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第14回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■評価ポイントを踏まえた評価を実施して、他者のアイデアを評価できるようになる。 ■他者のプレゼンを聞いて、ポジティブな意見を考えるスキルを身に付ける。	講義		
14回	テーマ	ビジネスアイデアコンテスト Part.3	オンデマンド	ビジネスアイデア評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第15回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■評価ポイントを踏まえた評価を実施して、他者のアイデアを評価できるようになる。 ■他者のプレゼンを聞いて、ポジティブな意見を考えるスキルを身に付ける。	講義		
15回	テーマ	講義のまとめ	オンデマンド	ビジネスアイデア評価シートに評価を記載して期日内に提出する。ポートフォリオ（到達レポート）の作成する。	60
	内容	■講義のまとめと教員からのメッセージ ■評価シートの集計結果から、自身のプランとプレゼンテーションの評価を理解する。	講義		

科目名	ローカルイノベーション（２建情）	開講学年	2	講義コード	2110903	区分	選必
英文表記	Local Innovation	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	川副 智行（実務経験）

研究室	G301	オフィスアワー	木曜日終日

メールアドレス	t-kawasoe@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	キャリアデザイン力　リテラシー　協働性　自己管理力　　プランニング　デザイン思考　ブルーオーシャン　ビジネスモデル　　カスタマージャーニー

授業概要

「アイデアを形にする計画立案力（プランニング）を身に付ける」 本講義では、アイデアを提案に繋げるプランニングスキルを身に付ける。前職の民間企業で長年研究開発に携わってきた実務経験に基づき、実践型ワークショップ（スモールグループディスカッション）を通して、デザイン思考による企画立案力やプレゼンテーション能力を磨き、魅力あるビジネスアイデアの提案力を習得する。なお、自分の意見を表現できるスキルを向上するために2回のレポート課題を、提案力・プレゼン力の向上のため実践型ワークショップの成果としてビジネスアイデア提案書類とプレゼン動画の作成を実施する。提出されたレポートについては、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。

関連科目

基礎科目：「特殊講座（未来デザイン）」「アントレプレナー入門」「ベンチャービジネス」「イノベーション入門」 発展科目：「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			(b), (d), (e),	(b), (d), (e),

JABEE記号		学生の到達度目標
(b), (d), (e), (f)	①	デザイン思考の考え方に基づき、独自性のあるビジネスプランを提案及び評価することができる
(e)	②	ビジネスプランの策定にあたり、背景となるデータ及び情報を理解することができる
(f), (h), (i)	③	グループワークで肯定的に他者の意見を取り込み、協働により各自のアイデアをブラッシュアップすることができる
(g)	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートファリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	40	9	8	10	33	100

教科書

講義のレジュメを教科書とする

参考書

イノベーション全書　東洋経済社　紺野 登　978-4-492-52225-7
イノベーションのジレンマ増補改訂版　翔泳社　C.クリステンセン　978-4-881-35839-9
[新版]ブルー・オーシャン戦略　ダイヤモンド社　W. C. キム, R. モボルニュ　978-4-4780-6513-6
ビジネスモデル・ナビゲーター　翔泳社　O. ガスマン, K. フランケンバーガー, M. チック　978-4-7981-4688-1

予備知識	課題の発見と解決に向けて主体的･協働的に学ぶこと。 起業の有無に関わらず、本講義で学ぶ実践的な企画立案及びプレゼン力はキャリア形成に有効であることを理解して欲しい。
実務経験のある教員	川副 智行
評価明細基準	1. 確認課題：3点×11回（第4,回 第8回, 第10回, 第11回を除く講義）＝33点 対面講義及びオンデマンド動画のいずれでも確認課題を実施する。課題の詳細は、対面講義及び講義動画で説明する。　2. レポート：20点×2回＝40点 地方創生の課題について（第4回）／私のテーマにおけるカスタマージャーニー（第8回）を1200～1500字でまとめる。各回のテーマに対して、対面講義及び講義動画で提示する評価基準に基づき評価する。提出されたレポートについては、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。　3. ビジネスアイデアの最終提案資料（第10回）：8点 グループワークの成果であるビジネスアイデア最終提案書は、講義で提示する評価基準に基づき評価する。なお、共同作業に付きグループメンバーは全員同じ評点となる。期中の適切な時期にプレゼン動画と共にコメントをフィードバックする。　4. ビジネスアイデアのプレゼン動画（第11回）：9点 ビジネスアイデア最終提案書をベースに作成したプレゼン動画は、動画で提示する評価基準に基づき評価する。なお、共同作業に付きグループメンバーは全員同じ評点となる。期中の適切な時期に最終提案書と共にコメントをフィードバックする。　5. ポートフォリオ：10点 学修到達度レポートによって評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. Web Classに掲示する授業インストラクションを事前に閲覧した上で、対面講義に出席もしくは、オンデマンド動画を視聴する。本講義は30分相当の講義パートと60分相当の実践型ワークショップで構成され、第1-2回の実践型ワークショップは個人ワーク、第3-11回の実践型ワークショップはグループワークとなる。グループワークは、対面講義内もしくは動画視聴後に実施する。オンデマンド動画では、提出期限を鑑みた適切なタイミングで、オンラインもしくは対面でのグループワークを実施する。　2. 対面講義での実践型ワークショップ（グループワーク）の時間はグループワークが中心になるが、自由時間ではないことから、取り組みに問題がある場合は退室を命じることもある。　3. 確認課題の提出期限は講義で提示するが、実践型ワークショップの課題は対面講義では講義終了後原則1週間、オンデマンド動画では、視聴期限（視聴開始より1週間）とする。なお、対面講義時に出されるレポート課題は、講義終了後から原則2週間とするなる。なお遅延提出は減点対象となる。　4. レポート等のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす。　5. オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合はG301にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付ける。その他メール等での質問も受け付ける。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面 講義+PBL(Project Based Learning)	実践型ワークショップ(個人ワーク)の結果を期日内に提出する。第2回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■講義概要、講師紹介、プランニングの重要性を概説。 ■本講義における実践型ワークショップの推進方法を把握する。 ■ビジネスアイデアの創出に向けた個人ワークを実施する。			
2回	テーマ	アイデアをビジネスへ1(障壁とスモールスタート)	オンデマンド 講義+PBL(Project Based Learning)	実践型ワークショップ(個人ワーク)の結果を期日内に提出する。第3回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■死の谷・魔の川・ダーウィンの海を理解して、ビジネスへの移行の難点を理解する。 ■スモールスタートの考え方を学び、妥当性のあるプランを策定する。 ■ビジネスアイデアの創出に向けた個人ワークを実施する。			
3回	テーマ	アイデアをビジネスへ2(プランニング)	対面 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果を期日内に提出する。第4回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■ビジネス考案におけるプランニングの重要性を理解する。 ■ビジネスモデルキャンバスなどの手法を理解して、プランニングに役立てる。 ■個人ワークのアイデアをグループワークで議論する。			
4回	テーマ	地方創生に向けた課題の発見	対面 講義+SGD (Small Group Discussion)	地方創生の課題についての考えをレポートにまとめ、期日内に提出する。第5回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■ビジネス視点で地方特有の課題を考え、解決可能なレベルにブレイクダウンする。 ■グループワークにてビジネスアイデアを議論する。 ■地方創生に向けた課題とその選定理由・対応策など自分の考えをレポートにまとめる。			
5回	テーマ	ビジネスモデル	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果及び、確認課題を期日内に提出する。第6回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■様々なビジネスモデルを理解することで、ビジネス着想の幅を広げる。 ■ビジネスモデルの考えを用いて、ビジネスアイデアを議論する。			
6回	テーマ	ブルーオーシャンとレッドオーシャン	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果及び、確認課題を期日内に提出する。第7回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■ブルーオーシャン戦略の考え方を理解して、市場選定のセンスを養う。 ■ブルーオーシャンの考えを用いて、ビジネスアイデアを議論する。			
7回	テーマ	デザイン思考part.1(理論)	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果及び、確認課題を期日内に提出する。第8回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■デザイン思考の概略を理解し、その活用に関する知識を得る。 ■常法ではなく、対象特性に合わせたカスタマイズの必要性を理解する。 ■グループワークにてビジネスアイデアを改善する。			
8回	テーマ	カスタマージャーニーとペルソナ （UXストーリー）	対面 講義+SGD (Small Group Discussion)	私のテーマにおけるカスタマージャーニーについてレポートにまとめ、期日内に提出する。第9回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■ペルソナ及びカスタマージャーニーを理解して、自身のアイデアに応用する。 ■ビジネスアイデアのUXストーリーを作成して、確度の高いプランニングを実現する。 ■作成中のビジネスアイデアのペルソナを設定して、背景と共にレポートにまとめる。			
9回	テーマ	デザイン思考part.2(実践)	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果及び、確認課題を期日内に提出する。第10回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■デザイン思考を活用しながら、ビジネスアイデアをブラッシュアップする。 ■他者からのアドバイスを受け、プランを改善できるようになる。 ■グループワークにてビジネスアイデアを改善する。			
10回	テーマ	ビジネスアイデアプランニング Part.1	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	ビジネスアイデアの最終提案書を期日内に提出する。第11回の授業インストラクションを読んでおく。	120
	内容	■一定時間内で効率的なグループワークを実施して、合意形成による結論を導く。 ■グループワークにてビジネスアイデアを改善する。 ■協働によって、ビジネスアイデアの最終案を作成・提出する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	ビジネスアイデアプランニング Part.2	オンデマンド	ビジネスアイデアのプレゼン動画を期日内に提出する。第12回の授業インストラクションを読んでおく。	120
	内容	■グループワークで作成した資料に基づいてビジネスアイデアのプレゼン動画を作成する。 ■プレゼン動画の作成を通して、効果的なプレゼンスキルを習得する。	講義+SGD（Small Group Discussion）		
12回	テーマ	ビジネスアイデアコンテスト Part.1	オンデマンド	ビジネスアイデア評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第13回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■評価ポイントを踏まえた評価を実施して、他者のアイデアを評価できるようになる。 ■他者のプレゼンを聞いて、ポジティブな意見を考えるスキルを身に付ける。	講義		
13回	テーマ	ビジネスアイデアコンテスト Part.2	オンデマンド	ビジネスアイデア評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第14回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■評価ポイントを踏まえた評価を実施して、他者のアイデアを評価できるようになる。 ■他者のプレゼンを聞いて、ポジティブな意見を考えるスキルを身に付ける。	講義		
14回	テーマ	ビジネスアイデアコンテスト Part.3	オンデマンド	ビジネスアイデア評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第15回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■評価ポイントを踏まえた評価を実施して、他者のアイデアを評価できるようになる。 ■他者のプレゼンを聞いて、ポジティブな意見を考えるスキルを身に付ける。	講義		
15回	テーマ	講義のまとめ	オンデマンド	ビジネスアイデア評価シートに評価を記載して期日内に提出する。ポートフォリオ（到達レポート）の作成する。	60
	内容	■講義のまとめと教員からのメッセージ ■評価シートの集計結果から、自身のプランとプレゼンテーションの評価を理解する。	講義		

科目名	ローカルイノベーション（２美デ薬）	開講学年	2	講義コード	2110904	区分	選必
英文表記	Local Innovation	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	川副 智行（実務経験）

研究室	G301	オフィスアワー	木曜日終日

メールアドレス	t-kawasoe@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	キャリアデザイン力　リテラシー　協働性　自己管理力　　プランニング　デザイン思考　ブルーオーシャン　ビジネスモデル　　カスタマージャーニー

授業概要	「アイデアを形にする計画立案力（プランニング）を身に付ける」 本講義では、アイデアを提案に繋げるプランニングスキルを身に付ける。前職の民間企業で長年研究開発に携わってきた実務経験に基づき、実践型ワークショップ（スモールグループディスカッション）を通して、デザイン思考による企画立案力やプレゼンテーション能力を磨き、魅力あるビジネスアイデアの提案力を習得する。なお、自分の意見を表現できるスキルを向上するために2回のレポート課題を、提案力・プレゼン力の向上のため実践型ワークショップの成果としてビジネスアイデア提案書類とプレゼン動画の作成を実施する。提出されたレポートについては、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。

関連科目

基礎科目：「特殊講座（未来デザイン）」「アントレプレナー入門」「ベンチャービジネス」「イノベーション入門」 発展科目：「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A1	A1
	JABEE基準			(b), (d), (e),	(b), (d), (e),

JABEE記号		学生の到達度目標
(b), (d), (e), (f)	①	デザイン思考の考え方に基づき、独自性のあるビジネスプランを提案及び評価することができる
(e)	②	ビジネスプランの策定にあたり、背景となるデータ及び情報を理解することができる
(f), (h), (i)	③	グループワークで肯定的に他者の意見を取り込み、協働により各自のアイデアをブラッシュアップすることができる
(g)	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートファリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	40	9	8	10	33	100

教科書	講義のレジュメを教科書とする

参考書	イノベーション全書　東洋経済社　紺野 登　978-4-492-52225-7 イノベーションのジレンマ増補改訂版　翔泳社　C.クリステンセン　978-4-881-35839-9 [新版]ブルー・オーシャン戦略　ダイヤモンド社　W. C. キム, R. モボルニュ　978-4-4780-6513-6 ビジネスモデル・ナビゲーター　翔泳社　O. ガスマン, K. フランケンバーガー, M. チック　978-4-7981-4688-1

予備知識	課題の発見と解決に向けて主体的･協働的に学ぶこと。 起業の有無に関わらず、本講義で学ぶ実践的な企画立案及びプレゼン力はキャリア形成に有効であることを理解して欲しい。
実務経験のある教員	川副 智行
評価明細基準	1. 確認課題：3点×11回（第4,回 第8回, 第10回, 第11回を除く講義）＝33点 対面講義及びオンデマンド動画のいずれでも確認課題を実施する。課題の詳細は、対面講義及び講義動画で説明する。　2. レポート：20点×2回＝40点 地方創生の課題について（第4回）／私のテーマにおけるカスタマージャーニー（第8回）を1200～1500字でまとめる。各回のテーマに対して、対面講義及び講義動画で提示する評価基準に基づき評価する。提出されたレポートについては、期中の適切な時期にコメントをフィードバックする。　3. ビジネスアイデアの最終提案資料（第10回）：8点 グループワークの成果であるビジネスアイデア最終提案書は、講義で提示する評価基準に基づき評価する。なお、共同作業に付きグループメンバーは全員同じ評点となる。期中の適切な時期にプレゼン動画と共にコメントをフィードバックする。　4. ビジネスアイデアのプレゼン動画（第11回）：9点 ビジネスアイデア最終提案書をベースに作成したプレゼン動画は、動画で提示する評価基準に基づき評価する。なお、共同作業に付きグループメンバーは全員同じ評点となる。期中の適切な時期に最終提案書と共にコメントをフィードバックする。　5. ポートフォリオ：10点 学修到達度レポートによって評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. Web Classに掲示する授業インストラクションを事前に閲覧した上で、対面講義に出席もしくは、オンデマンド動画を視聴する。本講義は30分相当の講義パートと60分相当の実践型ワークショップで構成され、第1-2回の実践型ワークショップは個人ワーク、第3-11回の実践型ワークショップはグループワークとなる。グループワークは、対面講義内もしくは動画視聴後に実施する。オンデマンド動画では、提出期限を鑑みた適切なタイミングで、オンラインもしくは対面でのグループワークを実施する。　2. 対面講義での実践型ワークショップ（グループワーク）の時間はグループワークが中心になるが、自由時間ではないことから、取り組みに問題がある場合は退室を命じることもある。　3. 確認課題の提出期限は講義で提示するが、実践型ワークショップの課題は対面講義では講義終了後原則1週間、オンデマンド動画では、視聴期限（視聴開始より1週間）とする。なお、対面講義時に出されるレポート課題は、講義終了後から原則2週間とするなる。なお遅延提出は減点対象となる。　4. レポート等のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす。　5. オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合はG301にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付ける。その他メール等での質問も受け付ける。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面 講義+PBL(Project Based Learning)	実践型ワークショップ(個人ワーク)の結果を期日内に提出する。第2回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■講義概要、講師紹介、プランニングの重要性を概説。 ■本講義における実践型ワークショップの推進方法を把握する。 ■ビジネスアイデアの創出に向けた個人ワークを実施する。			
2回	テーマ	アイデアをビジネスへ1(障壁とスモールスタート)	オンデマンド 講義+PBL(Project Based Learning)	実践型ワークショップ(個人ワーク)の結果を期日内に提出する。第3回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■死の谷・魔の川・ダーウィンの海を理解して、ビジネスへの移行の難点を理解する。 ■スモールスタートの考え方を学び、妥当性のあるプランを策定する。 ■ビジネスアイデアの創出に向けた個人ワークを実施する。			
3回	テーマ	アイデアをビジネスへ2(プランニング)	対面 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果を期日内に提出する。第4回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■ビジネス考案におけるプランニングの重要性を理解する。 ■ビジネスモデルキャンバスなどの手法を理解して、プランニングに役立てる。 ■個人ワークのアイデアをグループワークで議論する。			
4回	テーマ	地方創生に向けた課題の発見	対面 講義+SGD (Small Group Discussion)	地方創生の課題についての考えをレポートにまとめ、期日内に提出する。第5回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■ビジネス視点で地方特有の課題を考え、解決可能なレベルにブレイクダウンする。 ■グループワークにてビジネスアイデアを議論する。 ■地方創生に向けた課題とその選定理由・対応策など自分の考えをレポートにまとめる。			
5回	テーマ	ビジネスモデル	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果及び、確認課題を期日内に提出する。第6回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■様々なビジネスモデルを理解することで、ビジネス着想の幅を広げる。 ■ビジネスモデルの考えを用いて、ビジネスアイデアを議論する。			
6回	テーマ	ブルーオーシャンとレッドオーシャン	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果及び、確認課題を期日内に提出する。第7回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■ブルーオーシャン戦略の考え方を理解して、市場選定のセンスを養う。 ■ブルーオーシャンの考えを用いて、ビジネスアイデアを議論する。			
7回	テーマ	デザイン思考part.1(理論)	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果及び、確認課題を期日内に提出する。第8回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■デザイン思考の概略を理解し、その活用に関する知識を得る。 ■常法ではなく、対象特性に合わせたカスタマイズの必要性を理解する。 ■グループワークにてビジネスアイデアを改善する。			
8回	テーマ	カスタマージャーニーとペルソナ （UXストーリー）	対面 講義+SGD (Small Group Discussion)	私のテーマにおけるカスタマージャーニーについてレポートにまとめ、期日内に提出する。第9回の授業インストラクションを読んでおく。	150
	内容	■ペルソナ及びカスタマージャーニーを理解して、自身のアイデアに応用する。 ■ビジネスアイデアのUXストーリーを作成して、確度の高いプランニングを実現する。 ■作成中のビジネスアイデアのペルソナを設定して、背景と共にレポートにまとめる。			
9回	テーマ	デザイン思考part.2(実践)	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	実践型ワークショップ(グループワーク)の結果及び、確認課題を期日内に提出する。第10回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■デザイン思考を活用しながら、ビジネスアイデアをブラッシュアップする。 ■他者からのアドバイスを受け、プランを改善できるようになる。 ■グループワークにてビジネスアイデアを改善する。			
10回	テーマ	ビジネスアイデアプランニング Part.1	オンデマンド 講義+SGD (Small Group Discussion)	ビジネスアイデアの最終提案書を期日内に提出する。第11回の授業インストラクションを読んでおく。	120
	内容	■一定時間内で効率的なグループワークを実施して、合意形成による結論を導く。 ■グループワークにてビジネスアイデアを改善する。 ■協働によって、ビジネスアイデアの最終案を作成・提出する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	ビジネスアイデアプランニング Part.2	オンデマンド	ビジネスアイデアのプレゼン動画を期日内に提出する。第12回の授業インストラクションを読んでおく。	120
	内容	■グループワークで作成した資料に基づいてビジネスアイデアのプレゼン動画を作成する。 ■プレゼン動画の作成を通して、効果的なプレゼンスキルを習得する。	講義+SGD（Small Group Discussion）		
12回	テーマ	ビジネスアイデアコンテスト Part.1	オンデマンド	ビジネスアイデア評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第13回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■評価ポイントを踏まえた評価を実施して、他者のアイデアを評価できるようになる。 ■他者のプレゼンを聞いて、ポジティブな意見を考えるスキルを身に付ける。	講義		
13回	テーマ	ビジネスアイデアコンテスト Part.2	オンデマンド	ビジネスアイデア評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第14回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■評価ポイントを踏まえた評価を実施して、他者のアイデアを評価できるようになる。 ■他者のプレゼンを聞いて、ポジティブな意見を考えるスキルを身に付ける。	講義		
14回	テーマ	ビジネスアイデアコンテスト Part.3	オンデマンド	ビジネスアイデア評価シートに評価を記載して期日内に提出する。第15回の授業インストラクションを読んでおく。	30
	内容	■評価ポイントを踏まえた評価を実施して、他者のアイデアを評価できるようになる。 ■他者のプレゼンを聞いて、ポジティブな意見を考えるスキルを身に付ける。	講義		
15回	テーマ	講義のまとめ	オンデマンド	ビジネスアイデア評価シートに評価を記載して期日内に提出する。ポートフォリオ（到達レポート）の作成する。	60
	内容	■講義のまとめと教員からのメッセージ ■評価シートの集計結果から、自身のプランとプレゼンテーションの評価を理解する。	講義		

科目名	キャリアプレコーオプ（２機建宇情）	開講学年 2	講義コード 2111003	区分 選必
英文表記	Career Pre-Coop；Pre-Cooperative Education	開講期 前期・後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数 2
担当教員	藤田崇　田上寛美（非常勤）　山口美澄（非常勤）　藤本元啓			
研究室	藤田崇：本館附属棟１階　田上寛美：本館附属棟１階　山口美澄：本館附属棟１階 藤本：本館３０５		オフィスアワー メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる	
メールアドレス	@			
キーワード	ロジカルシンキング　企業提供課題　チーム協働　プレゼンテーション　キャリアデザイン能力 自己管理力　アカデミックスキル　課題解決力			

授業概要

履修申請の前に 1.身につけた専門基礎的な知識を現実社会の問題のアイデア的解決に生かしてみたい学生の受講を歓迎 2.「インターンシップⅠ・Ⅱ」受講予定学生の参加を歓迎　概要 本科目は、企業や団体などが抱えている現実的な問題を学生に提示し、学生がその問題の解決にあたるという、課題解決型コーオプ教育の前段階として位置づけたもので、社会人基礎力としての実践力、責任感、主体的行動力を身につけ、専門教育における学修意欲や就業意識の向上を図るものである。 1.企業等が提供する現実的な問題について、チームで精確な情報を収集し、工学・情報・デザイン系の基礎知識を生かして、アイデア的な解決案を発表する。 2.学期中に1つの問題をチームで解決・発表し、希望する個人・チームはさらなる解決案の発表を行う。 3.本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成する。 ★レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。

関連科目

以下の3年次後継科目 1.「キャリアセミナー」（学科別クラス） 2.「キャリアプロジェクト」（学生プロジェクト、2年次までに1年間の活動経験者対象）、 3.「インターンシップⅠ・Ⅱ」（前後期集中、5日間以上）

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
f	①	発表の基本技術とロジカルシンキングについて理解することができる。
d,e,f,i	②	企業等の提供課題について、現時点での最善解を口頭発表することができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	30	60	0	10	0	100

教科書

「SOJO基礎ⅠⅡ」テキスト　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書

予備知識	「SOJO基礎Ⅰ・Ⅱ」で学修したチーム活動
実務経験のある教員	藤田崇、田上寛美、山口美澄
評価明細基準	★成績評価はプロセス評価で行う。 1.レポート:「発表の基本技術とロジカルシンキングの整理」 30点　書式:1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポイント　1行目:タイトル 2行目:空白 3行目:学科、学生番号、氏名 4行目:空白　5行目以下:本文800文字以上　・指定文字数を守り、末尾に文字数を記載する。1行目～4行目、参考文献、図表等　は文字数に含めない。　・各節には必ず見出しをつける。 2.①発表:1チーム7分間(しゃべり方、内容・独自性、投影画面、参考資料、質疑応　答等) 30点　②活動報告書「発表の成果と今後の課題」1行40文字、1頁40行、MS明朝、余白　各25㎜(各自):パワーポイント資料、活動記録添付 30点 3.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」 10点 ★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：出席ボード。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。出席期限は授業日を含めた1週間後の（23時59分）までとする。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。 1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA4判の紙バインダーを購入すること。レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。 7.お茶・水以外の飲用は不可。 8.スマートフォンはカバンにしまうこと。許可のない授業中の使用を発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面		
	内容	シラバスの説明、チーム編成	講義　GW：グループワーク　or　PW：個人ワーク		
2回	テーマ	発表の基本技術とロジカルシンキング①	対面	ロジカルシンキングの整理レポート	60
	内容	問題発見、解決のための基礎的手法	講義　PW（個人ワーク）		
3回	テーマ	発表の基本技術とロジカルシンキング②	対面	ロジカルシンキングの整理レポート	60
	内容	問題発見、解決のための基礎的手法	講義　PW		
4回	テーマ	プレゼンテーション準備①	対面	Teams会議（活動記録）	60
	内容	プレゼンテーションの課題提示 Teams会議：活動記録 発表の構成、工程表、分担等の決定	GW　or　PW		
5回	テーマ	プレゼンテーション準備②	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録 発表の構成、情報収集・整理、PowerPoint作成	GW　or　PW		
6回	テーマ	プレゼンテーション準備③	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録 情報収集・整理、PowerPoint作成	GW　or　PW		
7回	テーマ	プレゼンテーション準備④（PowerPointと概要説明文	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録 中間報告書の作成	GW　or　PW		
8回	テーマ	中間報告会プレゼンテーション準備⑤	対面	Teams会議（活動記録）	60
	内容	PowerPointを使用して中間報告をおこなう	GW　or　PW		
9回	テーマ	プレゼンテーション準備⑥	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録 最終報告の準備	GW　or　PW		
10回	テーマ	プレゼンテーション準備⑦	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録 最終報告の準備	GW　or　PW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①	対面	活動報告書「発表の成果と今後の課題」 書式は2回目授業と同じ	60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） 発表7分間、質疑応答3分間 発表チーム以外は評価シート作成	GW or P W		
12回	テーマ	発表会②	対面	活動報告書「発表の成果と今後の課題」	60
	内容	発表7分間、質疑応答3分間 発表チーム以外は評価シート作成	GW or P W		
13回	テーマ	PBL活動のまとめ①	遠隔	活動報告書「発表の成果と今後の課題」	60
	内容	最終発表資料の修正、活動報告書の作成	GW or P W		
14回	テーマ	PBL活動のまとめ②	遠隔	到達度レポート 授業アンケート	60 60
	内容	到達度レポートの作成 授業アンケートの入力	GW or P W		
15回	テーマ	自己点検授業	対面		
	内容	プレゼンテーションのまとめ 活動報告書・到達度レポート提出、総評、出席確認	講義		

科目名	キャリアプレコーオプ（２ナ生物美デ薬）	開講学年 2	講義コード 2111004	区分 選必
英文表記	Career Pre-Coop；Pre-Cooperative Education	開講期 前期・後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数 2
担当教員	藤田崇　田上寛美（非常勤）　山口美澄（非常勤）　藤本元啓			
研究室	藤田崇：本館附属棟１階　田上寛美：本館附属棟１階　山口美澄：本館附属棟１階 藤本：本館３０５		オフィスアワー メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる	
メールアドレス	@			
キーワード	ロジカルシンキング　企業提供課題　チーム協働　プレゼンテーション　キャリアデザイン能力 自己管理力　アカデミックスキル　課題解決力			

授業概要

履修申請の前に 1.身につけた専門基礎的な知識を現実社会の問題のアイデア的解決に生かしてみたい学生の受講を歓迎 2.「インターンシップⅠ・Ⅱ」受講予定学生の参加を歓迎　概要 本科目は、企業や団体などが抱えている現実的な問題を学生に提示し、学生がその問題の解決にあたるという、課題解決型コーオプ教育の前段階として位置づけたもので、社会人基礎力としての実践力、責任感、主体的行動力を身につけ、専門教育における学修意欲や就業意識の向上を図るものである。 1.企業等が提供する現実的な問題について、チームで精確な情報を収集し、工学・情報・デザイン系の基礎知識を生かして、アイデア的な解決案を発表する。 2.学期中に1つの問題をチームで解決・発表し、希望する個人・チームはさらなる解決案の発表を行う。 3.本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成する。 ★レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。

関連科目

以下の3年次後継科目 1.「キャリアセミナー」（学科別クラス） 2.「キャリアプロジェクト」（学生プロジェクト、2年次までに1年間の活動経験者対象）、 3.「インターンシップⅠ・Ⅱ」（前後期集中、5日間以上）

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
f	①	発表の基本技術とロジカルシンキングについて理解することができる。
d,e,f,i	②	企業等の提供課題について、現時点での最善解を口頭発表することができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	30	60	0	10	0	100

教科書

「SOJO基礎ＩⅡ」テキスト　崇城大学総合教育センター　SOJO基礎WG

参考書

予備知識	「SOJO基礎Ⅰ・Ⅱ」で学修したチーム活動
実務経験のある教員	藤田崇、田上寛美、山口美澄
評価明細基準	★成績評価はプロセス評価で行う。 1.レポート:「発表の基本技術とロジカルシンキングの整理」 30点　 書式:1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポイント　 1行目:タイトル 2行目:空白 3行目:学科、学生番号、氏名 4行目:空白　 5行目以下:本文800文字以上　 ・指定文字数を守り、末尾に文字数を記載する。1行目～4行目、参考文献、図表等　 は文字数に含めない。　 ・各節には必ず見出しをつける。 2.①発表:1チーム7分間(しゃべり方、内容・独自性、投影画面、参考資料、質疑応　答等) 30点　 ②活動報告書「発表の成果と今後の課題」1行40文字、1頁40行、MS明朝、余白　 各25㎜(各自):パワーポイント資料、活動記録添付 30点 3.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」 10点 ★各課題の制約条件、提出日等の詳細は別途指示

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：出席ボード。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。出席期限は授業日を含めた1週間後の（23時59分）までとする。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。 1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA4判の紙バインダーを購入すること。レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。 7.お茶・水以外の飲用は不可。 8.スマートフォンはカバンにしまうこと。許可のない授業中の使用を発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面		
	内容	シラバスの説明、チーム編成	講義　GW：グループワーク　or　PW：個人ワーク		
2回	テーマ	発表の基本技術とロジカルシンキング①	対面	ロジカルシンキングの整理レポート	60
	内容	問題発見、解決のための基礎的手法	講義　PW（個人ワーク）		
3回	テーマ	発表の基本技術とロジカルシンキング②	対面	ロジカルシンキングの整理レポート	60
	内容	問題発見、解決のための基礎的手法	講義　PW		
4回	テーマ	プレゼンテーション準備①	対面	Teams会議（活動記録）	60
	内容	プレゼンテーションの課題提示 Teams会議：活動記録 発表の構成、工程表、分担等の決定	GW　or　PW		
5回	テーマ	プレゼンテーション準備②	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録 発表の構成、情報収集・整理、PowerPoint作成	GW　or　PW		
6回	テーマ	プレゼンテーション準備③	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録 情報収集・整理、PowerPoint作成	GW　or　PW		
7回	テーマ	プレゼンテーション準備④（PowerPointと概要説明文	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録 中間報告書の作成	GW　or　PW		
8回	テーマ	中間報告会プレゼンテーション準備⑤	対面	Teams会議（活動記録）	60
	内容	PowerPointを使用して中間報告をおこなう	GW　or　PW		
9回	テーマ	プレゼンテーション準備⑥	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録 最終報告の準備	GW　or　PW		
10回	テーマ	プレゼンテーション準備⑦	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録 最終報告の準備	GW　or　PW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発表会①	対面	活動報告書「発表の成果と今後の課題」 書式は2回目授業と同じ	60
	内容	★全チーム発表資料の提出（部数は別途指示） 発表7分間、質疑応答3分間 発表チーム以外は評価シート作成	GW or P W		
12回	テーマ	発表会②	対面	活動報告書「発表の成果と今後の課題」	60
	内容	発表7分間、質疑応答3分間 発表チーム以外は評価シート作成	GW or P W		
13回	テーマ	PBL活動のまとめ①	遠隔	活動報告書「発表の成果と今後の課題」	60
	内容	最終発表資料の修正、活動報告書の作成	GW or P W		
14回	テーマ	PBL活動のまとめ②	遠隔	到達度レポート 授業アンケート	60 60
	内容	到達度レポートの作成 授業アンケートの入力	GW or P W		
15回	テーマ	自己点検授業	対面		
	内容	プレゼンテーションのまとめ 活動報告書・到達度レポート提出、総評、出席確認	講義		

科目名	インターンシップⅡ（３機ナ建シス情微生美デ薬）	開講学年	3	講義コード	2111202	区分	選択
英文表記	Internship Ⅱ	開講期	後期集中	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	1

担当教員	藤田 崇　藤本 元啓　田上 寛美（非常勤）　山口 美澄（非常勤）

研究室	藤田：本館附属棟１階　藤本：本館３０５　田上：本館附属棟１階　山口：本館附属棟１階	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	キャリアデザイン能力　社会人基礎力　企業理解　就業体験　　自己管理力

授業概要	本科目は、実際の業務や働く環境の体験をとおして、業務内容や働くことの理解を深めること、その業務への適正があるかどうかを把握することを目的とする。同時に、社会人としてのルールやマナー、心構えを身につけることにつなげる。つまり社会に出る前に仕事の場を体験することによって「働く」ことを理解し、今後のキャリアデザイン形成に役立てることにある。　1.インターンシップとは何か、何を体験するのか、何を得られるのかなど、インターンシップの意義を理解する 2.「働く」「就職する」とはどのようなことなのか、実体験によって理解を深める 3.社会人基礎力のセルフチェックで自己評価をおこない、インターンシップ先での目標を設定し実践する 4.インターンシップ先の企業研究をおこない、企業への理解を深める 5.日々の就業内容をインターンシップ日報に記録し、企業担当者から評価を受ける 6.インターンシップ成果報告書（①社会人基礎力の自己評価に対する企業担当者のコメントとそれに対する自身の計画、②今後就職するにあたっての必要な知識やスキル等）を作成する　★レポート等は学期内に返却する。

関連科目

1.「SOJO基礎Ⅰ・Ⅱ」（1年次必修） 2.「キャリアプレコーオプ」（2年次選択必修） 3.「キャリアセミナー」（3年次後期選択） 4.「インターンシップⅡ」（3年次前期集中選択）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h	①	就業状況の日報を作成することで、日々の活動を内省することができる。
f,g,h	②	就業の自己評価を作成することで、今後のキャリアデザインを設定することができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	40	0	0	60	0	100

教科書	ワークブック インターンシップ　崇城大学総合教育センター　藤本元啓

参考書	

予備知識	1.「学ぶ」と「働く」の理解 2.企業等の現実的な問題解決に取り組む意志 3.インターンシップに関する学内説明会への参加
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「インターンシップ就業レポート」の作成 40点　書式:両面印刷 1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポ　イント1行目:タイトル 2行目:空白 3行目:学科、学生番号、氏名 4行目:空白 5行目以下:本文　内容 ①社会人基礎力の自己評価に対する企業担当者のコメントとそれに対する自身の計画　②今後就職するにあたっての必要な知識やスキル等　各800文字以上、合計1600文字以上　・指定文字数を守り、末尾に文字数を記載する。1行目～4行目、参考文献、図表等は文字数に含めない。・各節には必ず見出しをつける。 2.ポートフォリオ:「インターンシップ」日報 50点 3.ポートフォリオ:「学修到達度レポート」10点

学修上の注意 (SBOs)	★履修について ①事前授業1回目の受講後に、事前の履修登録をおこなう。履修登録期間は後期科目と同じ。 ②インターンシップ終了後の事後授業に参加した学生のみを正式な履修登録者とする。 ③インターンシップに参加できなかった場合は、担当教員が履修を取り消し、GPAの対象科目としない。 ・・・

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	事前授業①	遠隔		
	内容	・就職活動について ・インターンシップ全般の説明 ・「インターンシップⅠ」について ・履修登録について	講義		
2回	テーマ	事前授業②	対面		
	内容	・ワークブックの配布 ・職業意識と就業先のプログラム確認 ・インターンシップの目標設定 ・社会人基礎力の自己評価シート作成	講義		
3回	テーマ	就業1日目 ①午前 ②午後	対面	インターンシップ日報の作成	60
	内容	・インターンシップ受け入れ企業での就業体験 ・企業担当者からの評価	実習		
4回	テーマ	就業2日目 ③午前 ④午後	対面	インターンシップ日報の作成	60
	内容	・インターンシップ受け入れ企業での就業体験 ・企業担当者からの評価	実習		
5回	テーマ	就業3日目 ⑤午前 ⑥午後	対面	インターンシップ日報の作成	60
	内容	・インターンシップ受け入れ企業での就業体験 ・企業担当者からの評価	実習		
6回	テーマ	就業4日目 ⑦午前 ⑧午後	対面	インターンシップ日報の作成	60
	内容	・インターンシップ受け入れ企業での就業体験 ・企業担当者からの評価	実習		
7回	テーマ	就業5日目 ⑨午前 ⑩午後	対面	インターンシップ日報の作成	60
	内容	・インターンシップ受け入れ企業での就業体験 ・企業担当者からの評価	実習		
8回	テーマ	事後授業①	対面		
	内容	・「インターンシップ就業レポート」、PowerPoint資料の提出 ・社会人基礎力の再評価	PW（個人ワーク）		
9回	テーマ	事後授業②	対面		
	内容	・「インターンシップ就業レポート」の発表	PW（個人ワーク）		
10回	テーマ	事後授業③	対面		
	内容	「インターンシップ就業レ・ポート」の発表 ・到達度レポートの作成	PW（個人ワーク）		

科目名	キャリアプロジェクト（３機ナ建シス情微生美デ薬）	開講学年	3	講義コード	2111302	区分	選択
英文表記	Sojo Univ. Student Project for Career Development	開講期	前期・後期	開講形態	対面授業	単位数	1

担当教員	藤本 元啓　藤田 崇

研究室	藤本：本館３０５　藤田：本館附属棟１階	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	学生プロジェクト　協働性　課題解決力　リーダーシップ　　自己管理力

授業概要

本科目は、学生プロジェクト活動を修得した専門的基礎知識と技能とを縦横に活用できる教育プログラムとするものである。学生プロジェクト活動自体は、2000年にマサチューセッツ工科大学とスウェーデンのチャルマース工科大学、リンショーピング大学、スウェーデン王立工科大学が協力して開発した工学教育の世界標準とでもいうべき「CDIOイニシアチブ」（Conceive〈考え出す〉、Design〈設計する〉、Implement〈実行する〉、Operate〈操作、運用する〉）に通じている。そのプロセスを「プロジェクト活動記録」（週報）に記述し、成果は試作品や模型の製作・制作、実態調査報告書などによって具現化する。　1.学科・学年の壁を越えたチーム編成で、ひとつのテーマに臨む総合実践学修活動をおこなう 2.学んだ知識や技術を実際に活用し、学生プロジェクト活動をとおして、試作品・模型や実態調査報告書等を作成する 3.立案、調査、設計、製作・分析・評価というプロセスを体験する 4.下級生に適切な技術指導や安全教育、あるいは実態調査報告書作成指導をおこなう 5.プロジェクト運営を自主的におこなう　★レポート等は学期内に返却する。

関連科目

1.「SOJO基礎Ⅰ・Ⅱ」 2.「キャリアプレコーオプ」 3.学科専門基礎科目群

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
fghi	①	正課科目で学んだ知識・技術・チーム活動を学生プロジェクト活動に生かし、ひとつのテーマをチームで解決し、具体的成果物（試作品、模型、実態調査活動報告書等）で報告することができる
fghi	②	毎週のプロジェクト活動報告書を作成し、活動の進捗情況を報告することができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	15	10	0	75	0	100

教科書

ワークブック キャリアプロジェクト　崇城大学総合教育センター　藤本元啓

参考書

予備知識	1.所属する学生プロジェクトでの活動実績 2.プロジェクト活動で修得した知識や技能
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:活動成果報告書 15点　書式:★両面印刷 1行40文字、1頁40行、MS明朝、余白各25㎜、文字サイズ10.5ポイント 1行目:タイトル 2行目:空白 3行目:学科、学生番号、氏名 4行目:空白 5行目以下:本文 ・指定文字数を守り、末尾に文字数を記載する。1行目～4行目、参考文献、図表等は文字数に含めない。・各節には必ず見出しをつける。 内容:①所属プロジェクトの概要、②今回の活動内容、③活動をとおして身につけた能力と技術 ④今後の課題 各項目300文字以上、合計1200文字以上 2.成果発表:活動Projectの内容等のプレゼンテーション 10点 3.ポートフォリオ:ワークブックのプロジェクト活動記録(13週分)5点×13週＝65点 4.ポートフォリオ:学修到達度レポート 10点 5.履修期間中に開催されたコンテストや大会等の成績は、本科目の評価に反映しない

学修上の注意 (SBOs)	1.履修条件 ・大学が認定した特定の学生プロジェクト活動に、履修時の直前まで1年間以上活動中の3年生 ・認定する学生プロジェクトは、年間を通じて活動するプロジェクトに限定する ※履修対象学生プロジェクト:「Sojo Project F」「SOJO RoboCons」「エコ電カープロジェクト」「からくり」 ※プロジェクト指導教員:学生プロジェクト活動所属証明書への署名が必要 2.出席確認 ・毎週月曜日から1週間以内にWebClassに登録、最終的にはプロジェクト活動報告書で確認する。 3.新型コロナの感染状況によってプロジェクト活動ができない場合は、Teamsを活用して会議を開き、その内容をワークブックに記載すること。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業（1回、13回、14回、15回）の日時・教室は学生ポータルとWebClassで知らせる。 なお新型コロナの感染状況によっては、発表形式をPowerPoint資料提出に変更することがある。 6.成果物は学期内に返却する。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	活動報告書の作成①	30
	内容	科目の目的と概要 活動報告書の作成要項	講義		
2回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成②	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
3回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成③	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
4回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成④	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
5回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成⑤	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
6回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成⑥	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
7回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成⑦	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
8回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成⑧	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
9回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成⑨	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
10回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成⑩	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成⑪	30
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
12回	テーマ	プロジェクト活動	対面	活動報告書の作成⑫	３０
	内容	各プロジェクト活動の作業	実習		
13回	テーマ	活動成果報告準備　プロジェクト活動	対面	以下は次回授業日に提出　活動報告書の作成⑬　活動成果報告書の作成　個人発表資料の作成	60　60 60
	内容	プロジェクト担当部分の個人報告準備作業　各プロジェクト活動の作業	対面PW（個人ワーク）		
14回	テーマ	活動成果報告会①　プロジェクト活動	対面	学修到達度レポートの作成、次回授業日に提出	60
	内容	プロジェクト活動をとおして得た成果･成長に関する個人発表 PowerPoint 5分	対面PW		
15回	テーマ	活動成果報告会②（予備）　自己点検授業	対面		
	内容	プロジェクト活動をとおして得た成果･成長に関する個人発表 PowerPoint 5分　まとめ 提出物の返却	対面PW　講義		

科目名	キャリアセミナーA（３機）	開講学年	3	講義コード	2111401	区分	選択
英文表記	Career Seminar	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	1

担当教員	藤田 崇（実務経験）　田上 寛美（非常勤、実務経験）　山口 美澄（非常勤、実務経験）　藤本 元啓

研究室	藤田：本館附属棟１階　田上：本館附属棟１階　山口：本館附属棟１階　藤本：本館３０５	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	自己分析　キャリアデザイン能力　企業提供課題　課題解決力　　協働性　就職活動　自己管理力

授業概要	企業の採用の早期化、厳選化、卒業年次の一括採用から通年採用への移行、さらにはインターンシップ参加の低学年化など、採用環境は著しく変動している。このように複雑化する企業の採用環境に対応するために、社会人、職業人としてのキャリア形成支援の最終科目として、以下の項目を実施する。 1.自身の過去を振り返り、現在の自分を見つめなおし、近未来への自分をイメージして自己分析を言語化する 2.履歴書、エントリーシートの作成、模擬SPI試験（Web）の受験、模擬面接（Web面接を含む）等を経験することで、企業の採用プロセスを理解し、今後の対策に備える 3.企業から実際の業務内容を聴き、提供する課題をチームで解決し、現時点での最善解を発表する。 4.時事ワークシートを活用して、社会・産業界の情勢の理解に努め、それを批評し言語化する。

関連科目

1.「SOJO基礎ＩＩ」（1年次前後期必修） 2.「キャリアプレコーオプ」（2年次選択） 3.「インターンシップＩ」（3年次前期集中）、「インターンシップII」（3年次後期集中）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
g	①	時事ワークシートの作成によって社会への関心を高めることができる
f,g,h,i	②	企業提供の課題を解決し口頭と文章で報告することができる
g	③	就職活動の手順を理解し、それを実行することができる
g	④	本科目における「学修到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	50	10	0	10	30	100

教科書	

参考書	

予備知識	1.問題解決の手順 2.就職活動情報の収集方法
実務経験のある教員	藤田崇、田上寛美、山口美澄
評価明細基準	1.レポート「自己表現シート」10点 2.レポート「チーム発表報告書」チームで一部提出 10点　内容:①メンバーの役割分担、②成果が出たこと、③評価シートの分析、④今後のチーム活動での課題　②③④は各300文字以上、末尾に文字数記載 3.レポート「チーム活動個人貢献度レポート」10点　内容:①貢献できたこと、②貢献できなかったこと、③個人的な今後の対策 各項目300文字以上、末尾に文字数記載　上記2、3の書式　A4用紙(複数頁の場合は両面印刷)、1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポイント、1行目:タイトル 2行目:空白 3行目:学科、学生番号、氏名 4行目:空白 5行目以下:本文 4.レポート「履歴書」10点 5.レポート「エントリーシート」10点 6.発表「発表資料」「発表評価」10点 7.ポートフォリオ「学修到達度レポート」10点 8.その他「時事ワークシート」5点×6回=30点

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：出席ボード。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。出席期限は授業日を含めた1週間後の（23時59分）までとする。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。 ★就職活動に関する本学最終の正課科目であるため、その意識の強い学生の履修を歓迎する。 ★「SOJPキャリア支援システム」への登録を済ませておくこと 1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPC、『就職活動手帳』を必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。 7.お茶・水以外の飲用は不可。 8.スマートフォンはカバンにしまうこと。許可のない授業中の使用を発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	時事ワークシート①	30
	内容	・科目の概要説明 ・社会人基礎力とその自己評価 ・SPIのWeb試験の説明 ・時事ワークシート6部を配布 すべて5回目の授業日に提出	講義 PW（個人ワーク）		
2回	テーマ	SPIのWeb試験	遠隔	時事ワークシート②	30
	内容	・リクルートキャリアのWeb模擬試験の実施 ★3回目の授業日前日までに行う	PW		
3回	テーマ	自己分析①	対面	時事ワークシート③	30
	内容	・過去の自分を振り返り、自己分析表を作成する	PW		
4回	テーマ	自己分析②	遠隔	時事ワークシート④	30
	内容	・現在の自分を見つめ直し、自己分析表を作成する	PW		
5回	テーマ	自己分析③	遠隔	時事ワークシート⑤ 自己表現シートの作成、次回提出	30 60
	内容	・将来の自分を考え、ライフデザインを行う ★6回目の授業日前日までに行う	PW		
6回	テーマ	チームディスカッションの基礎	対面	時事ワークシート⑥ eams会議（活動記録）	30 60
	内容	・Teamsを活用したチーム討議のありかた ・メンバー役割分担 ・Teams会議日の決定	GW（グループワーク）		
7回	テーマ	企業課題の解決①	対面	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録の作成 ・学科に関係する企業紹介と課題提示 ★時事ワークシートの提出	GW		
8回	テーマ	企業課題の解決②	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
9回	テーマ	企業課題の解決③	遠隔	Teams会議（活動記録） 次回、発表資料の提出	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
10回	テーマ	企業課題の解決④発表会	対面	Teams会議（活動記録）発表報告書の作成 チーム活動個人貢献度レポート	60 60
	内容	発表順の抽選 質疑応答15分間 PowerPoint資料を用いた発表 発表評価シートの作成	GW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	企業課題の解決⑤発表会	対面	発表報告書の作成、次回チームで1部提出　チーム活動個人個人貢献度レポート、次回提出　第一志望企業の仮決定と企業HP等での概要を調査し整理する。次回点検	60　60 30
	内容	質疑応答15分間　PowerPoint資料を用いた発表　発表評価シートの作成	GW		
12回	テーマ	業界研究①	対面	履歴書の作成、次回提出	60
	内容	履歴書の作成　・履歴書の書き方　・履歴書の作成	PW		
13回	テーマ	業界研究②	対面	仮決定した第一志望企業提出用エントリーシートの作成、次回提出	60
	内容	エントリーシートの作成　・第一志望企業提出用エントリーシートの作成	PW		
14回	テーマ	面接実習①	対面	到達度レポート作成、次回提出　授業アンケートの入力	60　30
	内容	・対面型とWeb型面接　・模擬面接	PW		
15回	テーマ	面接実習②、インターンシップ、自己点検授業	対面		
	内容	・模擬面接　・インターンシップとは何か　・就職活動に向けての注意点	PW		

科目名	キャリアセミナーB（３機）	開講学年	3	講義コード	2111402	区分	選択
英文表記	Career Seminar	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	1

担当教員	藤田 崇（実務経験）　田上 寛美（非常勤、実務経験）　山口 美澄（非常勤、実務経験）　藤本 元啓
研究室	藤田：本館附属棟１階　田上：本館附属棟１階　山口：本館附属棟１階　藤本：本館３０５
オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる
メールアドレス	@
キーワード	自己分析　キャリアデザイン能力　企業提供課題　課題解決力　協働性　就職活動　自己管理力

授業概要

企業の採用の早期化、厳選化、卒業年次の一括採用から通年採用への移行、さらにはインターンシップ参加の低学年化など、採用環境は著しく変動している。このように複雑化する企業の採用環境に対応するために、社会人、職業人としてのキャリア形成支援の最終科目として、以下の項目を実施する。　1.自身の過去を振り返り、現在の自分を見つめなおし、近未来への自分をイメージして自己分析を言語化する 2.履歴書、エントリーシートの作成、模擬SPI試験（Web）の受験、模擬面接（Web面接を含む）等を経験することで、企業の採用プロセスを理解し、今後の対策に備える 3.企業から実際の業務内容を聴き、提供する課題をチームで解決し、現時点での最善解を発表する。 4.時事ワークシートを活用して、社会・産業界の情勢の理解に努め、それを批評し言語化する。

関連科目

1.「SOJO基礎ＩＩ」（1年次前後期必修） 2.「キャリアプレコーオプ」（2年次選択） 3.「インターンシップＩ」（3年次前期集中）、「インターンシップII」（3年次後期集中）

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準		fghi	fghi	

JABEE記号		学生の到達度目標
g	①	時事ワークシートの作成によって社会への関心を高めることができる
f,g,h,i	②	企業提供の課題を解決し口頭と文章で報告することができる
g	③	就職活動の手順を理解し、それを実行することができる
g	④	本科目における「学修到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	50	10	0	10	30	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.問題解決の手順 2.就職活動情報の収集方法
実務経験のある教員	藤田崇、田上寛美、山口美澄
評価明細基準	1.レポート「自己表現シート」10点 2.レポート「チーム発表報告書」チームで一部提出 10点　内容:①メンバーの役割分担、②成果が出たこと、③評価シートの分析、④今後のチーム活動での課題　②③④は各300文字以上、末尾に文字数記載 3.レポート「チーム活動個人貢献度レポート」10点　内容:①貢献できたこと、②貢献できなかったこと、③個人的な今後の対策 各項目300文字以上、末尾に文字数記載　上記2、3の書式　A4用紙(複数頁の場合は両面印刷)、1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポイント、1行目:タイトル 2行目:空白 3行目:学科、学生番号、氏名 4行目:空白 5行目以下:本文 4.レポート「履歴書」10点 5.レポート「エントリーシート」10点 6.発表「発表資料」「発表評価」10点 7.ポートフォリオ「学修到達度レポート」10点 8.その他「時事ワークシート」5点×6回=30点

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：出席ボード。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。出席期限は授業日を含めた1週間後の（23時59分）までとする。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。 ★就職活動に関する本学最終の正課科目であるため、その意識の強い学生の履修を歓迎する。 ★「SOJPキャリア支援システム」への登録を済ませておくこと 1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPC、『就職活動手帳』を必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。 7.お茶・水以外の飲用は不可。 8.スマートフォンはカバンにしまうこと。許可のない授業中の使用を発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	時事ワークシート①	30
	内容	・科目の概要説明 ・社会人基礎力とその自己評価 ・SPIのWeb試験の説明 ・時事ワークシート6部を配布 すべて5回目の授業日に提出	講義 PW（個人ワーク）		
2回	テーマ	SPIのWeb試験	遠隔	時事ワークシート②	30
	内容	・リクルートキャリアのWeb模擬試験の実施 ★3回目の授業日前日までに行う	PW		
3回	テーマ	自己分析①	対面	時事ワークシート③	30
	内容	・過去の自分を振り返り、自己分析表を作成する	PW		
4回	テーマ	自己分析②	遠隔	時事ワークシート④	30
	内容	・現在の自分を見つめ直し、自己分析表を作成する	PW		
5回	テーマ	自己分析③	遠隔	時事ワークシート⑤ 自己表現シートの作成、次回提出	30 60
	内容	・将来の自分を考え、ライフデザインを行う ★6回目の授業日前日までに行う	PW		
6回	テーマ	チームディスカッションの基礎	対面	時事ワークシート⑥ eams会議（活動記録）	30 60
	内容	・Teamsを活用したチーム討議のありかた ・メンバー役割分担 ・Teams会議日の決定	GW（グループワーク）		
7回	テーマ	企業課題の解決①	対面	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録の作成 ・学科に関係する企業紹介と課題提示 ★時事ワークシートの提出	GW		
8回	テーマ	企業課題の解決②	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
9回	テーマ	企業課題の解決③	遠隔	Teams会議（活動記録） 次回、発表資料の提出	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
10回	テーマ	企業課題の解決④発表会	対面	Teams会議（活動記録）発表報告書の作成 チーム活動個人貢献度レポート	60 60
	内容	発表順の抽選 質疑応答15分間 PowerPoint資料を用いた発表 発表評価シートの作成	GW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	企業課題の解決⑤発表会	対面	発表報告書の作成、次回チームで1部提出　チーム活動個人個人貢献度レポート、次回提出　第一志望企業の仮決定と企業HP等での概要を調査し整理する。次回点検	60　60 30
	内容	質疑応答15分間　PowerPoint資料を用いた発表　発表評価シートの作成	GW		
12回	テーマ	業界研究①	対面	履歴書の作成、次回提出	60
	内容	履歴書の作成　・履歴書の書き方　・履歴書の作成	PW		
13回	テーマ	業界研究②	対面	仮決定した第一志望企業提出用エントリーシートの作成、次回提出	60
	内容	エントリーシートの作成　・第一志望企業提出用エントリーシートの作成	PW		
14回	テーマ	面接実習①	対面	到達度レポート作成、次回提出　授業アンケートの入力	60　30
	内容	・対面型とWeb型面接　・模擬面接	PW		
15回	テーマ	面接実習②、インターンシップ、自己点検授業	対面		
	内容	・模擬面接　・インターンシップとは何か　・就職活動に向けての注意点	PW		

科目名	キャリアセミナー（３ナ）	開講学年	3	講義コード	2111403	区分	選択
英文表記	Career Seminar	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	1

担当教員	藤田 崇（実務経験）　田上 寛美（非常勤、実務経験）　山口 美澄（非常勤、実務経験）　藤本 元啓
研究室	藤田：本館附属棟１階　田上：本館附属棟１階　山口：本館附属棟１階　藤本：本館３０５
オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる
メールアドレス	@
キーワード	自己分析　キャリアデザイン能力　企業提供課題　課題解決力　　協働性　就職活動　自己管理力

授業概要

企業の採用の早期化、厳選化、卒業年次の一括採用から通年採用への移行、さらにはインターンシップ参加の低学年化など、採用環境は著しく変動している。このように複雑化する企業の採用環境に対応するために、社会人、職業人としてのキャリア形成支援の最終科目として、以下の項目を実施する。　1.自身の過去を振り返り、現在の自分を見つめなおし、近未来への自分をイメージして自己分析を言語化する 2.履歴書、エントリーシートの作成、模擬SPI試験（Web）の受験、模擬面接（Web面接を含む）等を経験することで、企業の採用プロセスを理解し、今後の対策に備える 3.企業から実際の業務内容を聴き、提供する課題をチームで解決し、現時点での最善解を発表する。 4.時事ワークシートを活用して、社会・産業界の情勢の理解に努め、それを批評し言語化する。

関連科目

1.「SOJO基礎ＩＩ」（1年次前後期必修） 2.「キャリアプレコーオプ」（2年次選択） 3.「インターンシップＩ」（3年次前期集中）、「インターンシップII」（3年次後期集中）

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
g	①	時事ワークシートの作成によって社会への関心を高めることができる
f,g,h,i	②	企業提供の課題を解決し口頭と文章で報告することができる
g	③	就職活動の手順を理解し、それを実行することができる
g	④	本科目における「学修到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	50	10	0	10	30	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.問題解決の手順 2.就職活動情報の収集方法
実務経験のある教員	藤田崇、田上寛美、山口美澄
評価明細基準	1.レポート「自己表現シート」10点 2.レポート「チーム発表報告書」チームで一部提出 10点　内容：①メンバーの役割分担、②成果が出たこと、③評価シートの分析、④今後のチーム活動での課題　②③④は各300文字以上、末尾に文字数記載 3.レポート「チーム活動個人貢献度レポート」10点　内容：①貢献できたこと、②貢献できなかったこと、③個人的な今後の対策 各項目300文字以上、末尾に文字数記載　上記2、3の書式　A4用紙（複数頁の場合は両面印刷）、1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポイント、1行目：タイトル 2行目：空白 3行目：学科、学生番号、氏名 4行目：空白 5行目以下：本文 4.レポート「履歴書」10点 5.レポート「エントリーシート」10点 6.発表「発表資料」「発表評価」10点 7.ポートフォリオ「学修到達度レポート」10点 8.その他「時事ワークシート」5点×6回=30点

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：出席ボード。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。出席期限は授業日を含めた1週間後の（23時59分）までとする。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。 ★就職活動に関する本学最終の正課科目であるため、その意識の強い学生の履修を歓迎する。 ★「SOJPキャリア支援システム」への登録を済ませておくこと 1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPC、『就職活動手帳』を必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。 7.お茶・水以外の飲用は不可。 8.スマートフォンはカバンにしまうこと。許可のない授業中の使用を発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	時事ワークシート①	30
	内容	・科目の概要説明 ・社会人基礎力とその自己評価 ・SPIのWeb試験の説明 ・時事ワークシート6部を配布 すべて5回目の授業日に提出	講義 PW（個人ワーク）		
2回	テーマ	SPIのWeb試験	遠隔	時事ワークシート②	30
	内容	・リクルートキャリアのWeb模擬試験の実施 ★3回目の授業日前日までに行う	PW		
3回	テーマ	自己分析①	対面	時事ワークシート③	30
	内容	・過去の自分を振り返り、自己分析表を作成する	PW		
4回	テーマ	自己分析②	遠隔	時事ワークシート④	30
	内容	・現在の自分を見つめ直し、自己分析表を作成する	PW		
5回	テーマ	自己分析③	遠隔	時事ワークシート⑤ 自己表現シートの作成、次回提出	30 60
	内容	・将来の自分を考え、ライフデザインを行う ★6回目の授業日前日までに行う	PW		
6回	テーマ	チームディスカッションの基礎	対面	時事ワークシート⑥ eams会議（活動記録）	30 60
	内容	・Teamsを活用したチーム討議のありかた ・メンバー役割分担 ・Teams会議日の決定	GW（グループワーク）		
7回	テーマ	企業課題の解決①	対面	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録の作成 ・学科に関係する企業紹介と課題提示 ★時事ワークシートの提出	GW		
8回	テーマ	企業課題の解決②	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
9回	テーマ	企業課題の解決③	遠隔	Teams会議（活動記録） 次回、発表資料の提出	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
10回	テーマ	企業課題の解決④発表会	対面	Teams会議（活動記録）発表報告書の作成 チーム活動個人貢献度レポート	60 60
	内容	発表順の抽選 質疑応答15分間 PowerPoint資料を用いた発表 発表評価シートの作成	GW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	企業課題の解決⑤発表会	対面	発表報告書の作成、次回チームで1部提出　チーム活動個人個人貢献度レポート、次回提出　第一志望企業の仮決定と企業HP等での概要を調査し整理する。次回点検	60　60 30
	内容	質疑応答15分間　PowerPoint資料を用いた発表　発表評価シートの作成	GW		
12回	テーマ	業界研究①	対面	履歴書の作成、次回提出	60
	内容	履歴書の作成　・履歴書の書き方　・履歴書の作成	PW		
13回	テーマ	業界研究②	対面	仮決定した第一志望企業提出用エントリーシートの作成、次回提出	60
	内容	エントリーシートの作成　・第一志望企業提出用エントリーシートの作成	PW		
14回	テーマ	面接実習①	対面	到達度レポート作成、次回提出　授業アンケートの入力	60　30
	内容	・対面型とWeb型面接　・模擬面接	PW		
15回	テーマ	面接実習②、インターンシップ、自己点検授業	対面		
	内容	・模擬面接　・インターンシップとは何か　・就職活動に向けての注意点	PW		

科目名	キャリアセミナーA（３建）	開講学年	3	講義コード	2111404	区分	選択
英文表記	Career Seminar	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	1

担当教員	藤田 崇（実務経験）　田上 寛美（非常勤、実務経験）　山口 美澄（非常勤、実務経験）　藤本 元啓

研究室	藤田：本館附属棟１階　田上：本館附属棟１階　山口：本館附属棟１階　藤本：本館３０５	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	自己分析　キャリアデザイン能力　企業提供課題　課題解決力　　協働性　就職活動　自己管理力

授業概要	企業の採用の早期化、厳選化、卒業年次の一括採用から通年採用への移行、さらにはインターンシップ参加の低学年化など、採用環境は著しく変動している。このように複雑化する企業の採用環境に対応するために、社会人、職業人としてのキャリア形成支援の最終科目として、以下の項目を実施する。　1.自身の過去を振り返り、現在の自分を見つめなおし、近未来への自分をイメージして自己分析を言語化する 2.履歴書、エントリーシートの作成、模擬SPI試験（Web）の受験、模擬面接（Web面接を含む）等を経験することで、企業の採用プロセスを理解し、今後の対策に備える 3.企業から実際の業務内容を聴き、提供する課題をチームで解決し、現時点での最善解を発表する。 4.時事ワークシートを活用して、社会・産業界の情勢の理解に努め、それを批評し言語化する。

関連科目

1.「SOJO基礎ＩＩ」（1年次前後期必修） 2.「キャリアプレコーオプ」（2年次選択） 3.「インターンシップＩ」（3年次前期集中）、「インターンシップII」（3年次後期集中）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
g	①	時事ワークシートの作成によって社会への関心を高めることができる
f,g,h,i	②	企業提供の課題を解決し口頭と文章で報告することができる
g	③	就職活動の手順を理解し、それを実行することができる
g	④	本科目における「学修到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	50	10	0	10	30	100

教科書	

参考書	

予備知識	1.問題解決の手順 2.就職活動情報の収集方法
実務経験のある教員	藤田崇、田上寛美、山口美澄
評価明細基準	1.レポート「自己表現シート」10点 2.レポート「チーム発表報告書」チームで一部提出 10点　内容：①メンバーの役割分担、②成果が出たこと、③評価シートの分析、④今後のチーム活動での課題　②③④は各300文字以上、末尾に文字数記載 3.レポート「チーム活動個人貢献度レポート」10点　内容：①貢献できたこと、②貢献できなかったこと、③個人的な今後の対策 各項目300文字以上、末尾に文字数記載　上記2、3の書式　A4用紙（複数頁の場合は両面印刷）、1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポイント、1行目：タイトル 2行目：空白 3行目：学科、学生番号、氏名 4行目：空白 5行目以下：本文 4.レポート「履歴書」10点 5.レポート「エントリーシート」10点 6.発表「発表資料」「発表評価」10点 7.ポートフォリオ「学修到達度レポート」10点 8.その他「時事ワークシート」5点×6回=30点

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：出席ボード。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。出席期限は授業日を含めた1週間後の（23時59分）までとする。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。 ★就職活動に関する本学最終の正課科目であるため、その意識の強い学生の履修を歓迎する。 ★「SOJPキャリア支援システム」への登録を済ませておくこと 1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPC、『就職活動手帳』を必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA4判の紙バインダーを購入すること。レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。 7.お茶・水以外の飲用は不可。 8.スマートフォンはカバンにしまうこと。許可のない授業中の使用を発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	時事ワークシート①	30
	内容	・科目の概要説明 ・社会人基礎力とその自己評価 ・SPIのWeb試験の説明 ・時事ワークシート6部を配布 すべて5回目の授業日に提出	講義 PW（個人ワーク）		
2回	テーマ	SPIのWeb試験	遠隔	時事ワークシート②	30
	内容	・リクルートキャリアのWeb模擬試験の実施 ★3回目の授業日前日までに行う	PW		
3回	テーマ	自己分析①	対面	時事ワークシート③	30
	内容	・過去の自分を振り返り、自己分析表を作成する	PW		
4回	テーマ	自己分析②	遠隔	時事ワークシート④	30
	内容	・現在の自分を見つめ直し、自己分析表を作成する	PW		
5回	テーマ	自己分析③	遠隔	時事ワークシート⑤ 自己表現シートの作成、次回提出	30 60
	内容	・将来の自分を考え、ライフデザインを行う ★6回目の授業日前日までに行う	PW		
6回	テーマ	チームディスカッションの基礎	対面	時事ワークシート⑥ eams会議（活動記録）	30 60
	内容	・Teamsを活用したチーム討議のありかた ・メンバー役割分担 ・Teams会議日の決定	GW（グループワーク）		
7回	テーマ	企業課題の解決①	対面	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録の作成 ・学科に関係する企業紹介と課題提示 ★時事ワークシートの提出	GW		
8回	テーマ	企業課題の解決②	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
9回	テーマ	企業課題の解決③	遠隔	Teams会議（活動記録） 次回、発表資料の提出	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
10回	テーマ	企業課題の解決④発表会	対面	Teams会議（活動記録）発表報告書の作成 チーム活動個人貢献度レポート	60 60
	内容	発表順の抽選 質疑応答15分間 PowerPoint資料を用いた発表 発表評価シートの作成	GW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	企業課題の解決⑤発表会	対面	発表報告書の作成、次回チームで1部提出　チーム活動個人個人貢献度レポート、次回提出　第一志望企業の仮決定と企業HP等での概要を調査し整理する。次回点検	60　60　30
	内容	質疑応答15分間　PowerPoint資料を用いた発表　発表評価シートの作成	GW		
12回	テーマ	業界研究①	対面	履歴書の作成、次回提出	60
	内容	履歴書の作成　・履歴書の書き方　・履歴書の作成	PW		
13回	テーマ	業界研究②	対面	仮決定した第一志望企業提出用エントリーシートの作成、次回提出	60
	内容	エントリーシートの作成　・第一志望企業提出用エントリーシートの作成	PW		
14回	テーマ	面接実習①	対面	到達度レポート作成、次回提出　授業アンケートの入力	60　30
	内容	・対面型とWeb型面接　・模擬面接	PW		
15回	テーマ	面接実習②、インターンシップ、自己点検授業	対面		
	内容	・模擬面接　・インターンシップとは何か　・就職活動に向けての注意点	PW		

科目名	キャリアセミナーB（３建）	開講学年	3	講義コード	2111405	区分	選択
英文表記	Career Seminar	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	1

担当教員	藤田 崇（実務経験）　田上 寛美（非常勤、実務経験）　山口 美澄（非常勤、実務経験）　藤本 元啓

研究室	藤田：本館附属棟１階　田上：本館附属棟１階　山口：本館附属棟１階　藤本：本館３０５	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	自己分析　キャリアデザイン能力　企業提供課題　課題解決力　　協働性　就職活動　自己管理力

授業概要	企業の採用の早期化、厳選化、卒業年次の一括採用から通年採用への移行、さらにはインターンシップ参加の低学年化など、採用環境は著しく変動している。このように複雑化する企業の採用環境に対応するために、社会人、職業人としてのキャリア形成支援の最終科目として、以下の項目を実施する。　1.自身の過去を振り返り、現在の自分を見つめなおし、近未来への自分をイメージして自己分析を言語化する 2.履歴書、エントリーシートの作成、模擬SPI試験（Web）の受験、模擬面接（Web面接を含む）等を経験することで、企業の採用プロセスを理解し、今後の対策に備える 3.企業から実際の業務内容を聴き、提供する課題をチームで解決し、現時点での最善解を発表する。 4.時事ワークシートを活用して、社会・産業界の情勢の理解に努め、それを批評し言語化する。

関連科目

1.「SOJO基礎ＩＩ」（1年次前後期必修） 2.「キャリアプレコーオプ」（2年次選択） 3.「インターンシップＩ」（3年次前期集中）、「インターンシップII」（3年次後期集中）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
g	①	時事ワークシートの作成によって社会への関心を高めることができる
f,g,h,i	②	企業提供の課題を解決し口頭と文章で報告することができる
g	③	就職活動の手順を理解し、それを実行することができる
g	④	本科目における「学修到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	50	10	0	10	30	100

教科書	

参考書	

予備知識	1.問題解決の手順 2.就職活動情報の収集方法
実務経験のある教員	藤田崇、田上寛美、山口美澄
評価明細基準	1.レポート「自己表現シート」10点 2.レポート「チーム発表報告書」チームで一部提出 10点　内容:①メンバーの役割分担、②成果が出たこと、③評価シートの分析、④今後のチーム活動での課題　②③④は各300文字以上、末尾に文字数記載 3.レポート「チーム活動個人貢献度レポート」10点　内容:①貢献できたこと、②貢献できなかったこと、③個人的な今後の対策 各項目300文字以上、末尾に文字数記載　上記2、3の書式　A4用紙(複数頁の場合は両面印刷)、1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポイント、1行目:タイトル 2行目:空白 3行目:学科、学生番号、氏名 4行目:空白 5行目以下:本文 4.レポート「履歴書」10点 5.レポート「エントリーシート」10点 6.発表「発表資料」「発表評価」10点 7.ポートフォリオ「学修到達度レポート」10点 8.その他「時事ワークシート」5点×6回=30点

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：出席ボード。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。出席期限は授業日を含めた1週間後の（23時59分）までとする。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。 ★就職活動に関する本学最終の正課科目であるため、その意識の強い学生の履修を歓迎する。 ★「SOJPキャリア支援システム」への登録を済ませておくこと 1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPC、『就職活動手帳』を必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。 7.お茶・水以外の飲用は不可。 8.スマートフォンはカバンにしまうこと。許可のない授業中の使用を発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	時事ワークシート①	30
	内容	・科目の概要説明 ・社会人基礎力とその自己評価 ・SPIのWeb試験の説明 ・時事ワークシート6部を配布 すべて5回目の授業日に提出	講義 PW（個人ワーク）		
2回	テーマ	SPIのWeb試験	遠隔	時事ワークシート②	30
	内容	・リクルートキャリアのWeb模擬試験の実施 ★3回目の授業日前日までに行う	PW		
3回	テーマ	自己分析①	対面	時事ワークシート③	30
	内容	・過去の自分を振り返り、自己分析表を作成する	PW		
4回	テーマ	自己分析②	遠隔	時事ワークシート④	30
	内容	・現在の自分を見つめ直し、自己分析表を作成する	PW		
5回	テーマ	自己分析③	遠隔	時事ワークシート⑤ 自己表現シートの作成、次回提出	30 60
	内容	・将来の自分を考え、ライフデザインを行う ★6回目の授業日前日までに行う	PW		
6回	テーマ	チームディスカッションの基礎	対面	時事ワークシート⑥ eams会議（活動記録）	30 60
	内容	・Teamsを活用したチーム討議のありかた ・メンバー役割分担 ・Teams会議日の決定	GW（グループワーク）		
7回	テーマ	企業課題の解決①	対面	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録の作成 ・学科に関係する企業紹介と課題提示 ★時事ワークシートの提出	GW		
8回	テーマ	企業課題の解決②	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
9回	テーマ	企業課題の解決③	遠隔	Teams会議（活動記録） 次回、発表資料の提出	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
10回	テーマ	企業課題の解決④発表会	対面	Teams会議（活動記録）発表報告書の作成 チーム活動個人貢献度レポート	60 60
	内容	発表順の抽選 質疑応答15分間 PowerPoint資料を用いた発表 発表評価シートの作成	GW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	企業課題の解決⑤発表会	対面	発表報告書の作成、次回チームで1部提出　チーム活動個人個人貢献度レポート、次回提出　第一志望企業の仮決定と企業HP等での概要を調査し整理する。次回点検	60　60 30
	内容	質疑応答15分間　PowerPoint資料を用いた発表　発表評価シートの作成	GW		
12回	テーマ	業界研究①	対面	履歴書の作成、次回提出	60
	内容	履歴書の作成　・履歴書の書き方　・履歴書の作成	PW		
13回	テーマ	業界研究②	対面	仮決定した第一志望企業提出用エントリーシートの作成、次回提出	60
	内容	エントリーシートの作成　・第一志望企業提出用エントリーシートの作成	PW		
14回	テーマ	面接実習①	対面	到達度レポート作成、次回提出　授業アンケートの入力	60　30
	内容	・対面型とWeb型面接　・模擬面接	PW		
15回	テーマ	面接実習②、インターンシップ、自己点検授業	対面		
	内容	・模擬面接　・インターンシップとは何か　・就職活動に向けての注意点	PW		

科目名	キャリアセミナー（３シス）	開講学年	3	講義コード	2111406	区分	選択
英文表記	Career Seminar	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	1

担当教員	藤田 崇（実務経験）　田上 寛美（非常勤、実務経験）　山口 美澄（非常勤、実務経験）　藤本 元啓

研究室	藤田：本館附属棟１階　田上：本館附属棟１階　山口：本館附属棟１階　藤本：本館３０５	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	自己分析　キャリアデザイン能力　企業提供課題　課題解決力　　協働性　就職活動　自己管理力

授業概要	企業の採用の早期化、厳選化、卒業年次の一括採用から通年採用への移行、さらにはインターンシップ参加の低学年化など、採用環境は著しく変動している。このように複雑化する企業の採用環境に対応するために、社会人、職業人としてのキャリア形成支援の最終科目として、以下の項目を実施する。　1.自身の過去を振り返り、現在の自分を見つめなおし、近未来への自分をイメージして自己分析を言語化する 2.履歴書、エントリーシートの作成、模擬SPI試験（Web）の受験、模擬面接（Web面接を含む）等を経験することで、企業の採用プロセスを理解し、今後の対策に備える 3.企業から実際の業務内容を聴き、提供する課題をチームで解決し、現時点での最善解を発表する。 4.時事ワークシートを活用して、社会・産業界の情勢の理解に努め、それを批評し言語化する。

関連科目

1.「SOJO基礎ＩＩ」（1年次前後期必修） 2.「キャリアプレコーオプ」（2年次選択） 3.「インターンシップＩ」（3年次前期集中）、「インターンシップII」（3年次後期集中）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A4	A4
		JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
g	①	時事ワークシートの作成によって社会への関心を高めることができる
f,g,h,i	②	企業提供の課題を解決し口頭と文章で報告することができる
g	③	就職活動の手順を理解し、それを実行することができる
g	④	本科目における「学修到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	50	10	0	10	30	100

教科書	

参考書	

予備知識	1.問題解決の手順 2.就職活動情報の収集方法
実務経験のある教員	藤田崇、田上寛美、山口美澄
評価明細基準	1.レポート「自己表現シート」10点 2.レポート「チーム発表報告書」チームで一部提出 10点　内容：①メンバーの役割分担、②成果が出たこと、③評価シートの分析、④今後のチーム活動での課題　②③④は各300文字以上、末尾に文字数記載 3.レポート「チーム活動個人貢献度レポート」10点　内容：①貢献できたこと、②貢献できなかったこと、③個人的な今後の対策 各項目300文字以上、末尾に文字数記載　上記2、3の書式　A4用紙（複数頁の場合は両面印刷）、1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポイント、1行目：タイトル 2行目：空白 3行目：学科、学生番号、氏名 4行目：空白 5行目以下：本文 4.レポート「履歴書」10点 5.レポート「エントリーシート」10点 6.発表「発表資料」「発表評価」10点 7.ポートフォリオ「学修到達度レポート」10点 8.その他「時事ワークシート」5点×6回=30点

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業：出席ボード。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。出席期限は授業日を含めた1週間後の（23時59分）までとする。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。 ★就職活動に関する本学最終の正課科目であるため、その意識の強い学生の履修を歓迎する。 ★「SOJPキャリア支援システム」への登録を済ませておくこと 1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPC、『就職活動手帳』を必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA４判の紙バインダーを購入すること。レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。 7.お茶・水以外の飲用は不可。 8.スマートフォンはカバンにしまうこと。許可のない授業中の使用を発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	時事ワークシート①	30
	内容	・科目の概要説明 ・社会人基礎力とその自己評価 ・SPIのWeb試験の説明 ・時事ワークシート6部を配布 すべて5回目の授業日に提出	講義 PW（個人ワーク）		
2回	テーマ	SPIのWeb試験	遠隔	時事ワークシート②	30
	内容	・リクルートキャリアのWeb模擬試験の実施 ★3回目の授業日前日までに行う	PW		
3回	テーマ	自己分析①	対面	時事ワークシート③	30
	内容	・過去の自分を振り返り、自己分析表を作成する	PW		
4回	テーマ	自己分析②	遠隔	時事ワークシート④	30
	内容	・現在の自分を見つめ直し、自己分析表を作成する	PW		
5回	テーマ	自己分析③	遠隔	時事ワークシート⑤ 自己表現シートの作成、次回提出	30 60
	内容	・将来の自分を考え、ライフデザインを行う ★6回目の授業日前日までに行う	PW		
6回	テーマ	チームディスカッションの基礎	対面	時事ワークシート⑥ eams会議（活動記録）	30 60
	内容	・Teamsを活用したチーム討議のありかた ・メンバー役割分担 ・Teams会議日の決定	GW（グループワーク）		
7回	テーマ	企業課題の解決①	対面	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録の作成 ・学科に関係する企業紹介と課題提示 ★時事ワークシートの提出	GW		
8回	テーマ	企業課題の解決②	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
9回	テーマ	企業課題の解決③	遠隔	Teams会議（活動記録） 次回、発表資料の提出	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
10回	テーマ	企業課題の解決④発表会	対面	Teams会議（活動記録）発表報告書の作成 チーム活動個人貢献度レポート	60 60
	内容	発表順の抽選 質疑応答15分間 PowerPoint資料を用いた発表 発表評価シートの作成	GW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	企業課題の解決⑤発表会	対面	発表報告書の作成、次回チームで1部提出　チーム活動個人個人貢献度レポート、次回提出　第一志望企業の仮決定と企業HP等での概要を調査し整理する。次回点検	60　60 30
	内容	質疑応答15分間　PowerPoint資料を用いた発表　発表評価シートの作成	GW		
12回	テーマ	業界研究①	対面	履歴書の作成、次回提出	60
	内容	履歴書の作成　・履歴書の書き方　・履歴書の作成	PW		
13回	テーマ	業界研究②	対面	仮決定した第一志望企業提出用エントリーシートの作成、次回提出	60
	内容	エントリーシートの作成　・第一志望企業提出用エントリーシートの作成	PW		
14回	テーマ	面接実習①	対面	到達度レポート作成、次回提出　授業アンケートの入力	60　30
	内容	・対面型とWeb型面接　・模擬面接	PW		
15回	テーマ	面接実習②、インターンシップ、自己点検授業	対面		
	内容	・模擬面接　・インターンシップとは何か　・就職活動に向けての注意点	PW		

科目名	キャリアセミナーA（３情）	開講学年	3	講義コード	2111407	区分	選択
英文表記	Career Seminar	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	1

担当教員	藤田 崇（実務経験）　田上 寛美（非常勤、実務経験）　山口 美澄（非常勤、実務経験）　藤本 元啓

研究室	藤田：本館附属棟１階　田上：本館附属棟１階　山口：本館附属棟１階　藤本：本館３０５	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	自己分析　キャリアデザイン能力　企業提供課題　課題解決力　　協働性　就職活動　自己管理力

授業概要	企業の採用の早期化、厳選化、卒業年次の一括採用から通年採用への移行、さらにはインターンシップ参加の低学年化など、採用環境は著しく変動している。このように複雑化する企業の採用環境に対応するために、社会人、職業人としてのキャリア形成支援の最終科目として、以下の項目を実施する。　1.自身の過去を振り返り、現在の自分を見つめなおし、近未来への自分をイメージして自己分析を言語化する 2.履歴書、エントリーシートの作成、模擬SPI試験（Web）の受験、模擬面接（Web面接を含む）等を経験することで、企業の採用プロセスを理解し、今後の対策に備える 3.企業から実際の業務内容を聴き、提供する課題をチームで解決し、現時点での最善解を発表する。 4.時事ワークシートを活用して、社会・産業界の情勢の理解に努め、それを批評し言語化する。

関連科目

1.「SOJO基礎ＩＩ」（1年次前後期必修） 2.「キャリアプレコーオプ」（2年次選択） 3.「インターンシップＩ」（3年次前期集中）、「インターンシップII」（3年次後期集中）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
g	①	時事ワークシートの作成によって社会への関心を高めることができる
f,g,h,i	②	企業提供の課題を解決し口頭と文章で報告することができる
g	③	就職活動の手順を理解し、それを実行することができる
g	④	本科目における「学修到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	50	10	0	10	30	100

教科書	

参考書	

予備知識	1.問題解決の手順 2.就職活動情報の収集方法
実務経験のある教員	藤田崇、田上寛美、山口美澄
評価明細基準	1.レポート「自己表現シート」10点 2.レポート「チーム発表報告書」チームで一部提出 10点　内容:①メンバーの役割分担、②成果が出たこと、③評価シートの分析、④今後のチーム活動での課題　②③④は各300文字以上、末尾に文字数記載 3.レポート「チーム活動個人貢献度レポート」10点　内容:①貢献できたこと、②貢献できなかったこと、③個人的な今後の対策 各項目300文字以上、末尾に文字数記載　上記2、3の書式　A4用紙(複数頁の場合は両面印刷)、1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポイント、1行目:タイトル 2行目:空白 3行目:学科、学生番号、氏名 4行目:空白 5行目以下:本文 4.レポート「履歴書」10点 5.レポート「エントリーシート」10点 6.発表「発表資料」「発表評価」10点 7.ポートフォリオ「学修到達度レポート」10点 8.その他「時事ワークシート」5点×6回=30点

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について:変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業:出席ボード。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業:WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。出席期限は授業日を含めた1週間後の(23時59分)までとする。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。 ★就職活動に関する本学最終の正課科目であるため、その意識の強い学生の履修を歓迎する。 ★「SOJPキャリア支援システム」への登録を済ませておくこと 1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情(要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等)の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情(要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等)の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃(ひょうせつ)をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPC、『就職活動手帳』を必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA4判の紙バインダーを購入すること。レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。 7.お茶・水以外の飲用は不可。 8.スマートフォンはカバンにしまうこと。許可のない授業中の使用を発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	時事ワークシート①	30
	内容	・科目の概要説明 ・社会人基礎力とその自己評価 ・SPIのWeb試験の説明 ・時事ワークシート6部を配布 すべて5回目の授業日に提出	講義 PW（個人ワーク）		
2回	テーマ	SPIのWeb試験	遠隔	時事ワークシート②	30
	内容	・リクルートキャリアのWeb模擬試験の実施 ★3回目の授業日前日までに行う	PW		
3回	テーマ	自己分析①	対面	時事ワークシート③	30
	内容	・過去の自分を振り返り、自己分析表を作成する	PW		
4回	テーマ	自己分析②	遠隔	時事ワークシート④	30
	内容	・現在の自分を見つめ直し、自己分析表を作成する	PW		
5回	テーマ	自己分析③	遠隔	時事ワークシート⑤ 自己表現シートの作成、次回提出	30 60
	内容	・将来の自分を考え、ライフデザインを行う ★6回目の授業日前日までに行う	PW		
6回	テーマ	チームディスカッションの基礎	対面	時事ワークシート⑥ eams会議（活動記録）	30 60
	内容	・Teamsを活用したチーム討議のありかた ・メンバー役割分担 ・Teams会議日の決定	GW（グループワーク）		
7回	テーマ	企業課題の解決①	対面	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録の作成 ・学科に関係する企業紹介と課題提示 ★時事ワークシートの提出	GW		
8回	テーマ	企業課題の解決②	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
9回	テーマ	企業課題の解決③	遠隔	Teams会議（活動記録） 次回、発表資料の提出	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
10回	テーマ	企業課題の解決④発表会	対面	Teams会議（活動記録）発表報告書の作成 チーム活動個人貢献度レポート	60 60
	内容	発表順の抽選 質疑応答15分間 PowerPoint資料を用いた発表 発表評価シートの作成	GW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	企業課題の解決⑤発表会	対面	発表報告書の作成、次回チームで1部提出　チーム活動個人個人貢献度レポート、次回提出　第一志望企業の仮決定と企業HP等での概要を調査し整理する。次回点検	60　60　30
	内容	質疑応答15分間　PowerPoint資料を用いた発表　発表評価シートの作成	GW		
12回	テーマ	業界研究①	対面	履歴書の作成、次回提出	60
	内容	履歴書の作成　・履歴書の書き方　・履歴書の作成	PW		
13回	テーマ	業界研究②	対面	仮決定した第一志望企業提出用エントリーシートの作成、次回提出	60
	内容	エントリーシートの作成　・第一志望企業提出用エントリーシートの作成	PW		
14回	テーマ	面接実習①	対面	到達度レポート作成、次回提出　授業アンケートの入力	60　30
	内容	・対面型とWeb型面接　・模擬面接	PW		
15回	テーマ	面接実習②、インターンシップ、自己点検授業	対面		
	内容	・模擬面接　・インターンシップとは何か　・就職活動に向けての注意点	PW		

科目名	キャリアセミナーB（３情）	開講学年	3	講義コード	2111408	区分	選択
英文表記	Career Seminar	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	1

担当教員	藤田 崇（実務経験）　田上 寛美（非常勤、実務経験）　山口 美澄（非常勤、実務経験）　藤本 元啓

研究室	藤田：本館附属棟１階　田上：本館附属棟１階　山口：本館附属棟１階　藤本：本館３０５	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	自己分析　キャリアデザイン能力　企業提供課題　課題解決力　　協働性　就職活動　自己管理力

授業概要	企業の採用の早期化、厳選化、卒業年次の一括採用から通年採用への移行、さらにはインターンシップ参加の低学年化など、採用環境は著しく変動している。このように複雑化する企業の採用環境に対応するために、社会人、職業人としてのキャリア形成支援の最終科目として、以下の項目を実施する。 1.自身の過去を振り返り、現在の自分を見つめなおし、近未来への自分をイメージして自己分析を言語化する 2.履歴書、エントリーシートの作成、模擬SPI試験（Web）の受験、模擬面接（Web面接を含む）等を経験することで、企業の採用プロセスを理解し、今後の対策に備える 3.企業から実際の業務内容を聴き、提供する課題をチームで解決し、現時点での最善解を発表する。 4.時事ワークシートを活用して、社会・産業界の情勢の理解に努め、それを批評し言語化する。

関連科目

1.「SOJO基礎ＩＩ」（1年次前後期必修） 2.「キャリアプレコーオプ」（2年次選択） 3.「インターンシップＩ」（3年次前期集中）、「インターンシップII」（3年次後期集中）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
g	①	時事ワークシートの作成によって社会への関心を高めることができる
f,g,h,i	②	企業提供の課題を解決し口頭と文章で報告することができる
g	③	就職活動の手順を理解し、それを実行することができる
g	④	本科目における「学修到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	50	10	0	10	30	100

教科書	

参考書	

予備知識	1.問題解決の手順 2.就職活動情報の収集方法
実務経験のある教員	藤田崇、田上寛美、山口美澄
評価明細基準	1.レポート「自己表現シート」10点 2.レポート「チーム発表報告書」チームで一部提出 10点　内容:①メンバーの役割分担、②成果が出たこと、③評価シートの分析、④今後のチーム活動での課題　②③④は各300文字以上、末尾に文字数記載 3.レポート「チーム活動個人貢献度レポート」10点　内容:①貢献できたこと、②貢献できなかったこと、③個人的な今後の対策 各項目300文字以上、末尾に文字数記載　上記2、3の書式　A4用紙(複数頁の場合は両面印刷)、1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポイント、1行目:タイトル 2行目:空白 3行目:学科、学生番号、氏名 4行目:空白 5行目以下:本文 4.レポート「履歴書」10点 5.レポート「エントリーシート」10点 6.発表「発表資料」「発表評価」10点 7.ポートフォリオ「学修到達度レポート」10点 8.その他「時事ワークシート」5点×6回=30点

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について:変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業:出席ボード。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業:WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。出席期限は授業日を含めた1週間後の(23時59分)までとする。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。 ★就職活動に関する本学最終の正課科目であるため、その意識の強い学生の履修を歓迎する。 ★「SOJPキャリア支援システム」への登録を済ませておくこと 1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情(要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等)の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情(要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等)の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃(ひょうせつ)をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPC、『就職活動手帳』を必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA4判の紙バインダーを購入すること。レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。 7.お茶・水以外の飲用は不可。 8.スマートフォンはカバンにしまうこと。許可のない授業中の使用を発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	時事ワークシート①	30
	内容	・科目の概要説明 ・社会人基礎力とその自己評価 ・SPIのWeb試験の説明 ・時事ワークシート6部を配布 すべて5回目の授業日に提出	講義 PW（個人ワーク）		
2回	テーマ	SPIのWeb試験	遠隔	時事ワークシート②	30
	内容	・リクルートキャリアのWeb模擬試験の実施 ★3回目の授業日前日までに行う	PW		
3回	テーマ	自己分析①	対面	時事ワークシート③	30
	内容	・過去の自分を振り返り、自己分析表を作成する	PW		
4回	テーマ	自己分析②	遠隔	時事ワークシート④	30
	内容	・現在の自分を見つめ直し、自己分析表を作成する	PW		
5回	テーマ	自己分析③	遠隔	時事ワークシート⑤ 自己表現シートの作成、次回提出	30 60
	内容	・将来の自分を考え、ライフデザインを行う ★6回目の授業日前日までに行う	PW		
6回	テーマ	チームディスカッションの基礎	対面	時事ワークシート⑥ eams会議（活動記録）	30 60
	内容	・Teamsを活用したチーム討議のありかた ・メンバー役割分担 ・Teams会議日の決定	GW（グループワーク）		
7回	テーマ	企業課題の解決①	対面	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録の作成 ・学科に関係する企業紹介と課題提示 ★時事ワークシートの提出	GW		
8回	テーマ	企業課題の解決②	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
9回	テーマ	企業課題の解決③	遠隔	Teams会議（活動記録） 次回、発表資料の提出	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
10回	テーマ	企業課題の解決④発表会	対面	Teams会議（活動記録）発表報告書の作成 チーム活動個人貢献度レポート	60 60
	内容	発表順の抽選 質疑応答15分間 PowerPoint資料を用いた発表 発表評価シートの作成	GW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	企業課題の解決⑤発表会	対面	発表報告書の作成、次回チームで1部提出　チーム活動個人個人貢献度レポート、次回提出　第一志望企業の仮決定と企業HP等での概要を調査し整理する。次回点検	60　60 30
	内容	質疑応答15分間　PowerPoint資料を用いた発表　発表評価シートの作成	GW		
12回	テーマ	業界研究①	対面	履歴書の作成、次回提出	60
	内容	履歴書の作成　・履歴書の書き方　・履歴書の作成	PW		
13回	テーマ	業界研究②	対面	仮決定した第一志望企業提出用エントリーシートの作成、次回提出	60
	内容	エントリーシートの作成　・第一志望企業提出用エントリーシートの作成	PW		
14回	テーマ	面接実習①	対面	到達度レポート作成、次回提出　授業アンケートの入力	60　30
	内容	・対面型とWeb型面接　・模擬面接	PW		
15回	テーマ	面接実習②、インターンシップ、自己点検授業	対面		
	内容	・模擬面接　・インターンシップとは何か　・就職活動に向けての注意点	PW		

科目名	キャリアセミナーA（３微）	開講学年	3	講義コード	2111409	区分	選択
英文表記	Career Seminar	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	1

担当教員	藤田 崇（実務経験）　田上 寛美（非常勤、実務経験）　山口 美澄（非常勤、実務経験）　藤本 元啓

研究室	藤田：本館附属棟１階　田上：本館附属棟１階　山口：本館附属棟１階　藤本：本館３０５	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	自己分析　キャリアデザイン能力　企業提供課題　課題解決力　　協働性　就職活動　自己管理力

授業概要	企業の採用の早期化、厳選化、卒業年次の一括採用から通年採用への移行、さらにはインターンシップ参加の低学年化など、採用環境は著しく変動している。このように複雑化する企業の採用環境に対応するために、社会人、職業人としてのキャリア形成支援の最終科目として、以下の項目を実施する。　1.自身の過去を振り返り、現在の自分を見つめなおし、近未来への自分をイメージして自己分析を言語化する 2.履歴書、エントリーシートの作成、模擬SPI試験（Web）の受験、模擬面接（Web面接を含む）等を経験することで、企業の採用プロセスを理解し、今後の対策に備える 3.企業から実際の業務内容を聴き、提供する課題をチームで解決し、現時点での最善解を発表する。 4.時事ワークシートを活用して、社会・産業界の情勢の理解に努め、それを批評し言語化する。

関連科目

1.「SOJO基礎ＩＩ」（1年次前後期必修） 2.「キャリアプレコーオプ」（2年次選択） 3.「インターンシップＩ」（3年次前期集中）、「インターンシップII」（3年次後期集中）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
g	①	時事ワークシートの作成によって社会への関心を高めることができる
f,g,h,i	②	企業提供の課題を解決し口頭と文章で報告することができる
g	③	就職活動の手順を理解し、それを実行することができる
g	④	本科目における「学修到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	50	10	0	10	30	100

教科書	

参考書	

予備知識	1.問題解決の手順 2.就職活動情報の収集方法
実務経験のある教員	藤田崇、田上寛美、山口美澄
評価明細基準	1.レポート「自己表現シート」10点 2.レポート「チーム発表報告書」チームで一部提出 10点　内容:①メンバーの役割分担、②成果が出たこと、③評価シートの分析、④今後のチーム活動での課題　②③④は各300文字以上、末尾に文字数記載 3.レポート「チーム活動個人貢献度レポート」10点　内容:①貢献できたこと、②貢献できなかったこと、③個人的な今後の対策 各項目300文字以上、末尾に文字数記載　上記2、3の書式　A4用紙(複数頁の場合は両面印刷)、1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポイント、1行目:タイトル 2行目:空白 3行目:学科、学生番号、氏名 4行目:空白 5行目以下:本文 4.レポート「履歴書」10点 5.レポート「エントリーシート」10点 6.発表「発表資料」「発表評価」10点 7.ポートフォリオ「学修到達度レポート」10点 8.その他「時事ワークシート」5点×6回=30点

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について:変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業:出席ボード。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業:WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。出席期限は授業日を含めた1週間後の(23時59分)までとする。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。 ★就職活動に関する本学最終の正課科目であるため、その意識の強い学生の履修を歓迎する。 ★「SOJPキャリア支援システム」への登録を済ませておくこと 1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情(要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等)の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情(要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等)の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃(ひょうせつ)をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPC、『就職活動手帳』を必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA4判の紙バインダーを購入すること。レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。 7.お茶・水以外の飲用は不可。 8.スマートフォンはカバンにしまうこと。許可のない授業中の使用を発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	時事ワークシート①	30
	内容	・科目の概要説明 ・社会人基礎力とその自己評価 ・SPIのWeb試験の説明 ・時事ワークシート6部を配布 すべて5回目の授業日に提出	講義 PW（個人ワーク）		
2回	テーマ	SPIのWeb試験	遠隔	時事ワークシート②	30
	内容	・リクルートキャリアのWeb模擬試験の実施 ★3回目の授業日前日までに行う	PW		
3回	テーマ	自己分析①	対面	時事ワークシート③	30
	内容	・過去の自分を振り返り、自己分析表を作成する	PW		
4回	テーマ	自己分析②	遠隔	時事ワークシート④	30
	内容	・現在の自分を見つめ直し、自己分析表を作成する	PW		
5回	テーマ	自己分析③	遠隔	時事ワークシート⑤ 自己表現シートの作成、次回提出	30 60
	内容	・将来の自分を考え、ライフデザインを行う ★6回目の授業日前日までに行う	PW		
6回	テーマ	チームディスカッションの基礎	対面	時事ワークシート⑥ eams会議（活動記録）	30 60
	内容	・Teamsを活用したチーム討議のありかた ・メンバー役割分担 ・Teams会議日の決定	GW（グループワーク）		
7回	テーマ	企業課題の解決①	対面	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録の作成 ・学科に関係する企業紹介と課題提示 ★時事ワークシートの提出	GW		
8回	テーマ	企業課題の解決②	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
9回	テーマ	企業課題の解決③	遠隔	Teams会議（活動記録） 次回、発表資料の提出	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
10回	テーマ	企業課題の解決④発表会	対面	Teams会議（活動記録）発表報告書の作成 チーム活動個人貢献度レポート	60 60
	内容	発表順の抽選 質疑応答15分間 PowerPoint資料を用いた発表 発表評価シートの作成	GW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	企業課題の解決⑤発表会	対面	発表報告書の作成、次回チームで1部提出　チーム活動個人個人貢献度レポート、次回提出　第一志望企業の仮決定と企業HP等での概要を調査し整理する。次回点検	60　60 30
	内容	質疑応答15分間　PowerPoint資料を用いた発表　発表評価シートの作成	GW		
12回	テーマ	業界研究①	対面	履歴書の作成、次回提出	60
	内容	履歴書の作成　・履歴書の書き方　・履歴書の作成	PW		
13回	テーマ	業界研究②	対面	仮決定した第一志望企業提出用エントリーシートの作成、次回提出	60
	内容	エントリーシートの作成　・第一志望企業提出用エントリーシートの作成	PW		
14回	テーマ	面接実習①	対面	到達度レポート作成、次回提出　授業アンケートの入力	60　30
	内容	・対面型とWeb型面接　・模擬面接	PW		
15回	テーマ	面接実習②、インターンシップ、自己点検授業	対面		
	内容	・模擬面接　・インターンシップとは何か　・就職活動に向けての注意点	PW		

科目名	キャリアセミナーB（３微）	開講学年	3	講義コード	2111410	区分	選択
英文表記	Career Seminar	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	1

担当教員	藤田 崇（実務経験）　田上 寛美（非常勤、実務経験）　山口 美澄（非常勤、実務経験）　藤本 元啓

研究室	藤田：本館附属棟１階　田上：本館附属棟１階　山口：本館附属棟１階　藤本：本館３０５	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	自己分析　キャリアデザイン能力　企業提供課題　課題解決力　　協働性　就職活動　自己管理力

授業概要	企業の採用の早期化、厳選化、卒業年次の一括採用から通年採用への移行、さらにはインターンシップ参加の低学年化など、採用環境は著しく変動している。このように複雑化する企業の採用環境に対応するために、社会人、職業人としてのキャリア形成支援の最終科目として、以下の項目を実施する。　1.自身の過去を振り返り、現在の自分を見つめなおし、近未来への自分をイメージして自己分析を言語化する 2.履歴書、エントリーシートの作成、模擬SPI試験（Web）の受験、模擬面接（Web面接を含む）等を経験することで、企業の採用プロセスを理解し、今後の対策に備える 3.企業から実際の業務内容を聴き、提供する課題をチームで解決し、現時点での最善解を発表する。 4.時事ワークシートを活用して、社会・産業界の情勢の理解に努め、それを批評し言語化する。

関連科目

1.「SOJO基礎ＩＩ」（1年次前後期必修） 2.「キャリアプレコーオプ」（2年次選択） 3.「インターンシップＩ」（3年次前期集中）、「インターンシップII」（3年次後期集中）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A4	A4
		JABEE基準		fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
g	①	時事ワークシートの作成によって社会への関心を高めることができる
f,g,h,i	②	企業提供の課題を解決し口頭と文章で報告することができる
g	③	就職活動の手順を理解し、それを実行することができる
g	④	本科目における「学修到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	50	10	0	10	30	100

教科書	

参考書	

予備知識	1.問題解決の手順 2.就職活動情報の収集方法
実務経験のある教員	藤田崇、田上寛美、山口美澄
評価明細基準	1.レポート「自己表現シート」10点 2.レポート「チーム発表報告書」チームで一部提出 10点　内容:①メンバーの役割分担、②成果が出たこと、③評価シートの分析、④今後のチーム活動での課題　②③④は各300文字以上、末尾に文字数記載 3.レポート「チーム活動個人貢献度レポート」10点　内容:①貢献できたこと、②貢献できなかったこと、③個人的な今後の対策 各項目300文字以上、末尾に文字数記載　上記2、3の書式　A4用紙(複数頁の場合は両面印刷)、1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポイント、1行目:タイトル 2行目:空白 3行目:学科、学生番号、氏名 4行目:空白 5行目以下:本文 4.レポート「履歴書」10点 5.レポート「エントリーシート」10点 6.発表「発表資料」「発表評価」10点 7.ポートフォリオ「学修到達度レポート」10点 8.その他「時事ワークシート」5点×6回=30点

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について:変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業:出席ボード。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業:WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。出席期限は授業日を含めた1週間後の(23時59分)までとする。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。 ★就職活動に関する本学最終の正課科目であるため、その意識の強い学生の履修を歓迎する。 ★「SOJPキャリア支援システム」への登録を済ませておくこと 1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情(要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等)の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情(要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等)の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃(ひょうせつ)をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPC、『就職活動手帳』を必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA4判の紙バインダーを購入すること。レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。 7.お茶・水以外の飲用は不可。 8.スマートフォンはカバンにしまうこと。許可のない授業中の使用を発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	時事ワークシート①	30
	内容	・科目の概要説明 ・社会人基礎力とその自己評価 ・SPIのWeb試験の説明 ・時事ワークシート6部を配布 すべて5回目の授業日に提出	講義 PW（個人ワーク）		
2回	テーマ	SPIのWeb試験	遠隔	時事ワークシート②	30
	内容	・リクルートキャリアのWeb模擬試験の実施 ★3回目の授業日前日までに行う	PW		
3回	テーマ	自己分析①	対面	時事ワークシート③	30
	内容	・過去の自分を振り返り、自己分析表を作成する	PW		
4回	テーマ	自己分析②	遠隔	時事ワークシート④	30
	内容	・現在の自分を見つめ直し、自己分析表を作成する	PW		
5回	テーマ	自己分析③	遠隔	時事ワークシート⑤ 自己表現シートの作成、次回提出	30 60
	内容	・将来の自分を考え、ライフデザインを行う ★6回目の授業日前日までに行う	PW		
6回	テーマ	チームディスカッションの基礎	対面	時事ワークシート⑥ eams会議（活動記録）	30 60
	内容	・Teamsを活用したチーム討議のありかた ・メンバー役割分担 ・Teams会議日の決定	GW（グループワーク）		
7回	テーマ	企業課題の解決①	対面	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録の作成 ・学科に関係する企業紹介と課題提示 ★時事ワークシートの提出	GW		
8回	テーマ	企業課題の解決②	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
9回	テーマ	企業課題の解決③	遠隔	Teams会議（活動記録） 次回、発表資料の提出	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
10回	テーマ	企業課題の解決④発表会	対面	Teams会議（活動記録）発表報告書の作成 チーム活動個人貢献度レポート	60 60
	内容	発表順の抽選 質疑応答15分間 PowerPoint資料を用いた発表 発表評価シートの作成	GW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	企業課題の解決⑤発表会	対面	発表報告書の作成、次回チームで1部提出　チーム活動個人個人貢献度レポート、次回提出　第一志望企業の仮決定と企業HP等での概要を調査し整理する。次回点検	60　60　30
	内容	質疑応答15分間　PowerPoint資料を用いた発表　発表評価シートの作成	GW		
12回	テーマ	業界研究①	対面	履歴書の作成、次回提出	60
	内容	履歴書の作成　・履歴書の書き方　・履歴書の作成	PW		
13回	テーマ	業界研究②	対面	仮決定した第一志望企業提出用エントリーシートの作成、次回提出	60
	内容	エントリーシートの作成　・第一志望企業提出用エントリーシートの作成	PW		
14回	テーマ	面接実習①	対面	到達度レポート作成、次回提出　授業アンケートの入力	60　30
	内容	・対面型とWeb型面接　・模擬面接	PW		
15回	テーマ	面接実習②、インターンシップ、自己点検授業	対面		
	内容	・模擬面接　・インターンシップとは何か　・就職活動に向けての注意点	PW		

科目名	キャリアセミナーA（３生）	開講学年	3	講義コード	2111411	区分	選択
英文表記	Career Seminar	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	1

担当教員	藤田 崇（実務経験）　田上 寛美（非常勤、実務経験）　山口 美澄（非常勤、実務経験）　藤本 元啓

研究室	藤田：本館附属棟１階　田上：本館附属棟１階　山口：本館附属棟１階　藤本：本館３０５	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	自己分析　キャリアデザイン能力　企業提供課題　課題解決力　　協働性　就職活動　自己管理力

授業概要	企業の採用の早期化、厳選化、卒業年次の一括採用から通年採用への移行、さらにはインターンシップ参加の低学年化など、採用環境は著しく変動している。このように複雑化する企業の採用環境に対応するために、社会人、職業人としてのキャリア形成支援の最終科目として、以下の項目を実施する。　1.自身の過去を振り返り、現在の自分を見つめなおし、近未来への自分をイメージして自己分析を言語化する 2.履歴書、エントリーシートの作成、模擬SPI試験（Web）の受験、模擬面接（Web面接を含む）等を経験することで、企業の採用プロセスを理解し、今後の対策に備える 3.企業から実際の業務内容を聴き、提供する課題をチームで解決し、現時点での最善解を発表する。 4.時事ワークシートを活用して、社会・産業界の情勢の理解に努め、それを批評し言語化する。

関連科目

1.「SOJO基礎ＩＩ」（1年次前後期必修） 2.「キャリアプレコーオプ」（2年次選択） 3.「インターンシップＩ」（3年次前期集中）、「インターンシップII」（3年次後期集中）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
g	①	時事ワークシートの作成によって社会への関心を高めることができる
f,g,h,i	②	企業提供の課題を解決し口頭と文章で報告することができる
g	③	就職活動の手順を理解し、それを実行することができる
g	④	本科目における「学修到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	50	10	0	10	30	100

教科書	

参考書	

予備知識	1.問題解決の手順 2.就職活動情報の収集方法
実務経験のある教員	藤田崇、田上寛美、山口美澄
評価明細基準	1.レポート「自己表現シート」10点 2.レポート「チーム発表報告書」チームで一部提出 10点　内容:①メンバーの役割分担、②成果が出たこと、③評価シートの分析、④今後のチーム活動での課題　②③④は各300文字以上、末尾に文字数記載 3.レポート「チーム活動個人貢献度レポート」10点　内容:①貢献できたこと、②貢献できなかったこと、③個人的な今後の対策 各項目300文字以上、末尾に文字数記載　上記2、3の書式　A4用紙(複数頁の場合は両面印刷)、1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポイント、1行目:タイトル 2行目:空白 3行目:学科、学生番号、氏名 4行目:空白 5行目以下:本文 4.レポート「履歴書」10点 5.レポート「エントリーシート」10点 6.発表「発表資料」「発表評価」10点 7.ポートフォリオ「学修到達度レポート」10点 8.その他「時事ワークシート」5点×6回=30点

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について:変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業:出席ボード。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業:WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。出席期限は授業日を含めた1週間後の(23時59分)までとする。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。 ★就職活動に関する本学最終の正課科目であるため、その意識の強い学生の履修を歓迎する。 ★「SOJPキャリア支援システム」への登録を済ませておくこと 1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情(要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等)の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情(要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等)の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃(ひょうせつ)をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPC、『就職活動手帳』を必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA4判の紙バインダーを購入すること。レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。 7.お茶・水以外の飲用は不可。 8.スマートフォンはカバンにしまうこと。許可のない授業中の使用を発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	時事ワークシート①	30
	内容	・科目の概要説明 ・社会人基礎力とその自己評価 ・SPIのWeb試験の説明 ・時事ワークシート6部を配布 すべて5回目の授業日に提出	講義 PW（個人ワーク）		
2回	テーマ	SPIのWeb試験	遠隔	時事ワークシート②	30
	内容	・リクルートキャリアのWeb模擬試験の実施 ★3回目の授業日前日までに行う	PW		
3回	テーマ	自己分析①	対面	時事ワークシート③	30
	内容	・過去の自分を振り返り、自己分析表を作成する	PW		
4回	テーマ	自己分析②	遠隔	時事ワークシート④	30
	内容	・現在の自分を見つめ直し、自己分析表を作成する	PW		
5回	テーマ	自己分析③	遠隔	時事ワークシート⑤ 自己表現シートの作成、次回提出	30 60
	内容	・将来の自分を考え、ライフデザインを行う ★6回目の授業日前日までに行う	PW		
6回	テーマ	チームディスカッションの基礎	対面	時事ワークシート⑥ eams会議（活動記録）	30 60
	内容	・Teamsを活用したチーム討議のありかた ・メンバー役割分担 ・Teams会議日の決定	GW（グループワーク）		
7回	テーマ	企業課題の解決①	対面	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録の作成 ・学科に関係する企業紹介と課題提示 ★時事ワークシートの提出	GW		
8回	テーマ	企業課題の解決②	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
9回	テーマ	企業課題の解決③	遠隔	Teams会議（活動記録） 次回、発表資料の提出	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
10回	テーマ	企業課題の解決④発表会	対面	Teams会議（活動記録）発表報告書の作成 チーム活動個人貢献度レポート	60 60
	内容	発表順の抽選 質疑応答15分間 PowerPoint資料を用いた発表 発表評価シートの作成	GW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	企業課題の解決⑤発表会	対面	発表報告書の作成、次回チームで1部提出　チーム活動個人個人貢献度レポート、次回提出　第一志望企業の仮決定と企業HP等での概要を調査し整理する。次回点検	60　60　30
	内容	質疑応答15分間　PowerPoint資料を用いた発表　発表評価シートの作成	GW		
12回	テーマ	業界研究①	対面	履歴書の作成、次回提出	60
	内容	履歴書の作成　・履歴書の書き方　・履歴書の作成	PW		
13回	テーマ	業界研究②	対面	仮決定した第一志望企業提出用エントリーシートの作成、次回提出	60
	内容	エントリーシートの作成　・第一志望企業提出用エントリーシートの作成	PW		
14回	テーマ	面接実習①	対面	到達度レポート作成、次回提出　授業アンケートの入力	60　30
	内容	・対面型とWeb型面接　・模擬面接	PW		
15回	テーマ	面接実習②、インターンシップ、自己点検授業	対面		
	内容	・模擬面接　・インターンシップとは何か　・就職活動に向けての注意点	PW		

科目名	キャリアセミナーB（３生）	開講学年	3	講義コード	2111412	区分	選択
英文表記	Career Seminar	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	1

担当教員	藤田 崇（実務経験）　田上 寛美（非常勤、実務経験）　山口 美澄（非常勤、実務経験）　藤本 元啓
研究室	藤田：本館附属棟１階　田上：本館附属棟１階　山口：本館附属棟１階　藤本：本館３０５
オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる
メールアドレス	@
キーワード	自己分析　キャリアデザイン能力　企業提供課題　課題解決力　協働性　就職活動　自己管理力

授業概要

企業の採用の早期化、厳選化、卒業年次の一括採用から通年採用への移行、さらにはインターンシップ参加の低学年化など、採用環境は著しく変動している。このように複雑化する企業の採用環境に対応するために、社会人、職業人としてのキャリア形成支援の最終科目として、以下の項目を実施する。　1.自身の過去を振り返り、現在の自分を見つめなおし、近未来への自分をイメージして自己分析を言語化する 2.履歴書、エントリーシートの作成、模擬SPI試験（Web）の受験、模擬面接（Web面接を含む）等を経験することで、企業の採用プロセスを理解し、今後の対策に備える 3.企業から実際の業務内容を聴き、提供する課題をチームで解決し、現時点での最善解を発表する。 4.時事ワークシートを活用して、社会・産業界の情勢の理解に努め、それを批評し言語化する。

関連科目

1.「SOJO基礎ＩＩ」（1年次前後期必修） 2.「キャリアプレコーオプ」（2年次選択） 3.「インターンシップＩ」（3年次前期集中）、「インターンシップII」（3年次後期集中）

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fghi	fghi

JABEE記号		学生の到達度目標
g	①	時事ワークシートの作成によって社会への関心を高めることができる
f,g,h,i	②	企業提供の課題を解決し口頭と文章で報告することができる
g	③	就職活動の手順を理解し、それを実行することができる
g	④	本科目における「学修到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	50	10	0	10	30	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.問題解決の手順 2.就職活動情報の収集方法
実務経験のある教員	藤田崇、田上寛美、山口美澄
評価明細基準	1.レポート「自己表現シート」10点 2.レポート「チーム発表報告書」チームで一部提出 10点　内容:①メンバーの役割分担、②成果が出たこと、③評価シートの分析、④今後のチーム活動での課題　②③④は各300文字以上、末尾に文字数記載 3.レポート「チーム活動個人貢献度レポート」10点　内容:①貢献できたこと、②貢献できなかったこと、③個人的な今後の対策 各項目300文字以上、末尾に文字数記載　上記2、3の書式　A4用紙(複数頁の場合は両面印刷)、1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポイント、1行目:タイトル 2行目:空白 3行目:学科、学生番号、氏名 4行目:空白 5行目以下:本文 4.レポート「履歴書」10点 5.レポート「エントリーシート」10点 6.発表「発表資料」「発表評価」10点 7.ポートフォリオ「学修到達度レポート」10点 8.その他「時事ワークシート」5点×6回=30点

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について:変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 対面授業:出席ボード。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。但し、提出物は受け付ける。 遅刻回数が著しい場合は、「チームへの貢献度レポート」「学修到達度レポート」を大きく減点する。 遠隔授業:WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。出席期限は授業日を含めた1週間後の(23時59分)までとする。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。 ★就職活動に関する本学最終の正課科目であるため、その意識の強い学生の履修を歓迎する。 ★「SOJPキャリア支援システム」への登録を済ませておくこと 1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情(要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等)の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情(要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等)の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃(ひょうせつ)をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPC、『就職活動手帳』を必ず持参すること。 6.各種資料保存整理のためにA4判の紙バインダーを購入すること。レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。 7.お茶・水以外の飲用は不可。 8.スマートフォンはカバンにしまうこと。許可のない授業中の使用を発見した場合は、退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	時事ワークシート①	30
	内容	・科目の概要説明 ・社会人基礎力とその自己評価 ・SPIのWeb試験の説明 ・時事ワークシート6部を配布 すべて5回目の授業日に提出	講義 PW（個人ワーク）		
2回	テーマ	SPIのWeb試験	遠隔	時事ワークシート②	30
	内容	・リクルートキャリアのWeb模擬試験の実施 ★3回目の授業日前日までに行う	PW		
3回	テーマ	自己分析①	対面	時事ワークシート③	30
	内容	・過去の自分を振り返り、自己分析表を作成する	PW		
4回	テーマ	自己分析②	遠隔	時事ワークシート④	30
	内容	・現在の自分を見つめ直し、自己分析表を作成する	PW		
5回	テーマ	自己分析③	遠隔	時事ワークシート⑤ 自己表現シートの作成、次回提出	30 60
	内容	・将来の自分を考え、ライフデザインを行う ★6回目の授業日前日までに行う	PW		
6回	テーマ	チームディスカッションの基礎	対面	時事ワークシート⑥ eams会議（活動記録）	30 60
	内容	・Teamsを活用したチーム討議のありかた ・メンバー役割分担 ・Teams会議日の決定	GW（グループワーク）		
7回	テーマ	企業課題の解決①	対面	Teams会議（活動記録）	60
	内容	Teams会議：活動記録の作成 ・学科に関係する企業紹介と課題提示 ★時事ワークシートの提出	GW		
8回	テーマ	企業課題の解決②	遠隔	Teams会議（活動記録）	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
9回	テーマ	企業課題の解決③	遠隔	Teams会議（活動記録） 次回、発表資料の提出	60
	内容	・課題解決のTeams会議 ・発表資料の作成	GW		
10回	テーマ	企業課題の解決④発表会	対面	Teams会議（活動記録）発表報告書の作成 チーム活動個人貢献度レポート	60 60
	内容	発表順の抽選 質疑応答15分間 PowerPoint資料を用いた発表 発表評価シートの作成	GW		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	企業課題の解決⑤発表会	対面	発表報告書の作成、次回チームで1部提出　チーム活動個人個人貢献度レポート、次回提出　第一志望企業の仮決定と企業HP等での概要を調査し整理する。次回点検	60　60 30
	内容	質疑応答15分間　PowerPoint資料を用いた発表　発表評価シートの作成	GW		
12回	テーマ	業界研究①	対面	履歴書の作成、次回提出	60
	内容	履歴書の作成　・履歴書の書き方　・履歴書の作成	PW		
13回	テーマ	業界研究②	対面	仮決定した第一志望企業提出用エントリーシートの作成、次回提出	60
	内容	エントリーシートの作成　・第一志望企業提出用エントリーシートの作成	PW		
14回	テーマ	面接実習①	対面	到達度レポート作成、次回提出　授業アンケートの入力	60　30
	内容	・対面型とWeb型面接　・模擬面接	PW		
15回	テーマ	面接実習②、インターンシップ、自己点検授業	対面		
	内容	・模擬面接　・インターンシップとは何か　・就職活動に向けての注意点	PW		

科目名	キャリアデザインⅡ◎（３美デ）	開講学年	3	講義コード	2111602	区分	必修
英文表記	Career Design Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	藤田 崇　藤本 元啓　田上寛美（非常勤）

研究室	藤田：本館附属棟１階　藤本：本館３０５　田上寛美（非常勤）：本館附属棟１階	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーは授業で知らせる

メールアドレス	@

キーワード	キャリアデザイン能力　就業意識　チーム協働　課題解決力　自己管理力　教養的知識

授業概要	芸術学部学生が、高度技能者として知識基盤社会で活躍するために、一般教養や専門技術を身につけるとともに、働くことの意義や社会の仕組みについて理解することに努める。1.「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして自己管理能力と社会への関心を高め、キャリアデザインを考える。2.ロジカルシンキングを再確認し、PBL(Project-Based Learning)型チーム学修をとおして、他者との協働の重要性を理解し、美術・デザイン系の基礎知識を生かして、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。 3.精確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 4.自身が過ごしてきた過去を整理し、自分の人柄と能力を言葉と文章で表現ができるようになることを目的とし、個人・グループワークを通して自身のキャリア形成における気づきを高める。 5.自己分析、ビジネスマナーを理解し、模擬面接で実践する。 6.SPIのWeb模擬試験を受験し、就職試験対策を深める。

関連科目
キャリアプレコーオプ、キャリアデザインⅠ、インターンシップⅠⅡ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	「今週の活動とトップニュース」の作成をとおして、社会への関心度を高めることができる。
g	②	SPI模擬受験によって一般教養知識の重要性を再確認することができる。
d,e,f,g,h,i	③	就職希望先の志望理由・目的と展望を口頭と文章で報告して、進路選択を進めることができる。
f,g,h,i	④	企業提供の課題をチームで解決し、口頭と文章で報告することができる。
f,g	⑤	エビデンスをもって自己分析を行い、自己点検シートを作成することができる。
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	5	38	10	0	47	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	問題解決の手順、就職活動情報の収集方法
実務経験のある教員	
評価明細基準	小テスト①：SPIテスト結果提出 5点 レポート①：履歴書（夏期課題） 5点 レポート②：エントリーシート（夏期課題） 5点 レポート③：「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート10点 書式：1頁40行、1行40字、余白各25mm、MS明朝、文字サイズ10.5ポイント 1行目：タイトル 2行目：空白 3行目：学科、学生番号、氏名 4行目：空白 5行目以下：本文1200文字以上 ・指定文字数を守り、末尾に文字数を記載する。1行目～4行目、参考文献、図表等は文字数に含めない。 ・各節には必ず見出しをつける。 レポート④：「個人活動報告書（私のチームへの貢献度）」書式はレポート③と同じ 1)反省点、2)貢献内容に分けて作成 各項目400文字以上、項目ごとに文字数を記載、8点 レポート⑤：「チーム活動報告書」書式はレポート③と同じ 1)チームの役割分担表、2)チーム作業記録、3)PowerPoint資料、4)プレゼンテーションの分析（優れていた項目、改善すべき項目、評価シートの分析）5点 レポート⑥：自己点検シート 5点 成果発表①：プレゼンテーション「企業提供課題の解決」 10点 ポートフォリオ①：「今週の活動とトップニュース」 3点×13回＝39点 ポートフォリオ②：学修到達度レポート 8点

学修上の注意 (SBOs)	★授業の出席確認について：変更の可能性があるので詳細は授業で知らせる。 遠隔授業：WebClassでの授業資料や連絡事項等の閲覧・視聴・確認等を怠らないこと。出席期限は授業日を含めた1週間後の（23時59分）までとする。遠隔授業での質問はメール等で受け付けるので遠慮しないこと。 1.中間・定期試験は実施しない、したがって再試験も実施しない。 2.提出物は期限内に提出すること。期限後は受け付けず、再提出もない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 3.発表時に欠席した場合、単位の認定を行わない。但し公認欠席や急病など特別な事情（要、診断書もしくは病院・薬局の領収書等）の場合は別途指示する。 4.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 5.対面授業ではノートPCを必ず持参すること。 6.レポート等の提出物は次回以降の授業で返却する。また「今週の活動とトップニュース」の教員コメントを毎週確認すること。 7.お茶・水以外の飲用は不可。 8.スマートフォンはカバンにしまうこと。許可のない授業中の使用を発見した場合は、発見次第退出を命じ欠席扱いとする。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション　職業人への意識①企業調査	対面	課題レポート　SPIのWeb模擬試験の受験　★今週の活動とトップニュースの作成は、第1回目の授業後の最初の日曜日から始める。締め切りは毎週月曜日12:00（正午）。冬休み中、曜日振替週も入力すること。	60　60
	内容	・シラバスの説明　・夏期課題の履歴書、エントリーシートの提出　・SPIのWeb模擬試験の説明　★第3回目の授業前日までに受験すること　・夏期課題のエントリーシートをもとに課題レポート「就職したと仮定した企業での私の役割」を作成　下記各項目400文字以上、参考文献2件以上（書　籍、インターネット情報、業界紙等）　①企業の概要　②そこで何をしたいのか、　③そのためには何が必要なのか　④働くことの意味とは何か　★3回目の授業日に提出	講義　PW		
2回	テーマ	職業人への意識②企業調査	遠隔	今週の活動とトップニュース①　課題レポート	60　60
	内容	「就職したと仮定した企業での私の役割」レポート作成	PW		
3回	テーマ	企業提供課題の解決①	対面	今週の活動とトップニュース②　Teams会議（チーム活動記録）	60　60
	内容	・課題レポート「就職したと仮定した企業での私の役割」の提出　・企業紹介と課題提示	GW		
4回	テーマ	企業提供課題の解決②	遠隔	今週の活動とトップニュース③　Teams会議（チーム活動記録）	60　60
	内容	・Teams会議：チーム活動記録の作成　・発表資料（PowerPoint）の作成	GW		
5回	テーマ	企業提供課題の解決③ 中間報告	対面	今週の活動とトップニュース④　Teams会議（チーム活動記録）	60　60
	内容	・チーム単位でPowerPointを使用して中間報告　・Teams会議：チーム活動記録の作成　・発表資料（PowerPoint）の作成	GW		
6回	テーマ	企業提供課題の解決④	遠隔	今週の活動とトップニュース⑤　Teams会議（チーム活動記録）	60　60
	内容	・Teams会議：チーム活動記録の作成　・発表資料（PowerPoint）の作成	GW		
7回	テーマ	企業課題の解決 発表会①	対面	今週の活動とトップニュース⑥　個人活動報告書　チーム活動報告書	60　60 60
	内容	全チーム発表資料の提出、発表順の抽選　発表質疑応答10分間　PowerPoint資料を用いた発表　発表評価シートの作成	GW		
8回	テーマ	企業課題の解決 発表会②	対面	今週の活動とトップニュース⑦　個人活動報告書　チーム活動報告書	60　60 60
	内容	発表質疑応答10分間　PowerPoint資料を用いた発表　発表評価シートの作成	GW		
9回	テーマ	企業課題の解決発表活動の振り返り	対面	今週の活動とトップニュース⑧　個人活動報告書　チーム活動報告書	60　60 60
	内容	個人活動報告書の作成　チーム活動報告書の作成	PW		
10回	テーマ	ビジネスマナー①	遠隔	今週の活動とトップニュース⑨	60
	内容	しゃべり方　敬語　手紙の書き方	PW		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	ビジネスマナー②	遠隔	今週の活動とトップニュース⑩	60
	内容	電話の応対 メールの使い方 職場での注意点	PW		
12回	テーマ	面接実習①	対面	今週の活動とトップニュース⑪	60
	内容	・対面型とWeb型面接について ・模擬面接	PW		
13回	テーマ	面接実習②	対面	今週の活動とトップニュース⑫	60
	内容	・模擬面接 ・自己点検シートの作成説明	PW		
14回	テーマ	自己点検シート、学修到達度レポート	遠隔	今週の活動とトップニュース⑬ 自己点検シート 学修到達度レポート	60 60 60
	内容	・現在の自身についての「自己点検シート」の作成 ・「学修到達度レポート」の作成 ★ともに15回目の授業日に提出 ・授業アンケートの作成	PW		
15回	テーマ	自己点検授業	対面	学期末活動報告書を入力し、次学期初めのチューター面談時にプリントアウトして持参	90
	内容	・就職活動に向けての注意点 ・総評、出席確認	講義		

科目名	キャリア基礎Ⅰ◎（旧カリ）（工情生学部）	開講学年	講義コード 2111702	区分
英文表記		開講期	開講形態	単位数
担当教員				
研究室			オフィスアワー	
メールアドレス	@			
キーワード				

授業概要		関連科目			
		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分		学修・教育目標			
		JABEE基準			

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計

教科書	
参考書	

予備知識	
実務経験のある教員	
評価明細基準	

学修上の注意 (SBOs)	

科目名	キャリア基礎Ⅱ◎（旧カリ）（工情生学部）	開講学年	2	講義コード	2111802	区分	必修
英文表記	Basic Style for Career Ⅱ	開講期	前期・後期集中	開講形態	遠隔授業	単位数	1

担当教員	藤本元啓

研究室	本館305	オフィスアワー	詳細はＷｅｂＣｌａｓｓで確認のこと

メールアドレス	@

キーワード	大学での学修　SOJOポートフォリオ　キャリアデザイン能力　プレゼンテーション　課題解決力　自己管理力

授業概要	本科目は遠隔授業（オンデマンド）のため、チームで行う活動をすべて個人活動に置き換えて実施する。基本的には、個人活動の集合体がチーム活動であるから、受講者が身につけるべきことは変わりない。 本科目では、以下の学修をおこなう。 第1に本学HPで所属学科研究室の調査をおこない、他大学HPで同一内容の研究と の比較をとおして、個人発表資料・原稿を作成する。 第2に、課題レポートの作成をとおして、問題解決能力の向上を図る。 第3に、「今週の活動とトップニュース」（SOJOポートフォリオシステム）の作成を通して、自己管理能力と社会への関心を深める。 第4に、本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。

関連科目
キャリア基礎Ⅰ・Ⅲ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準		fgh	fgh	

JABEE記号		学生の到達度目標
f ,g	①	「今週の活動とトップニュース」の活動履歴の作成をとおして自己管理能力を高めることができる
f ,g	②	「今週の活動とトップニュース」の新聞記事の閲覧と批評をとおして社会への関心度を高めることができる
f, g , h	③	研究室調査をとおして、自身のキャリアデザインを進めることができる。
g , h	④	信用のある精確な情報を収集・分析して問題を解決し、提案レポートを作成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	20	20	0	60	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	①レポート:課題レポート 20点　②成果発表:所属学科研究室調査発表資料・原稿 20点　③ポートフォリオ:今週の活動とトップニュース 13回×4＝52点　④ポートフォリオ:到達度レポート 8点

学修上の注意 (SBOs)	1.本科目は2018年度以前の入学者の再履修科目（必修）である。 2.同一学期に「キャリア基礎Ⅰ」「キャリア基礎Ⅲ」を同時に履修できない。 3.第1回目の授業は学期開始後の月曜日とする。 4.出席確認はWebClassの出席システムを使用する。入力期間は授業日を含めて1週間以内とする。 5.レポート等は学期内に返却する。 6.本科目は遠隔授業であるが、特定の日時に個別対面授業をおこなう。日時・場所はWebClassに掲載するので、留意すること。 7.課題の提出期限を厳守すること。締切以降は一切受け付けない。とくに「今週の活動とトップニュース」入力締切は毎週月曜日12:00（正午）とし、それ 以降の入力は得点化しない。また「1週間の活動と行動履歴」は教員コメントを参照し「既読」ボタンを押すこと。 8.課題作成を先送りせず、今学期履修科目の課題提出一覧表を作成し、計画的な学修を進めること。 9.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 10.卒業に必要な必修科目であることを再認識すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	所属学科研究室調査①	遠隔	★「今週の活動とトップニュース」の入力は、第1回授業日後の日曜日方開始する。締切は毎週月曜日12:00（正午）、それ以降の入力は得点化しない	
	内容	所属学科のHPや大学案内を参考にして、将来進みたい研究室2箇所を下記の項目に沿って調査しなさい。・所属学科の研究室全体の概略を知る	ＰＷ　（個人ワーク）		
2回	テーマ	所属学科研究室調査②	遠隔	「今週の活動とトップニュース」①	60
	内容	・現時点で興味を持っている研究室を選ぶ　・当該研究室を選んだ理由、調査したい事項を整理する	ＰＷ		
3回	テーマ	所属学科研究室調査③	遠隔	「今週の活動とトップニュース」②	60
	内容	・研究室に所属するためにはどのような基礎知識が必要なのか　・研究内容、活動概要等	ＰＷ		
4回	テーマ	所属学科研究室調査④	遠隔	「今週の活動とトップニュース」③	60
	内容	・他大学の同種学科の内容との比較	ＰＷ		
5回	テーマ	所属学科研究室調査発表資料作成①	遠隔	「今週の活動とトップニュース」④	60
	内容	個人発表用（5分間）原稿と資料をPowerPointのノート機能を用いて作成 ★「Powerpoint作成画面」→「表示」→「ノート」をクリック　参照：「パワーポイント ノート機能」で検索　★画面1枚につきＡ4用紙1枚で両面印刷　★1枚目のシートに学科・氏名・学生番号	ＰＷ		
6回	テーマ	所属学科研究室調査発表資料作成②	遠隔	「今週の活動とトップニュース」⑤	60
	内容	個人発表用（5分間）原稿と資料をPowerPointのノート機能を用いて作成	ＰＷ		
7回	テーマ	所属学科研究室調査発表資料作成③	遠隔	「今週の活動とトップニュース」⑥	60
	内容	個人発表用（5分間）原稿と資料をPowerPointのノート機能を用いて作成	ＰＷ		
8回	テーマ	所属学科研究室調査発表資料作成④	遠隔	「今週の活動とトップニュース」⑦	60
	内容	個人発表用（5分間）原稿と資料をPowerPointのノート機能を用いて作成 提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ		
9回	テーマ	課題レポート作成①	遠隔	「今週の活動とトップニュース」⑧	60
	内容	「所属学科に関係する業界をめぐる諸問題とその解決法の提案」・章立てと参考文献調査　書式 1頁40行、1行40文字、MS明朝　1行目：タイトル 2行目：空白　3行目：学科、学生番号、氏名　4行目：空白 5行目から本文・1,200文字以上（末尾に文字数を記載）、1～4行目と参考文献及び図表等は文字数に含めない。・各章、節には必ず見出しをつける、参考文献は2件以上	ＰＷ		
10回	テーマ	課題レポート作成②	遠隔	「今週の活動とトップニュース」⑨	60
	内容	・参考文献調査とその概要整理	ＰＷ		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	課題レポート作成③	遠隔	「今週の活動とトップニュース」⑩	60
	内容	・各章概要の言語化	ＰＷ		
12回	テーマ	課題レポート作成④	遠隔	「今週の活動とトップニュース」⑪	60
	内容	・各章概要の言語化	ＰＷ		
13回	テーマ	課題レポート作成⑤	遠隔	「今週の活動とトップニュース」⑫	60
	内容	・各章概要の推敲	ＰＷ		
14回	テーマ	課題レポート作成⑥	遠隔	「今週の活動とトップニュース」⑬	60
	内容	・最終稿の作成〜提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ		
15回	テーマ	自己点検	遠隔		
	内容	到達度レポートの作成〜提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ		

科目名	キャリア基礎Ⅲ◎（旧カリ）（工情生学部）	開講学年	3	講義コード	2111902	区分	必修
英文表記	Basic Style for CareerⅢ	開講期	前期・後期	開講形態	遠隔授業	単位数	1
担当教員	藤本 元啓						
研究室	本館３０５	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーはWebClassで知らせる				
メールアドレス	@						
キーワード	企業調査　キャリアデザイン能力　プレゼンテーション　SOJOポートフォリオ　　エントリーシート 自己管理力　課題解決力　論理力						

授業概要

本科目は遠隔授業（オンデマンド）のため、チームで行う活動をすべて個人活動に置き換えて実施する。基本的には、個人活動の集合体がチーム活動であるから、受講者が身につけるべきことは変わりない。 本科目では以下の学修活動をおこなう。 1.企業等の課題レポートの作成をとおして、問題解決能力の向上を図る。 2.第一志望企業を選定し、エントリーシートを作成する。 3.「今週の活動とトップニュース」（SOJOポートフォリオシステム）の作成を通して、自己管理能力と社会への関心を深める。 4.本科目の活動を「仕事」と考え、現時点でもっとも品質の高い成果物を作成することができる。

関連科目

キャリア基礎ＩＩ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			fgh	fgh

JABEE記号		学生の到達度目標
f ,g	①	「今週の活動とトップニュース」の活動履歴の作成をとおして自己管理能力を高めることができる
f ,g	②	「今週の活動とトップニュース」の新聞記事の閲覧と批評をとおして社会への関心度を高めることができる
g , h	③	関係業界の諸問題を決策し、提案レポートを作成することができる
g , h	④	エビデンスにもとづいたエントリーシートを作成することができる
f ,h,	⑤	時事問題について自己見解の発表原稿を作成することができる
g	⑥	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	28	10	0	62	0	100

教科書	
参考書	

予備知識	1.自ら学ぶ意欲と意志　2.他者を理解し協働する意志　3.締め切りを厳守する意志　4.将来を具体的に考える(キャリアデザイン)意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	①レポート:課題レポート 14点　②レポート:エントリーシート 14点　③発表:時事問題に関する考察 10点　④ポートフォリオ:今週の活動とトップニュース 13回×4点＝52点　⑤ポートフォリオ:到達度レポート 10点

学修上の注意 (SBOs)	1.本科目は2018年度以前の入学者の再履修科目（必修）である。 2.同一学期に「キャリア基礎Ⅱ」「キャリア基礎Ⅲ」を同時に履修できない。 3.第1回目の授業は学期開始後の最初の月曜日とする。 4.出席確認はWebClassの出席システムを使用する。入力期間は授業日を含めて1週間以内とする。 5.レポート等は学期内に返却する。 6.本科目は遠隔授業であるが、特定の日時に個別対面授業をおこなう。日時・場所はWebClassに掲載するので、留意すること。 7.課題の提出期限を厳守すること。締切以降は一切受け付けない。とくに「今週の活動とトップニュース」入力締切は毎週月曜日12:00（正午）とし、それ 以降の入力は得点化しない。また「1週間の活動と行動履歴」は教員コメントを参照し「既読」ボタンを押すこと。 8.課題作成を先送りせず、今学期履修科目の課題提出一覧表を作成し、計画的な学修を進めること。 9.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 10.卒業に必要な必修科目であることを再認識すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	遠隔	★「今週の活動とトップニュース」の入力 ①第1回授業日後の日曜日から開始する。締切は毎週月曜日12:00（正午）、それ以降の入力は得点化しない。 ②授業曜日振替、夏期冬期休暇中も入力すること。 ③課題作成の進捗状況を記述すること	
	内容	本授業のシラバスを熟読し、課題作成の学修スケジュールを立てる	ＰＷ　（個人ワーク）		
2回	テーマ	課題レポート作成①	遠隔	今週の活動とトップニュース」①　★課題レポートテーマ（以下からひとつ選択）・災害時に役立つロボットの製作企画の提案 ・ドローンを使用したこれまでにないビジネスの提案 ・自然災害仮設住宅地域の「集会所」の提案 ・中学生にナノテクノロジーを理解させるガイドブックの概要提案 ・農業へのAI活用の提案 ・環境問題解決のための微生物の利用方法の提案 ・新しい学生プロジェクト活動の提案 ・コメの品種を紹介するHPの作成 ・理科好きのこどもを増やすための施策の提案 ・微生物を利用した食料増産施策の提案	60
	内容	「企業等が提供する課題の解決」 ★テーマは右欄「学修課題」を参照 ・章立てと参考文献調査 書式 1頁40行、1行40文字、MS明朝 1行目：タイトル 2行目：空白　3行目：学科、学生番号、氏名　4行目：空白 5行目から本文 ・2,000文字以上（末尾に文字数を記載）、 1～4行目と参考文献及び図表等は文字数に含めない。 ・各章、節には必ず見出しをつける、参考文献は2件以上 ★提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ		
3回	テーマ	課題レポート作成②	遠隔	今週の活動とトップニュース」②	60
	内容	・参考文献調査とその概要整理	ＰＷ		
4回	テーマ	課題レポート作成③	遠隔	今週の活動とトップニュース」③	60
	内容	・各章概要の言語化	ＰＷ		
5回	テーマ	課題レポート作成④	遠隔	今週の活動とトップニュース」④	60
	内容	・各章概要の言語化	ＰＷ		
6回	テーマ	課題レポート作成⑤	遠隔	今週の活動とトップニュース」⑤	60
	内容	・各章概要の推敲	ＰＷ		
7回	テーマ	課題レポート作成⑥	遠隔	今週の活動とトップニュース」⑥	60
	内容	・最終稿の作成	ＰＷ		
8回	テーマ	エントリーシートの作成①	遠隔	今週の活動とトップニュース」⑦	60
	内容	第一志望企業へのエントリーシートを以下の1)～3)に分けて作成する。提出先、締切：WebClassで確認こと 書式は「課題レポート」と同様 1)志望動機：400文字以上	ＰＷ		
9回	テーマ	エントリーシートの作成②	遠隔	今週の活動とトップニュース」⑧	60
	内容	2)私は志望企業でどのような貢献をおこなうか：400文字以上	ＰＷ		
10回	テーマ	エントリーシートの作成③	遠隔	今週の活動とトップニュース」⑨	60
	内容	3)私が志望企業で貢献するために何が必要なのか：400文字以上	ＰＷ		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	時事問題の考察①	遠隔	今週の活動とトップニュース」⑩	60
	内容	関心のある時事問題について考察し、発表資料と原稿を作成する。発表資料：PowerPoint　発表原稿：5分程度の分量　★「PowerPoint作成画面」→「表示」→「ノート」をクリック　参照：「パワーポイント ノート機能」で検索　★画面1枚につきA4用紙1枚で両面印刷　★1枚目のシートに学科・氏名・学生番号　提出先、締切：WebClassで確認こと	PW		
12回	テーマ	時事問題の考察②	遠隔	今週の活動とトップニュース」⑪	60
	内容	関心のある時事問題について考察し、発表資料と原稿を作成する。	PW		
13回	テーマ	時事問題の考察③	遠隔	今週の活動とトップニュース」⑫	60
	内容	関心のある時事問題について考察し、発表資料と原稿を作成する。	PW		
14回	テーマ	時事問題の考察④	遠隔	今週の活動とトップニュース」⑬	60
	内容	関心のある時事問題について考察し、発表資料と原稿を作成する。★最終稿の完成	PW		
15回	テーマ	自己点検	遠隔		
	内容	到達度レポートの作成`提出先、締切：WebClassで確認のこと	PW		

科目名	キャリア実践Ⅰ◎（旧カリ）（３機）	開講学年	3	講義コード	2112002	区分	必修
英文表記	Practice Style for Career Ⅰ	開講期	前期・後期	開講形態	遠隔授業	単位数	1

担当教員	藤本 元啓

研究室	藤本：本館３０５	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーはWebClassで知らせる

メールアドレス	@

キーワード	課題解決力　情報収集力　時事知識　文章作成能力　　教養的知識　自己管理力　キャリアデザイン能力

授業概要	実社会では、これまでの学生生活を通じて獲得した知識とスキルを十分に発揮することが求められる。なかでも、自分の考えや特定の事象について、第三者に正確に伝えることが重要となる。その手段は、「ことば」「文章」「図、表、作品」である。 本科目では、第一に企業提供の課題の解決をとおして、論理的な思考の向上を図る。 第二に、『2020時事問題トレーニングノート』を使用して、SPIへの対応能力の向上に努める。

関連科目
キャリア基礎ⅠⅡⅢ　キャリア実践Ⅱ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	機械系企業提供の課題を解決し、提案レポートを作成することができる
	②	時事問題トレーニングノートの作成によって、社会への関心を高めることができる
	③	本科目における「学修到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	50	0	0	10	40	100

教科書	2020時事問題トレーニングノート　崇城大学

参考書	

予備知識	「学ぶ」と「働き」の接続意識
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「企業等が提供する課題の解決」　50点　2.ポートフォリオ:学修の到達度レポート　10点　3.その他:『2020時事問題トレーニングノート』 2点×20問＝40点

学修上の注意 (SBOs)	★『2020時事問題トレーニングノート』を藤本研究室（本館305）まで受け取りに来ること。 1.本科目は2018年度以前の工学部機械工学科入学者の再履修科目（必修）である。 2.同一学期に「キャリア基礎Ⅱ」「キャリア基礎Ⅲ」を同時に履修できない。 3.第1回目の授業は学期開始後の最初の月曜日とする。 4.出席確認はWebClassの出席システムを使用する。入力期間は授業日を含めて1週間以内とする。 5.レポート等は学期内に返却する。 6.本科目は遠隔授業であるが、特定の日時に個別対面授業をおこなう。日時・場所はWebClassに掲載するので、留意すること。 7.課題の提出期限を厳守すること。締切以降は一切受け付けない。 8.課題作成を先送りせず、今学期履修科目の課題提出一覧表を作成し、計画的な学修を進めること。 9.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 10.卒業に必要な必修科目であることを再認識すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	企業の課題レポート作成①	遠隔	課題レポートテーマ（以下からひとつ選択） ①倒れないオートバイの仕組みを提案してください。②事故を防ぐために、乗用車の改良すべき点を提案してください。 課題レポート作成	60
	内容	「企業等が提供する課題の解決」 ★テーマは右欄「学修課題」を参照 ・章立てと参考文献調査 書式 1頁40行、1行40文字、MS明朝 1行目：タイトル 2行目：空白 3行目：学科、学生番号、氏名 4行目：空白 5行目から本文 ・2,000文字以上（末尾に文字数を記載）、1～4行目と参考文献及び図表等は文字数に含めない。 ・各章、節には必ず見出しをつける、参考文献は2件以上 ★提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ （個人ワーク）		
2回	テーマ	企業の課題レポート作成②	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・参考文献調査とその概要整理	ＰＷ		
3回	テーマ	企業の課題レポート作成③	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・各章概要の言語化	ＰＷ		
4回	テーマ	企業の課題レポート作成④	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・各章概要の言語化	ＰＷ		
5回	テーマ	企業の課題レポート作成⑤	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・各章概要の推敲	ＰＷ		
6回	テーマ	企業の課題レポート作成⑥	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・最終稿の作成	ＰＷ		
7回	テーマ	企業の課題レポート作成⑦	遠隔	課題レポートの書式等の確認	60
	内容	・最終稿の完成 ★提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ		
8回	テーマ	『2020時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	ニュース要点チェック：1頁～3頁 ★提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ		
9回	テーマ	『2020時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	図表の読み解き：4頁～9頁	ＰＷ		
10回	テーマ	『2020時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	図表の読み解き：10頁～15頁	ＰＷ		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	『2020時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	ニュース:16頁～21頁	ＰＷ		
12回	テーマ	『2020時事問題トレーニングノート』頁	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	新聞の読み解き:22頁～27	ＰＷ		
13回	テーマ	『2020時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	新聞の読み解き:28頁～33頁	ＰＷ		
14回	テーマ	『2020時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	新聞の読み解き:34頁～37頁 ★提出先、締切:WebClassで確認のこと	ＰＷ		
15回	テーマ	自己点検	遠隔		
	内容	学修の到達度レポート作成と登録 ★提出先、締切:WebClassで確認のこと	ＰＷ		

科目名	キャリア実践Ⅱ◎（旧カリ）（３機）	開講学年	3	講義コード	2112102	区分	必修
英文表記	Practice Style for Career Ⅱ	開講期	前期・後期	開講形態	遠隔授業	単位数	1
担当教員	藤本 元啓						
研究室	藤本：本館３０５	オフィスアワー	メールアドレス、オフィスアワーはWebClassで知らせる				
メールアドレス	@						
キーワード	キャリアデザイン能力　情報収集力　時事知識　文章作成能力　　課題解決力　教養的知識　自己管理力						

授業概要

実社会では、これまでの学生生活を通じて獲得した知識とスキルを十分に発揮することが求められる。なかでも、自分の考えや特定の事象について、第三者に正確に伝えることが重要となる。その手段は、「ことば」「文章」「図、表、作品」である。 本科目では、第一に企業提供の課題の解決をとおして、論理的な思考の向上を図る。 第二に、『2021時事問題トレーニングノート』を使用して、SPIへの対応能力の向上に努める。

関連科目

キャリア基礎ＩＩＩＩＩ　キャリア実践Ⅰ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	機械系企業提供の課題を解決し、提案レポートを作成することができる
	②	時事問題トレーニングノートの作成によって、社会への関心を高めることができる
	③	本科目における「学修到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	50	0	0	10	40	100

教科書	2021時事問題トレーニングノート　崇城大学
参考書	

予備知識	「学ぶ」と「働き」の接続意識
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート:「企業等が提供する課題の解決」 50点 2.ポートフォリオ:学修の到達度レポート 10点 3.その他:『2021時事問題トレーニングノート』 2点×20問＝40点

学修上の注意 (SBOs)	★『2021時事問題トレーニングノート』を藤本研究室（本館305）まで受け取りに来ること。 1.本科目は2018年度以前の工学部機械工学科入学者の再履修科目（必修）である。 2.同一学期に「キャリア基礎Ⅱ」「キャリア基礎Ⅲ」を同時に履修できない。 3.第1回目の授業は学期開始後の最初の月曜日とする。 4.出席確認はWebClassの出席システムを使用する。入力期間は授業日を含めて1週間以内とする。 5.レポート等は学期内に返却する。 6.本科目は遠隔授業であるが、特定の日時に個別対面授業をおこなう。日時・場所はWebClassに掲載するので、留意すること。 7.課題の提出期限を厳守すること。締切以降は一切受け付けない。 8.課題作成を先送りせず、今学期履修科目の課題提出一覧表を作成し、計画的な学修を進めること。 9.レポート等の剽窃（ひょうせつ）をした場合、単位の認定を行わない。 10.卒業に必要な必修科目であることを再認識すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	企業の課題レポート作成①	遠隔	課題レポートテーマ（以下からひとつ選択） ①AI時代のエンジニアのありかたを提案してください。 ②これからの自動車産業のあるべき姿勢を提案してください。 課題レポート作成	60
	内容	「企業等が提供する課題の解決」 ★テーマは右欄「学修課題」を参照 ・章立てと参考文献調査 書式 1頁40行、1行40文字、MS明朝 1行目：タイトル 2行目：空白 3行目：学科、学生番号、氏名 4行目：空白 5行目から本文 ・2,000文字以上（末尾に文字数を記載）、1～4行目と参考文献及び図表等は文字数に含めない。 ・各章、節には必ず見出しをつける、参考文献は2件以上 ★提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ （個人ワーク）		
2回	テーマ	企業の課題レポート作成②	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・参考文献調査とその概要整理	ＰＷ		
3回	テーマ	企業の課題レポート作成③	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・各章概要の言語化	ＰＷ		
4回	テーマ	企業の課題レポート作成④	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・各章概要の言語化	ＰＷ		
5回	テーマ	企業の課題レポート作成⑤	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・各章概要の推敲	ＰＷ		
6回	テーマ	企業の課題レポート作成⑥	遠隔	課題レポート作成	60
	内容	・最終稿の作成	ＰＷ		
7回	テーマ	企業の課題レポート作成⑦	遠隔	課題レポートの書式等の確認	60
	内容	・最終稿の完成 ★提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ		
8回	テーマ	『2021時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	ニュース要点チェック：1頁～3頁 ★提出先、締切：WebClassで確認のこと	ＰＷ		
9回	テーマ	『2021時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	図表の読み解き：4頁～9頁	PW		
10回	テーマ	『2021時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	図表の読み解き：10頁～15頁	ＰＷ		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	『2021時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	ニュース:16頁～21頁	PW		
12回	テーマ	『2021時事問題トレーニングノート』頁	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	新聞の読み解き:22頁～27	PW		
13回	テーマ	『2021時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	新聞の読み解き:28頁～33頁	PW		
14回	テーマ	『2021時事問題トレーニングノート』	遠隔	トレーニングノート本日分の完成	60
	内容	新聞の読み解き:34頁～37頁 ★提出先、締切:WebClassで確認のこと	PW		
15回	テーマ	自己点検	遠隔		
	内容	学修の到達度レポート作成と登録 ★提出先、締切:WebClassで確認のこと	PW		

科目名	科学技術者倫理◎（３機）	開講学年	3	講義コード	2120101	区分	工学部・情報学部・生物
英文表記	Engineering Ethics	開講期	後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	鈴木俊洋

研究室	本館309	オフィスアワー	金 １１：３０～１２：３０

メールアドレス	t-suzuki@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	組織における科学技術者　社会における科学技術者　専門職としての科学技術者　倫理的判断形成　　科学技術者と環境

授業概要	1. 科学技術の専門家になるということがいかなることかを理解し、科学技術者として実社会で出会う可能性のある倫理的問題に対処する方法を学ぶ。　2. 方法論や諸概念の把握と並行して、具体的事例に即して、倫理的判断形成の実践的練習を行う。　3. 授業内での演習を通じて倫理的問題の討論の練習を行う。　★提出課題(レポート等)については、課題提出の次の週などに適宜解説を行い、WebClassでの連絡システムを通じて質疑に応答をする。

関連科目

科学・技術・社会に関係する諸科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A3	A3
	JABEE基準	b	b	b,g

JABEE記号		学生の到達度目標
b	①	倫理的判断形成がいかなるものかを説明することができる。
b	②	セブンステップガイドにそって倫理的判断を実践することができる。
b	③	組織の中の科学技術者として出会う可能性のある倫理的問題に適切に対処することができる。
b	④	科学技術者の倫理に関わる重要な諸概念について説明することができる。
b	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	51	0	0	10	39	100

教科書	指定しない

参考書	本質から考え行動する科学技術者倫理　白桃書房　金沢工業大学･科学技術応用倫理研究所編　9784561256991 理系のための科学技術者倫理　丸善出版　直江清隆･盛永審一郎編　9784621089460

予備知識	1. 科学技術の関わる社会的問題について興味を持っていること（日常生活の中で、新聞や報道番組などを通じて知識を深めておくこと） 2. ディスカッションにおいて自らの意見を述べる姿勢を持っていること 3. 他者の意見を聞き、それについて質問をする姿勢を持っていること 4. 倫理的問題を自らの問題として考えようとする姿勢を持っていること
実務経験のある教員	
評価明細基準	・レポート(期末レポート):期末に授業全体に関するレポートを提出する 15点 A4用紙1枚片面、表紙不要 フォーマット(1頁40行、1行40文字、MS明朝、文字サイズ10.5)、本文1.000文字以上 ・レポート(事例考察シート):事例考察シート(授業内で配布する様式に記入して提出)を計4回提出 9点×4回 36点 ・その他:リアクションペーパー:初回と最終回(オンラインの場合は自習課題回2回)以外の各回の授業終了時に授業内容についての質問・疑問・感想・コメント・考えたことなどを記述したリアクションペーパーを提出 3点×13回 39点 5.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」10点 ①【学生の到達度目標】の項目①～⑤の達成度とその理由を各200～250文字で入力しプリントアウトして提出 ②授業アンケートに回答する

学修上の注意 (SBOs)	1.本年度の本科目は、全ての回をオンライン（オンデマンド型）で実施する。 2.授業コンテンツはWebClassで提示するので、WebClassで本科目に登録すること。 3.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けない。但し公認欠席の場合は別途指示する。 4.出席の取り方、課題提出の方法については、WebClassの冒頭に提示する「受講の手順」の文書で通知するので受講前に必ず熟読すること。 5.本科目では、金沢工業大学・科学技術応用倫理研究所の提供するオープンアクセス資料を講義の資料として使用する。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなし厳しく対処する。 7. オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は、本館309室にて対応する。オフィスアワーにTeams のチャットやテレビ電話等での質問も受け付ける。（メール等での連絡によってその他の時間でも対応する。）

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イントロダクション	講義	シラバスを読む 授業で扱った内容について理解を深める	30 60
	内容	科学技術者倫理とは何か。なぜ必要なのか。どのように授業を進めるか。			
2回	テーマ	科学技術者と倫理	講義 演習	科学技術が関わる倫理的問題について考える 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	技術と倫理の関係 倫理的判断とは何か リアクションペーパーの作成			
3回	テーマ	自習課題(1) 倫理規定	演習	事例考察シート①	90
	内容	倫理規定についての自習課題			
4回	テーマ	倫理的判断について	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
5回	テーマ	倫理的判断の練習①	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
6回	テーマ	倫理的判断の練習②	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
7回	テーマ	倫理的判断の練習	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察 事例考察シート②	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成 事例考察シート②の作成			
8回	テーマ	安全	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「安全」とは何か 安全の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
9回	テーマ	ヒューマンエラー	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	ヒューマンエラーについて ニューマンエラーの関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
10回	テーマ	公益通報	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	公益通報について 公益通報に関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自習課題(2)	演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例についての考察 セブンステップガイドに沿った倫理的判断形成の練習 事例考察シート③			
12回	テーマ	環境	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「環境」とは何か 環境の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
13回	テーマ	製造物責任	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「製造物責任」について 製造物責任の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
14回	テーマ	総合的事例考察	講義 演習	授業内容の理解を深める 到達度評価レポートの作成 期末レポートの作成 事例考察シート④	30 30 60 30
	内容	総合的な事例についての動画を視聴 事例の分析とディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート④の作成			
15回	テーマ	まとめ	講義 演習	授業全体をまとめて復習する 期末レポートの作成	60 30
	内容	いかなる科学技術者になるか どのように科学技術と付き合っていくか リアクションペーパー作成 期末レポートの作成 事例考察シート④の解説			

科目名	科学技術者倫理◎（３微）	開講学年	3	講義コード	2120106	区分	工学部・情報学部・生物
英文表記	Engineering Ethics	開講期	後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	鈴木俊洋

研究室	本館309	オフィスアワー	金 １１：３０～１２：３０

メールアドレス	t-suzuki@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	組織における科学技術者　社会における科学技術者　専門職としての科学技術者　倫理的判断形成　　科学技術者と環境

授業概要	1. 科学技術の専門家になるということがいかなることかを理解し、科学技術者として実社会で出会う可能性のある倫理的問題に対処する方法を学ぶ。　2. 方法論や諸概念の把握と並行して、具体的事例に即して、倫理的判断形成の実践的練習を行う。　3. 授業内での演習を通じて倫理的問題の討論の練習を行う。　★提出課題(レポート等)については、課題提出の次の週などに適宜解説を行い、WebClassでの連絡システムを通じて質疑に応答をする。

関連科目

科学・技術・社会に関係する諸科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A3	A3
	JABEE基準	b	b	b,g

JABEE記号		学生の到達度目標
b	①	倫理的判断形成がいかなるものかを説明することができる。
b	②	セブンステップガイドにそって倫理的判断を実践することができる。
b	③	組織の中の科学技術者として出会う可能性のある倫理的問題に適切に対処することができる。
b	④	科学技術者の倫理に関わる重要な諸概念について説明することができる。
b	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	51	0	0	10	39	100

教科書	指定しない

参考書	本質から考え行動する科学技術者倫理　白桃書房　金沢工業大学･科学技術応用倫理研究所編　9784561256991 理系のための科学技術者倫理　丸善出版　直江清隆･盛永審一郎編　9784621089460

予備知識	1. 科学技術の関わる社会的問題について興味を持っていること（日常生活の中で、新聞や報道番組などを通じて知識を深めておくこと） 2. ディスカッションにおいて自らの意見を述べる姿勢を持っていること 3. 他者の意見を聞き、それについて質問をする姿勢を持っていること 4. 倫理的問題を自らの問題として考えようとする姿勢を持っていること
実務経験のある教員	
評価明細基準	・レポート(期末レポート):期末に授業全体に関するレポートを提出する 15点 A4用紙1枚片面、表紙不要 フォーマット(1頁40行、1行40文字、MS明朝、文字サイズ10.5)、本文1.000文字以上 ・レポート(事例考察シート):事例考察シート(授業内で配布する様式に記入して提出)を計4回提出 9点×4回 36点 ・その他:リアクションペーパー:初回と最終回(オンラインの場合は自習課題回2回)以外の各回の授業終了時に授業内容についての質問・疑問・感想・コメント・考えたことなどを記述したリアクションペーパーを提出 3点×13回 39点 5.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」10点 ①【学生の到達度目標】の項目①～⑤の達成度とその理由を各200～250文字で入力しプリントアウトして提出 ②授業アンケートに回答する

学修上の注意 (SBOs)	1.本年度の本科目は、全ての回をオンライン（オンデマンド型）で実施する。 2.授業コンテンツはWebClassで提示するので、WebClassで本科目に登録すること。 3.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けない。但し公認欠席の場合は別途指示する。 4.出席の取り方、課題提出の方法については、WebClassの冒頭に提示する「受講の手順」の文書で通知するので受講前に必ず熟読すること。 5.本科目では、金沢工業大学・科学技術応用倫理研究所の提供するオープンアクセス資料を講義の資料として使用する。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなし厳しく対処する。 7. オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は、本館309室にて対応する。オフィスアワーにTeams のチャットやテレビ電話等での質問も受け付ける。（メール等での連絡によってその他の時間でも対応する。）

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イントロダクション	講義	シラバスを読む 授業で扱った内容について理解を深める	30 60
	内容	科学技術者倫理とは何か。なぜ必要なのか。どのように授業を進めるか。			
2回	テーマ	科学技術者と倫理	講義 演習	科学技術が関わる倫理的問題について考える 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	技術と倫理の関係 倫理的判断とは何か リアクションペーパーの作成			
3回	テーマ	自習課題(1) 倫理規定	演習	事例考察シート①	90
	内容	倫理規定についての自習課題			
4回	テーマ	倫理的判断について	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
5回	テーマ	倫理的判断の練習①	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
6回	テーマ	倫理的判断の練習②	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
7回	テーマ	倫理的判断の練習	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察 事例考察シート②	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成 事例考察シート②の作成			
8回	テーマ	安全	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「安全」とは何か 安全の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
9回	テーマ	ヒューマンエラー	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	ヒューマンエラーについて ニューマンエラーの関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
10回	テーマ	公益通報	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	公益通報について 公益通報に関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自習課題(2)	演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例についての考察 セブンステップガイドに沿った倫理的判断形成の練習 事例考察シート③			
12回	テーマ	環境	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「環境」とは何か 環境の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
13回	テーマ	製造物責任	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「製造物責任」について 製造物責任の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
14回	テーマ	総合的事例考察	講義 演習	授業内容の理解を深める 到達度評価レポートの作成 期末レポートの作成 事例考察シート④	30 30 60 30
	内容	総合的な事例についての動画を視聴 事例の分析とディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート④の作成			
15回	テーマ	まとめ	講義 演習	授業全体をまとめて復習する 期末レポートの作成	60 30
	内容	いかなる科学技術者になるか どのように科学技術と付き合っていくか リアクションペーパー作成 期末レポートの作成 事例考察シート④の解説			

科目名	科学技術者倫理◎（３生）	開講学年	3	講義コード	2120107	区分	工学部・情報学部・生物
英文表記	Engineering Ethics	開講期	後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	鈴木俊洋

研究室	本館309	オフィスアワー	金 １１：３０～１２：３０

メールアドレス	t-suzuki@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	組織における科学技術者　社会における科学技術者　専門職としての科学技術者　倫理的判断形成　　科学技術者と環境

授業概要	1. 科学技術の専門家になるということがいかなることかを理解し、科学技術者として実社会で出会う可能性のある倫理的問題に対処する方法を学ぶ。　2. 方法論や諸概念の把握と並行して、具体的事例に即して、倫理的判断形成の実践的練習を行う。　3. 授業内での演習を通じて倫理的問題の討論の練習を行う。　★提出課題(レポート等)については、課題提出の次の週などに適宜解説を行い、WebClassでの連絡システムを通じて質疑に応答をする。

関連科目

科学・技術・社会に関係する諸科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A3	A3
	JABEE基準	b	b	b,g

JABEE記号		学生の到達度目標
b	①	倫理的判断形成がいかなるものかを説明することができる。
b	②	セブンステップガイドにそって倫理的判断を実践することができる。
b	③	組織の中の科学技術者として出会う可能性のある倫理的問題に適切に対処することができる。
b	④	科学技術者の倫理に関わる重要な諸概念について説明することができる。
b	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	51	0	0	10	39	100

教科書	指定しない

参考書	本質から考え行動する科学技術者倫理　白桃書房　金沢工業大学･科学技術応用倫理研究所編　9784561256991 理系のための科学技術者倫理　丸善出版　直江清隆･盛永審一郎編　9784621089460

予備知識	1. 科学技術の関わる社会的問題について興味を持っていること（日常生活の中で、新聞や報道番組などを通じて知識を深めておくこと） 2. ディスカッションにおいて自らの意見を述べる姿勢を持っていること 3. 他者の意見を聞き、それについて質問をする姿勢を持っていること 4. 倫理的問題を自らの問題として考えようとする姿勢を持っていること
実務経験のある教員	
評価明細基準	・レポート(期末レポート):期末に授業全体に関するレポートを提出する 15点 A4用紙1枚片面、表紙不要 フォーマット(1頁40行、1行40文字、MS明朝、文字サイズ10.5)、本文1.000文字以上 ・レポート(事例考察シート):事例考察シート(授業内で配布する様式に記入して提出)を計4回提出 9点×4回 36点 ・その他:リアクションペーパー:初回と最終回(オンラインの場合は自習課題回2回)以外の各回の授業終了時に授業内容についての質問・疑問・感想・コメント・考えたことなどを記述したリアクションペーパーを提出 3点×13回 39点 5.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」10点 ①【学生の到達度目標】の項目①～⑤の達成度とその理由を各200～250文字で入力しプリントアウトして提出 ②授業アンケートに回答する

学修上の注意 (SBOs)	1.本年度の本科目は、全ての回をオンライン（オンデマンド型）で実施する。 2.授業コンテンツはWebClassで提示するので、WebClassで本科目に登録すること。 3.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けない。但し公認欠席の場合は別途指示する。 4.出席の取り方、課題提出の方法については、WebClassの冒頭に提示する「受講の手順」の文書で通知するので受講前に必ず熟読すること。 5.本科目では、金沢工業大学・科学技術応用倫理研究所の提供するオープンアクセス資料を講義の資料として使用する。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなし厳しく対処する。 7. オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は、本館309室にて対応する。オフィスアワーにTeams のチャットやテレビ電話等での質問も受け付ける。（メール等での連絡によってその他の時間でも対応する。）

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イントロダクション	講義	シラバスを読む 授業で扱った内容について理解を深める	30 60
	内容	科学技術者倫理とは何か。なぜ必要なのか。どのように授業を進めるか。			
2回	テーマ	科学技術者と倫理	講義 演習	科学技術が関わる倫理的問題について考える 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	技術と倫理の関係 倫理的判断とは何か リアクションペーパーの作成			
3回	テーマ	自習課題(1) 倫理規定	演習	事例考察シート①	90
	内容	倫理規定についての自習課題			
4回	テーマ	倫理的判断について	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
5回	テーマ	倫理的判断の練習①	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
6回	テーマ	倫理的判断の練習②	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
7回	テーマ	倫理的判断の練習	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察 事例考察シート②	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成 事例考察シート②の作成			
8回	テーマ	安全	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「安全」とは何か 安全の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
9回	テーマ	ヒューマンエラー	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	ヒューマンエラーについて ニューマンエラーの関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
10回	テーマ	公益通報	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	公益通報について 公益通報に関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自習課題(2)	演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例についての考察 セブンステップガイドに沿った倫理的判断形成の練習 事例考察シート③			
12回	テーマ	環境	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「環境」とは何か 環境の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
13回	テーマ	製造物責任	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「製造物責任」について 製造物責任の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
14回	テーマ	総合的事例考察	講義 演習	授業内容の理解を深める 到達度評価レポートの作成 期末レポートの作成 事例考察シート④	30 30 60 30
	内容	総合的な事例についての動画を視聴 事例の分析とディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート④の作成			
15回	テーマ	まとめ	講義 演習	授業全体をまとめて復習する 期末レポートの作成	60 30
	内容	いかなる科学技術者になるか どのように科学技術と付き合っていくか リアクションペーパー作成 期末レポートの作成 事例考察シート④の解説			

科目名	科学技術者倫理◎（４工情生）	開講学年	3	講義コード	2120109	区分	工学部・情報学部・生物
英文表記	Engineering Ethics	開講期	後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	鈴木俊洋

研究室	本館309	オフィスアワー	金 １１：３０～１２：３０

メールアドレス	t-suzuki@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	組織における科学技術者　社会における科学技術者　専門職としての科学技術者　倫理的判断形成　　科学技術者と環境

授業概要	1. 科学技術の専門家になるということがいかなることかを理解し、科学技術者として実社会で出会う可能性のある倫理的問題に対処する方法を学ぶ。　2. 方法論や諸概念の把握と並行して、具体的事例に即して、倫理的判断形成の実践的練習を行う。　3. 授業内での演習を通じて倫理的問題の討論の練習を行う。　★提出課題(レポート等)については、課題提出の次の週などに適宜解説を行い、WebClassでの連絡システムを通じて質疑に応答をする。

関連科目

科学・技術・社会に関係する諸科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A3	A3
	JABEE基準	b	b	b,g

JABEE記号		学生の到達度目標
b	①	倫理的判断形成がいかなるものかを説明することができる。
b	②	セブンステップガイドにそって倫理的判断を実践することができる。
b	③	組織の中の科学技術者として出会う可能性のある倫理的問題に適切に対処することができる。
b	④	科学技術者の倫理に関わる重要な諸概念について説明することができる。
b	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	51	0	0	10	39	100

教科書	指定しない

参考書	本質から考え行動する科学技術者倫理　白桃書房　金沢工業大学･科学技術応用倫理研究所編　9784561256991 理系のための科学技術者倫理　丸善出版　直江清隆･盛永審一郎編　9784621089460

予備知識	1. 科学技術の関わる社会的問題について興味を持っていること（日常生活の中で、新聞や報道番組などを通じて知識を深めておくこと） 2. ディスカッションにおいて自らの意見を述べる姿勢を持っていること 3. 他者の意見を聞き、それについて質問をする姿勢を持っていること 4. 倫理的問題を自らの問題として考えようとする姿勢を持っていること
実務経験のある教員	
評価明細基準	・レポート(期末レポート):期末に授業全体に関するレポートを提出する 15点 A4用紙1枚片面、表紙不要 フォーマット(1頁40行、1行40文字、MS明朝、文字サイズ10.5)、本文1.000文字以上 ・レポート(事例考察シート):事例考察シート(授業内で配布する様式に記入して提出)を計4回提出 9点×4回 36点 ・その他:リアクションペーパー:初回と最終回(オンラインの場合は自習課題回2回)以外の各回の授業終了時に授業内容についての質問・疑問・感想・コメント・考えたことなどを記述したリアクションペーパーを提出 3点×13回 39点 5.ポートフォリオ:「到達度評価レポート」10点 ①【学生の到達度目標】の項目①～⑤の達成度とその理由を各200～250文字で入力しプリントアウトして提出 ②授業アンケートに回答する

学修上の注意 (SBOs)	1.本年度の本科目は、全ての回をオンライン（オンデマンド型）で実施する。 2.授業コンテンツはWebClassで提示するので、WebClassで本科目に登録すること。 3.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けない。但し公認欠席の場合は別途指示する。 4.出席の取り方、課題提出の方法については、WebClassの冒頭に提示する「受講の手順」の文書で通知するので受講前に必ず熟読すること。 5.本科目では、金沢工業大学・科学技術応用倫理研究所の提供するオープンアクセス資料を講義の資料として使用する。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなし厳しく対処する。 7. オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は、本館309室にて対応する。オフィスアワーにTeams のチャットやテレビ電話等での質問も受け付ける。（メール等での連絡によってその他の時間でも対応する。）

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	イントロダクション	講義	シラバスを読む 授業で扱った内容について理解を深める	30 60
	内容	科学技術者倫理とは何か。なぜ必要なのか。どのように授業を進めるか。			
2回	テーマ	科学技術者と倫理	講義 演習	科学技術が関わる倫理的問題について考える 授業で扱った事例の考察（事例考察シート①として第6回授業で提出）	60 60
	内容	技術と倫理の関係 倫理的判断とは何か リアクションペーパーの作成			
3回	テーマ	自習課題(1) 倫理規定	演習	事例考察シート①	90
	内容	倫理規定についての自習課題			
4回	テーマ	倫理的判断について	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
5回	テーマ	倫理的判断の練習①	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
6回	テーマ	倫理的判断の練習②	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成			
7回	テーマ	倫理的判断の練習	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察 事例考察シート②	60 60
	内容	事例の分析と判断形成の練習 事例についてのディスカッション リアクションペーパーの作成 事例考察シート②の作成			
8回	テーマ	安全	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「安全」とは何か 安全の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
9回	テーマ	ヒューマンエラー	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	ヒューマンエラーについて ニューマンエラーの関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
10回	テーマ	公益通報	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	公益通報について 公益通報に関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	自習課題(2)	演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	事例についての考察 セブンステップガイドに沿った倫理的判断形成の練習 事例考察シート③			
12回	テーマ	環境	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「環境」とは何か 環境の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
13回	テーマ	製造物責任	講義 演習	授業で扱うプリントを読む 授業で扱った事例の考察	60 60
	内容	「製造物責任」について 製造物責任の関わる事例についてのディスカッション リアクションペーパー作成			
14回	テーマ	総合的事例考察	講義 演習	授業内容の理解を深める 到達度評価レポートの作成 期末レポートの作成 事例考察シート④	30 30 60 30
	内容	総合的な事例についての動画を視聴 事例の分析とディスカッション リアクションペーパー作成 事例考察シート④の作成			
15回	テーマ	まとめ	講義 演習	授業全体をまとめて復習する 期末レポートの作成	60 30
	内容	いかなる科学技術者になるか どのように科学技術と付き合っていくか リアクションペーパー作成 期末レポートの作成 事例考察シート④の解説			

科目名	日本語表現（旧基礎日本語）（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2120201	区分	選必
英文表記	Introduction to Japanese	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	西澤 賴孝		
研究室	本館付属棟318	オフィスアワー	木曜日の昼休み
メールアドレス	nishizawa@ ed.sojo-u.ac.jp		
キーワード	日本語の基礎力、語彙力、表現力　小論文作成能力　図書館活用　教養的知識　　論理力　アカデミックスキル　自己管理力		

授業概要

社会で活躍する上で求められるコミュニケーションスキルを身に付けるため、敬語の使用法や語彙力などの知識・技能を習得する。また、プレゼンテーションやレポート作成等に関しても、的確で分かりやすい表現が不可欠であり、日本語の基礎力、語彙力、表現力を幅広く身に付けることが重要である。そのような意味から、次のようなことを目標に授業を展開する。 ①日本語検定3級合格程度の日本語の基礎力、語彙力、表現力を身に付ける。 ②表現力育成の一環として、課題小論文や自選テーマ小論文、書評の作成に挑戦する。 ③図書館等を利用し、多くの書籍を読む。 小テスト・レポートの結果は、後日、対面授業時もしくはWebClass等でフィードバックする。

関連科目

日本の文学

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A１	A１
	JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
fg	①	社会生活上必要な日本語表現について、基礎的な理解ができている。
fg	②	自己の意見や提案等を、文章で論理的に他者に伝達することができる。
fg	③	学術レポートの書き方を習得し、社会問題等に関するレポートを作成することができる。
fg	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	60	30	0	0	10	0	100

教科書	日本語検定3級 3訂版　東京書籍
参考書	

予備知識	日頃から新聞のコラムや社説等を読み、社会情勢等に関心をもっておく。 書評コンテストへの対応として、図書館の蔵書等を活用し、読書量を増やしておく。
実務経験のある教員	
評価明細基準	①小テスト 各10点配点×6回（敬語・語彙・言葉の意味・文法・表記・漢字）（60点）配点　　・学生の到達度目標1【1-1教養的知識】60点分で評価　②レポート 各10点配点×3回（課題小論文・書評・テーマ設定小論文）　（30点）配点　・学生の到達度目標2【2-3論理力】15点分で評価　・学生の到達度目標3【2-4アカデミックスキル】15点分で評価　③ポートフォリオ（学修到達度レポート）　（10点）配点　・学生の到達度目標4【3-2自己管理力】10点分で評価　※提出したら必ず各10点ということではない。各提出物を採点した上で換算表で加点配点を案分する。

学修上の注意 (SBOs)	①レポート等の他者の文章のコピーアンドペースト（コピペ）は盗用・不正行為とみなし、単位修得を認めない。 ②小テスト・レポートの提出は、pdfに変換しないでWebClass上からのみ提出すること。メールへのファイル添付は受理しない。期限厳守。期限を過ぎるとWebClass提出窓口が閉鎖され提出できなくなるので注意すること。社会通念上特段の配慮が必要であるときは、締切前に、メール、電話、来室のどの手段によってか事前相談すれば配慮する。締切後の配慮はしない。 ③単位修得の要件は、第14回・15回も含め全15回授業の3分の2（10回）以上出席、かつ評価点60点以上とする（「学生便覧」参照） ④オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は、附属棟318（池田キャンパス ゆうちょATMの3階）にて対応します。その他、メール、電話等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	授業ガイダンス	対面	日本語検定問題集のP6～P11の予習	90
	内容	シラバスの確認・周知 日本語能力自己診断	演習　講義		
2回	テーマ	「敬語」①	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP12～P17の予習	90
	内容	問題集を使って、敬語の使い方を学習する。	演習　講義		
3回	テーマ	「敬語」②	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP44～P52の予習	90
	内容	問題集を使って、敬語の使い方を学習する。○小テスト1回目（「敬語」）提出	演習　講義		
4回	テーマ	「語彙」 小論文の書き方	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP64～P67の予習	90
	内容	問題集を使って、「語彙」を学習する。小論文の基本的な書き方を学習する。○小テスト2回目（「語彙」）提出	演習　講義		
5回	テーマ	「言葉の意味」① 課題小論文①（下書Ⅰ）	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP68～P72の予習	90
	内容	問題集を使って「言葉の意味」を学習する。課題小論文の下書を行う。	演習　講義		
6回	テーマ	「言葉の意味」② 課題小論文②（下書Ⅱ）	遠隔	課題小論文の推敲	90
	内容	問題集を使って「言葉の意味」を学習する。課題小論文の下書を行う。○小テスト3回目（「言葉の意味」）提出	演習　講義		
7回	テーマ	復習 課題小論文③（清書・提出）	遠隔	書評用図書の読込	90
	内容	これまで学習した「敬語」「語彙」「言葉の意味」の復習 ●レポート1回目（課題小論文）提出	演習　講義		
8回	テーマ	書評の書き方 書評コンテスト	遠隔	日本語検定問題集のP28～P31の予習	90
	内容	書評例をもとに、書評の書き方を学習する。書評コンテスト実施要項等の理解	演習　講義		
9回	テーマ	「文法」① 書評（下書Ⅰ）	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP32～P35の予習	90
	内容	問題集を使って「文法」を学習する。書評コンテスト用の下書を行う。	演習　講義		
10回	テーマ	「文法」② 書評（下書Ⅱ）	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP82～P85の予習 書評の推敲	60
	内容	問題集を使って「文法」を学習する。書評コンテスト用の下書を行う。○小テスト4回目（「文法」）提出	演習　講義		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	「表記」① 書評（清書・提出）	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP86～P89の予習	90
	内容	問題集を使って、「表記」を学習する。 ●レポート2回目（書評）提出	演習 講義		
12回	テーマ	「表記」② テーマ設定小論文（下書Ｉ）	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP98～P106の予習	90
	内容	問題集を使って「表記」を学習する。 自分で小論文の題材を選び、下書を行う。 ○小テスト5回目（「表記」）提出	演習 講義		
13回	テーマ	「漢字」 テーマ設定小論文	遠隔	これまで学習した6分野について総復習	90
	内容	問題集を使って「漢字」を学習する。 ○小テスト6回目（「漢字」）提出 ●レポート3回目（テーマ設定小論文）提出	演習 講義		
14回	テーマ	課題総合問題	遠隔	学修到達度レポートの作成	90
	内容	総合問題を解き提出する。	演習		
15回	テーマ	課題総合問題	遠隔	学修到達度レポートの提出	９０
	内容	総合問題を解き提出する。	演習		

科目名	日本語表現（旧基礎日本語）（２全学科）	開講学年 2	講義コード 2120203	区分 選必
英文表記	Introduction to Japanese	開講期 前・後期	開講形態 ブレンド授業	単位数 2

担当教員	西澤 賴孝

研究室	本館付属棟318	オフィスアワー	木曜日の昼休み

メールアドレス	nishizawa@ ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	日本語の基礎力、語彙力、表現力　小論文作成能力　図書館活用　教養的知識　　論理力　アカデミックスキル　自己管理力

授業概要	社会で活躍する上で求められるコミュニケーションスキルを身に付けるため、敬語の使用法や語彙力などの知識・技能を習得する。また、プレゼンテーションやレポート作成等に関しても、的確で分かりやすい表現が不可欠であり、日本語の基礎力、語彙力、表現力を幅広く身に付けることが重要である。そのような意味から、次のようなことを目標に授業を展開する。 ①日本語検定3級合格程度の日本語の基礎力、語彙力、表現力を身に付ける。 ②表現力育成の一環として、課題小論文や自選テーマ小論文、書評の作成に挑戦する。 ③図書館等を利用し、多くの書籍を読む。 小テスト・レポートの結果は、後日、対面授業時もしくはWebClass等でフィードバックする。

関連科目
日本の文学

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A１	A１
	JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
fg	①	社会生活上必要な日本語表現について、基礎的な理解ができている。
fg	②	自己の意見や提案等を、文章で論理的に他者に伝達することができる。
fg	③	学術レポートの書き方を習得し、社会問題等に関するレポートを作成することができる。
fg	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	60	30	0	0	10	0	100

教科書	日本語検定3級 3訂版　東京書籍

参考書	

予備知識	日頃から新聞のコラムや社説等を読み、社会情勢等に関心をもっておく。 書評コンテストへの対応として、図書館の蔵書等を活用し、読書量を増やしておく。
実務経験のある教員	
評価明細基準	①小テスト 各10点配点×6回（敬語・語彙・言葉の意味・文法・表記・漢字）（60点）配点　　・学生の到達度目標1【1-1教養的知識】60点分で評価　②レポート 各10点配点×3回（課題小論文・書評・テーマ設定小論文）　（30点）配点　・学生の到達度目標2【2-3論理力】15点分で評価　・学生の到達度目標3【2-4アカデミックスキル】15点分で評価　③ポートフォリオ（学修到達度レポート）　（10点）配点　・学生の到達度目標4【3-2自己管理力】10点分で評価　※提出したら必ず各10点ということではない。各提出物を採点した上で換算表で加点配点を案分する。

学修上の注意 (SBOs)	①レポート等の他者の文章のコピーアンドペースト（コピペ）は盗用・不正行為とみなし、単位修得を認めない。 ②小テスト・レポートの提出は、pdfに変換しないでWebClass上からのみ提出すること。メールへのファイル添付は受理しない。期限厳守。期限を過ぎるとWebClass提出窓口が閉鎖され提出できなくなるので注意すること。社会通念上特段の配慮が必要であるときは、締切前に、メール、電話、来室のどの手段によってか事前相談すれば配慮する。締切後の配慮はしない。 ③単位修得の要件は、第14回・15回も含め全15回授業の3分の2（10回）以上出席、かつ評価点60点以上とする（「学生便覧」参照） ④オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は、附属棟318（池田キャンパス ゆうちょATMの3階）にて対応します。その他、メール、電話等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	授業ガイダンス	対面	日本語検定問題集のP6～P11の予習	90
	内容	シラバスの確認・周知 日本語能力自己診断	演習　講義		
2回	テーマ	「敬語」①	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP12～P17の予習	90
	内容	問題集を使って、敬語の使い方を学習する。	演習　講義		
3回	テーマ	「敬語」②	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP44～P52の予習	90
	内容	問題集を使って、敬語の使い方を学習する。○小テスト1回目（「敬語」）提出	演習　講義		
4回	テーマ	「語彙」 小論文の書き方	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP64～P67の予習	90
	内容	問題集を使って、「語彙」を学習する。小論文の基本的な書き方を学習する。○小テスト2回目（「語彙」）提出	演習　講義		
5回	テーマ	「言葉の意味」① 課題小論文①（下書Ⅰ）	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP68～P72の予習	90
	内容	問題集を使って「言葉の意味」を学習する。課題小論文の下書を行う。	演習　講義		
6回	テーマ	「言葉の意味」② 課題小論文②（下書Ⅱ）	遠隔	課題小論文の推敲	90
	内容	問題集を使って「言葉の意味」を学習する。課題小論文の下書を行う。○小テスト3回目（「言葉の意味」）提出	演習　講義		
7回	テーマ	復習 課題小論文③（清書・提出）	遠隔	書評用図書の読込	90
	内容	これまで学習した「敬語」「語彙」「言葉の意味」の復習 ●レポート1回目（課題小論文）提出	演習　講義		
8回	テーマ	書評の書き方 書評コンテスト	遠隔	日本語検定問題集のP28～P31の予習	90
	内容	書評例をもとに、書評の書き方を学習する。書評コンテスト実施要項等の理解	演習　講義		
9回	テーマ	「文法」① 書評（下書Ⅰ）	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP32～P35の予習	90
	内容	問題集を使って「文法」を学習する。書評コンテスト用の下書を行う。	演習　講義		
10回	テーマ	「文法」② 書評（下書Ⅱ）	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP82～P85の予習 書評の推敲	60
	内容	問題集を使って「文法」を学習する。書評コンテスト用の下書を行う。○小テスト4回目（「文法」）提出	演習　講義		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	「表記」① 書評（清書・提出）	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP86～P89の予習	90
	内容	問題集を使って、「表記」を学習する。 ●レポート2回目（書評）提出	演習　講義		
12回	テーマ	「表記」② テーマ設定小論文（下書Ｉ）	遠隔	本時の復習と日本語検定問題集のP98～P106の予習	90
	内容	問題集を使って「表記」を学習する。 自分で小論文の題材を選び、下書を行う。 ○小テスト5回目（「表記」）提出	演習　講義		
13回	テーマ	「漢字」 テーマ設定小論文	遠隔	これまで学習した6分野について総復習	90
	内容	問題集を使って「漢字」を学習する。 ○小テスト6回目（「漢字」）提出 ●レポート3回目（テーマ設定小論文）提出	演習　講義		
14回	テーマ	課題総合問題	遠隔	学修到達度レポートの作成	90
	内容	総合問題を解き提出する。	演習		
15回	テーマ	課題総合問題	遠隔	学修到達度レポートの提出	９０
	内容	総合問題を解き提出する。	演習		

科目名	日本の文学（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2120301	区分	選必
英文表記	Japanese Literature	開講期	後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	岩本晃代

研究室	本館3階304	オフィスアワー	火曜日、2限目

メールアドレス	iwamoto @ ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	文学鑑賞　日本文学史　熊本ゆかりの文学　論理的記述力

授業概要	本科目では、日本の代表的な近現代の作家の作品を取り上げて、日本文学の教養的知識を修得させるとともに、文学作品を多角的視点から鑑賞し、その内容を文章で論理的に表現する能力を育成する。授業においては、近現代の名作について、文学の時代性、文化の変遷、歴史的背景ふまえつつ考察する。また、熊本にゆかりのある作家の作品を取り上げて、生活している地域への関心が持てるように授業を行う。文章作成の方法については、鑑賞の事例を具体的に示すとともに、日本語表現（書き言葉）の練習問題にも取り組ませる。集大成としての課題研究レポートについては、7回目の授業で調査方法を教授し、8回目から10回目までのワークシートに部分的に下書きをさせ、その内容等について、授業資料等で注意事項を示す等のフィードバックを行い、アカデミックスキルの定着を図る。 1.作家については、経歴や関連する作家等について自主的に辞書やインターネット等で調べること。 2.作品中の分からない言葉等は辞書等で調べ、ワークシートに記入すること。 3.自分の選んだ作品について、作家及びその時代の歴史や文化に関しての調査を行い、「課題研究レポート」としてまとめること。 4.「課題研究レポート」は、注意事項等に従って、下書きを推敲して完成させること。

関連科目

SOJO基礎Ⅰ・Ⅱ　日本語表現
人間と歴史

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A1	A1
	JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	日本の代表的な文学作品及び熊本ゆかりの文学について、教養的知識を身に付けることができる。
af	②	文学作品を鑑賞し、その内容について自身の考えを論理的に記述する力を身に付けることができる。
f	③	学術的レポートの作成方法を身に付けることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	25	0	65	10	0	100

教科書	くまもと文学紀行 授業で提示する文学資料

参考書	日本近代文学大事典　講談社 現代詩大事典　三省堂

予備知識	高等学校で学習する日本文学史の基礎的事項
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート(「課題研究レポート」):25点　作成要領等ついては、別途資料を配布する 2.作品(「ワークシート」):5点×13回＝65点　「ワークシート」は毎回の授業内容の定着を図る課題の一種 3.ポートフォリオ(「学修到達度評価レポート」)10点 【学生の到達度目標】①②③の項目の達成度とその理由を200字～250文字で入力しプリントアウトして提出　※④は入力しなくてもよい

学修上の注意 (SBOs)	1.分からない語句等を調べるために電子辞書等を使用すること。 2.毎回配布するワークシートを完成させて提出すること。 3.ワークシートから一作品を選び推敲して清書したものを、「まとめのレポート」（小論文形式）とし、第14回のワークシートにおいて取り組む。 4.「課題研究レポート」については、図書館の蔵書、辞書及びインターネット等で調べ、それらをもとにまとめること。 5.提出物については期限を厳守すること。 ※1)レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなされます。 ※2)オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は研究室にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。その他メール等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	遠隔	【復習】 文学史の復習	30
	内容	講義の全体について説明する。日本文学史(近現代)について学習する。第1回ワークシート	講義・演習		
2回	テーマ	熊本の文学1	遠隔	【予習】熊本出身の文学者について調べておく【復習】作品の読み直し	30 60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学1 第2回ワークシート	講義・演習		
3回	テーマ	熊本の文学2	遠隔	【予習】熊本ゆかりの文学者について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲･補筆修正	30 60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学2 第3回ワークシート	講義・演習		
4回	テーマ	熊本の文学3	遠隔	【予習】熊本ゆかりの文学者について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲･補筆修正	30 60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学3 第4回ワークシート	講義・演習		
5回	テーマ	熊本の文学4	遠隔	【予習】熊本ゆかりの文学者について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲･補筆修正	30 60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学4 第5回ワークシート	講義・演習		
6回	テーマ	明治の文学1	遠隔	【予習】辞書等で森鴎外について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲･補筆修正	30 60
	内容	日本近代文学史① 作品鑑賞:明治期の作品1:森鴎外等 第6回ワークシート	講義・演習		
7回	テーマ	課題研究について	遠隔	【予習】辞書等で自然主義･反自然主義について調べておく【復習】 課題研究で対象とする作家を探す	30 60
	内容	レポート(課題研究)作成の方法についての説明 第7回ワークシート	講義・演習		
8回	テーマ	明治の文学2	遠隔	【予習】課題研究で対象とする作家を探す 【復習】課題研究で対象とする作家の作品を探す	30　60
	内容	日本近代文学史② 作品鑑賞:明治期の作品2:夏目漱石等 課題研究の下書き:作家についての説明 第8回ワークシート	講義・演習		
9回	テーマ	大正の文学1	遠隔	【予習】辞書等で芥川龍之介について調べておく【復習】課題研究で対象とする作家の作品について調べる	30 60
	内容	日本近代文学史③ 作品鑑賞:芥川龍之介等 課題研究の下書き:作品の説明 第9回ワークシート	講義・演習		
10回	テーマ	大正の文学2	遠隔	【予習】辞書等でプロレタリア文学について調べておく【復習】課題研究で対象とする作家の作品について鑑賞文を書く	30 60
	内容	日本近代文学史④ 作品鑑賞:プロレタリア文学 課題研究の下書き:作品の鑑賞 第10回ワークシート	講義・演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	日本近代文学史のまとめ･日本語表現の学修	遠隔 講義・演習	【予習】日本近代文学史の流れを資料で確認しておく【復習】課題研究の推敲･清書	30 60
	内容	日本近代文学史のまとめ ･日本語表現の方法(書き言葉)についての学修 第11回ワークシート			
12回	テーマ	日本の文学（課題研究）	遠隔 演習	【予習】課題研究 【復習】課題研究	90
	内容	課題研究:「課題研究レポート」作成			
13回	テーマ	日本の文学（課題研究）	遠隔 演習	【予習】課題研究 【復習】課題研究	90
	内容	課題研究:「課題研究レポート」作成			
14回	テーマ	文学鑑賞のまとめ	遠隔 講義・演習	【予習】ワークシートで課題とした作品を読み返しておく【復習】授業のまとめとして鑑賞文を600字程度でまとめる	30 60
	内容	鑑賞の方法について学修の振り返り ･第14回ワークシート(授業のまとめ)			
15回	テーマ	全体のまとめ	遠隔 講義・演習	【予習】学修到達度レポートの作成	60
	内容	授業全体のまとめ ･第15回ワークシート ･学修到達度レポートの提出(10点)			

科目名	日本の文学（２全学科）	開講学年	1	講義コード	2120303	区分	選必
英文表記	Japanese Literature	開講期	後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	岩本晃代

研究室	本館3階304	オフィスアワー	火曜日、2限目

メールアドレス	iwamoto @ ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	文学鑑賞　日本文学史　熊本ゆかりの文学　論理的記述力

授業概要

本科目では、日本の代表的な近現代の作家の作品を取り上げて、日本文学の教養的知識を修得させるとともに、文学作品を多角的視点から鑑賞し、その内容を文章で論理的に表現する能力を育成する。授業においては、近現代の名作について、文学の時代性、文化の変遷、歴史的背景ふまえつつ考察する。また、熊本にゆかりのある作家の作品を取り上げて、生活している地域への関心が持てるように授業を行う。文章作成の方法については、鑑賞の事例を具体的に示すとともに、日本語表現（書き言葉）の練習問題にも取り組ませる。集大成としての課題研究レポートについては、7回目の授業で調査方法を教授し、8回目から10回目までのワークシートに部分的に下書きをさせ、その内容等について、授業資料等で注意事項を示す等のフィードバックを行い、アカデミックスキルの定着を図る。 1.作家については、経歴や関連する作家等について自主的に辞書やインターネット等で調べること。 2.作品中の分からない言葉等は辞書等で調べ、ワークシートに記入すること。 3.自分の選んだ作品について、作家及びその時代の歴史や文化に関しての調査を行い、「課題研究レポート」としてまとめること。 4.「課題研究レポート」は、注意事項等に従って、下書きを推敲して完成させること。

関連科目

SOJO基礎Ⅰ・Ⅱ　日本語表現
人間と歴史

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	日本の代表的な文学作品及び熊本ゆかりの文学について、教養的知識を身に付けることができる。
af	②	文学作品を鑑賞し、その内容について自身の考えを論理的に記述する力を身に付けることができる。
f	③	学術的レポートの作成方法を身に付けることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	25	0	65	10	0	100

教科書

くまもと文学紀行
授業で提示する文学資料

参考書

日本近代文学大事典　講談社
現代詩大事典　三省堂

予備知識	高等学校で学習する日本文学史の基礎的事項
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.レポート(「課題研究レポート」):25点　作成要領等ついては、別途資料を配布する 2.作品(「ワークシート」):5点×13回＝65点　「ワークシート」は毎回の授業内容の定着を図る課題の一種 3.ポートフォリオ(「学修到達度評価レポート」)10点 【学生の到達度目標】①②③の項目の達成度とその理由を200字～250文字で入力しプリントアウトして提出　※④は入力しなくてもよい

学修上の注意 (SBOs)	1.分からない語句等を調べるために電子辞書等を使用すること。 2.毎回配布するワークシートを完成させて提出すること。 3.ワークシートから一作品を選び推敲して清書したものを、「まとめのレポート」（小論文形式）とし、第14回のワークシートにおいて取り組む。 4.「課題研究レポート」については、図書館の蔵書、辞書及びインターネット等で調べ、それらをもとにまとめること。 5.提出物については期限を厳守すること。 ※1)レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなされます。 ※2)オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は研究室にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。その他メール等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	遠隔	【復習】 文学史の復習	30
	内容	講義の全体について説明する。日本文学史(近現代)について学習する。第1回ワークシート	講義・演習		
2回	テーマ	熊本の文学1	遠隔	【予習】熊本出身の文学者について調べておく【復習】作品の読み直し	30 60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学1 第2回ワークシート	講義・演習		
3回	テーマ	熊本の文学2	遠隔	【予習】熊本ゆかりの文学者について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲･補筆修正	30 60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学2 第3回ワークシート	講義・演習		
4回	テーマ	熊本の文学3	遠隔	【予習】熊本ゆかりの文学者について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲･補筆修正	30 60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学3 第4回ワークシート	講義・演習		
5回	テーマ	熊本の文学4	遠隔	【予習】熊本ゆかりの文学者について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲･補筆修正	30 60
	内容	作品鑑賞:熊本ゆかりの文学4 第5回ワークシート	講義・演習		
6回	テーマ	明治の文学1	遠隔	【予習】辞書等で森鴎外について調べておく【復習】作品の読み直し　ワークシートの推敲･補筆修正	30 60
	内容	日本近代文学史① 作品鑑賞:明治期の作品1:森鴎外等 第6回ワークシート	講義・演習		
7回	テーマ	課題研究について	遠隔	【予習】辞書等で自然主義･反自然主義について調べておく【復習】 課題研究で対象とする作家を探す	30 60
	内容	レポート(課題研究)作成の方法についての説明 第7回ワークシート	講義・演習		
8回	テーマ	明治の文学2	遠隔	【予習】課題研究で対象とする作家を探す 【復習】課題研究で対象とする作家の作品を探す	30　60
	内容	日本近代文学史② 作品鑑賞:明治期の作品2:夏目漱石等 課題研究の下書き:作家についての説明 第8回ワークシート	講義・演習		
9回	テーマ	大正の文学1	遠隔	【予習】辞書等で芥川龍之介について調べておく【復習】課題研究で対象とする作家の作品について調べる	30 60
	内容	日本近代文学史③ 作品鑑賞:芥川龍之介等 課題研究の下書き:作品の説明 第9回ワークシート	講義・演習		
10回	テーマ	大正の文学2	遠隔	【予習】辞書等でプロレタリア文学について調べておく【復習】課題研究で対象とする作家の作品について鑑賞文を書く	30 60
	内容	日本近代文学史④ 作品鑑賞:プロレタリア文学 課題研究の下書き:作品の鑑賞 第10回ワークシート	講義・演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	日本近代文学史のまとめ･日本語表現の学修	遠隔 講義・演習	【予習】日本近代文学史の流れを資料で確認しておく【復習】課題研究の推敲･清書	30 60
	内容	日本近代文学史のまとめ ･日本語表現の方法(書き言葉)についての学修 第11回ワークシート			
12回	テーマ	日本の文学（課題研究）	遠隔 演習	【予習】課題研究 【復習】課題研究	90
	内容	課題研究:「課題研究レポート」作成			
13回	テーマ	日本の文学（課題研究）	遠隔 演習	【予習】課題研究 【復習】課題研究	90
	内容	課題研究:「課題研究レポート」作成			
14回	テーマ	文学鑑賞のまとめ	遠隔 講義・演習	【予習】ワークシートで課題とした作品を読み返しておく【復習】授業のまとめとして鑑賞文を600字程度でまとめる	30 60
	内容	鑑賞の方法について学修の振り返り ･第14回ワークシート(授業のまとめ)			
15回	テーマ	全体のまとめ	遠隔 講義・演習	【予習】学修到達度レポートの作成	60
	内容	授業全体のまとめ ･第15回ワークシート ･学修到達度レポートの提出(10点)			

科目名	人間と心理（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2120401	区分	選必
英文表記	Human and Psychology	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業(対面＋遠隔)	単位数	2

担当教員	中尾 千智

研究室	本館附属棟317	オフィスアワー	火曜、金曜の2限目

メールアドレス	nakao12@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	学習理論　自己･他者理解　行動の背景　人の発達　コミュニケーション

授業概要

本講義では我々の身近で起こる出来事を心理学の理論をもとに解説し、心理学とは一体どのような学問なのかを学び、心理学への興味や理解を深める。さらに、我々の日常の行動の意味を知ったり、自己理解や他者理解を深め、人間関係のあり方を学び、今後の社会生活に活かせるよう知識を身につける。本講義で心理学を学ぶことを通して視野を広げ、あらゆる領域において社会に貢献できる人材となることを目指す。 1.心理学を学ぶことによって、自分や他者、さらにその関係について、知見を深めるよう努める。 2.さらに、心理学の知識を自己管理能力を高める資源とする。 なお、レポートや試験等のフードバックについては、15回目のまとめで行う。

関連科目

文化社会関連科目:「人間と哲学」 教職関連科目:「教育心理学」「教育相談の理論及び方法」
その他の関連科目:「キャリア関連科目」「生物学関連科目」「脳関連科目」

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a,e	a,e

JABEE記号		学生の到達度目標
a,i	①	本講義で自己理解を深め、対人関係における自分の課題を知りコミュニケーション能力を高めることができる。
a,d	②	本講義で人間の心や行動を理解し、他者への働きかけの方法を学び協働性を学ぶことができる。
g,h	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価し、自己管理力を高めることができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
35	35	0	20	0	0	10	0	100

教科書

やさしい心理学　北大路書房　水田恵三　978-7628-2048-9

参考書

新しい心理学ゼミナール　福村出版　藤田圭一編　978-4-571-20072-4
心理学入門　講談社　坂口･相馬編　978-4-06-154808-4
心理学　東京大学出版会　鹿取･杉本･鳥居編　978-4130121170

予備知識	1.日常での出来事、小説や漫画などから心理学的な現象を考えておくとよい。 2.人間の行動や心理はすべて心理学に関係あるので、小説や漫画の登場人物などの心理や行 動を観察しておくと心理学が楽しくなる。 3.自分がストレスを感じた時にどのような対処方法をとっているか、振り返ってみる。 4.性格、心理テスト、ストレスなどの心理学に関する本を読んでおく。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験（8回目）35点 2.定期試験（15回目）35点 3.レポート：与えられたテーマについて調査し、それを分析・報告する。 A41枚以上、PC使用。1頁40行、1行40文字、MS明朝、10.5p、1200文字以上 13回目にレ ポート内容の説明を行う。作成後は提出期限までに提出する。20点 4.学習到達度評価レポート：SOJOポートフォリオシステムにおいて指示した期日までに入力して おくこと。10点

学修上の注意 (SBOs)	1.試験は中間テスト、定期試験を行い、追試・再試は実施しない。 2.予習については、その日の講義内容を教科書を使って行ってもよい。 3.試験回答やレポート等は提出日まで必ず提出すること。 4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなされる。 5.試験の回答等を他学生より盗用(コピー)した場合は、評価対象にならない。 6.出席確認を必ず行うこと。 7.全体的な連絡事項はWEBCLASSで行うので、頻繁に見ておくこと。 8.オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は、研究室で受け付けます。またメールでも　対応します。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	「心のはじまり」	対面	予習：シラバスを読む。 復習：第1回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	ガイダンス、心の起源、心とは何かについて学ぶ。	講義		
2回	テーマ	「心理学とは何か」	遠隔	予習：心理学について調べておく。 復習：第2回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	心理学の歩み、研究方法、領域、人間関係とストレスについて学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	「人は物をどう見るのか」(1)	遠隔	予習：知覚ついて調べておく。 復習：第3回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	ゲシュタルトの法則、知覚の恒常性、錯視について学ぶ。	講義		
4回	テーマ	「人は物をどう見るのか」(2) 「人はどのように学ぶのか」(1)	遠隔	予習：学習に関する事を調べておく。 復習：第4回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	主観的知覚と社会的知覚　学習の考え方、古典的・オペラント条件づけについて学ぶ。	講義		
5回	テーマ	「人はどのように学ぶのか」(2)	遠隔	予習：記憶に関する事を調べておく。 復習：第5回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	その他の学習、日常における学習、人の記憶について学ぶ	講義		
6回	テーマ	「人はどのように学ぶのか」(3) 「人はなぜ行動するのか」(1)	遠隔	予習：人間の欲求にはどんなものがあるか調べておく。 復習：第6回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	記憶の種類、欲求の種類、達成欲求と親和欲求について学ぶ。	講義		
7回	テーマ	「人はなぜ行動するのか」(2)	遠隔	予習：人間の感情や欲求不満について調べておく。 復習：第7回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	フラストレーションと葛藤の心理、感情の心理について学ぶ。	講義		
8回	テーマ	「人はどのように成長するのか」(1)	対面	予習：子供がどのようにして大きくなっていくか調べておく。 復習：第8回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	発達とは、発達段階と発達曲線、乳幼児の発達心理について学ぶ。 これまでの学習を振り返る（中間試験）	講義　演習		
9回	テーマ	「人はどのように成長するのか」(2)	遠隔	予習：アイデンティティについて調べておく。 復習：第9回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	児童期・青年期の発達、青年期の特徴、アイデンティティとは、成人期について学ぶ。	講義		
10回	テーマ	「人は自分をどう見るのか」	遠隔	予習：性格とは何かを調べておく。 復習：第10回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	性格理論、類型論と特性論、性格測定法、自己とは、ジョハリの窓について学ぶ。	講義		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	「人は人をどう見るのか」	遠隔	予習：第1印象について調べておく。 復習：第11回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	血液型と性格、表情の認知、印象形成、初頭効果、ステレオタイプについて学ぶ。	講義		
12回	テーマ	「人は何故心惹かれるのか」	遠隔	予習：どんな人が好意を持たれるか調べておく。　復習：第12回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	二者、三者関係、恋愛のスタイルと法則、何故心惹かれるか、ヤマアラシのジレンマについて学ぶ。	講義		
13回	テーマ	「人はメッセージをどう読み取るのか」	遠隔	予習：言葉以外のコミュニケーション方法を調べておく。 復習：第13回目のPP資料を読み返す。	30 30 30
	内容	ノンバーバルコミュニケーションとは、ダブルバインド理論、表情と視線、動作と姿勢について学ぶ。 レポート作成	講義　演習		
14回	テーマ	「説得するためには、説得されないためには」	遠隔	予習：説得の方法ににについて調べておく。 復習：第14回目のPP資料を読み返す。 レポート作成	30 30 30
	内容	態度の働き、態度とは、態度形成、マインドコントロールについて学ぶ。 レポート作成	講義　演習		
15回	テーマ	「人間関係の心理」　授業のまとめ	対面	予習：社会的促進と社会的手抜きについて調べておく。 レポート作成　学習到達度評価レポート：ポートフォリオシステムに入力する。	30 30 60
	内容	社会的促進と社会手抜き、同調行動、リーダーシップについて学ぶ。 授業全体のまとめ　総括のための試験及びレポート作成	講義　演習		

科目名	人間と心理（２全学科）	開講学年 2	講義コード 2120403	区分 選必
英文表記	Human and Psychology	開講期 前期後期	開講形態 ブレンド授業(対面＋遠隔)	単位数 2
担当教員	中尾 千智(実務経験)			
研究室	本館附属棟317	オフィスアワー 火曜、金曜の2限目		
メールアドレス	nakao12@ed.sojo-u.ac.jp			
キーワード	学習理論　自己･他者理解　行動の背景　人の発達　コミュニケーション			

授業概要

本講義では我々の身近で起こる出来事を心理学の理論をもとに解説し、心理学とは一体どのような学問なのかを学び、心理学への興味や理解を深める。さらに、我々の日常の行動の意味を知ったり、自己理解や他者理解を深め、人間関係のあり方を学び、今後の社会生活に活かせるよう知識を身につける。本講義で心理学を学ぶことを通して視野を広げ、あらゆる領域において社会に貢献できる人材となることを目指す。また、教育相談機関、児童相談所、学生相談室等での実務経験を活かし、人間の発達やメンタルヘルスについて授業の中で学生に教授する。 1.心理学を学ぶことによって、自分や他者、さらにその関係について、知見を深めるよう努める。 2.さらに、心理学の知識を自己管理能力を高める資源とする。 なお、レポートや試験等のフードバックについては、15回目のまとめで行う。

関連科目

文化社会関連科目:「人間と哲学」 教職関連科目:「教育心理学」「教育相談の理論及び方法」
その他の関連科目:「キャリア関連科目」「生物学関連科目」「脳関連科目」

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a,e	a,e

JABEE記号		学生の到達度目標
a,i	①	本講義で自己理解を深め、対人関係における自分の課題を知りコミュニケーション能力を高めることができる。
a,d	②	本講義で人間の心や行動を理解し、他者への働きかけの方法を学び協働性を学ぶことができる。
g,h	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価し、自己管理力を高めることができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	35	35	0	20	0	0	10	0	100

教科書

やさしい心理学　北大路書房　水田恵三　978-7628-2048-9

参考書

新しい心理学ゼミナール　福村出版　藤田圭一編　978-4-571-20072-4
心理学入門　講談社　坂口･相馬編　978-4-06-154808-4
心理学　東京大学出版会　鹿取･杉本･鳥居編　978-4130121170

予備知識	1.日常での出来事、小説や漫画などから心理学的な現象を考えておくとよい。　2.人間の行動や心理はすべて心理学に関係あるので、小説や漫画の登場人物などの心理や行　動を観察しておくと心理学が楽しくなる。　3.自分がストレスを感じた時にどのような対処方法をとっているか、振り返ってみる。　4.性格、心理テスト、ストレスなどの心理学に関する本を読んでおく。
実務経験のある教員	中尾 千智
評価明細基準	1.中間試験（8回目）35点　2.定期試験（15回目）35点　3.レポート：与えられたテーマについて調査し、それを分析・報告する。　A41枚以上、PC使用。1頁40行、1行40文字、MS明朝、10.5p、1200文字以上 13回目にレ　ポート内容の説明を行う。作成後は提出期限までに提出する。20点　4.学習到達度評価レポート：SOJOポートフォリオシステムにおいて指示した期日までに入力して　おくこと。10点

学修上の注意 (SBOs)	1.試験は中間テスト、定期試験を行い、追試・再試は実施しない。 2.予習については、その日の講義内容を教科書を使って行ってもよい。 3.試験回答やレポート等は提出日まで必ず提出すること。 4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなされる。 5.試験の回答等を他学生より盗用（コピー）した場合は、評価対象にならない。 6.出席確認を必ず行うこと。 7.全体的な連絡事項はWEBCLASSで行うので、頻繁に見ておくこと。 8.オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は、研究室で受け付けます。またメールでも　対応します。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	「心のはじまり」	対面	予習：シラバスを読む。 復習：第1回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	ガイダンス、心の起源、心とは何かについて学ぶ。	講義		
2回	テーマ	「心理学とは何か」	遠隔	予習：心理学について調べておく。 復習：第2回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	心理学の歩み、研究方法、領域、人間関係とストレスについて学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	「人は物をどう見るのか」(1)	遠隔	予習：知覚ついて調べておく。 復習：第3回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	ゲシュタルトの法則、知覚の恒常性、錯視について学ぶ。	講義		
4回	テーマ	「人は物をどう見るのか」(2) 「人はどのように学ぶのか」(1)	遠隔	予習：学習に関する事を調べておく。 復習：第4回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	主観的知覚と社会的知覚　学習の考え方、古典的・オペラント条件づけについて学ぶ。	講義		
5回	テーマ	「人はどのように学ぶのか」(2)	遠隔	予習：記憶に関する事を調べておく。 復習：第5回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	その他の学習、日常における学習、人の記憶について学ぶ	講義		
6回	テーマ	「人はどのように学ぶのか」(3) 「人はなぜ行動するのか」(1)	遠隔	予習：人間の欲求にはどんなものがあるか調べておく。 復習：第6回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	記憶の種類、欲求の種類、達成欲求と親和欲求について学ぶ。	講義		
7回	テーマ	「人はなぜ行動するのか」(2)	遠隔	予習：人間の感情や欲求不満について調べておく。 復習：第7回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	フラストレーションと葛藤の心理、感情の心理について学ぶ。	講義		
8回	テーマ	「人はどのように成長するのか」(1)	対面	予習：子供がどのようにして大きくなっていくか調べておく。 復習：第8回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	発達とは、発達段階と発達曲線、乳幼児の発達心理について学ぶ。 これまでの学習を振り返る（中間試験）	講義　演習		
9回	テーマ	「人はどのように成長するのか」(2)	遠隔	予習：アイデンティティについて調べておく。 復習：第9回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	児童期・青年期の発達、青年期の特徴、アイデンティティとは、成人期について学ぶ。	講義		
10回	テーマ	「人は自分をどう見るのか」	遠隔	予習：性格とは何かを調べておく。 復習：第10回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	性格理論、類型論と特性論、性格測定法、自己とは、ジョハリの窓について学ぶ。	講義		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	「人は人をどう見るのか」	遠隔	予習：第1印象について調べておく。 復習：第11回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	血液型と性格、表情の認知、印象形成、初頭効果、ステレオタイプについて学ぶ。	講義		
12回	テーマ	「人は何故心惹かれるのか」	遠隔	予習：どんな人が好意を持たれるか調べておく。　復習：第12回目のPP資料を読み返す。	30 30
	内容	二者、三者関係、恋愛のスタイルと法則、何故心惹かれるか、ヤマアラジのジレンマについて学ぶ。	講義		
13回	テーマ	「人はメッセージをどう読み取るのか」	遠隔	予習：言葉以外のコミュニケーション方法を調べておく。 復習：第13回目のPP資料を読み返す。	30 30 30
	内容	ノンバーバルコミュニケーションとは、ダブルバインド理論、表情と視線、動作と姿勢について学ぶ。 レポート作成	講義　演習		
14回	テーマ	「説得するためには、説得されないためには」	遠隔	予習：説得の方法ににについて調べておく。 復習：第14回目のPP資料を読み返す。 レポート作成	30 30 30
	内容	態度の働き、態度とは、態度形成、マインドコントロールについて学ぶ。レポート作成	講義　演習		
15回	テーマ	「人間関係の心理」　授業のまとめ	対面	予習：社会的促進と社会的手抜きについて調べておく。レポート作成　学習到達度評価レポート：ポートフォリオシステムに入力する。	30 30 60
	内容	社会的促進と社会手抜き、同調行動、リーダーシップについて学ぶ。授業全体のまとめ　総括のための試験及びレポート作成	講義　演習		

科目名	人間と哲学（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2120501	区分	選必
英文表記	Human and Philosophy	開講期	後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2
担当教員	清水俊（非常勤）						
研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	火曜日15時～16時				
メールアドレス	shimizuep@bloom.ocn.ne.jp						
キーワード	哲学　倫理学　クリティカル・シンキィング　論理力　　アカデミックスキル　リテラシー　自己管理力						

授業概要

『哲学ってどんなこと?』を参照しながら、様々な対象について哲学的に考えていく訓練をします。存在そのものから人生の意味まで、多くの対象を哲学的にとらえることにより、「自ら考える」力を養ってくことになります。教科書を読んで予習し、授業内容について家庭でも考察してください。 12回目の授業中に、中間テストの結果を学生にフィードバックする。

関連科目

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A１	A１
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	あらゆる事柄を、多様な視点から考える能力を身に付けることができる。
f	②	自らの考えを的確に表明し、論述する能力を身に付けることができる。
g	③	常に哲学的な問題意識を持ち続け、自主的に対象を考察することができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	0	0	60	0	0	10	0	100

教科書

哲学ってどんなこと?　昭和堂　トマス・ネーゲル　　978-4812293058

参考書

予備知識	教科書においてわからない単語などあれば、予習の段階で辞書などで調べてみること。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.リサーチペーパー（30点）1000字以上　指定したテーマについて、哲学的に考察したレポート。 テーマについて書かれているか、自らの力で考えられているか、きちんと読ませるための文章を書けているか、参考文献をきちんと読み解けているかを評価。 2.ポートフォリオ（10点） 到達度評価レポート。【学生の到達目標】と項目①～③の達成度とその理由を各200～250文字で入力し、プリントアウトして提出。 規定に従って書けているかで評価。 3.期末レポート（60点）1100字以上　指定したテーマについて、哲学的に考察したレポート。 テーマについて書かれているか、自らの力で考えられているか、きちんと読ませるための文章を書けているかを評価。

学修上の注意 (SBOs)	教科書の講義に関連する箇所を、必ず事前に読んでおくこと。 授業中のレポートに関する指示などは聞き逃さないようにし、必要な事柄は必ず書きとどめておくこと。 掲示板で教員を含めたディスカッション形式のやり取りを行う予定にしています。 レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けません。但し公認欠席の場合は別途指示します。 オフィスアワーにまずメールで連絡していただければ、Teams のチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。※その他メール等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ 哲学にできること 内容 哲学を学ぶにあたって必要な事柄の解説 哲学的な問いを立ててみる ポートフォリオ・リサーチペーパーの作成要領	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。	30
2回	テーマ はじめに 哲学の入り口 内容 哲学が対象とすることについての考察 問いについてのディスカッション 文章を書く準備とレポートの作成要領	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
3回	テーマ 何かを知ること 内容 私たちはどうやって何かを知るのかの考察 問いについてのディスカッション リサーチペーパー作成に必要な参照文献の探し方概要	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
4回	テーマ 他人の心 内容 他人の心を知るとはどのようなことかについての考察 問いについてのディスカッション	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
5回	テーマ 心-身問題 内容 心と体の関係についての考察 問いについてのディスカッション	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
6回	テーマ ことばの意味 内容 言葉と意味の関係はどのようになっているのかについての考察 問いについてのディスカッション	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
7回	テーマ 自由意志 内容 私たちの意志は自由なのか、自由とは何かについての考察 問いについてのディスカッション 期末レポートの概要	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
8回	テーマ 正しいことと不正なこと 内容 正や不正とは何なのか、倫理とは何かについての考察 問いについてのディスカッション	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
9回	テーマ 正義 内容 正義のために何をなすべきなのか、正義とは何かについての考察 問いについてのディスカッション	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
10回	テーマ 死 内容 死とは何かについての考察 問いについてのディスカッション	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	人生の意味	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	様々なテーマについて哲学的に考察 問いについてディスカッション ポートフォリオについて			
12回	テーマ	時間	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	時間について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
13回	テーマ	愛	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 ポートフォリオ（到達度レポート）の作成・授業アンケートの入力	60
	内容	様々な愛について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
14回	テーマ	大人と子供	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	大人と子供について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
15回	テーマ	その他の哲学的テーマ	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	様々なテーマについて哲学的に考察 問いについてディスカッション			

科目名	人間と哲学（２全学科）	開講学年	2	講義コード	2120503	区分	選必
英文表記	Human and Philosophy	開講期	前後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	清水俊（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	火曜日15時～16時

メールアドレス	shimizuep@bloom.ocn.ne.jp

キーワード	哲学　倫理学　クリティカル・シンキィング　論理力　　アカデミックスキル　リテラシー

授業概要	『哲学ってどんなこと?』を参照しながら、様々な対象について哲学的に考えていく訓練をします。存在そのものから人生の意味まで、多くの対象を哲学的にとらえることにより、「自ら考える」力を養ってくことになります。教科書を読んで予習し、授業内容について家庭でも考察してください。 12回目の授業中に、中間テストの結果を学生にフィードバックする。

関連科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A1	A1
	JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	あらゆる事柄を、多様な視点から考える能力を身に付けることができる。
f	②	自らの考えを的確に表明し、論述する能力を身に付けることができる。
g	③	常に哲学的な問題意識を持ち続け、自主的に対象を考察することができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	0	0	60	0	0	10	0	100

教科書	哲学ってどんなこと?　昭和堂　トマス・ネーゲル　　978-4812293058

参考書	

予備知識	教科書においてわからない単語などあれば、予習の段階で辞書などで調べてみること。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.リサーチペーパー（30点）1000字以上　指定したテーマについて、哲学的に考察したレポート。 テーマについて書かれているか、自らの力で考えられているか、きちんと読ませるための文章を書けているか、参考文献をきちんと読み解けているかを評価。 2.ポートフォリオ（10点） 到達度評価レポート。【学生の到達目標】と項目①～③の達成度とその理由を各200～250文字で入力し、プリントアウトして提出。 規定に従って書けているかで評価。 3.期末レポート（60点）1100字以上　指定したテーマについて、哲学的に考察したレポート。 テーマについて書かれているか、自らの力で考えられているか、きちんと読ませるための文章を書けているかを評価。

学修上の注意 (SBOs)	教科書の講義に関連する箇所を、必ず事前に読んでおくこと。 授業中のレポートに関する指示などは聞き逃さないようにし、必要な事柄は必ず書きとどめておくこと。 掲示板で教員を含めたディスカッション形式のやり取りを行う予定にしています。 レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けません。但し公認欠席の場合は別途指示します。 オフィスアワーにまずメールで連絡していただければ、Teams のチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。※その他メール等での質問も受け付けます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	哲学にできること	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。	30
	内容	哲学を学ぶにあたって必要な事柄の解説 哲学的な問いを立ててみる ポートフォリオ・リサーチペーパーの作成要領			
2回	テーマ	はじめに 哲学の入り口	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	哲学が対象とすることについての考察 問いについてのディスカッション 文章を書く準備とレポートの作成要領			
3回	テーマ	何かを知ること	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	私たちはどうやって何かを知るのかの考察 問いについてのディスカッション リサーチペーパー作成に必要な参照文献の探し方概要			
4回	テーマ	他人の心	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	他人の心を知るとはどのようなことかについての考察 問いについてのディスカッション			
5回	テーマ	心-身問題	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	心と体の関係についての考察 問いについてのディスカッション			
6回	テーマ	ことばの意味	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	言葉と意味の関係はどのようになっているのかについての考察 問いについてのディスカッション			
7回	テーマ	自由意志	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	私たちの意志は自由なのか、自由とは何かについての考察 問いについてのディスカッション 期末レポートの概要			
8回	テーマ	正しいことと不正なこと	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	正や不正とは何なのか、倫理とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			
9回	テーマ	正義	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	正義のために何をなすべきなのか、正義とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			
10回	テーマ	死	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	死とは何かについての考察 問いについてのディスカッション			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	人生の意味	講義	事前に教科書を読んで予習しておく。また、テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	様々なテーマについて哲学的に考察 問いについてディスカッション ポートフォリオについて			
12回	テーマ	時間	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 期末レポートの作成	30
	内容	時間について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
13回	テーマ	愛	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。 ポートフォリオ（到達度レポート）の作成・授業アンケートの入力	60
	内容	様々な愛について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
14回	テーマ	大人と子供	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	大人と子供について哲学的に考察 問いについてディスカッション			
15回	テーマ	その他の哲学的テーマ	講義	テーマについて考察し、自分なりの答えを出してみる。	30
	内容	様々なテーマについて哲学的に考察 問いについてディスカッション			

科目名	人間と歴史（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2120601	区分	選必
英文表記	Humans and History	開講期	後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	冨田健之

研究室	本館302	オフィスアワー	木曜昼休み

メールアドレス	tomi1955@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	歴史学　歴史教科書　記述の変化　研究の進展　　教養的知識　論理力　アカデミックスキル　自己管理力

授業概要	1.中学校歴史教科書はその時代時代の特徴をつかむための最良の手引き書であり、歴史を学び直そうとする際に第一に参照されるべき参考書だといえる。また、中学校歴史教科書は学習指導要領の改訂に基づき、原則として4年ごとに改訂され、そのたびに記述が修正されたり、場合によってはまったく新しくかきかえられたりもする。 2.本授業では、東京書籍から1972（昭和47）年と2006（平成18）年にそれぞれ刊行された中学校歴史教科書を比較し、約30年の間に教科書記述がどれだけ変わってきたのかをまず確認する。 3.ついで、そうした教科書記述の変化の背景にある、歴史研究の発展・深化についてみていく。 4.歴史は「暗記物」というレッテルが貼られることがあるが、知識を身につけることはどの研究分野にあってもその出発点であることは同じである。 5.本授業では、基礎的な知識を身につけたうえで、その知識を「応用」していくスベを修得していく。それによって、歴史的背景をふまえた現代社会を理解し、そこで生きていくための基礎知識（社会形成能力）と汎用的能力を身につけることをめざす。 6.小テストに関しては、解答提出の次の週などで適宜解説をおこない、自己評価できるようにする。

関連科目
総合・人間科学関係科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A1	A1
	JABEE基準			a.g	a.g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	日本の歴史について、教養的知識を身につけることができる。
g	②	日本史教科書の記述の変化について、その理由を理解し、論理的に説明できる力を身につけることができる。
g	③	レポート課題について十分な準備調査を行い、その成果をwordを使ってレポートにまとめることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	60	30	0	0	10	0	100

教科書	教科書は使用しない

参考書	参考書は授業中に適宜紹介する

予備知識	1.自ら学ぼうとする意欲と意思 2.中学校程度の日本史に関する知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	1. 小テスト:6回×10点＝60点 2. レポート:30点　レポート課題ならびにレポート書式については、WebClass第11回授業で説明す　る 3. ポートフォリオ:「学修到達度評価レポート」10点　①【学生の到達度目標】の項目1～4の達成度とその理由を各200～250文字で入　力する。 ②授業アンケートに回答する

学修上の注意 (SBOs)	1. 本科目はすべての授業(全15回)をオンライン(オンデマンド型)で実施する。 2. 授業コンテンツと重要な連絡は、すべてWebClassで提示する。授業計画などに急　　な変更がある場合にも、WebClassに記載する。 3. 授業受講の前に、WebClass本科目ページに掲載されている「授業の流れ」を毎　　回必ず読むこと。 4. 中間・定期試験は実施しない。従って再試験も実施しない。 5. 提出物は期限内に提出すること。ただし、公認欠席および急病(診断書もしくは　　病院・薬局の領収書を提出)の場合は、教員宛連絡すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなされ、　　単位の認定は行われない。 7. オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は、担当教員研究室(本館3階302)にて　　対応します。また、メールでの質問は随時受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	授業全般に関するガイダンス	講義	ガイダンス内容を再度確認する	10
	内容	授業概要の説明および受講にあたっての諸注意などを行う			
2回	テーマ	人類の出現	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	登場の年代はどんどんさかのぼる			
3回	テーマ	前回講義の理解度確認	演習	小テスト①の自己分析を行うとともに、次回授業の準備をする	20
	内容	小テスト①「人類の出現」			
4回	テーマ	聖徳太子	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	旧一万円札の肖像は別人?			
5回	テーマ	前回講義の理解度確認	演習	小テスト②の自己分析を行うとともに、次回授業の準備をする	20
	内容	小テスト②「聖徳太子」			
6回	テーマ	モンゴル襲来	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	2回とも暴風が吹いたのか			
7回	テーマ	前回授業の理解度確認	演習	小テスト③の自己分析を行うとともに、次回授業の準備をする	20
	内容	小テスト③「モンゴル襲来」			
8回	テーマ	島原・天草一揆	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	「乱」から「一揆」へ			
9回	テーマ	j前回授業の理解度確認	演習	小テスト④の自己分析を行うとともに、次回授業の準備をする	20
	内容	小テスト④「島原・天草一揆」			
10回	テーマ	江戸時代の身分制度	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	「士農工商」はなかった			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	前回授業の理解度確認	演習	小テスト⑤の自己分析を行うとともに、次回授業の準備をする レポート作成の準備活動	60
	内容	小テスト⑤「江戸時代の身分制度」レポート課題およびレポート書式の提示・説明			
12回	テーマ	日米和親条約	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業で前回授業に関する確認テストを実施する レポート作成の準備活動	60
	内容	アメリカの目的は中国との貿易だった			
13回	テーマ	前回授業の理解度確認	演習	小テスト⑥の自己分析を行う レポート作成の準備活動	60
	内容	小テスト⑥「日米和親条約」			
14回	テーマ	レポートの作成	演習	レポートを作成する ポートフォリオ（到達度レポート）の作成	60
	内容	レポートの作成作業			
15回	テーマ	レポートの作成	演習	レポートを完成させる ポートフォリオを作成する	60
	内容	レポートを完成させ提出する			

科目名	人間と歴史（２全学科）	開講学年	2	講義コード	2120603	区分	選必
英文表記	Humans and History	開講期	前後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	冨田健之

研究室	本館302	オフィスアワー	水曜昼休み

メールアドレス	tomi1955@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	歴史学　歴史教科書　記述の変化　研究の進展　　教養的知識　論理力　アカデミックスキル　自己管理力

授業概要	1.中学校歴史教科書はその時代時代の特徴をつかむための最良の手引き書であり、歴史を学び直そうとする際に第一に参照されるべき参考書だといえる。また、中学校歴史教科書は学習指導要領の改訂に基づき、原則として4年ごとに改訂され、そのたびに記述が修正されたり、場合によってはまったく新しくかきかえられたりもする。 2.本授業では、東京書籍から1972（昭和47）年と2006（平成18）年にそれぞれ刊行された中学校歴史教科書を比較し、約30年の間に教科書記述がどれだけ変わってきたのかをまず確認する。 3.ついで、そうした教科書記述の変化の背景にある、歴史研究の発展・深化についてみていく。 4.歴史は「暗記物」というレッテルが貼られることがあるが、知識を身につけることはどの研究分野にあってもその出発点であることは同じである。 5.本授業では、基礎的な知識を身につけたうえで、その知識を「応用」していくスベを修得していく。それによって、歴史的背景をふまえた現代社会を理解し、そこで生きていくための基礎知識（社会形成能力）と汎用的能力を身につけることをめざす。 6.小テストに関しては、解答提出の次の週などで適宜解説をおこない、自己評価できるようにする。

関連科目
総合・人間科学関係科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A1	A1
	JABEE基準			a.g	a.g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	日本の歴史について、教養的知識を身につけることができる。
g	②	日本史教科書の記述の変化について、その理由を理解し、論理的に説明できる力を身につけることができる。
g	③	レポート課題について、十分な準備調査を行い、その成果をwordを使ってレポートにまとめることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	60	30	0	0	10	0	100

教科書	教科書は使用しない

参考書	参考書は授業中に適宜紹介する

予備知識	1.自ら学ぼうとする意欲と意思 2.中学校程度の日本史に関する知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	1. 小テスト:6回×10点＝60点 2. レポート:30点　レポート課題ならびにレポート書式については、WebClass第11回授業で説明す　る 3. ポートフォリオ:「学修到達度評価レポート」10点　①【学生の到達度目標】の項目1～4の達成度とその理由を各200～250文字で入　力する。 ②授業アンケートに回答する

学修上の注意 (SBOs)	1. 本科目はすべての授業(全15回)をオンライン(オンデマンド型)で実施する。 2. 授業コンテンツと重要な連絡は、すべてWebClassで提示する。授業計画などに急　　な変更がある場合にも、WebClassに記載する。 3. 授業受講の前に、WebClass本科目ページに掲載されている「授業の流れ」を毎　　回必ず読むこと。 4. 中間・定期試験は実施しない。従って再試験も実施しない。 5. 提出物は期限内に提出すること。ただし、公認欠席および急病(診断書もしくは　　病院・薬局の領収書を提出)の場合は、教員宛連絡すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなされ、　　単位の認定は行われない。 7. オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は、担当教員研究室(本館3階302)にて　　対応します。また、メールでの質問は随時受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	授業全般に関するガイダンス	講義	ガイダンス内容を再度確認する	10
	内容	授業概要の説明および受講にあたっての諸注意などを行う			
2回	テーマ	三内丸山遺跡	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	発見･発掘で変わる時代像			
3回	テーマ	前回講義の理解度確認	演習	小テスト①の自己分析を行うとともに、次回授業の準備をする	20
	内容	小テスト①「三内丸山遺跡」			
4回	テーマ	稲作のはじまり	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	米づくりはいつ日本に伝わったのか			
5回	テーマ	前回講義の理解度確認	演習	小テスト②の自己分析を行うとともに、次回授業の準備をする	20
	内容	小テスト②「稲作のはじまり」			
6回	テーマ	「大和朝廷」	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	「大和政権」と表記されるようになった理由			
7回	テーマ	前回授業の理解度確認	演習	小テスト③の自己分析を行うとともに、次回授業の準備をする	20
	内容	小テスト③「『大和朝廷』」			
8回	テーマ	鎌倉幕府の成立	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	「イイクニつくろう」と覚えたが･･･			
9回	テーマ	前回授業の理解度確認	演習	小テスト④の自己分析を行うとともに、次回授業の準備をする	20
	内容	小テスト④「鎌倉幕府の成立」			
10回	テーマ	モンゴル襲来	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業で前回授業に関する確認テストを実施する	20
	内容	2回とも暴風が吹いたのか			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	前回授業の理解度確認	演習	小テスト⑤の自己分析を行うとともに、次回授業の準備をする レポート作成の準備活動	60
	内容	小テスト⑤「モンゴル襲来」レポート課題およびレポート書式の提示・説明			
12回	テーマ	倭寇	講義	授業内容の復習をしておく。次回授業で前回授業に関する確認テストを実施する レポート作成の準備活動	60
	内容	日本人ばかりではなかった			
13回	テーマ	前回授業の理解度確認	演習	小テスト⑥の自己分析を行う レポート作成の準備活動	60
	内容	小テスト⑥「倭寇」			
14回	テーマ	レポートの作成	演習	レポートを作成する ポートフォリオ（到達度レポート）の作成	60
	内容	レポートの作成作業			
15回	テーマ	レポートの作成	演習	レポートを完成させる ポートフォリオを作成する	60
	内容	レポートを完成させ提出する			

科目名	人間と環境（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2120701	区分	選必
英文表記	Human and Environment	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（遠隔）（注：期末試験のみ対面）	単位数	2

担当教員	上野賢仁

研究室	F803	オフィスアワー	火曜日2時限

メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	自然と人間の相互作用　地球システム　気候システム　環境指標　　生物多様性　環境経済　環境政策　資源･エネルギー利用　　環境負荷

授業概要

人間をとりまく環境はいま、地球温暖化、生物多様性、資源･エネルギーの枯渇、環境汚染などの問題が溢れており、これらは複数の要因と関係し、複雑である。人間が環境問題にどう対処すべきかを考えるとき、からみ合った複雑なことを広い視野で多面的に理解する必要がある。人間活動に起因する環境問題はあらゆる分野が関係するが、個々人としてはまず自然科学と社会科学の両面から考える姿勢をもつのが良いと思われる。 本講義では、環境に関する基礎的な事柄を学びつつ、様々な対策手法や環境技術を学びながら、人間と環境の相互関係をシステム的に捉えて考えていく。各人の専門分野において環境問題に取り組む際の基礎的な素養を身に付けることができるものと期待している。 講義では、前半で「人間と環境」に関しての基礎事項や捉え方について説明した後、関連するテキストの該当箇所について説明し、後半で理解を助けるために簡単な計算などの演習を行う。（資料や課題にWebClassを使う。関数電卓を用意しておくと良い。） ※本年度は原則として遠隔授業で行うが場合によって対面授業を行うことがある。 ※期末試験は対面で行う。 ※提出物については提出日以降の授業等で適宜解説する。

関連科目

総合教育の数理系基礎科目及び専門課程の環境関連科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a,b,g	a,b,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	環境問題を多角的な視点から捉え、問題の背景や構造、対策の現状を理解し、文章（あるいは口頭）で説明することができる。
b	②	技術が社会や自然に及ぼす影響、及び技術者の社会的責任を理解し、文章（あるいは口頭）で説明することができる。
g	③	自主的、継続的に学習することができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	30	0	30	0	0	10	0	100

教科書

Professional Engineering Library 環境工学　実教出版　PEL編集委員会監修、山崎慎一編　　978-4-407-34030-3

参考書

環境問題をシステム的に考える　化学同人　井村秀文　978-4-7598-1323-4
環境白書／循環型社会白書／生物多様性白書　日経印刷　環境省大臣官房環境計画課：環境省環境再生･資源循環局　978-4865791174
環境社会検定試験eco検定公式テキスト　日本能率境界マネジメントセンター　東京商工会議所　978-4820727026
新版 環境被害のガバナンス　成文堂　永松俊雄　978-4792333607
熊本県自然保護読本 自然保護とあなた-子供達の未来のために-　城野印刷所　熊本県自然保護読本編集委員会

予備知識	環境問題に関する関心を持ち、新聞記事やニュースに目を通しておくこと。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1. 中間試験、期末試験　各30点（再試験は実施しない。） 2. 課題レポート 30点（7回目授業時にテーマ等について説明、11回目授業時に提出を求める。） 図書館の環境関連図書を資料として、課題レポート（本文1,000文字以上）を次の規定に沿って作成し提出する。 A4用紙1枚（両面可）、表紙不要、余白各25mm、1頁40行、1行40文字、フォント：MS明朝体、10.5pt。 1行目：タイトル、2行目：空白、3行目：学部名、学科名、学籍番号、氏名、4行目：空白、5行目：本文。 参考文献・URLを末尾に記載。（著書の場合：著者名、『著書名』、引用頁、発行所、発行年。論文の場合：著者名、「論文名」『雑誌名』、引用頁、発行所、発行年。Webの場合：名称、URL、アクセス日） 3. ポートフォリオ：「到達度評価レポート」10点 【学生の到達度目標】の項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し15回目までに提出する。 授業アンケートに回答する。 4. 講義中に実施する演習問題の取り組み状況も評価に加味する。 5. 100点満点中60点以上を合格とする。

学修上の注意 (SBOs)	1. 授業回数の1／3以上の欠席者は成績評価を行わない（不合格となる）。ただし、公認欠席は出席扱いとする。 2. 遅刻は授業開始後20分までとし、以後は欠席とする。 3. 提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けない。ただし、公認欠席の場合は別途指示する。 4. 授業中のお茶・水以外の飲用は不可。 5. 授業中に他の授業の課題やスマートフォン等を使用した場合は退出を命じ欠席扱いとする。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす。　※遠隔授業では2、4、5は無視してよい。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	自然と人間の相互関係	遠隔	予習:教科書の全体に目を通しておく。復習:ガイダンスでの説明事項について確認する。	20 20
	内容	ガイダンス／自然と人間の相互関係の把握と理解	講義		
2回	テーマ	地球と人間／環境容量	遠隔	予習:教科書の1章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	地球と人間の関係／地球の許容限界／環境容量	講義　演習		
3回	テーマ	地球の気候システム／地球温暖化	遠隔	予習:教科書の1～2章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	地球の大気／水の循環／気候システム／地球温暖化	講義　演習		
4回	テーマ	環境指標／生物多様性	遠隔	予習:教科書の12章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	生物多様性／生態系／生態系の機能とサービス／生物多様性の保全	講義　演習		
5回	テーマ	環境感／地球と人間の歴史／文明の転換／持続可能性	遠隔	予習:教科書の1～3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	変化する世界の見方／成長の限界／熱力学的な視点／地球の歴史／人間の歴史／低炭素・共生・循環型社会／持続可能性	講義　演習		
6回	テーマ	環境管理／環境影響評価（その1）	遠隔	予習:教科書の2～3、13章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	コモンズの悲劇／ローカルコモンズ／環境管理／環境影響評価	講義　演習		
7回	テーマ	環境経済／環境政策／環境倫理	遠隔	予習:教科書の1～3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	地球環境と経済／市場の失敗／環境情報／環境政策／環境倫理	講義　演習		
8回	テーマ	前半まとめ／中間試験	遠隔	予習:1～8回の授業内容を総復習し、中間試験の準備をしておく。復習:中間試験の内容を振り返る。	60 30
	内容	前半の講義についてのまとめ／中間試験による達成度の確認	講義　試験		
9回	テーマ	資源・エネルギー利用／環境負荷	遠隔	予習:教科書の3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	資源生産性／エネルギー生産性／隠れた資源フロー（エコロジカルリュックサック）／内包エネルギー（ライフサイクルエネルギー）／環境負荷／エコロジカル・フットプリント／環境資源勘定／マテリアルフロー／ライフサイクルアセスメント(LCA)	講義　演習		
10回	テーマ	自然エネルギー利用／省エネルギー	遠隔	予習:教科書の1、3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	エネルギーの質／エクセルギー／ヒートポンプ／カルノー効率／バイオマスエネルギー／環境に好ましい選択／仮想評価法(CVM)	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	公害／環境関連法	遠隔	予習：教科書の4章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読する。	30 30
	内容	産業発展と公害／公害病／環境保全のための法制度	講義 演習		
12回	テーマ	水環境／廃棄物	遠隔	予習：教科書の5～8章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読する。	30 30
	内容	水質汚濁／富栄養化／上水道／下水道／廃棄物処理	講義 演習		
13回	テーマ	土壌環境／大気環境／熱環境	遠隔	予習：教科書の9～11章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読する。	30 30
	内容	土壌環境／大気環境／音・振動／熱環境	講義 演習		
14回	テーマ	生態系／環境影響評価（その2）	遠隔	予習：教科書の12～13章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読するとともに、9～15回の授業内容を総復習し、期末試験の準備をしておく。	30 30
	内容	生態系と生物多様性の保存／環境影響評価（環境アセスメント）／ミティゲーション	講義 演習		
15回	テーマ	後半まとめ／期末試験 ／総括	対面	予習：9～15回の授業内容を総復習し、期末試験の準備をしておく。 復習：期末試験の内容を振り返り、ポートフォリオ（到達度レポート）を作成する。 ／復習：授業全体の内容を振り返る。	60 30 30
	内容	後半の講義についてのまとめ／期末試験による達成度の確認	講義 試験／講義		

科目名	人間と環境（２全学科）	開講学年	2	講義コード	2120703	区分	選必
英文表記	Human and Environment	開講期	前後期	開講形態	ブレンド授業（遠隔）（注：期末試験のみ対面）	単位数	2

担当教員	上野賢仁

研究室	F803	オフィスアワー	火曜日2時限

メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	自然と人間の相互作用　地球システム　気候システム　環境指標　　生物多様性　環境経済　環境政策　資源･エネルギー利用　　環境負荷

授業概要	人間をとりまく環境はいま、地球温暖化、生物多様性、資源･エネルギーの枯渇、環境汚染などの問題が溢れており、これらは複数の要因と関係し、複雑である。人間が環境問題にどう対処すべきかを考えるとき、からみ合った複雑なことを広い視野で多面的に理解する必要がある。人間活動に起因する環境問題はあらゆる分野が関係するが、個々人としてはまず自然科学と社会科学の両面から考える姿勢をもつのが良いと思われる。 本講義では、環境に関する基礎的な事柄を学びつつ、様々な対策手法や環境技術を学びながら、人間と環境の相互関係をシステム的に捉えて考えていく。各人の専門分野において環境問題に取り組む際の基礎的な素養を身に付けることができるものと期待している。 講義では、前半で「人間と環境」に関しての基礎事項や捉え方について説明した後、関連するテキストの該当箇所について説明し、後半で理解を助けるために簡単な計算などの演習を行う。（資料や課題にWebClassを使う。関数電卓を用意しておくと良い。） ※本年度は原則として遠隔授業で行うが場合によって対面授業を行うことがある。 ※期末試験は対面で行う。 ※提出物については提出日以降の授業等で適宜解説する。

関連科目
総合教育の数理系基礎科目及び専門課程の環境関連科目

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a,b,g	a,b,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	環境問題を多角的な視点から捉え、問題の背景や構造、対策の現状を理解し、文章（あるいは口頭）で説明することができる。
b	②	技術が社会や自然に及ぼす影響、及び技術者の社会的責任を理解し、文章（あるいは口頭）で説明することができる。
g	③	自主的、継続的に学習することができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	0	30	0	0	10	0	100

教科書	Professional Engineering Library 環境工学　実教出版　PEL編集委員会監修、山崎慎一編　　978-4-407-34030-3

参考書	環境問題をシステム的に考える　化学同人　井村秀文　978-4-7598-1323-4 環境白書／循環型社会白書／生物多様性白書　日経印刷　環境省大臣官房環境計画課：環境省環境再生･資源循環局　978-4865791174 環境社会検定試験eco検定公式テキスト　日本能率境界マネジメントセンター　東京商工会議所　978-4820727026 新版 環境被害のガバナンス　成文堂　永松俊雄　978-4792333607 熊本県自然保護読本 自然保護とあなた-子供達の未来のために-　城野印刷所　熊本県自然保護読本編集委員会

予備知識	環境問題に関する関心を持ち、新聞記事やニュースに目を通しておくこと。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1. 中間試験、期末試験　各30点（再試験は実施しない。） 2. 課題レポート 30点（7回目授業時にテーマ等について説明、11回目授業時に提出を求める。） 図書館の環境関連図書を資料として、課題レポート（本文1,000文字以上）を次の規定に沿って作成し提出する。 A4用紙1枚（両面可）、表紙不要、余白各25mm、1頁40行、1行40文字、フォント：MS明朝体、10.5pt。 1行目：タイトル、2行目：空白、3行目：学部名、学科名、学籍番号、氏名、4行目：空白、5行目：本文。 参考文献・URLを末尾に記載。（著書の場合：著者名、『著書名』、引用頁、発行所、発行年。論文の場合：著者名、「論文名」『雑誌名』、引用頁、発行所、発行年。Webの場合：名称、URL、アクセス日） 3. ポートフォリオ：「到達度評価レポート」10点 【学生の到達度目標】の項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し15回目までに提出する。 授業アンケートに回答する。 4. 講義中に実施する演習問題の取り組み状況も評価に加味する。 5. 100点満点中60点以上を合格とする。

学修上の注意 (SBOs)	1. 授業回数の1／3以上の欠席者は成績評価を行わない（不合格となる）。ただし、公認欠席は出席扱いとする。 2. 遅刻は授業開始後20分までとし、以後は欠席とする。 3. 提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けない。ただし、公認欠席の場合は別途指示する。 4. 授業中のお茶・水以外の飲用は不可。 5. 授業中に他の授業の課題やスマートフォン等を使用した場合は退出を命じ欠席扱いとする。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす。　※遠隔授業では2、4、5は無視してよい。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	自然と人間の相互関係	遠隔	予習:教科書の全体に目を通しておく。復習:ガイダンスでの説明事項について確認する。	20 20
	内容	ガイダンス／自然と人間の相互関係の把握と理解	講義		
2回	テーマ	地球と人間／環境容量	遠隔	予習:教科書の1章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	地球と人間の関係／地球の許容限界／環境容量	講義　演習		
3回	テーマ	地球の気候システム／地球温暖化	遠隔	予習:教科書の1～2章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	地球の大気／水の循環／気候システム／地球温暖化	講義　演習		
4回	テーマ	環境指標／生物多様性	遠隔	予習:教科書の12章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	生物多様性／生態系／生態系の機能とサービス／生物多様性の保全	講義　演習		
5回	テーマ	環境感／地球と人間の歴史／文明の転換／持続可能性	遠隔	予習:教科書の1～3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	変化する世界の見方／成長の限界／熱力学的な視点／地球の歴史／人間の歴史／低炭素・共生・循環型社会／持続可能性	講義　演習		
6回	テーマ	環境管理／環境影響評価（その1）	遠隔	予習:教科書の2～3、13章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	コモンズの悲劇／ローカルコモンズ／環境管理／環境影響評価	講義　演習		
7回	テーマ	環境経済／環境政策／環境倫理	遠隔	予習:教科書の1～3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	地球環境と経済／市場の失敗／環境情報／環境政策／環境倫理	講義　演習		
8回	テーマ	前半まとめ／中間試験	遠隔	予習:1～8回の授業内容を総復習し、中間試験の準備をしておく。復習:中間試験の内容を振り返る。	60 30
	内容	前半の講義についてのまとめ／中間試験による達成度の確認	講義　試験		
9回	テーマ	資源・エネルギー利用／環境負荷	遠隔	予習:教科書の3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	資源生産性／エネルギー生産性／隠れた資源フロー（エコロジカルリュックサック）／内包エネルギー（ライフサイクルエネルギー）／環境負荷／エコロジカル・フットプリント／環境資源勘定／マテリアルフロー／ライフサイクルアセスメント(LCA)	講義　演習		
10回	テーマ	自然エネルギー利用／省エネルギー	遠隔	予習:教科書の1、3章を通読しておく。復習:授業範囲を復読する。	30 30
	内容	エネルギーの質／エクセルギー／ヒートポンプ／カルノー効率／バイオマスエネルギー／環境に好ましい選択／仮想評価法(CVM)	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	公害／環境関連法	遠隔	予習：教科書の4章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読する。	30 30
	内容	産業発展と公害／公害病／環境保全のための法制度	講義　演習		
12回	テーマ	水環境／廃棄物	遠隔	予習：教科書の5～8章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読する。	30 30
	内容	水質汚濁／富栄養化／上水道／下水道／廃棄物処理	講義　演習		
13回	テーマ	土壌環境／大気環境／熱環境	遠隔	予習：教科書の9～11章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読する。	30 30
	内容	土壌環境／大気環境／音・振動／熱環境	講義　演習		
14回	テーマ	生態系／環境影響評価（その2）	遠隔	予習：教科書の12～13章を通読しておく。 復習：授業範囲を復読するとともに、9～15回の授業内容を総復習し、期末試験の準備をしておく。	30 30
	内容	生態系と生物多様性の保存／環境影響評価（環境アセスメント）／ミティゲーション	講義　演習		
15回	テーマ	後半まとめ／期末試験　／総括	対面	予習：9～15回の授業内容を総復習し、期末試験の準備をしておく。 復習：期末試験の内容を振り返り、ポートフォリオ（到達度レポート）を作成する。 ／復習：授業全体の内容を振り返る。	60 30 30
	内容	後半の講義についてのまとめ／期末試験による達成度の確認	講義　試験／講義		

科目名	現代の社会と法（１全学科）	開講学年 1	講義コード 2120801	区分 選必
英文表記	Modern Society and Law	開講期 後期	開講形態 遠隔	単位数 2

担当教員	竹内 明里（実務経験）

研究室	本館付属棟312	オフィスアワー	木曜2限

メールアドレス	take1118@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	法　社会　人権　教養的知識　　論理力　アカデミックスキル　自己管理力

授業概要	1 授業概要（1）本講義は、教員の官庁等での勤務経験等を踏まえ、「ブラック校則」「LGBT」「介護問題」「ブラックバイト」「安楽死」など、学生が関わりうる様々な社会問題を題材として、憲法・民法・労働法などの身近な法の基本的な枠組を学び、社会問題解決のための多様なアプローチ等を考えるものである。（2）授業はレジュメに沿ったオンデマンド講義形式。 授業動画視聴後に課題（確認ワーク、社会問題に対する自分の意見の論述等）を行う。 また、社会問題について法の観点から検討し、レポートを作成する。　2 学修上の助言（1）心構えとして、取り上げる社会問題を他人事と思わず、自分の問題として考えること。（2）法や社会問題には、「1+1=2」のような明確な正解がない場合もある。「多数派が正しい」とは限らない。様々な意見を議論する中で新しい解決策が生まれることも多い。　授業では、こうした問題について、法的視点を含む様々な意見を考えたうえで、自分の意見を構築するように努めること。（3）毎回の課題は必ず行うこと。 また、課題作成時には、社会問題を自分で調べてまとめ、自分の考えを他人にわかるように述べる努力をすること。この努力を継続することで、社会問題への理解や表現力が高めることができる。 *提出物については、第12、13回(レポート作成)、第14回・15回（まとめと補足）にて、フィードバックします。

関連科目

本講義では広く法を扱うが、日本を形作る根本的な法として「日本国憲法」があり、公務員・教員の基本知識として、採用試験でも出題されている。 本講義履修後、より深く「日本」の在り方を考えたい場合には、発展科目として「日本国憲法」を勧める。

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A１	A１
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	憲法や民法、労働法などの身近な法について、基本的な仕組みを理解することができる
f	②	法や社会問題に関する自分の意見を論理的に説明することができる
f	③	法や社会問題に関する学術レポートを作成することができる
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	25	0	0	10	65	100

教科書	教科書は使用しない。

参考書	高校生からの法学入門　中央大学出版部　中央大学法学部　978-4805727096 科学者と戦争　岩波書店　池内 了　978-4004316114 ブラック校則 理不尽な苦しみの現実　東洋館出版社　荻上チキ、内田 良　978-4491035574 介護殺人:追いつめられた家族の告白（新潮文庫）　新潮社　毎日聞大阪社会部取材班　978-4101012919 はじめて学ぶLGBT 基礎からトレンドまで (スッキリわかる!)　ナツメ社　石田 仁　978-4816365829

予備知識	(1) 現代の社会問題への関心と、自ら学ぼうとする意欲を持つこと (2) ニュースで現代の社会の動きを把握すること (3) 中学や高校の「現代社会」「公民」などの知識をおさらいしておくこと
実務経験のある教員	竹内明里
評価明細基準	(1) 課題研究(レポート) 25点(第11回レポート作成中間報告5点+第12回レポート20点)　指定するテーマについて、参考文献を読み、条件を守ってレポート(1200字以上)を作成する。　*テーマや参考文献、条件は第1回授業で説明する。 (2)「到達度評価ポートフォリオ」10点　「学生の到達度目標」の各項目の達成度とその理由を200字～250文字で入力し、第15回授業日から1週間後までにに提出。 (3) その他:課題研究回(第11、12回)を除いた授業回の課題 65点(5点×13回)　毎回、授業後一週間の期限内に提出。　期限後の提出は評価対象外。 (4) 60点以上を合格とする。再試験等は一切行わない。

学修上の注意 (SBOs)	(1) ウェブクラスの出席手続きを必ず行うこと。(2) 提出物は期限内に提出する。　原則として、公欠相当事由がない場合、締切後の提出を受け付けない。　そのような事情がある学生は速やかに教員に連絡すること。(3) 提出物を作成する際は、授業動画を視聴し、理解したうえで、条件を守って作成すること。 理解不十分・条件違反の場合は減点されます(採点されない場合もあります)。(4) 課題作成につき、参考資料(ウェブサイト等)や他の学生の作品のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は不正行為とみなし、単位を認めない。(5) その他、授業内での教員の指示を守ること。(6)質問は気軽にしてください。 オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は研究室にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。その他メール等での質問も受け付けます。 ＊詳しくはウェブクラスで説明します。(7)大学メール・ウェブクラスメールは毎日確認すること。課題などにつき、個別に連絡している場合があります。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義、演習	（復習）ガイダンスでの説明事項についての確認。 復習課題（確認ワーク）を行う。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	30
	内容	授業概要、受講時の注意事項、 高校までの知識のおさらいなど			
2回	テーマ	イントロダクション：法とは何か	講義、演習	（予習）「法と道徳の違い」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	法と道徳の違い、日本における法の種類（憲法、法律、条令等）を知る。			
3回	テーマ	憲法①総論・統治	講義、演習	（予習）「憲法の基礎」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	憲法の歴史、3大原理（国民主権、平和主義、基本的人権の尊重）を学び、憲法の意義を考える。			
4回	テーマ	憲法②人権	講義、演習	（予習）「ブラック校則と人権」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	「ブラック校則」などを題材として、憲法が保障する人権について学ぶ。			
5回	テーマ	民法①財産法	講義、演習	（予習）「消費者トラブル」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	大学生が関わりうる契約トラブル 等を題材に、契約や不法行為等、財産に関する民法の規定を学ぶ。			
6回	テーマ	民法②家族法	講義、演習	（予習）「LGBTと法」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	婚姻、相続等、家族に関する法を学ぶ。また、「LGBT」「同性婚」などを題材に、家族法の意義を考える。			
7回	テーマ	刑法①総論	講義、演習	（予習）「安楽死」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	「安楽死」を題材に、刑法が社会で果たす役割や基本原則を学ぶ。			
8回	テーマ	刑法②刑事訴訟法、	講義、演習	（予習）「裁判員裁判」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	「裁判員裁判」を題材に、刑事裁判手続きの基礎を学ぶ。			
9回	テーマ	労働と法	講義、演習	（予習）「ブラックバイト」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	「ブラックバイト」などを題材に、労働者として知るべき法（労働基準法等）を学び、現代の労働問題を考える。			
10回	テーマ	法による日常紛争の解決	講義、演習	（予習）「SNSトラブル」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）　★レポート作成に向けて、授業前日までに参考資料を集めておくこと	60
	内容	「SNSトラブル」などを題材に、日常的な紛争（トラブル）において法が果たす役割を考える。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	課題研究(レポート作成)1 レポート作成の準備	講義、演習	(予習)レポートで使う資料を収集しておく。(復習)課題として、レポートで使用する参考文献情報とレポートの大まかな骨組みを中間報告する。*課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)	60
	内容	授業内で指定するテーマから1つ選び、条件を守ってレポートを作成する。 *レポートの作成について、参考文献情報の整理、書式の設定、論述のパターンを学ぶ。今回は最低限、参考文献情報を整理し、大まかな骨組み作成を行う。			
12回	テーマ	課題研究(レポート作成)2 レポート作成	講義、演習	(予習)参考文献情報の整理とレポートの骨組みを作成しておく(前回課題)。(復習)レポートを作成し、第13回前日までに指定の方法で提出する。	60
	内容	○授業内で指示するテーマから一つ選び、書式を守ってレポートを作成する。*今回は、前回作成した参考文献情報整理やレポートの骨組をもとに、レポートを完成させる。			
13回	テーマ	熊本と世界の人権問題	講義、演習	(予習)「ハンセン病」または「国際社会の人権問題」に関する記事を読む。(復習)復習課題(確認ワーク、ミニレポート)を行う。配布資料の再読。*課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)	60
	内容	上熊本に療養所のあった「ハンセン病」を題材に、人権を考える。また、世界の人権問題と、持続可能な開発目標(SDGs)など国際社会の取組を学ぶ。			
14回	テーマ	まとめと補足1(憲法・民法)	講義、演習	(予習)第6回までの授業内容を総復習しておく。(復習)復習課題(確認ワーク、ミニレポート)を行う。配布資料の再読。 *課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと) ※ポートフォリオ「科目到達度レポート」を入力する(第15回前日までに提出)	60
	内容	第6回までの授業のまとめと補足を行う。			
15回	テーマ	まとめと補足2(刑法・労働法・人権)	講義	(予習)これまでの授業内容を総復習しておく。(復習)復習課題(確認ワーク、ミニレポート)を行う。配布資料の再読。* 課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)	60
	内容	第7回以降のまとめと補足を行う。レポート等の課題を総括する。			

科目名	現代の社会と法（２全学科）	開講学年	2	講義コード	2120803	区分	選必
英文表記	Modern Society and Law	開講期	前後期	開講形態	遠隔	単位数	2

担当教員	竹内 明里（実務経験）

研究室	本館付属棟312	オフィスアワー	木曜2限

メールアドレス	take1118@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	法　社会　人権　教養的知識　　論理力　アカデミックスキル　自己管理力

授業概要	1 授業概要（1）本講義は、教員の官庁等での勤務経験等を踏まえ、「ブラック校則」「LGBT」「介護問題」「ブラックバイト」「安楽死」など、学生が関わりうる様々な社会問題を題材として、憲法・民法・労働法などの身近な法の基本的な枠組を学び、社会問題解決のための多様なアプローチ等を考えるものである。（2）授業はレジュメに沿ったオンデマンド講義形式。 授業動画視聴後に課題（確認ワーク、社会問題に対する自分の意見の論述等）を行う。 また、社会問題について法の観点から検討し、レポートを作成する。　2 学修上の助言（1）心構えとして、取り上げる社会問題を他人事と思わず、自分の問題として考えること。（2）法や社会問題には、「1+1=2」のような明確な正解がない場合もある。「多数派が正しい」とは限らない。様々な意見を議論する中で新しい解決策が生まれることも多い。 授業では、こうした問題について、法的視点を含む様々な意見を考えたうえで、自分の意見を構築するように努めること。（3）毎回の課題は必ず行うこと。 また、課題作成時には、社会問題を自分で調べてまとめ、自分の考えを他人にわかるように述べる努力をすること。この努力を継続することで、社会問題への理解や表現力が高めることができる。 *提出物については、第12、13回(レポート作成)、第14回・15回（まとめと補足）にて、フィードバックします。	関連科目：本講義では広く法を扱うが、日本を形作る根本的な法として「日本国憲法」があり、公務員・教員の基本知識として、採用試験でも出題されている。 本講義履修後、より深く「日本」の在り方を考えたい場合には、発展科目として「日本国憲法」を勧める。

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A１	A１
		JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	憲法や民法、労働法などの身近な法について、基本的な仕組みを理解することができる
f	②	法や社会問題に関する自分の意見を論理的に説明することができる
f	③	法や社会問題に関する学術レポートを作成することができる
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	25	0	0	10	65	100

教科書	教科書は使用しない。

参考書	高校生からの法学入門　中央大学出版部　中央大学法学部　978-4805727096 科学者と戦争　岩波書店　池内 了　978-4004316114 ブラック校則 理不尽な苦しみの現実　東洋館出版社　荻上チキ、内田 良　978-4491035574 介護殺人:追いつめられた家族の告白（新潮文庫）　新潮社　毎日聞大阪社会部取材班　978-4101012919 はじめて学ぶLGBT 基礎からトレンドまで (スッキリわかる!)　ナツメ社　石田 仁　978-4816365829

予備知識	(1) 現代の社会問題への関心と、自ら学ぼうとする意欲を持つこと (2) ニュースで現代の社会の動きを把握すること (3) 中学や高校の「現代社会」「公民」などの知識をおさらいしておくこと
実務経験のある教員	竹内明里
評価明細基準	(1) 課題研究(レポート) 25点(第11回レポート作成中間報告5点+第12回レポート20点)　指定するテーマについて、参考文献を読み、条件を守ってレポート(1200字以上)を作成する。　*テーマや参考文献、条件は第1回授業で説明する。 (2)「到達度評価ポートフォリオ」10点　「学生の到達度目標」の各項目の達成度とその理由を200字～250文字で入力し、第15回授業日から1週間後までにに提出。 (3) その他:課題研究回(第11、12回)を除いた授業回の課題 65点(5点×13回)　毎回、授業後一週間の期限内に提出。　期限後の提出は評価対象外。 (4) 60点以上を合格とする。再試験等は一切行わない。

学修上の注意 (SBOs)	(1) ウェブクラスの出席手続きを必ず行うこと。(2) 提出物は期限内に提出する。　原則として、公欠相当事由がない場合、締切後の提出を受け付けない。　そのような事情がある学生は速やかに教員に連絡すること。(3) 提出物を作成する際は、授業動画を視聴し、理解したうえで、条件を守って作成すること。 理解不十分・条件違反の場合は減点されます(採点されない場合もあります)。(4) 課題作成につき、参考資料(ウェブサイト等)や他の学生の作品のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は不正行為とみなし、単位を認めない。(5) その他、授業内での教員の指示を守ること。(6)質問は気軽にしてください。 オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は研究室にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。その他メール等での質問も受け付けます。 ＊詳しくはウェブクラスで説明します。(7)大学メール・ウェブクラスメールは毎日確認すること。課題などにつき、個別に連絡している場合があります。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義、演習	（復習）ガイダンスでの説明事項についての確認。 復習課題（確認ワーク）を行う。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	30
	内容	授業概要、受講時の注意事項、 高校までの知識のおさらいなど			
2回	テーマ	イントロダクション：法とは何か	講義、演習	（予習）「法と道徳の違い」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	法と道徳の違い、日本における法の種類（憲法、法律、条令等）を知る。			
3回	テーマ	憲法①総論・統治	講義、演習	（予習）「憲法の基礎」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	憲法の歴史、3大原理（国民主権、平和主義、基本的人権の尊重）を学び、憲法の意義を考える。			
4回	テーマ	憲法②人権	講義、演習	（予習）「ブラック校則と人権」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	「ブラック校則」などを題材として、憲法が保障する人権について学ぶ。			
5回	テーマ	民法①財産法	講義、演習	（予習）「消費者トラブル」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	大学生が関わりうる契約トラブル 等を題材に、契約や不法行為等、財産に関する民法の規定を学ぶ。			
6回	テーマ	民法②家族法	講義、演習	（予習）「LGBTと法」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	婚姻、相続等、家族に関する法を学ぶ。また、「LGBT」「同性婚」などを題材に、家族法の意義を考える。			
7回	テーマ	刑法①総論	講義、演習	（予習）「安楽死」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	「安楽死」を題材に、刑法が社会で果たす役割や基本原則を学ぶ。			
8回	テーマ	刑法②刑事訴訟法、	講義、演習	（予習）「裁判員裁判」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	「裁判員裁判」を題材に、刑事裁判手続きの基礎を学ぶ。			
9回	テーマ	労働と法	講義、演習	（予習）「ブラックバイト」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	「ブラックバイト」などを題材に、労働者として知るべき法（労働基準法等）を学び、現代の労働問題を考える。			
10回	テーマ	法による日常紛争の解決	講義、演習	（予習）「SNSトラブル」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）　★レポート作成に向けて、授業前日までに参考資料を集めておくこと	60
	内容	「SNSトラブル」などを題材に、日常的な紛争（トラブル）において法が果たす役割を考える。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	課題研究(レポート作成)1 レポート作成の準備	講義、演習	(予習)レポートで使う資料を収集しておく。(復習)課題として、レポートで使用する参考文献情報とレポートの大まかな骨組みを中間報告する。*課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)	60
	内容	授業内で指定するテーマから1つ選び、条件を守ってレポートを作成する。*レポートの作成について、参考文献情報の整理、書式の設定、論述のパターンを学ぶ。今回は最低限、参考文献情報を整理し、大まかな骨組み作成を行う。			
12回	テーマ	課題研究(レポート作成)2 レポート作成	講義、演習	(予習)参考文献情報の整理とレポートの骨組みを作成しておく(前回課題)。(復習)レポートを作成し、第13回前日までに指定の方法で提出する。	60
	内容	○授業内で指示するテーマから一つ選び、書式を守ってレポートを作成する。*今回は、前回作成した参考文献情報整理やレポートの骨組をもとに、レポートを完成させる。			
13回	テーマ	熊本と世界の人権問題	講義、演習	(予習)「ハンセン病」または「国際社会の人権問題」に関する記事を読む。(復習)復習課題(確認ワーク、ミニレポート)を行う。配布資料の再読。*課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)	60
	内容	上熊本に療養所のあった「ハンセン病」を題材に、人権を考える。また、世界の人権問題と、持続可能な開発目標(SDGs)など国際社会の取組を学ぶ。			
14回	テーマ	まとめと補足1(憲法・民法)	講義、演習	(予習)第6回までの授業内容を総復習しておく。(復習)復習課題(確認ワーク、ミニレポート)を行う。配布資料の再読。*課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと) ※ポートフォリオ「科目到達度レポート」を入力する(第15回前日までに提出)	60
	内容	第6回までの授業のまとめと補足を行う。			
15回	テーマ	まとめと補足2(刑法・労働法・人権)	講義	(予習)これまでの授業内容を総復習しておく。(復習)復習課題(確認ワーク、ミニレポート)を行う。配布資料の再読。*課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)	60
	内容	第7回以降のまとめと補足を行う。レポート等の課題を総括する。			

科目名	現代の社会と政治（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2120901	区分	選必
英文表記	Introduction to Political Science	開講期	後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	今井亮佑

研究室	本館310	オフィスアワー	（原則として）木曜5限

メールアドレス	@

キーワード	教養的知識　アカデミックスキル　論理力　日本の政治　　選挙

授業概要

(1)政治の基本的な仕組みを理解してもらいます 18歳になれば選挙権を得て、一人の有権者として政治と関わることになります。しかし、政治の仕組みがわかっていなければ、折角得た選挙権を有効に行使することができません。そこで本講義を通じて、一般教養として、政治の仕組みに関する基本的理解を深めてもらいます。 (2)政治に関する論点について、自分なりに考えてもらいます 政治とは、正解のない営みです。 一つの問題に対する色々な立場・考え方が存在します。 本講義では、政治に関する諸論点に対する、複数の見方を提示します。 受講生の皆さんには、講義内容をもとに、関連する情報を自ら収集・処理することで、論点に対する自分なりの考えをまとめてもらいます。

関連科目

基礎科目:SOJO基礎I、SOJO基礎(薬学)、SOJO基礎II

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	政治の仕組みや動き、それらをめぐる論点について、正しく理解できる
f	②	自身の考えを論理的に記述する力を養うことができる。
f	③	学術的レポートの作法を身に付けることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	90	0	0	10	0	100

教科書

※指定なし

参考書

政治学　東京大学出版会　川出良枝・谷口将紀(編)　978-4-13-032219-5
日本政治の第一歩(新版)　有斐閣　上神貴佳・三浦まり(編)　978-4-641-15112-3
18歳からの政治入門　日本経済新聞出版社　日本経済新聞政治部(編)　978-4-532-16991-6

予備知識	■受講にあたり、政治を学びたいという積極的な意欲を持って下さい。　■政治は絶えず動いています。その動きをフォローするために、日々新聞に目を通すようにして下さい。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.小レポート（12点×3回＝36点）　○講義の内容をもとに「考えたこと」を500字以上で論じる小レポートを3回提出してもらいます。　○提出の2～4週間後をめどに、気づいた点、改善すべき点をフィードバックします。　2.レポート（27点×2回＝54点）　○私が提示するテーマについて1200字以上で論じるレポートを2回提出してもらいます。　○提出の2～4週間後をめどに、気づいた点、改善すべき点をフィードバックします。　3．ポートフォリオ：「学修到達度レポート」（10点）　○【学生の到達度目標】の項目①～③の達成度とその理由を各200～250字で入力してもらいます。　☆いずれも、詳細は講義の中で説明します。

学修上の注意 (SBOs)	■小レポート・レポートは、提出期限（初回講義時に明示）を厳守してください。期限後にメールに添付して送りつけてくる者がいますが、一切受け取りません。 ■再試験等は一切行いません。 ■小レポート・レポートの執筆に際し、コピー&ペーストなどの剽窃（ひょうせつ）を行った場合は、不正行為とみなし、単位を認定しません。 ■講義内容が理解できなかった場合は、遠慮なくオフィスアワーを活用して質問して下さい。 ■オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は本館310室にて対応します。 オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。 ※その他メール等での質問も受け付けます。 ■新聞やテレビニュースを通じて、日々の政治の動きに興味を持つようにして下さい。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義	（復習）ガイダンスでの説明事項についてよく頭に入れる。	30
	内容	授業概要や受講時の注意事項等を説明する。			
2回	テーマ	選挙制度概論	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	・選挙制度を類型化し、それぞれの特徴について説明する。・米大統領選挙の制度について説明する。			
3回	テーマ	日本の選挙制度① 概要	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	衆議院・参議院の選挙制度の歴史的変遷と、制度改革の背景について説明する。			
4回	テーマ	日本の選挙制度① 論点	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	衆参両院の現行の選挙制度をめぐる論点を提示し、それに対する複数の見方を紹介する。			
5回	テーマ	大統領制と議院内閣制	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	大統領制の国（米国）の政治との比較の視点を交えながら、議院内閣制の国（日本）の政治の特徴について説明する。			
6回	テーマ	政策過程①	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	自民党政権下における立法（法律ができるまで）の過程について説明する。			
7回	テーマ	政策過程②	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	・政策過程をめぐる論点について考えてもらう。・二院制の長所と短所について説明し、日本で二院制を採用することの是非について考えてもらう。			
8回	テーマ	行政制度	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	日本の行政機構の改革の概要と、それがもたらした影響について説明する。			
9回	テーマ	経済政策	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	・ケインズ主義、大きな政府・小さな政府の概念について説明する ・戦後日本の経済政策について概説する			
10回	テーマ	政党①	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	選挙制度が政党に及ぼす影響について概説する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	政党②	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート ・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	首相のリーダーシップのあり方が1990年代の改革を経てどのように変わったかについて概説する。			
12回	テーマ	政治家	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート ・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	日本の国会議員の数は適正か、女性政治家が少ないのは問題か、といった論点について考える際に考慮に入れるべきポイントを紹介する。			
13回	テーマ	有権者①	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート ・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	なぜ人は選挙で投票／棄権するのか、人は何を判断基準に投票する政党や候補者を選ぶのかについて説明する。			
14回	テーマ	有権者②	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート ・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	若年層の投票率が低いのは問題か、投票率を上げるにはどうすればよいのか、といった論点について考える際に考慮に入れるべきポイントを紹介する。			
15回	テーマ	課題研究	演習	・レポートを執筆する。・学修到達度レポートを執筆し、授業アンケートに回答する。	180
	内容	二本目のレポートの執筆に向けて、テーマについて自分で調べる時間に充ててもらう。			

科目名	現代の社会と政治（２全学科）	開講学年	2	講義コード	2120903	区分	選必
英文表記	Introduction to Political Science	開講期	前後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	今井亮佑

研究室	本館310	オフィスアワー	（原則として）木曜5限

メールアドレス	@

キーワード	教養的知識　アカデミックスキル　論理力

授業概要

(1)政治の基本的な仕組みを理解してもらいます 18歳になれば選挙権を得て、一人の有権者として政治と関わることになります。しかし、政治の仕組みがわかっていなければ、折角得た選挙権を有効に行使することができません。そこで本講義を通じて、一般教養として、政治の仕組みに関する基本的理解を深めてもらいます。 (2)政治に関する論点について、自分なりに考えてもらいます 政治とは、正解のない営みです。 一つの問題に対する色々な立場・考え方が存在します。 本講義では、政治に関する諸論点に対する、複数の見方を提示します。 受講生の皆さんには、講義内容をもとに、関連する情報を自ら収集・処理することで、論点に対する自分なりの考えをまとめてもらいます。

関連科目

基礎科目:SOJO基礎I、SOJO基礎(薬学)、SOJO基礎II

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	政治の仕組みや動き、それらをめぐる論点について、正しく理解できる
f	②	自身の考えを論理的に記述する力を養うことができる。
f	③	学術的レポートの作法を身に付けることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	90	0	0	10	0	100

教科書

※指定なし

参考書

政治学　東京大学出版会　川出良枝・谷口将紀(編)　978-4-13-032219-5
日本政治の第一歩　有斐閣　上神貴佳・三浦まり(編)　978-4-641-15112-3
18歳からの政治入門　日本経済新聞出版社　日本経済新聞政治部(編)　978-4-532-16991-6

予備知識	■受講にあたり、予備知識は必要としませんが、政治を学びたいという積極的な意欲は持って下さい。　■政治は絶えず動いています。その動きをフォローするために、日々新聞に目を通すようにして下さい。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.小レポート（12点×3回＝36点）○講義の内容をもとに「考えたこと」を500字以上で論じる小レポートを3回提出してもらいます。○提出の2～4週間後をめどに、気づいた点、改善すべき点をフィードバックします。　2.レポート（27点×2回＝54点）○私が提示するテーマについて1200字以上で論じるレポートを2回提出してもらいます。○提出の2～4週間後をめどに、気づいた点、改善すべき点をフィードバックします。　3．ポートフォリオ：「学修到達度レポート」（10点）○【学生の到達度目標】の項目①～③の達成度とその理由を各200～250字で入力してもらいます。　☆いずれも、詳細は講義の中で説明します。

学修上の注意 (SBOs)	■小レポート・レポートは、提出期限（初回講義時に明示）を厳守してください。期限後にメールに添付して送りつけてくる者がいますが、一切受け取りません。 ■再試験等は一切行いません。 ■小レポート・レポートの執筆に際し、コピー&ペーストなどの剽窃（ひょうせつ）を行った場合は、不正行為とみなし、単位を認定しません。 ■講義内容が理解できなかった場合は、遠慮なくオフィスアワーを活用して質問して下さい。 ■オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は本館310室にて対応します。 オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。 ※その他メール等での質問も受け付けます。 ■新聞やテレビニュースを通じて、日々の政治の動きに興味を持つようにして下さい。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義	（復習）ガイダンスでの説明事項についてよく頭に入れる。	30
	内容	授業概要や受講時の注意事項等を説明する。			
2回	テーマ	選挙制度概論	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	・選挙制度を類型化し、それぞれの特徴について説明する。・米大統領選挙の制度について説明する。			
3回	テーマ	日本の選挙制度① 概要	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	衆議院・参議院の選挙制度の歴史的変遷と、制度改革の背景について説明する。			
4回	テーマ	日本の選挙制度① 論点	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	衆参両院の現行の選挙制度をめぐる論点を提示し、それに対する複数の見方を紹介する。			
5回	テーマ	大統領制と議院内閣制	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	大統領制の国（米国）の政治との比較の視点を交えながら、議院内閣制の国（日本）の政治の特徴について説明する。			
6回	テーマ	政策過程①	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	自民党政権下における立法（法律ができるまで）の過程について説明する。			
7回	テーマ	政策過程②	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	・政策過程をめぐる論点について考えてもらう。・二院制の長所と短所について説明し、日本で二院制を採用することの是非について考えてもらう。			
8回	テーマ	行政制度	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	日本の行政機構の改革の概要と、それがもたらした影響について説明する。			
9回	テーマ	経済政策	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	・ケインズ主義、大きな政府・小さな政府の概念について説明する ・戦後日本の経済政策について概説する			
10回	テーマ	政党①	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	選挙制度が政党に及ぼす影響について概説する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	政党②	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	首相のリーダーシップのあり方が1990年代の改革を経てどのように変わったかについて概説する。			
12回	テーマ	政治家	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	日本の国会議員の数は適正か、女性政治家が少ないのは問題か、といった論点について考える際に考慮に入れるべきポイントを紹介する。			
13回	テーマ	有権者①	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	なぜ人は選挙で投票／棄権するのか、人は何を判断基準に投票する政党や候補者を選ぶのかについて説明する。			
14回	テーマ	有権者②	講義	（復習）・講義内容を復習した上で、疑問や興味を持った点について自分で調べ、自分なりに考えを深める。・小レポート・レポートが課題として出ていたら、その執筆を行う。	90
	内容	若年層の投票率が低いのは問題か、投票率を上げるにはどうすればよいのか、といった論点について考える際に考慮に入れるべきポイントを紹介する。			
15回	テーマ	課題研究	演習	・レポートを執筆する。・学修到達度レポートを執筆し、授業アンケートに回答する。	180
	内容	二本目のレポートの執筆に向けて、テーマについて自分で調べる時間に充ててもらう。			

科目名	現代の社会と経済（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2121001	区分	選必
英文表記	Modern society and economy	開講期	後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	大野 正久 （非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師室（遠隔授業のため、基本的には在室していない。）	オフィスアワー	木曜日、５時限

メールアドレス	ohno@educ.kumamoto-u.ac.jp

キーワード	価格決定の理論　ゲーム理論　限界の概念　地域経済　　環境経済　教養的知識　論理力　自己管理力

授業概要	授業形態については、オンデマンドの遠隔授業で実施します。 授業では、価格決定の理論やゲーム理論等の経済学の基本的な考え方について学びます。ゲーム理論は、複数の主体による選択行動について考えていく学問です。 商品の価格はどのようにして決まるのだろうか、企業間の価格競争や国際貿易の問題は社会的にどのように評価できるのだろうか、人の消費行動においてどのような条件が成立しているのだろうか等の問題について、経済学の視点から考えていきます。また、地方分権の有効性や地域における環境政策が社会的にどのように評価できるか等の地域経済や環境経済に関する問題について、経済学の視点から考えていきます。 授業の前半では、価格決定の理論について説明します。後半では、ゲーム理論の基本的な考え方とゲーム理論の経済社会問題への応用について説明します。また、経済学において重要な概念である限界の概念について説明し、経済学の地域経済や環境経済への応用について説明します。（課題解答に関しては、課題を掲示した回以降に、可能な範囲においてフィードバックします。）

関連科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A1	A1	
	JABEE基準		afdg	afdg	

JABEE記号		学生の到達度目標
a,d	①	経済学の基本的な考え方と社会における様々な経済問題への応用について理解できる。
f	②	論理的な考え方ができる。
f,g	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	40	50	0	0	10	0	100

教科書	教科書は使用しません。

参考書	特に指定はありません。

予備知識	受講にあたり、特に予備知識は必要ありません。
実務経験のある教員	
評価明細基準	小テスト（課題解答による評価）40点、レポート（課題解答による評価）50点、「到達度評価ポートフォリオ」10点により、評価する。（「到達度評価ポートフォリオ」については、上記の学生の到達度目標の項目1、2、3の達成度とその理由について、各200～250字でレポートを作成し、提出してください。）

学修上の注意 (SBOs)	1) 提出物は期限以内に提出してください。期限以後は一切受け付けません。但し公認欠席の場合は別途指示します。 2) レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 3) オフィスアワーにはWebClassのメールにて、質問を受け付けます。 その他、オフィスアワー外にも、WebClassのメールにて、質問を受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	【復習】授業概要や授業の進め方等について、理解する。	15
	内容	授業の概要や授業の進め方、評価方法等について、説明する。			
2回	テーマ	経済のしくみについて	講義	【予習】経済のしくみについて調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	経済学とはどのような学問なのかということや経済のしくみ等について説明する。			
3回	テーマ	市場における需要について	講義	【予習】消費者の経済活動について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	市場における家計の経済活動等について説明する。			
4回	テーマ	市場における供給について	講義	【予習】企業の経済活動について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	市場における企業の経済活動等について説明する。			
5回	テーマ	市場における需要と供給について	講義	【予習】市場均衡について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	市場均衡や比較静学の概念について説明する。			
6回	テーマ	消費者余剰と生産者余剰について	講義	【予習】消費者余剰について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	消費者余剰、生産者余剰、そして、社会的余剰の概念について説明する。			
7回	テーマ	経済学の国際経済等への応用について	講義	【予習】国際貿易について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	国際貿易は、商品の輸入国にとって望ましいのか否かという問題等について、経済学の視点から説明する。			
8回	テーマ	ゲーム理論①	講義	【予習】ゲーム理論について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	ゲーム理論の考え方や囚人のジレンマについて説明する。			
9回	テーマ	ゲーム理論②	講義	【予習】ゲーム理論の応用について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	企業間の価格競争や国際貿易等の問題について、ゲーム理論を用いて、説明する。			
10回	テーマ	ゲーム理論③	講義	【予習】ゲーム理論の応用について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	逐次手番ゲームの考え方について説明する。企業の参入問題等について、ゲーム理論を用いて説明する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	限界の概念について	講義	【予習】限界の概念について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	経済学において重要な考え方である限界の概念について説明する。			
12回	テーマ	地方分権化と地域における環境政策について	講義	【予習】地方分権について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	地方分権化が望ましいのか否かについて、限界の概念を用いて説明する。また、外部性の概念について説明し、地域における環境政策に外部性が伴う場合、その政策決定が社会的に望ましいのか否かについて、限界の概念を用いて説明する。			
13回	テーマ	公共政策と投票について①	講義	【予習】投票について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	公共政策の決定における投票に関して説明する。			
14回	テーマ	公共政策と投票について②	講義	【予習】中位投票者について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	中位投票者定理等について説明する。			
15回	テーマ	これまでの授業のまとめ	講義	【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。課題について、取り組む。	90
	内容	これまでの授業のまとめを行う。（課題解答と到達度評価ポートフォリオの提出）			

科目名	現代の社会と経済（２全学科）	開講学年	2	講義コード	2121003	区分	選必
英文表記	Modern society and economy	開講期	前後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	大野 正久 （非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師室（遠隔授業のため、基本的には在室していない。）	オフィスアワー	木曜日、５時限

メールアドレス	ohno@educ.kumamoto-u.ac.jp

キーワード	価格決定の理論　ゲーム理論　限界の概念　地域経済　　環境経済　教養的知識　論理力　自己管理力

授業概要

授業形態については、オンデマンドの遠隔授業で実施します。 授業では、価格決定の理論やゲーム理論等の経済学の基本的な考え方について学びます。ゲーム理論は、複数の主体による選択行動について考えていく学問です。 商品の価格はどのようにして決まるのだろうか、企業間の価格競争や国際貿易の問題は社会的にどのように評価できるのだろうか、人の消費行動においてどのような条件が成立しているのだろうか等の問題について、経済学の視点から考えていきます。また、地方分権の有効性や地域における環境政策が社会的にどのように評価できるか等の地域経済や環境経済に関する問題について、経済学の視点から考えていきます。 授業の前半では、価格決定の理論について説明します。後半では、ゲーム理論の基本的な考え方とゲーム理論の経済社会問題への応用について説明します。また、経済学において重要な概念である限界の概念について説明し、経済学の地域経済や環境経済への応用について説明します。（課題解答に関しては、課題を掲示した回以降に、可能な範囲においてフィードバックします。）

関連科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A1	A1
JABEE基準			afdg	afdg

JABEE記号		学生の到達度目標
a,d	①	経済学の基本的な考え方と社会における様々な経済問題への応用について理解できる。
f	②	論理的な考え方ができる。
f,g	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	40	50	0	0	10	0	100

教科書

教科書は使用しません。

参考書

特に指定はありません。

予備知識	受講にあたり、特に予備知識は必要ありません。
実務経験のある教員	
評価明細基準	小テスト（課題解答による評価）40点、レポート（課題解答による評価）50点、「到達度評価ポートフォリオ」10点により、評価する。（「到達度評価ポートフォリオ」については、上記の学生の到達度目標の項目1、2、3の達成度とその理由について、各200～250字でレポートを作成し、提出してください。）

学修上の注意 (SBOs)	1) 提出物は期限以内に提出してください。期限以後は一切受け付けません。但し公認欠席の場合は別途指示します。 2) レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 3) オフィスアワーにはWebClassのメールにて、質問を受け付けます。 その他、オフィスアワー外にも、WebClassのメールにて、質問を受け付けます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	講義	【復習】授業概要や授業の進め方等について、理解する。	15
	内容	授業の概要や授業の進め方、評価方法等について、説明する。			
2回	テーマ	経済のしくみについて	講義	【予習】経済のしくみについて調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	経済学とはどのような学問なのかということや経済のしくみ等について説明する。			
3回	テーマ	市場における需要について	講義	【予習】消費者の経済活動について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	市場における家計の経済活動等について説明する。			
4回	テーマ	市場における供給について	講義	【予習】企業の経済活動について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	市場における企業の経済活動等について説明する。			
5回	テーマ	市場における需要と供給について	講義	【予習】市場均衡について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	市場均衡や比較静学の概念について説明する。			
6回	テーマ	消費者余剰と生産者余剰について	講義	【予習】消費者余剰について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	消費者余剰、生産者余剰、そして、社会的余剰の概念について説明する。			
7回	テーマ	経済学の国際経済等への応用について	講義	【予習】国際貿易について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	国際貿易は、商品の輸入国にとって望ましいのか否かという問題等について、経済学の視点から説明する。			
8回	テーマ	ゲーム理論①	講義	【予習】ゲーム理論について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	ゲーム理論の考え方や囚人のジレンマについて説明する。			
9回	テーマ	ゲーム理論②	講義	【予習】ゲーム理論の応用について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	企業間の価格競争や国際貿易等の問題について、ゲーム理論を用いて、説明する。			
10回	テーマ	ゲーム理論③	講義	【予習】ゲーム理論の応用について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	逐次手番ゲームの考え方について説明する。企業の参入問題等について、ゲーム理論を用いて説明する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	限界の概念について	講義	【予習】限界の概念について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	経済学において重要な考え方である限界の概念について説明する。			
12回	テーマ	地方分権化と地域における環境政策について	講義	【予習】地方分権について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	地方分権化が望ましいのか否かについて、限界の概念を用いて説明する。また、外部性の概念について説明し、地域における環境政策に外部性が伴う場合、その政策決定が社会的に望ましいのか否かについて、限界の概念を用いて説明する。			
13回	テーマ	公共政策と投票について①	講義	【予習】投票について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	公共政策の決定における投票に関して説明する。			
14回	テーマ	公共政策と投票について②	講義	【予習】中位投票者について調べてみる。　【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。	60
	内容	中位投票者定理等について説明する。			
15回	テーマ	これまでの授業のまとめ	講義	【復習】授業内容について、繰り返し学習して理解を深める。課題について、取り組む。	90
	内容	これまでの授業のまとめを行う。（課題解答と到達度評価ポートフォリオの提出）			

科目名	アートとデザイン（１全学科）	開講学年 1	講義コード 2121101	区分 選必
英文表記	Art&Design	開講期 後期	開講形態 対面授業	単位数 2

担当教員	永田 郁（アジア美術史他）　奥田直辰（グラフィック）　馬頭亮太（グラフィック）　森野晶人（グラフィック）（実務経験）　甲野 善一郎（写真）　飯田 晴彦（プロダクト）（実務経験)　原田 和典（都市環境）（実務経験）　村井健太郎（マンガ表現）　木下 裕士（マンガ表現）

研究室	L 号館芸術学部棟	オフィスアワー	上記教員のオフィスアワーに準じる

メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp

キーワード	美術史　現代アート　アート思考　デザイン(グラフィック、写真、プロダクト、都市環境）　マンガ表現

授業概要	21世紀に入って、サイエンスとアート、デザインの関係はより一層接近し、それらのボーダーを越えて、隣接領域より新たなテクノロジー、アート、デザインが誕生しています。それらは「ものづくり・創造（Creativity）」と言う点では同じで、切り離せません。不安定で、不確定的な要素が多い現代社会において、その情況を乗り越えるために近年、ますます「アート的・デザイン的な」思考（感性）が必要な時代となってきています。 本講義は工学部・情報学部・生物生命学部・薬学部向け（芸術学部も受講可）に、毎回芸術学部の教員それぞれの領域についてのオムニバス講義により、アートとデザインがどんな世界なのかを体験、理解し、アート的、デザイン的な思考法の様々な事例を学びます。 この授業では毎回担当する各教員が前職における作家・研究者・デザイナーとしての実務の経験を活かし、広く芸術の分野において授業の中で学生たちに教授している。

関連科目
芸術学部全開講科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	アートとデザインの世界（可能性）を受講生それぞれの立場・視点により理解し、文章で表現することができる。
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	90	0	0		10		100

教科書	

参考書	マンガ版マルチスピーシーズ人類学　以文社　奥野克巳・シンジルト編 モア・ザン・ヒューマン マルチスピーシーズ人類学と環境人文学　以文社　奥野克巳・近藤祉秋・ナターシャ・ファイン編 図説人新世 環境破壊と気候変動の人類史　東京書籍　ギスリ・パルソン著・長谷川眞理子監修・梅田智世訳

予備知識	高等学校までの図工･美術等の知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.毎回各教員の授業に関する小テスト(Webclass)永田担当50点、デザイン教員40点(1テーマ5点)。(90点) 2. 学修到達度レポート(10点) の計100点。

学修上の注意 (SBOs)	レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	アートとデザイン	対面		
	内容	オリエンテーション	講義		
2回	テーマ	アート領域：芸術鑑賞（第1~2回）	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	鑑賞の哲学（永田）	講義・演習		
3回	テーマ	アート領域：現代アートⅠ（第3~4回）	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	芸術とは？（永田）	講義・演習		
4回	テーマ	アート領域：現代アートⅡ（第5~6回）	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	「みる」ということ：ソフィ・カルと河原温（永田）	講義・演習		
5回	テーマ	アート領域：音楽を聴く（第7回）	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	20世紀の音楽（電子音楽・アジア）（永田）	鑑賞		
6回	テーマ	アート領域：人新世・人類学とアート（第8回）	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	地球を考える（永田）	講義・演習		
7回	テーマ	デザイン領域：グラフィック第1回	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	人間と社会とデザイン（奥田）	講義		
8回	テーマ	デザイン領域：グラフィック第2回	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	現代の多様化したグラフィックデザインから20世紀のポスター文化を見る（馬頭）	講義		
9回	テーマ	デザイン領域：グラフィック第3回	内面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	コミュニケーションデザイン（森野）	講義		
10回	テーマ	デザイン領域：写真・映像	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	現代の写真や視覚表現から技術・理論を通した展開の事例（甲野）	講義		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	デザイン領域:プロダクト	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	プロダクトデザインとは何か?（飯田）	講義		
12回	テーマ	デザイン領域:都市環境	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	熊本の景観をつくるもの（原田）	講義		
13回	テーマ	デザイン領域:マンガ表現第1回	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	マンガって何? ー歴史･文化と世界への拡がりー（村井）	講義		
14回	テーマ	デザイン領域:マンガ表現第2回	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	マンガ表現の多様性 ー機能マンガなどの事例を通してー（木下）	講義		

科目名	アートとデザイン（２全学科）	開講学年 2	講義コード 2121103	区分 選必
英文表記	Art&Design	開講期 前期／後期	開講形態 対面授業	単位数 2

担当教員	永田 郁（アジア美術史他）　奥田直辰（グラフィック）　馬頭亮太（グラフィック）　森野 晶人（グラフィック）（実務経験）　甲野 善一郎（写真）　飯田 晴彦（プロダクト）（実務経験)　原田 和典（都市環境）（実務経験）　村井健太郎（マンガ表現）　木下 裕士（マンガ表現）

研究室	L 号館芸術学部棟	オフィスアワー 上記教員のオフィスアワーに準じる

メールアドレス	mahabala@art.sojo-u.ac.jp

キーワード	美術史　現代アート　アート思考　デザイン（グラフィック、写真、プロダクト、都市環境）　マンガ表現

授業概要	21世紀に入って、サイエンスとアート、デザインの関係はより一層接近し、それらのボーダーを越えて、隣接領域より新たなテクノロジー、アート、デザインが誕生しています。それらは「ものづくり・創造（Creativity）」と言う点では同じで、切り離せません。不安定で、不確定的な要素が多い現代社会において、その情況を乗り越えるために近年、ますます「アート的・デザイン的な」思考（感性）が必要な時代となってきています。 本講義は工学部・情報学部・生物生命学部・薬学部向け（芸術学部も受講可）に、毎回芸術学部の教員それぞれの領域についてのオムニバス講義により、アートとデザインがどんな世界なのかを体験、理解し、アート的、デザイン的な思考法の様々な事例を学びます。 この授業では毎回担当する各教員が前職における作家・研究者・デザイナーとしての実務の経験を活かし、広く芸術の分野において授業の中で学生たちに教授している。

関連科目
芸術学部全開講科目

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標			
	JABEE基準			

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	アートとデザインの世界（可能性）を受講生それぞれの立場・視点により理解し、文章で表現することができる。
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	90	0	0		10		100

教科書	

参考書	マンガ版マルチスピーシーズ人類学　以文社　奥野克巳・シンジルト編 モア・ザン・ヒューマン マルチスピーシーズ人類学と環境人文学　以文社　奥野克巳・近藤祉秋・ナターシャ・ファイン編 図説人新世 環境破壊と気候変動の人類史　東京書籍　ギスリ・パルソン著・長谷川眞理子監修・梅田智世訳

予備知識	高等学校までの図工･美術等の知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.毎回各教員の授業に関する小テスト(Webclass)永田担当50点、デザイン教員40点(1テーマ5点)。(90点) 2. 学修到達度レポート(10点) の計100点。

学修上の注意 (SBOs)	レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	アートとデザイン	対面		
	内容	オリエンテーション	講義		
2回	テーマ	アート領域：芸術鑑賞（第1~2回）	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	鑑賞の哲学（永田）	講義・演習		
3回	テーマ	アート領域：現代アートⅠ（第3~4回）	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	芸術とは？（永田）	講義・演習		
4回	テーマ	アート領域：現代アートⅡ（第5~6回）	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	「みる」ということ：ソフィ・カルと河原温（永田）	講義・演習		
5回	テーマ	アート領域：音楽を聴く（第7回）	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	20世紀の音楽（電子音楽・アジア）（永田）	鑑賞		
6回	テーマ	アート領域：人新世・人類学とアート（第8回）	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	地球を考える（永田）	講義・演習		
7回	テーマ	デザイン領域：グラフィック第1回	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	人間と社会とデザイン（奥田）	講義		
8回	テーマ	デザイン領域：グラフィック第2回	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	現代の多様化したグラフィックデザインから20世紀のポスター文化を見る（馬頭）	講義		
9回	テーマ	デザイン領域：グラフィック第3回	内面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	コミュニケーションデザイン（森野）	講義		
10回	テーマ	デザイン領域：写真・映像	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	現代の写真や視覚表現から技術・理論を通した展開の事例（甲野）	講義		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	デザイン領域:プロダクト	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	プロダクトデザインとは何か?（飯田）	講義		
12回	テーマ	デザイン領域:都市環境	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	熊本の景観をつくるもの（原田）	講義		
13回	テーマ	デザイン領域:マンガ表現第1回	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	マンガって何? ー歴史･文化と世界への拡がりー（村井）	講義		
14回	テーマ	デザイン領域:マンガ表現第2回	対面	内容に関する小レポート作成。	90
	内容	マンガ表現の多様性 ー機能マンガなどの事例を通してー（木下）	講義		

科目名	日本国憲法（３機シス情）	開講学年	3	講義コード	2121201	区分	選択
英文表記	The Constitution of Japan	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔）	単位数	2

担当教員	竹内明里（実務教員）
研究室	本館付属棟312
オフィスアワー	木曜２限
メールアドレス	take1118@ed.sojo-u.ac.jp
キーワード	法　社会　憲法　人権　　統治　教養的知識　論理力　アカデミックスキル　　自己管理力

授業概要

1 授業概要（1）日本国憲法は基本的人権の尊重や平和主義、国民主権など日本国のあり方を定めている。 本講義では、裁判例や社会問題(「ブラック校則」等)を題材に、教員の官庁での経験も踏まえつつ、日本国憲法の理念、人権、日本の統治の仕組みへの理解を深める。（2）授業はレジュメに沿ったオンデマンド講義形式(初回のみ対面)。 授業動画視聴後に課題(確認ワーク、社会問題に対する自分の意見の論述等)を行う。また、社会問題について憲法の観点から検討し、レポートを作成する。（3)なお、ニーズに応じて教員採用試験や公務員試験対策を盛り込む。 2 学修上の助言 （1）心構えとして、日本国憲法や社会問題を他人事と思わず、自分の問題として考えること。（2）憲法が関わる社会問題には、「1+1=2」のような明確な正解がないこともあるし、「多数派が正しい」とは限らない。様々な意見を議論する中で新しい解決策が生まれることも多い。 授業では、こうした問題について、憲法からの視点を含む様々な意見を考えたうえで、自分の意見を構築するように努めること。（3）毎回の課題は必ず行うこと。 また、課題作成時には、社会問題を自分で調べてまとめ、自分の考えを他人にわかるように述べる努力をすること。この努力を継続することで、社会問題への理解や表現力が高めることができる。 *提出物については、第11・12第11回(レポート作業回)、第15回(まとめ)にて、フィードバックします。

関連科目

法学を扱う授業としては、本学では「現代の社会と法」と本講義「日本国憲法」が設定されています。 そのうち、本講義は「日本国憲法」に特化したものであり、幅広い法の基礎知識を学ぶ「現代の社会と法」に対して応用的な立ち位置にあります。 また、本科目は、公務員・教員採用試験受験者のニーズを重視します。 上記のことから、本科目の講義内容や課題は、試験対策が含まれるなど、「現代の社会と法」よりも質量ともに高度なものになります。 法について、より一般的な基礎知識を学びたい場合には、「現代の社会と法」を履修することをお勧めします。

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】・・・必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・日本国憲法

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A１	A１
JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a	①	日本国憲法の基本的な仕組みを理解することができる
f	②	日本国憲法や関連する社会問題について、自分の意見を論理的に説明することができる
f	③	日本国憲法や関連する社会問題について学術レポートを作成することができる
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	0	25	0	0	10	65	100

教科書

教職課程のための憲法入門 <第2版>　弘文堂　原博史、斎藤一久　　978-4-335-35763-3

参考書

いちばんやさしい憲法入門 第6版　有斐閣　初宿正典ほか　978-4-641-22150-5
憲法 第七版　岩波書店　芦部信喜ほか　978-4000613224
ポケット六法 令和5年版　有斐閣　佐伯 仁志、大村 敦志ほか　978-4641009233

予備知識	(1) 憲法に関する動きへの関心と、自ら学ぼうとする意欲を持つこと (2) ニュースで現代の社会の動きを把握すること (3) 中学や高校の「現代社会」「公民」で学ぶ程度の知識は必須です。　日本国憲法の成立や三大原理など、中高で習う基礎的知識がある前提で授業を行います。(4)本学の「現代の社会と法」(履修している場合)の知識をおさらいしておくこと。
実務経験のある教員	竹内明里
評価明細基準	(1) 課題研究(レポート) 25点(第11回レポート作成中間報告5点+第12回レポート20点)　指定するテーマについて、参考文献(書籍1冊+その他1つ以上)を読み、条件を守ってレポート(1200字以上)を作成する。　*テーマや参考文献、条件は第1回授業で説明する。(2)「到達度評価ポートフォリオ」10点　「学生の到達度目標」の各項目の達成度とその理由を200字～250文字で入力し、第15回授業日から一週間後までに提出。(3) その他:課題研究回(第11、12回)を除いた授業回の課題 65点(5点×13回)　毎回、一週間の期限内に提出すること。 期限後の提出は評価対象外。(4) 60点以上を合格とする。再試験等は一切行わない。

学修上の注意 (SBOs)	(1) ウェブクラスの出席手続きを必ず行うこと。(2) 提出物は期限内に提出する。　原則として、公欠相当事由がない場合、締切後の提出を受け付けない。　そのような事情がある学生は速やかに教員に連絡すること。(3) 提出物を作成する際は、授業動画を視聴し、理解したうえで、条件を守って作成すること。理解不十分・条件違反の場合は減点されます(採点されない場合もあります)。(4) 課題作成につき、参考資料(ウェブサイト等)や他の学生の作品のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は不正行為とみなし、単位を認めない。(5) その他、授業内での教員の指示を守ること。(6)質問は気軽にしてください。 オフィスアワーに対面での質問等を希望する場合は研究室にて対応します。オフィスアワーにTeamsのチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。その他メール等での質問も受け付けます。　*詳しくはウェブクラスで説明します。(7)大学メール・ウェブクラスメールは毎日確認すること。課題などにつき、個別に連絡している場合があります。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	対面	（復習）ガイダンスでの説明事項についての確認。 復習課題（確認ワーク）を行う。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	30
	内容	授業概要、受講時の注意事項など	講義　演習		
2回	テーマ	イントロダクション	遠隔	（予習）「憲法の基礎」に関する記事を読み、高校までの知識を整理する課題を行う。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	憲法の意義、歴史、三大原理（国民主権・基本的人権の尊重・平和主義）を学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	人権総論1	遠隔	（予習）「人権の享有主体（受け手）」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	人権保障の歴史、人権の観念、享有主体等を学ぶ。	講義　演習		
4回	テーマ	人権総論2	遠隔	（予習）「基本的人権の限界」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	基本的人権の限界（公共の福祉、私人間効力等）を学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	人権各論1：包括的基本権	遠隔	（予習）「新しい人権」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	幸福追求権や新しい人権（プライバシー権、自己決定権等）の意義、内容、限界を学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	人権各論2：法の下の平等	遠隔	（予習）「法の下の平等」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	法の下の平等の意義、内容、限界を学ぶ。	講義　演習		
7回	テーマ	人権各論3：精神的自由権①	遠隔	（予習）「思想・良心の自由、信教の自由」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	思想・良心の自由、信教の自由について、意義、内容、限界を学ぶ。	講義　演習		
8回	テーマ	人権各論4：精神的自由権②、	遠隔	（予習）「表現の自由、学問の自由」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	表現の自由、学問の自由について、意義、内容、限界を学ぶ。	講義　演習		
9回	テーマ	人権各論5：経済的自由権	遠隔	予習）「職業選択の自由」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと）	60
	内容	職業選択の自由、居住・移転の自由、財産権について、意義、内容、限界を学ぶ。	講義　演習		
10回	テーマ	人権各論6：参政権・社会権	遠隔	（予習）「選挙権、教育を受ける権利」に関する記事を読む。（復習）復習課題（確認ワーク、ミニレポート）を行う。配布資料の再読。 *課題締切：一週間後の23:59（特別の指示がある場合はそちらに従うこと） ★レポート作成に向けて、授業前日までに参考資料を集めておくこと	60
	内容	選挙権等の参政権及び生存権・教育を受ける権利等の社会権について、意義、内容、限界を学ぶ。	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	課題研究(レポート)1　レポート作成の準備	遠隔	(予習)レポートで使う資料を収集しておく。(復習)課題として、レポートで使用する参考文献情報とレポートの大まかな骨組みを中間報告する。*課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)	60
	内容	授業内で指定するテーマから1つ選び、条件を守ってレポートを作成する。*レポートの作成について、参考文献情報の整理、書式の設定、論述のパターンを学ぶ。今回は最低限、参考文献情報を整理し、大まかな骨組み作成を行う。	講義　演習		
12回	テーマ	課題研究(レポート))2　レポート作成	遠隔	(予習)参考文献情報の整理とレポートの骨組みを作成しておく(前回課題)。(復習)レポートを作成し、第13回前日までに指定の方法で提出する。	60
	内容	○授業内で指示するテーマから一つ選び、書式を守ってレポートを作成する。*今回は、前回作成した参考文献情報整理やレポートの骨組をもとに、レポートを完成させる。	講義　演習		
13回	テーマ	統治1:国会	遠隔	(予習)統治の仕組みに関する記事を読む。(復習)復習課題(確認ワーク、ミニレポート)を行う。配布資料の再読。*課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)	60
	内容	権力分立制の歴史と意義、日本国憲法における三権の位置付けを把握する。また、国会の地位(国民の代表機関・国権の最高機関・唯一の立法機関)を学ぶ。	講義　演習		
14回	テーマ	統治2:内閣	遠隔	(予習)統治の仕組みに関する記事を読む。(復習)復習課題(確認ワーク、ミニレポート)を行う。配布資料の再読。*課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)　※ポートフォリオ「科目到達度レポート」を入力する(第15回前日までに提出)	60
	内容	行政権の概念、内閣の組織と権能、議院内閣制等を学ぶ。	講義　演習		
15回	テーマ	統治3:裁判所　全体のまとめ	遠隔	(予習)統治の仕組みに関する記事を読む。(復習)復習課題(確認ワーク、ミニレポート)を行う。「三権分立ワークシート」を完成させて提出する。配布資料の再読。*課題締切:一週間後の23:59(特別の指示がある場合はそちらに従うこと)	60
	内容	司法権の概念、裁判所の組織と権能、司法権の独立や違憲審査制等を学ぶ。また、これまでの課題やレポートの総括を行う。	講義　演習		

科目名	英語圏の文化と社会（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2121301	区分	選必
英文表記	Cultures of the English Speaking World	開講期	後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	ハーシェル・ロブ Hirschel, Rob　ハンフリーズ・ギャレス Humphreys, Gareth

研究室	SILC 401	オフィスアワー	Please refer to sojosilc.com so josilc.comで確認してください。

メールアドレス	hirschel@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	English-speaking communities 英語圏コミュニティー　Cultural learning 文化学習　Intercultural understanding 異文化理解　Diversity 多様性　Independent learning 自主学習　教養的知識　論理力　自己管理力

授業概要	Develop intercultural understanding in the context of English-speaking communities　英語圏コミュニティーでの異文化理解の向上を図る。Develop awareness of cultural diversity among English-speaking communities　英語圏コミュニティー内の文化多様性認知の向上を図る。Understand different characteristics of English language use in the world　世界での異なる英語言語の特徴を理解する。Promote independent learning and research skills about cultural topics　文化話題についての自立学習やリサーチ力の促進を図る。We teach this course based on our research and experience in study abroad and international education in previous teaching positions in Japanese and international universities.　このコースでは自己の留学経験や研究、及び前職の日本や海外の大学での留学に関する教育業務の経験をもとに指導を行います。　Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		fg	fg	fg

JABEE記号		学生の到達度目標
fg	①	I can explain the learning content in relation to my own experiences.　学習内容を自分の経験と関連付けて説明することができる。
fg	②	I can research and report information about (some) English-speaking communities. 英語圏コニュニティーについて情報を調査し報告できる。
fg	③	I can demonstrate independent learning skills on cultural topics through independent tasks and self-reflection. 自主学習課題、自己振り返りを通して文化的なテーマでの自立学習スキルを実演できる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	20	0	10	40	100

教科書	ありません

参考書	

予備知識	基礎英語力 Basic English skills
実務経験のある教員	
評価明細基準	The extent to which a student has achieved the goals of the course is assessed through the following: 学生がどのようにコース目標を達成したかは次のように評価する: Reflections (30): reflections on the learning content using English or Japanese. レポート (30) は 振返り:英語または日本語で学習内容を振り返る Final project (20): silconline.jp- based project. 成果発表 (20) は 最終プロジェクト: silconline.jp に基づくプロジェクト Sojo Portfolio (10): A description of your achievements ポートフォリオ (10): 到達達成ポートフォリオ Culture Portfolio (40): reading and independent tasks. その他 (40) は「Cultureのポートフォリオ」: リーディングと自主学習課題

学修上の注意 (SBOs)	1. Classes essentially consist of presentation of learning content by the teacher(s), followed by tasks requiring individual engagement with content, leading to self-reflection. 学習内容は教員により提示され、以下のような課題で、各々の課題への取り組みや学習への振り返り課題が望まれる。 2. More complex reading content is presented in Japanese. より複雑な読解内容では日本語で提示する。 3. You are expected to use English as much as possible to communicate with your teacher(s) and other students. However, the course is not a test of English and you should not worry about making mistakes. 教員及び他の学生とはな能な限り英語を活用することが期待される。しかし、コースは英語テストとは異なり、英語の間違いへお心配は必要ない。 4. Self-reflections and reports can be completed in Japanese and/or English. 自己の振り返りやレポートは日本語やまたは英語で行うことができる。 5. In the final project you will be required to submit a video entry on silconline.jp. 最終レポートはsilconline.jpでビデオの提出が要求される。 6. If you do not attend class regularly or on time, you will not be able to pass the course. クラスに定期的または時間通りに出席しない場合はコースに合格できないでしょう。 7. If you are absent for any reason you must contact your teacher(s) to catch up on work missed. いかなる理由でも欠席する場合は教員に連絡し、欠席した分の課題の遅れを取り戻さなければならない。 8. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Introduction: Cultures of English-speaking world	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	コース説明：英語圏の文化Introduction to course aims and outline. コースの目的と概要導入	e-L		
2回	テーマ	Topic 1: English language in the world	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Global Englishes Varieties of English in the world トピック1：グローバル英語における英語言語	e-L		
3回	テーマ	Topic 2: English in Japan	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Role of English in Japan トピック2：日本での英語 日本での英語の役割	e-L		
4回	テーマ	Topic 3: Multilingualism and multiculturalism	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Multicultural communities Using more than one language トピック3：多言語主義と多文化主義 多文化コミュニティー 1つの言語えはなく複数言語を使う	e-L		
5回	テーマ	Topic 4: Cultural stereotyping	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Avoiding stereotypes Generalisations トピック4：文化的ステレオタイプ ステレオタイプを避ける 一般化	e-L		
6回	テーマ	Topic 5: Families	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Family life in English-speaking communities トピック5：家族 英語圏コミュニティーでの家族生活	e-L		
7回	テーマ	Topic 6: Education	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Education differences in the world トピック6：教育 世界の教育の違い	e-L		
8回	テーマ	Topic 7: Student life	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Comparing student life in English-speaking communities with Japanese student life トピック7：英語圏コミュニティーと日本の学生生活の学生生活比較	e-L		
9回	テーマ	Topic 8: Work	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Working styles Working differences トピック8：働き方 仕事の違い	e-L		
10回	テーマ	Topic 9: Living abroad	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Experiences of Japanese people living overseas トピック9：海外生活 日本人の海外生活経験	e-L		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	Topic 10: Social life	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Comparing social life in English-speaking communities トピック10：社会生活 英語圏との社会生活比較	e-L		
12回	テーマ	Topic 11: Culture in the News, Reflection on previous work	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Students choose a cultural topic and examine related news media, Students reflect on their previous work トピック11：文化的なトピックを選び、関連するニュースメディアを調べます、これまでの課題の振り返り	e-L		
13回	テーマ	Topic 12: Open Topic	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Student-selected topic トピック12：オープン課題 学生がトピックを選択	e-L		
14回	テーマ	Final project: Summarising the course (1)	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Summarising and reflecting 最終プロジェクト：コースの概要(1)まとめと振り返り	e-L		
15回	テーマ	Final project: Summarising the course (2)	遠隔授業	復習と振り返り Review and reflection コース評価 Course evaluation 最終レポート Final report 崇城ポートフォリオSojo Portfolio	90分
	内容	Reflection and evaluation, 最終プロジェクト：コースの概要(2)振返り、評価とフィードバック	e-L		

科目名	英語圏の文化と社会（２全学科）	開講学年	1	講義コード	2121303	区分	選必
英文表記	Cultures of the English Speaking World	開講期	後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	ハーシェル・ロブ Hirschel, Rob　ハンフリーズ・ギャレス Humphreys, Gareth

研究室	SILC 401	オフィスアワー	Please refer to sojosilc.com s ojosilc.comで確認してください。

メールアドレス	hirschel@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	English-speaking communities 英語圏コミュニティー　Cultural learning 文化学習　Intercultural understanding 異文化理解　Diversity 多様性　Independent learning 自主学習　教養的知識　論理力　自己管理力

授業概要	Develop intercultural understanding in the context of English-speaking communities　英語圏コミュニティーでの異文化理解の向上を図る。Develop awareness of cultural diversity among English-speaking communities　英語圏コミュニティー内の文化多様性認知の向上を図る。Understand different characteristics of English language use in the world　世界での異なる英語言語の特徴を理解する。Promote independent learning and research skills about cultural topics　文化話題についての自立学習やリサーチ力の促進を図る。We teach this course based on our research and experience in study abroad and international education in previous teaching positions in Japanese and international universities. このコースでは自己の留学経験や研究、及び前職の日本や海外の大学での留学に関する教育業務の経験をもとに指導を行います。 Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		fg	fg	fg

JABEE記号		学生の到達度目標
fg	①	I can explain the learning content in relation to my own experiences. 学習内容を自分の経験と関連付けて説明することができる。
fg	②	I can research and report information about (some) English-speaking communities. 英語圏コニュニティーについて情報を調査し報告できる。
fg	③	I can demonstrate independent learning skills on cultural topics through independent tasks and self-reflection. 自主学習課題、自己振り返りを通して文化的なテーマでの自立学習スキルを実演できる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	30	20	0	10	40	100

教科書	ありません

参考書	

予備知識	基礎英語力 Basic English skills
実務経験のある教員	
評価明細基準	The extent to which a student has achieved the goals of the course is assessed through the following: 学生がどのようにコース目標を達成したかは次のように評価する: Reflections (30): reflections on the learning content using English or Japanese. レポート (30) は 振返り:英語または日本語で学習内容を振り返る Final project (20): silconline.jp- based project. 成果発表 (20) は 最終プロジェクト: silconline.jp に基づくプロジェクト Sojo Portfolio (10): A description of your achievements ポートフォリオ (10): 到達達成ポートフォリオ Culture Portfolio (40): reading and independent tasks. その他 (40) は「Cultureのポートフォリオ」: リーディングと自主学習課題

学修上の注意 (SBOs)	1. Classes essentially consist of presentation of learning content by the teacher(s), followed by tasks requiring individual engagement with content, leading to self-reflection. 学習内容は教員により提示され、以下のような課題で、各々の課題への取り組みや学習への振り返り課題が望まれる。 2. More complex reading content is presented in Japanese. より複雑な読解内容では日本語で提示する。 3. You are expected to use English as much as possible to communicate with your teacher(s) and other students. However, the course is not a test of English and you should not worry about making mistakes. 教員及び他の学生とはな能な限り英語を活用することが期待される。しかし、コースは英語テストとは異なり、英語の間違いへお心配は必要ない。 4. Self-reflections and reports can be completed in Japanese and/or English. 自己の振り返りやレポートは日本語やまたは英語で行うことができる。 5. In the final project you will be required to submit a video entry on silconline.jp. 最終レポートはsilconline.jpでビデオの提出が要求される。 6. If you do not attend class regularly or on time, you will not be able to pass the course. クラスに定期的または時間通りに出席しない場合はコースに合格できないでしょう。 7. If you are absent for any reason you must contact your teacher(s) to catch up on work missed. いかなる理由でも欠席する場合は教員に連絡し、欠席した分の課題の遅れを取り戻さなければならない。 8. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Introduction: Cultures of English-speaking world	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	コース説明：英語圏の文化Introduction to course aims and outline. コースの目的と概要導入	e-L		
2回	テーマ	Topic 1: English language in the world	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Global Englishes Varieties of English in the world トピック1：グローバル英語における英語言語	e-L		
3回	テーマ	Topic 2: English in Japan	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Role of English in Japan トピック2：日本での英語 日本での英語の役割	e-L		
4回	テーマ	Topic 3: Multilingualism and multiculturalism	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Multicultural communities Using more than one language トピック3：多言語主義と多文化主義 多文化コミュニティー 1つの言語えはなく複数言語を使う	e-L		
5回	テーマ	Topic 4: Cultural stereotyping	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Avoiding stereotypes Generalisations トピック4：文化的ステレオタイプ ステレオタイプを避ける 一般化	e-L		
6回	テーマ	Topic 5: Families	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Family life in English-speaking communities トピック5：家族 英語圏コミュニティーでの家族生活	e-L		
7回	テーマ	Topic 6: Education	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Education differences in the world トピック6：教育 世界の教育の違い	e-L		
8回	テーマ	Topic 7: Student life	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Comparing student life in English-speaking communities with Japanese student life トピック7：英語圏コミュニティーと日本の学生生活の学生生活比較	e-L		
9回	テーマ	Topic 8: Work	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Working styles Working differences トピック8：働き方 仕事の違い	e-L		
10回	テーマ	Topic 9: Living abroad	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Experiences of Japanese people living overseas トピック9：海外生活 日本人の海外生活経験	e-L		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	Topic 10: Social life	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Comparing social life in English-speaking communities トピック10：社会生活 英語圏との社会生活比較	e-L		
12回	テーマ	Topic 11: Culture in the News, Reflection on previous work	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Students choose a cultural topic and examine related news media, Students reflect on their previous work トピック11：文化的なトピックを選び、関連するニュースメディアを調べます、これまでの課題の振り返り	e-L		
13回	テーマ	Topic 12: Open Topic	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Student-selected topic トピック12：オープン課題 学生がトピックを選択	e-L		
14回	テーマ	Final project: Summarising the course (1)	遠隔授業	宿題：振り返り、リーディング、自主調査 Homework: Self-reflection, Reading, Independent research	90分
	内容	Summarising and reflecting 最終プロジェクト：コースの概要(1)まとめと振り返り	e-L		
15回	テーマ	Final project: Summarising the course (2)	遠隔授業	復習と振り返り Review and reflection コース評価 Course evaluation 最終レポート Final report 崇城ポートフォリオSojo Portfolio	90分
	内容	Reflection and evaluation, 最終プロジェクト：コースの概要(2)振返り、評価とフィードバック	e-L		

科目名	中国語圏の文化と社会（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2121401	区分	選択
英文表記	Culture and Society in the Chinese Speaking Area	開講期	後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	単援朝（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	木曜４限

メールアドレス	shan@@ed.sojo-u.ac.jp以降を入力

キーワード	言語、文化、社会、理解、共生、知的好奇心　教養的知識　論理力　アカデミックスキル　　自己管理力

授業概要

中国語圏とは中国語を母語とする人々が生活する国と地域を指し、中国、台湾、香港、マカオなどはそうです。この地域の文化と社会を学ぶことにより異文化理解の意義と方法を知るのが目的です。学習内容は言語、文学、美術、音楽、建築、民族、社会などに及びます。対面授業の場合は、11回目まで教員の講義（映像資料を使う）を聞いて中国語圏の文化と社会について学んでいき、毎回学習内容に合わせて小テストやレポートを課します。12回目から三回にわたって、異文化理解実践として、受講生が指定された範囲内で関心のある課題を見つけチームで共同研究し成果発表を行います。最終回は担当教員が成果発表について講評を行います。遠隔授業の場合は基本的に動画を見て勉強してもらいます。具体的に授業13回+自学自習課題2回という構成となり、仕上げとして、チームでの共同研究と成果発表の代わりに、個人で研究課題レポートを作成し提出するという形になります。

関連科目

中国語

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			a,f,g,i	a,f,g,i

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	中国語圏の文化と社会についての理解を深め、グローバル的な考え方を身に着けることができる。
f.g	②	異文化理解の意義と方法を把握し、批判的思考をすることができる。
f.i	③	資料検索及び編集の能力を高め、文化、社会に関する学術レポートを作成し、研究成果をプレゼンすることができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	0	３６	２４	３０	0	10	0	100

教科書

なし。必要に応じてプリントを配布する。

参考書

中国文化事典　丸善出版　中国文化事典編集員会
漢字の世界：中国文化の原点1　平凡社　白川静
漢字の世界：中国文化の原点2　平凡社　白川静

予備知識	中国語という言語と中国という国についてある程度知っておきます。
実務経験のある教員	
評価明細基準	小テストは9回×4点＝36点　レポートは4回×6点＝24点　研究課題レポート（遠隔授業）または研究発表（対面授業）は1回×30点　ポートフォリオは1回×10点＝10点

学修上の注意 (SBOs)	1.必ずレポートを提出すること。 2.引用について必ず出所を明記すること。レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 3.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 4.遠隔授業の場合は課題を期限内に提出すること。 5.オフィスアワーの時間帯ににテレビ電話やメール等での質問も受け付けます（メールでの質問は随時に受け付けます）。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	中国語と中国語圏とは	講義	小テスト（授業内で指示）	９０
	内容	中国語の特徴について日本語との比較で説明する			
2回	テーマ	異文化理解のために	講義	レポート課題（授業内で指示）	９０
	内容	異文化理解の意義と方法について説明する			
3回	テーマ	文学と文化（1）	講義	小テスト（授業内で指示）	９０
	内容	中国文学の流れから中国文化の特徴を見る			
4回	テーマ	文学と文化（2）	講義	小テスト（授業内で指示）	９０
	内容	中日文学の相違点から中国文化の特徴を見る			
5回	テーマ	中国文化の基本知識	講義	小テスト（授業内で指示）	９０
	内容	思想、宗教、地理、文学、民俗、風習などからトータル的に学ぶ			
6回	テーマ	中国の書道と絵画	講義	小テスト（授業内で指示）	９０
	内容	中国の書道と絵画（水墨画）の基本を紹介する			
7回	テーマ	中国語圏の音楽	講義	小テスト（授業内で指示）	９０
	内容	古代から現代まで中国における音楽の歴史と現状を紹介する			
8回	テーマ	中国語圏の戯曲	講義	レポート課題（授業内で指示）	９０
	内容	京劇を中心に各地方の戯曲を紹介する			
9回	テーマ	中国語圏の建築	講義	小テスト（授業内で指示）	９０
	内容	中国における建築の歴史と特徴を学ぶ			
10回	テーマ	少数民族の生活	講義	小テスト（授業内で指示）	９０
	内容	中国大陸における少数民族の生活を北方の少数民族を中心に紹介する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	中国語圏の食文化	講義	小テスト（授業内で指示）	９０
	内容	中国各地の料理を麺類を中心に紹介する。			
12回	テーマ	日本人の目で捉えられた現代中国（1）	講義	レポート課題（授業内で指示）	９０
	内容	都市編・観光客として重慶、長沙、北京等を訪れた日本人の体験を通して都市部の生活を見る。			
13回	テーマ	日本人の目で捉えられた現代中国（2）	演習	レポート課題（授業内で指示）	９０
	内容	田舎編・中国の田舎に住む日本人の体験を通して田舎の生活を見る。			
14回	テーマ	研究（自学自習）課題（1）	演習	研究課題レポートまたは研究成果発表（発表はチームで行い）	９０
	内容	中国語圏の文化と社会をめぐって関心のある課題を大学で専攻する分野の知識を生かす見地から研究、発表する。AL　AL			
15回	テーマ	研究（自学自習）課題（2）	演習	レポート（授業内で指示）　ポートフォリオ提出	９０
	内容	中国の映画を見てレポートを書く　AL			

科目名	韓国語圏の文化と社会（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2121501	区分	選必
英文表記	Culture and Society in the Korean Speaking Area	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	辛教燦（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	木曜日の13:00～14:30

メールアドレス	viduri1026@gmail.com

キーワード	韓国語　韓国文化　韓国社会　アカデミックスキル　　論理力　教養的知識　自己管理力

授業概要	本講義を通して異文化に対する理解と批判的思考を身につける。具体的には、韓国語圏の文化と社会について映画・ドラマ・K-POPなどの文化コンテンツを通じて考える。また、受講生は授業内容や韓国の文化及び文化コンテンツで興味を持ったものについてレポートを提出する。

関連科目
韓国語　他の言語科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f.i	①	異文化について主体的に調査することができる。
f.g	②	調査した内容を批判的に分析することができる。
a.f	③	異文化について理解を深めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	30	0	30	30	0	10	0	100

教科書	授業中に配布する

参考書	

予備知識	韓国文化や韓国事情への関心が必要である。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.定期試験30点 2.レポート30点：表紙不要、PCで作成、A4用紙1枚にまとめて提出、書式はWordの基本仕様：余白各25㎜、1頁40行、1行40文字、MS明朝、文字のサイズ10.5 3.成果発表30点 4.ポートフォリオ(学習到達度レポート)10点、レポートの後ろに内容を張り付け、一つのファイルにまとめて提出（ポータルサイトでの入力と別途に定期試験と一緒に提出）

学修上の注意 (SBOs)	1.授業に積極的に参加し、主体的に発言及び意見交換を行うこと。 2.異文化への理解を深めること。 3.異文化について客観的分析を行うこと。 4.ポートフォリオ(学習到達度レポート)は課題として必ず提出すること。 5.課題を提出する際は、ファイルがアップロードされていることを再度確認すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。 7.オフィスアワーにTeams のチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。　※その他メール等での質問も受け付けます。 8.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けません。但し公認欠席の場合は別途指示します。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス①	対面授業	授業の流れを確認	90
	内容	授業の流れを確認	講義		
2回	テーマ	ガイダンス②	対面授業	授業資料を確認し、まとめと感想を提出	90
	内容	授業の概要の確認とグループ分け	講義　演習		
3回	テーマ	韓国の歴史	対面授業	授業資料を確認し、まとめと感想を提出	90
	内容	韓国歴史の概観	講義　演習		
4回	テーマ	日韓交流史	対面授業	授業資料を確認し、まとめと感想を提出	90
	内容	古代と現代の日韓交流	講義　演習		
5回	テーマ	韓国の文字	対面授業	授業資料を確認し、まとめと感想を提出	90
	内容	韓国ドラマから見るハングル	講義　演習		
6回	テーマ	韓国の映画と社会①	対面授業	授業資料を確認し、まとめと感想を提出	90
	内容	韓国映画から見る韓国社会①	講義　演習		
7回	テーマ	韓国の戦争と分断	対面授業	授業資料を確認し、まとめと感想を提出	90
	内容	韓国映画から見る韓国戦争と分断	講義　演習		
8回	テーマ	韓国の民主化	対面授業	授業資料を確認し、まとめと感想を提出	90
	内容	韓国映画から見る韓国の民主化	講義　演習		
9回	テーマ	韓国の政治と言論	対面授業	授業資料を確認し、まとめと感想を提出	90
	内容	韓国映画から見る政治と言論	講義　演習		
10回	テーマ	韓国の教育	対面授業	授業資料を確認し、まとめと感想を提出	90
	内容	韓国ドラマから見る韓国の教育	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 内容	韓国の映画と社会② 韓国映画から見る韓国社会②	対面授業 講義　演習	授業資料を確認し、まとめと感想を提出	90
12回	テーマ 内容	韓国の観光 韓国の文化コンテンツと観光	対面授業 講義　演習	授業資料を確認し、まとめと感想を提出	90
13回	テーマ 内容	韓国の歌 韓国の歌謡とK-POP	対面授業 講義　演習	授業資料を確認し、まとめと感想を提出	90
14回	テーマ 内容	韓国の節句 韓国の節句と文化	対面授業 講義　演習	授業資料を確認し、まとめと感想を提出	90
15回	テーマ 内容	総合演習 総合演習	対面授業 講義　演習	レポートとポートフォリオ(到達度レポート)の提出	90
16回	テーマ 内容	試験 定期試験	対面授業 講義　演習	レポートとポートフォリオ(到達度レポート)の提出	90

科目名	フランス語圏の文化と社会（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2121601	区分	選必
英文表記	Culture and Society in France	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	フェレロ イヴ （非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	木曜日、授業の後

メールアドレス	yves@plum.plala.or.jp

キーワード	文化　社会　生活　理解　　共生　教養的知識　論理力　アカデミックスキル　　自己管理力

授業概要	フランス語圏の文化と社会について講義と演習という形で学んでいく。この学習を通して異文化理解の意義と方法を知るのが目的である。 授業のやり方としては、受講生に与えられた課題をめぐってチームで共同研究をし成果発表をしてもらうことを主とする。

関連科目

フランス語

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準		a,f,g	a,f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	フランスの文化と社会について理解を深め、客観視することができる
f .g	②	異文化理解の意義と方法を把握し、批判的思考をすることができる
f.i	③	資料検索及び編集の能力を高め、研究成果を発表することができる
f,g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	33	57	0	10	0	100

教科書	無し

参考書	無し

予備知識	フランス語とフランスという国についてある程度知っておく。
実務経験のある教員	
評価明細基準	レポートはA4用紙1枚、1行40文字、1頁40行、MS明朝、100文字以上 14回X2点＝28点　成果発表は1回X57点＝57点 ポートフォリオは1回X10点＝10点

学修上の注意 (SBOs)	1.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 2.引用について出所を明記すること。.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	演習		９０
	内容	授業の説明			
2回	テーマ	フランス語	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	フランス語の発音、原点			
3回	テーマ	EUでのフランス	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	地理:ヨーロッパとフランス			
4回	テーマ	スポーツ	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	国技、格闘技、教育			
5回	テーマ	料理	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	惣菜、調味料、パン対米			
6回	テーマ	休暇	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	過ごし方、有休			
7回	テーマ	ファッション	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	洋服、下着、身に着ける物			
8回	テーマ	藝術	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	歴史、美術、音楽			
9回	テーマ	身体	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	香水、生活習慣			
10回	テーマ	家族	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	家事、性、老者			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	教育	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	制服、旅費、性教育、国語			
12回	テーマ	健康	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	国民保険、病院			
13回	テーマ	労働	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	社員と上司、労働者と政府との関係			
14回	テーマ	税金	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	種類、使い方			
15回	テーマ	政治	演習	左のテーマについて成果発表を纏める	９０
	内容	政治のシステム			
16回	テーマ	まとめ	講義	ポートフォリオ提出	
	内容	講評・まとめ			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎①（テニス）（１機宇）	開講学年 1	講義コード 2130201	区分 選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期 後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1
担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）			
研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー 火曜日4限		
メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp			
キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀・作法			

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人・小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省・感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度・生活習慣調査を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀・作法」 ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」 ④「敬語・接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験・小テスト・レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】・・・2科目より1科目 選択必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康・体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康・体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837
バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度（活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性）を評価する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は、各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける（3密回避、授業前後の手洗い消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け 内容 履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
2回	テーマ コース別活動 内容 グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
3回	テーマ 基本技能の習得 内容 各種目特性、基本技能の把握。人間性向上プログラムⅢ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
4回	テーマ 基本技能の応用 内容 前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅢ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
5回	テーマ 戦術の習得 内容 戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅢ③	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
6回	テーマ 実戦への応用 内容 第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅢ④	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
7回	テーマ ゲーム理論習得 内容 試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅢ⑤	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
8回	テーマ スキルの向上 内容 VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅣ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
9回	テーマ 技能の習得活動 内容 技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅣ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
10回	テーマ 対抗戦活動2 内容 第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3		【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④	実技		
12回	テーマ	対抗戦活動4		【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤	実技		
13回	テーマ	技能テスト		【復習】技能テストの結果を振り返る。	６０
	内容	種目別の技能テスト。	実技		
14回	テーマ	課題レポート1		【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	６０
	内容	課題レポート1を作成する。	遠隔		
15回	テーマ	課題レポート2		【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。　【復習】「学修到達度レポート」の作成	５０ １０
	内容	課題レポート2を作成する。	遠隔		

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎②（サッカー）（１機宇）	開講学年 1	講義コード 2130202	区分 選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期 後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー 火曜日4限

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀･作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀･作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康･体力維持増進 2) 礼儀･作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人･小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省･感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度･生活習慣調査を講義中に行い、生活状況･健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀･作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀･作法」 ③「挨拶･謝罪の礼儀･作法」 ④「敬語･接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837
バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度（活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性）を評価する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は、各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける（3密回避、授業前後の手洗い消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本技能の把握。 人間性向上プログラムⅢ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ③			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。 人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	６０
	内容	種目別の技能テスト。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	６０
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。 【復習】「学修到達度レポート」の作成	５０ １０
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎③（バドミントン）（１機宇）	開講学年 1	講義コード 2130203	区分 選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期 後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー 火曜日4限

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀･作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀･作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康･体力維持増進 2) 礼儀･作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人･小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省･感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度･生活習慣調査を講義中に行い、生活状況･健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀･作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀･作法」 ③「挨拶･謝罪の礼儀･作法」 ④「敬語･接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837
バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する(40点) 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度(活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性)を評価する(30点) 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する(10点×2＝20点) 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する(10点)

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は、各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける（3密回避、授業前後の手洗い消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本技能の把握。 人間性向上プログラムⅢ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ③			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。 人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3		【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④	実技		
12回	テーマ	対抗戦活動4		【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤	実技		
13回	テーマ	技能テスト		【復習】技能テストの結果を振り返る。	６０
	内容	種目別の技能テスト。	実技		
14回	テーマ	課題レポート1		【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	６０
	内容	課題レポート1を作成する。	遠隔		
15回	テーマ	課題レポート2		【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。　【復習】「学修到達度レポート」の作成	５０ １０
	内容	課題レポート2を作成する。	遠隔		

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎④（卓球）（１機宇）	開講学年	1	講義コード	2130204	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日4限

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人・小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省・感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度・生活習慣調査を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀・作法」 ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」 ④「敬語・接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験・小テスト・レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】・・・2科目より1科目 選択必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康・体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康・体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837
バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する(40点) 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度(活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性)を評価する(30点) 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する(10点×2＝20点) 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する(10点)

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は、各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける（3密回避、授業前後の手洗い消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け 内容 履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
2回	テーマ コース別活動 内容 グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
3回	テーマ 基本技能の習得 内容 各種目特性、基本技能の把握。人間性向上プログラムⅢ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
4回	テーマ 基本技能の応用 内容 前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅢ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
5回	テーマ 戦術の習得 内容 戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅢ③	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
6回	テーマ 実戦への応用 内容 第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅢ④	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
7回	テーマ ゲーム理論習得 内容 試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅢ⑤	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
8回	テーマ スキルの向上 内容 VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅣ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
9回	テーマ 技能の習得活動 内容 技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅣ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
10回	テーマ 対抗戦活動2 内容 第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	６０
	内容	種目別の技能テスト。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	６０
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。　【復習】「学修到達度レポート」の作成	５０ １０
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎①（テニス）（１ナ建）	開講学年 1	講義コード 2130205	区分 選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期 後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1
担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）			
研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー 火曜日4限		
メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp			
キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀・作法			

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人・小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省・感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度・生活習慣調査を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀・作法」 ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」 ④「敬語・接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験・小テスト・レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】・・・2科目より1科目 選択必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康・体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康・体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837
バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度（活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性）を評価する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は、各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける（3密回避、授業前後の手洗い消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け 内容 履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
2回	テーマ コース別活動 内容 グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
3回	テーマ 基本技能の習得 内容 各種目特性、基本技能の把握。人間性向上プログラムⅢ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
4回	テーマ 基本技能の応用 内容 前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅢ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
5回	テーマ 戦術の習得 内容 戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅢ③	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
6回	テーマ 実戦への応用 内容 第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅢ④	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
7回	テーマ ゲーム理論習得 内容 試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅢ⑤	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
8回	テーマ スキルの向上 内容 VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅣ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
9回	テーマ 技能の習得活動 内容 技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅣ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
10回	テーマ 対抗戦活動2 内容 第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	６０
	内容	種目別の技能テスト。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	６０
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。　【復習】「学修到達度レポート」の作成	５０ １０
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎②（サッカー）（１ナ建）	開講学年 1	講義コード 2130206	区分 選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期 後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー 火曜日4限

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人・小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省・感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度・生活習慣調査を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀・作法」 ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」 ④「敬語・接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験・小テスト・レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】・・・2科目より1科目 選択必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康・体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康・体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837
バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度（活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性）を評価する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は、各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける（3密回避、授業前後の手洗い消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本技能の把握。 人間性向上プログラムⅢ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ③			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。 人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3		【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④	実技		
12回	テーマ	対抗戦活動4		【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤	実技		
13回	テーマ	技能テスト		【復習】技能テストの結果を振り返る。	６０
	内容	種目別の技能テスト。	実技		
14回	テーマ	課題レポート1		【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	６０
	内容	課題レポート1を作成する。	遠隔		
15回	テーマ	課題レポート2		【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。　【復習】「学修到達度レポート」の作成	５０ １０
	内容	課題レポート2を作成する。	遠隔		

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎③（バドミントン）（１ナ建）	開講学年	1	講義コード	2130207	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日4限

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀・作法

授業概要	本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人・小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省・感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度・生活習慣調査を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀・作法」 ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」 ④「敬語・接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験・小テスト・レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目
健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・2科目より1科目 選択必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・体育

建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4
JABEE基準		f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康・体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康・体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835 サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837 バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度（活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性）を評価する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は、各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける（3密回避、授業前後の手洗い消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本技能の把握。 人間性向上プログラムⅢ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ③			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。 人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。 【復習】「学修到達度レポート」の作成	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎④（卓球）（１ナ建）	開講学年 1	講義コード 2130208	区分 選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期 後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー 火曜日4限

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人・小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省・感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度・生活習慣調査を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀・作法」 ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」 ④「敬語・接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験・小テスト・レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】・・・2科目より1科目 選択必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康・体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康・体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837
バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する(40点) 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度(活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性)を評価する(30点) 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する(10点×2＝20点) 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する(10点)

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は、各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける（3密回避、授業前後の手洗い消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け 内容 履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
2回	テーマ コース別活動 内容 グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
3回	テーマ 基本技能の習得 内容 各種目特性、基本技能の把握。人間性向上プログラムⅢ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
4回	テーマ 基本技能の応用 内容 前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅢ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
5回	テーマ 戦術の習得 内容 戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅢ③	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
6回	テーマ 実戦への応用 内容 第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅢ④	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
7回	テーマ ゲーム理論習得 内容 試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅢ⑤	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
8回	テーマ スキルの向上 内容 VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅣ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
9回	テーマ 技能の習得活動 内容 技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅣ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
10回	テーマ 対抗戦活動2 内容 第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。 【復習】「学修到達度レポート」の作成	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎①（テニス）（１情）	開講学年 1	講義コード 2130209	区分 選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期 後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1
担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）			
研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー 火曜日4限		
メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp			
キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀・作法			

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人・小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省・感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度・生活習慣調査を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀・作法」 ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」 ④「敬語・接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験・小テスト・レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】・・・2科目より1科目 選択必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康・体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康・体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837
バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度（活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性）を評価する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は、各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける（3密回避、授業前後の手洗い消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け 内容 履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
2回	テーマ コース別活動 内容 グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
3回	テーマ 基本技能の習得 内容 各種目特性、基本技能の把握。人間性向上プログラムⅢ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
4回	テーマ 基本技能の応用 内容 前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅢ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
5回	テーマ 戦術の習得 内容 戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅢ③	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
6回	テーマ 実戦への応用 内容 第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅢ④	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
7回	テーマ ゲーム理論習得 内容 試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅢ⑤	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
8回	テーマ スキルの向上 内容 VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅣ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
9回	テーマ 技能の習得活動 内容 技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅣ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
10回	テーマ 対抗戦活動2 内容 第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。 【復習】「学修到達度レポート」の作成	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎②（サッカー）（１情）	開講学年 1	講義コード 2130210	区分 選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期 後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー 火曜日4限

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人・小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省・感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度・生活習慣調査を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀・作法」 ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」 ④「敬語・接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験・小テスト・レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】・・・2科目より1科目 選択必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康・体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康・体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837
バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度（活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性）を評価する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は、各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける（3密回避、授業前後の手洗い消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本技能の把握。 人間性向上プログラムⅢ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ③			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。 人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。 【復習】「学修到達度レポート」の作成	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎③（バドミントン）（１情）	開講学年 1	講義コード 2130211	区分 選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期 後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー 火曜日4限

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀･作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀･作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康･体力維持増進 2) 礼儀･作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人･小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省･感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度･生活習慣調査を講義中に行い、生活状況･健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀･作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀･作法」 ③「挨拶･謝罪の礼儀･作法」 ④「敬語･接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837
バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度（活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性）を評価する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え､トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する(体育会館のロッカーを使用可) 4.講義関連の質問先は､各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は､不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける(3密回避､授業前後の手洗い消毒など) 7.タオル､飲料などすべて各自で準備し､使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合､健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け 内容 履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
2回	テーマ コース別活動 内容 グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
3回	テーマ 基本技能の習得 内容 各種目特性、基本技能の把握。 人間性向上プログラムⅢ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
4回	テーマ 基本技能の応用 内容 前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
5回	テーマ 戦術の習得 内容 戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ③	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
6回	テーマ 実戦への応用 内容 第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ④	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
7回	テーマ ゲーム理論習得 内容 試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅢ⑤	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
8回	テーマ スキルの向上 内容 VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
9回	テーマ 技能の習得活動 内容 技能向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
10回	テーマ 対抗戦活動2 内容 第2回対抗戦。終了後反省討議。 人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。 【復習】「学修到達度レポート」の作成	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎④（卓球）（１情）	開講学年	1	講義コード	2130212	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日4限

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人・小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省・感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度・生活習慣調査を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀・作法」 ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」 ④「敬語・接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験・小テスト・レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】・・・2科目より1科目 選択必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康・体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康・体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837
バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度（活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性）を評価する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は、各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける（3密回避、授業前後の手洗い消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け 内容 履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
2回	テーマ コース別活動 内容 グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
3回	テーマ 基本技能の習得 内容 各種目特性、基本技能の把握。人間性向上プログラムⅢ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
4回	テーマ 基本技能の応用 内容 前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅢ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
5回	テーマ 戦術の習得 内容 戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅢ③	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
6回	テーマ 実戦への応用 内容 第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅢ④	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
7回	テーマ ゲーム理論習得 内容 試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅢ⑤	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
8回	テーマ スキルの向上 内容 VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅣ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
9回	テーマ 技能の習得活動 内容 技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅣ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
10回	テーマ 対抗戦活動2 内容 第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。 【復習】「学修到達度レポート」の作成	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ①（テニス）（１美デ◎・１薬）	開講学年	1	講義コード	2130213	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日4限

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人・小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省・感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度・生活習慣調査を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀・作法」 ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」 ④「敬語・接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験・小テスト・レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】・・・2科目より1科目 選択必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康・体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康・体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837
バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度（活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性）を評価する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え､トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する(体育会館のロッカーを使用可) 4.講義関連の質問先は､各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は､不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける(3密回避､授業前後の手洗い消毒など) 7.タオル､飲料などすべて各自で準備し､使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合､健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ：ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け 内容：履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
2回	テーマ：コース別活動 内容：グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
3回	テーマ：基本技能の習得 内容：各種目特性、基本技能の把握。人間性向上プログラムⅢ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
4回	テーマ：基本技能の応用 内容：前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅢ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
5回	テーマ：戦術の習得 内容：戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅢ③	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
6回	テーマ：実戦への応用 内容：第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅢ④	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
7回	テーマ：ゲーム理論習得 内容：試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅢ⑤	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
8回	テーマ：スキルの向上 内容：VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅣ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
9回	テーマ：技能の習得活動 内容：技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅣ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
10回	テーマ：対抗戦活動2 内容：第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 対抗戦活動3 内容 第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
12回	テーマ 対抗戦活動4 内容 第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
13回	テーマ 技能テスト 内容 種目別の技能テスト。	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	６０
14回	テーマ 課題レポート1 内容 課題レポート1を作成する。	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	６０
15回	テーマ 課題レポート2 内容 課題レポート2を作成する。	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。 【復習】「学修到達度レポート」の作成	５０ １０

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ②（サッカー）（１美デ◎・１薬）	開講学年	1	講義コード	2130214	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日4限

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人・小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省・感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度・生活習慣調査を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀・作法」 ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」 ④「敬語・接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験・小テスト・レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】・・・2科目より1科目 選択必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準		f, g, i	f, g, i	

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康・体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康・体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837
バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度（活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性）を評価する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え､トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する(体育会館のロッカーを使用可) 4.講義関連の質問先は､各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は､不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける(3密回避､授業前後の手洗い消毒など) 7.タオル､飲料などすべて各自で準備し､使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合､健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本技能の把握。 人間性向上プログラムⅢ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ③			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。 人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 対抗戦活動3 内容 第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
12回	テーマ 対抗戦活動4 内容 第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
13回	テーマ 技能テスト 内容 種目別の技能テスト。	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
14回	テーマ 課題レポート1 内容 課題レポート1を作成する。	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
15回	テーマ 課題レポート2 内容 課題レポート2を作成する。	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。 【復習】「学修到達度レポート」の作成	50 10

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ③（バドミントン）（１美デ◎・１薬）	開講学年	1	講義コード	2130215	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日4限

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀･作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀･作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康･体力維持増進 2) 礼儀･作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人･小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省･感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度･生活習慣調査を講義中に行い、生活状況･健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀･作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀･作法」 ③「挨拶･謝罪の礼儀･作法」 ④「敬語･接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837
バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度（活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性）を評価する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え､トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する(体育会館のロッカーを使用可) 4.講義関連の質問先は､各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は､不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける(3密回避､授業前後の手洗い消毒など) 7.タオル､飲料などすべて各自で準備し､使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合､健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本技能の把握。 人間性向上プログラムⅢ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ③			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。 人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 対抗戦活動3 内容 第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
12回	テーマ 対抗戦活動4 内容 第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
13回	テーマ 技能テスト 内容 種目別の技能テスト。	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
14回	テーマ 課題レポート1 内容 課題レポート1を作成する。	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
15回	テーマ 課題レポート2 内容 課題レポート2を作成する。	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。 【復習】「学修到達度レポート」の作成	50 10

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ④（卓球）（１美デ◎・１薬）	開講学年 1	講義コード 2130216	区分 選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期 後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー 火曜日4限

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人・小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省・感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度・生活習慣調査を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀・作法」 ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」 ④「敬語・接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験・小テスト・レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】・・・2科目より1科目 選択必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康・体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康・体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837
バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度（活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性）を評価する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	○工学部･情報学部･生物生命学部･芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え､トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する(体育会館のロッカーを使用可) 4.講義関連の質問先は､各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は､不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける(3密回避､授業前後の手洗い消毒など) 7.タオル､飲料などすべて各自で準備し､使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合､健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け 内容 履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
2回	テーマ コース別活動 内容 グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
3回	テーマ 基本技能の習得 内容 各種目特性、基本技能の把握。人間性向上プログラムⅢ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
4回	テーマ 基本技能の応用 内容 前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。人間性向上プログラムⅢ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
5回	テーマ 戦術の習得 内容 戦術・作戦確認、実践へ向け練習。人間性向上プログラムⅢ③	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
6回	テーマ 実戦への応用 内容 第1回対抗戦実施。個別反省活動。人間性向上プログラムⅢ④	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
7回	テーマ ゲーム理論習得 内容 試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。人間性向上プログラムⅢ⑤	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
8回	テーマ スキルの向上 内容 VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。人間性向上プログラムⅣ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
9回	テーマ 技能の習得活動 内容 技能向上を目指した活動を行う。人間性向上プログラムⅣ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
10回	テーマ 対抗戦活動2 内容 第2回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。 【復習】「学修到達度レポート」の作成	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎①（テニス）（１生物）	開講学年	1	講義コード	2130217	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日4限

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康･体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀･作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康･体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体･徳･智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度･生活習慣調査を行い生活状況･健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀･作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康･体力維持増進 2) 礼儀･作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人･小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省･感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度･生活習慣調査を講義中に行い、生活状況･健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀･作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀･作法」 ③「挨拶･謝罪の礼儀･作法」 ④「敬語･接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験･小テスト･レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･2科目より1科目 選択必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康･体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康･体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837
バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度（活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性）を評価する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は、各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける（3密回避、授業前後の手洗い消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け 内容 履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
2回	テーマ コース別活動 内容 グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
3回	テーマ 基本技能の習得 内容 各種目特性、基本技能の把握。 人間性向上プログラムⅢ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
4回	テーマ 基本技能の応用 内容 前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
5回	テーマ 戦術の習得 内容 戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ③	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
6回	テーマ 実戦への応用 内容 第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ④	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
7回	テーマ ゲーム理論習得 内容 試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅢ⑤	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
8回	テーマ スキルの向上 内容 VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ①	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
9回	テーマ 技能の習得活動 内容 技能向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ②	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
10回	テーマ 対抗戦活動2 内容 第2回対抗戦。終了後反省討議。 人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。 【復習】「学修到達度レポート」の作成	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎②（サッカー）（１生物）	開講学年	1	講義コード	2130218	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日4限

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀・作法

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人・小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省・感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度・生活習慣調査を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀・作法」 ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」 ④「敬語・接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験・小テスト・レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】・・・2科目より1科目 選択必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康・体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康・体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837
バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度（活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性）を評価する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は、各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける（3密回避、授業前後の手洗い消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本技能の把握。 人間性向上プログラムⅢ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ③			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。 人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。 【復習】「学修到達度レポート」の作成	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎③（バドミントン）（１生物）	開講学年	1	講義コード 2130219	区分 選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期	後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1
担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）				
研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）			オフィスアワー 火曜日4限	
メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp				
キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀・作法				

授業概要

本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人・小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省・感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度・生活習慣調査を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀・作法」 ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」 ④「敬語・接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験・小テスト・レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目

健康科学概論

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修・選択】・・・2科目より1科目 選択必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康・体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康・体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書

参考書

見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835
サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837
バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229
アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度（活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性）を評価する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は、各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける（3密回避、授業前後の手洗い消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本技能の把握。 人間性向上プログラムⅢ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ③			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。 人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	６０
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	６０
	内容	種目別の技能テスト。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	６０
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。　【復習】「学修到達度レポート」の作成	５０ １０
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康スポーツ教育Ⅱ◎④（卓球）（１生物）	開講学年	1	講義コード	2130220	区分	選必／必修
英文表記	Health Sports Education Ⅱ	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数	1

担当教員	藤原大樹　阪本達也　木戸貴弘　水月晃　　荒井久仁子（非常勤）

研究室	G313（藤原大樹）　G311（阪本達也）　G314（木戸貴弘）　G312（水月晃）　体育会館１F健康支援センター（荒井久仁子）	オフィスアワー	火曜日4限

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④礼儀・作法

授業概要	本科目においては、健康スポーツ教育Ⅰから引き続き、スポーツを通して健康・体力の維持増進を体得し、それらを自己管理することの理解を深め、併せて、「社会人基礎力」を習得する。 本科目では,個人スポーツ、また小集団スポーツ活動により、身体の健康の維持増進、基礎体力向上は無論のこと、自己における精神的なストレスを解消することによる精神的健康を維持増進させる。 本科目では個の力をより一層向上させることを目的とし、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることである。 また、健康度・生活習慣調査を行い生活状況・健康状態を把握すると同時に規則正しい生活習慣の確立を促す。 そして、日本の伝統的な礼儀・作法を習得し人間性向上を目指す。そこで本科目は、スポーツを通して1) 健康・体力維持増進 2) 礼儀・作法の習得 の向上を図り、これら2点を重点項目とし、社会の一員としての人間力向上を目指す。 【授業方法】 スポーツ種目として、主に個人・小集団スポーツを設定する（施設の関係上調整有）。種目は自由選択により決定する。個別に毎回の反省・感想レポートを作成することにより成長を図る。 健康度・生活習慣調査を講義中に行い、生活状況・健康状態を把握する。 人間性向上においては、毎回の授業内でテーマに添って担当教員による講話を行う。テーマ及び講話の内容については次の項目を基本とする。≪Ⅲ礼儀・作法≫ ①「自己紹介」の基本 ②「日本の伝統的な礼儀・作法」 ③「挨拶・謝罪の礼儀・作法」 ④「敬語・接客」 ⑤「身だしなみ」 ≪Ⅳスポーツを通じた人間性の向上≫ ①「つまずいても立ち直る心（レジリエンス）」 ②「成長しようとする心（マインドセット）」 ③「自分を大切に思う心（自己肯定感）」 ④「自分はできると思う心（自己効力感）」 ⑤「敬意を持つ心（スポーツマンシップ）」 【試験・小テスト・レポート等に対するフィードバック方法】 技能テスト、小テスト、レポートに対するフィードバックは種目によって異なるため、授業初回に担当教員から説明を行う。

関連科目
健康科学概論

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・2科目より1科目 選択必修 【科目区分】・・・文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】・・・体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g,h,i	①	スポーツ活動を通した健康・体力づくりの重要性を理解し、それを実践することができる。
f,g,h,i	②	健康・体力づくりに必要なスポーツの基礎的スキルを習得することができる。
f,g,h,i	③	社会生活において求められる人間性（礼儀作法、心理特性）の重要性を理解し、高めることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	0	30	20	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	見てわかる硬式テニス　西東社　戸田豊監修　4791600835 サッカーワンポイントレッスン500　学研　鈴木正治他　9784054054837 バドミントン　西東社　銭谷欽治　4791604229 アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握(情報収集)を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】各種目ごとに技能テストを実施する（40点） 2.【小テスト】授業の振り返りレポートと人間性向上プログラムレポートで学習到達度（活動記録、理解度、興味関心、自主性、積極性）を評価する（30点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	○工学部・情報学部・生物生命学部・芸術学部は『必修科目』 ○薬学部は『選択必修科目』　1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.種目に適合したウエアに着替え、トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は、各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策をこころがける（3密回避、授業前後の手洗い消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする　※健康スポーツ教育Ⅰで「テニス」「卓球」を選択した場合、健康スポーツ教育Ⅱにおいては同一種目を選択できないので注意すること

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス 授業概要説明 種目コース分け	講義	【予習】選択可能種目について概要を調べる。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を説明し、活動するコース種目選択を行う。【体育会館2F集合】			
2回	テーマ	コース別活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	グループ編成。選択種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	各種目特性、基本技能の把握。 人間性向上プログラムⅢ①			
4回	テーマ	基本技能の応用	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。 人間性向上プログラムⅢ②			
5回	テーマ	戦術の習得	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。 人間性向上プログラムⅢ③			
6回	テーマ	実戦への応用	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第1回対抗戦実施。個別反省活動。 人間性向上プログラムⅢ④			
7回	テーマ	ゲーム理論習得	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。終了後の反省討議。 人間性向上プログラムⅢ⑤			
8回	テーマ	スキルの向上	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	VTR視聴などを活用し、相互間でのハイレベルのスキル理論を習得。 人間性向上プログラムⅣ①			
9回	テーマ	技能の習得活動	実技	【予習】選択種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	技能向上を目指した活動を行う。 人間性向上プログラムⅣ②			
10回	テーマ	対抗戦活動2	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第2回対抗戦。終了後反省討議。 人間性向上プログラムⅣ③ 生活習慣・健康度調査を行う。 課題レポートのテーマを提示する。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対抗戦活動3	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第3回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ④			
12回	テーマ	対抗戦活動4	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	第4回対抗戦。終了後反省討議。人間性向上プログラムⅣ⑤			
13回	テーマ	技能テスト	実技	【復習】技能テストの結果を振り返る。	60
	内容	種目別の技能テスト。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」のテーマについて調べる。 【復習】「学修到達度レポート」の作成	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	健康科学概論（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2130301	区分	選必
英文表記	Health Science Theory	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	木戸貴弘

研究室	G314	オフィスアワー	火曜日の4限

メールアドレス	kido@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	健康づくり　生活習慣　運動･身体活動　運動処方

授業概要	本学の教育理念は「体･徳･智」です。「体」を最初に掲げているのは、私達が自らの人生を豊かに幸せに過ごすための大きな要素として、「心と体の健康」があげられるからです。健康科学概論は、心と体の健康に関する知識および身体運動に関することを学び、科学的な思考態度を養い、生活設計を図る能力と自己管理能力を育成することを目的としています。具体的には、健康科学、身体運動学、運動生理学、生涯スポーツを領域とし、また複雑多様化した現代社会への精神的な適応能力育成も視野に入れています。

関連科目
健康スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
a,d,h,i	①	健康の諸問題について、レポートを作成することができる。
a,d	②	健康、体力、生活習慣についての基礎的な知識を習得することができる。
a,d,g	③	生活習慣を改善するために目標設定を行い、自己管理するためのスキルを身につけることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	0	0	50	0	0	10	0	100

教科書	授業の中で指示をする

参考書	健康増進科学概論　東京教学社　今村裕行他　978−4−8082−6024−8

予備知識	1.自己生活習慣の把握 2.健康の維持増進への意欲･関心 3.健康に関する諸課題
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】健康科学概論の理解度を把握するため中間試験を実施する（40点） 2.【レポート】 ①授業レポート：各授業で提示されるテーマについてのレポートを作成する（2点×13回＝26点） ②課題レポート：担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（12点） （A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25mm、1000文字以上） ③生活習慣レポート：運動、栄養、体重など生活習慣についてのレポートを作成する（12点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で到達度評価レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	1.授業レポート、課題レポート、生活習慣レポートのテーマは授業内で提示する。 2.課題レポートを作成する際には引用文献・参考文献を2件以上明記する。ネットの資料から出典を明らかにせず剽窃（コピー＆ペースト）した場合は不可とするため注意すること。 3.質問等がある場合は、担当教員にメールで質問する。メールで質問する場合は、件名に「健康科学概論、所属学科名、学生番号、氏名」を必ず記載すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	校訓「体・徳・智」,健康とは	講義	【予習】シラバスを読み、授業内容の確認をする。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	健康とは,Quality of Life,平均寿命,健康寿命、我が国の健康課題、健康日本21　課題レポートのテーマを提示する			
2回	テーマ	生活習慣病	講義	【予習】「生活習慣病」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	メタボリックシンドローム、特定健康診断,内臓脂肪,高血圧症,糖尿病,脂肪異常症			
3回	テーマ	健康と体力	講義	【予習】「健康と体力」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	体力,健康と体力の関係,ライフステージ			
4回	テーマ	肥満と減量	講義	【予習】「肥満と減量」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	BMI,体組成,肥満の予防,ダイエット,低体重			
5回	テーマ	身体的健康と運動	講義	【予習】「身体的健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	エネルギー消費,骨格筋,運動の恩恵、不活動、身体活動基準2013, METs			
6回	テーマ	精神的健康と運動	講義	【予習】「精神的健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	ストレス,ストレスと運動,運動が及ぼす脳への影響,運動の恩恵			
7回	テーマ	社会的健康と運動	講義	【予習】「社会的健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	社会的健康、コミュニケーション、ライフスキル			
8回	テーマ	運動処方・トレーニング法	講義	【予習】「運動処方・トレーニング」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	トレーニングの原理・原則,トレーニングの条件,ACSMの基本原則,有酸素運動,最大酸素摂取量,心拍予備能,レジスタンストレーニング,最大反復回数			
9回	テーマ	子どもの健康と運動	講義	【予習】「子どもの健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	発育発達、運動発達の基礎、子どもにとっての運動・遊びの意義			
10回	テーマ	高齢者の健康と運動	講義	【予習】「高齢者の健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	加齢・老化、生活体力、ロコモティブシンドローム、認知症、高齢者における運動の意義			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	栄養	講義	【予習】「栄養」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	食生活の現状,食事バランスガイド			
12回	テーマ	睡眠・休養	講義	【予習】「睡眠・休養」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	体内時計、生活リズム、不眠・睡眠不足			
13回	テーマ	飲酒・喫煙・薬物	講義	【予習】「飲酒・喫煙・薬物」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	飲酒・喫煙・薬物が及ぼす健康被害、受動喫煙、アルコールハラスメント、依存症			
14回	テーマ	中間試験	演習	【予習】中間試験の準備を行う。	60
	内容	中間試験を受ける			
15回	テーマ	まとめ	演習	【復習】「到達度評価レポート」を作成する。	50 10
	内容	中間試験のフィードバックとまとめ			

科目名	健康科学概論（２全学科）	開講学年	2	講義コード	2130303	区分	選必
英文表記	Health Science Theory	開講期	前後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	藤原大樹　木戸貴弘

研究室	G313（藤原大樹）　G314（木戸貴弘）	オフィスアワー	火曜日の4限

メールアドレス	hfujiwara@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	健康づくり　生活習慣　運動･身体活動　運動処方

授業概要

本学の教育理念は「体･徳･智」です。「体」を最初に掲げているのは、私達が自らの人生を豊かに幸せに過ごすための大きな要素として、「心と体の健康」があげられるからです。健康科学概論は、心と体の健康に関する知識および身体運動に関することを学び、科学的な思考態度を養い、生活設計を図る能力と自己管理能力を育成することを目的としています。具体的には、健康科学、身体運動学、運動生理学、生涯スポーツを領域とし、また複雑多様化した現代社会への精神的な適応能力育成も視野に入れています。

関連科目

健康スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ

教職関連区分

【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･体育

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
a,d,h,i	①	健康の諸問題について、レポートを作成することができる。
a,d	②	健康、体力、生活習慣についての基礎的な知識を習得することができる。
a,d,g	③	生活習慣を改善するために目標設定を行い、自己管理するためのスキルを身につけることができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
40	0	0	50	0	0	10	0	100

教科書

授業の中で指示をする

参考書

健康増進科学概論　東京教学社　今村裕行他　978−4−8082−6024−8

予備知識	1.自己生活習慣の把握 2.健康の維持増進への意欲･関心 3.健康に関する諸課題
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】健康科学概論の理解度を把握するため中間試験を実施する（40点） 2.【レポート】 ①授業レポート：各授業で提示されるテーマについてのレポートを作成する（2点×13回＝26点） ②課題レポート：担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（12点） （A4用紙1枚、1頁40行、1行40文字、MS明朝、余白各25mm、1000文字以上） ③生活習慣レポート：運動、栄養、体重など生活習慣についてのレポートを作成する（12点） 3.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で到達度評価レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	1.授業レポート、課題レポート、生活習慣レポートのテーマは授業内で提示する。 2.課題レポートを作成する際には引用文献・参考文献を2件以上明記する。ネットの資料から出典を明らかにせず剽窃（コピー＆ペースト）した場合は不可とするため注意すること。 3.質問等がある場合は、担当教員にメールで質問する。メールで質問する場合は、件名に「健康科学概論、所属学科名、学生番号、氏名」を必ず記載すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	校訓「体・徳・智」,健康とは	講義	【予習】シラバスを読み、授業内容の確認をする。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	健康とは,Quality of Life,平均寿命,健康寿命、我が国の健康課題、健康日本21　課題レポートのテーマを提示する			
2回	テーマ	生活習慣病	講義	【予習】「生活習慣病」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	メタボリックシンドローム、特定健康診断,内臓脂肪,高血圧症,糖尿病,脂肪異常症			
3回	テーマ	健康と体力	講義	【予習】「健康と体力」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	体力,健康と体力の関係,ライフステージ			
4回	テーマ	肥満と減量	講義	【予習】「肥満と減量」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	BMI,体組成,肥満の予防,ダイエット,低体重			
5回	テーマ	身体的健康と運動	講義	【予習】「身体的健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	エネルギー消費,骨格筋,運動の恩恵、不活動、身体活動基準2013, METs			
6回	テーマ	精神的健康と運動	講義	【予習】「精神的健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	ストレス,ストレスと運動,運動が及ぼす脳への影響,運動の恩恵			
7回	テーマ	社会的健康と運動	講義	【予習】「社会的健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	社会的健康、コミュニケーション、ライフスキル			
8回	テーマ	運動処方・トレーニング法	講義	【予習】「運動処方・トレーニング」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	トレーニングの原理・原則,トレーニングの条件,ACSMの基本原則,有酸素運動,最大酸素摂取量,心拍予備能,レジスタンストレーニング,最大反復回数			
9回	テーマ	子どもの健康と運動	講義	【予習】「子どもの健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	発育発達、運動発達の基礎、子どもにとっての運動・遊びの意義、幼児期運動指針			
10回	テーマ	高齢者の健康と運動	講義	【予習】「高齢者の健康と運動」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	加齢・老化、生活体力、ロコモティブシンドローム、認知症、高齢者における運動の意義			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	栄養	講義	【予習】「栄養」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	食生活の現状,食事バランスガイド			
12回	テーマ	睡眠・休養	講義	【予習】「睡眠・休養」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	体内時計、生活リズム、不眠・睡眠不足			
13回	テーマ	飲酒・喫煙・薬物	講義	【予習】「飲酒・喫煙・薬物」について調べる。【復習】授業内容を確認し、授業レポートを作成する。	10 50
	内容	飲酒・喫煙・薬物が及ぼす健康被害、受動喫煙、アルコールハラスメント、依存症			
14回	テーマ	中間試験	演習	【予習】中間試験の準備を行う。	60
	内容	中間試験を受ける			
15回	テーマ	まとめ	演習	【復習】「到達度評価レポート」を作成する。	50 10
	内容	中間試験のフィードバックとまとめ			

科目名	健康スポーツ実習（２全学科）	開講学年 2	講義コード 2130402	区分 選択
英文表記	Health Sports Practicum	開講期 前後期	開講形態 ブレンド授業（対面＋遠隔））	単位数 1

担当教員	水月晃　阪本達也

研究室	G312（水月晃）　G311（阪本達也）	オフィスアワー 火曜日の４限

メールアドレス	suigetsu@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	①健康・体力維持増進　②人間力向上　③社会人基礎力　④運動・スポーツ習慣　⑤礼儀・作法

授業概要	健康スポーツ実習では、個人スポーツ/小集団スポーツ活動を通して身体的な健康・体力の維持増進、またストレス解消など精神的健康の維持増進を行うために必要な知識と実践方法を体得することにより、生涯を通してスポーツや身体運動に親しむ習慣を獲得する。 併せて、本学の理念「体・徳・智」を念頭に置き、実社会で求められる「粘り強さ」「規律性」「強い人間力」等を身につけることによって「社会人基礎力」を修得する。 活動種目は、卓球・バドミントン・バスケットボール・ソフトボール・サッカー・テニスの6種目のうち3種目である。前期は卓球・バドミントン・バスケットボール、後期はソフトボール・サッカー・テニスを開講する予定である。（※履修者数に応じて種目は変更される場合がある）

関連科目
健康スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ　健康科学概論

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			f, g, i	f, g, i

JABEE記号		学生の到達度目標
a,d,h,i	①	運動・スポーツが健康・体力に与える効果について理解し、レポートを作成することができる。
a,d	②	習慣的に運動を実践するために必要なスポーツの基礎的スキルやトレーニング方法などを修得することができる。
a,d,g	③	自らの運動行動を維持・増進するために目標を設定し、自己管理するための振り返りと改善ができる。
a,d,g	④	スポーツ活動の中で、他者を尊重し自分を律しながら目標を達成することができる。
g	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	34	0	36	20	0	0	10	0	100

教科書	

参考書	アクティブスポーツ（総合版）　大修館書店　鈴木 一行　978-4-469-36471-2

予備知識	選択種目における基本技術、ルール等の事前把握（情報収集）を行う。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.【中間試験】技能テストを実施する（34点） 2.【小テスト】毎回の振り返りレポートで学修到達度（活動記録、興味関心、自主性、積極性、協働性）を評価し、活動の評価を加味する（36点） 3.【レポート】担当教員から与えられたテーマに沿ってレポートを作成する（10点×2＝20点） 4.【ポートフォリオ】ポートフォリオ上で学修到達度レポートを作成する（10点）

学修上の注意 (SBOs)	1.集合時間厳守 授業開始20分を超えた場合は欠席扱いとする 2.トレーニングウエア・トレーニングシューズを持参する 3.貴重品を自己管理する（体育会館のロッカーを使用可） 4.講義関連の質問先は各担当教員の研究室及び体育会館1Fの健康支援センターとする 5.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす 6.基本的な感染対策を心がける（3密回避、授業前後の手洗い・消毒など） 7.タオル、飲料などすべて各自で準備し、使いまわさないようにする ※前後期で担当教員が異なります（前期：水月、後期：阪本）

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス授業概要説明	講義	【予習】生涯スポーツの概念について学習する。	60
	内容	履修、施設使用、行動に関する注意事項を確認し、今後の活動に対しての理解を深める。【体育会館2Fに集合】			
2回	テーマ	基本技能の習得（種目1）	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	種目の特性・歴史の理解。基本技能の把握。学習目標の確認。			
3回	テーマ	基本技能の応用（種目1）	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。			
4回	テーマ	戦術の習得 と実践への応用 （種目1）	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。対抗戦実施。個別反省活動。			
5回	テーマ	ゲーム理論習得　技能テスト（種目1）	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。 技能テスト。			
6回	テーマ	基本技能の習得（種目2）	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認。			
7回	テーマ	基本技能の応用（種目2）	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、個人技能の応用方法を学習する。			
8回	テーマ	戦術の習得と実践への応用 （種目2）	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。対抗戦実施。個別反省活動。			
9回	テーマ	ゲーム理論習得　技能テスト（種目2）	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。 技能テスト。			
10回	テーマ	基本技能の習得（種目３）	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	種目の特性・歴史の理解。基本技能の習得。学習目標の確認			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	基本技能の応用(種目3)	実技	【予習】種目における、基本技能について学習する。	60
	内容	前回の基本技能を踏まえ、技能の応用方法を学習する。課題レポートのテーマを提示する。			
12回	テーマ	戦術の習得と実践への応用 （種目3）	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	戦術・作戦確認、実践へ向け練習。対抗戦実施。個別反省活動。			
13回	テーマ	ゲーム理論習得 技能テスト(種目3)	実技	【復習】ゲーム理論を活用し、戦術・戦略を練る。	60
	内容	試合企画討議及び模擬試合。技能テスト。			
14回	テーマ	課題レポート1	遠隔	【予習】「課題レポート1」のテーマについて調べる。	60
	内容	課題レポート1を作成する。			
15回	テーマ	課題レポート2	遠隔	【予習】「課題レポート2」」のテーマについて調べる。【復習】「学修到達度レポート」を作成する。	50 10
	内容	課題レポート2を作成する。			

科目名	中国語（２全学科）	開講学年	2	講義コード	2141701	区分	選必
英文表記	Chinese	開講期	後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2.
担当教員	単援朝（非常勤）						
研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	木曜５				
メールアドレス	shan@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	発音,語彙,文法,漢字　コミュニケーション能力　自己管理力						

授業概要

1.中国語は漢字が使用されているから日本人学習者にとって学びやすいと思われがちであるが、発音や文法など言語としての系統が全く違うので、外国語として学ぶほかない。中国語は中国語を初めて学習する人のための入門・初級講座である。中国の基礎を身につけるよう、週一回の授業で中国語の発音をはじめ、日常生活に密着した語彙、表現および簡単な文法を学ぶ。中国語でのコミュニケーション力の養成は目的である 2.ALを基本的授業手法とする。発音練習、会話練習と文法解説を交互に行うが、とくに単語の発音練習に力を入れる。 3.毎回練習問題（小テスト）を課す。 4.中間試験と小テストの講評を行う。 5.原則として遠隔授業ですが、ブレンド授業（対面+遠隔）に変更する場合は2（発音）、3（発音）、9（中間テスト解説）、13（復習1）、14（復習　2）、15（リスニング・会話）、16（期末試験）回目を対面、残りを遠隔で行います。

関連科目

中国語圏の文化と社会

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準		a,f,g,i	a,f,g,i	

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	発音の仕組みが分かり、習った単語を発音することができる。
f.g.i	②	動詞述語文と形容詞述語文の構造を理解し、中国語の短文を読み書くことができる。
f,g	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
２０	４０	２２	8	0	0	１０	0	１００

教科書

改訂 中国語への招待　熊本出版文化会館　王忠義・単継清

参考書

はじめての 中国語学習辞典　朝日出版社　相原茂編　4-255-00113-8

予備知識	1.初修外国語なので、英語学習の要領、体験などが学習において役立つ。2.中国という国についての基本的知識。 3.漢字
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験 1回行うので1×20点＝20点 2.小テスト+研究課題　　小テストは第1課から第9課まで+発音2、全部で11回行うので11×2点＝22点 研究課題は1回×5、1回×3＝8点 3.定期試験 1回×40点＝40点 4.ポートフォリオ1回×10点＝10点 5.基本的に再試を行わない。

学修上の注意 (SBOs)	1.語学の勉強は一般の授業と違って、単なる講義を聞いて理解するだけでなく、真似たり、考えたり、口にしたりすることなどが必要であるということを心得て、双方向的学習を目指すように授業中発音練習、会話練習に積極的に参加すること。 2.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 4.オフィスアワーの時間帯にテレビ電話やメール等での質問も受け付けます（※メールでの質問は随時に受け付けます）。 5.ブレンド授業の場合は課題（小テストの答案など）を必ず提出期限内に提出すること。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基本知識	講義	予習】教科書p141～148を読んでおく。　【復習】練習を繰り返す。	90
	内容	中国語あれこれ 中国語の発音、語彙、文法などについて概説			
2回	テーマ	発音	講義　AL	【予習】教科書p141～148を読んでおく。　【復習】練習を繰り返す。	90
	内容	発音　母音、子音、複母音、声調、軽声、音節			
3回	テーマ	発音　動詞述語文	講義　AL	【予習】教科書p6～8を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	初対面　判断、紹介の表現、疑問文(1)、人称代名詞			
4回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p11～14を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	訪問・取り次ぎ　存在、懇請の表現、疑問文(2)、基数詞・序数詞			
5回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p16～19を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	日程　勧誘、時間の表現、疑問文(3)、連動式(1)、方位詞			
6回	テーマ	発音　形容詞述語文	講義	【予習】教科書p22～25を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	買い物　完了、頻度の表現、指示代名詞・疑問代名詞(1)			
7回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p27～30を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	相談　存在、時刻の表現、“二”と“两”の使い分け			
8回	テーマ	中間試験と解説	試験・講義	【復習】小テストの講評。	90
	内容	中間試験　第一課～第五課			
9回	テーマ	発音　様々な修飾語	講義	【予習】教科書p33～36を読んでおく。　【復習】中間試験の講評。	90
	内容	中国語学習　程度、範囲の表現、補語(1)			
10回	テーマ	発音　様々な修飾語	講義	【予習】教科書p39～42を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	旅行　可能、経験、願望の表現、助動詞(1)			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p45～48を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	チケットの予約　方式、願望の表現、連動式(2)			
12回	テーマ	発音　動詞述語文	講義	【予習】教科書p52～55を読んでおく。　【復習】小テストの講評。	90
	内容	休暇　補語(2)、疑問文(4)、曜日の言い方			
13回	テーマ	復習　研究課題(1)	講義	【予習】教科書p33～55を読んでおく。　【復習】語彙の復習・レポート	90
	内容	復習　単語編			
14回	テーマ	復習　研究課題(2)	講義	【予習】教科書p33～55を読んでおく。　【復習】文法の復習・レポート	90
	内容	復習　文法編			
15回	テーマ	リスニング・会話	講義　AL	映像資料を使う。	90
	内容	応用編			
16回	テーマ	試験	試験		90
	内容	定期試験			

科目名	韓国語（２全学科）	開講学年	2	講義コード	2141801	区分	選択
英文表記	Korean	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	辛教燦（非常勤）						
研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	木曜日の13:00～14:30				
メールアドレス	viduri1026@gmail.com						
キーワード	韓国語　ハングル　韓国文化　韓国映画･ドラマ　KPOP　コミュニケーション能力　自己管理力						

授業概要

本講義では、韓国語の「ハングル」の読み書き、簡単な会話を学ぶ。また、韓国のドラマや歌などの文化コンテンツを通して韓国語を楽しく学ぶ。 (1)ハングル文字（母音･子音･パッチムなど）を学ぶ。(2)韓国語における簡単な挨拶･身近なものの名称などの表現を学ぶ。(3)韓国の映画やドラマ、K-POPなどの文化コンテンツを通して韓国語を学ぶ。

関連科目

韓国語圏の文化と社会

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準		a,f,g	a,f,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	ハングルの基礎、特に文字の母音と子音の構造を学び、ハングルを読むことができる。
f.g.i	②	韓国語の基礎文型を学び、韓国語で簡単な日常会話を話すことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	30	0	30	30	0	10	0	100

教科書

すらすら韓国語(入門編)　博英社　申明直, 辛教燦, 盧恩明　978-4-910132-42-6

参考書

予備知識	韓国文化や韓国事情への関心が必要である。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.定期試験　・1回（30点） 2.成果発表(毎回の課題)　・毎回（30点） 3.レポート　・1回（30点） 4.ポートフォリオ　・1回（10点)

学修上の注意 (SBOs)	1.発音練習など、授業に積極的に参加すること。 2.ポートフォリオ(学習到達度レポート)は課題として必ず提出すること。 3.課題を提出する際は、ファイルがアップロードされていることを再度確認すること。 4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。 5.オフィスアワーにTeams のチャットやテレビ電話等での質問も受け付けます。 ※その他メール等での質問も受け付けます。 6.提出物は期限以内に提出すること。期限以後は一切受け付けません。但し公認欠席の場合は別途指示します。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	対面授業	授業内容の確認	90
	内容	ガイダンス	講義　演習		
2回	テーマ	文字と発音①	対面授業	教材の「母音･子音①」を予習･復習	90
	内容	「母音･子音①」	講義　演習		
3回	テーマ	文字と発音②	対面授業	教材の「母音･子音②」を予習･復習	90
	内容	「母音･子音②」	講義　演習		
4回	テーマ	文字と発音③	対面授業	教材の「子音③④」を予習･復習	90
	内容	「子音③④」	講義　演習		
5回	テーマ	文字と発音④	対面授業	教材の「母音③」を予習･復習	90
	内容	「母音③」	講義　演習		
6回	テーマ	文字と発音⑤	対面授業	教材の「パッチム①②」を予習･復習	90
	内容	「パッチム①②」	講義　演習		
7回	テーマ	文字と発音⑥	対面授業	教材の「発音法則①②」を予習･復習	90
	内容	「発音法則①②」	講義　演習		
8回	テーマ	総合演習	対面授業	文字と発音①～⑥を振り返る	90
	内容	「総合演習①」	講義　演習		
9回	テーマ	韓国文化と韓国語	対面授業	韓国の文化コンテンツの鑑賞と レポートを提出	90
	内容	「韓国の文化コンテンツと韓国語」	講義　演習		
10回	テーマ	会話①	対面授業	教材の「挨拶」を予習･復習	90
	内容	「挨拶」	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 内容	会話② 「人の紹介」	対面授業 講義　演習	教材の「人の紹介」を予習･復習	90
12回	テーマ 内容	会話③ 「物の紹介」	対面授業 講義　演習	教材の「物の紹介」を予習･復習	90
13回	テーマ 内容	会話④ 「実戦会話①」	対面授業 講義　演習	教材の「実戦会話」を予習･復習	90
14回	テーマ 内容	会話⑤ 「実戦会話②」	対面授業 講義　演習	教材の「実戦会話」を予習･復習	90
15回	テーマ 内容	会話⑥ 「実戦会話③」	対面授業 講義　演習	教材の「実戦会話」を予習･復習	90
16回	テーマ 内容	試験 定期試験	対面授業 講義　演習	【予習】定期試験の準備 【復習】定期試験の準備と課題提出 レポート、ポートフォリオ(到達度レポート)の提出	

科目名	フランス語（２全学科）	開講学年	2	講義コード	2141901	区分	選必
英文表記	Foreign Language (French I) (Applied Microbial Technology / Applied Life Science)	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	フェレロ イヴ （非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	木曜日、授業後

メールアドレス	yves@plum.plala.or.jp

キーワード	フランス語　単語　発音　文法　　コミュニケーション能力　自己管理力

授業概要	フランス語はフランス語の入門講座である。フランス語を基礎から勉強し、日常生活によく使われることばや言い方を中心に会話の練習をしながら読み書きの基本を身につける。

関連科目

フランス語圏の文化と社会

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4
	JABEE基準		a,f,g	a,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
a.f	①	簡単な発音をすることが出来る。
f.g	②	フランス語の短文を読み書きの基本を身に着け、それらを実践することができる。
a.f.g	③	フランスの文化についての理解を深め、グローバル的な考え方を身に着ける。
f,g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	20	70	0	0	0	0	10	0	100

教科書	授業開始時教科書を配布する。　フェレロ

参考書	

予備知識	フランス語、フランス文化についての基礎的知識 中高校で習った英語の学び方とその体験
実務経験のある教員	
評価明細基準	中間テストは1回行うので1回×20点＝20点 定期試験は1回行うので1回×70点＝70点 ポートフォリオは1回×10点＝10点

学修上の注意 (SBOs)	1.電子媒体でもいいので和仏一仏和辞書を持って来ること。 2.授業開始20分までを出席とし、以後は欠席扱いします。 3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	オリエンテーション＋発音			
2回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	1日に10分
	内容	挨拶			
3回	テーマ	発音	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	母音と母音字			
4回	テーマ	単語	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	人称代名詞			
5回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	～である（＝be動詞）			
6回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	冠詞			
7回	テーマ	表現	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	～を持っている（＝have動詞）			
8回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	er動詞			
9回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	指示形容詞			
10回	テーマ	文法	講義　Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	所有形容詞			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	文法	講義 Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	強音人称代名詞			
12回	テーマ	文法	講義 Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	形容詞			
13回	テーマ	表現	講義 Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	疑問形			
14回	テーマ	表現	講義 Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング	90
	内容	疑問詞			
15回	テーマ	復習	講義 Role play	授業でやった会話の練習及びヒアリング/ポートフォリオ（到達度レポート）を作成	90
	内容	復習			
16回	テーマ	定期試験			
	内容	定期試験			

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅱ①（１機・１宇◎）	開講学年	1	講義コード	2210201	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	藤城 謙一　徳永 憲治　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（徳永）、本館付属棟316（津曲)　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、専門領域での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。	関連科目：（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」（旧カリ：微分積分学I）（連携科目）工学・情報系の数理I, II（旧カリ：線形代数学）（発展科目）確率・統計、微分方程式

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分,偏微分,重積分,微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
f	②	定積分,偏微分,重積分,微分方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがあります。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	「工学・情報系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）での既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	分数関数の積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	分数式の部分分数分解、分数関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
3回	テーマ	続・置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	置換積分法を用いた三角関数・無理関数・指数関数・対数関数の不定積分について学び,その演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	基礎数理Ⅰでの既習事項を整理し、理解を深める。			
5回	テーマ	定積分の置換積分法と部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法と部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容(試験範囲)を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	確認テストと講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、確認テスト。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験。			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	工学・物理における微分方程式の紹介。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括			30
	内容	後期の授業内容の総括。	講義　演習		

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅱ②（１機・１宇◎）	開講学年	1	講義コード	2210202	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	藤城 謙一　徳永 憲治　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（徳永）、本館付属棟316（津曲)　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、専門領域での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。	関連科目：（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」（旧カリ：微分積分学I）（連携科目）工学・情報系の数理I, II（旧カリ：線形代数学）（発展科目）確率・統計、微分方程式

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分,偏微分,重積分,微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
f	②	定積分,偏微分,重積分,微分方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがあります。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	「工学・情報系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）での既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	分数関数の積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	分数式の部分分数分解、分数関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
3回	テーマ	続・置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	置換積分法を用いた三角関数・無理関数・指数関数・対数関数の不定積分について学び,その演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	基礎数理Ⅰでの既習事項を整理し、理解を深める。			
5回	テーマ	定積分の置換積分法と部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法と部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容(試験範囲)を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	確認テストと講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、確認テスト。			

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 2変数関数 内容 2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
12回	テーマ 2変数関数の極限、連続 内容 2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
13回	テーマ 偏微分可能、偏導関数 内容 2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
14回	テーマ 高階偏導関数 内容 高階偏導関数について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
15回	テーマ 全微分可能 内容 全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
16回	テーマ 合成関数の偏導関数 内容 合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
17回	テーマ 偏微分法の応用1 内容 2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
18回	テーマ 偏微分法の応用2 内容 2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
19回	テーマ 中間試験と講評 内容 課題の講評・振り返り、中間試験。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
20回	テーマ 2重積分 内容 2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	工学・物理における微分方程式の紹介。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	後期の授業内容の総括。			

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅱ③（１機・１宇◎）	開講学年	1	講義コード	2210203	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	藤城 謙一　徳永 憲治　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（徳永）、本館付属棟316（津曲)　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、専門領域での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。	関連科目：（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」（旧カリ：微分積分学I）（連携科目）工学・情報系の数理I, II（旧カリ：線形代数学）（発展科目）確率・統計、微分方程式

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分,偏微分,重積分,微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
f	②	定積分,偏微分,重積分,微分方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがあります。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	「工学・情報系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）での既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	分数関数の積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	分数式の部分分数分解、分数関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
3回	テーマ	続・置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	置換積分法を用いた三角関数・無理関数・指数関数・対数関数の不定積分について学び，その演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	基礎数理Ⅰでの既習事項を整理し、理解を深める。			
5回	テーマ	定積分の置換積分法と部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法と部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容(試験範囲)を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	確認テストと講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、確認テスト。			

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ 2変数関数 内容 2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
12回	テーマ 2変数関数の極限、連続 内容 2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
13回	テーマ 偏微分可能、偏導関数 内容 2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
14回	テーマ 高階偏導関数 内容 高階偏導関数について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
15回	テーマ 全微分可能 内容 全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
16回	テーマ 合成関数の偏導関数 内容 合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
17回	テーマ 偏微分法の応用1 内容 2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
18回	テーマ 偏微分法の応用2 内容 2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
19回	テーマ 中間試験と講評 内容 課題の講評・振り返り、中間試験。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
20回	テーマ 2重積分 内容 2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	工学・物理における微分方程式の紹介。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括			30
	内容	後期の授業内容の総括。	講義　演習		

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅱ④（１機・１宇◎）	開講学年	1	講義コード	2210204	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	藤城 謙一　徳永 憲治　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（徳永）、本館付属棟316（津曲)　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、専門領域での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。	関連科目：（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」（旧カリ：微分積分学I）（連携科目）工学・情報系の数理I, II（旧カリ：線形代数学）（発展科目）確率・統計、微分方程式

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準		c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分,偏微分,重積分,微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
f	②	定積分,偏微分,重積分,微分方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがあります。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	「工学・情報系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）での既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	分数関数の積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	分数式の部分分数分解、分数関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
3回	テーマ	続・置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	置換積分法を用いた三角関数・無理関数・指数関数・対数関数の不定積分について学び,その演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	基礎数理Ⅰでの既習事項を整理し、理解を深める。			
5回	テーマ	定積分の置換積分法と部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法と部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容(試験範囲)を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	確認テストと講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、確認テスト。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験。			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	工学・物理における微分方程式の紹介。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	後期の授業内容の総括。			

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅱ①（１建◎・１情）	開講学年	1	講義コード	2210205	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	藤城 謙一　徳永 憲治　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（徳永）、本館付属棟316（津曲)　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、専門領域での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。	関連科目：（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」（旧カリ：微分積分学I）（連携科目）工学・情報系の数理I, II（旧カリ：線形代数学）（発展科目）確率・統計、微分方程式

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分,偏微分,重積分,微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
f	②	定積分,偏微分,重積分,微分方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがあります。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	「工学・情報系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）での既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	分数関数の積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	分数式の部分分数分解、分数関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
3回	テーマ	続・置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	置換積分法を用いた三角関数・無理関数・指数関数・対数関数の不定積分について学び，その演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	基礎数理Ⅰでの既習事項を整理し、理解を深める。			
5回	テーマ	定積分の置換積分法と部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法と部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容(試験範囲)を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	確認テストと講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、確認テスト。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験。			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	工学・物理における微分方程式の紹介。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	後期の授業内容の総括。			

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅱ②（１建◎・１情）	開講学年	1	講義コード	2210206	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	藤城 謙一　徳永 憲治　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（徳永）、本館付属棟316（津曲)　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、専門領域での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。	関連科目：（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」（旧カリ：微分積分学I）（連携科目）工学・情報系の数理I, II（旧カリ：線形代数学）（発展科目）確率・統計、微分方程式

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分,偏微分,重積分,微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
f	②	定積分,偏微分,重積分,微分方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがあります。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	「工学・情報系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）での既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	分数関数の積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	分数式の部分分数分解、分数関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
3回	テーマ	続・置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	置換積分法を用いた三角関数・無理関数・指数関数・対数関数の不定積分について学び，その演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	基礎数理Ⅰでの既習事項を整理し、理解を深める。			
5回	テーマ	定積分の置換積分法と部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法と部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容(試験範囲)を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	確認テストと講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、確認テスト。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験。			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	工学・物理における微分方程式の紹介。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	後期の授業内容の総括。			

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅱ③（１建◎・１情）	開講学年	1	講義コード	2210207	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	藤城 謙一　徳永 憲治　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（徳永）、本館付属棟316（津曲)　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、専門領域での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。	関連科目：（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」（旧カリ：微分積分学I）（連携科目）工学・情報系の数理I, II（旧カリ：線形代数学）（発展科目）確率・統計、微分方程式

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分,偏微分,重積分,微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
f	②	定積分,偏微分,重積分,微分方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがあります。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	「工学・情報系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）での既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	分数関数の積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	分数式の部分分数分解、分数関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
3回	テーマ	続・置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	置換積分法を用いた三角関数・無理関数・指数関数・対数関数の不定積分について学び,その演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	基礎数理Ⅰでの既習事項を整理し、理解を深める。			
5回	テーマ	定積分の置換積分法と部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法と部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容(試験範囲)を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	確認テストと講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、確認テスト。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験。			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	工学・物理における微分方程式の紹介。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	後期の授業内容の総括。			

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅱ④（１建◎・１情）	開講学年	1	講義コード	2210208	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	藤城 謙一　徳永 憲治　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（徳永）、本館付属棟316（津曲)　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、専門領域での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。	関連科目：（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」（旧カリ：微分積分学I）（連携科目）工学・情報系の数理I, II（旧カリ：線形代数学）（発展科目）確率・統計、微分方程式

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2
JABEE基準		c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分,偏微分,重積分,微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
f	②	定積分,偏微分,重積分,微分方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがあります。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	「工学・情報系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）での既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	分数関数の積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	分数式の部分分数分解、分数関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
3回	テーマ	続・置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	置換積分法を用いた三角関数・無理関数・指数関数・対数関数の不定積分について学び,その演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	基礎数理Ⅰでの既習事項を整理し、理解を深める。			
5回	テーマ	定積分の置換積分法と部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法と部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容(試験範囲)を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	確認テストと講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、確認テスト。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験。			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	工学・物理における微分方程式の紹介。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括			30
	内容	後期の授業内容の総括。	講義　演習		

科目名	工学・情報系の基礎数理Ⅱ⑤（１建◎・１情）	開講学年	1	講義コード	2210209	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	藤城 謙一　徳永 憲治　日比野 剛士　大嶋 康裕　　津曲 紀宏　河合 浩明

研究室	本館付属棟315（藤城）、本館308（河合）　本館付属棟314（徳永）、本館付属棟316（津曲)　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	機械工学・宇宙工学・航空工学、または情報科学・建築工学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分学は、単に専門の講義の学習理解のための基礎科目であるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的とします。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、専門領域での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。	関連科目：（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」（旧カリ：微分積分学I）（連携科目）工学・情報系の数理I, II（旧カリ：線形代数学）（発展科目）確率・統計、微分方程式

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	定積分,偏微分,重積分,微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
f	②	定積分,偏微分,重積分,微分方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原皓司　978-4-7819-0108-4 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがあります。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	「工学・情報系の基礎数理Ⅰ」（旧カリ：微分積分学Ⅰ）での既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	分数関数の積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	分数式の部分分数分解、分数関数の不定積分について学び、その演習を行う。			
3回	テーマ	続・置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	置換積分法を用いた三角関数・無理関数・指数関数・対数関数の不定積分について学び,その演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	基礎数理Ⅰでの既習事項を整理し、理解を深める。			
5回	テーマ	定積分の置換積分法と部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法と部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容(試験範囲)を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	確認テストと講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、確認テスト。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	課題の講評・振り返り、中間試験。			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	専門科目との接続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておく。	120
	内容	工学・物理における微分方程式の紹介。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	課題の講評・振り返り、定期試験。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括	講義　演習		30
	内容	後期の授業内容の総括。			

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ①（１ナ◎・１生物）	開講学年	1	講義コード	2210401	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　徳永 憲治　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（徳永）　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、化学工学での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。 初回のオリエンテーションもしくは試験・レポート等を提示する授業回においてフィードバック方法を説明する。	関連科目：（基礎科目）「バイオ・化学系の基礎数理I」（旧カリ：「微分積分学I」）（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：「行列と行列式」）（発展科目）「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：「確率・統計」）および化学工学を扱う専門科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c,f	①	定積分,偏微分,重積分,微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c,f	②	定積分,偏微分,重積分,微分方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4

予備知識	高等学校における数学I、及び大学で学ぶ1変数の微分の知識。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	これまでの既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	定積分	講義	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
3回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	定積分の部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ 2重積分の計算法 内容 2重積分の計算法について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
22回	テーマ 積分変数の変換 内容 変数変換について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
23回	テーマ 重積分の応用1 内容 2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
24回	テーマ 重積分の応用2 内容 重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
25回	テーマ 重積分の応用3 内容 3重積分について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
26回	テーマ 微分方程式1 内容 変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
27回	テーマ 微分方程式2 内容 同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
28回	テーマ 微分方程式3 内容 定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
29回	テーマ 微分方程式4 内容 定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
30回	テーマ 定期試験と講評 内容 定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成	120

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括		【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	30
	内容	後期の授業内容の総括としての演習と「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。	演習		

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ②（１ナ◎・１生物）	開講学年	1	講義コード	2210402	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　徳永 憲治　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（徳永）　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、化学工学での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。 初回のオリエンテーションもしくは試験・レポート等を提示する授業回においてフィードバック方法を説明する。	関連科目：（基礎科目）「バイオ・化学系の基礎数理I」（旧カリ：「微分積分学I」）（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：「行列と行列式」）（発展科目）「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：「確率・統計」）および化学工学を扱う専門科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c,f	①	定積分,偏微分,重積分,微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c,f	②	定積分,偏微分,重積分,微分方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4

予備知識	高等学校における数学I、及び大学で学ぶ1変数の微分の知識。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	これまでの既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	定積分	講義	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
3回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	定積分の部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	重積分の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	3重積分について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成	120
	内容	定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括		【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	30
	内容	後期の授業内容の総括としての演習と「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。	演習		

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ③（１ナ◎・１生物）	開講学年	1	講義コード	2210403	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　徳永 憲治　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（徳永）　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、化学工学での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。 初回のオリエンテーションもしくは試験・レポート等を提示する授業回においてフィードバック方法を説明する。	関連科目：（基礎科目）「バイオ・化学系の基礎数理I」（旧カリ：「微分積分学I」）（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：「行列と行列式」）（発展科目）「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：「確率・統計」）および化学工学を扱う専門科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c,f	①	定積分,偏微分,重積分,微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c,f	②	定積分,偏微分,重積分,微分方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4

予備知識	高等学校における数学I、及び大学で学ぶ1変数の微分の知識。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	これまでの既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	定積分	講義	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
3回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	定積分の部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ 2重積分の計算法 内容 2重積分の計算法について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
22回	テーマ 積分変数の変換 内容 変数変換について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
23回	テーマ 重積分の応用1 内容 2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
24回	テーマ 重積分の応用2 内容 重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
25回	テーマ 重積分の応用3 内容 3重積分について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
26回	テーマ 微分方程式1 内容 変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
27回	テーマ 微分方程式2 内容 同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
28回	テーマ 微分方程式3 内容 定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
29回	テーマ 微分方程式4 内容 定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
30回	テーマ 定期試験と講評 内容 定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成	120

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括		【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	30
	内容	後期の授業内容の総括としての演習と「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。	演習		

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ④（１ナ◎・１生物）	開講学年	1	講義コード	2210404	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　徳永 憲治　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（徳永）　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、化学工学での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。 初回のオリエンテーションもしくは試験・レポート等を提示する授業回においてフィードバック方法を説明する。	関連科目：（基礎科目）「バイオ・化学系の基礎数理I」（旧カリ：「微分積分学I」）（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：「行列と行列式」）（発展科目）「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：「確率・統計」）および化学工学を扱う専門科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c,f	①	定積分,偏微分,重積分,微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c,f	②	定積分,偏微分,重積分,微分方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4

予備知識	高等学校における数学I、及び大学で学ぶ1変数の微分の知識。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	これまでの既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	定積分	講義	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
3回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	定積分の部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	重積分の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	3重積分について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成	120
	内容	定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括		【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	30
	内容	後期の授業内容の総括としての演習と「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。	演習		

科目名	バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ⑤（１ナ◎・１生物）	開講学年	1	講義コード	2210405	区分	選必
英文表記	Differential and Integral Calculus II	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	3

担当教員	河合 浩明　津曲 紀宏　徳永 憲治　日比野 剛士　　大嶋 康裕

研究室	本館308（河合）　本館付属棟316（津曲）　本館付属棟314（徳永）　本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	定積分　偏微分　2重積分　微分方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	化学工学・生命科学について学習・研究する皆さんにとって、数学は基礎学力の一つです。中でも微分積分を学ぶことは、化学工学、統計学や数理生物学など専門の講義の学習理解のための基礎となるだけでなく、いろいろな事象について理論的・多面的に考察し、問題を解決する力を養うことも目的としています。 内容は、前期・後期合わせて完結しますので、前期の内容を理解した上で後期も継続して受講することを望みます。 前期に続き積分法について学習します。複雑な積分の計算をおこなう事により、数学的思考力を養います。積分の概念を適用した応用を学ぶ事により、解析力を養います。次いで、2変数の関数を導入し、その関数の微分法と積分法について学習し、より高度な思考力と解析力を養います。最後に、ここまで学習してきた知識を応用して、化学工学での基本的な事象を数理的に解析する微分方程式について学習します。 参考書については、学力に十分に余裕のある学生のみ、図書館等で参考にすること。 初回のオリエンテーションもしくは試験・レポート等を提示する授業回においてフィードバック方法を説明する。	関連科目：（基礎科目）「バイオ・化学系の基礎数理I」（旧カリ：「微分積分学I」）（連携科目）「バイオ・化学系の数理II」（旧カリ：「行列と行列式」）（発展科目）「バイオ・化学系の数理I」（旧カリ：「確率・統計」）および化学工学を扱う専門科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c,f	①	定積分,偏微分,重積分,微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c,f	②	定積分,偏微分,重積分,微分方程式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	5	10	5	0	10	0	100

教科書	微分積分学入門改訂版　学術図書出版　岩谷輝生・田中正紀・河合浩明　　978-4-7806-0222-7

参考書	解析学の基礎　学術図書出版社　鈴木紀明　978-4-7806-0354-5 微分積分ノート術　東京図書　阿原一志　978-4-489-02146-6 関数・微分方程式がビジュアルにわかる 微分積分の展開　共立出版　江見圭司　978-4-320-01796-2 微分積分学（サイエンスライブラリ数学12）　サイエンス社　笠原晧司　978-4-7819-0108-4

予備知識	高等学校における数学I、及び大学で学ぶ1変数の微分の知識。
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) 小テストを適宜実施し、解答状況により理解度を評価する。 3) レポートの提出状況により評価する。授業時に指定する課題、図書館にある本科目に関係する図書を利用した課題、などについてのレポート(提出方法指定あり)を課す。 4) 成果発表として、毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 5) ポートフォリオとして、SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」を作成して、自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分積分学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. 質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 旧カリキュラムによる再履修学生については、履修クラスを指定することがある。初回の授業が始まる前に1年生のクラス分け掲示に合わせて出される指示の有無を確認し、指示に従って履修すること。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	不定積分の復習	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	これまでの既習事項を整理し、理解を深める。			
2回	テーマ	定積分	講義	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の定義・幾何的意味、定積分の性質について理解する。			
3回	テーマ	微分積分学の基本定理	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	微分積分学の基本定理について学び、基本的な定積分の計算の演習を行う。			
4回	テーマ	定積分の置換積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の置換積分法について学び、その演習を行う。			
5回	テーマ	定積分の部分積分法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分の部分積分法について学び、その演習を行う。			
6回	テーマ	広義積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	有界でない関数の広義積分の定義、無限区間における広義積分の定義について学び、その演習を行う。			
7回	テーマ	定積分の応用(面積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による面積の求め方を学び、その演習を行う。			
8回	テーマ	定積分の応用(体積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定積分による体積の求め方を学び、その演習を行う。			
9回	テーマ	定積分の応用（曲線の長さ）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	定積分による曲線の長さの求め方を学び、その演習を行う。			
10回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	2変数関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数とそのグラフについて学び、グラフを描く。			
12回	テーマ	2変数関数の極限、連続	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極限、連続について学び、その演習を行う。			
13回	テーマ	偏微分可能、偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の偏微分可能、その幾何的意味、偏導関数について学び、その演習を行う。			
14回	テーマ	高階偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	高階偏導関数について学び、その演習を行う。			
15回	テーマ	全微分可能	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	全微分可能の幾何的意味と接平面について学び、その演習を行う。			
16回	テーマ	合成関数の偏導関数	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	合成関数の偏導関数について学び、その演習を行う。			
17回	テーマ	偏微分法の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2変数関数の極値に関する定理について学び、その演習を行う。			
18回	テーマ	偏微分法の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	2変数関数のマクローリン展開について学び、その演習を行う。			
19回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	90
	内容	中間試験と、課題の講評・振り返りを行う。			
20回	テーマ	2重積分	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の定義、性質について学び、その演習を行う。			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	2重積分の計算法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分の計算法について学び、その演習を行う。			
22回	テーマ	積分変数の変換	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数変換について学び、その演習を行う。			
23回	テーマ	重積分の応用1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	2重積分による体積の求め方について学び、その演習を行う。			
24回	テーマ	重積分の応用2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	重積分による曲面の面積の求め方について学び、その演習を行う。			
25回	テーマ	重積分の応用3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	3重積分について学び、その演習を行う。			
26回	テーマ	微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
27回	テーマ	微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の微分方程式の解法、1階の線形微分方程式の解法について学び、その演習を行う。			
28回	テーマ	微分方程式3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	定数係数の2階の同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
29回	テーマ	微分方程式4	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】試験範囲として指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。	60
	内容	定数係数の2階の非同次線形微分方程式の解法について学び,その演習を行う。			
30回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成	120
	内容	定期試験と、課題の講評・振り返りを行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	後期の授業内容の総括		【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	30
	内容	後期の授業内容の総括としての演習と「科目の学修到達度レポート」の提出を行う。	演習		

科目名	確率・統計（２機シス）	開講学年	2	講義コード	2210701	区分	選択
英文表記	Probability and Statistics	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	藤城 謙一						
研究室	本館付属棟315	オフィスアワー	学生支援センターの学習支援時間割を確認してください。				
メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	資料の整理　確率分布　推定　検定　　教養的知識　データリテラシー　自己管理力						

授業概要

確率･統計学は自然科学,工学,農学,医学はもちろん社会科学･人文科学などあらゆる分野で応用されるとともに,より高度かつ広範な学問的発展を遂げている。その意味で,確率･統計の基礎を学ぶことはどの学問分野においても必須の素養であり,より専門的な確率･統計手法への手掛かりとなる。しかし,確率と統計を数理的に行うと,多くの学生諸君は大きな抵抗を覚えるようである。 そこで本講義は,実験データの解析等に資するように,統計学の見地を重視した初歩的内容とする。すなわち現代統計学はいわば「部分から全体を知ることができるか」という問に答えようとするものであるが,もちろんこの問には肯定的に回答される。いわゆる推測統計学（推定･検定）であるが,これを中心に考えたい（計算自体は四則演算程度）。ただ,推測統計を論理的に説明しようとすると確率の知識が不可欠となり,アプローチが長くなるところが教える側の悩みの種となる。対象学科によって確率の知識の必要性の有無は異なるであろうから,各学科の先生方および受講生諸君と対話しつつ学科により講義内容と構成を工夫したい。 試験･レポート（課題）等を実施した場合は,次回の授業中にフィードバックする。

関連科目

（基礎科目）工学･情報系の基礎数理I,II（旧カリ:微分積分学）（連携科目）工学･情報系の数理I,II（旧カリ:線形代数）（発展科目）データ解析を要する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c，g	c，g

JABEE記号		学生の到達度目標
c，f，g	①	確率分布や統計的推定,統計的検定について,基本的な概念と手法を理解できる。
c，f，g	②	確率分布や統計的推定,統計的検定について十分に理解し,与えられたデータの分析に適した手法を判断できる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

新確率統計　大日本図書　新井 他　　978-4-477-02686-2

参考書

新確率統計問題集　大日本図書　新井 他　978-4-477-02688-6

予備知識	高校における数学A「場合の数・確率」、工学・情報系の基礎数理I,II（旧カリ：微分積分学）
実務経験のある教員	
評価明細基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート（課題）の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)ポートフォリオを作成して、自己評価する。 5) 図書館の科目に関係する図書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強なので、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。理解できない箇所があれば授業時間前後に質問するか、学生支援センターにおいて学習指導員の指導を受けてください。また、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなします。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	序	講義		
	内容	講義の目的,全般的流れ			
2回	テーマ	確率変数	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	離散確率変数 連続確率変数			
3回	テーマ	確率分布1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	二項分布			
4回	テーマ	確率分布2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	正規分布			
5回	テーマ	確率分布3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	ディー分布			
6回	テーマ	母集団と標本	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	中心極限定理			
7回	テーマ	推定1	講義　演習	【復習】中間試験のための勉強	120
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	中間試験 振り返り、講評			
9回	テーマ	推定2	講義　演習	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
10回	テーマ	推定3	講義　演習	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	検定1	講義　演習	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	検定の手順			
12回	テーマ	検定2	講義　演習	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
13回	テーマ	検定3	講義　演習	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
14回	テーマ	検定4	講義　演習	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の時間は2:1を目安とする	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合 （注:1群のt検定と呼ばれる検定方法）			
15回	テーマ	検定5	講義　演習	【復習】定期試験のための勉強 【予習】「学習到達度レポート」の作成 復習と予習の時間は2:1を目安とする	120
	内容	等平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合 （注:2群の母平均の検定）			
16回	テーマ	定期試験と講評まとめ	講義	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	60
	内容	定期試験 振り返り、講評、授業内容の総括			

科目名	確率・統計Ａ（２情）	開講学年	2	講義コード	2210703	区分	選択
英文表記	Probability and Statistics	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	河合浩明						
研究室	本館３階308			オフィスアワー	学生支援センターの学習支援時間割を確認してください。		
メールアドレス	kawai @ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	資料の整理　確率分布　推定　検定　　教養的知識　データリテラシー　自己管理力						

授業概要

確率･統計学は自然科学,工学,農学,医学はもちろん社会科学･人文科学などあらゆる分野で応用されるとともに,より高度かつ広範な学問的発展を遂げている.その意味で,確率･統計の基礎を学ぶことはどの学問分野においても必須の素養であり,より専門的な確率･統計手法への手掛かりとなる.しかし,確率と統計を数理的に行うと,多くの学生諸君は大きな抵抗を覚えるようである.　そこで本講義は,実験データの解析等に資するように,統計学の見地を重視した初歩的内容とする.すなわち現代統計学はいわば「部分から全体を知ることができるか」という問に答えようとするものであるが,もちろんこの問には肯定的に回答される.いわゆる推測統計学(推定･検定)であるが,これを中心に考えたい(計算自体は四則演算程度).ただ,推測統計を論理的に説明しようとすると確率の知識が不可欠となり,アプローチが長くなるところが教える側の悩みの種となる.対象学科によって確率の知識の必要性の有無は異なるであろうから,各学科の先生方および受講生諸君と対話しつつ学科により講義内容と構成を工夫したい．尚､試験･レポート(課題)等を実施した場合は､次回の授業中にフィードバックします.

関連科目

(基礎科目)工学･情報系の基礎数理I,II(旧カリ:微分積分学)
(連携科目)工学･情報系の数理I,II(旧カリ:線形代数)
(発展科目)データ解析を要する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c，g	c，g

JABEE記号		学生の到達度目標
c，f，g	①	確率分布や統計的推定,統計的検定について,基本的な手法を理解できる。
c，f，g	②	確率分布や統計的推定,統計的検定について十分に理解し,与えられたデータの分析に適した手法を判断できる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

統計学の基礎　裳華房　栗栖 他　　4-7853-1525-3

参考書

予備知識	高校における数学A「場合の数・確率」、基礎数理I,II（旧カリ：微分積分学）
実務経験のある教員	
評価明細基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート（課題）の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価し、成績に加味する。 4)ポートフォリオを作成して、自己評価する。 5) 図書館の科目に関係する図書についてのレポートを定期試験までに提出すれば、評価に加味する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強なので、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。理解できない箇所があれば授業時間前後に質問するか、学生支援センターにおいて学習指導員の指導を受けてください。また、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなします。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	序	講義		
	内容	講義の目的,全般的流れ			
2回	テーマ	確率変数	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	離散確率変数 連続確率変数			
3回	テーマ	確率分布1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	二項分布			
4回	テーマ	確率分布2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	正規分布			
5回	テーマ	確率分布3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ディー分布			
6回	テーマ	母集団と標本	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	中心極限定理			
7回	テーマ	推定1	講義　演習	【復習】中間試験のための勉強	200
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	中間試験 振り返り、講評			
9回	テーマ	推定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
10回	テーマ	推定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	検定1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	検定の手順			
12回	テーマ	検定2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
13回	テーマ	検定3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
14回	テーマ	検定4	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合 （注:1群のt検定と呼ばれる検定方法）			
15回	テーマ	検定5	講義　演習	【復習】定期試験のための勉強	200
	内容	等平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合 （注:2群の母平均の検定）			
16回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	60
	内容	定期試験 振り返り、講評			

科目名	確率・統計Ｂ（２情）	開講学年	2	講義コード	2210704	区分	選択
英文表記	Probability and Statistics	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	甲斐 隆志（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間前後の教室・非常勤講師室

メールアドレス	kai@kumamoto-pct.ac.jp

キーワード	資料の整理　確率分布　推定　検定　　教養的知識　データリテラシー　自己管理力

授業概要

確率･統計学は自然科学,工学,農学,医学はもちろん社会科学･人文科学などあらゆる分野で応用されるとともに,より高度かつ広範な学問的発展を遂げている.その意味で,確率･統計の基礎を学ぶことはどの学問分野においても必須の素養であり,より専門的な確率･統計手法への手掛かりとなる.しかし,確率と統計を数理的に行うと,多くの学生諸君は大きな抵抗を覚えるようである.　そこで本講義は,実験データの解析等に資するように,統計学の見地を重視した初歩的内容とする.すなわち現代統計学はいわば「部分から全体を知ることができるか」という問に答えようとするものであるが,もちろんこの問には肯定的に回答される.いわゆる推測統計学（推定･検定）であるが,これを中心に考えたい（計算自体は四則演算程度）.ただ,推測統計を論理的に説明しようとすると確率の知識が不可欠となり,アプローチが長くなるところが教える側の悩みの種となる.対象学科によって確率の知識の必要性の有無は異なるであろうから,各学科の先生方および受講生諸君と対話しつつ学科により講義内容と構成を工夫したい．尚、試験･レポート（課題）等を実施した場合は、次回の授業中にフィードバックします.

関連科目

（基礎科目）工学･情報系の基礎数理I,II（旧カリ:微分積分学）（連携科目）工学･情報系の数理I,II（旧カリ:線形代数）（発展科目）データ解析を要する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c，g	c，g

JABEE記号		学生の到達度目標
c，f，g	①	確率分布や統計的推定,統計的検定について,基本的な手法を理解できる。
c，f，g	②	確率分布や統計的推定,統計的検定について十分に理解し,与えられたデータの分析に適した手法を判断できる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

新確率統計 改訂版　大日本図書　新井 他　　978-4477034256

参考書

新確率統計 改訂版 問題集　大日本図書　新井 他　978-4-477-03426-3

予備知識	高校における数学A「場合の数・確率」、工学・情報系の基礎数理I,II（旧カリ：微分積分学）
実務経験のある教員	
評価明細基準	1)中間試験および定期試験。 2)レポート（課題）の提出状況により評価する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)ポートフォリオを作成して、自己評価する。 5) 図書館の科目に関係する図書についてのレポートを定期試験までに提出すれば、評価に加味する。

学修上の注意 (SBOs)	数学は積み重ねの勉強なので、常に復習し、確実に理解を深めておくこと。理解できない箇所があれば授業時間前後に質問するか、学生支援センターにおいて学習指導員の指導を受けてください。また、レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃は、不正行為とみなします。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	序	講義		
	内容	講義の目的,全般的流れ			
2回	テーマ	確率変数	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	離散確率変数 連続確率変数			
3回	テーマ	確率分布1	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	二項分布			
4回	テーマ	確率分布2	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	正規分布			
5回	テーマ	確率分布3	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	ディー分布			
6回	テーマ	母集団と標本	講義　演習	【復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く 【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	中心極限定理			
7回	テーマ	推定1	講義　演習	【復習】中間試験のための勉強	200
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
8回	テーマ	中間試験と講評	講義	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	中間試験 振り返り、講評			
9回	テーマ	推定2	講義　演習	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
10回	テーマ	推定3	講義　演習	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の区間推定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	検定1	講義　演習	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	検定の手順			
12回	テーマ	検定2	講義　演習	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合			
13回	テーマ	検定3	講義　演習	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【未知】、母分散が【既知】の場合			
14回	テーマ	検定4	講義　演習	復習】与えられた課題または指定された教科書の問を解く【予習】次回の授業内容について学習しておく 復習と予習の割合2:1	60
	内容	母平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【未知】の場合 （注:1群のt検定と呼ばれる検定方法）			
15回	テーマ	検定5	講義　演習	【復習】定期試験のための勉強	200
	内容	等平均の検定 母集団の確率分布が【正規分布】、母分散が【既知】の場合 （注:2群の母平均の検定）			
16回	テーマ	定期試験と講評まとめ	講義	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	60
	内容	定期試験 振り返り、講評、授業内容の総括			

科目名	工学・情報系の数理Ⅱ（２機シス）	開講学年	2	講義コード	2210901	区分	選必
英文表記	Linear algebra II	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	甲斐 隆志（非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間前後の教室・非常勤講師室

メールアドレス	kai @kumamoto-pct.ac.jp

キーワード	行列式　固有値　固有ベクトル　対角化　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	本学の数理基礎科目では,各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能・論理的思考力を養います。 本科目で学ぶ線形代数学は,理工学系の学科を専攻する学生にとって,工学・物理学・生物学・化学を学ぶ上で必要不可欠な数学の基礎分野です。その幅広い応用性から最近では社会科学や人文科学でも必要な知識として学ばれています。 数(データ)の組が大量にあるとき,それらをそのまま取り扱うのは効率的ではありません。適切な体系において,数の組をベクトルあるいは行列として取り扱えばその構造を捉えるだけでなく,その体系において種々の計算も可能となります。このような性質もあって,統計学や微分積分学,微分方程式とも関連が深い科目です。 工学・情報系の数理IIにおいては工学・情報系の数理Iで学んだことを元に,行列式・行列の対角化を学び,さらに,それらの応用について学習します。また,学習を通じて,様々な事柄について理論的・多面的に考察し,問題を解決する力を養うことも目的とします。 尚、試験・レポート(課題)等を実施した場合は、次回の授業中にフィードバックします。

関連科目

(基礎科目)工学・情報系の数理I(旧カリ:線形代数学I) (連携科目)確率・統計,工学・情報系の基礎数理I(旧カリ:微分積分学I),工学・情報系の基礎数理II(旧カリ:微分積分学II) (発展科目)微分方程式,制御工学に関する科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	行列式や固有値,対角化について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c, f	②	行列式や固有値,対角化に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書	新線形代数 改訂版　大日本図書　井川治、碓氷久、金子真隆、高遠節夫、濵口直樹、前田善文、共著　　978-4477033419

参考書	

予備知識	ベクトル･行列に関する基礎知識［工学･情報系の数理Ⅰ(旧カリ:線形代数学Ⅰ)の内容］
実務経験のある教員	
評価明細基準	1)中間試験および定期試験。 2)図書館の科目に関係する蔵書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポート(ポートフォリオ)を作成し,自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、授業時間前後やオフィスアワーの時間帯に授業担当者へ質問するか,図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	行列式の基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	置換,行列式の定義について学習し,関連の演習問題を解く。			
2回	テーマ	行列式の基本性質	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	行列式の基本性質について学習し,関連の演習問題を解く。			
3回	テーマ	余因子展開	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	行列式の余因子展開について学習し,関連の演習問題を解く。			
4回	テーマ	行列式の計算	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	第2回,第3回で学んだ事柄を用いて行列式の値を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
5回	テーマ	逆行列	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	余因子を用いて行列の逆行列を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
6回	テーマ	クラメールの公式	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。 復習のみ	200
	内容	行列式を用いて連立方程式を解くことを学習し,関連の演習問題を解く。			
7回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	中間試験,講評,内容の振り返り			
8回	テーマ	固有値	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	固有値の求め方を学習し,関連の演習問題を解く。			
9回	テーマ	固有ベクトル	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	固有ベクトルの求め方を学習し,関連の演習問題を解く。			
10回	テーマ	行列の対角化	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	第8回,第9回で学んだ事柄を用いて行列の対角化について学習し,関連の演習問題を解く。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対角化の応用 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	対角化を用いて行列のn乗を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
12回	テーマ	対角化の応用 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	対角化を用いて,数列の問題を解くことを学習し,関連の演習問題を解く。			
13回	テーマ	対称行列の対角化	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	第14,15回の授業の準備としての対称行列の対角化を学習し,関連の演習問題を解く。			
14回	テーマ	2次曲線の標準化1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	2次曲線の標準化について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解き、提出する。			
15回	テーマ	2次曲線の標準化2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。 復習のみ	200
	内容	2次曲線の標準化について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解き、提出する。			
16回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】科目の学修到達度レポートの作成・提出	60
	内容	定期試験,講評,全内容の振り返り			

科目名	工学・情報系の数理Ⅱ◎A（２建）	開講学年	2	講義コード	2210902	区分	選必
英文表記	Linear algebra II	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	藤城 謙一

研究室	本館付属棟315	オフィスアワー	学生支援センターの学習支援時間割を確認してください。

メールアドレス	fujishiro@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	行列式　固有値　固有ベクトル　対角化　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要

本学の数理基礎科目では,各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能・論理的思考力を養います。 本科目で学ぶ線形代数学は,理工学系の学科を専攻する学生にとって,工学・物理学・生物学・化学を学ぶ上で必要不可欠な数学の基礎分野です。その幅広い応用性から最近では社会科学や人文科学でも必要な知識として学ばれています。 数(データ)の組が大量にあるとき,それらをそのまま取り扱うのは効率的ではありません。適切な体系において,数の組をベクトルあるいは行列として取り扱えばその構造を捉えるだけでなく,その体系において種々の計算も可能となります。このような性質もあって,統計学や微分積分学,微分方程式とも関連が深い科目です。 工学・情報系の数理IIにおいては工学・情報系の数理Iで学んだことを元に,行列式・行列の対角化を学び,さらに,それらの応用について学習します。また,学習を通じて,様々な事柄について理論的・多面的に考察し,問題を解決する力を養うことも目的とします。 試験・レポート(課題)等を実施した場合は,次回の授業中にフィードバックします。

関連科目

(基礎科目)工学・情報系の数理I(旧カリ:線形代数学I) (連携科目)確率・統計,工学・情報系の基礎数理I(旧カリ:微分積分学I),工学・情報系の基礎数理II(旧カリ:微分積分学II) (発展科目)微分方程式,制御工学に関する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	行列式や固有値,対角化について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c, f	②	行列式や固有値,対角化に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

新版数学シリーズ 新版線形代数 改訂版　実教出版　岡本和夫・他　　978-4-407-34948-1

参考書

新版数学シリーズ 新版線形代数演習 改訂版　実教出版　岡本和夫・他　978-4-407-34949-8

予備知識	ベクトル･行列に関する基礎知識［工学･情報系の数理I（旧カリ:線形代数学I）の内容］
実務経験のある教員	
評価明細基準	1)中間試験および定期試験。 2)図書館の科目に関係する蔵書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポート（ポートフォリオ）を作成し，自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、授業時間前後やオフィスアワーの時間帯に授業担当者へ質問するか,図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ 行列式の基礎 内容 置換,行列式の定義について学習し,関連の演習問題を解く。	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
2回	テーマ 行列式の基本性質 内容 行列式の基本性質について学習し,関連の演習問題を解く。	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
3回	テーマ 余因子展開 内容 行列式の余因子展開について学習し,関連の演習問題を解く。	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
4回	テーマ 行列式の計算 内容 第2回,第3回で学んだ事柄を用いて行列式の値を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
5回	テーマ 逆行列 内容 余因子を用いて行列の逆行列を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
6回	テーマ クラメールの公式 内容 行列式を用いて連立方程式を解くことを学習し,関連の演習問題を解く。	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
7回	テーマ 中間試験と講評 内容 中間試験,講評,内容の振り返り	講義	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
8回	テーマ 固有値 内容 固有値の求め方を学習し,関連の演習問題を解く。	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
9回	テーマ 固有ベクトル 内容 固有ベクトルの求め方を学習し,関連の演習問題を解く。	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
10回	テーマ 行列の対角化 内容 第8回,第9回で学んだ事柄を用いて行列の対角化について学習し,関連の演習問題を解く。	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対角化の応用 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
	内容	対角化を用いて行列のn乗を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
12回	テーマ	対角化の応用 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
	内容	対角化を用いて,数列の問題を解くことを学習し,関連の演習問題を解く。			
13回	テーマ	対称行列の対角化	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
	内容	第14回の授業の準備としての対称行列の対角化を学習し,関連の演習問題を解く。			
14回	テーマ	2次曲線の標準化 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の時間は2:1を目安とする。	60
	内容	2次曲線の標準化について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
15回	テーマ	2次曲線の標準化 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。	60
	内容	2次曲線の標準化について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解く。			
16回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】科目の学修到達度レポートの作成・提出	60
	内容	定期試験,講評,全内容の振り返り			

科目名	工学・情報系の数理Ⅱ◎Ｂ（２建）	開講学年	2	講義コード	2210903	区分	必修
英文表記	Linear algebra II	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	岡 智典（非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間前後の教室・非常勤講師室

メールアドレス	tomonori-oka@kumadai.jp

キーワード	行列式　固有値　固有ベクトル　対角化　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	本学の数理基礎科目では,各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能・論理的思考力を養います。 本科目で学ぶ線形代数学は,理工学系の学科を専攻する学生にとって,工学・物理学・生物学・化学を学ぶ上で必要不可欠な数学の基礎分野です。その幅広い応用性から最近では社会科学や人文科学でも必要な知識として学ばれています。 数(データ)の組が大量にあるとき,それらをそのまま取り扱うのは効率的ではありません。適切な体系において,数の組をベクトルあるいは行列として取り扱えばその構造を捉えるだけでなく,その体系において種々の計算も可能となります。このような性質もあって,統計学や微分積分学,微分方程式とも関連が深い科目です。 工学・情報系の数理IIにおいては工学・情報系の数理Iで学んだことを元に,行列式・行列の対角化を学び,さらに,それらの応用について学習します。また,学習を通じて,様々な事柄について理論的・多面的に考察し,問題を解決する力を養うことも目的とします。 尚、試験・レポート(課題)等を実施した場合は、次回の授業中にフィードバックします。

関連科目
(基礎科目)工学・情報系の数理I(旧カリ:線形代数学I) (連携科目)確率・統計,工学・情報系の基礎数理I(旧カリ:微分積分学I),工学・情報系の基礎数理II(旧カリ:微分積分学II) (発展科目)微分方程式,制御工学に関する科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	行列式や固有値,対角化について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c, f	②	行列式や固有値,対角化に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法(配点)	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書	新線形代数 改訂版　大日本図書　井川治、碓氷久、金子真隆、高遠節夫、濵口直樹、前田善文、共著　978-4477033419

参考書	

予備知識	ベクトル･行列に関する基礎知識［工学･情報系の数理I（旧カリ:線形代数学I）の内容］
実務経験のある教員	
評価明細基準	1)中間試験および定期試験。 2)図書館の科目に関係する蔵書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポート（ポートフォリオ）を作成し，自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、授業時間前後やオフィスアワーの時間帯に授業担当者へ質問するか,図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ 行列式の基礎 内容 置換,行列式の定義について学習し,関連の演習問題を解く。	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
2回	テーマ 行列式の基本性質 内容 行列式の基本性質について学習し,関連の演習問題を解く。	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
3回	テーマ 余因子展開 内容 行列式の余因子展開について学習し,関連の演習問題を解く。	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
4回	テーマ 行列式の計算 内容 第2回,第3回で学んだ事柄を用いて行列式の値を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
5回	テーマ 逆行列 内容 余因子を用いて行列の逆行列を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
6回	テーマ クラメールの公式 内容 行列式を用いて連立方程式を解くことを学習し,関連の演習問題を解く。	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。 復習のみ	200
7回	テーマ 中間試験と講評 内容 中間試験,講評,内容の振り返り	講義	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
8回	テーマ 固有値 内容 固有値の求め方を学習し,関連の演習問題を解く。	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
9回	テーマ 固有ベクトル 内容 固有ベクトルの求め方を学習し,関連の演習問題を解く。	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
10回	テーマ 行列の対角化 内容 第8回,第9回で学んだ事柄を用いて行列の対角化について学習し,関連の演習問題を解く。	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対角化の応用 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	対角化を用いて行列のn乗を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
12回	テーマ	対角化の応用 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	対角化を用いて,数列の問題を解くことを学習し,関連の演習問題を解く。			
13回	テーマ	対称行列の対角化	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	第14,15回の授業の準備としての対称行列の対角化を学習し,関連の演習問題を解く。			
14回	テーマ	2次曲線の標準化1	講義　演習	復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	2次曲線の標準化について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解き、提出する。			
15回	テーマ	2次曲線の標準化2	講義　演習	復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。 復習のみ	200
	内容	2次曲線の標準化について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解き、提出する。			
16回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】科目の学修到達度レポートの作成・提出	60
	内容	定期試験,講評,全内容の振り返り			

科目名	工学・情報系の数理Ⅱ（２情）	開講学年	2	講義コード	2210904	区分	選必
英文表記	Linear algebra II	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	甲斐 隆志（非常勤）						
研究室	本館1階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間前後の教室・非常勤講師室				
メールアドレス	kai @kumamoto-pct.ac.jp						
キーワード	行列式　固有値　固有ベクトル　対角化　　教養的知識　数理スキル　自己管理力						

授業概要

本学の数理基礎科目では,各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能・論理的思考力を養います。 本科目で学ぶ線形代数学は,理工学系の学科を専攻する学生にとって,工学・物理学・生物学・化学を学ぶ上で必要不可欠な数学の基礎分野です。その幅広い応用性から最近では社会科学や人文科学でも必要な知識として学ばれています。 数(データ)の組が大量にあるとき,それらをそのまま取り扱うのは効率的ではありません。適切な体系において,数の組をベクトルあるいは行列として取り扱えばその構造を捉えるだけでなく,その体系において種々の計算も可能となります。このような性質もあって,統計学や微分積分学,微分方程式とも関連が深い科目です。 工学・情報系の数理IIにおいては工学・情報系の数理Iで学んだことを元に,行列式・行列の対角化を学び,さらに,それらの応用について学習します。また,学習を通じて,様々な事柄について理論的・多面的に考察し,問題を解決する力を養うことも目的とします。 尚、試験・レポート(課題)等を実施した場合は、次回の授業中にフィードバックします。

関連科目

(基礎科目)工学・情報系の数理I(旧カリ:線形代数学I) (連携科目)確率・統計,工学・情報系の基礎数理I(旧カリ:微分積分学I),工学・情報系の基礎数理II(旧カリ:微分積分学II) (発展科目)微分方程式,制御工学に関する科目

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,f,g	c,f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	行列式や固有値,対角化について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c, f	②	行列式や固有値,対角化に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

新線形代数 改訂版　大日本図書　井川治、碓氷久、金子真隆、高遠節夫、濵口直樹、前田善文、共著　978-4477033419

参考書

予備知識	ベクトル･行列に関する基礎知識［工学･情報系の数理Ⅰ(旧カリ:線形代数学Ⅰ)の内容］
実務経験のある教員	
評価明細基準	1)中間試験および定期試験。 2)図書館の科目に関係する蔵書についてのレポートを提出すれば、評価に加味する。 3)毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4)科目の学修到達度レポート(ポートフォリオ)を作成し,自己評価する。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、授業時間前後やオフィスアワーの時間帯に授業担当者へ質問するか,図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	行列式の基礎	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	置換,行列式の定義について学習し,関連の演習問題を解く。			
2回	テーマ	行列式の基本性質	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	行列式の基本性質について学習し,関連の演習問題を解く。			
3回	テーマ	余因子展開	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	行列式の余因子展開について学習し,関連の演習問題を解く。			
4回	テーマ	行列式の計算	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	第2回,第3回で学んだ事柄を用いて行列式の値を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
5回	テーマ	逆行列	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	余因子を用いて行列の逆行列を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
6回	テーマ	クラメールの公式	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。 復習のみ	200
	内容	行列式を用いて連立方程式を解くことを学習し,関連の演習問題を解く。			
7回	テーマ	中間試験と講評	講義	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	中間試験,講評,内容の振り返り			
8回	テーマ	固有値	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	固有値の求め方を学習し,関連の演習問題を解く。			
9回	テーマ	固有ベクトル	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	固有ベクトルの求め方を学習し,関連の演習問題を解く。			
10回	テーマ	行列の対角化	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	第8回,第9回で学んだ事柄を用いて行列の対角化について学習し,関連の演習問題を解く。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	対角化の応用 1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく	60
	内容	対角化を用いて行列のn乗を求めることを学習し,関連の演習問題を解く。			
12回	テーマ	対角化の応用 2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	対角化を用いて,数列の問題を解くことを学習し,関連の演習問題を解く。			
13回	テーマ	対称行列の対角化	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	第14,15回の授業の準備としての対称行列の対角化を学習し,関連の演習問題を解く。			
14回	テーマ	2次曲線の標準化1	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	2次曲線の標準化について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解き、提出する。			
15回	テーマ	2次曲線の標準化2	講義　演習	【復習】課題プリントまたは指定された教科書の問題を解く。 これまでの授業内容(試験範囲)を復習し,理解を深めておく。 復習のみ	200
	内容	2次曲線の標準化について学習し,関連の演習問題(レポート問題)を解き、提出する。			
16回	テーマ	定期試験と講評	講義	【復習】科目の学修到達度レポートの作成・提出	60
	内容	定期試験,講評,全内容の振り返り			

科目名	微分方程式Ａ（２機建シス）	開講学年	2	講義コード	2211001	区分	選択
英文表記	Ordinary Differential Equation	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	日比野 剛士　大嶋 康裕						
研究室	本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照				
メールアドレス	hibino@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	微分方程式　変数分離形　同次形　完全微分形　　微分演算子　教養的知識　数理スキル　自己管理力						

授業概要

自然科学の多くの分野において、取り扱う問題を数学的に扱う際に微分方程式を用いてモデル化することが行われます。本科目では基本的な常微分方程式についての解法を学びます。 まず、一般解と特殊解について理解した上で、変数分離形, 同次形, 1階線形の各解法を学びます。その後2階の同次、非同次について、各種解法を学びます。その後、演算子法、級数解、連立微分方程式について初歩的な問題に取り組みます。 1年時の「工学・情報系の基礎数理I」および「工学・情報系の基礎数理II」を理解した上で受講してください。また「工学・情報系の数理I」および「工学・情報系の数理II」を履修しておくことも望みます。「工学・情報系の数理II」で学ぶ固有値と固有ベクトルの計算に慣れていることを前提とした授業回があります。 講義までに前回の講義内容を復習してください。毎回の単元について全ての問題を解いた場合、概ね週あたり3時間程度はかかるため、毎週の学習時間については学期始めに計画して確保しておくようにしてください。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。

関連科目

（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」、「工学・情報系の基礎数理II」（旧カリ対応:「基礎数学」、「微分積分学I」、「微分積分学II」）（連携科目）「工学・情報系の数理I」、「工学・情報系の数理II」（旧カリ対応:「線形代数学I」、「線形代数学II」、「行列と行列式」、化学工学を扱う科目、物理を扱う科目)

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c,g	c,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c	②	微分方程式に関する種々の問題に対してどの手法が適しているか総合的に判断した上で結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

計算力をつける微分方程式　内田老鶴圃　藤田 育嗣, 間田 潤　　978-4753600342

参考書

現象を解き明かす微分方程式の定式化と解法　森北出版　小中英嗣　978-4627062115
微分方程式と数理モデル　裳華房　遠藤 雅守, 北林 照幸　978-4785315733
微分方程式で数学モデルを作ろう　日本評論社　デヴィッド・バージェス・モラグ・ボリー　978-4535781733

予備知識	高等学校における数学I、1変数の微積分、偏微分
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験を行う。 2) 授業中に練習問題を演習させ、理解度を確認する。 3) 単元ごとにレポート課題を課し、理解度を確認する。 4) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 5) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、および図書館の蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の演習問題を全て解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分方程式の類書や専門科目の平易な入門書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡はWebClassもしくはポータルを用いて行います。初回に担当教員の連絡方法の説明を聞き、その連絡手段について週に1、2回は必ず連絡事項の有無を確認すること。 4. オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 発展的な（院試対策指導を優先する）学習支援を目的としての相談にも応じます。これらの時間は、(1)担当教員居室（本館付属棟3階）、(2)図書館1階「全学SALC」、(3)図書館4階学生支援センター、のいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)もしくはWebClassに随時掲示します。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ 微分方程式とは 内容 簡単な微分方程式の解法と特殊解と一般解の違いの理解	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
2回	テーマ 1階微分方程式（変数分離形） 内容 変数分離形の解法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
3回	テーマ 1階微分方程式（同次形）1 内容 同次形の解法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
4回	テーマ 1階微分方程式（同次形）2 内容 同次形に変形可能な微分方程式の解法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
5回	テーマ 1階線形微分方程式1 内容 線形微分方程式の解法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
6回	テーマ 1階線形微分方程式2 内容 ベルヌーイの微分方程式の解法 完全微分形の解法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	120
7回	テーマ 中間試験と講評 内容 中間試験と課題の講評・振り返り	講義　演習	【復習】試験範囲について、各単元の例題を振り返る。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
8回	テーマ 2階定数係数線形微分方程式（同次） 内容 同次2階定数係数線形微分方程式の解法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
9回	テーマ 2階定数係数線形微分方程式（非同次）1 内容 特殊解が定数、指数関数の場合の解法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
10回	テーマ 2階定数係数線形微分方程式（非同次）2 内容 特殊解が整式、三角関数の場合の解法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	演算子法1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	演算子を用いる解法			
12回	テーマ	演算子法2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆演算子を用いる解法			
13回	テーマ	演算子法3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	級数解 演習			
14回	テーマ	連立微分方程式	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	120
	内容	連立微分方程式の解法			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	定期試験と課題の講評･振り返り			
16回	テーマ	授業内容の総括	講義　演習	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	60
	内容	まとめと追加演習、授業内容の総括、「科目の学修到達度レポート」の提出			

科目名	微分方程式Ｂ（２機建シス）	開講学年	2	講義コード	2211002	区分	選択
英文表記	Ordinary Differential Equation	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	日比野 剛士　大嶋 康裕

研究室	本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	hibino@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	微分方程式　変数分離形　同次形　完全微分形　　微分演算子　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要

自然科学の多くの分野において、取り扱う問題を数学的に扱う際に微分方程式を用いてモデル化することが行われます。本科目では基本的な常微分方程式についての解法を学びます。 まず、一般解と特殊解について理解した上で、変数分離形, 同次形, 1階線形の各解法を学びます。その後2階の同次、非同次について、各種解法を学びます。その後、演算子法、級数解、連立微分方程式について初歩的な問題に取り組みます。 1年時の「工学・情報系の基礎数理I」および「工学・情報系の基礎数理II」を理解した上で受講してください。また「工学・情報系の数理I」および「工学・情報系の数理II」を履修しておくことも望みます。「工学・情報系の数理II」で学ぶ固有値と固有ベクトルの計算に慣れていることを前提とした授業回があります。 講義までに前回の講義内容を復習してください。毎回の単元について全ての問題を解いた場合、概ね週あたり3時間程度はかかるため、毎週の学習時間については学期始めに計画して確保しておくようにしてください。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。

関連科目

（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」、「工学・情報系の基礎数理II」（旧カリ対応:「基礎数学」、「微分積分学I」、「微分積分学II」）（連携科目）「工学・情報系の数理I」、「工学・情報系の数理II」（旧カリ対応:「線形代数学I」、「線形代数学II」、「行列と行列式」、化学工学を扱う科目、物理を扱う科目)

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2	A2
JABEE基準		c,g	c,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c	②	微分方程式に関する種々の問題に対してどの手法が適しているか総合的に判断した上で結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

計算力をつける微分方程式　内田老鶴圃　藤田 育嗣, 間田 潤　　978-4753600342

参考書

現象を解き明かす微分方程式の定式化と解法　森北出版　小中英嗣　978-4627062115
微分方程式と数理モデル　裳華房　遠藤 雅守, 北林 照幸　978-4785315733
微分方程式で数学モデルを作ろう　日本評論社　デヴィッド・バージェス・モラグ・ボリー　978-4535781733

予備知識	高等学校における数学I、1変数の微積分、偏微分
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験を行う。 2) 授業中に練習問題を演習させ、理解度を確認する。 3) 単元ごとにレポート課題を課し、理解度を確認する。 4) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 5) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、および図書館の蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の演習問題を全て解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分方程式の類書や専門科目の平易な入門書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡はWebClassもしくはポータルを用いて行います。初回に担当教員の連絡方法の説明を聞き、その連絡手段について週に1、2回は必ず連絡事項の有無を確認すること。 4. オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 発展的な（院試対策指導を優先する）学習支援を目的としての相談にも応じます。これらの時間は、(1)担当教員居室（本館付属棟3階）、(2)図書館1階「全学SALC」、(3)図書館4階学生支援センター、のいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)もしくはWebClassに随時掲示します。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	微分方程式とは	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	簡単な微分方程式の解法と特殊解と一般解の違いの理解			
2回	テーマ	1階微分方程式（変数分離形）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の解法			
3回	テーマ	1階微分方程式（同次形）1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の解法			
4回	テーマ	1階微分方程式（同次形）2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形に変形可能な微分方程式の解法			
5回	テーマ	1階線形微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	線形微分方程式の解法			
6回	テーマ	1階線形微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	120
	内容	ベルヌーイの微分方程式の解法 完全微分形の解法			
7回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】試験範囲について、各単元の例題を振り返る。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	中間試験と課題の講評・振り返り			
8回	テーマ	2階定数係数線形微分方程式（同次）	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次2階定数係数線形微分方程式の解法			
9回	テーマ	2階定数係数線形微分方程式（非同次）1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	特殊解が定数、指数関数の場合の解法			
10回	テーマ	2階定数係数線形微分方程式（非同次）2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	特殊解が整式、三角関数の場合の解法			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	演算子法1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	演算子を用いる解法			
12回	テーマ	演算子法2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆演算子を用いる解法			
13回	テーマ	演算子法3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	級数解 演習			
14回	テーマ	連立微分方程式	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	120
	内容	連立微分方程式の解法			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	定期試験と課題の講評･振り返り			
16回	テーマ	授業内容の総括	講義　演習	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	60
	内容	まとめと追加演習、授業内容の総括、「科目の学修到達度レポート」の提出			

科目名	微分方程式Ａ（２情）	開講学年	2	講義コード	2211003	区分	選択
英文表記	Ordinary Differential Equation	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	日比野 剛士　大嶋 康裕						
研究室	本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照				
メールアドレス	hibino@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	微分方程式　変数分離形　同次形　完全微分形　　微分演算子　教養的知識　数理スキル　自己管理力						

授業概要

自然科学の多くの分野において、取り扱う問題を数学的に扱う際に微分方程式を用いてモデル化することが行われます。本科目では基本的な常微分方程式についての解法を学びます。 まず、一般解と特殊解について理解した上で、変数分離形, 同次形, 1階線形の各解法を学びます。その後2階の同次、非同次について、各種解法を学びます。その後、演算子法、級数解、連立微分方程式について初歩的な問題に取り組みます。 1年時の「工学・情報系の基礎数理I」および「工学・情報系の基礎数理II」を理解した上で受講してください。また「工学・情報系の数理I」および「工学・情報系の数理II」を履修しておくことも望みます。「工学・情報系の数理II」で学ぶ固有値と固有ベクトルの計算に慣れていることを前提とした授業回があります。 講義までに前回の講義内容を復習してください。毎回の単元について全ての問題を解いた場合、概ね週あたり3時間程度はかかるため、毎週の学習時間については学期始めに計画して確保しておくようにしてください。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。

関連科目

（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」、「工学・情報系の基礎数理II」（旧カリ対応:「基礎数学」、「微分積分学I」、「微分積分学II」）（連携科目）「工学・情報系の数理I」、「工学・情報系の数理II」（旧カリ対応:「線形代数学I」、「線形代数学II」、「行列と行列式」、化学工学を扱う科目、物理を扱う科目)

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2	
JABEE基準		c,g	c,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c	②	微分方程式に関する種々の問題に対してどの手法が適しているか総合的に判断した上で結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

計算力をつける微分方程式　内田老鶴圃　藤田 育嗣, 間田 潤　　978-4753600342

参考書

現象を解き明かす微分方程式の定式化と解法　森北出版　小中英嗣　978-4627062115
微分方程式と数理モデル　裳華房　遠藤 雅守, 北林 照幸　978-4785315733
微分方程式で数学モデルを作ろう　日本評論社　デヴィッド・バージェス・モラグ・ボリー　978-4535781733

予備知識	高等学校における数学I、1変数の微積分、偏微分
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験を行う。 2) 授業中に練習問題を演習させ、理解度を確認する。 3) 単元ごとにレポート課題を課し、理解度を確認する。 4) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 5) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、および図書館の蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の演習問題を全て解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分方程式の類書や専門科目の平易な入門書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡はWebClassもしくはポータルを用いて行います。初回に担当教員の連絡方法の説明を聞き、その連絡手段について週に1、2回は必ず連絡事項の有無を確認すること。 4. オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 発展的な（院試対策指導を優先する）学習支援を目的としての相談にも応じます。これらの時間は、(1)担当教員居室（本館付属棟3階）、(2)図書館1階「全学SALC」、(3)図書館4階学生支援センター、のいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)もしくはWebClassに随時掲示します。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	微分方程式とは	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	簡単な微分方程式の解法と特殊解と一般解の違いの理解			
2回	テーマ	1階微分方程式(変数分離形)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	変数分離形の解法			
3回	テーマ	1階微分方程式(同次形)1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形の解法			
4回	テーマ	1階微分方程式(同次形)2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次形に変形可能な微分方程式の解法			
5回	テーマ	1階線形微分方程式1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	線形微分方程式の解法			
6回	テーマ	1階線形微分方程式2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	120
	内容	ベルヌーイの微分方程式の解法 完全微分形の解法			
7回	テーマ	中間試験と講評	講義　演習	【復習】試験範囲について、各単元の例題を振り返る。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	中間試験と課題の講評・振り返り			
8回	テーマ	2階定数係数線形微分方程式(同次)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	同次2階定数係数線形微分方程式の解法			
9回	テーマ	2階定数係数線形微分方程式(非同次)1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	特殊解が定数、指数関数の場合の解法			
10回	テーマ	2階定数係数線形微分方程式(非同次)2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	特殊解が整式、三角関数の場合の解法			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	演算子法1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	演算子を用いる解法			
12回	テーマ	演算子法2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆演算子を用いる解法			
13回	テーマ	演算子法3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	級数解 演習			
14回	テーマ	連立微分方程式	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	120
	内容	連立微分方程式の解法			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	定期試験と課題の講評･振り返り			
16回	テーマ	授業内容の総括	講義　演習	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	60
	内容	まとめと追加演習、授業内容の総括、「科目の学修到達度レポート」の提出			

科目名	微分方程式Ｂ（２情）	開講学年	2	講義コード	2211004	区分	選択
英文表記	Ordinary Differential Equation	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	日比野 剛士　大嶋 康裕						
研究室	本館306（日比野）　本館307（大嶋）	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照				
メールアドレス	hibino@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	微分方程式　変数分離形　同次形　完全微分形　　微分演算子　教養的知識　数理スキル　自己管理力						

授業概要

自然科学の多くの分野において、取り扱う問題を数学的に扱う際に微分方程式を用いてモデル化することが行われます。本科目では基本的な常微分方程式についての解法を学びます。 まず、一般解と特殊解について理解した上で、変数分離形, 同次形, 1階線形の各解法を学びます。その後2階の同次、非同次について、各種解法を学びます。その後、演算子法、級数解、連立微分方程式について初歩的な問題に取り組みます。 1年時の「工学・情報系の基礎数理I」および「工学・情報系の基礎数理II」を理解した上で受講してください。また「工学・情報系の数理I」および「工学・情報系の数理II」を履修しておくことも望みます。「工学・情報系の数理II」で学ぶ固有値と固有ベクトルの計算に慣れていることを前提とした授業回があります。 講義までに前回の講義内容を復習してください。毎回の単元について全ての問題を解いた場合、概ね週あたり3時間程度はかかるため、毎週の学習時間については学期始めに計画して確保しておくようにしてください。 試験・レポート課題のフィードバックについては、初回のオリエンテーションもしくは課題提示した授業回で実施方法を説明します。

関連科目

（基礎科目）「工学・情報系の基礎数理I」、「工学・情報系の基礎数理II」（旧カリ対応:「基礎数学」、「微分積分学I」、「微分積分学II」）（連携科目）「工学・情報系の数理I」、「工学・情報系の数理II」（旧カリ対応:「線形代数学I」、「線形代数学II」、「行列と行列式」、化学工学を扱う科目、物理を扱う科目)

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2	
JABEE基準		c,g	c,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	微分方程式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c	②	微分方程式に関する種々の問題に対してどの手法が適しているか総合的に判断した上で結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	40	0	10	10	0	10	0	100

教科書

計算力をつける微分方程式　内田老鶴圃　藤田 育嗣, 間田 潤　　978-4753600342

参考書

現象を解き明かす微分方程式の定式化と解法　森北出版　小中英嗣　978-4627062115
微分方程式と数理モデル　裳華房　遠藤 雅守, 北林 照幸　978-4785315733
微分方程式で数学モデルを作ろう　日本評論社　デヴィッド・バージェス・モラグ・ボリー　978-4535781733

予備知識	高等学校における数学I、1変数の微積分、偏微分
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験を行う。 2) 授業中に練習問題を演習させ、理解度を確認する。 3) 単元ごとにレポート課題を課し、理解度を確認する。 4) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 5) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、および図書館の蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、授業内容に対応する教科書の演習問題を全て解くこと。所要時間は、予習と復習の比率は1:2を目安とし、充分に確保すること。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある微分方程式の類書や専門科目の平易な入門書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡はWebClassもしくはポータルを用いて行います。初回に担当教員の連絡方法の説明を聞き、その連絡手段について週に1、2回は必ず連絡事項の有無を確認すること。 4. オフィスアワーは初回の授業で連絡します。 5. 発展的な（院試対策指導を優先する）学習支援を目的としての相談にも応じます。これらの時間は、(1)担当教員居室（本館付属棟3階）、(2)図書館1階「全学SALC」、(3)図書館4階学生支援センター、のいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)もしくはWebClassに随時掲示します。 6. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ 微分方程式とは 内容 簡単な微分方程式の解法と特殊解と一般解の違いの理解	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
2回	テーマ 1階微分方程式（変数分離形） 内容 変数分離形の解法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
3回	テーマ 1階微分方程式（同次形）1 内容 同次形の解法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
4回	テーマ 1階微分方程式（同次形）2 内容 同次形に変形可能な微分方程式の解法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
5回	テーマ 1階線形微分方程式1 内容 線形微分方程式の解法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
6回	テーマ 1階線形微分方程式2 内容 ベルヌーイの微分方程式の解法 完全微分形の解法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	120
7回	テーマ 中間試験と講評 内容 中間試験と課題の講評・振り返り	講義　演習	【復習】試験範囲について、各単元の例題を振り返る。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
8回	テーマ 2階定数係数線形微分方程式（同次） 内容 同次2階定数係数線形微分方程式の解法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
9回	テーマ 2階定数係数線形微分方程式（非同次）1 内容 特殊解が定数、指数関数の場合の解法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
10回	テーマ 2階定数係数線形微分方程式（非同次）2 内容 特殊解が整式、三角関数の場合の解法	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	演算子法1	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	演算子を用いる解法			
12回	テーマ	演算子法2	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	逆演算子を用いる解法			
13回	テーマ	演算子法3	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	級数解 演習			
14回	テーマ	連立微分方程式	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解いておくこと。【予習】試験範囲について、各単元の例題や練習問題を解いておくこと。	120
	内容	連立微分方程式の解法			
15回	テーマ	定期試験と講評	講義　演習	【復習】これまでの授業範囲の問題を試験範囲を中心に例題を振り返る。【予習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	定期試験と課題の講評･振り返り			
16回	テーマ	授業内容の総括	講義　演習	【復習】SOJOポートフォリオシステム上で「科目の学修到達度レポート」の提出。	60
	内容	まとめと追加演習、授業内容の総括、「科目の学修到達度レポート」の提出			

科目名	バイオ・化学系の数理ＩＩＡ（２ナ生物）	開講学年	2	講義コード	2211201	区分	選択
英文表記	Matrices and Determinants	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	河合 浩明

研究室	本館308	オフィスアワー	学修上の注意欄を参照

メールアドレス	kawai @ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	行列　逆行列　行列式　連立方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	本学の数理基礎科目では、各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能・論理的思考力を養います。 線形代数学は微分積分学と並んで、理系の数学の基礎知識として重要です。統計学、化学工学、数理生物学を学ぶ上で重要な知識となっています。このような状況のもとで、本講義では、行列および行列式の計算について学習します。 尚、試験・レポート（課題）等を実施した場合は、次回の授業中にフィードバックします。

関連科目

（連携科目）「バイオ・化学系の基礎数理Ｉ」（旧カリ：微分積分学Ｉ）、「バイオ・化学系の基礎数理ＩＩ」（旧カリ：微分積分学ＩＩ）、「バイオ・化学系の数理Ｉ」（旧カリ：確率統計）（発展科目）数理生物学や微分方程式の発展的内容を活用する科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			c,g	c,g

JABEE記号		学生の到達度目標
c,f	①	行列と連立1次方程式,行列式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c,f	②	行列と連立1次方程式,行列式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	10	10	10	0	10	0	100

教科書	線形代数の基礎　サイエンス社　寺田文行・木村宣昭　　4-7819-0846-2

参考書	

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. 講義連絡を WebClass を用いて行うと案内があったクラスについては、週に2、3回は必ず連絡事項の有無を確認すること。それ以外のクラスではポータルのお知らせや授業時の教員の指示を確認すること。 4. オフィスアワーは次の通りです。火曜日4時限（河合）。質問については図書館4階の学生支援センターの相談窓口を訪ねてください。　基本的および発展的な学習支援の相談をオフィスアワーの時間に受け付けます。オフィスアワーは、(1)担当教員居室、(2)図書館4階学生支援センターのいずれかに待機しています。スケジュールと待機場所は(1)室もしくはWebClassに随時掲示します。 5. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	行列の定義と行列の演算	講義　演習	【今回の予習】教科書の最初、行列の定義および演算について事前に定義・例題を読んでおくこと。【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合1:1	60
	内容	行列を数の一つの拡張として理解し、行列の和、差、スカラー倍の計算について学び、演習を行う。			
2回	テーマ	行列の演算(積)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	行列の積の計算について学び、演習を行う。			
3回	テーマ	正方行列と逆行列	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	行列の演算で大きな役割を持つ正方行列と逆行列について学び、演習を行う。			
4回	テーマ	行列と連立一次方程式(1)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	連立一次方程式を、行列を用いて表すことについて学び、演習を行う。			
5回	テーマ	行列と連立一次方程式(2)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	連立一次方程式を、行列を用いて解くことについて学び、演習を行う。			
6回	テーマ	階段行列	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	連立一次方程式の中から本質的な式だけを取り出すために必要な方法について学び、演習を行う。			
7回	テーマ	連立一次方程式の解	講義　演習	【復習】中間試験の勉強	200
	内容	前回に引き続き、連立一次方程式の中から本質的な式だけを取り出すために必要な方法について学び、連立方程式の解の種類について調べる。			
8回	テーマ	逆行列の求め方、中間試験と講評	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	逆行列の求め方について学ぶ。課題の講評・振り返りとして、前回までの範囲について中間試験を実施しその理解度を確認する。			
9回	テーマ	行列式の定義(1)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	行列式の定義について理解をする。			
10回	テーマ	行列式の定義(2)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	前回に引き続き、行列式について学び、演習を行う。			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	行列式の性質(1)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。	60
	内容	いろいろな性質を用いて、行列式の計算について学び、演習を行う			
12回	テーマ	行列式の性質(2)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	前回に引き続き、いろいろな性質を用いて、行列式の計算演習を行う			
13回	テーマ	逆行列の存在条件	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	逆行列の存在条件について学び、演習を行う。			
14回	テーマ	逆行列と連立一次方程式	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと。 復習と予習の割合2:1	60
	内容	クラメールの公式について学び、演習を行う。			
15回	テーマ	行列式の応用	講義　演習	【復習】定期試験の勉強	200
	内容	13,14回の講義内容（基本的応用）以外の行列式の応用について学び、演習を行う。			
16回	テーマ	定期試験と講評	講義	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	定期試験，講評，全内容の振り返り			

科目名	バイオ・化学系の数理ＩＩＢ（２ナ生物）	開講学年	2	講義コード	2211202	区分	選択
英文表記	Matrices and Determinants	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	甲斐 隆志（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業時間前後の教室・非常勤講師室

メールアドレス	kai @kumamoto-pct.ac.jp

キーワード	行列　逆行列　行列式　連立方程式　　教養的知識　数理スキル　自己管理力

授業概要	本学の数理基礎科目では、各学科の専門科目を学ぶ上で必要となる基礎的な数理的技能・論理的思考力を養います。 線形代数学は微分積分学と並んで、理系の数学の基礎知識として重要です。統計学、化学工学、数理生物学を学ぶ上で重要な知識となっています。このような状況のもとで、本講義では、行列および行列式の計算について学習します。 尚、試験・レポート（課題）等を実施した場合は、次回の授業中にフィードバックします。

関連科目

（連携科目）「バイオ・化学系の基礎数理Ｉ」（旧カリ：微分積分学Ｉ）、「バイオ・化学系の基礎数理ＩＩ」（旧カリ：微分積分学ＩＩ）、「バイオ・化学系の数理Ｉ」（旧カリ：確率統計）（発展科目）数理生物学や微分方程式の発展的内容を活用する科目

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	
	JABEE基準		c,g	c,g	

JABEE記号		学生の到達度目標
c,f	①	行列と連立1次方程式,行列式について,基本的な概念と計算手法を理解できる。
c,f	②	行列と連立1次方程式,行列式に関する種々の問題に対して,適切な手法を用いて結論を導くことができる。
g	③	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	10	10	10	0	10	0	100

教科書	新線形代数 改訂版　大日本図書　井川治、碓氷久、金子真隆、高遠節夫、濵口直樹、前田善文、共著　　978-4477033419

参考書	

予備知識	高等学校における、数学I
実務経験のある教員	
評価明細基準	1) 中間試験および定期試験。 2) レポート（課題）の提出状況により評価する。 3) 毎回の授業における演習問題の解答状況により理解度を評価する。 4) 小テストもしくは全学SALC演習（WebClass利用）の正解率から理解度を評価する。 5) 科目の学修到達度レポートを作成して、自己評価する。 6) 授業時に指定する課題についてのレポート（提出方法指定あり）、図書館の科目に関係する蔵書を利用した課題をレポートとして課し、評価に加える。

学修上の注意 (SBOs)	1. 自宅学習の時間を使って、上記授業内容に対応する教科書の平易な演習問題を全て解くこと。またその他の問題も必ず解くこと。 2. 不明な点は、授業時間前後やオフィスアワーの時間帯に授業担当者へ質問するか,図書館4階の学生支援センターの学習相談員（数学）に相談し、質問および図書館3階にある線形代数学の類書を読み理解を深めていくこと。 3. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ 内容	行列の定義と行列の演算 行列を数の一つの拡張として理解し、行列の和、差、スカラー倍の計算について学び、演習を行う。	講義　演習	【今回の予習】教科書の最初、行列の定義および演算について事前に定義・例題を読んでおくこと。【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合1:1	60
2回	テーマ 内容	行列の演算(積) 行列の積の計算について学び、演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
3回	テーマ 内容	正方行列と逆行列 行列の演算で大きな役割を持つ正方行列と逆行列について学び、演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
4回	テーマ 内容	行列と連立一次方程式(1) 連立一次方程式を、行列を用いて表すことについて学び、演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
5回	テーマ 内容	行列と連立一次方程式(2) 連立一次方程式を、行列を用いて解くことについて学び、演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
6回	テーマ 内容	階段行列 連立一次方程式の中から本質的な式だけを取り出すために必要な方法について学び、演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
7回	テーマ 内容	連立一次方程式の解 前回に引き続き、連立一次方程式の中から本質的な式だけを取り出すために必要な方法について学び、連立方程式の解の種類について調べる。	講義　演習	【復習】中間試験の勉強	200
8回	テーマ 内容	逆行列の求め方、中間試験と講評 逆行列の求め方について学ぶ。課題の講評・振り返りとして、前回までの範囲について中間試験を実施しその理解度を確認する。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
9回	テーマ 内容	行列式の定義(1) 行列式の定義について理解をする。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60
10回	テーマ 内容	行列式の定義(2) 前回に引き続き、行列式について学び、演習を行う。	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。 復習と予習の割合2:1	60

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	行列式の性質(1)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。復習と予習の割合2:1	60
	内容	いろいろな性質を用いて、行列式の計算について学び、演習を行う			
12回	テーマ	行列式の性質(2)	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。復習と予習の割合2:1	60
	内容	前回に引き続き、いろいろな性質を用いて、行列式の計算演習を行う			
13回	テーマ	逆行列の存在条件	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】次回の授業内容について学習しておく。復習と予習の割合2:1	60
	内容	逆行列の存在条件について学び、演習を行う。			
14回	テーマ	逆行列と連立一次方程式	講義　演習	【復習】授業で指定された教科書の問題、もしくは与えられた課題を解く。【予習】これまでの授業内容（試験範囲）を復習して、理解を深めておくこと。 復習と予習の割合2:1	120
	内容	クラメールの公式について学び、演習を行う。			
15回	テーマ	行列式の応用	講義　演習	【復習】定期試験の勉強	200
	内容	13,14回の講義内容（基本的応用）以外の行列式の応用について学び、演習を行う。			
16回	テーマ	定期試験と講評	講義	【予習】「科目の学修到達度レポート」の作成	60
	内容	定期試験，講評，全内容の振り返り			

科目名	物理学◎①（１機）	開講学年	1	講義コード	2220201	区分	必修
英文表記	physics	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	町田光男（非常勤）　板橋克美						
研究室	本館1階 非常勤講師室(町田光男)　F701（板橋克美）			オフィスアワー	町田：木曜5時限、 板橋：木曜4時限		
メールアドレス	machida@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	等速円運動　摩擦力　単振動　力学的エネルギー　　剛体　教養的知識　数理スキル						

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に機械工学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。
前半では、等速円運動をしている物体の表し方を理解し、向心力、遠心力などの慣性力を学ぶ。次に、垂直抗力、制止摩擦力、動摩擦力について運動方程式とその一般解、初期条件について学ぶ。また、空気抵抗が働いている雨滴の運動方程式、糸などで結合された物体のつり合いと運動方程式、フックの法則、ばねにつながれた物体の運動方程式について、一般解と初期条件について学ぶ。 後半では、単振子の運動方程式とその一般解と初期条件について学ぶ。次に、仕事の定義、仕事と位置エネルギーの関係、運動エネルギーと位置エネルギーの関係について学ぶ。さらに、力のモーメントと剛体のつり合いの条件、角運動量とその性質、中心力について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。
※試験については対面で行う予定である。

関連科目

1.基礎物理学 2.物理学実験 3.工学・情報系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.工業力学Ⅰ・Ⅱ 5.自動車力学 など多くの科目に関係する。

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	円運動や単振動などの運動と、摩擦が働くときの運動について運動方程式を用いて解くことができる。
c	②	運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギーの保存則、剛体のつり合い、角運動量が理解することができる。
c, g	③	様々な物理的現象について、物理量の関係をグラフや数式、図等で表すことができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学 2.工学･情報系の基礎数理Ⅰ
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	円運動Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	等速円運動をしている物体の表し方(位置、速度、加速度)について学ぶ。	講義・演習		
2回	テーマ	円運動Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	向心力、遠心力などの慣性力について学ぶ。	講義・演習		
3回	テーマ	摩擦力	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	垂直抗力、制止摩擦力、動摩擦力について学ぶ。	講義・演習		
4回	テーマ	摩擦がはたらいている物体の運動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	運動方程式、一般解と初期条件について学ぶ。	講義・演習		
5回	テーマ	雨滴の運動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	空気抵抗が働いている雨滴の運動方程式、終端速度について学ぶ。	講義・演習		
6回	テーマ	結合した物体の運動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	糸などで結合された物体のつり合いと運動方程式について学ぶ。	講義・演習		
7回	テーマ	フックの法則と単振動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	フックの法則、ばねにつながれた物体の運動方程式、一般解と初期条件について学ぶ。	講義・演習		
8回	テーマ	中間試験とまとめ	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.~7.までの学習到達度の評価	講義・演習		
9回	テーマ	単振子	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	単振子の運動方程式、一般解と初期条件について学ぶ。	講義・演習		
10回	テーマ	仕事と位置エネルギー	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	仕事の定義、仕事と位置エネルギーの関係について学ぶ。	講義・演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	位置エネルギーと運動エネルギー	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーの関係について学ぶ。	講義・演習		
12回	テーマ	力学的エネルギー保存則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	力学的エネルギー保存則とそれに関連した問題例について学ぶ	講義・演習		
13回	テーマ	力のモーメントと剛体のつり合い	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 剛体の回転運動)。	60
	内容	力のモーメントと剛体のつり合いの条件について学ぶ。	講義・演習		
14回	テーマ	角運動量	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 剛体の回転運動)。	60
	内容	角運動量とその性質、中心力について学ぶ。	講義・演習		
15回	テーマ	中間試験とまとめ	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	1.～14.までの学習到達度の評価	講義・演習		
16回	テーマ	まとめ	対面	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	1.～15.までの内容の総括	講義・演習		

科目名	物理学◎②（１機）	開講学年	1	講義コード	2220202	区分	必修
英文表記	physics	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	町田光男（非常勤）　板橋克美						
研究室	本館1階 非常勤講師室(町田光男)　F701（板橋克美）			オフィスアワー	町田：木曜5時限、 板橋：木曜4時限		
メールアドレス	machida@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	等速円運動　摩擦力　単振動　力学的エネルギー　　剛体　教養的知識　数理スキル						

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に機械工学を学ぶ上で重要な力学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。
前半では、等速円運動をしている物体の表し方を理解し、向心力、遠心力などの慣性力を学ぶ。次に、垂直抗力、制止摩擦力、動摩擦力について運動方程式とその一般解、初期条件について学ぶ。また、空気抵抗が働いている雨滴の運動方程式、糸などで結合された物体のつり合いと運動方程式、フックの法則、ばねにつながれた物体の運動方程式について、一般解と初期条件について学ぶ。 後半では、単振子の運動方程式とその一般解と初期条件について学ぶ。次に、仕事の定義、仕事と位置エネルギーの関係、運動エネルギーと位置エネルギーの関係について学ぶ。さらに、力のモーメントと剛体のつり合いの条件、角運動量とその性質、中心力について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。
※試験については対面で行う予定である。

関連科目

1.基礎物理学 2.物理学実験 3.工学・情報系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.工業力学Ⅰ・Ⅱ 5.自動車力学 など多くの科目に関係する。

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	円運動や単振動などの運動と、摩擦が働くときの運動について運動方程式を用いて解くことができる。
c	②	運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギーの保存則、剛体のつり合い、角運動量が理解することができる。
c, g	③	様々な物理的現象について、物理量の関係をグラフや数式、図等で表すことができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学 2.工学･情報系の基礎数理Ⅰ
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	円運動Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	等速円運動をしている物体の表し方(位置、速度、加速度)について学ぶ。	講義・演習		
2回	テーマ	円運動Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	向心力、遠心力などの慣性力について学ぶ。	講義・演習		
3回	テーマ	摩擦力	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	垂直抗力、制止摩擦力、動摩擦力について学ぶ。	講義・演習		
4回	テーマ	摩擦がはたらいている物体の運動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	運動方程式、一般解と初期条件について学ぶ。	講義・演習		
5回	テーマ	雨滴の運動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	空気抵抗が働いている雨滴の運動方程式、終端速度について学ぶ。	講義・演習		
6回	テーマ	結合した物体の運動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	糸などで結合された物体のつり合いと運動方程式について学ぶ。	講義・演習		
7回	テーマ	フックの法則と単振動	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	フックの法則、ばねにつながれた物体の運動方程式、一般解と初期条件について学ぶ。	講義・演習		
8回	テーマ	中間試験とまとめ	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.~7.までの学習到達度の評価	講義・演習		
9回	テーマ	単振子	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(4章 いろいろな運動)。	60
	内容	単振子の運動方程式、一般解と初期条件について学ぶ。	講義・演習		
10回	テーマ	仕事と位置エネルギー	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	仕事の定義、仕事と位置エネルギーの関係について学ぶ。	講義・演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	位置エネルギーと運動エネルギー	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーの関係について学ぶ。	講義・演習		
12回	テーマ	力学的エネルギー保存則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(5章 力学的エネルギー)。	60
	内容	力学的エネルギー保存則とそれに関連した問題例について学ぶ	講義・演習		
13回	テーマ	力のモーメントと剛体のつり合い	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 剛体の回転運動)。	60
	内容	力のモーメントと剛体のつり合いの条件について学ぶ。	講義・演習		
14回	テーマ	角運動量	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(6章 剛体の回転運動)。	60
	内容	角運動量とその性質、中心力について学ぶ。	講義・演習		
15回	テーマ	中間試験とまとめ	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	1.～14.までの学習到達度の評価	講義・演習		
16回	テーマ	まとめ	対面	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	1.～15.までの内容の総括	講義・演習		

科目名	物理学①（１ナ生物）	開講学年	1	講義コード	2220203	区分	選択
英文表記	physics	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	田代寛之　板橋克美　福島和洋(非常勤）

研究室	F702(田代寛之)　F801(板橋克美)　本館1階 非常勤講師室(福島和洋)	オフィスアワー	田代：木曜5時限、板橋：月曜5時限、福島：授業終了後

メールアドレス	hiroyuki@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	速度と加速度　運動の法則　具体的な運動　力学的エネルギー　　教養的知識　数理スキル

授業概要	物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特にナノサイエンス学科、生物生命科学を学ぶ上で重要な熱力学、電磁気学、波を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 具体的には、まず前半では、物理学を学ぶのに必要なベクトルの概念および表現法について学び、力の合成・分解・つり合いを学ぶ。位置、速度、加速度の関係、運動の第1～3法則について学び、直線上の運動、平面上の運動の運動方程式を解く。また、等速円運動、フックの法則、単振動について学ぶ。さらに後半では、仕事、力学的エネルギーとその保存則、運動量、運動量保存則について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目

1.基礎物理学 2.物理学実験 3.バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.化学Ⅰ・Ⅱ 5.基礎物理化学・物理化学 など多くの科目に関係する。

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・選択 【科目区分】・・・教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項（中学校及び高等学校 理科）【各科目に含めることが必要な事項】・・・物理学

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルや微分積分を用いて表す方法を理解した上で、典型的な物体の運動を理解することができる。
c	②	運動の3法則やエネルギー保存則、および運動量保存則を理解することができる。
c	③	様々な物理的現象について、物理量の関係をグラフや数式、図等で表すことができる。
c, g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学 2.バイオ･化学系の基礎数理Ⅰ
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトル	対面	【予習】教科書(2章 2.1 スカラー量とベクトル量)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要なベクトルの概念および表現法について学ぶ。	講義　演習		
2回	テーマ	力のつりあい	対面	【予習】教科書(2章 2.2 力の合成と分解、2.3 力のつり合い)読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力の合成、力の分解および力のつり合いについて学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	速度と加速度Ⅰ	対面	【予習】教科書(2章 2.3 位置、速度、加速度)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。	講義　演習		
4回	テーマ	速度と加速度Ⅱ	対面	【予習】教科書(2章 2.4 位置、速度、加速度の関係)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	運動の法則	対面	【予習】教科書(3章 3.1 運動の3法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式Ⅰ	対面	【予習】教科書(4章 4.1 直線運動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)の運動方程式を解く。	講義　演習		
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式Ⅱ	対面	【予習】教科書(4章 4.2 放物運動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)の運動方程式を解く。	講義　演習		
8回	テーマ	円運動	対面	【予習】教科書(4章 4.3 等速円運動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。	講義　演習		
9回	テーマ	単振動	対面	【予習】教科書(4章 4.6 振動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	フックの法則とばねに接続されたおもりの単振動について学ぶ。	講義　演習		
10回	テーマ	学習到達度判定	対面	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	1.~9.の中間試験とまとめを行う。	講義　試験		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	仕事	対面	【予習】教科書(5章 5.1 仕事)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	仕事について学ぶ。	講義　演習		
12回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	対面	【予習】教科書(5章 5.2 運動エネルギー、5.3 位置エネルギー)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。	講義　演習		
13回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	対面	【予習】教科書(5章 5.5 力学的エネルギーとその保存則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。	講義　演習		
14回	テーマ	運動量	対面	【予習】教科書(3章 3.3 運動量と力積、3.4 運動量保存則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。	講義　演習		
15回	テーマ	学習到達度判定	対面	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。「到達度ポートフォリオ」の作成	60
	内容	1.～14.の中間試験とまとめを行う。	講義　試験		
16回	テーマ	1.～15.までのまとめ	対面	「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	講義のまとめ。	講義		

科目名	物理学②（１ナ生物）	開講学年	1	講義コード	2220204	区分	選択
英文表記	physics	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	田代寛之　板橋克美　福島和洋(非常勤）

研究室	F702(田代寛之)　F801(板橋克美)　本館1階 非常勤講師室(福島和洋)	オフィスアワー	田代：木曜5時限、板橋：月曜5時限、福島：授業終了後

メールアドレス	hiroyuki@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	速度と加速度　運動の法則　具体的な運動　力学的エネルギー　　教養的知識　数理スキル

授業概要	物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特にナノサイエンス学科、生物生命科学を学ぶ上で重要な熱力学、電磁気学、波を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 具体的には、まず前半では、物理学を学ぶのに必要なベクトルの概念および表現法について学び、力の合成・分解・つり合いを学ぶ。位置、速度、加速度の関係、運動の第1～3法則について学び、直線上の運動、平面上の運動の運動方程式を解く。また、等速円運動、フックの法則、単振動について学ぶ。さらに後半では、仕事、力学的エネルギーとその保存則、運動量、運動量保存則について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目
1.基礎物理学 2.物理学実験 3.バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.化学Ⅰ・Ⅱ 5.基礎物理化学・物理化学 など多くの科目に関係する。

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・選択 【科目区分】・・・教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項（中学校及び高等学校 理科）【各科目に含めることが必要な事項】・・・物理学

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルや微分積分を用いて表す方法を理解した上で、典型的な物体の運動を理解することができる。
c	②	運動の3法則やエネルギー保存則、および運動量保存則を理解することができる。
c	③	様々な物理的現象について、物理量の関係をグラフや数式、図等で表すことができる。
c, g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学 2.バイオ･化学系の基礎数理Ⅰ
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトル	対面	【予習】教科書(2章 2.1 スカラー量とベクトル量)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要なベクトルの概念および表現法について学ぶ。	講義　演習		
2回	テーマ	力のつりあい	対面	【予習】教科書(2章 2.2 力の合成と分解、2.3 力のつり合い)読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力の合成、力の分解および力のつり合いについて学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	速度と加速度Ⅰ	対面	【予習】教科書(2章 2.3 位置、速度、加速度)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。	講義　演習		
4回	テーマ	速度と加速度Ⅱ	対面	【予習】教科書(2章 2.4 位置、速度、加速度の関係)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	運動の法則	対面	【予習】教科書(3章 3.1 運動の3法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式Ⅰ	対面	【予習】教科書(4章 4.1 直線運動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)の運動方程式を解く。	講義　演習		
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式Ⅱ	対面	【予習】教科書(4章 4.2 放物運動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)の運動方程式を解く。	講義　演習		
8回	テーマ	円運動	対面	【予習】教科書(4章 4.3 等速円運動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。	講義　演習		
9回	テーマ	単振動	対面	【予習】教科書(4章 4.6 振動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	フックの法則とばねに接続されたおもりの単振動について学ぶ。	講義　演習		
10回	テーマ	学習到達度判定	対面	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	1.~9.の中間試験とまとめを行う。	講義　試験		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	仕事	対面	【予習】教科書(5章 5.1 仕事)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	仕事について学ぶ。	講義　演習		
12回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	対面	【予習】教科書(5章 5.2 運動エネルギー、5.3 位置エネルギー)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。	講義　演習		
13回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	対面	【予習】教科書(5章 5.5 力学的エネルギーとその保存則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。	講義　演習		
14回	テーマ	運動量	対面	【予習】教科書(3章 3.3 運動量と力積、3.4 運動量保存則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。	講義　演習		
15回	テーマ	学習到達度判定	対面	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。「到達度ポートフォリオ」の作成	60
	内容	1.～14.の中間試験とまとめを行う。	講義　試験		
16回	テーマ	1.～15.までのまとめ	対面	「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	講義のまとめ。	講義		

科目名	物理学③（１ナ生物）	開講学年	1	講義コード	2220205	区分	選択
英文表記	physics	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	田代寛之　板橋克美　福島和洋(非常勤）

研究室	F702(田代寛之)　F801(板橋克美)　本館1階 非常勤講師室(福島和洋)	オフィスアワー	田代：木曜5時限、板橋：月曜5時限、福島：授業終了後

メールアドレス	hiroyuki@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	速度と加速度　運動の法則　具体的な運動　力学的エネルギー　　教養的知識　数理スキル

授業概要	物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特にナノサイエンス学科、生物生命科学を学ぶ上で重要な熱力学、電磁気学、波を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 具体的には、まず前半では、物理学を学ぶのに必要なベクトルの概念および表現法について学び、力の合成・分解・つり合いを学ぶ。位置、速度、加速度の関係、運動の第1～3法則について学び、直線上の運動、平面上の運動の運動方程式を解く。また、等速円運動、フックの法則、単振動について学ぶ。さらに後半では、仕事、力学的エネルギーとその保存則、運動量、運動量保存則について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目

1.基礎物理学 2.物理学実験 3.バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.化学Ⅰ・Ⅱ 5.基礎物理化学・物理化学 など多くの科目に関係する。

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修・選択】・・・選択 【科目区分】・・・教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する専門的事項（中学校及び高等学校 理科）【各科目に含めることが必要な事項】・・・物理学

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	物理量をベクトルや微分積分を用いて表す方法を理解した上で、典型的な物体の運動を理解することができる。
c	②	運動の3法則やエネルギー保存則、および運動量保存則を理解することができる。
c	③	様々な物理的現象について、物理量の関係をグラフや数式、図等で表すことができる。
c, g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学 2.バイオ･化学系の基礎数理Ⅰ
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ベクトル	対面	【予習】教科書(2章 2.1 スカラー量とベクトル量)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	物理学を学ぶのに必要なベクトルの概念および表現法について学ぶ。	講義　演習		
2回	テーマ	力のつりあい	対面	【予習】教科書(2章 2.2 力の合成と分解、2.3 力のつり合い)読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力の合成、力の分解および力のつり合いについて学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	速度と加速度Ⅰ	対面	【予習】教科書(2章 2.3 位置、速度、加速度)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	位置(変位)、速度、加速度の関係について学ぶ。	講義　演習		
4回	テーマ	速度と加速度Ⅱ	対面	【予習】教科書(2章 2.4 位置、速度、加速度の関係)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	位置、速度、加速度が微分または積分により相互変換されることについて学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	運動の法則	対面	【予習】教科書(3章 3.1 運動の3法則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	運動の第1法則、第2法則、第3法則について学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	物体の運動と運動方程式Ⅰ	対面	【予習】教科書(4章 4.1 直線運動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	直線上の運動(自由落下、鉛直投げ上げ)の運動方程式を解く。	講義　演習		
7回	テーマ	物体の運動と運動方程式Ⅱ	対面	【予習】教科書(4章 4.2 放物運動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	平面上の運動(水平投射、斜方投射)の運動方程式を解く。	講義　演習		
8回	テーマ	円運動	対面	【予習】教科書(4章 4.3 等速円運動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	等速円運動をしている物体の運動の表し方について学ぶ。	講義　演習		
9回	テーマ	単振動	対面	【予習】教科書(4章 4.6 振動)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	フックの法則とばねに接続されたおもりの単振動について学ぶ。	講義　演習		
10回	テーマ	学習到達度判定	対面	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	1.~9.の中間試験とまとめを行う。	講義　試験		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	仕事	対面 講義　演習	【予習】教科書(5章 5.1 仕事)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	仕事について学ぶ。			
12回	テーマ	運動エネルギーと位置エネルギー	対面 講義　演習	【予習】教科書(5章 5.2 運動エネルギー、5.3 位置エネルギー)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	運動エネルギーと位置エネルギーについて学ぶ。			
13回	テーマ	力学的エネルギーの保存則	対面 講義　演習	【予習】教科書(5章 5.5 力学的エネルギーとその保存則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	力学的エネルギーの保存則について学ぶ。			
14回	テーマ	運動量	対面 講義　演習	【予習】教科書(3章 3.3 運動量と力積、3.4 運動量保存則)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。	60
	内容	運動量の定義を学び、運動量保存則について学ぶ。			
15回	テーマ	学習到達度判定	対面 講義　試験	【予習】教科書(授業範囲)を読む。【復習】小テストまたは与えられた課題を解く。「到達度ポートフォリオ」の作成	60
	内容	1.～14.の中間試験とまとめを行う。			
16回	テーマ	1.～15.までのまとめ	対面 講義	「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	講義のまとめ。			

科目名	物理学◎①（１建）	開講学年	1	講義コード	2220206	区分	必修
英文表記	physics	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	天本徳浩　上野賢仁						
研究室	F802(天本徳浩)　F803(上野賢仁)			オフィスアワー	天本：木曜5時限、 上野：木曜4時限		
メールアドレス	amamoto@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	波　熱力学　電磁気学　教養的知識　　数理スキル						

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に建築学を学ぶ上で重要な波、熱力学、電磁気学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 前半では、波、熱、電磁気について概念や法則を理解し、数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な物理現象について問題を解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。 具体的には、波については、波を表す量、縦波と横波、波が示す性質、光波、音波　熱については、熱と温度、熱容量と比熱、理想気体の状態方程式、気体がする仕事、熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。電気については、クーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位、電場と電位の関係、直流回路、合成抵抗、磁場、電磁誘導等について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。　※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目

1.基礎物理学 2.物理学実験 3.工学・情報系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.静定構造力学 5.材料力学など多くの科目に関係する。

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c, g	c, g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	身のまわりで起こる波、熱、電気と磁気が関係する現象を理解することができる。
c	②	波、熱、電気と磁気の基礎的な内容（波の性質、熱力学第一法則、電場と電位、電流と磁場など）を理解することができる。
c, g	③	波、熱、電気と磁気の概念や法則を理解し、数式やグラフ、図等で表現することができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学 2.工学･情報系の基礎数理Ⅰ
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題（演習問題等）を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	波とその性質Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (17章 波とその性質)。	60
	内容	波を表す量、縦波と横波、波が示す性質について学ぶ。	講義　演習		
2回	テーマ	波とその性質Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(18章 音波と洸波) 。	60
	内容	光波、音波が示す現象について学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	熱と温度	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章　熱と温度) 。	60
	内容	熱と温度との関係,熱容量と比熱について学ぶ。理想気体の状態方程式について学ぶ。	講義　演習		
4回	テーマ	熱力学の第一法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(8章 熱力学の第1法則)。	60
	内容	熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。気体の体積変化と仕事,内部エネルギーの変化について学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	電荷と静電場	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (10章 電荷と静電場) 。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	電場と電位Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。	講義　演習		
7回	テーマ	電場と電位Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電位の定義、電場と電位の関係について学ぶ。	講義　演習		
8回	テーマ	1.～7.のまとめと中間試験	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～7.のまとめと学習到達度を評価する。	講義　試験		
9回	テーマ	電流と直流回路Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	60
	内容	直列回路、並列回路の合成抵抗等について学ぶ。	講義　演習		
10回	テーマ	電流と直流回路Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	60
	内容	ジュール熱と電力について学ぶ。	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	電流と磁場Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.1 磁気力と磁荷、13.2 磁場と磁束密度)。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。	講義　演習		
12回	テーマ	電流と磁場Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.3 電流のつくる磁場)。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場について学ぶ。	講義　演習		
13回	テーマ	電流と磁場Ⅲ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.5 磁場中の電流が受ける力)。	60
	内容	磁場は電流にも力を作用することを理解し、直流モーターの作動原理について学ぶ。	講義　演習		
14回	テーマ	電磁誘導	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	発電機や電磁調理器の原理である電磁誘導について学ぶ。	講義　演習		
15回	テーマ	8.～14.のまとめと中間試験	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」を作成する。	180
	内容	8.～14.のまとめと、講義全体の学習到達度を評価する。	講義　試験		
16回	テーマ	総括	対面	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること。「到達度ポートフォリオ」を提出する。	60
	内容	講義を総評する。試験を返却し、解説する。	講義		

科目名	物理学◎②（１建）	開講学年	1	講義コード	2220207	区分	必修
英文表記	physics	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	天本徳浩　上野賢仁

研究室	F802(天本徳浩)　F803(上野賢仁)	オフィスアワー	天本：木曜5時限、 上野：木曜4時限

メールアドレス	amamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	波　熱力学　電磁気学　教養的知識　　数理スキル

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に建築学を学ぶ上で重要な波、熱力学、電磁気学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 前半では、波、熱、電磁気について概念や法則を理解し、数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な物理現象について問題を解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。 具体的には、波については、波を表す量、縦波と横波、波が示す性質、光波、音波　熱については、熱と温度、熱容量と比熱、理想気体の状態方程式、気体がする仕事、熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。電気については、クーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位、電場と電位の関係、直流回路、合成抵抗、磁場、電磁誘導等について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。　※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目

1.基礎物理学 2.物理学実験 3.工学・情報系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.静定構造力学 5.材料力学など多くの科目に関係する。

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c, g	c, g

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	身のまわりで起こる波、熱、電気と磁気が関係する現象を理解することができる。
c	②	波、熱、電気と磁気の基礎的な内容（波の性質、熱力学第一法則、電場と電位、電流と磁場など）を理解することができる。
c, g	③	波、熱、電気と磁気の概念や法則を理解し、数式やグラフ、図等で表現することができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学 2.工学･情報系の基礎数理Ⅰ
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題（演習問題等）を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	波とその性質Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (17章 波とその性質)。	60
	内容	波を表す量、縦波と横波、波が示す性質について学ぶ。	講義　演習		
2回	テーマ	波とその性質Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(18章 音波と洸波) 。	60
	内容	光波、音波が示す現象について学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	熱と温度	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章　熱と温度) 。	60
	内容	熱と温度との関係,熱容量と比熱について学ぶ。理想気体の状態方程式について学ぶ。	講義　演習		
4回	テーマ	熱力学の第一法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(8章 熱力学の第1法則)。	60
	内容	熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。気体の体積変化と仕事,内部エネルギーの変化について学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	電荷と静電場	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (10章 電荷と静電場) 。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	電場と電位Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。	講義　演習		
7回	テーマ	電場と電位Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電位の定義、電場と電位の関係について学ぶ。	講義　演習		
8回	テーマ	1.～7.のまとめと中間試験	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～7.のまとめと学習到達度を評価する。	講義　試験		
9回	テーマ	電流と直流回路Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	60
	内容	直列回路、並列回路の合成抵抗等について学ぶ。	講義　演習		
10回	テーマ	電流と直流回路Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	60
	内容	ジュール熱と電力について学ぶ。	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	電流と磁場Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.1 磁気力と磁荷、13.2 磁場と磁束密度)。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。	講義　演習		
12回	テーマ	電流と磁場Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.3 電流のつくる磁場)。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場について学ぶ。	講義　演習		
13回	テーマ	電流と磁場Ⅲ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.5 磁場中の電流が受ける力)。	60
	内容	磁場は電流にも力を作用することを理解し、直流モーターの作動原理について学ぶ。	講義　演習		
14回	テーマ	電磁誘導	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	発電機や電磁調理器の原理である電磁誘導について学ぶ。	講義　演習		
15回	テーマ	8.～14.のまとめと中間試験	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」を作成する。	180
	内容	8.～14.のまとめと、講義全体の学習到達度を評価する。	講義　試験		
16回	テーマ	総括	対面	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること。「到達度ポートフォリオ」を提出する。	60
	内容	講義を総評する。試験を返却し、解説する。	講義		

科目名	物理学◎①（１宇）	開講学年	1	講義コード	2220208	区分	必修
英文表記	physics	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	田代寛之　小出美香（非常勤）						
研究室	F702(田代寛之)　本館1階 非常勤講師室(小出美香)			オフィスアワー	田代：木曜5時限、 小出：授業終了後		
メールアドレス	hiroyuki@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	波　熱　電気　磁気　　教養的知識　数理スキル						

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に宇宙航空システム工学を学ぶ上で重要な熱力学、電磁気学、波を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 前半では、波、熱、電磁気の概念や法則を理解し、数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な物理現象について問題を解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。 具体的には、まず、物理量の単位と物理学に必要な表現法について学ぶ。波に関しては、波を表す量、縦波と横波、波が示す性質、光波、音波が示す現象について学ぶ。熱に関しては、熱と温度との関係、熱容量と比熱、理想気体の状態方程式、気体がする仕事、熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。電気に関しては、クーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位、電場と電位の関係、直列回路、並列回路の合成抵抗、磁石がつくる磁場、電流のまわりに発生する磁場、電磁誘導について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目

1.基礎物理学 2.物理学実験 3.工学・情報系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.工業力学 5.航空力学、航空機力学 など多くの科目に関係する。

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	身のまわりで起こる波、熱、電気と磁気が関係する現象を理解することができる。
c	②	波、熱、電気と磁気の基礎的な内容（波の性質、熱力学第一法則、電場と電位、電流と磁場など）を理解することができる。
c, g	③	波、熱、電気と磁気の概念や法則を理解し、数式やグラフ、図等で表現することができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学 2.工学･情報系の基礎数理Ⅰ
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	波とその性質Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (17章 波とその性質)。	60
	内容	波を表す量、縦波と横波、波が示す性質について学ぶ。	講義　演習		
2回	テーマ	波とその性質Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(18章 音波と洸波) 。	60
	内容	光波、音波が示す現象について学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	熱と温度	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章　熱と温度) 。	60
	内容	熱と温度との関係,熱容量と比熱について学ぶ。理想気体の状態方程式について学ぶ。	講義　演習		
4回	テーマ	熱力学の第一法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(8章 熱力学の第1法則)。	60
	内容	熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。気体の体積変化と仕事,内部エネルギーの変化について学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	電荷と静電場	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (10章 電荷と静電場) 。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	電場と電位Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。	講義　演習		
7回	テーマ	電場と電位Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電位の定義、電場と電位の関係について学ぶ。	講義　演習		
8回	テーマ	1.～7.のまとめと中間試験	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～7.のまとめと学習到達度を評価する。	講義　試験		
9回	テーマ	電流と直流回路Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	600
	内容	直列回路、並列回路の合成抵抗等について学ぶ。	講義　演習		
10回	テーマ	電流と直流回路Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	60
	内容	ジュール熱と電力について学ぶ。	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	電流と磁場Ⅰ	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.1 磁気力と磁荷、13.2 磁場と磁束密度)。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。			
12回	テーマ	電流と磁場Ⅱ	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.3 電流のつくる磁場)。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場について学ぶ。			
13回	テーマ	電流と磁場Ⅲ	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.5 磁場中の電流が受ける力)。	60
	内容	磁場は電流にも力を作用することを理解し、直流モーターの作動原理について学ぶ。			
14回	テーマ	電磁誘導	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	発電機や電磁調理器の原理である電磁誘導について学ぶ。			
15回	テーマ	8.～14.のまとめと中間試験	対面 講義　試験	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」を作成する。	180
	内容	8.～14.のまとめと、講義全体の学習到達度を評価する。			
16回	テーマ	総括	対面 講義	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること。「到達度ポートフォリオ」を提出する。	60
	内容	講義を総評する。試験を返却し、解説する。			

科目名	物理学◎②（１宇）	開講学年	1	講義コード	2220209	区分	必修
英文表記	physics	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	田代寛之　小出美香（非常勤）						
研究室	F702(田代寛之)　本館1階 非常勤講師室(小出美香)			オフィスアワー	田代：木曜5時限、 小出：授業終了後		
メールアドレス	hiroyuki@ed.sojo-u.ac.jp						
キーワード	波　熱　電気　磁気　　教養的知識　数理スキル						

授業概要

物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に宇宙航空システム工学を学ぶ上で重要な熱力学、電磁気学、波を対象とし、その基礎的な内容について学習する。　前半では、波、熱、電磁気の概念や法則を理解し、数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な物理現象について問題を解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。　具体的には、まず、物理量の単位と物理学に必要な表現法について学ぶ。波に関しては、波を表す量、縦波と横波、波が示す性質、光波、音波が示す現象について学ぶ。熱に関しては、熱と温度との関係、熱容量と比熱、理想気体の状態方程式、気体がする仕事、熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。電気に関しては、クーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位、電場と電位の関係、直列回路、並列回路の合成抵抗、磁石がつくる磁場、電流のまわりに発生する磁場、電磁誘導について学ぶ。　試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。　※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目

1.基礎物理学 2.物理学実験 3.工学・情報系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.工業力学 5.航空力学、航空機力学 など多くの科目に関係する。

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	身のまわりで起こる波、熱、電気と磁気が関係する現象を理解することができる。
c	②	波、熱、電気と磁気の基礎的な内容（波の性質、熱力学第一法則、電場と電位、電流と磁場など）を理解することができる。
c, g	③	波、熱、電気と磁気の概念や法則を理解し、数式やグラフ、図等で表現することができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書

理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書

基礎物理学　学術図書出版　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学 2.工学･情報系の基礎数理Ⅰ
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題（演習問題等）を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	波とその性質Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (17章 波とその性質)。	60
	内容	波を表す量、縦波と横波、波が示す性質について学ぶ。	講義　演習		
2回	テーマ	波とその性質Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(18章 音波と洸波) 。	60
	内容	光波、音波が示す現象について学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	熱と温度	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(7章　熱と温度) 。	60
	内容	熱と温度との関係,熱容量と比熱について学ぶ。理想気体の状態方程式について学ぶ。	講義　演習		
4回	テーマ	熱力学の第一法則	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(8章 熱力学の第1法則)。	60
	内容	熱に関するエネルギー保存則について学ぶ。気体の体積変化と仕事,内部エネルギーの変化について学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	電荷と静電場	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (10章 電荷と静電場) 。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	電場と電位Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。	講義　演習		
7回	テーマ	電場と電位Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電位の定義、電場と電位の関係について学ぶ。	講義　演習		
8回	テーマ	1.～7.のまとめと中間試験	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～7.のまとめと学習到達度を評価する。	講義　試験		
9回	テーマ	電流と直流回路Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	600
	内容	直列回路、並列回路の合成抵抗等について学ぶ。	講義　演習		
10回	テーマ	電流と直流回路Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	60
	内容	ジュール熱と電力について学ぶ。	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	電流と磁場Ⅰ	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.1 磁気力と磁荷、13.2 磁場と磁束密度)。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。			
12回	テーマ	電流と磁場Ⅱ	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.3 電流のつくる磁場)。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場について学ぶ。			
13回	テーマ	電流と磁場Ⅲ	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.5 磁場中の電流が受ける力)。	60
	内容	磁場は電流にも力を作用することを理解し、直流モーターの作動原理について学ぶ。			
14回	テーマ	電磁誘導	対面 講義　演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	発電機や電磁調理器の原理である電磁誘導について学ぶ。			
15回	テーマ	8.～14.のまとめと中間試験	対面 講義　試験	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」を作成する。	180
	内容	8.～14.のまとめと、講義全体の学習到達度を評価する。			
16回	テーマ	総括	対面 講義	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること。「到達度ポートフォリオ」を提出する。	60
	内容	講義を総評する。試験を返却し、解説する。			

科目名	物理学①（１情）	開講学年	1	講義コード	2220210	区分	選択
英文表記	physics	開講期	l後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	上野賢仁　天本徳浩　福島和洋（非常勤）

研究室	F803(上野賢仁)　F802(天本徳浩)　本館1階 非常勤講師室(福島和洋)	オフィスアワー	上野：木曜4時限、天本：木曜5時限、福島：授業終了後

メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	波動　電磁気学　前期量子論　教養的知識　　数理スキル

授業概要	物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に情報学を学ぶ上で重要な波、電磁気学、原子物理学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 前半では、波、電磁気の概念や法則を理解し、数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な物理現象について問題を解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。 具体的には、波については、波の性質、音波、光波について学ぶ。電気については、クーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位、電流、オームの法則、ジュール熱、抵抗の接続、磁場、電磁誘導、電磁波、前期量子論について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目

1.基礎物理学 2.物理学実験 3.工学・情報系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.電気回路入門・Ⅰ 5.電磁気学入門・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ など多くの科目に関係する。

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	身のまわりで起こる波、電気と磁気、原子物理学が関係する現象を理解することができる。
c	②	波、電気と磁気、原子物理学の概念や法則を理解することができる。
c	③	電荷、電場、電位の関係、および電流と磁場の関係などを数式やグラフ、図等で表すことができる。
c, g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学 2.工学･情報系の基礎数理Ⅰ
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	波とその性質Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (17章 波とその性質)。	60
	内容	波を表す量、縦波と横波、波が示す性質について学ぶ。	講義　演習		
2回	テーマ	波とその性質Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(18章 音波と洸波) 。	60
	内容	光波、音波が示す現象について学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	電荷と静電場	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (10章 電荷と静電場) 。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。	講義　演習		
4回	テーマ	電場と電位Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	電場と電位Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電位の定義、電場と電位の関係について学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	電流と直流回路Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	60
	内容	直列回路、並列回路の合成抵抗等について学ぶ。	講義　演習		
7回	テーマ	電流と直流回路Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	60
	内容	ジュール熱と電力について学ぶ。	講義　演習		
8回	テーマ	学習到達度判定	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～7.の内容に関する中間試験とまとめを行う。	試験・講義		
9回	テーマ	電流と磁場Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.1,13.2 磁気力と磁場)。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。	講義・演習		
10回	テーマ	電流と磁場Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.3 電流のつくる磁場)。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場について学ぶ。	講義・演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	電流と磁場Ⅲ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.5 磁場中の電流が受ける力)。	60
	内容	磁場は電流にも力を作用することを理解し、直流モーターの作動原理について学ぶ。	講義・演習		
12回	テーマ	電磁誘導	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	発電機や電磁調理器の原理である電磁誘導について学ぶ。	講義・演習		
13回	テーマ	交流回路と電磁波	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(15章 交流回路,16章 変位電流と電磁波)。	60
	内容	交流回路と空間を伝わる電磁波について学ぶ。	講義・演習		
14回	テーマ	原子物理学	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(19章 原子物理学)。	60
	内容	電磁波や電子の2重性と原子の電子配列	講義・演習		
15回	テーマ	学習到達度判定	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	1.～14.の内容に関する中間試験とまとめを行う。	試験・講義		
16回	テーマ	総括	対面	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	1.～15.の総括	講義		

科目名	物理学②（１情）	開講学年	1	講義コード	2220211	区分	選択
英文表記	physics	開講期	l後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	上野賢仁　天本徳浩　福島和洋（非常勤）

研究室	F803(上野賢仁)　F802(天本徳浩)　本館1階 非常勤講師室(福島和洋)	オフィスアワー	上野：木曜4時限、天本：木曜5時限、福島：授業終了後

メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	波動　電磁気学　前期量子論　教養的知識　　数理スキル

授業概要	物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に情報学を学ぶ上で重要な波、電磁気学、原子物理学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 前半では、波、電磁気の概念や法則を理解し、数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な物理現象について問題を解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。 具体的には、波については、波の性質、音波、光波について学ぶ。電気については、クーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位、電流、オームの法則、ジュール熱、抵抗の接続、磁場、電磁誘導、電磁波、前期量子論について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目

1.基礎物理学 2.物理学実験 3.工学・情報系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.電気回路入門・Ⅰ 5.電磁気学入門・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ など多くの科目に関係する。

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標			
	JABEE基準			

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	身のまわりで起こる波、電気と磁気、原子物理学が関係する現象を理解することができる。
c	②	波、電気と磁気、原子物理学の概念や法則を理解することができる。
c	③	電荷、電場、電位の関係、および電流と磁場の関係などを数式やグラフ、図等で表すことができる。
c, g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学 2.工学･情報系の基礎数理Ⅰ
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題(演習問題等)を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	波とその性質Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (17章 波とその性質)。	60
	内容	波を表す量、縦波と横波、波が示す性質について学ぶ。	講義　演習		
2回	テーマ	波とその性質Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(18章 音波と洸波) 。	60
	内容	光波、音波が示す現象について学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	電荷と静電場	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (10章 電荷と静電場) 。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。	講義　演習		
4回	テーマ	電場と電位Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	電場と電位Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電位の定義、電場と電位の関係について学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	電流と直流回路Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	60
	内容	直列回路、並列回路の合成抵抗等について学ぶ。	講義　演習		
7回	テーマ	電流と直流回路Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	60
	内容	ジュール熱と電力について学ぶ。	講義　演習		
8回	テーマ	学習到達度判定	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～7.の内容に関する中間試験とまとめを行う。	試験・講義		
9回	テーマ	電流と磁場Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.1,13.2 磁気力と磁場)。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。	講義・演習		
10回	テーマ	電流と磁場Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.3 電流のつくる磁場)。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場について学ぶ。	講義・演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	電流と磁場Ⅲ	対面 講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.5 磁場中の電流が受ける力)。	60
	内容	磁場は電流にも力を作用することを理解し、直流モーターの作動原理について学ぶ。			
12回	テーマ	電磁誘導	対面 講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	発電機や電磁調理器の原理である電磁誘導について学ぶ。			
13回	テーマ	交流回路と電磁波	対面 講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(15章 交流回路,16章 変位電流と電磁波)。	60
	内容	交流回路と空間を伝わる電磁波について学ぶ。			
14回	テーマ	原子物理学	対面 講義・演習	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(19章 原子物理学)。	60
	内容	電磁波や電子の2重性と原子の電子配列			
15回	テーマ	学習到達度判定	対面 試験・講義	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	1.～14.の内容に関する中間試験とまとめを行う。			
16回	テーマ	総括	対面 講義	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	1.～15.の総括			

科目名	物理学③（１情）	開講学年	1	講義コード	2220212	区分	選択
英文表記	physics	開講期	l後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	上野賢仁　天本徳浩　福島和洋（非常勤）

研究室	F803(上野賢仁)　F802(天本徳浩)　本館1階 非常勤講師室(福島和洋)	オフィスアワー	上野：木曜4時限、天本：木曜5時限、福島：授業終了後

メールアドレス	ueno@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	波動　電磁気学　前期量子論　教養的知識　　数理スキル

授業概要	物理学は多様な自然現象を少数の普遍的な法則により系統的に理解する学問であり、工学の基盤をなす科目の1つである。本講義は、物理学の中で特に情報学を学ぶ上で重要な波、電磁気学、原子物理学を対象とし、その基礎的な内容について学習する。 前半では、波、電磁気の概念や法則を理解し、数式で表示できるようにする。後半では、身の回りの簡単な物理現象について問題を解き、得られた解を解析する手法を身に付けるようにする。 具体的には、波については、波の性質、音波、光波について学ぶ。電気については、クーロンの法則、電場と電荷が電場から受ける力の関係、電位、電流、オームの法則、ジュール熱、抵抗の接続、磁場、電磁誘導、電磁波、前期量子論について学ぶ。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目

1.基礎物理学 2.物理学実験 3.工学・情報系の基礎数理Ⅰ・Ⅱ 4.電気回路入門・Ⅰ 5.電磁気学入門・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ など多くの科目に関係する。

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
c	①	身のまわりで起こる波、電気と磁気、原子物理学が関係する現象を理解することができる。
c	②	波、電気と磁気、原子物理学の概念や法則を理解することができる。
c	③	電荷、電場、電位の関係、および電流と磁場の関係などを数式やグラフ、図等で表すことができる。
c, g	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	70	0	20	0	0	0	10	0	100

教科書	理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　　978-4-7806-0637-9

参考書	基礎物理学　学術図書出版社　原 康夫　9784-7806-0300-2

予備知識	1.基礎物理学 2.工学･情報系の基礎数理Ⅰ
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.中間試験を2回行う。(35点×2＝70点) 2.適宜、小テストを行い、到達度をチェックする。(20点) 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。(10点) 4.中間試験、小テスト、ポートフォリオの合計で評価する。合計が60点に満たなければ再試験を行う。 テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.期限までに課題（演習問題等）を提出すること。2.教科書の講義に関連する箇所を事前に読んでおくこと。 3.講義に関連する演習問題を事前に解いておくこと。 4.図書館の学科推薦等を利用した課題を課する。 5.講義で分からないことがあればオフィスアワーなどを利用して解決すること。 6.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	波とその性質Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (17章 波とその性質)。	60
	内容	波を表す量、縦波と横波、波が示す性質について学ぶ。	講義　演習		
2回	テーマ	波とその性質Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(18章 音波と洸波) 。	60
	内容	光波、音波が示す現象について学ぶ。	講義　演習		
3回	テーマ	電荷と静電場	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと (10章 電荷と静電場) 。	60
	内容	電荷の間にはたらくクーロンの法則について学ぶ。	講義　演習		
4回	テーマ	電場と電位Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電場と電荷が電場から受ける力の関係について学ぶ。	講義　演習		
5回	テーマ	電場と電位Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(11章 電場と電位) 。	60
	内容	電位の定義、電場と電位の関係について学ぶ。	講義　演習		
6回	テーマ	電流と直流回路Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	60
	内容	直列回路、並列回路の合成抵抗等について学ぶ。	講義　演習		
7回	テーマ	電流と直流回路Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(12章 電流と直流回路) 。	60
	内容	ジュール熱と電力について学ぶ。	講義　演習		
8回	テーマ	学習到達度判定	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。	180
	内容	1.～7.の内容に関する中間試験とまとめを行う。	試験・講義		
9回	テーマ	電流と磁場Ⅰ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.1,13.2 磁気力と磁場)。	60
	内容	磁石がつくる磁場について学ぶ。	講義・演習		
10回	テーマ	電流と磁場Ⅱ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.3 電流のつくる磁場)。	60
	内容	電流のまわりに発生する磁場について学ぶ。	講義・演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	電流と磁場Ⅲ	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(13章 13.5 磁場中の電流が受ける力)。	60
	内容	磁場は電流にも力を作用することを理解し、直流モーターの作動原理について学ぶ。	講義・演習		
12回	テーマ	電磁誘導	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(14章 電磁誘導)。	60
	内容	発電機や電磁調理器の原理である電磁誘導について学ぶ。	講義・演習		
13回	テーマ	交流回路と電磁波	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(15章 交流回路,16章 変位電流と電磁波)。	60
	内容	交流回路と空間を伝わる電磁波について学ぶ。	講義・演習		
14回	テーマ	原子物理学	対面	講義に関連する教科書を事前に読み、演習問題を解いておくこと(19章 原子物理学)。	60
	内容	電磁波や電子の2重性と原子の電子配列	講義・演習		
15回	テーマ	学習到達度判定	対面	試験範囲について、十分に学習しておくこと。「到達度ポートフォリオ」の作成	180
	内容	1.～14.の内容に関する中間試験とまとめを行う。	試験・講義		
16回	テーマ	総括	対面	到達目標に達していない部分について理解し、学習すること「到達度ポートフォリオ」の提出	60
	内容	1.～15.の総括	講義		

科目名	物理学実験①（２機）	開講学年	2	講義コード	2220301	区分	選択
英文表記	physics laboratory	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	天本徳浩　上野賢仁　新任

研究室	F802（天本）　F803（上野）　F702（新任）	オフィスアワー	実験終了後

メールアドレス	amamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	重力加速度　比熱　剛性率、ヤング率　光の波長　　オームの法則　教養的知識　数理スキル　アカデミックスキル

授業概要	物理学実験は、今後、経験するであろう卒業研究や様々な応用実験の前に必ずやっておかねばならない学習実験である。即ち、研究実験と異なり結果が分かっている実験なので逆に、基礎的実験器具類の取り扱い方を習熟することができる。また、測定で得られたデータの処理法、特に得られた物理量の精度及び有効数字の取り扱い方を学び、技術者として必要な真摯な心構えを身に付ける。そして、論文（レポート）も分かりやすく簡潔で丁寧な書き方を目指す。 最初に、実験の目的、実施方法、レポートの書き方、注意事項について講義し、実験で必要となるノギス、マイクロメーターの取り扱い、計測方法、測定誤差・精度について習熟する。実験では、単振り子による重力加速度の大きさの測定、水熱量計を用いた金属の比熱測定、サールの装置を用いた針金のヤング率測定、回折格子を用いた光の波長測定、オームの法則と半導体の電気抵抗の温度依存を調べる実験、光電効果によるプランク定数の測定を行う。また、隔週で実施する演習では、有効数字と四則演算、物理量の単位、誤差と正規分布、最小二乗法について学び、発表を行う。 演習、レポートについては、提出後の授業回でフィードバックする。 ※実験は対面で行う。 ※演習については、本年度は対面授業で行う予定であるが、状況によっては遠隔授業になることがある。

関連科目
1.基礎物理学 2.物理学

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	各実験および演習の内容を理解し、精確な測定のための実験の知識を身につけることができる。
	②	有効数字やデータ処理の方法などデータの取り扱い方を正しく理解し、適切な方法で表現することができる。
	③	学術的レポートの書き方を理解した上で、得られた結果を論理的に考察し、レポートで報告することができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	45	45	0	10	0	100

教科書	物理学実験　　崇城大学物理学教室

参考書	基礎物理学　学術図書出版　原 康夫　9784-7806-0300-2 理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　978-4-7806-0637-9

予備知識	1.基礎物理学 2.物理学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.実験のレポートで評価する。（60点） 2.演習では、小テストに準じた課題で評価する。（30点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.予定された実験を全て行い、レポートを提出すること。（やむを得ない事情で欠席した場合は追実験を実施する。） レポート等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.班編成を行うので、班によって実験項目の順番が入れ替わることがある。 2.受講者数によっては、実験室の収容人数の都合上、実験項目を一部変更することがある。 3.各自、実験ノートを用意すること。 4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	【予習】基礎物理学・物理学で学んだことを整理し、テキストの該当箇所(I-1、I-8、I-9、I-10)をよく読む。【復習】説明された内容をよく理解する 。	60
	内容	実験の目的、実施方法、レポートの書き方、注意事項、安全に実験を行うための注意	講義		
2回	テーマ	ノギス・マイクロメーター	対面	【予習】テキストの該当箇所(I-10、II-1)をよく読む。【復習】使い方をよく理解する。	60
	内容	ノギス、マイクロメーターの取り扱い、計測方法、測定誤差・精度、レポートの作成	実験		
3回	テーマ	演習①	対面	【予習】テキストの該当箇所(I-5、I-7)をよく読む。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	データの処理と有効数字の演習、レポートの添削	演習		
4回	テーマ	単振り子による重力加速度の大きさの測定	対面	【予習】テキストの該当箇所(II-2)を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	単振り子を用いて重力加速度の大きさを測定する。	実験		
5回	テーマ	演習②	対面	【予習】テキストの該当箇所(I-5)をよく読む。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	物理量の単位と次元	演習		
6回	テーマ	比熱の測定	対面	【予習】テキストの該当箇所(II-5)を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	氷熱量計を用いて鉄、銅及び真鍮の比熱を求める。	実験		
7回	テーマ	演習③	対面	【予習】テキストの該当箇所(I-4)をよく読む。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	誤差と正規分布	演習		
8回	テーマ	伸びによるヤング率の測定	対面	【予習】テキストの該当箇所(II-6)を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	サールの装置を用いて針金のヤング率を測定する。	実験		
9回	テーマ	演習④	対面	【予習】テキストの該当箇所(I-6)をよく読む。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	最小二乗法	演習		
10回	テーマ	オームの法則・電池の内部抵抗の測定	対面	【予習】テキストの該当箇所(II-15.)を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	オームの法則を調べ、電池の内部抵抗を求める。	実験		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	演習⑤	対面	【予習】これまでの実験と演習①～④についてよく整理しておく。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	第2～10回目までの内容を復習する	演習		
12回	テーマ	光の波長測定	対面	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく（Ⅱ.10.）。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	回折格子を用いて半導体レーザー光の波長を求める。	実験		
13回	テーマ	演習⑥	対面	【予習】光の波動性について調べる。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	光の波動性	演習		
14回	テーマ	光電効果によるプランク定数の測定	対面	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	光電効果の測定によりプランク定数を求める。	実験		
15回	テーマ	演習⑦	対面	【予習】光の粒子性について調べる。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	光の粒子性	演習		

科目名	物理学実験①◎（２建シス）	開講学年	2	講義コード	2220303	区分	選択
英文表記	physics laboratory	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	天本徳浩　上野賢仁　板橋克美

研究室	F802（天本）　F803（上野）　F801（板橋）	オフィスアワー	実験終了後

メールアドレス	amamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	重力加速度　比熱　剛性率、ヤング率　光の波長　　オームの法則　教養的知識　数理スキル　アカデミックスキル

授業概要	物理学実験は、今後、経験するであろう卒業研究や様々な応用実験の前に必ずやっておかねばならない学習実験である。即ち、研究実験と異なり結果が分かっている実験なので逆に、基礎的実験器具類の取り扱い方を習熟することができる。また、測定で得られたデータの処理法、特に得られた物理量の精度及び有効数字の取り扱い方を学び、技術者として必要な真摯な心構えを身に付ける。そして、論文（レポート）も分かりやすく簡潔で丁寧な書き方を目指す。 最初に、実験の目的、実施方法、レポートの書き方、注意事項について講義し、実験で必要となるノギス、マイクロメーターの取り扱い、計測方法、測定誤差・精度について習熟する。実験では、単振り子による重力加速度の大きさの測定、水熱量計を用いた金属の比熱測定、サールの装置を用いた針金のヤング率測定、回折格子を用いた光の波長測定、オームの法則と半導体の電気抵抗の温度依存を調べる実験、光電効果によるプランク定数の測定を行う。また、隔週で実施する演習では、有効数字と四則演算、物理量の単位、誤差と正規分布、最小二乗法について学び、発表を行う。 演習、レポートについては、提出後の授業回でフィードバックする。 ※実験は対面で行う。 ※演習については、本年度は対面授業で行う予定であるが、状況によっては遠隔授業になることがある。

関連科目
1.基礎物理学 2.物理学

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	各実験および演習の内容を理解し、精確な測定のための実験の知識を身につけることができる。
	②	有効数字やデータ処理の方法などデータの取り扱い方を正しく理解し、適切な方法で表現することができる。
	③	学術的レポートの書き方を理解した上で、得られた結果を論理的に考察し、レポートで報告することができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	30	60	0	0	10	0	100

教科書	物理学実験　　崇城大学物理学教室

参考書	基礎物理学　学術図書出版　原 康夫　9784-7806-0300-2 理工系の基礎物理学　学術図書出版社　町田光男、三浦好典　978-4-7806-0637-9

予備知識	1.基礎物理学 2.物理学
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.実験のレポートで評価する。（60点） 2.演習では、小テストに準じた課題で評価する。（30点） 3.【学生の到達度目標】の各項目の達成度とその理由を各200～250文字で入力し提出する。（10点） 4.予定された実験を全て行い、レポートを提出すること。（やむを得ない事情で欠席した場合は追実験を実施する。） レポート等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	1.班編成を行うので、班によって実験項目の順番が入れ替わることがある。 2.受講者数によっては、実験室の収容人数の都合上、実験項目を一部変更することがある。 3.各自、実験ノートを用意すること。 4.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなす。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	【予習】基礎物理学・物理学で学んだことを整理し、テキストの該当箇所（I-1、I-8、I-9、I-10）をよく読む。【復習】説明された内容をよく理解する 。	60
	内容	実験の目的、実施方法、レポートの書き方、注意事項、安全に実験を行うための注意	講義		
2回	テーマ	ノギス・マイクロメーター	対面	【予習】テキストの該当箇所（I-10、II-1）をよく読む。【復習】使い方をよく理解する。	60
	内容	ノギス、マイクロメーターの取り扱い、計測方法、測定誤差・精度、レポートの作成	実験		
3回	テーマ	演習①	対面	【予習】テキストの該当箇所（I-5、I-7）をよく読む。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	データの処理と有効数字の演習、レポートの添削	演習		
4回	テーマ	単振り子による重力加速度の大きさの測定	対面	【予習】テキストの該当箇所（II-2）を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	単振り子を用いて重力加速度の大きさを測定する。	実験		
5回	テーマ	演習②	対面	【予習】テキストの該当箇所（I-5）をよく読む。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	物理量の単位と次元	演習		
6回	テーマ	比熱の測定	対面	【予習】テキストの該当箇所（II-5）を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	氷熱量計を用いて鉄、銅及び真鍮の比熱を求める。	実験		
7回	テーマ	演習③	対面	【予習】テキストの該当箇所（I-4）をよく読む。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	誤差と正規分布	演習		
8回	テーマ	伸びによるヤング率の測定	対面	【予習】テキストの該当箇所（II-6）を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	サールの装置を用いて針金のヤング率を測定する。	実験		
9回	テーマ	演習④	対面	【予習】テキストの該当箇所（I-6）をよく読む。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	最小二乗法	演習		
10回	テーマ	オームの法則・電池の内部抵抗の測定	対面	【予習】テキストの該当箇所（II-15.）を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	オームの法則を調べ、電池の内部抵抗を求める。	実験		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	演習⑤	対面	【予習】これまでの実験と演習①～④についてよく整理しておく。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	第2～10回目までの内容を復習する	演習		
12回	テーマ	光の波長測定	対面	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく（Ⅱ.10.）。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	回折格子を用いて半導体レーザー光の波長を求める。	実験		
13回	テーマ	演習⑥	対面	【予習】光の波動性について調べる。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	光の波動性	演習		
14回	テーマ	光電効果によるプランク定数の測定	対面	【予習】テキストの該当箇所を参照し、レポートの前半部分を作成しておく。【復習】実験結果を整理し、レポートを仕上げる。	60
	内容	光電効果の測定によりプランク定数を求める。	実験		
15回	テーマ	演習⑦	対面	【予習】光の粒子性について調べる。【復習】演習問題をよく理解する。	60
	内容	光の粒子性	演習		

科目名	基礎化学Ⅱ①（１機シス操）	開講学年	1	講義コード	2220501	区分	選択
英文表記	basic chemistry Ⅱ	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	坂田 眞砂代（非常勤）						
研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業終了後				
メールアドレス	msakata@kumamoto-u.ac.jp						
キーワード	無機化学　危険物化学　生体物質化学　身の回りの化学　　教養的知識　数理スキル						

授業概要

私たちの身の回りには、実にさまざまな物質が存在する。海や山や動植物など自然に存在する物質、あるいは、私たちの生活を豊かにする人工の物質など、いろいろある。化学はこれらの物質の性質、構造および物質間の反応を対象とした学問であり、身の回りのすべての物質が化学の教材となる。 この講義では前期の化学Iで培った化学の基礎をもとに、化学Iに引き続き日常生活と化学のさまざまな接点を概説する。この授業では、初めに、消防法にかかわる安全の化学について解説し、次に生活に深く関係した物質や現象をできるだけ多くとりあげ、これらは化学的な見地からはどのようになっているかを解説する。この講義を通して、化学の目でいろいろなことを理解し、興味を持つようになってもらいたい。なお、この科目は学士過程共通の学習効果との対応に該当した科目である。毎週、演習を講義時間内に行い、理解度を確認する。また、授業前には該当する内容について教科書をよく読んで講義に臨むこと。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目

人間と環境、基礎物理学、物理学、基礎化学Ⅰ

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A2	A2	A2
JABEE基準		c, g	c, g	

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	基礎的な化学の内容を修得し、危険物試薬の化学的・物理的特性を理解することができる。
	②	危険物試薬の消化の方法を理解し、緊急時の初期消化ができる。
	③	身のまわりの環境や物質（とくに高分子化合物や材料）に関して、化学的な見方・考え方を基にして理解することができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	60	30	0	0	0	10	0	100

教科書

なし (配布資料を準備)

参考書

暮らしと環境化学　東京化学同人　日本化学会 (編集)　978-4807905744
物質科学の基礎としての化学入門　学術図書出版社　千葉工業大学教育センター化学教室　978-4-7806-0323-1

予備知識	無機化学、有機化学、化学反応、高分子化学の基礎的な知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	(1) 定期試験を行う。(60点) (2) 授業中に練習問題を演習させ、理解度を確認する。 (3) 単元ごとに課題を課し、適宜、小テスト(演習問題)を行い、到達度をチェックする。(30点) 小テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	教科書は使用しない。授業内容に関係する資料を配布する。毎回、演習問題を配布し、授業内で解答する。授業欠席者は、次の週に、前回の演習問題を配布するので、宿題として翌週の授業前に提出のこと。授業中の私語は、他の受講者に迷惑となるので厳禁。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	危険物化学とは	対面	【予習】配布資料を読む（危険物試薬1～6類の分類、各々の類の化学的な特性と消化法）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	全体説明 一般の危険物に関する分類について解説する。消防法危険物試薬についての概念について論述する。	講義		
2回	テーマ	危険物試薬の分類根拠	対面	【予習】配布資料を読む（1,2,3類の性質並びにその火災予防及び消火の方法）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	危険物試薬1～6類の分類根拠を説明し、各々の類の化学的な特性と消化法について、解説する。	講義		
3回	テーマ	危険物試薬の特性その1	対面	【予習】配布資料を読む（4類の性質並びにその火災予防及び消火の方法）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	危険物試薬のうち、1,2,3類の性質並びにその火災予防及び消火の方法についての講義と演習。	講義		
4回	テーマ	危険物試薬の特性その2	対面	【予習】配布資料を読む（5,6類の性質並びにその火災予防及び消火）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	危険物試薬のうち、4類の性質並びにその火災予防及び消火の方法についての講義と演習。	講義		
5回	テーマ	危険物試薬の特性その3	対面	【予習】配布資料を読む（危険物試薬を安全に取り扱うために必要な基礎物理学および基礎化学）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	危険物試薬5,6類の性質並びにその火災予防及び消火の方法についての講義と演習。	講義		
6回	テーマ	基礎的な物理学および化学	対面	【予習】配布資料を読む（危険物試薬の燃焼論および消化器の選択および適切で安全な消火の方法）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	危険物試薬を安全に取り扱うために必要な基礎物理学および基礎化学に関する講義と演習。	講義		
7回	テーマ	燃焼及び消火法	対面	【予習】配布資料を読む（人工有害物質と環境汚染物質）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	危険物試薬の燃焼論および消化器の選択および適切で安全な消火の方法についての講義と演習。	講義		
8回	テーマ	環境ホルモンとダイオキシン	対面	【予習】配布資料を読む（二酸化炭素、フロンガス、地球温暖化、水俣病）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	人工有害物質と環境汚染物質についての講義	講義		
9回	テーマ	大気汚染および工場廃液による汚染	対面	【予習】配布資料を読む（各種の天然毒と、人工毒）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	二酸化炭素、フロンガス、地球温暖化、水俣病などについての講義	講義		
10回	テーマ	身の回りの毒	対面	【予習】配布資料を読む（たばこと覚せい剤の人体への害）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	各種の天然毒と、人工毒についての講義	講義		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	身の回りの薬物	対面	【予習】配布資料を読む（アミノ酸、アミノ酸の性質、たんぱく質、酵素）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	たばこと覚せい剤の人体への害についての講義	講義		
12回	テーマ	アミノ酸とたんぱく質	対面	【予習】配布資料を読む（天然高分子材料と応用、プラスチック材料の合成法）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	アミノ酸、アミノ酸の性質、たんぱく質、酵素などについての講義	講義		
13回	テーマ	高分子材料の合成法と応用	対面	【予習】配布資料を読む（天然高分子材料の化学修飾と内毒素除去材への応用）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	天然高分子材料と応用、プラスチック材料の合成法など	講義		
14回	テーマ	高分子材料の開発と毒素除去剤への応用	対面	【予習】配布資料を読む（高分子材料の化学修飾とDNA分離精製材や固定化酵素への応用）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	天然高分子材料の化学修飾と内毒素除去材への応用について	講義		
15回	テーマ	化学修飾した天然高分子材料の生体関連物質分離剤への応用　／定期試験と総括	対面	【予習】試験範囲の配布資料を読む。	60
	内容	高分子材料の化学修飾とDNA分離精製材や固定化酵素への応用について	試験　／講義		

科目名	基礎化学Ⅱ②（１建情）	開講学年	1	講義コード	2220502	区分	選択
英文表記	basic chemistry Ⅱ	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	坂田 眞砂代（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業終了後

メールアドレス	msakata@kumamoto-u.ac.jp

キーワード	無機化学　危険物化学　生体物質化学　身の回りの化学　　教養的知識　数理スキル

授業概要

私たちの身の回りには、実にさまざまな物質が存在する。海や山や動植物など自然に存在する物質、あるいは、私たちの生活を豊かにする人工の物質など、いろいろある。化学はこれらの物質の性質、構造および物質間の反応を対象とした学問であり、身の回りのすべての物質が化学の教材となる。 この講義では前期の化学Iで培った化学の基礎をもとに、化学Iに引き続き日常生活と化学のさまざまな接点を概説する。この授業では、初めに、消防法にかかわる安全の化学について解説し、次に生活に深く関係した物質や現象をできるだけ多くとりあげ、これらは化学的な見地からはどのようになっているかを解説する。この講義を通して、化学の目でいろいろなことを理解し、興味を持つようになってもらいたい。なお、この科目は学士過程共通の学習効果との対応に該当した科目である。毎週、演習を講義時間内に行い、理解度を確認する。また、授業前には該当する内容について教科書をよく読んで講義に臨むこと。 試験、小テストを実施した場合は、次回の授業中にフィードバックする。 ※本年度は対面授業で行う予定である。ただし、状況によっては遠隔授業になることがある。 ※試験については対面で行う予定である。

関連科目

人間と環境、基礎物理学、物理学、基礎化学Ⅰ

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準			c, g	c, g

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	基礎的な化学の内容を修得し、危険物試薬の化学的・物理的特性を理解することができる。
	②	危険物試薬の消化の方法を理解し、緊急時の初期消化ができる。
	③	身のまわりの環境や物質（とくに高分子化合物や材料）に関して、化学的な見方・考え方を基にして理解することができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」を自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
0	60	30	0	0	0	10	0	100

教科書

なし (配布資料を準備)

参考書

暮らしと環境化学　東京化学同人　日本化学会 (編集)　978-4807905744
物質科学の基礎としての化学入門　学術図書出版社　千葉工業大学教育センター化学教室　978-4-7806-0323-1

予備知識	無機化学、有機化学、化学反応、高分子化学の基礎的な知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	(1) 定期試験を行う。(60点) (2) 授業中に練習問題を演習させ、理解度を確認する。 (3) 単元ごとに課題を課し、適宜、小テスト(演習問題)を行い、到達度をチェックする。(30点) 小テスト等は次回講義時間にフィードバックする。

学修上の注意 (SBOs)	教科書は使用しない。授業内容に関係する資料を配布する。毎回、演習問題を配布し、授業内で解答する。授業欠席者は、次の週に、前回の演習問題を配布するので、宿題として翌週の授業前に提出のこと。授業中の私語は、他の受講者に迷惑となるので厳禁。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	危険物化学とは	対面	【予習】配布資料を読む(危険物試薬1～6類の分類、各々の類の化学的な特性と消化法)。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	全体説明 一般の危険物に関する分類について解説する。消防法危険物試薬についての概念について論述する。	講義		
2回	テーマ	危険物試薬の分類根拠	対面	【予習】配布資料を読む(1,2,3類の性質並びにその火災予防及び消火の方法)。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	危険物試薬1～6類の分類根拠を説明し、各々の類の化学的な特性と消化法について、解説する。	講義		
3回	テーマ	危険物試薬の特性その1	対面	【予習】配布資料を読む(4類の性質並びにその火災予防及び消火の方法)。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	危険物試薬のうち、1,2,3類の性質並びにその火災予防及び消火の方法についての講義と演習。	講義		
4回	テーマ	危険物試薬の特性その2	対面	【予習】配布資料を読む(5,6類の性質並びにその火災予防及び消火)。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	危険物試薬のうち、4類の性質並びにその火災予防及び消火の方法についての講義と演習。	講義		
5回	テーマ	危険物試薬の特性その3	対面	【予習】配布資料を読む(危険物試薬を安全に取り扱うために必要な基礎物理学および基礎化学)。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	危険物試薬5,6類の性質並びにその火災予防及び消火の方法についての講義と演習。	講義		
6回	テーマ	基礎的な物理学および化学	対面	【予習】配布資料を読む(危険物試薬の燃焼論および消化器の選択および適切で安全な消火の方法)。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	危険物試薬を安全に取り扱うために必要な基礎物理学および基礎化学に関する講義と演習。	講義		
7回	テーマ	燃焼及び消火法	対面	【予習】配布資料を読む(人工有害物質と環境汚染物質)。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	危険物試薬の燃焼論および消化器の選択および適切で安全な消火の方法についての講義と演習。	講義		
8回	テーマ	環境ホルモンとダイオキシン	対面	【予習】配布資料を読む(二酸化炭素、フロンガス、地球温暖化、水俣病)。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	人工有害物質と環境汚染物質についての講義	講義		
9回	テーマ	大気汚染および工場廃液による汚染	対面	【予習】配布資料を読む(各種の天然毒と、人工毒)。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	二酸化炭素、フロンガス、地球温暖化、水俣病などについての講義	講義		
10回	テーマ	身の回りの毒	対面	【予習】配布資料を読む(たばこと覚せい剤の人体への害)。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	各種の天然毒と、人工毒についての講義	講義		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	身の回りの薬物	対面	【予習】配布資料を読む（アミノ酸、アミノ酸の性質、たんぱく質、酵素）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	たばこと覚せい剤の人体への害についての講義	講義		
12回	テーマ	アミノ酸とたんぱく質	対面	【予習】配布資料を読む（天然高分子材料と応用、プラスチック材料の合成法）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	アミノ酸、アミノ酸の性質、たんぱく質、酵素などについての講義	講義		
13回	テーマ	高分子材料の合成法と応用	対面	【予習】配布資料を読む（天然高分子材料の化学修飾と内毒素除去材への応用）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	天然高分子材料と応用、プラスチック材料の合成法など	講義		
14回	テーマ	高分子材料の開発と毒素除去剤への応用	対面	【予習】配布資料を読む（高分子材料の化学修飾とDNA分離精製材や固定化酵素への応用）。【復習】与えられた課題を解く。	60
	内容	天然高分子材料の化学修飾と内毒素除去材への応用について	講義		
15回	テーマ	化学修飾した天然高分子材料の生体関連物質分離剤への応用　／定期試験と総括	対面	【予習】試験範囲の配布資料を読む。	60
	内容	高分子材料の化学修飾とDNA分離精製材や固定化酵素への応用について	試験　／講義		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎M（１機宇）	開講学年	1	講義コード	2250201	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎A（1機宇）	開講学年	1	講義コード	2250202	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションⅠⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎C（１機宇）	開講学年	1	講義コード	2250203	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎H（１機宇）	開講学年	1	講義コード	2250204	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎Ⅰ（１機宇）	開講学年	1	講義コード	2250205	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%) 2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%) 3)単語テスト vocabulary development tasks (その他5%) 4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development (その他10%) 5) 宿題 homework (その他10%) 6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes. 7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎N（１機宇）	開講学年	1	講義コード	2250206	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎C（１ナ建）	開講学年	1	講義コード	2250207	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2
担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)						
研究室	MSTeamsを確認すること			オフィスアワー	MSTeamsを確認すること		
メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning						

授業概要

英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
教職関連区分				
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎O（１ナ建）	開講学年	1	講義コード	2250208	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2
担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)						
研究室	MSTeamsを確認すること			オフィスアワー	MSTeamsを確認すること		
メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.						
キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning						

授業概要

英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online. 課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書

参考書

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎N（１ナ建）	開講学年	1	講義コード	2250209	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎S（１ナ建）	開講学年	1	講義コード	2250210	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎T（１ナ建）	開講学年	1	講義コード	2250211	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎N（１生物）	開講学年	1	講義コード	2250212	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎A（1生物）	開講学年	1	講義コード	2250213	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎T（１生物）	開講学年	1	講義コード	2250214	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%) 2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%) 3)単語テスト vocabulary development tasks (その他5%) 4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development (その他10%) 5) 宿題 homework (その他10%) 6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes. 7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎U（１生物）	開講学年	1	講義コード	2250215	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎R（１生物）	開講学年	1	講義コード	2250216	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎E（１生物）	開講学年	1	講義コード	2250217	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎C（1情）	開講学年	1	講義コード	2250218	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎O（１情）	開講学年	1	講義コード	2250219	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A4	A4
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎M（１情）	開講学年	1	講義コード	2250220	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎P（1情）	開講学年	1	講義コード	2250221	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎U（１情）	開講学年	1	講義コード	2250222	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎T（1情）	開講学年	1	講義コード	2250223	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎D（１美デ）	開講学年	1	講義コード	2250224	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎R（1美デ）	開講学年	1	講義コード	2250225	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションⅠⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎A（1美デ）	開講学年	1	講義コード	2250226	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションⅠⅠの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目
イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーションⅢ、イングリッシュコミュニケーションⅣ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎D（1薬）	開講学年	1	講義コード	2250227	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎R（1薬）	開講学年	1	講義コード	2250228	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%) 2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%) 3)単語テスト vocabulary development tasks (その他5%) 4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development (その他10%) 5) 宿題 homework (その他10%) 6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes. 7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎U（１薬）	開講学年	1	講義コード	2250229	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?	演習		
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎G（１薬）	開講学年	1	講義コード	2250230	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ◎S（1薬）	開講学年	1	講義コード	2250231	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through: 1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%) 2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%) 3)単語テスト vocabulary development tasks (その他5%) 4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development (その他10%) 5) 宿題 homework (その他10%) 6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%) A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes. 7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ（英語Ⅱ）◎（再履修）	開講学年	1	講義コード	2250232	区分	必修
英文表記	English Communication 2	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	ラクレア、エルトン 他 ・ LaClare, Elton (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@.

キーワード	会話 spoken interaction　リスニングスキル listening skills　発音 pronunciation　単語学習 vocabulary development　コミュニケーション能力 communication skills　自己管理型学習 self-directed learning

授業概要	英語コミュニケーションＩＩの授業では、英語でコミュニケーションを自然にそして効果的に行うことに焦点を当て学習します。授業での活動は単語や発音練習に加えてペアや小グループでの会話活動が中心となります。 English Communication 2 classes focus on communicating naturally and effectively in English. The main activity of the class is pair and small group conversation along with vocabulary study and pronunciation training. Assignment feedback will be provided online.　課題のフィードバックはオンラインで提供されます。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションⅠ、イングリッシュコミュニケーション Ⅲ、イングリッシュコミュニケーション Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A4	A4	A4
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	良く知っている内容や興味のある事柄、また日常生活（買物と娯楽、技術、食べ物、夢と将来の計画）に関するトピックについて簡単な会話を行うことができる。I can engage in simple conversations on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (shopping and entertainment, technology, food, and dreams and future plans).
f,g	②	適切な単語やフレーズを選択し、幅広い話題に関する会話を続けることができる。I can select suitable words and phrases to sustain longer conversations on a range of topics.
f,g	③	対話において相手に内容の詳細を引き出したり、説明を要求したり、話題を変えることができる。I can elicit details, ask for clarification and change topics in face-to-face conversations.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	0	0	0	0	30	35	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語コミュニケーションⅠ
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します：The extent to which a student has achieved the goals of the course will be assessed through:　1) スピーキングテスト extended speaking tests (中間試験 15%, 定期試験 20%)　2)予習筆記 written preparation for speaking tasks (その他10%)　3)単語テスト vocabulary development tasks　(その他5%)　4)発音と流暢さ pronunciation and fluency development　(その他10%)　5) 宿題 homework (その他10%)　6)学習ポートフォリオはワークシート、会話スカッフォールド(組み立て)、会話活動の録音、学習の振り返り、(ポートフォリオ 20%)　A portfolio including worksheets, conversation scaffolds, recordings of speaking activities, learning reflections, and vocabulary quizzes.　7) SOJOポートフォリオSOJO Portfolio (ポートフォリオ 10%)

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。 Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。オンラインでの課題は授業で学習したことの練習、試験や授業の課題の予習、そして今後の語学力育成に向けての練習用に作成されています。また、カンバセーションラウンジ、スキルズセンターを含む自律学修センター（SALC)の教材を活用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings. As such, independent study is an import part of the English Communication curriculum. Online homework tasks are designed to practice what you study in class, prepare you for tests and class activities, and further develop your language skills. We also encourage you to make use of the resources in the Self Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center. 学内の教科書販売書にてZenGengo Academyカード（使用登録カード）は購入して下さい。 You need a 12-month subscription to ZenGengo Academy. You can buy subscription cards from the university bookshop.　オンライン学習用のイヤホンを各自持参してください。 You will need earphones to complete the online activities.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。 Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is considered is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションReview and orientation	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	夏期休暇中の活動について What did you do in your summer vacation?			
2回	テーマ	旅行 Travel	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
3回	テーマ	旅行 Travel	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
4回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
5回	テーマ	祭り Festivals & Events	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
6回	テーマ	祭り Festivals & Events	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
7回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			
8回	テーマ	ショッピングShopping	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice			
9回	テーマ	ショッピングShopping	対面授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation			
10回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業 演習	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	テクノロジー Technology	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
12回	テーマ	テクノロジー Technology	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
13回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
14回	テーマ	テスト	遠隔授業	トランスクリプト準備 transcript preparation	45
	内容	テストとトランスクリプト準備と試験結果のフィードバックMid-term Exam, transcript preparation and feedback on exam results	試験		
15回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
16回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
17回	テーマ	映画とテレビMovies and TV	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
18回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness)　単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
19回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice)　計画と練習Planning and practice	演習		
20回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語）online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance)　ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
22回	テーマ	人々 People	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
23回	テーマ	人々 People	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
24回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(準備Readiness) 単語と発音Vocabulary and pronunciation	演習		
25回	テーマ	休暇 Holidays	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(練習Practice) 計画と練習Planning and practice	演習		
26回	テーマ	休暇 Holidays	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	(実践Performance) ペアまたはグループでの会話 Pair or small group conversation	演習		
27回	テーマ	復習	対面授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
28回	テーマ	復習	遠隔授業	オンライン課題（聴解･単語） online listening & vocabulary study	45
	内容	復習Review & Consolidation	演習		
29回	テーマ	テスト	対面授業	トランスクリプト準備 transcript preparation ポートフォリオ(達成度レポート)の作成	45
	内容	定期試験 Final Speaking Test	試験		
30回	テーマ	テスト	対面授業	未完了の課題を完成させる completion of unfinished work	45
	内容	振り返りと自己評価と試験結果のフィードバック Reflection, evaluation and feedback on exam results	演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎M（２機）	開講学年	2	講義コード	2250401	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ａ（２機）	開講学年	2	講義コード	2250402	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I 2.英語 II 3.英語 III

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A2	A2
		JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎C（２機）	開講学年	2	講義コード	2250403	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A2	A2
		JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎S（２ナ）	開講学年	2	講義コード	2250404	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A2	A2
		JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎T（２ナ）	開講学年	2	講義コード	2250405	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目
1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎C（２建）	開講学年	2	講義コード	2250406	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎O（２建）	開講学年	2	講義コード	2250407	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか? How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか? How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎N（２建）	開講学年	2	講義コード	2250408	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I 2.英語 II 3.英語 III

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A2	A2
		JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎N（２生物）	開講学年	2	講義コード	2250409	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	MSTeamsを確認すること			オフィスアワー	MSTeamsを確認すること		
メールアドレス	MSTeamsを確認すること@						
キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ａ（２生物）	開講学年	2	講義コード	2250410	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	MSTeamsを確認すること			オフィスアワー	MSTeamsを確認すること		
メールアドレス	MSTeamsを確認すること@						
キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド・ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎T（２生物）	開講学年	2	講義コード	2250411	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	MSTeamsを確認すること			オフィスアワー	MSTeamsを確認すること		
メールアドレス	MSTeamsを確認すること@						
キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド・ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３ 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４ 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法 How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション 人、場所、趣味、関心事を語り合う Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験 SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト; Listening, reading, and vocabulary test (30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習 English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test (30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習) Next Steps for Language Study (Lifelong Learning) 個別進捗状況面談 Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎U（２生物）	開講学年	2	講義コード	2250412	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	MSTeamsを確認すること			オフィスアワー	MSTeamsを確認すること		
メールアドレス	MSTeamsを確認すること@						
キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３ 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４ 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法 How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション 人、場所、趣味、関心事を語り合う Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験 SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト; Listening, reading, and vocabulary test (30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習 English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test (30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習) Next Steps for Language Study (Lifelong Learning) 個別進捗状況面談 Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎R（２生物）	開講学年	2	講義コード	2250413	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	MSTeamsを確認すること			オフィスアワー	MSTeamsを確認すること		
メールアドレス	MSTeamsを確認すること@						
キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎E（２生物）	開講学年	2	講義コード	2250414	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)		
研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること
メールアドレス	MSTeamsを確認すること@		
キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習		

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目
1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎C（２情）	開講学年	2	講義コード	2250415	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A2	A2
		JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ｏ（２情）	開講学年	2	講義コード	2250416	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A2	A2
		JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎M（２情）	開講学年	2	講義コード	2250417	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ｐ（２情）	開講学年	2	講義コード	2250418	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)						
研究室	MSTeamsを確認すること			オフィスアワー	MSTeamsを確認すること		
メールアドレス	MSTeamsを確認すること@						
キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習						

授業概要	関連科目
自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.	1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか? How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか? How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎U（２情）	開講学年	2	講義コード	2250419	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目
1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎T（２情）	開講学年	2	講義コード	2250420	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目
1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎H（２字）	開講学年	2	講義コード	2250421	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド・ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか? How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか? How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ⅰ（２宇）	開講学年	2	講義コード	2250422	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語Ⅰ～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目
1.英語Ⅰ 2.英語Ⅱ 3.英語Ⅲ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎（２字）（操縦専用）	開講学年	2	講義コード	2250423	区分	必須
英文表記	English Communication IV Aviation	開講期	後期	開講形態	ブレンド授業	単位数	2

担当教員	テンペスト ・ クリス Tempest, Christopher　バリントン ・ レイチェル Barington, Rachel

研究室	SILC 304　SILC 402	オフィスアワー	sojosilc.comを確認すること

メールアドレス	ctempest@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	航空 (aviation)　ICAO　要約 (summarizing)　コミュニケーション能力 (communication ability)　聴解力 (listening comprehension)

授業概要	You will increase your aviation-related vocabulary 航空関連の語彙力を伸ばす。You will work on improving your ability to discuss aviation-related topics 航空関連トピックのディスカッション力向上に取り組みます。You will work on improving your ability to summarize and explain various aviation situations 航空に関する様々な状況の要約や説明するスキルの向上に取り組みます。

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	I can use a basic aviation-related vocabulary. 航空関連の基本的な語彙を使うことができる。
f,g	②	I can discus basic aviation-related topics in simple English. 航空関連の基本的なトピックを簡単な英語で話すことができる。
f,g	③	I can summarize, explain, and understand basic aviation-related listening passages and images. 航空関連の基本的なリスニングの文章やイメージを要約、説明し、理解することができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15	20	15	0	0	0	50		100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の内容について評価します：Weekly Vocabulary (小テスト15) Vocabulary, Listening, & Grammar Test (中間試験15) You will complete tasks based on the ICAO assessment format (ATC listening, grammar, and vocabulary) Vocabulary, Listening, & Speaking Test (定期試験 20) You will complete tasks based on the ICAO assessment format (Oral communication and picture descriptions) Homework - Self Directed Learning (ポートフォリオ 20) Class Activities (ポートフォリオ 20) You will complete vocabulary, grammar, and listening tasks, discussion topics and speaking tasks Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10）

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメートと英語で会話する必要があります。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を頻繁に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席の場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し、取組むようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up on any work missed.　英語の著しい上達には、授業のみではなく、授業外での学習継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリ キュラムにおいて重要な部分となります。EC4の宿題は、EC3で行ったSDLポートフォリオを継続しますが、自律学習計画とその振り返りが含まれます。To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. Your homework will be to complete self- directed learning tasks from EC3.　毎回の授業の参加時にはマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring earphones with a microphone to each class. レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	Self-directed Learning	45
	内容	Course outline Online registration ICAO introduction Introductions	講義・　演習		
2回	テーマ	Airport Basics 1	オンデマンド	Self-directed Learning	45
	内容	Online Vocabulary 1 Reading Listening	e-L		
3回	テーマ	Airport Basics 2	対面	Self-directed Learning	45
	内容	Reading Listening Speaking	講義・　演習		
4回	テーマ	Communication 1	オンデマンド	Self-directed Learning	45
	内容	Online Vocabulary 2 ATC Listening 1 Aviation Reading 1	e-L		
5回	テーマ	Communication 2	対面	Self-directed Learning	45
	内容	Quiz 1 Speaking Listening Reading	講義・　演習		
6回	テーマ	ATC Basics 1	オンデマンド	Self-directed Learning	45
	内容	Online Vocabulary 3 ATC Listening 2 Aviation Reading 2	e-L		
7回	テーマ	ATC Basics 2	対面	Self-directed Learning	45
	内容	Quiz 2 Vocabulary / Grammar Listening Speaking Summarization Introduction	講義・　演習		
8回	テーマ	Weather 1	オンデマンド	Self-directed Learning	45
	内容	Online Vocabulary 4 ATC Listening 3 Aviation Reading 3 Summarization 1	e-L		
9回	テーマ	Weather 2	対面	Self-directed Learning	45
	内容	Quiz 3 Vocabulary / Grammar Listening Speaking Writing	講義・　演習		
10回	テーマ	Pre-flight 1	オンデマンド	Self-directed Learning	45
	内容	Online Vocabulary 5 ATC Listening 4 Aviation Reading 4 Summarization 2	e-L		

授業計画

回数（日付）	授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ Pre-flight 2 内容 Quiz 4 Vocabulary / Grammar Listening Speaking Reading	対面 講義・　演習	Self-directed Learning	45
12回	テーマ Runway 1 内容 Online Vocabulary 6 ATC Listening 5 Aviation Reading 5 Summarization 3	オンデマンド e-L	Self-directed Learning	45
13回	テーマ Runway 2 内容 Quiz 5 Vocabulary / Grammar Listening Speaking Writing	対面 講義・　演習	Self-directed Learning	45
14回	テーマ Takeoff 1 内容 Online Vocabulary 7 ATC Listening 6 Aviation Reading 6 Summarization 4	オンデマンド e-L	Self-directed Learning	45
15回	テーマ Takeoff 2 内容 Quiz 6 Vocabulary Listening Speaking Reading	対面 講義・　演習	Self-directed Learning	45
16回	テーマ Mid-term Review 内容 Review	オンデマンド e-L	Self-directed Learning	45
17回	テーマ Mid-term Test 内容 Mid-term Test	対面 講義・　演習	Self-directed Learning	45
18回	テーマ Summarization 1　Mid-term Feedback 内容 Online Vocabulary 8 ATC Listening 7 Aviation Reading 7 Summarization 5	オンデマンド e-L	Self-directed Learning	45
19回	テーマ Summarization 2 内容 Quiz 7 Picture Sequences Listening Speaking	対面 講義・　演習	Self-directed Learning	45
20回	テーマ Emergencies 1 内容 Online Vocabulary 9 ATC Listening 8 Aviation Reading 8 Summarization 6	オンデマンド e-L	Self-directed Learning	45

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Emergencies 2	対面	Self-directed Learning	45
	内容	Quiz 8 Listening Speaking Reading Picture Sequences	講義・　演習		
22回	テーマ	Emergencies 3	オンデマンド	Self-directed Learning	45
	内容	Online Vocabulary 11 ATC Listening 10 Aviation Reading 10 Summarization 8	e-L		
23回	テーマ	Emergencies 4	対面	Self-directed Learning	45
	内容	Quiz 9 Listening Speaking Reading Picture Sequences	講義・　演習		
24回	テーマ	Emergencies 5	オンデマンド	Self-directed Learning	45
	内容	Online Vocabulary 12 ATC Listening 11 Review Summarization 9	e-L		
25回	テーマ	Emergencies 6	対面	Self-directed Learning	45
	内容	Quiz 10 Speaking Listening Picture Sequences	講義・　演習		
26回	テーマ	Emergencies Review	オンデマンド	Self-directed Learning	45
	内容	ATC Listening 12 Emergencies Review Summarization 10	e-L		
27回	テーマ	Interview Preparation 1	対面	Self-directed Learning	45
	内容	Speaking Listening Picture Sequences	講義・　演習		
28回	テーマ	Interview Preparation 2	オンデマンド	Self-directed Learning	45
	内容	Online Vocabulary 13 ATC Listening 12 Summarization 10	e-L		
29回	テーマ	Final Test	対面	Self-directed Learning	45
	内容	Final Test	講義・　演習		
30回	テーマ	Feedback and Reflection	対面	Completion of unfinished work	45
	内容	Final Test Feedback Course Feedback Course Reflection	講義・　演習		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ｄ（２美デ）	開講学年	2	講義コード	2250424	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)		
研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること
メールアドレス	MSTeamsを確認すること@		
キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習		

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	
参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ｒ（２美デ）	開講学年	2	講義コード	2250425	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語Ⅰ～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目
1.英語Ⅰ 2.英語Ⅱ 3.英語Ⅲ

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ａ（２美デ）	開講学年	2	講義コード	2250426	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド・ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ｄ（２薬）	開講学年	2	講義コード	2250427	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目
1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ｒ（２薬）	開講学年	2	講義コード	2250428	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目
1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド・ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド・ライティング スピーキング・リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解・単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎U（２薬）	開講学年	2	講義コード	2250429	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I 2.英語 II 3.英語 III

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３ 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４ 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法 How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション 人、場所、趣味、関心事を語り合う Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験 SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト; Listening, reading, and vocabulary test (30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習 English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test (30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習) Next Steps for Language Study (Lifelong Learning) 個別進捗状況面談 Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎G（２薬）	開講学年	2	講義コード	2250430	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I 2.英語 II 3.英語 III

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎Ｓ（２薬）	開講学年	2	講義コード	2250431	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I 2.英語 II 3.英語 III

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A	A2	A2	A2
	JABEE基準	f,g	f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習３　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習４　各自学習計画と振り返り　Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法　How to leading a group discussion	演習 ・SGD		
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions	演習 ・AL		
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　人、場所、趣味、関心事を語り合う　Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests	演習 ・SGD		
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション　SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans	演習 ・SGD		
27回	テーマ	定期試験　SILC Final Test	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト;　Listening, reading, and vocabulary test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習		
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習　English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice	演習 ・AL		
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト　Speaking Test　(30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)	演習 ・SGD		
30回	テーマ	Next Steps	対面	未完成の課題を完成させる　Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習)　Next Steps for Language Study (Lifelong Learning)　個別進捗状況面談　Individual progress check interviews with the teacher	AL		

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅣ◎（再履修）	開講学年	2	講義コード	2250432	区分	必須
英文表記	English Communication 4	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	ローベリー・ジョン 他 Rowberry. Jon (or other)

研究室	MSTeamsを確認すること	オフィスアワー	MSTeamsを確認すること

メールアドレス	MSTeamsを確認すること@

キーワード	Timed Writing　Personal Experience 自身の経験　Pronunciation 発音　イントネーション Intonation　Communication Strategies コミュニケーション戦略　Informal Conversation インフォーマルな会話　Active Listening アクティブリスニング　Follow-up Questions 関連質問　Lifelong Learning 生涯学習

授業概要	自身の経験を記録しながらスピーキングとライティングのスキルの育成を行います。 You will develop your speaking and writing skills as you produce and record a series of texts about personal experiences.　英語I～Ⅳで培った全てのスキルを学期末スピーキングテストの準備としてEnglish Chat (対話)ユニットで使用します。 You will draw on all the skills developed during EC1 to 4 in the 'English Chat' unit to prepare for a final speaking test.

関連科目

1.英語 I　2.英語 II　3.英語 III

教職関連区分	【教員免許状取得のための必修･選択】･･･必修 【科目区分】･･･文部科学省令で定める科目 【各科目に含めることが必要な事項】･･･外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標		A	A2	A2
JABEE基準		f,g	f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	自身の人生経験について詳細を英語で話したり書いたりすることができる。I can talk and write in detail about personal experiences.
f,g	②	簡単な英語の文章をより速く書くことができる。I can write simple English texts more quickly.
f,g	③	自分の専門分野に関する科目など、個人の多様なトピックに関して会話をし、会話を継続することができる。I can sustain and extend conversation on a variety of personal topics, as well as familiar subjects related to my academic field.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	10	10	10	0	0	0	60	10	100

教科書	

参考書	

予備知識	英語基礎知識
実務経験のある教員	
評価明細基準	この授業では以下の事をどれだけ達成したかで評価します： English Chat speaking test (中間試験 10) Vocabulary tests（小テスト10）単語テスト Final listening and reading test（定期試験 10）最終テスト English Communication portfolio (ポートフォリオ 50)イングリッシュコミュニケーションポートフォリオには、「My Story」音声録音の課題（20）、授業で「English Chat」アクティビティの参加（15）、「Timed Writing」アクティビティ（5）、自己管理型学習（10）が含まれています。 Sojo Portfolio（ポートフォリオ 10） Vocabulary or Listening homework (その他 10) オンラインの語彙やリスニングの宿題

学修上の注意 (SBOs)	授業は主に英語で行われ、皆さんも出来るかぎり教員やクラスメート達と英語で会話することを求められます。授業では頻繁にペアやグループで学習活動に取り組みます。授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を確認し補うようにして下さい。Lessons are conducted mainly in English and you will be expected to use English as much as possible to communicate with your teacher and classmates. You will often work in pairs or groups. If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you are absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　英語の著しい上達には、授業中だけでなく授業外での学習の継続が不可欠です。そのため、自律学修はこのカリキュラムにおいて重要な部分となります。ECⅣの宿題は自己言語学習目標により、語彙を勉強するか、リスニングを勉強するかを選択します。を選択します。またカンバセーションラウンジ、スキルズセンター等を含む自律学修センター（SALC)の教材を使用することを勧めます。 To make significant improvements, it is necessary to continue your English study outside the regular class meetings, so independent study is an important part of the English Communication curriculum. For English Communication 4 homework, you will choose to focus on vocabulary or listening depending on your personal learning goals. We also encourage you to make use of the resources in the Self-Access Learning Center (SALC) including the Conversation Lounge and Skills Center.　授業には毎回パスコンとマイク付きイヤホンを持参してください。You should bring your computer and earphones with a microphone to each class.　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。Plagiarism, such as copying and pasting of submissions such as reports, is not acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	Orientation	対面	シラバス情報収集	45
	内容	コースオリエンテーション How to study English for EC4 EC4での英語の学習方法	講義・演習		
2回	テーマ	Timed Writing	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	タイムド･ライティングの導入 How to approach timed writing	講義・演習		
3回	テーマ	My Story 1: Summer vacation A	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
4回	テーマ	My Story 2: Summer vacation B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	昨年の夏は何をしていましたか? What did you do last summer? 発音練習 記述録音	演習		
5回	テーマ	My Story 3: Timeline A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of my Life タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
6回	テーマ	My Story 4: Timeline B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	私の人生 The Story of My Life 発音練習 記述録音	演習		
7回	テーマ	My Story 5: Last Weekend A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
8回	テーマ	My Story 6: Last Weekend B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	先週末は何をされましたか? What did you do last weekend? 発音練習 記述録音	演習		
9回	テーマ	My Story 7: My Travels A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was your trip? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
10回	テーマ	My Story 8: My Travels B	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	旅はいかがでしたか? How was you trip? 発音練習 記述録音	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	My Story 9: SDG A	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? タイムド･ライティング スピーキング･リスニングタスク	演習		
12回	テーマ	My Story 10: SDG B	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	どうすればより持続可能な暮らしができるのか？ How can we live more sustainably? 発音練習 記述録音	演習		
13回	テーマ	Lifelong Language Learning	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	生涯語学学習 今後の語学学習のニーズにどう対応するか How will you use English in your future?	演習 ・ SGD		
14回	テーマ	Self-Directed Learning 1	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 1 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
15回	テーマ	Self-Directed Learning 2	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 2 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections	演習 ・ AL		
16回	テーマ	English Chat 1: Following up	対面	オンライン課題（聴解･単語） Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー フォローアップの質問 How to ask for more information	演習		
17回	テーマ	English Chat 2: Changing topic	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話の話題を変える方法 How to change the topic of conversation	演習		
18回	テーマ	English Chat 3: Active Listening	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 会話についてきていることを示す How to show that you are following the conversation	演習		
19回	テーマ	English Chat 4: Reacting and responding	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー 相手の発言に反応する How to respond to what the other person says	演習		
20回	テーマ	English Chat 5: Communication Problems	対面	オンライン課題（聴解･単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	会話のストラテジー コミュニケーションの問題への対処法 How to deal with communication problems	演習・ e-L		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	Self-Directed Learning 3	対面 演習 ・ AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 3 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections			
22回	テーマ	Self-Directed Learning 4	対面 演習 ・ AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	自己管理型学習 4 各自学習計画と振り返り Individual learning plans and reflections			
23回	テーマ	English Chat 6: Discussion Techniques	対面 演習 ・SGD	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッションの運営方法 How to leading a group discussion			
24回	テーマ	English Chat 7: Discussion Questions	対面 演習 ・AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	インタビューやディスカッションに効果的な質問Effective interview and discussion questions			
25回	テーマ	English Chat 8: Leaders' Discussion 1	対面 演習 ・SGD	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション 人、場所、趣味、関心事を語り合う Leaders Discussion: People, Places, Hobbies & Interests			
26回	テーマ	English Chat 9: Leaders' Discussion 2	対面 演習 ・SGD	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	グループディスカッション SDGs、専攻、大学生活、将来の夢について語り合おうLeaders Discussion: SDGs, My Major, University Life, Future Plans			
27回	テーマ	定期試験 SILC Final Test	対面 演習	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	リスニング・リーディング・ボキャブラリーテスト; Listening, reading, and vocabulary test (30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)			
28回	テーマ	English Chat: Reflection and Evaluation	対面 演習 ・AL	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	「English Chat」の自己評価; スピーキングテストの練習 English Chat Unit reflection and self-evaluation; speaking test practice			
29回	テーマ	Speaking Test中間試験	対面 演習 ・SGD	オンライン課題（聴解・単語）Online listening & vocabulary study	45
	内容	スピーキングテスト Speaking Test (30回目の授業で先生がフィードバックを行います。)			
30回	テーマ	Next Steps	対面 AL	未完成の課題を完成させる Completion of unfinished work	45
	内容	次の段階の言語学習 (生涯学習) Next Steps for Language Study (Lifelong Learning) 個別進捗状況面談 Individual progress check interviews with the teacher			

科目名	ＴＯＥＩＣ演習（１全学科）	開講学年	2-	講義コード	2250601	区分	選択
英文表記	TOEIC	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	宝来華代子（実務経験）

研究室	SILC201	オフィスアワー	月曜3限目

メールアドレス	khorai@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	TOEIC リーディング　基礎英文法　主体的な取り組み　教養的知識　　自己管理力

授業概要	本授業では英語能力測定テストの1つであるTOEIC（Test of English for International Communication）のListening &Reading Testのリーディングセクションの学習対策を進めながら、基礎英文法理解と日常英会話やビジネスで活用される英単語の習得を目指します。担当教員の前職における企業や社会人向けTOEIC研修の実務経験及び、アドバイザーとしての経験を活かし、学習計画や効果的な学習に関してコースを通して指導します。　授業では文法の学習を中心に行い、教員からの説明もありますが、学習内容について自分で調べて理解し、練習問題が解けるようになってもらいたいと思います。また、クラスではペアやグループで互いに説明をしてもらいます。従って学生の主体的な取り組みが期待されます。　初回と期末テストで同様の形式の模擬テストを行い学習成果を測ります。また学習単元ごとに復習テストを行います。学習内容を理解しTOEIC形式の問題を制限時間に解けるようになることを目指します。また、長文読解をクラス及び課題として解いてもらいます。 単語習得を目指し、毎週単語テストは行われます。単語テストや長文読解の課題などを通して学習の習慣化も目指しましょう。　毎回のクラスでは学習への取り組みの振り返りを行い、それを基に自主的な学習への取組みを考えてもらいます。毎回のクラスの振り返りポートフォリオに対し教員のフィードバックがあります。必要であれば学習アドバイジングも活用し学習の自己調整をするよう努めましょう。

関連科目
イングリッシュコミュニケーションクラスI～IV（イングリッシュコミュニケーションII、III,IVは受講経験がなくても問題はありません）

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標	A4	A4	A4	A4
	JABEE基準	g	g	g	g

JABEE記号		学生の到達度目標
g	①	TOEICに出る基本的な文法を学び理解することができる。
g	②	英単語学習、長文課題のクラス外での取り組みを通して、学習を習慣的に行うことができる。
g	③	自分に合った学習方法を考えて取り組むことができる。
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	20	20	25	10	0	0	25		100

教科書	公式TOEIC Listening & Reading Part 7 速読演習　一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会　ETS　978-4906033690

参考書	新TOEICテスト文法問題でる1000問　アスク出版　TEX加藤　978472179521 公式TOEICListenig & Reading プラクティスリーディング編　一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会　ETS　978-4-906033-60-7

予備知識	基本的な英文法、単語知識。TOEIC受験経験者は350点以上程度、英検準2級程度の知識。
実務経験のある教員	宝来華代子
評価明細基準	定期試験ではクラスの最初にTOEICリーディングセクションのテスト(簡易版)を行いますが、学期末テストの結果と初回と比較による伸び率及び、最終テストの成果を評価します(20%)。　中間テストには各単元ごとの復習テストも含みます(20%)。　小テストは毎回のクラスで課題として出された範囲内の単語テスト(10回)が行われ評価します(25%)。　ポートフォリオ(25%)に含まれる評価は、毎回のクラス終了後の振り返り記録(20%)と学期末の崇城ポートフォリオ(5%)になります。　レポート(10%)は宿題や長文練習の課題等、クラス外での取り組みの評価になります。課題等以外で自主的にSALCの活用(アドバイジングセッション利用、スキルセンター利用等)や自主的なTOEICテスト受験を行った際は是非、報告してください。評価します。

学修上の注意 (SBOs)	このコース受講は定員があります。定員を超えた場合は抽選になります。当選された方は必ず受講して頂くようお願いします。　毎回の授業には必ず自分のパソコン、筆記用具を持参して下さい。欠席した場合は必ず、担当教員に連絡をし、遅れた学習に取り組むようにしてください。 正規出席…授業開始 15 分まで／遅刻出席…授業開始 30 分まで／30 分を超えた場合は欠席扱いとなります。　欠席の場合は必ず連絡をして下さい。次回のクラスまでに課題を行っていただきます。　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション 事前テスト	対面授業	TOEIC Listening&Readingテストについて概要を調べ理解する。	90
	内容	コースのオリエンテーション。課題や学習の進め方について。小テスト	講義/演習		
2回	テーマ	学習計画・長文読解	対面授業	単語学習　長文練習問題	90
	内容	初回のテスト結果を基に自分の学習目標の設定と学習計画作成。長文の解き方について学ぶ	講義/演習		
3回	テーマ	文の要素と品詞	対面授業	単語学習　長文練習問題	90
	内容	単語テスト1、品詞の見分け方、文の要素と構造を理解する。練習問題を解く	講義/演習		
4回	テーマ	形容詞・副詞	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	単語テスト2、形容詞・副詞の見分け方、文の要素、品詞の働きについて学習	講義/演習		
5回	テーマ	復習 動詞	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	単語テスト3、動詞の働き・品詞TOEIC形式練習問題を解く、	講義/演習		
6回	テーマ	復習テスト　品詞	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	単語テスト4、復習・自律学習、フィードバック	講義/演習		
7回	テーマ	動詞	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	単語テスト5、動詞の働き・主語と動詞の関係を理解する、練習問題を解く	講義/演習		
8回	テーマ	動詞 時制	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	単語テスト6、動詞の時制ルールを理解する、練習問題を解く	講義/演習		
9回	テーマ	動名詞・不定詞・分詞	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	単語テスト7、現在分詞・過去分詞・動名詞を理解する、練習問題を解く	講義/演習		
10回	テーマ	動名詞・不定詞・分詞	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	単語テスト8、不定詞・分詞構文を理解する、練習問題を解く	講義/演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	動詞練習問題	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	単語テスト9、動詞練習問題、長文読解練習	講義/演習		
12回	テーマ	復習テスト 動詞　学習振り返り	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	単語テスト10、テスト、復習、振り返り	講義/演習		
13回	テーマ	名詞･代名詞	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	名詞、代名詞　練習音大	講義/演習		
14回	テーマ	前置詞 ･接続詞	対面授業	単語　長文練習問題　文法練習問題	90
	内容	前置詞、接続詞を理解する、練習問題を解く	講義/演習		
15回	テーマ	期末テスト	対面授業	総復習	９０
	内容	期末テスト、振り返りと今後の学習計画	講義/演習		

科目名	ＴＯＥＩＣ演習（１・２整備）	開講学年	1	講義コード	2250603	区分	選必
英文表記	TOEIC	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2
担当教員	宝来華代子（実務経験）						
研究室	SILC201	オフィスアワー	月曜3限目				
メールアドレス	khorai@m.sojo-u.ac.jp						
キーワード	TOEIC Test リスニング　主体的な取り組み　発話トレーニング　協働性　　教養的知識　コミュニケーション能力　自己管理力						

授業概要

本授業では英語能力測定テストの1つであるTOEIC（Test of English for International Communication）のListening &Reading Testのリスニングセクションの学習対策を進めながら、日常英会話やビジネスで活用される英語表現の習得とリスニング力の向上を目指します。 担当教員の前職における企業や社会人向けTOEIC研修の実務経験及びアドバイザーとしての経験を活かし、効果的な学習となるよう一緒に学びましょう。 リスニング力を向上するには自分で発話することが大切です。声に出しての練習は欠かせません。授業では他の学生とのやり取り練習もあり、学生の主体的な取り組みが期待されます。 初回と期末テストで同様の形式の模擬テストを行い学習成果を測ります。また学習ユニットごとに復習テストを行います。学習内容を理解しTOEIC形式の問題でのスコアアップを目指しましょう。 単語や英語表現については毎回、与えられた課題のテストが行われますので学習しておきましょう。毎回のクラスでは学習への取り組みの振り返りを行い、それを基に自主的な学習への取組みを考えてもらいます。この振り返りポートフォリオに対し教員のフィードバックがあります。確認して自分の学習に活かしましょう。 クラス外でのSALCのリソース活用やオンライン等を活用した自律学修の取り組みが期待されます。できるだけ学習アドバイジングやスキルセンター、カンバセーションラウンジを活用し学習の自己調整をするよう努めましょう。

関連科目

イングリッシュコミュニケーションクラスI&II

教職関連区分	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標				
JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	TOEICテスト（L&R)に出題されるリスニング問題に慣れ理解できる。
	②	英単語学習の習得を通して、学習を習慣的に行うことができる。
	③	授業中及び授業外に主体的に聞く練習と発話練習に通り組むことができる。
	④	自分に合った学習方法を考えて取り組むことができる。
	⑤	ペアワーク等では積極的に発話することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	20	20	20	10	0	0	30		100

教科書	公式TOEIC Listening & Readingトレーニング リスニング編　一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会　ETS　　9784906033515
参考書	公式TOEICListenig & Reading プラクティスリスニング編　一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会　ETS　978-4906033591

予備知識	基本的な英文法、単語知識。
実務経験のある教員	宝来華代子
評価明細基準	定期試験(20%)ではクラスの最初にTOEICリスニングセクションのテストを行い、学期末テストの結果と初回と比較による伸び率も評価します。 中間テストは（20%）ですが、各パートごとの単元テストで評価します。 小テスト（20%）は毎回のクラス課題の単語テストが評価されます。 ポートフォリオ(30%)に含まれる評価は、毎回のクラス終了後の振り返り記録（25%）と学期末の崇城ポートフォリオ（5%)になります。 レポート（10%）は宿題や課題の他にクラス外での積極的なSALC等の活用（アドバイジング利用、スキルセンター利用等）やTOEICテスト受験などの自律学習活動について行った場合は自己申告してください。評価します。

学修上の注意 (SBOs)	毎回の授業には必ず自分のパソコン、筆記用具を持参して下さい。欠席した場合は必ず、担当教員に連絡をし、遅れた学習に取り組むようにしてください。　正規出席…授業開始 15 分まで／遅刻出席…授業開始 30 分まで／30 分を超えた場合は欠席扱いとなります。　毎週のクラス後のポートフォリオは必ず翌日までに提出して下さい。　レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされます。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション　事前テスト	対面授業	TOEIC Listening&Readingテストについて概要を調べ理解する。音源をダウンロードする	90
	内容	コースのオリエンテーションと自分のレベルを認識するための事前テスト。この回に欠席した学生は、クラス時間外でこのテスト受験を必須とします。	講義/演習		
2回	テーマ	Part 1　写真描写	対面授業	テキストPart 1　単語学習	90
	内容	Part1 写真描写 人の動作・状態	講義/演習		
3回	テーマ	Part1クイズ　Part 2　応答問題	遠隔授業	テキストPart 1　単語学習	90
	内容	単語テスト1、 Part1 復習　Part2 WH疑問文	講義/演習		
4回	テーマ	Part 2　応答問題	対面授業	テキストPart 2　単語学習	90
	内容	単語テスト2 WH疑問文、YES/NO疑問文、	講義/演習		
5回	テーマ	Part 2　応答問題	対面授業	テキストPart 2　単語学習	90
	内容	単語テスト3、 提案、依頼・許可の疑問文、付加疑問文、	講義/演習		
6回	テーマ	Part2　応答問題　復習練習	対面授業	テキストPart 2　単語学習	90
	内容	単語テスト4、 否定疑問文、平叙文 PARTI&2練習問題	講義/演習		
7回	テーマ	Part 3 会話問題	対面授業	テキストPart 3　単語学習	90
	内容	中間テスト　単語テスト5、 PART3導入	講義/演習		
8回	テーマ	Part 3 会話問題	対面授業	テキストPart 3　単語学習	90
	内容	単語テスト6 会話予測・キーワード推測	講義/演習		
9回	テーマ	Part 3 会話問題	対面授業	テキストPart 3　単語学習	90
	内容	単語テスト7 意図・示唆をくみ取る、3人の会話、図表	講義/演習		
10回	テーマ	Part 3 復習練習ミニテスト	遠隔授業	テキストPart 3　単語学習	90
	内容	単語テスト8 PART3復習練習	講義/演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	Part 4 説明文問題	対面授業	テキストPart 4　単語学習	90
	内容	単語テスト9　PART4概要、トーク詳細	講義/演習		
12回	テーマ	Part 4 説明文問題	対面授業	テキストPart 4　単語学習	90
	内容	単語テスト10　トークの展開予測、意図、図表	講義/演習		
13回	テーマ	Part 4 説明文問題	対面授業	PART4練習問題	90
	内容	PART4ミニテスト	講義/演習		
14回	テーマ	期末テスト	対面授業	テキストPart 4　単語学習	90
	内容	PART1-4 テスト	講義/演習		
15回	テーマ	期末テスト	対面授業	ポートフォリオ	90
	内容	期末テスト、振り返りと今後の学習計画	講義/演習		

科目名	アカデミック英語◎＊３（３建（計画コース・構造コース））	開講学年	3	講義コード	2250702	区分	選択
英文表記	Academic English	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	松下・レイチェル (他) Matsushita, Rachel (or other)

研究室	SILC 402	オフィスアワー	silconline.jpを参照してください ・ Please refer to silconline.jp

メールアドレス	rachelb@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	学問分野の会話・academic conversation　英語講義に参加するためのスキル・skills for participating in English lectures　研究分野の発表・presentation on a topic in your field　コミュニケーション能力　リテラシー　アカデミックスキル

授業概要	この授業は3部構成です。There are three parts to the course.　1. 学問に関するディスカッションに参加したり会話をリードするスキルを向上する。You will develop your ability to lead and participate in Academic Discussions.　2.英語講義でのリスニング力やメモの取り方（記述力）の効果的なスキルを向上する。You will work on improving your listening and note-taking skills to effectively participate in English lectures.　3.研究分野のトピックに関してのプレゼンを準備する。プレゼンテーションの練習に励み、学内で発表を行う。You will give a presentation on a topic in your field of study. You will practice presentation skills and give a presentation to the university community.

関連科目
1.英語Ⅰ　2.英語Ⅱ　3.英語Ⅲ　4.英語Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
		学修・教育目標	A	A2	A2
		JABEE基準		f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	学問に関するディスカッションに参加し、会話をリードすることができる。I can participate in and lead academic discussions.
f,g	②	英語講義に参加し、自分の意見を発表することができる。I can participate in English lectures.
f,g	③	自分の専門分野に関するトピックについて調べ、デザインし、発表ができる。I can research, design and give a presentation on a topic in my field of study.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15		15	0	30	0	40	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	基礎的な英語力・Basic English ability
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.学習ポートフォリオは成績の30%であり、授業参加と全ての宿題を含む。The Learning Portfolio, which is 30% of your grade, includes class participation and all homework.　2.専門分野の発表（要約、デザイン、発表、自己評価）は成績の30%となる。The presentation (including abstract, design, presentation and self-evaluation) is 30% of your grade.　3.学問に関するディスカッションを含む小テスト（15%）と中間テスト（15%）。Short tests include an Academic Discussion (15%) and a Mid-term Test (15%).　4. SOJOポートフォリオは成績の10%となる。The SOJO Portfolio is 10% of your grade.

学修上の注意 (SBOs)	1.授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you have to be absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　2.宿題は非常に重要な要素です。宿題は授業で学んだこと、テスト準備、授業活動や将来学習する語学スキル(を練習できるように作成されています。週に1.5時間は宿題に費やすことを目指さなければなりません。Homework is a very important part of the course. The homework activities are designed to practice what you study in class, prepare for tests and class activities and further develop your language skills. You should spend about 1.5 hours per week doing English homework.　3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。Plagiarism, including copy and pasting submissions such as reports is NOT acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	スキルズセンター(SC)、英会話ラウンジ(CL)等、Skills Center (SC), Conversation Lounge (CL), etc. (15分), 英語の日記 English Diary（30分）	45
	内容	自己紹介、コースの説明、宿題の説明 Self-introductions, Course Explanation, Homework Explanation	演習		
2回	テーマ	学問に関するディスカッションAcademic Discussion Introduction	対面授業	SC, CL等（15分）、英語の日記 English Diary（30分）、ディスカッションスキル練習Discussion Skills Practice（45分）	90
	内容	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills and Practice (Introductory Topics - Food, Sports, Music, Movies, School)	演習		
3回	テーマ	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills & Practice	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、ディスカッションスキル練習 Academic Discussion Preparation（45分）	90
	内容	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills and Practice 3. (Academic Topics 1 - Problems, Risk, Motivation, Online Learning, Language Learning)	演習		
4回	テーマ	学生リーダーディスカッション Student-led Discussions	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、ディスカッションスキル練習 Academic Discussion Preparation（45分）	90
	内容	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills and Practice 3. (Academic Topics 2 - Climate Change, Pollution, Mental Health, Green Energy, COVID)	演習		
5回	テーマ	学生リーダーディスカッション Student-led Discussions	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りSelf-Reflection (45分)	90
	内容	学生リーダーディスカッション（評価） Students lead Academic Discussions (skill-based assessment), 授業中のフィードバック Feedback provided in class	演習		
6回	テーマ	講義スキル 1 Lecture Skills 1	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、講義リスニング課題Listening to a Lecture Homework (45分)	90
	内容	スキルを練習して、討論 Skills practice, Discussion (Topics: Lecture about an Experiment, Digital Detox)	演習		
7回	テーマ	講義スキル2 Lecture Skills 2	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、講義リスニング課題Listening to a Lecture Homework (45分)	90
	内容	スキルを練習して、討論 Skills practice, Discussion (Topic: Introverts)	演習		
8回	テーマ	講義スキル 3 Lecture Skills 3	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、講義リスニング課題Listening to a Lecture Homework (45分)	90
	内容	スキルを練習して、討論 Skills practice, Discussion (Topic: Hand Gestures)	演習		
9回	テーマ	中間テスト Midterm Test	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りSelf-Reflection (45分)	90
	内容	これまで学習した内容に関するテスト Test on content up to this point, 次の授業でのフィードバック Feedback provided in next class	演習		
10回	テーマ	プレゼンのユーニットの紹介 Intro to Presentation Unit	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 100要約(45分	90
	内容	ユーニットの紹介、例を見て、要約を書く Intro to Presentation Unit, view samples, write abstract	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンのデザイン Presentation Design	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), プレゼンの作成 Presentation Preparation (45分)	90
	内容	教員による要約のチェック、プランを書いて、プレゼンの作成を開始するAbstract checked by teacher, students draw plan, students begin crafting presentation	演習		
12回	テーマ	プレゼンの作成1 Presentation Creation 1	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), プレゼンの作成 Presentation Preparation (45分)	90
	内容	プレゼンの作成、教員に見てもらう Work on presentation, get feedback from Teacher	演習		
13回	テーマ	プレゼンの作成1 Presentation Creation 2	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), プレゼンの練習(45分)	90
	内容	13. プレゼンの作成、ポスター制作 Work on presentation, work on poster	演習		
14回	テーマ	プレゼンの作成1 Presentation Creation 3	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りとプレゼン本番練習Self-Reflection+Practice (45分), ポートフォリオ（到達度レポート）の作成	90
	内容	プレゼンの作成、最終確認、ポスターの締め切り Work on presentation, final feedback, PPT deadline	演習		
15回	テーマ	プレゼン発表の練習 Presentation practice	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りとプレゼン本番練習Self-Reflection+Practice (45分), ポートフォリオ（到達度レポート）の作成	90
	内容	クラス内発表。教員からのフィードバック Give presentation in class, get feedback from Teacher	演習		
16回	テーマ	発表 Final presentation	対面授業		
	内容	学内プレゼン実施 Give presentation in front of the university community	演習		

科目名	アカデミック英語＊３（３全学科）	開講学年	3	講義コード	2250703	区分	選択
英文表記	Academic English	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	松下・レイチェル (他) Matsushita, Rachel (or other)

研究室	SILC 402	オフィスアワー	silconline.jpを参照してください ・ Please refer to silconline.jp

メールアドレス	rachelb@m.sojo-u.ac.jp

キーワード	学問分野の会話・academic conversation　英語講義に参加するためのスキル・skills for participating in English lectures　研究分野の発表・presentation on a topic in your field　コミュニケーション能力　リテラシー　アカデミックスキル

授業概要	この授業は3部構成です。There are three parts to the course.　1. 学問に関するディスカッションに参加したり会話をリードするスキルを向上する。You will develop your ability to lead and participate in Academic Discussions.　2.英語講義でのリスニング力やメモの取り方（記述力）の効果的なスキルを向上する。You will work on improving your listening and note-taking skills to effectively participate in English lectures.　3.研究分野のトピックに関してのプレゼンを準備する。プレゼンテーションの練習に励み、学内で発表を行う。You will give a presentation on a topic in your field of study. You will practice presentation skills and give a presentation to the university community.

関連科目
1.英語Ⅰ　2.英語Ⅱ　3.英語Ⅲ　4.英語Ⅳ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A2	A2
	JABEE基準			f,g	f,g

JABEE記号		学生の到達度目標
f,g	①	学問に関するディスカッションに参加し、会話をリードすることができる。I can participate in and lead academic discussions.
f,g	②	英語講義に参加し、自分の意見を発表することができる。I can participate in English lectures.
f,g	③	自分の専門分野に関するトピックについて調べ、デザインし、発表ができる。I can research, design and give a presentation on a topic in my field of study.
	④	
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	15		15	0	30	0	40	0	100

教科書	

参考書	

予備知識	基礎的な英語力・Basic English ability
実務経験のある教員	
評価明細基準	1.学習ポートフォリオは成績の30%であり、授業参加と全ての宿題を含む。The Learning Portfolio, which is 30% of your grade, includes class participation and all homework.　2.専門分野の発表（要約、デザイン、発表、自己評価）は成績の30%となる。The presentation (including abstract, design, presentation and self-evaluation) is 30% of your grade.　3.学問に関するディスカッションを含む小テスト（15%）と中間テスト（15%）。Short tests include an Academic Discussion (15%) and a Mid-term Test (15%).　4. SOJOポートフォリオは成績の10%となる。The SOJO Portfolio is 10% of your grade.

学修上の注意 (SBOs)	1.授業を常習的に欠席したり遅刻する場合、合格点は得られません。何らかの理由で欠席しなければならいない場合は担当講師に必ず連絡をとり、欠席時の授業内容と課題を聞いて下さい。If you do not attend class regularly and on time, you will not be able to pass the course. If you have to be absent for any reason you must contact your teacher to catch up any work missed.　2.宿題は非常に重要な要素です。宿題は授業で学んだこと、テスト準備、授業活動や将来学習する語学スキル(を練習できるように作成されています。週に1.5時間は宿題に費やすことを目指さなければなりません。Homework is a very important part of the course. The homework activities are designed to practice what you study in class, prepare for tests and class activities and further develop your language skills. You should spend about 1.5 hours per week doing English homework.　3.レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃(ひょうせつ)は、不正行為とみなされます。Plagiarism, including copy and pasting submissions such as reports is NOT acceptable.

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	コースオリエンテーションOrientation	対面授業	スキルズセンター(SC)、英会話ラウンジ(CL)等、Skills Center (SC), Conversation Lounge (CL), etc. (15分), 英語の日記 English Diary（30分）	45
	内容	自己紹介、コースの説明、宿題の説明 Self-introductions, Course Explanation, Homework Explanation	演習		
2回	テーマ	学問に関するディスカッションAcademic Discussion Introduction	対面授業	SC, CL等（15分）、英語の日記 English Diary（30分）、ディスカッションスキル練習Discussion Skills Practice（45分）	90
	内容	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills and Practice (Introductory Topics - Food, Sports, Music, Movies, School)	演習		
3回	テーマ	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills & Practice	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、ディスカッションスキル練習 Academic Discussion Preparation（45分）	90
	内容	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills and Practice 3. (Academic Topics 1 - Problems, Risk, Motivation, Online Learning, Language Learning)	演習		
4回	テーマ	学生リーダーディスカッション Student-led Discussions	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、ディスカッションスキル練習 Academic Discussion Preparation（45分）	90
	内容	学問に関するディスカッションスキル練習 Academic Discussion Skills and Practice 3. (Academic Topics 2 - Climate Change, Pollution, Mental Health, Green Energy, COVID)	演習		
5回	テーマ	学生リーダーディスカッション Student-led Discussions	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りSelf-Reflection (45分)	90
	内容	学生リーダーディスカッション（評価） Students lead Academic Discussions (skill-based assessment), 授業中のフィードバック Feedback provided in class	演習		
6回	テーマ	講義スキル 1 Lecture Skills 1	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、講義リスニング課題Listening to a Lecture Homework (45分)	90
	内容	スキルを練習して、討論 Skills practice, Discussion (Topics: Lecture about an Experiment, Digital Detox)	演習		
7回	テーマ	講義スキル2 Lecture Skills 2	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、講義リスニング課題Listening to a Lecture Homework (45分)	90
	内容	スキルを練習して、討論 Skills practice, Discussion (Topic: Introverts)	演習		
8回	テーマ	講義スキル 3 Lecture Skills 3	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分)、講義リスニング課題Listening to a Lecture Homework (45分)	90
	内容	スキルを練習して、討論 Skills practice, Discussion (Topic: Hand Gestures)	演習		
9回	テーマ	中間テスト Midterm Test	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りSelf-Reflection (45分)	90
	内容	これまで学習した内容に関するテスト Test on content up to this point, 次の授業でのフィードバック Feedback provided in next class	演習		
10回	テーマ	プレゼンのユーニットの紹介 Intro to Presentation Unit	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 100要約(45分	90
	内容	ユーニットの紹介、例を見て、要約を書く Intro to Presentation Unit, view samples, write abstract	演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	プレゼンのデザイン Presentation Design	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), プレゼンの作成 Presentation Preparation (45分)	90
	内容	教員による要約のチェック、プランを書いて、プレゼンの作成を開始するAbstract checked by teacher, students draw plan, students begin crafting presentation	演習		
12回	テーマ	プレゼンの作成1 Presentation Creation 1	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), プレゼンの作成 Presentation Preparation (45分)	90
	内容	プレゼンの作成、教員に見てもらう Work on presentation, get feedback from Teacher	演習		
13回	テーマ	プレゼンの作成1 Presentation Creation 2	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), プレゼンの練習(45分)	90
	内容	13. プレゼンの作成、ポスター制作 Work on presentation, work on poster	演習		
14回	テーマ	プレゼンの作成1 Presentation Creation 3	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りとプレゼン本番練習Self-Reflection+Practice (45分), ポートフォリオ（到達度レポート）の作成	90
	内容	プレゼンの作成、最終確認、ポスターの締め切り Work on presentation, final feedback, PPT deadline	演習		
15回	テーマ	プレゼン発表の練習 Presentation practice	対面授業	SC, CL等 (15分), Diary (30分), 振り返りとプレゼン本番練習Self-Reflection+Practice (45分), ポートフォリオ（到達度レポート）の作成	90
	内容	クラス内発表。教員からのフィードバック Give presentation in class, get feedback from Teacher	演習		
16回	テーマ	発表 Final presentation	対面授業		
	内容	学内プレゼン実施 Give presentation in front of the university community	演習		

科目名	基礎日本語Ⅱ（１全学科◎）	開講学年	1	講義コード	2260201	区分	必修
英文表記	Basic Japanese Ⅱ	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	與縄友子（非常勤）

研究室	本館1階 非常勤講師控室	オフィスアワー	授業時間後の非常勤講師控室

メールアドレス	yottomokor09@yahoo.co.jp

キーワード	日本語読解　日本語能力試験　教養的知識　論理力　　アカデミックスキル　自己管理力

授業概要

この授業は留学生を対象とし、大学で勉強するために必要な総合的能力を身につけることを目標とする。まとまったさまざまなジャンルの文章や会話の聞き取りから理解したことをもとに自分の意見や考えたことを周りの人にわかりやすく伝えられることを目指す。課題のフィードバックは授業内に行う。日本語を用いた仕事に就くことを目標とする学生には、日本語能力試験の取得は不可欠であることから、授業の中でも必要に応じて文法事項の導入と解説に触れる。

関連科目

基礎日本語Ⅰ 基礎日本語Ⅲ 基礎日本語Ⅳ

教職関連区分

	建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
学修・教育目標	A	A4	A4	A4
JABEE基準		f	f	

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	日本社会や社会問題についての基礎的知識を理解することができる
	②	日本語を用いた学術的コミュニケーションができる
	③	プレゼンテーションの作成方法を理解し、興味のあるテーマに関する発表をプレゼンテーションで説明することができる
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる
	⑤	グループで協働して課題に取り組むことができる
	⑥	

評価方法（配点）

中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
30	30	20	0	10	0	10	0	100

教科書

日本語学習者のための読解厳選テーマ10上級　凡人社　清水正幸　　978-4-89358-984-2
アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習　スリーエーネットワーク　鎌田美千子 仁科浩美　978-4-88319-681-4 C0081
関係づくりの日本語会話雑談を学ぼう　くろしお出版　今田恵美 高井美穂 吉兼奈津子他　978-4-87424-864-5 C0081

参考書

授業で指示する。

予備知識	日本語能力試験N2受験レベルの日本語能力をもつことが望ましい。
実務経験のある教員	
評価明細基準	.期末試験（30点）：中間試験（30点）：それぞれの曜日の授業で行う。筆記試験、聴き取り等による。 小テスト（20点）：各授業の毎回の定着を測るために短時間で行い、授業でフィードバックする。課題も含む。 成果発表（10点）：授業での口頭発表やプレゼンテーション、作文や文章による発表を含む。 ポートフォリオ（10点）： 到達課題レポートをポートフォリオシステムに入力し、プリントアウトして最後の授業時間に提出すること。

学修上の注意 (SBOs)	・出席を重視する。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。　　・提出物は期限以内に提出すること。 ・課題提出物のコピーアンドペースト等の剽窃（ひょうせつ）は固く禁じる。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	【パラフレーズ演習】ガイダンス　第Ⅰ部 単語を言い換える 第1課	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	
	内容	授業内容の説明　「書き言葉」			
2回	テーマ	【読解】第5課「日本人と宗教」①	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物1］日本人の宗教観			
3回	テーマ	【パラフレーズ演習】　単語を言い換える 第2課	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	「和語と漢語」			
4回	テーマ	【読解】第5課「日本人と宗教」②	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物1］日本人の宗教観［読み物2］ハロウィン奇想曲			
5回	テーマ	【パラフレーズ演習】　単語を言い換える 第3課	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	「名詞化」			
6回	テーマ	【読解】第5課「日本人と宗教」③	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物2］ハロウィン奇想曲　発展活動			
7回	テーマ	【パラフレーズ演習】　単語を言い換える 第4課	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	「ジャジルによる使い分け」			
8回	テーマ	【読解】第8課「今、学校で起きていること」①	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物1］僕にはわからないことがたくさんある			
9回	テーマ	【パラフレーズ演習】　単語を言い換える 振り返り	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	総合問題			
10回	テーマ	【読解】第8課「今、学校で起きていること」②	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物1］僕にはわからないことがたくさんある［読み物2］スクールカースト			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	【パラフレーズ演習】　第Ⅱ部 意味を読み取って言い換える 第1課	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	「長い文／複数の文」	講義・演習		
12回	テーマ	【読解】第8課「今、学校で起きていること」③	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物2］スクールカースト　発展活動	講義・演習		
13回	テーマ	【パラフレーズ演習】　意味を読み取って言い換える 第2課	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	「上位概念」	講義・演習		
14回	テーマ	【パラフレーズ演習】　意味を読み取って言い換える 第3課	対面授業	授業で指示する復習課題を行う	60
	内容	「簡潔な表現」	講義・演習		
15回	テーマ	【パラフレーズ演習】中間試験	対面授業	授業で指示する復習課題を行う	60
	内容	中間試験（第Ⅰ部第1課～第4課、第Ⅱ部第1課～第3課）	講義・演習		
16回	テーマ	【読解】中間試験	対面授業	授業で指示する予習課題を行う	60
	内容	中間試験（第5課・第8課）	講義・演習		
17回	テーマ	試験の返却・解説	対面授業	授業で指示する予習課題を行う	60
	内容	中間試験返却・解説	講義・演習		
18回	テーマ	【パラフレーズ演習】　意味を読み取って言い換える 第4課	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	「含意／解釈」	講義・演習		
19回	テーマ	【読解】第9課「夫婦別姓をめぐって」①	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物1］姓の選択は時代の潮流	講義・演習		
20回	テーマ	【パラフレーズ演習】　意味を読み取って言い換える　振り返り	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	総合問題	講義・演習		

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	【読解】】第9課「夫婦別姓をめぐって」	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物1］姓の選択は時代の潮流 ［読み物2］夫婦別姓は家族と社会を壊す	講義・演習		
22回	テーマ	【パラフレーズ演習】　第Ⅲ部 目的に応じた形式で書く	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	「文献を引用する」「インタビューの内容をレポートに書く」	講義・演習		
23回	テーマ	【読解】】第9課「夫婦別姓をめぐって」③	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物2］夫婦別姓は家族と社会を壊す　発展活動	講義・演習		
24回	テーマ	【パラフレーズ演習】　目的に応じた形式で書く	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	「発表スライドを作成する」テーマ決め、スライド作成	講義・演習		
25回	テーマ	【読解】第10課「人生の終わり」①	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物1］「すぐ死ぬんだから」	講義・演習		
26回	テーマ	【パラフレーズ演習】　目的に応じた形式で書く	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	発表の練習 パワーポイントを提示する	講義・演習		
27回	テーマ	第10課「人生の終わり」②	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物1］「すぐ死ぬんだから」［読み物2］ 終活花ざかり	講義・演習		
28回	テーマ	【パラフレーズ演習】 プレゼンテーション	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う　【課題】パワーポイントを提示する	60
	内容	発表	講義・演習		
29回	テーマ	第10課「人生の終わり」③	対面授業	授業で指示する復習課題を行う	60
	内容	小テスト　［読み物2］終活花ざかり　発展活動	講義・演習		
30回	テーマ	【パラフレーズ演習】期末試験	対面授業	授業で指示する復習課題を行う	60
	内容	中間試験（第Ⅱ部第4課、要約）	講義・演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	【読解】期末試験	対面授業	授業で指示する復習課題を行う	60
	内容	期末試験（第9課・第10課）	講義・演習		
32回	テーマ	振り返りとまとめ	対面授業		
	内容	期末試験返却 これまでの振り返りとまとめ	講義・演習		

科目名	基礎日本語Ⅳ（２全学科◎）	開講学年	2	講義コード	2260401	区分	必修
英文表記	Basic Japanese Ⅳ	開講期	前期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	道本ゆう子（非常勤）

研究室	本館１階 非常勤講師室	オフィスアワー	授業後の非常勤講師室

メールアドレス	kadai.nihongo@gmail.com

キーワード	日本語読解　日本語文章表現　スタディ・スキルズ　日本語能力試験　　教養的知識　コミュニケーション能力　論理力　アカデミックスキル　　自己管理力

授業概要	この授業は留学生を対象とし、大学やアカデミックな場面における読解および、日本語を使った文章表現、レポート執筆など将来の進路に繋がるスタディ・スキルズを修得することを目標とする。授業では基礎的な日本語文法表現の確認、文章上の読解ストラテジーの習得、日本語による文章作成法などを実践的に練習する。理解・算出の能力双方を共に向上させることを目指す。 課題のフィードバックは授業内で行う。

関連科目
基礎日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	日本語の文章（新聞、論文、説明文など）が正確に読解でき、多様な論点の基礎的知識を理解することができる。
	②	日本語で表現したいことが正しく適切に表現できる。
	③	日本語で自分の主張、意見を説得力を持って述べることができる。
	④	日本語を用いてレポート、論文の執筆、プレゼンテーションなど、大学の専門的な活動ができる。
	⑤	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	20	10	0	0	10	0	100

教科書	留学生のためのここが大切 文章表現のルール　スリーエーネットワーク　石黒 圭 , 筒井 千絵　　4883195023 改訂版大学・大学院留学生の日本語1 読解編　アルク　アカデミック・ジャパニーズ研究会　4757426313

参考書	授業で指示する。

予備知識	日本語能力試験N2レベルの日本語能力をもつことが望ましい。
実務経験のある教員	
評価明細基準	中間試験・期末試験60%、課題提出および小テスト40%

学修上の注意 (SBOs)	・出席を重視する。授業開始20分までを出席とし、以後は欠席とする。　　・提出物は期限以内に提出すること。 ・レポート等の提出物のコピーアンドペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は、不正行為とみなされる。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	【日本語文章表現】ガイダンス　文の長さ、読みやすさ①	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	授業内容の説明/授業における注意事項［文章・談話］文の長さと読みやすさ①			
2回	テーマ	【文章読解】ガイダンス　第7課 地球温暖化①	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	構造:文章の構造 段落内の構造			
3回	テーマ	【日本語文章表現】文の長さ、読みやすさ②	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	［文章・談話］文の長さと読みやすさ②			
4回	テーマ	【文章読解】第7課 地球温暖化②	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	読むための文法:従属節① 読解の手がかり③			
5回	テーマ	【日本語文章表現】指示詞	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	［文章・談話］指示詞による文の接続			
6回	テーマ	【文章読解】第8課 風呂場の戸①	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	構造:位置			
7回	テーマ	【日本語文章表現】接続詞①	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	［文章・談話］接続詞と文章の構成①			
8回	テーマ	【文章読解】第8課 風呂場の戸②	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	読むための文法:従属節② 関節疑問			
9回	テーマ	【日本語文章表現】接続詞②	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	［文章・談話］接続詞と文章の構成②			
10回	テーマ	【文章読解】第9課 手で数を表す①	対面授業 講義・演習	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	構造:列挙 順序			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	【日本語文章表現】読み手への配慮①	対面授業	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	[文章･談話]読み手への配慮①	講義・演習		
12回	テーマ	【文章読解】第9課 手で数を表す②	対面授業	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	読むための文法:接続表現① 読解の手がかり④	講義・演習		
13回	テーマ	【日本語文章表現】読み手への配慮②	対面授業	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	[文章･談話]読み手への配慮②	講義・演習		
14回	テーマ	【文章読解】9課までの復習	対面授業	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	7課から9課までの復習	講義・演習		
15回	テーマ	【日本語文章表現】中間のまとめ	対面授業	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	文章表現中間試験	講義・演習		
16回	テーマ	【文章読解】中間試験	対面授業	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	読解中間試験	講義・演習		
17回	テーマ	【日本語文章表現】レポート作成①	対面授業	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	[文章表現実践]レポートの基本的な書き方(意見と事実)①	講義・演習		
18回	テーマ	【文章読解】第10課 文明はどのように伝わったかー「茶」①	対面授業	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	構造:理由･根拠	講義・演習		
19回	テーマ	【日本語文章表現】レポート作成②	対面授業	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	[文章表現実践]レポートの基本的な書き方(意見と事実)②	講義・演習		
20回	テーマ	【文章読解】第10課 文明はどのように伝わったかー「茶」②	対面授業	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	読むための文法:接続表現② 読解の手がかり⑤	講義・演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
21回	テーマ	【日本語文章表現】レポート作成③	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	[文章表現実践]レポートの基本的な書き方(複雑な内容の整理)①	講義・演習		
22回	テーマ	【文章読解】第11課 文明はどのように伝わったかー「タとハタケ」①	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	構造:筆者の意見を表す表現	講義・演習		
23回	テーマ	【日本語文章表現】レポート作成④	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	[文章表現実践]レポートの基本的な書き方(複雑な内容の整理)②	講義・演習		
24回	テーマ	【文章読解】第11課 文明はどのように伝わったかー「タとハタケ」②	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	読むための文法:反語疑問文	講義・演習		
25回	テーマ	【日本語文章表現】論理的な文章作成	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	[文章表現実践]立場のある文章の書き方	講義・演習		
26回	テーマ	【文章読解】第12課 カラスの自動車利用行動	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	ﾚﾎﾟｰﾄ読解:読解ｽﾄﾗﾃｼﾞｰを利用して読む	講義・演習		
27回	テーマ	【日本語文章表現】メール作成①	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	[文章表現実践]先生宛のEメールの書き方①	講義・演習		
28回	テーマ	【文章読解】第13課 台湾南部の客家社会についての一考察	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	研究計画書(論文作成計画書)読解:読解ｽﾄﾗﾃｼﾞｰを利用して読む	講義・演習		
29回	テーマ	【日本語文章表現】メール作成②	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	[文章表現実践]先生宛のEメールの書き方②	講義・演習		
30回	テーマ	【文章読解】第14課 人間とロボットの協調動作に関する研究	対面授業	授業で指示する予習課題・復習課題を行う	60
	内容	論文(研究報告)読解:読解ｽﾄﾗﾃｼﾞｰを利用して読む	講義・演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
31回	テーマ	【日本語文章表現】期末試験	対面授業	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	文章表現期末試験	講義・演習		
32回	テーマ	【文章読解】期末試験	対面授業	授業で指示する予習課題･復習課題を行う	60
	内容	読解期末試験	講義・演習		

科目名	特殊講座（情報と社会）（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2270104	区分	選択
英文表記	Informatics and Society	開講期	後期	開講形態	遠隔授業	単位数	2

担当教員	川本 正道

研究室	G510	オフィスアワー	水曜日3限4限

メールアドレス	kawamoto@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	情報リテラシー　メディア・リテラシー　デジタル・シティズンシップ

授業概要	・1年前期に基本的な情報リテラシーを修得する科目「情報処理基礎」等を履修していることを前提に、この科目では、より深く、情報社会の成り立ちを歴史的な背景を踏まえて学習し、その上でメディアリテラシーを修得することを目的としている。　・メディアリテラシーを「ソーシャルメディアを含めた様々なメディアの機能を理解し、批判的に分析評価し、適切な自己表現を行い、そのことによって市民社会に参画し行動する能力」と位置づけ、その時々の時事問題や象徴的な事例を題材として取り上げていく予定である。　・また「自分の権利を意識しつつ、安全かつ責任を持ってインターネットを利用する能力」を育むために、様々な技法やツールを使う課題演習や、デジタルストーリーテリングを用いて自分のメッセージを表現する力を身につけるための演習を行う。　※適時、確認テストの正解率や課題等提出物の概要を授業内で紹介し、受講者へのフィードバックを行う。

関連科目

情報処理基礎　ITパスポート演習　情報コミュニケーション

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標		A	A4	A4
	JABEE基準			a,e,f	a,e,f

JABEE記号		学生の到達度目標
e,f,g	①	ICT技術発達の歴史的経緯を理解し、現代社会におけるその影響と問題点を説明できる。
e,f,g	②	様々なメディアの機能を理解し、批判的に分析評価することができる。
f,g	③	自分の権利を意識しつつ、安全かつ責任を持ってインターネットを利用することができる。
g	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	30	60	0	0	10	0	100

教科書	WebClass上で資料を配布する

参考書	

予備知識	
実務経験のある教員	
評価明細基準	・授業で紹介した用語や歴史的な事象に関する知識確認のために、主にWebClass上で小テストを実施する。複数回実施するが、全体での配点割合は30%の予定である。　・レポートは通常のテキスト形式のレポート以外に、Teamsでの投稿、その他各種ツールで仕上げた成果物を含めている。この部分の評価を全体の60%とする。　・ポートフォリオの学修到達度レポートは10%の配点とする。

学修上の注意 (SBOs)	・WebClassやTeamsをクラス内のソーシャルメディアと位置づけ、課題とした様々なテーマのレポートや投稿は、互いに参照可能とする。レスポンスを含めて評価の対象とするので議論へ積極的に参加してもらいたい。　・この授業はオンデマンド型の遠隔授業で実施する。課題の提出が評価の中心となり、相互評価も行う為、必ず期限までに課題を提出することが重要である。　・各種の課題は様々なツールを自分のPCで使いこなして仕上げていくことを前提としている。指定したツールの利用方法がわからない場合は、積極的に質問すること。　・とりあげる時事問題として、貧困問題、様々な格差や差別に関する問題、表現の自由に関する議論等を予定しているが、できるだけ直近で話題になっているものを取り上げげるため、授業内容の順序入れ替えや内容変更が生じる場合があるが、その際は事前に周知する。　・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃（ひょうせつ）は不正行為とみなし単位を認定しない。 ※ 質問等は、対面、メール、Teamsのチャット、Web会議、電話等様々な媒体を用いて対応する（連絡先はWebClassに記載）。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	ガイダンス	講義　演習	指定された資料の閲覧	60
	内容	科目の位置づけ、情報リテラシー入門、各種課題の例示、履修上の注意			
2回	テーマ	DXリテラシー	講義　演習	指定された資料の閲覧と復習	60
	内容	DXとは何か DXリテラシー標準 社会と競争環境の変化			
3回	テーマ	メディア・リテラシー1	講義　演習	指定された資料の閲覧と復習	60
	内容	フェイクニュース、フィルターバブル、ファクトチェック、			
4回	テーマ	メディア・リテラシー2	講義　演習	指定された資料の閲覧と復習	60
	内容	プロバイダ責任制限法 発信者開示請求 インターネット入門			
5回	テーマ	メディア・リテラシー3	講義　演習	指定された資料の閲覧と復習	60
	内容	TCP/IPを理解する（IPアドレス、JPNIC、ネットワークコマンドの利用）			
6回	テーマ	メディア・リテラシー4	講義　演習	指定された資料の閲覧と復習	90
	内容	ミスリードさせるニュース10の形態			
7回	テーマ	情報の整理1	講義　演習	課題の制作	60
	内容	マインドマップ入門 Mindmeister			
8回	テーマ	情報の整理2	講義　AL	課題の制作	90
	内容	9マス紙 アイデアの拡散			
9回	テーマ	情報の整理3	講義　AL	課題の制作	90
	内容	1枚企画図 アイデアの収束			
10回	テーマ	情報の整理4	講義　AL	課題の制作	60
	内容	Prezi入門			

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	事例研究1	講義　AL	指定された資料の閲覧と調査	60
	内容	GIGAスクール構想 デジタルシティズンシップ教育			
12回	テーマ	事例研究2	講義　PBL	課題の制作	90
	内容	様々なAI利用サービス			
13回	テーマ	デジタルストーリーテリング1	講義　PBL	課題の制作	90
	内容	Sway入門、SDS法とPREP法、SCQモデル、トゥルーミンの三角ロジック			
14回	テーマ	デジタルストーリーテリング2	講義　PBL	課題の制作と修正	90
	内容	作品の共有と相互評価			
15回	テーマ	まとめ	講義　演習	学習到達度レポートの作成	60
	内容	授業全体の振り返りと到達度目標の自己点検 今後の情報化社会に向けて			

科目名	特殊講座（情報コミュニケーション）（１全学科）	開講学年	1	講義コード	2270105	区分	選択
英文表記	Information and Communication	開講期	後期	開講形態	対面	単位数	2

担当教員	田口 雄太

研究室	G509	オフィスアワー	メールアドレスは初回授業でお伝えします。オフィスアワーは「月曜 3,4限」です。

メールアドレス	@

キーワード	リテラシー　情報リテラシー　コンピュータリテラシー　アルゴリズム　　プログラム　自己管理力

授業概要	情報通信技術(ICT)の発達は、我々の生活の隅々にまで影響を及ぼしている。膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択して利活用する能力、ICT機器を道具として使いこなす能力、いわゆる情報リテラシー・コンピュータリテラシーは現代社会に生きる職業人必須の能力といってよい。本授業ではプログラミングを大テーマとし、数値計算処理や文章生成の実践演習を通してコンピュータリテラシーを磨く。そして、そのリテラシーを自信にし、高度な専門課程での学習に臨んでいただく。

関連科目

情報処理基礎　特殊講座(情報と社会)　特殊講座(ITパスポート)

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	コーディングする際に先人の知恵や成果物を活用することができる。
	②	コンピュータと数値計算ソフトを活用し、基礎的な数式を処理することができる。
	③	LaTeXを活用し、基礎的な文章と数式を表現することができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	0	90	0	0	10	0	100

教科書	講義のレジュメを教科書とする

参考書	科学技術計算のためのPython入門　技術評論社　中久喜 健司　9784774183886 C言語による標準アルゴリズム事典　技術評論社　奥村 晴彦　9784774196909 LaTeX2e 美文書作成入門　技術評論社　奥村 晴彦　9784297117122

予備知識	PCを自分の能力を拡張する道具として使いこなすようになるための意欲
実務経験のある教員	
評価明細基準	(レポート) 1. プログラミング演習課題: 15点×2 2. 数値計算演習課題: 15点×2 3. LaTeX演習課題: 15点×2 (ポートフォリオ) 4. 学修到達度レポート: 10点

学修上の注意 (SBOs)	・資料配布や課題提出のため、WebClassという学習管理システム(LMS)やMS Teamsを利用します。これらには学外からのアクセスが可能であり、スマートフォンでも利用できるので主体的な学修に活用ください。 ・WebClass上で提出されたレポートへ適宜コメントを返します。このフィードバックもまたWebClass上で実施しますので、必ず参照ください。 ・質問や意見を歓迎します。疑問点をそのままにしないようにしてください。 ・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなし、単位を認定しません。正しい引用を心がけてください。 ・授業の中で指示する課題の提出物はクラス全員がお互いに参照可能な形で共有することがあります。課題は自分の学修成果を発表する媒体でもあると考え、取り組んでください。 ・授業の進捗を考慮し、授業計画を一部変更する場合があります。その際は事前に周知します。

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	オリエンテーション	対面	授業内容の復習、第2回授業の予習	60
	内容	・科目ガイダンス　・演習室PCの利用	講義　演習		
2回	テーマ	アルゴリズムとプログラム	対面	授業内容の復習、第3回授業の予習	60
	内容	・プログラミングとは何か　・アルゴリズムとプログラム	講義　演習		
3回	テーマ	プログラミング１	対面	プログラミング演習課題、授業内容の復習、第4回授業の予習	90
	内容	・プログラミング言語　・言語処理方式	講義　演習		
4回	テーマ	プログラミング２	対面	プログラミング演習課題、授業内容の復習、第5回授業の予習	90
	内容	・プログラミング(基本操作、変数と制御構造等のプログラミングの構成要素等)	講義　演習		
5回	テーマ	プログラミング３	対面	プログラミング演習課題、授業内容の復習、第6回授業の予習	90
	内容	・プログラミング(整列アルゴリズム等)	講義　演習		
6回	テーマ	プログラミング４	対面	プログラミング演習課題、授業内容の復習、第7回授業の予習	90
	内容	・プログラミング(数値計算アルゴリズム等)	講義　演習		
7回	テーマ	数値計算１	対面	数値計算演習課題、授業内容の復習、第8回授業の予習	90
	内容	・数値計算ソフトを使用した演算処理(基本操作)	講義　演習		
8回	テーマ	数値計算２	対面	数値計算演習課題、授業内容の復習、第9回授業の予習	90
	内容	・数値計算ソフトを使用した演算処理(シンプルな数式の演算処理)	講義　演習		
9回	テーマ	数値計算３	対面	数値計算演習課題、授業内容の復習、第10回授業の予習	90
	内容	・数値計算ソフトを使用した演算処理(複雑な数式の演算処理)	講義　演習		
10回	テーマ	数値計算４	対面	数値計算演習課題、授業内容の復習、第11回授業の予習	90
	内容	・数値計算ソフトを使用した演算処理(高度な計算のプログラム処理)	講義　演習		

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	LaTeX1	対面 講義　演習	LaTeX演習課題、授業内容の復習、第12回授業の予習	90
	内容	・LaTeXを使用した文書の生成(基本操作、文書レイアウトの設定・変更、文章作成等)			
12回	テーマ	LaTeX2	対面 講義　演習	LaTeX演習課題、授業内容の復習、第13回授業の予習	90
	内容	・LaTeXを使用した文書の生成(シンプルな数式の表現等)			
13回	テーマ	LaTeX3	対面 講義　演習	LaTeX演習課題、授業内容の復習、第14回授業の予習	90
	内容	・LaTeXを使用した文書の生成(複雑な数式の表現等)			
14回	テーマ	LaTeX4	対面 講義　演習	LaTeX演習課題、授業内容の復習、第15回授業の予習	90
	内容	・LaTeXを使用した文書の生成(グラフィック、表組み等)			
15回	テーマ	総括	対面 講義　演習	授業内容の復習	60
	内容	・まとめと振り返り			

科目名	特殊講座（ITパスポート演習）（１工芸生薬）	開講学年	1	講義コード	2270106	区分	選択
英文表記	ITpassport Exercises	開講期	後期	開講形態	対面授業	単位数	2

担当教員	稲生 誠治

研究室	G507	オフィスアワー	木曜日 1，2限

メールアドレス	inao@ed.sojo-u.ac.jp

キーワード	ITパスポート試験　情報処理技術者試験　コンピュータシステム　リテラシー　　教養的知識　自己管理力

授業概要	・ITパスポート試験は、ITに関する基礎的な知識と、企業活動や経営戦略、会計・法務など、ITを活用するうえで前提となる幅広い知識が問われる国家試験である。この試験の合格を目標とすることで、あらゆる企業や分野で必要とされているITに関するリテラシーを身に付けることを目的とする。　・授業では、出題範囲である「ストラテジ系」「マネジメント系」「テクノロジ系」の代表的な過去問題を取り上げ、解答に必要な知識や考え方を講義する。　・知識習得の確認として、講義の翌週10問程度の小テストを実施し、そのフィードバックを次回に行う。

関連科目
1年前期「情報処理基礎」

教職関連区分		建築学科のみ	建築総合	建築計画	建築構造
	学修・教育目標				
	JABEE基準				

JABEE記号		学生の到達度目標
	①	情報セキュリティに関する基礎知識を理解し、インターネットや電子メールを利用する際に、機密情報の漏えいやウィルス感染など様々なリスクがあることを理解し実践することができる。
	②	知的財産権や、企業コンプライアンスに関する知識を身につけることで、著作権侵害などの法令違反や個人情報漏えいなどのリスクを理解し行動することができる。
	③	情報システム、ネットワーク、データベースなどITの基礎知識を体系的に身につけることで、あらゆる場面で円滑なコミュニケーションをすることができる。
	④	本科目における「学生の到達度目標」をポートフォリオで自己評価することができる。
	⑤	
	⑥	

評価方法（配点）	中間試験	定期試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・実技）	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	0	0	50	40	0	0	10	0	100

教科書	よくわかるマスター 令和4-5 ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集　FOM出版　　978-4-938927-42-4

参考書	

予備知識	
実務経験のある教員	
評価明細基準	・小テストは前週の講義の内容から、10問程度出題し授業内容の理解度を測定する。・レポートは授業内容について復習することで小テストに備えることを目的とし、次週までに提出を求めレポート点として評価する。・上記の他に、ポートフォリオの内容を加味して、総合的に成績を算出する。　各到達度目標に対する配点内訳　1.小テスト14点、レポート12点　2.小テスト14点、レポート12点　3.小テスト22点、レポート16点　4.「学習到達度レポート」10点

学修上の注意 (SBOs)	・Web上で小テストを行うため、各自ノートPCを持参すること。・レポート等の提出物において、許可された範囲外でのコピー&ペーストなどの剽窃は不正行為とみなされる。・eラーニング教材（過去問題プログラム WindowsPCのみ実施可能）を用いて内容理解をはかること。・修得した知識を形にするためITパスポート試験の受験を勧める。

授業計画

回数（日付）	授業内容		開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
1回	テーマ	基礎理論とコンピュータ構成要素	講義+演習	教科書の予習とテクノロジ系（基礎理論、コンピュータ構成）の過去問題プログラムを実施し復習する	60
	内容	離散数学、応用数学、情報表現、プロセッサ、メモリ、入出力デバイスを理解し、演習問題を解く。 小テスト			
2回	テーマ	アルゴリズム、プログラミング、システム構成要素とヒューマンインタフェース、マルチメディア	講義+演習	教科書の予習とテクノロジ系（アルゴリズムとプログラミング、システム構成、ヒューマンインタフェースとマルチメディア）の過去問題プログラムを実施し復習する	60
	内容	データ構造、アルゴリズム、プログラム言語、システム構成・評価指標ヒューマンインタフェース技術、マルチメディア技術を理解し、演習問題を解く。 小テスト			
3回	テーマ	ソフトウェアとハードウェア	講義+演習	教科書の予習とテクノロジ系（ソフトウェアとハードウェア）の過去問題プログラムを実施し復習する	60
	内容	オペレーティングシステム、ファイルシステム、ハードウェア（コンピュータ・入出力装置）を理解し、演習問題を解く。 小テスト			
4回	テーマ	データベース	講義+演習	教科書の予習とテクノロジ系（データベース）の過去問題プログラムを実施し復習する	60
	内容	データベース方式・設計、データ操作、トランザクション処理を理解し、演習問題を解く。 小テスト			
5回	テーマ	ネットワーク基礎	講義+演習	教科書の予習とテクノロジ系（ネットワーク）の過去問題プログラムを実施し復習する	60
	内容	ネットワーク方式、通信プロトコルを理解し、演習問題を解く。 小テスト			
6回	テーマ	ネットワーク応用	講義+演習	教科書の予習とテクノロジ系（ネットワーク）の過去問題プログラムを実施し復習する	60
	内容	インターネットの仕組み、メール、モバイル通信を理解し、演習問題を解く。 小テスト			
7回	テーマ	マルウェアとサイバー攻撃	講義+演習	教科書の予習とテクノロジ系（マルウェアとサイバー攻撃）の過去問題プログラムを実施し復習する	60
	内容	脅威、脆弱性、人的脅威、技術的脅威を理解し、演習問題を解く。 小テスト			
8回	テーマ	情報セキュリティ管理	講義+演習	教科書の予習とテクノロジ系（セキュリティ管理）の過去問題プログラムを実施し復習する	60
	内容	情報セキュリティポリシー、リスクマネジメントを理解し、演習問題を解く。 小テスト			
9回	テーマ	情報セキュリティ対策	講義+演習	教科書の予習とテクノロジ系（セキュリティ対策）の過去問題プログラムを実施し復習する	60
	内容	人的セキュリティ対策、技術的セキュリティ対策、物理的セキュリティ対策、無線LANの対策を理解し、演習問題を解く。 小テスト			
10回	テーマ	認証と暗号化	講義+演習	教科書の予習とテクノロジ系（認証と暗号化）の過去問題プログラムを実施し復習する	60
	内容	利用者認証の技術と暗号化技術を理解し、演習問題を解く。 小テスト			

授業計画

回数（日付）		授業内容	開講形態 授業形態	学習課題（予習・復習）	時間（分）
11回	テーマ	企業と法務	講義+演習	教科書の予習とストラテジ系（企業と法務）の過去問題プログラムを実施し復習する	60
	内容	企業活動、経営管理、会計と財務、知的財産権・セキュリティ関連法規、労働関連法規を理解し、演習問題を解く。			
12回	テーマ	経営戦略	講義+演習	教科書の予習とストラテジ系（経営戦略）の過去問題プログラムを実施し復習する	60
	内容	経営戦略、ビジネス戦略、e-ビジネス、IoTを理解し、演習問題を解く。 小テスト			
13回	テーマ	システム戦略と開発技術	講義+演習	教科書の予習とストラテジ系（システム戦略）、マネジメント系（開発技術）の過去問題プログラムを実施し復習する	60
	内容	情報システム戦略、ソリューションビジネス、システム化計画、システム開発技術、開発プロセス・手法を理解し、演習問題を解く。 小テスト			
14回	テーマ	プロジェクトマネジメントとサービスマネジメント	講義+演習	教科書の予習とマネジメント系（プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント）の過去問題プログラムを実施し復習する	60
	内容	プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム監査、内部統制を理解し、演習問題を解く。 小テスト			
15回	テーマ	プログラミング　まとめと振り返り	講義+演習	小テスト範囲の復習	30
	内容	疑似言語の演習問題を解く。総括および小テストを実施する。			